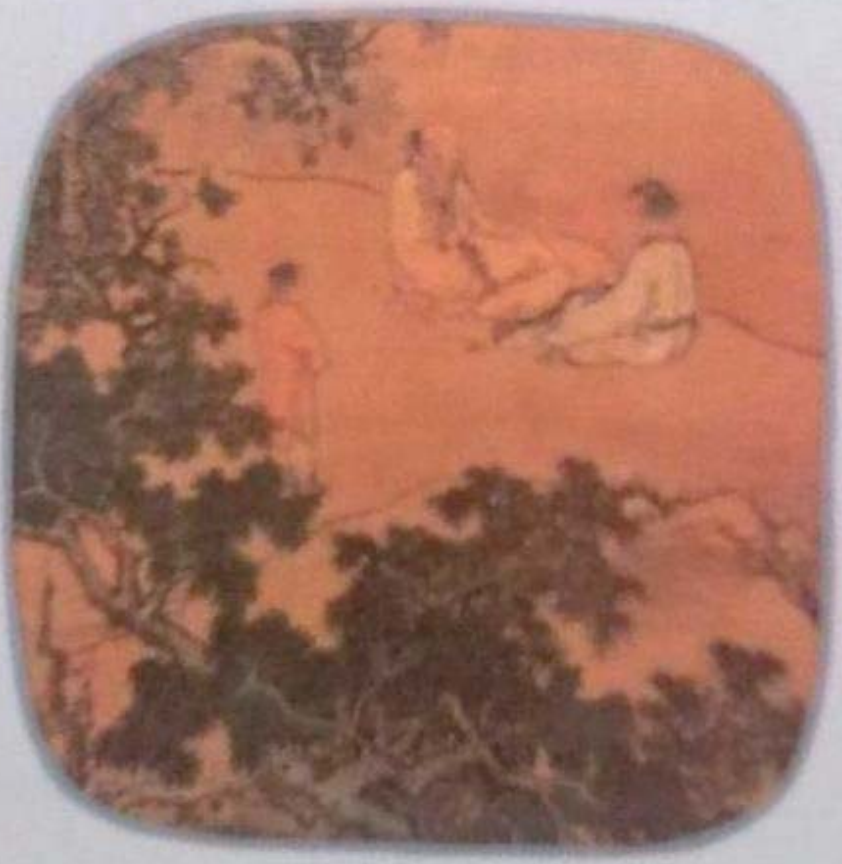
中国历代名著全译丛书

文选全译

〔梁〕萧统 编 张启成 徐达 等 译注

三



贵州人民出版社

中国历代名著全译丛书

文选全译

〔梁〕萧统 编 张启成 徐达等 译注

三

贵州人民出版社

（黔）新登字 01 号

责任编辑　程小铭等
封面设计　石俊生
版式设计　闵　英

本丛书如有印装错误，请寄承印厂质检科，保证调换。

邮政编码：441021
通信地址：湖北省襄樊市胜丰路 45 号
电　　话：（0710）514242　514448

文选全译

［梁］萧统编　张启成 徐　达等译注

贵州人民出版社出版发行
（贵阳市中华北路 289 号）
文字六〇三厂印刷
850×1168 毫米　32 开本　133.5 印张　3340 千字
1994 年 11 月第 1 版　1994 年第 1 次印刷
印数　1——12000 册

ISBN 7—221—03015—4/I・420　定价（平）110.00 元
（精）135.00 元

中国历代名著全译丛书

编　委　会

（以姓氏笔划为序）

王运熙　　余冠英　　张　克（常务）

罗尔纲　　程千帆　　缪　钺

目　录

前言…… 王运熙(1)
序…… 梁·昭明太子(1)
第一卷
赋甲
京都上
班孟坚两都赋二首并序 …… (12)
西都赋 …… (12)
东都赋 …… (49)
第二卷
张平子西京赋一首 …… (77)
第三卷
赋乙
京都中
张平子东京赋一首…… (139)
第四卷
张平子南都赋一首…… (207)
左太冲三都赋序一首…… (229)
左太冲蜀都赋一首…… (234)
第五卷
赋丙
京都下
左太冲吴都赋一首…… (263)
第六卷

左太冲魏都赋一首……（319）
第七卷
赋丁
郊祀
杨子云甘泉赋一首并序……（378）
耕籍
潘安仁籍田赋一首……（400）
畋猎上
司马长卿子虚赋一首……（415）
第八卷
畋猎中
司马长卿上林赋一首……（434）
杨子云羽猎赋一首……（472）
第九卷
赋戊
畋猎下
杨子云长杨赋一首并序……（496）
潘安仁射雉赋一首……（511）
纪行上
班叔皮北征赋一首……（523）
曹大家东征赋一首……（531）
第十卷
纪行下
潘安仁西征赋一首……（540）
第十一卷
赋己
游览
王仲宣登楼赋一首……（606）

孙兴公游天台山赋一首并序……（611）
鲍明远芜城赋一首……（623）
宫殿
王文考鲁灵光殿赋一首并序……（630）
何平叔景福殿赋一首……（650）
第十二卷
江海
木玄虚海赋一首……（681）
郭景纯江赋一首……（697）
第十三卷
赋庚
物色
宋玉风赋一首……（726）
潘安仁秋兴赋一首并序……（735）
谢惠连雪赋一首……（744）
谢希逸月赋一首……（755）
鸟兽上
贾谊鵩鸟赋一首并序……（764）
祢正平鹦鹉赋一首……（772）
张茂先鹪鹩赋一首……（780）
第十四卷
鸟兽下
颜延年赭白马赋一首并序……（788）
鲍明远舞鹤赋一首……（806）
志上
班孟坚幽通赋一首……（813）
第十五卷
赋辛

志中
张平子思玄赋一首……（833）
归田赋一首……（869）
第十六卷
志下
潘安仁闲居赋一首……（873）
哀伤
司马长卿长门赋一首并序……（887）
向子期思旧赋一首并序……（895）
陆士衡叹逝赋一首并序……（900）
潘安仁怀旧赋一首并序……（908）
寡妇赋一首并序……（913）
江文通恨赋一首……（924）
别赋一首……（931）
第十七卷
赋壬
论文
陆士衡文赋一首并序……（941）
音乐上
王子渊洞箫赋一首……（968）
傅武仲舞赋一首……（980）
第十八卷
音乐下
马季长长笛赋一首并序……（992）
嵇叔夜琴赋一首并序……（1017）
潘安仁笙赋一首……（1046）
成公子安啸赋一首……（1060）
第十九卷

赋癸
情
宋玉高唐赋一首并序 …… (1074)
神女赋一首并序 …… (1089)
登徒子好色赋一首并序 …… (1097)
曹子建洛神赋一首 …… (1103)
诗甲
补亡
束广微补亡诗六首 …… (1115)
述德
谢灵运述祖德诗二首 …… (1124)
劝励
韦孟讽谏诗一首 …… (1130)
张茂先励志诗一首 …… (1138)
第二十卷
献诗
曹子建上责躬应诏诗表 …… (1143)
责躬诗一首 …… (1147)
应诏诗一首 …… (1152)
潘安仁关中诗一首 …… (1155)
公宴
曹子建公宴诗一首 …… (1163)
王仲宣公宴诗一首 …… (1165)
刘公幹公宴诗一首 …… (1167)
应德琏侍五官中郎将建章台集诗一首 …… (1170)
陆士衡皇太子宴玄圃宣猷堂有令赋诗一首 …… (1172)
陆士龙大将军宴会被命作诗一首 …… (1176)
应吉甫晋武帝华林园集诗一首 …… (1180)

谢宣远九日从宋公戏马台集送孔令一首 …… (1185)
范尉宗乐游应诏一首 …… (1187)
谢灵运九日从宋公戏马台集送孔令一首 …… (1190)
颜延年应诏宴曲水作诗一首 …… (1193)
皇太子释奠会作诗一首 …… (1199)
丘希范侍宴乐游苑送张徐州应诏诗一首 …… (1205)
沈休文应诏乐游苑饯吕僧珍一首 …… (1208)
祖饯
曹子建送应氏诗二首 …… (1211)
孙子荆征西官属送于陟阳候作诗一首 …… (1214)
潘安仁金谷集作诗一首 …… (1217)
谢宣远王抚军庾西阳集别作诗一首 …… (1220)
谢灵运邻里相送方山诗一首 …… (1222)
谢玄晖新亭渚别范零陵诗一首 …… (1224)
沈休文别范安成诗一首 …… (1226)
第二十一卷
诗乙
咏史
王仲宣咏史一首 …… (1228)
曹子建三良诗一首 …… (1230)
左太冲咏史八首 …… (1232)
张景阳咏史一首 …… (1243)
卢子谅览古一首 …… (1246)
谢宣远张子房诗一首 …… (1251)
颜延年秋胡诗一首 …… (1255)
五君咏五首 …… (1263)
鲍明远咏史一首 …… (1269)
虞子阳咏霍将军北伐一首 …… (1272)

百一
应休琏百一诗一首 …… (1275)
游仙
何敬宗游仙诗一首 …… (1278)
郭景纯游仙诗七首 …… (1280)
第二十二卷
招隐
左太冲招隐诗二首 …… (1290)
陆士衡招隐诗一首 …… (1295)
反招隐
王康琚反招隐诗一首 …… (1297)
游览
魏文帝芙蓉池作一首 …… (1300)
殷仲文南州桓公九井作一首 …… (1302)
谢叔源游西池一首 …… (1305)
谢惠连泛湖归出楼中玩月一首 …… (1308)
谢灵运从游京口北固应诏一首 …… (1310)
晚出西射堂一首 …… (1313)
登池上楼一首 …… (1315)
游南亭一首 …… (1318)
游赤石进帆海一首 …… (1320)
石壁精舍还湖中作一首 …… (1323)
登石门最高顶一首 …… (1325)
于南山往北山经湖中瞻眺一首 …… (1328)
从斤竹涧越岭溪行一首 …… (1331)
颜延年应诏观北湖田收一首 …… (1334)
车驾幸京口侍游蒜山作一首 …… (1338)
车驾幸京口三月三日侍游曲阿后湖作一首 …… (1342)

鲍明远行药至城东桥一首 …… (1345)
谢玄晖游东田一首 …… (1347)
江文通从冠军建平王登庐山香炉峰一首 …… (1349)
沈休文钟山诗应西阳王教一首 …… (1352)
宿东园一首 …… (1357)
游沈道士馆一首 …… (1359)
徐敬业古意酬到长史溉登琅邪城一首 …… (1362)
第二十三卷
诗丙
咏怀
阮嗣宗咏怀十七首 …… (1366)
谢惠连秋怀一首 …… (1392)
欧阳坚石临终诗一首 …… (1396)
哀伤
嵇叔夜幽愤诗一首 …… (1400)
曹子建七哀诗一首 …… (1409)
王仲宣七哀诗二首 …… (1411)
张孟阳七哀诗二首 …… (1415)
潘安仁悼亡诗三首 …… (1420)
谢灵运庐陵王墓下作一首 …… (1429)
颜延年拜陵庙作一首 …… (1432)
谢玄晖同谢谘议铜雀台一首 …… (1437)
任彦昇出郡传舍哭范仆射一首 …… (1439)
赠答一
王仲宣赠蔡子笃一首 …… (1443)
赠士孙文始一首 …… (1447)
赠文叔良一首 …… (1453)
刘公幹赠五官中郎将四首 …… (1458)

赠徐幹一首 …… (1464)
赠从弟三首 …… (1467)
第二十四卷
赠答二
曹子建赠徐幹一首 …… (1471)
赠丁仪一首 …… (1475)
赠王粲一首 …… (1477)
又赠丁仪王粲一首 …… (1479)
赠白马王彪一首 …… (1482)
赠丁翼一首 …… (1489)
嵇叔夜赠秀才入军五首 …… (1492)
司马绍统赠山涛一首 …… (1499)
张茂先答何劭二首 …… (1502)
何敬宗赠张华一首 …… (1506)
陆士衡赠冯文罴迁斥丘令一首 …… (1509)
答贾长渊一首 …… (1515)
于承明作与士龙一首 …… (1524)
赠尚书郎顾彦先二首 …… (1526)
赠顾交阯公真一首 …… (1530)
赠从兄车骑一首 …… (1532)
答张士然一首 …… (1534)
为顾彦先赠妇二首 …… (1536)
赠冯文罴一首 …… (1539)
赠弟士龙一首 …… (1541)
潘安仁为贾谧作赠陆机一首 …… (1543)
潘正叔赠陆机出为吴王郎中令一首 …… (1551)
赠阿阳一首 …… (1556)
赠侍御史王元贶一首 …… (1558)

第二十五卷

诗丁

赠答三

傅长虞赠何劭王济一首 …… (1560)

郭泰机答傅咸一首 …… (1564)

陆士龙为顾彦先赠妇二首 …… (1566)

答兄机一首 …… (1569)

答张士然一首 …… (1571)

刘越石答卢谌一首并书 …… (1573)

重赠卢谌一首 …… (1585)

卢子谅赠刘琨一首并书 …… (1588)

赠崔温一首 …… (1606)

答魏子悌一首 …… (1610)

谢宣远答灵运一首 …… (1614)

于安城答灵运一首 …… (1616)

谢惠连西陵遇风献康乐一首 …… (1621)

谢灵运还旧园作见颜范二中书一首 …… (1626)

登临海峤与从弟惠连一首 …… (1631)

酬从弟惠连一首 …… (1634)

第二十六卷

赠答四

颜延年赠王太常一首 …… (1639)

夏夜呈从兄散骑车长沙一首 …… (1643)

直东宫答郑尚书一首 …… (1645)

和谢监灵运一首 …… (1649)

王僧达答颜延年一首 …… (1654)

谢玄晖郡内高斋闲坐答吕法曹一首 …… (1658)

在郡卧病呈沈尚书一首 …… (1660)

暂使下都夜发新林至京邑赠西府同僚一首 …… (1663)
酬王晋安一首 …… (1666)
陆韩卿奉答内兄希叔一首 …… (1668)
范彦龙赠张徐州谡一首 …… (1674)
古意赠王中书一首 …… (1678)
任彦昇赠郭桐庐一首 …… (1681)
行旅上
潘安仁河阳县作二首 …… (1683)
在怀县作二首 …… (1692)
潘正叔迎大驾一首 …… (1698)
陆士衡赴洛二首 …… (1701)
赴洛道中作二首 …… (1707)
为吴王郎中时从梁陈作一首 …… (1712)
陶渊明始作镇军参军经曲阿作一首 …… (1714)
辛丑岁七月赴假还江陵夜行涂口作一首 …… (1718)
谢灵运初发都一首 …… (1722)
过始宁墅一首 …… (1726)
富春渚一首 …… (1729)
七里濑一首 …… (1733)
登江中孤屿一首 …… (1736)
初去郡一首 …… (1739)
初发石首城一首 …… (1743)
道路忆山中一首 …… (1747)
入彭蠡湖口一首 …… (1750)
入华子岗是麻源第三谷一首 …… (1754)
第二十七卷
诗戊
行旅下

颜延年北使洛一首 …… (1758)
还至梁城作一首 …… (1762)
始安郡还都与张湘州登巴陵城楼作一首 …… (1765)
鲍明远还都道中作一首 …… (1769)
谢玄晖之宣城出新林浦向版桥一首 …… (1772)
敬亭山一首 …… (1775)
休沐重还道中一首 …… (1778)
晚登三山还望京邑一首 …… (1782)
京路夜发一首 …… (1784)
江文通望荆山一首 …… (1787)
丘希范旦发渔浦潭一首 …… (1790)
沈休文早发定山一首 …… (1793)
新安江水至清浅深见底贻京邑游好一首 …… (1795)
军戎
王仲宣从军诗五首 …… (1798)
郊庙
颜延年宋郊祀歌二首 …… (1812)
乐府上
乐府三首 …… (1818)
班婕妤怨歌行一首 …… (1824)
魏武帝乐府二首 …… (1826)
魏文帝乐府二首 …… (1833)
曹子建乐府四首 …… (1839)
石季伦王明君词一首 …… (1852)
第二十八卷
乐府下
陆士衡乐府十七首 …… (1857)
谢灵运乐府一首 …… (1913)

鲍明远乐府八首 …… (1919)
谢玄晖鼓吹曲一首 …… (1948)
挽歌
缪熙伯挽歌一首 …… (1951)
陆士衡挽歌三首 …… (1953)
陶渊明挽歌一首 …… (1963)
杂歌
荆轲歌一首并序 …… (1965)
汉高祖歌一首并序 …… (1967)
刘越石扶风歌一首 …… (1969)
陆韩卿中山王孺子妾歌一首 …… (1974)
第二十九卷
诗己
杂诗上
古诗十九首 …… (1978)
李少卿与苏武诗三首 …… (2011)
苏子卿诗四首 …… (2016)
张平子四愁诗四首并序 …… (2024)
王仲宣杂诗一首 …… (2030)
刘公幹杂诗一首 …… (2033)
魏文帝杂诗二首 …… (2035)
曹子建朔风诗一首 …… (2038)
杂诗六首 …… (2044)
情诗一首 …… (2053)
嵇叔夜杂诗一首 …… (2056)
傅休奕杂诗一首 …… (2059)
张茂先杂诗一首 …… (2062)
情诗二首 …… (2064)

陆士衡园葵诗一首 …… (2068)
曹颜远思友人诗一首 …… (2071)
感旧诗一首 …… (2074)
何敬宗杂诗一首 …… (2077)
王正长杂诗一首 …… (2079)
枣道彦杂诗一首 …… (2082)
左太冲杂诗一首 …… (2086)
张季鹰杂诗一首 …… (2088)
张景阳杂诗十首 …… (2091)
第三十卷
杂诗下
卢子谅时兴一首 …… (2114)
陶渊明杂诗二首 …… (2117)
咏贫士一首 …… (2121)
读山海经一首 …… (2123)
谢惠连七月七日夜咏牛女一首 …… (2125)
捣衣一首 …… (2129)
谢灵运南楼中望所迟客一首 …… (2132)
田南树园激流植援一首 …… (2135)
斋中读书一首 …… (2138)
石门新营所住四面高山回溪
石濑茂林修竹一首 …… (2141)
王景玄杂诗一首 …… (2144)
鲍明远数诗一首 …… (2147)
玩月城西门解中一首 …… (2151)
谢玄晖始出尚书省一首 …… (2155)
直中书省一首 …… (2160)
观朝雨一首 …… (2163)

郡内登望一首 …… (2166)
和伏武昌登孙权故城一首 …… (2169)
和王著作八公山一首 …… (2175)
和徐都曹一首 …… (2180)
和王主簿怨情一首 …… (2182)
沈休文和谢宣城诗一首 …… (2184)
应王中丞思远咏月一首 …… (2188)
冬节后至丞相第诣世子车中作一首 …… (2190)
学省愁卧一首 …… (2192)
咏湖中雁一首 …… (2194)
三月三日率尔成篇一首 …… (2196)
诗庚
杂拟上
陆士衡拟古诗十二首 …… (2200)
张孟阳拟四愁诗一首 …… (2222)
陶渊明拟古诗一首 …… (2224)
谢灵运拟魏太子邺中集八首并序 …… (2226)
第三十一卷
杂拟下
袁阳源效白马篇一首 …… (2254)
效古一首 …… (2259)
刘休玄拟古诗二首 …… (2262)
王僧达和琅邪王依古一首 …… (2267)
鲍明远拟古诗三首 …… (2270)
学刘公干体一首 …… (2277)
代君子有所思一首 …… (2279)
范彦龙效古一首 …… (2282)
江文通杂体诗三十首 …… (2285)

第三十二卷

骚上

屈原离骚一首 …… (2365)

九歌四首 …… (2407)

第三十三卷

骚下

屈原九歌二首 …… (2421)

九章一首 …… (2427)

卜居一首 …… (2434)

渔父一首 …… (2439)

宋玉九辩五首 …… (2443)

招魂一首 …… (2458)

刘安招隐士一首 …… (2484)

第三十四卷

七上

枚叔七发八首 …… (2488)

曹子建七启八首并序 …… (2516)

第三十五卷

七下

张景阳七命八首 …… (2544)

诏

汉武帝诏一首 …… (2578)

贤良诏一首 …… (2580)

册

潘元茂魏公九锡文一首 …… (2583)

第三十六卷

令

任彦昇宣德皇后令一首 …… (2599)

教
傅季友为宋公修张良庙教一首 …… (2604)
修楚元王墓教一首 …… (2608)
文
王元长永明九年策秀才文五首 …… (2610)
永明十一年策秀才文五首 …… (2622)
任彦昇天监三年策秀才文三首 …… (2631)
第三十七卷
表上
孔文举荐祢衡表一首 …… (2639)
诸葛孔明出师表一首 …… (2645)
曹子建求自试表一首 …… (2652)
求通亲表一首 …… (2665)
羊叔子让开府表一首 …… (2674)
李令伯陈情事表一首 …… (2680)
陆士衡谢平原内史表一首 …… (2685)
刘越石劝进表一首 …… (2692)
第三十八卷
表下
张士然为吴令谢询求为诸孙置守塚人表一首 …… (2707)
庾元规让中书令表一首 …… (2714)
桓元子荐谯元彦表一首 …… (2722)
殷仲文自解表一首 …… (2727)
傅季友为宋公至洛阳谒五陵表一首 …… (2731)
为宋公求加赠刘前军表一首 …… (2734)
任彦昇为齐明帝让宣城郡公第一表一首 …… (2740)
为范尚书让吏部封侯第一表一首 …… (2745)
为萧杨州荐士表一首 …… (2757)

为褚谘议蔡让代兄袭封表一首 …… (2765)
为范始兴作求立太宰碑表一首 …… (2768)
第三十九卷
上书
李斯上书秦始皇一首 …… (2776)
邹阳上书吴王一首 …… (2784)
狱中上书自明一首 …… (2792)
司马长卿上书谏猎一首 …… (2807)
枚叔上书谏吴王濞一首 …… (2810)
上书重谏吴王一首 …… (2816)
江文通诣建平王上书一首 …… (2822)
启
任彦昇奉答敕示七夕诗启一首 …… (2830)
为卞彬谢修卞忠贞墓启一首 …… (2834)
上萧太傅固辞夺礼启一首 …… (2837)
第四十卷
弹事
任彦昇奏弹曹景宗一首 …… (2842)
奏弹刘整一首 …… (2850)
沈休文奏弹王源一首 …… (2858)
笺
杨德祖答临淄侯笺一首 …… (2866)
繁休伯与魏文帝笺一首 …… (2873)
陈孔璋答东阿王笺一首 …… (2877)
吴季重答魏太子笺一首 …… (2880)
在元城与魏太子笺一首 …… (2885)
阮嗣宗为郑冲劝晋王笺一首 …… (2890)
谢玄晖拜中军记室辞隋王笺一首 …… (2895)

任彦昇到大司马记室笺一首 …… (2900)
百辟劝进今上笺一首 …… (2903)
奏记
阮嗣宗奏记诣蒋公一首 …… (2908)
第四十一卷
书上
李少卿答苏武书一首 …… (2912)
司马子长报任少卿书一首 …… (2923)
杨子幼报孙会宗书一首 …… (2945)
孔文举论盛孝章书一首 …… (2951)
朱叔元为幽州牧与彭宠书一首 …… (2955)
陈孔璋为曹洪与魏文帝书一首 …… (2961)
第四十二卷
书中
阮元瑜为曹公作书与孙权一首 …… (2970)
魏文帝与朝歌令吴质书一首 …… (2983)
又与吴质书一首 …… (2987)
与钟大理书一首 …… (2993)
曹子建与杨德祖书一首 …… (2997)
与吴季重书一首 …… (3005)
吴季重答东阿王书一首 …… (3010)
应休琏与满公琰书一首 …… (3018)
与侍郎曹长思书一首 …… (3022)
与广川长岑文瑜书一首 …… (3027)
与从弟君苗君胄书一首 …… (3031)
第四十三卷
书下
嵇叔夜与山巨源绝交书一首 …… (3037)

孙子荆为石仲容与孙皓书一首 …… (3051)
赵景真与嵇茂齐书一首 …… (3064)
丘希范与陈伯之书一首 …… (3072)
刘孝标重答刘秣陵诏书一首 …… (3080)
刘子骏移书让太常博士一首并序 …… (3084)
孔德璋北山移文一首 …… (3094)
第四十四卷
檄
司马长卿喻巴蜀檄一首 …… (3104)
陈孔璋为袁绍檄豫州一首 …… (3111)
檄吴将校部曲文一首 …… (3129)
钟士季檄蜀文一首 …… (3148)
司马长卿难蜀父老一首 …… (3156)
第四十五卷
对问
宋玉对楚王问一首 …… (3167)
设论
东方曼倩答客难一首 …… (3170)
杨子云解嘲一首并序 …… (3179)
班孟坚答宾戏一首并序 …… (3194)
辞
汉武帝秋风辞一首并序 …… (3209)
陶渊明归去来一首 …… (3211)
序上
卜子夏毛诗序一首 …… (3216)
孔安国尚书序一首 …… (3224)
杜元凯春秋左氏传序一首 …… (3234)
皇甫士安三都赋序一首 …… (3258)

石季伦思归引序一首 …… (3268)
第四十六卷
序下
陆士衡豪士赋序一首 …… (3271)
颜延年三月三日曲水诗序一首 …… (3283)
王元长三月三日曲水诗序一首 …… (3296)
任彦昇王文宪集序一首 …… (3323)
第四十七卷
颂
王子渊圣主得贤臣颂一首 …… (3354)
杨子云赵充国颂一首 …… (3365)
史孝山出师颂一首 …… (3368)
刘伯伦酒德颂一首 …… (3372)
陆士衡汉高祖功臣颂一首 …… (3376)
赞
夏侯孝若东方朔画赞一首并序 …… (3404)
袁彦伯三国名臣序赞一首 …… (3415)
第四十八卷
符命
司马长卿封禅文一首 …… (3451)
杨子云剧秦美新论一首 …… (3467)
班孟坚典引一首 …… (3486)
第四十九卷
史论上
班孟坚公孙弘传赞一首 …… (3508)
干令升晋纪论晋武帝革命一首 …… (3514)
晋纪总论一首 …… (3517)
范尉宗后汉书皇后纪论一首 …… (3547)

第五十卷

史论下

范蔚宗后汉书二十八将传论一首 …… (3558)

宦者传论一首 …… (3565)

逸民传论一首 …… (3576)

沈休文宋书谢灵运传论一首 …… (3581)

恩幸传论一首 …… (3590)

史述赞

班孟坚汉书述高祖纪赞一首 …… (3598)

述成纪赞一首 …… (3601)

述韩彭英卢吴传赞一首 …… (3602)

范蔚宗后汉书光武纪赞一首 …… (3604)

第五十一卷

论一

贾谊过秦论一首 …… (3608)

东方曼倩非有先生论一首 …… (3618)

王子渊四子讲德论一首并序 …… (3628)

第五十二卷

论二

班叔皮王命论一首 …… (3654)

魏文帝典论论文一首 …… (3669)

曹元首六代论一首 …… (3678)

韦弘嗣博弈论一首 …… (3702)

第五十三卷

论三

嵇叔夜养生论一首 …… (3713)

李萧远运命论一首 …… (3730)

陆士衡辩亡论上下二首 …… (3755)

第五十四卷
论四
陆士衡五等论一首 …… (3790)
刘孝标辩命论一首并序 …… (3813)
第五十五卷
论五
刘孝标广绝交论一首 …… (3845)
连珠
陆士衡演连珠五十首 …… (3866)
第五十六卷
箴
张茂先女史箴一首 …… (3892)
铭
班孟坚封燕然山铭一首 …… (3897)
崔子玉座右铭一首 …… (3901)
张孟阳剑阁铭一首 …… (3903)
陆佐公石阙铭一首 …… (3907)
新刻漏铭一首并序 …… (3922)
诔上
曹子建王仲宣诔一首并序 …… (3932)
潘安仁杨荆州诔一首并序 …… (3942)
杨仲武诔一首并序 …… (3952)
第五十七卷
诔下
潘安仁夏侯常侍诔一首并序 …… (3960)
马汧督诔一首并序 …… (3969)
颜延年阳给事诔一首并序 …… (3982)
陶征士诔一首并序 …… (3991)

谢希逸宋孝武宣贵妃诔一首并序 …… (4002)
哀上
潘安仁哀永逝文一首 …… (4013)
第五十八卷
哀下
颜延年宋文皇帝元皇后哀策文一首 …… (4018)
谢玄晖齐敬皇后哀策文一首 …… (4028)
碑文上
蔡伯喈郭有道碑文一首并序 …… (4038)
陈太丘碑文一首并序 …… (4046)
王仲宝褚渊碑文一首并序 …… (4056)
第五十九卷
碑文下
王简栖头陀寺碑文一首 …… (4089)
沈休文齐故安陆昭王碑文一首 …… (4113)
墓志
任彦昇刘先生夫人墓志一首 …… (4146)
第六十卷
行状
任彦昇齐竟陵文宣王行状一首 …… (4149)
吊文
贾谊吊屈原文一首并序 …… (4182)
陆士衡吊魏武帝文一首并序 …… (4188)
祭文
谢惠连祭古冢文一首并序 …… (4204)
颜延年祭屈原文一首 …… (4210)
王僧达祭颜光禄文一首 …… (4214)

文选全译卷第二十六

赠答四

赠王太常一首

颜延年

【作者】

见卷二十《应诏曲水宴》诗作者介绍。

【题解】

王僧达，南朝宋代文学家。生于宋少帝景平元年(423)，比颜延年小三十九岁，因擅长诗文，颜延年与他为忘年交，感情甚厚，时以诗文相唱和 。这是王初任太常时，颜延年赠给他的一首诗。

颜延年在刘宋时期诗名甚高，与谢灵运比肩，世称颜谢。但他喜爱堆砌典故，刻意雕琢，使不少诗篇板重晦涩，为后世所诟病。清代对“选学”造诣颇深的何义门、孙月峰等学者，对此诗就颇有微词。何曰：“方流、圆折、九泉、丹穴、国华、朝列、邦懋、乡耋，拉杂而至，亦复何趣？”孙曰：“是雕琢语，未入自然。”还说：“玉泉、龙凤等语，尽工丽，第太严重，非诗家本色。”都中肯地指出其堆砌雕琢之弊。但有的语句，如“庭昏见野阴，山明望松雪”，近野先晦，远峰独明，写出郊野夜雪的特色，堪称独绝。

【原文】

玉水记方流①，　璇源载圆折②。
蓄宝每希声③，　虽秘犹彰徹④。
聆龙瞻九泉⑤，　闻凤窥丹穴⑥。
历听岂多工⑦，　唯然觀世哲⑧。
舒文广国华⑨，　敷言远朝列⑩。
德辉灼邦懋⑪，　芳风被乡耋⑫。
侧同幽人居⑬，　郊扉常昼闭⑭。
林闾时晏开⑮，　亟回长者轍⑯。
庭昏见野阴，　山明望松雪。
静惟浃群化⑰，　徂生入穷节⑱。
豫往诚欢歇⑲，　悲来非乐阕⑳。
属美谢繁翰㉑，　遥怀具短札㉒。

【注释】

①玉水：蕴藏碧玉之水。　方流：转弯处成折角往下流。全句意为，古人以为，藏玉之水，其转弯处多成折角。

②璇源：藏有珍珠的流水。璇（xuán 旋）：美玉名，此指珍珠。李善注引《尸子》曰："凡水，其方折者有玉，其圆折者有珠也。"　圆折：转弯处成弧形。

③希声：极细微的声音。《老子》："大器晚成，大音希声"。

④虽秘句：李周翰曰："喻君子之道暗而彰也。"又，李善注引《左传》："君子曰："若险危大人，而有名彰徹也。"

⑤聆龙：听到龙吟。　瞻（qì 气）：视，察。稽康《琴赋》："明嫺瞻惠。"　九泉：犹九渊。泛指深潭。《晋书·皇甫谧传》："龙潜九泉，磊然执高。"又李善注引《庄子》曰："夫千金之珠，必在九重之泉，骊龙颔下。"　五臣本"九泉"作"九渊"。

⑥闻凤：听到凤鸣。　丹穴：山名。《山海经·南山经》："又东五百里曰丹

穴之山，其上多金玉，丹水出焉，西南流注于渤海。”又李善注引《山海经》曰：“丹穴之山有鸟焉，其状如鹤，五采，名曰凤鸟。”

⑦历听：普遍倾听。　工：巧妙。工，六臣本作“士”。

⑧觀(gòu 构)同“遘”。遇见。　世哲：五臣作“时哲”。当世之圣哲。

⑨舒文：舒展文词，从事著作。李善注引王逸《楚辞注》曰：“发文舒词，烂然成章。”　国华：国之精华。李善注引《国语》：“季文子曰：‘吾闻以德荣为国华。’”

⑩敷言：铺叙语言。　远朝列：远播国朝的伟业。　列：通“业”。《尔雅》曰：“列，业也。”

⑪德辉：品德的光辉。《礼记》曰：“德辉动乎内，而人莫不承听。”　灼(zhuó 酌)：鲜明，光盛貌。　懋(mào 茂)：盛大。通“茂”、“楙”。

⑫芳风：道德的清芬。　被：覆盖。　耋(dié 迭)：老。《诗·秦风·车邻》：“逝者其耋。”　毛传：“耋，老也，八十曰耋。”

⑬幽人：隐士。

⑭扉(fēi 非)：门扇。郊扉，此指颜延年在郊外别墅的门。

⑮林闾：野外的里门。林，此指野外。《尔雅》：“野外谓之林。”闾，里巷的大门。

⑯亟(qì 气)：屡次。《左传·隐公元年》：亟请于武公，公弗许。”　轍：车轮痕迹。此代指车。

⑰惟：思想。　浃(jiá 夹)：深入沾润。《汉书·礼乐志》：“于是教化浃洽。”

⑱徂(cú 粗阳平)：往，到。　穷节：晚节。一说暮年。

⑲豫往：乐往，以回忆往事为乐。豫，快乐，安适。　欢歇：欢乐已结束。

⑳乐阕：李善注：“《淮南子》曰：‘奏乐而喜，曲终而悲。’郑玄《礼记注》曰：‘阕，终也。’”

㉑属美：连属叙述其美。　谢：拒，不能。　繁翰：繁词之翰。

㉒遥怀：遥远的怀念。　具短札：详细写入短书中。指此诗中。

【译文】

河中有玉水流转角成方，
河中有珠水流转角为圆。

怀宝人虽常是沉默寡言，
再深隐依然会誉满人间。
听龙吟人们将察看深潭，
闻凤鸣会窥探丹穴之山。
普遍听俗人言岂能多智，
惟有去请教那睿哲英贤。
你撰文极宣扬国之精华，
将朝廷的业绩传广播远。
你品德的光辉耀遍大邦，
布清芬上闻于乡里老年。
我忝居于朝列形同隐居，
别墅门如虚设昼也常关。
再加上乡里门开得也晚，
来访者常常是不见而还。
入夜后田野间一片昏暗，
望远处却明亮松立雪山。
宁静中只想到深入教化，
保晚节一直到垂暮之年。
乐往事只说明欢乐已尽，
悲目前不因为乐曲奏完。
赞君美我无能笔下生花，
将远念详写进短诗中间。

（顾绍炯　译注）

夏夜呈从兄散骑车长沙一首

颜延年

【题解】

颜散骑，字敬宗；车长沙，字仲远。颜延年与他们的亲情友谊，均颇深厚。此为其在夏末之夜怀念二人所写的一首诗。

这首诗的最大特点是将怀念之情寄寓在对自然景物和生活细节的描绘上。如“侧听风薄木，遥睇月开云”，从听风声、看月移表现出当时幽静孤寂的情景。从“夜蝉当夏急，阴虫先秋闻”的物候变化，引起诗人“岁候初过半，荃蕙岂久芬”的迟暮之感。既含蓄深沉，也明晓易懂，较之他那些堆砌典故，雕琢晦涩之作颇不相同。

【原文】

炎天方埃郁①，　暑晏阕尘纷②。
独静阙偶坐③，　临堂对星分④。
侧听风薄木⑤，　遥睇月开云⑥。
夜蝉当夏急⑦，　阴虫先秋闻⑧。
岁候初过半⑨，　荃蕙岂久芬⑩？
屏居恻物变⑪，　慕类抱情殷⑫。
九逝非空思⑬，　七襄无成文⑭。

【注释】

①炎天：夏日。又，李善注引《淮南子》曰："南方曰炎天。" 方：正值。《广雅》曰："方，正也。" 埃郁：尘埃弥漫。又，何义门曰："埃当作'焱'。《广韵》：'焱，热甚。'宋本误作'埃'。"

②暑晏：夏末。晏，晚，末。 阕：停息，静止。 尘纷：灰尘纷纷。

③阙偶坐：无人与己对坐。偶，相对。

④星分：观星象来判断夜晚的时辰。《周礼》："以星分夜。" 疏："若今时观参辰知夜早晚。"于光华注曰："所对者唯星，则无侣可知，引入怀人之意。"

⑤薄：李善注引孔安国《尚书传》曰："薄，迫也；亦激之意也。"

⑥睇(dì 第)：流盼，斜视。屈原《九歌·山鬼》："既含睇兮又宜笑，子慕予兮善窈窕。"

⑦夜蝉句：李善注引《礼记》曰："仲夏之月，蝉始鸣。"

⑧阴虫：指蟋蟀。李善注引《易·通系·卦》曰："蟋蟀之虫，随阴迎阳。"

⑨初过半：刚过去一半。

⑩荃蕙：皆香草。

⑪屏(bǐng 丙)居：隐居。《史记·魏其侯传》："孝景三年，栗太子废，……魏其谢病，屏居蓝田南山之下数月。" 恻(cè 测)：凄怆，伤感。《易·井》："为我心恻。" 物变：景物变化。

⑫慕类：思念亲朋。类，同类，指志同道合的亲属友人。此指颜敬宗、车仲远二人。 殷：深。

⑬九逝：指梦魂一夜往返九次，极言思念之深。屈原《九章·抽思》："唯郢路之辽遥兮，魂一夕而九逝。"

⑭七襄：谓七次移动位置。《诗·小雅·大东》："跂彼织女，终日七襄；虽则七襄，不成报章。" 郑玄笺："襄，驾也；驾，谓更其肆也。从旦至暮七辰，辰一移，因谓之七襄。"肆，谓星辰所舍，即星次；旧时一昼夜分几时辰，通常以自卯至酉为昼，共七个时辰，每时辰移动一次，故曰："七襄"。颜延年在此反用《大东》"七襄"句意，言自己思亲念友，心魂往返两地，故著作"无成文也。"

【译文】

盛夏时处处飞浓埃厚尘，

到夏末才不见尘埃纷纷。
静夜中我独坐相伴无人，
临堂前只看见闪烁明星。
侧耳听清凉风吹响树林，
举目望天边月冲开暮云。
夏夜中蝉在噪调高声急，
秋未到已传来蟋蟀鸣声。
年光流四季转将近一半，
荃与蕙怎么能久播清芬？
隐居中有感于景物变化，
想亲人念友朋忧思深沉。
一夜中我心魂往返九次，
成天里再难以写诗为文。

（顾绍炯　译注）

直东宫答郑尚书一首

颜延年

【题解】

这是颜延年在东宫值宿时写给郑鲜之的一首诗。

郑鲜之，字道子。仕晋为御史中丞。性刚直不阿，且通达坦率，在帝坐前言无所隐，人甚敬惮。入宋后，武帝任为太常都官尚书，此

时颜延年为太子舍人，两人情好笃密，时以诗相唱和。这是颜延年在东宫值宿时，接到郑鲜之赠诗后作答的一首诗。

全诗分三部分：先写对郑的思念；次写值宿东宫时的情景；末写读罢郑诗后的感受。感情真挚，词语晓畅，且能将深切感情寄寓于对自然景物和自己行动的细节描写之中，与其它典重繁缛之作有所不同，故颇为人称道。

【原文】

皇居体寰极①，　设险祗天工②。
两闱阻通轨③，　对禁限清风④。
跂予旅东馆⑤，　徒歌属南墉⑥。
寝兴郁无已⑦，　起观辰汉中⑧。
流云蔼青阙⑨，　皓月鉴丹宫⑩。
踟蹰清防密⑪，　徙倚恒漏穷⑫。
君子吐芳讯⑬，　感物恻余衷⑭。
惜无丘园秀⑮，　景行彼高松⑯。
知言有诚贯⑰，　美价难克充⑱。
何以铭嘉贶⑲？　言树丝与桐⑳。

【注释】

①皇居：帝王所居，即皇宫。　体：象。　寰极：指众星环绕北极。张衡《西京赋》："若夫长年、神仙、宣室、玉堂、麒麟、朱鸟、龙兴、含章，譬众星之环极。"李善注："极，北极也。环，犹绕也。言宫观、台榭、楼阁之周于正殿，如众星之绕北极也。"寰：通"环"。

②设险：张铣曰："设险，谓禁卫也。"　祗：敬也。　工：官也。

③闱：皇宫内后妃及太子居处。《后汉书·皇后纪序》："后正位宫闱，同体天王。"　通轨：通道。

④禁：宫殿门户皆设禁，故称禁中。对禁：因各有禁守，故曰对禁。

⑤跂(qǐ 企):踮起脚尖盼望。通“企”。《诗·卫风·河广》:“谁谓宋远,跂予望之。” 东馆:东宫值宿之馆。

⑥徒歌:民谣。《尔雅》曰:“徒歌曰谣。” 属:李善注引郑玄《仪礼注》曰:“属,注也。谓意注之也。” 南墉:李善注:“尚书为中台,在南,故曰南墉。”

⑦寝兴:睡与起。 郁:内心郁结,不舒散貌。

⑧辰:星辰。李善注引《尔雅》:“大辰,房心尾也。” 汉:银河。

⑨蔼:此用为动词,笼罩。 阙:古代宫殿、祠庙和陵墓前的高建筑物,通常左右各一,建成高台,台上起楼观。以两阙之间有空阙,故名阙或双阙。

⑩鉴:照耀。《广雅》曰:“鉴,照也。”

⑪清防:于光华注:“屏风也。” 密:《尔雅》曰:“静也。”

⑫徙倚:站立。《世说新语·忿狷》:“王令(献之)诣谢公(安),值习凿齿已在坐,当与并榻,王徙倚不坐。” 恒漏:指漏壶。古代计时器。

⑬芳讯:指郑鲜之赠给颜延年的诗。

⑭物:指郑鲜之诗中之内容。

⑮惜无二句:可惜山林中缺乏秀士,他人难以学到你那高松般的节操。丘园秀:隐居山林田园的秀士。 秀:秀士。郑玄曰:“秀士,有德行道艺者也。”

⑯景行:原意为远路。《诗·小雅·车辖》:“高山仰止,景行行止。”高山仰视得见,远路行走得到。此用为动词,遵行,学习。

⑰知言:知你诗中之言。 诚贯,诚意所贯。

⑱克充:抵偿。两句意为,你诗中所贯串的诚意无比珍贵,愧我不能承当诗中之赞美。

⑲铭:铭记。 贶(kuàng 况):赐与,馈赠。《诗·小雅·彤弓》:“我有嘉宾,中心贶之。” 传:“贶,赐也。”

⑳树丝桐:播之于琴瑟之类的乐器。

【译文】

宫庭像群星绕北极星辰,
禁卫敬若百官北面朝圣。
从东宫去中台道路不通,
门相对禁卫严清风难进。

值宿于东馆中举踵难望，
口唱谣心思念南墉之人。
夜就寝夙兴起都很郁闷，
只能看天空中银河星辰。
观流云笼罩着青色双阙，
望皓月照耀着红色宫庭。
徘徊在屏风边无比寂静，
伫立着直听到漏壶滴尽。
在白天接到你寄的诗篇，
诗中情感动了我的衷心。
只可惜山林中缺乏秀士，
难学到高山松节操凌云。
我深知赤诚意贯注全篇，
对于我好比那无价奇珍。
将怎样铭记这美好馈赠？
我决定播之于清幽弦琴。

（顾绍炯　译注）

和谢监灵运一首

颜延年

【题解】

此诗是颜延年在宋文帝元嘉三年(426)为和谢灵运《还旧园》之诗而作。

宋武帝刘裕于永初元年(420)代晋为帝,仅三年就因病去世。少帝刘义符即位后因年轻无知,佞臣徐羡之等乘机专权乱政,将才能卓越的颜延年、谢灵运等排挤出朝,远守外郡;擅杀聪颖有才的卢陵王刘义真,并废少帝为庶人而弑之,使刘宋王朝陷于混乱之中。元嘉元年(424)宋文帝刘义隆即位,诛杀徐羡之、徐晦等乱臣,并于元嘉三年召回颜延年任中书侍郎,谢灵运为秘书监,国家重新稳定。颜延年在此诗中叙述了这次政治危机和个人遭遇,并表达了对与自己命运相同的谢灵运的怀念。由于内容充实,感情真挚,语言也较其它典重雕琢之诗为明晓,故何焯评为"颜诗中最为清新之作。"

【原文】

弱植慕端操①, 窘步惧先迷②。
寡立非择方③, 刻意藉穷栖④。
伊昔遘多幸⑤, 秉笔侍两闺⑥。

虽惭丹雘施⑦，未谓玄素睽⑧。
徒遭良时诐⑨，王道奄昏霾⑩。
人神幽明绝⑪，朋好云雨乖⑫。
吊屈汀洲浦⑬，谒帝苍山蹊⑭。
倚岩听绪风⑮，攀林结留荑⑯。
跂予间衡峤⑰，曷月瞻秦稽⑱？
皇圣昭天德⑲，丰泽振沉泥⑳。
惜无雀雉化㉑，何用充海淮㉒。
去国还故里㉓，幽门树蓬藜㉔。
采茨葺昔宇㉕，翦棘开旧畦㉖。
物谢时既晏㉗，年往志不偕㉘。
亲仁敷情昵㉙，兴赋究词凄㉚。
芬馥歇兰若㉛，清越夺琳圭㉜。
尽言非报章㉝，聊用布所怀㉞。

【注释】

①弱植：少年，体质尚弱时。植通“质”。一说，意志薄弱。植通“志”。李善注引《左传》：“郑子产如陈，曰：‘陈，亡国也，其君弱植。’王逸《楚辞》注曰：‘植，志也。’” 端操：操行端方正直。

②窘步：步履窘迫、缓慢。屈原《离骚》：“夫唯捷径以窘步。”汪瑗《楚辞集解》：“谓不由正道而所行蹙迫，多踣仆之虞也。” 迷：指迷路。李善注引《周易》曰：“先迷失道，后顺得常。”

③方：李善注引孔安国《论语注》曰：“方，道也，谓常道也。”

④刻意：克制意欲。《后汉书·党锢传序》“夫刻意则行不肆，牵物则其志流。” 栖：李善注引韦昭《国语注》曰：“山处曰栖。”

⑤遘：遭，逢。 幸：恩幸。

⑥两闺：李善注：“谓上台及东宫。”即指 宋武帝刘裕及其太子刘义符。闺：宫中小门。《尔雅·释宫》：“宫中之门谓闱，其小者谓之闺。”此代指两宫。

⑦丹臒(huò 获):红色的涂漆。此喻君恩。

⑧玄素:黑白。 睽(kúi 葵):违背,不合。陆倕《新刻漏铭》:"又可以校运算之睽合,辨分天之邪正。"

⑨诐(bì 币):偏颇,邪僻。《孟子·公孙丑》:"诐辞知其所蔽。"又,李善注引《苍颉篇》曰:"诐,谄佞也。"

⑩奄:急遽,忽然。李善引《苍颉篇》曰:"奄,遽也。" 昏霾(mái 埋):天昏地暗,此喻乱世,指宋少帝之时。李善注:"昏霾,喻世乱也。" 霾:大风杂尘土而下。

⑪人神句:李善注曰:"言时乱不获祭享也。"

⑫云雨乖:云分雨散。此喻好友分离。张载《咏怀》诗:"云乖雨散,心乎怆尔。" 乖:分离。

⑬吊屈:凭吊屈原。颜延年出任始安(今广西桂林市)太守,路过汨罗,有感而作《祭屈原文》。 汀:水边或水中平地。

⑭谒帝:祭拜帝舜。 苍山:苍梧之山,即九嶷山。这两句言颜延年出任为始安太守,路经汨罗、九嶷之事。

⑮绪风:冬天余寒未尽之风。屈原《九章·涉江》:"欸秋冬之绪风。"

⑯留荑:香草。屈原《离骚》:"畦留夷与揭车兮。" 王逸注:"留夷,香草也。"

⑰跂:翘踵而视貌。 衡:衡山。在今湖南省衡山县西。山势雄伟,有72峰,以祝融、天柱、芙蓉、紫盖、石廪五峰为著。 峤(jiào 轿):尖而高的山。《尔雅》曰:"山锐而高曰峤。"

⑱秦稽:即会稽山,在浙江绍兴县东南。相传禹会诸侯于江南计功,故名。秦始皇曾登此山望南海,故曰秦稽。因谢灵运虽被召为秘书监尚未就任,仍在会稽始宁县隐居,故以会稽山代指灵运。

⑲皇圣:谓宋文帝刘义隆。 天德:李善注引《孙卿子》曰:"变化代兴,谓之天德。"

⑳丰泽:大泽。 振:李周翰曰:"振,起也。起沉泥,谓诛徐而征己也。"

㉑雀雉化:李善注引《国语》曰:"赵简子叹曰:'雀入于海为蛤,雉入于淮为蜃。'"

㉒充:李善注引郑玄《礼记注》曰:"充,足也。"

㉓去国:离开始安。 国:作城邑解,此指始安城。

㉔藜：草名，又名莱，初生可食，茎老可作杖。

㉕茨(cí 词)：用来盖屋顶的芦苇、茅草。《诗·小雅·甫田》："如茨如梁。"郑玄笺："茨，屋盖也。" 葺：修整。

㉖畦：李善注引刘熙曰："今俗以二十五亩为小畦。"

㉗晏：晚。

㉘年往句：李善注曰："言年既日往，志意已衰，不与子偕也。"

㉙亲仁：指谢灵运。

㉚兴：李善注引《说文》曰："兴，悦也，玩爱也。" 词凄：谓灵运所赠之诗情辞凄切。原文为"辞栖"，从汲古阁本校改。

㉛芬馥：言香气浓郁。 歇：停歇。 兰若：兰草和杜若，皆为香草。

㉜清越：言声音清脆悠永。 琳圭：皆美玉。

㉝报章：酬答别人的诗文或书信。

㉞聊：姑且。

【译文】

少年时就钦羡节操不凡，
怕迷路我前进步履缓慢。
孤独处并非我立身之道，
为克制意与欲才栖穷山。
入仕初我曾经多蒙恩幸，
手执笔侍候于两宫之间。
虽惭愧君恩重难以回报，
未料到黑与白颠倒错乱。
清明世竟遭到谄佞破坏，
王道土忽变得天昏地暗。
无祭祀人与神幽明隔断，
世道乱众友好云分雨散。
我外放过汨罗凭吊屈原，
又行经九嶷山把舜祭奠。

倚危岩倾听那秋冬烈风，
攀密林采留荑结于襟前。
登上那衡山尖翘踵遥望，
何年月才能见会稽名山？
圣明主昭示了变革天意，
把沉泥翻起于大泽深潭。
可惜我不会象雀雉幻化，
入大海投淮河一无贡献。
离始安回到了旧日家园，
将蓬蒿和蒺藜种于门边。
采茅草和芦苇修补老屋，
斩荆棘重开垦荒芜旧田。
花已谢草已枯时序已晚，
年岁老壮志消不同往年。
亲密的仁智士抒写衷情，
细品味深鉴赏情词凄然。
诗清芬使兰若失去浓香，
诗高韵使琳圭消逝清响。
我所写算不得酬和诗章，
仅仅是表达我深切怀想。

（顾绍炯　译注）

答颜延年一首

王僧达

【作者】

王僧达(423～458),南朝宋文学家。琅玡(今山东临沂北部)人。少好学,善诗文。文帝时,历任始兴王参军、太子舍人、宣城太守。太子刘劭作乱,他奔赴浔阳。孝武帝即位,任他为尚书右仆射,加征虏将军,后出为吴郡太守,又入为太常卿。但他仍感不得志,上表求解职,其言不逊,遂免官。大明元年(457)迁左卫将军,领太子中庶子,二年,迁中书令。王僧达自负才气,以不得宰相为恨;加以狂傲不羁,屡忤上意,终因高阖谋反事,被诬下狱赐死。其诗雕琢藻饰,典故较多,与颜延年诗相似,时人颇为赞赏。作品以《答颜延年》、《和琅玡王依古》、《祭颜光禄文》较为著名。钟嵘《诗品》评曰:"征虏卓卓,殆欲度骅骝前。"原有集十卷,已佚。

【题解】

刘宋孝武帝建元年间,王僧达由吴郡太守入朝为太常卿,主管祭祀礼乐。颜延年曾作《赠王太常》一诗,他作此诗以答。

诗中首先盛赞颜延年的道德文章,接着叙述彼此间的真诚友谊。颜延年长于王僧达近40岁,但友情深厚,世所罕见。诗中赞颜"结游略年义,笃顾弃浮沉",实属难得;回忆他们"寒荣共偃仆,春酝时献斟",更亲切而有风趣;在春游时的写景句如"轻云出东岑"、

“杨园流好音”，也清新明丽。较之王僧达其它铺排典故、刻意雕饰的作品来看，这首诗不愧为其代表作品。

【原文】

长卿冠华阳①，　仲连擅海阴②。
圭璋既文府③，　精理亦道心④。
君子耸高驾⑤，　尘轨实为林⑥。
崇情符远迹⑦，　清气溢素襟⑧。
结游略年义⑨，　笃顾弃浮沉⑩
寒荣共偃曝⑪，　春酝时献斟⑫
聿来岁序暄⑬，　轻云出东岑⑭。
麦垄多秀色⑮，　杨园流好音⑯。
欢此乘日暇⑰，　忽忘逝景侵⑱。
幽衷何用慰⑲，　翰墨久谣吟⑳。
栖凤难为条㉑，　淑贶非所临㉒。
诵以永周旋㉓，　匣以代兼金㉔。

【注释】

①长卿：司马相如，字长卿。　华(huà 华去声)：古地区名，因在华山之阳得名。李善注引《华阳国志》曰：“益州地称天府，原曰华阳。”

②仲连：鲁仲连。战国时齐人。高蹈不仕，喜为人排难解纷，功成不受酬。　海阴：水南称阴，此指渤海之南。

③圭璋：喻美德、佳文。魏文帝《与钟大理书》：“良玉比德君子，圭璋见美诗人。”

④精理：精微之道理。　道心：至道之心。李善注此上二句曰：“言圭璋之丽，既光于文府；精理之妙，亦穷于道心。”

⑤君子：喻颜延年。耸高驾：纵驰大车高马。

⑥尘轨：世俗的道路。　尘：世俗。《老子·四》：“和其光，同其尘。”　轨：

道路。

⑦崇惰:崇高的情怀。 远迹:指昔贤之行为举止。

⑧素襟:犹言本心。谓颜延年清淑之气自盈于本心。

⑨结游:结交。 略年义:指颜延年老耋而王僧达年少,结为好友。

⑩笃(dǔ 赌):深厚。《宋史·苏辙传论》:"辙与兄进退出处无不相同,患难之中,友爱弥笃。" 浮沉:喻得志和失意。

⑪寒荣:寒冷的屋南檐下。荣,李善注:"郭璞《上林赋》注曰:'荣,屋南檐也。'" 共偃曝:李善注引《桓子新论》曰:"余与杨子云奏事,坐白虎殿廊庑下,以寒故,背日曝焉。"

⑫春酝(yùn 运):春天酿酒。曹植《酒赋》曰:"或秋藏冬发,或春酝夏开。"

⑬聿(yù 域)来:语助词,无义。《诗·大雅·绵》"聿来胥宇",胥宇,察看住处。聿来无义。 暄(xuān 宣):暖和。

⑭岑(cén 涔):小而高的山。

⑮垄(lǒng 拢):田埂。李善注:"魏文帝《登城赋》曰:"嘉麦被垄。" 秀:此指麦苗青翠美好貌。《广雅》曰:"秀,美也。"

⑯杨园:杨柳园。 好音:指黄莺一类雀鸟叫声。李善注引《毛诗》曰:"间关黄鸟,载其好音。"

⑰暇:闲暇。

⑱侵:李善注:"言人寿不留,与景俱逝,而寿损侵,谓之侵。" 一说:侵通"骎",骎骎,马行疾貌。此喻日光迅速逝去。

⑲幽衷:幽寂的心情。

⑳翰墨:笔墨,指文辞。曹丕《典论论文》:"古之作者,寄身于翰墨,见意于篇籍。" 翰:毛笔。

㉑栖凤:凤非梧桐不栖,暗喻人才与职位应相称。 难为条:言桐枝不易得。以凤栖寻常树,喻人才处下位。王僧达志在为宰相,对为太常卿有任非其位之感。

㉒淑贶(kuàng 况):美好的赠言。 贶:赐予、赠予。 非所临:不是自己办得到的。认为只有宰相才能使自己品德的光辉普耀全国,使自己操行的清芬遍及老少,作为太常,只管礼乐祭祀,是起不到这种作用的。

㉓周旋:接触,打交道,《韩非子·解老》:"夫道以与世周旋者,其建生也长,持禄也久。"此谓吟诵品味。

㉔匣：作动词，珍藏于匣中。　兼金：价值倍于寻常的精金。

【译文】

像长卿文章美华阳称冠，
像仲连风格高誉满海南。
您诗文如圭璋光耀文坛，
精事理堪称为道德规范。
更敬您行程远马高车大，
与长卿和仲连同行结伴。
情操高志向远璧合珠联，
有清芬洋溢于胸怀之间。
您与我结成了忘年之交，
眷顾深且不论富贵贫贱。
寒冷的南檐下共晒太阳，
春酿酒夏发时举杯同干。
岁月流又已经花开春暖，
有轻云飘出于东方高山。
田埂下麦苗秀一片青翠，
黄莺声流出了杨柳芳园。
乘暇日赏春景极乐尽欢，
忘记了流光去永不回还。
用什么安慰我幽寂心灵？
久久地吟诵您所赠诗篇。
栖凤的佳树枝难以挑选，
您诗意太美好我难比肩。
我将会永远地吟诵品味，
如精金珍藏于锦匣中间。

（顾绍炯　译注）

郡内高斋闲坐答吕法曹一首

谢玄晖

【作者】

见卷二十《新亭渚别范零陵》作者介绍。

【题解】

这是谢朓任宣城太守时写给吕僧珍的一首诗。吕僧珍此时为齐王府法曹，与谢朓交谊颇深，曾致函问候谢朓，谢作此诗回答。

诗中描绘了宣城景色和自己在此的生活情趣，表示对吕僧珍的怀念，还流露了一同归隐的愿望。其中景色描绘萧疏淡远，富有情致。清人邵子湘读此篇后曰："宣城得康乐之灵秀，而变以轻清，令人心怡神旷。"

【原文】

结构何迢递①，　旷望极高深②。
窗中列远岫③，　庭际俯乔林④。
日出众鸟散，　山暝孤猿吟。
已有池上酌⑤，　复此风中琴⑥。
非君美无度⑦，　孰为劳寸心⑧。
惠而能好我⑨，　问以瑶华音⑩。

若遗金门步⑪， 见就玉山岑⑫。

【注释】

①结构：李善注："谓结连构架，以成屋宇也。"此指屋宇。 迢递：高貌。《水经注·洛水》："迢递层峻，流烟半垂。"

②旷望：远望。 极：尽。 高深：高山深水。指江山。

③岫(xiù 秀)：峰峦。

④乔林：高深的树林。

⑤池上酌：饮于池上。

⑥风中琴：风拂物声如琴。

⑦美无度：美极。

⑧劳寸心：指深切想念。

⑨惠：《尔雅》："爱也。"《诗·邶风·北风》："惠而好我，携手同行。"

⑩问：馈赠。《诗·郑风·女曰鸡鸣》："知子之顺之，杂佩以问之。" 瑶华音：玉花般美好的声音。指吕法曹赠谢朓的诗篇。 瑶：美玉。 华：同"花"。

⑪遗：离开。《抱朴子·博喻》："箕叟以遗世得意。" 金门：金马门。代指朝堂。

⑫玉山岑：李善注引《穆天子传》曰："癸巳，至群玉之山，容氏所守，先王之谓册府。"又引郭璞曰："即《山海经》玉山，西王母所居者。"

【译文】

这屋宇地势高难与比并，
放眼望可看遍山高水深。
窗口中排列着遥远峰峦，
前庭边可俯瞰深广树林。
日出时看云际众鸟飞散，
黄昏后听深山孤猿哀鸣。
独坐在池塘边自酌自饮，
静听着风吹树响若鸣琴。

不因你内心美无言可喻，
怎会让长思念萦绕我心。
感谢你对于我情深意厚，
远送来珍贵的问候之音。
有一天如果能离开金门，
相见处将是那玉山之顶。

（顾绍炯　译注）

在郡卧病呈沈尚书一首

谢玄晖

【题解】

这是谢朓在宣城（今安徽宣城县）任太守时写给尚书令沈约的一首诗。

诗中主要是写其在宣城郡高卧而治，政绩斐然的情况。以突出自己的政治才能，并抒发对沈约的深切怀念。作为赠答诗，其思想性一般；但对生活状况的描述，却写得清畅自然，富有情致。何义门评此诗说："出笔清迥，一洗板重之气，故佳。"

【原文】

淮阳股肱守①，　高卧犹在兹②。
况复南山曲③，　何异幽栖时④？

连阴盛农节⑤，　籉笠聚东菑⑥。
高阁常昼掩，　荒阶少诤词⑦。
珍簟清夏室⑧，　轻扇动凉飔⑨。
嘉鲂聊可荐⑩，　渌蚁方独持⑪。
夏李沉朱实，　秋藕折轻丝。
良辰竟何许⑫？　夙昔梦佳期。
坐啸徒可积⑬，　为邦岁已期⑭。
弦歌终莫取⑮，　抚机令自嗤⑯。

【注释】

①股肱(gōng 公)守：重要地区的太守。股肱，大腿和胳膊。以喻守郡之重要。指宣城郡对拱卫京师起重要作用。

②高卧：高卧而治。

③南山曲：指宣城郡。以郡在山曲也。

④幽栖：隐居。

⑤盛农节：农忙季节。

⑥籉（tái 台）：笠的一种，古作臺。《诗·小雅·都人士》："彼都人士，臺笠缁撮。"　传："臺所以御暑，笠所以御雨也。"　菑（zī 资）：初耕的田地。《尔雅·释地》："田一岁曰菑。"

⑦诤(zhēng 争)：争夺，纷争。通"争"。《战国策·秦策》："有两虎诤人而斗者。"注"一作争。"　诤词：诉讼之词。

⑧簟(diàn 垫)：竹簟。

⑨飔(sī 思)：凉风。

⑩鲂(fáng 妨)：鱼名，一名鳊鱼。《诗·陈风·衡门》："岂其食鱼，必河之鲂？"　聊：略。　荐：进。

⑪渌蚁：美酒名。　方：且。

⑫良辰二句：李善注："言会面良辰，竟在何许，而令夙昔空梦佳期。"

⑬坐啸：闲坐吟啸。《后汉书·党锢传序》曰："南阳太守岑公孝，弘农成晋但坐啸。"

⑭期：一周年。

⑮弦歌：指百姓安居乐业，教化有成。

⑯抚机 ：抚摸小桌。机，通“几”。古代供人依凭的小桌。 嗤(chī 吃)：嗤笑，讥笑。

【译文】

股肱般重要的淮阳郡守，
高卧着理政事留在宣城。
更何况宣城郡水曲山弯，
何异于当隐士幽栖山林？
连绵的阴雨天农忙季节，
满田是戴笠人忙于春耕。
州府门大白昼经常掩闭，
法庭前很少闻诉讼之声。
爱竹席只因为夏天已至，
轻摇扇顿觉得凉风渐生。
鲂鱼味都称美略为进用，
渌蚁酒皆言香姑且独饮。
清溪中洗夏李朱果浮沉，
荷塘边折秋藕白丝轻盈。
相见的好日子何时可至？
思念深早梦到佳期来临。
闲坐堂吟诗章日复一日，
为太守到今朝一周年整。
满郡的弦歌声无人珍视，
独倚着小凭桌讥笑自身。

（顾绍炯 译注）

暂使下都夜发新林至京邑赠西府同僚一首

谢玄晖

【题解】

南朝齐武帝时，随王萧子隆镇荆州。由于萧子隆爱好辞赋，任谢朓为随王府文学，对谢非常器重，但因长史王秀之的忌恨，向齐武帝进谗言，于是谢朓被召还都。谢朓对此极为愤懑，虽回京城，但心怀西都，写此诗寄给西府同僚，诗中表达了留恋不舍的情意，最后部分表现了对王秀之之流的强烈愤慨。全诗沉郁慷慨，音韵铿锵，脍炙人口。孙月峰云："此玄晖最有名诗，音调最响，造语最精峭。首二句昔人谓压千古，信然。"何义门也说："如此沉郁顿挫，固是压卷之作。"题中"暂使下都"，是指奉命在随王府任短期文学之事。"下都"，指荆州，因其是藩国都城，故称。"新林"，在南京市西南。此诗是写从新林到建业最后一段行程中的所见和所感。

【原文】

大江流日夜①，　客心悲未央②。
徒念关山近③，　终知反路长④。
秋河曙耿耿⑤，　寒渚夜苍苍⑥。
引领见京室⑦，　宫雉正相望⑧。

金波丽鸡鹊⑨，　玉绳低建章⑩。
驱车鼎门外⑪，　思见昭丘阳⑫。
驰晖不可接⑬，　何况隔两乡⑭。
风云有鸟路⑮，　江汉限无梁⑯。
常恐鹰隼击⑰，　时菊委严霜⑱。
寄言罻罗者⑲，　寥廓已高翔⑳。

【注释】

①大江：指长江。

②未央：不尽，不止。央，尽。《诗·小雅·庭燎》："夜如何其？夜未央。"这两句是倒喻，"大江流日夜"是喻体，"客心悲未央"是本体，意思是说，自己心中的悲愤像江水那样奔流不止。

③关山：这里指建业的关山。即是建业的城郊。

④反路：指回荆州的路。反，同"返"。两句是说，虽然离建业的路近了，但是回荆州的路却远了。

⑤秋河：指秋天的银河，此代秋空。　耿耿：天微明貌。

⑥苍苍：深青色。

⑦引领：伸颈，举首远望。引，伸。领，颈。《孟子·梁惠王》："今夫天下之人牧，……如有不嗜杀人者，则天下之民皆引领而望之矣。"胡克家本为"引顾"，今从汲古阁本校改。　京室：指建业。

⑧宫雉：宫墙。雉，雉堞，即城上排列如齿状的矮墙。两句说：在天色微明中远看建业，宫墙已经在望了。

⑨金波：指月光。　丽：附丽。此意为"照在……之上。　鸡(zhī 支)鹊：汉代观名，在云阳甘泉宫外。此借指齐都建业的台观。

⑩玉绳：星名。李善注引《春秋元命苞》曰："玉衡北两星为玉绳。"　建章：汉代宫名，此借指建业的宫殿。　低：使动。使玉绳低，极言建章高也。

⑪鼎门：指建业的南门。李善注引《帝王世纪》："成王定鼎于郏鄏(jiá rǔ 夹辱)，其南门名定鼎门，盖九鼎所从入也。"因此后世以鼎门称南门。

⑫昭丘阳：昭丘的南面。　昭丘：楚昭王墓。李善注："《荆州图记》曰：'当

阳东有楚昭王墓。'"

⑬驰晖:李善注曰:"驰晖,日也。朓《至浔阳》诗曰:'过客无留轸,驰晖有奔箭。'"此指日光。 接:近。

⑭两乡:指荆州和建业两地。

⑮风云句:意为风云拦不断飞鸟道路。

⑯江汉句:江水、汉水,无桥梁不能通行。喻自己无飞鸟那样自由,不能回到荆州。

⑰隼(sǔn 笋):鸟名,凶猛善飞。即鹗。于光华释此句曰:"喻己被谗也。"何义门曰:鹰隼:"喻王秀之辈。"

⑱委:枯萎。委通"萎"。李善注:"委:犹悴也。" 严霜:喻迫害者王秀之等人。

⑲罻(wèi 尉)罗者:设置网罗的人。喻设计害人的王秀之辈。 罻:捕鸟网,此用为动词,作设置捕鸟网解。

⑳寥廓:空阔,高远。全句说自己已远走高飞,别人进谗无用了。

【译文】

日与夜涌流的滔滔长江,
像心中无尽的愤懑悲伤。
空看见京都的郊区临近,
越觉得返荆州道路漫长。
秋空中曙色已透露微光。
清寒的洲渚仍夜色苍茫。
抬起头能看见建业京城,
密密的雉堞在城墙之上。
高空中月溶溶照亮鸪鹊,
玉绳星光闪烁低于建章。
车已到京城的南门之外,
心仍在楚昭王陵墓近旁。
荆州的太阳光难照我身,

更何况荆州人隔在远方。
长空里有风云仍过飞鸟，
江汉水阻行人因无桥梁。
曾顾虑鹰与隼突然袭击，
也担心重阳菊枯于严霜。
到如今寄语于张网之人，
枝头鸟已展翅凌云飞翔。

（顾绍炯　译注）

酬王晋安一首

谢玄晖

【题解】

这首诗是作者在朝廷为吏部侍郎时，怀念友人王德元而作。时王德元在海边任晋安（今福建省福州市）太守。

诗的开始通过丰富的想象，将晋安的秋色描写得清丽生动，从中寄寓了作者对友人的深挚怀念，在融情于景上别具匠心；诗的结尾以“缁尘染衣”表示对仕途的厌倦，侧面流露归隐的愿望，也颇为蕴藉含蓄。孙月峰以“奇秀”二字评此诗不为过誉。

【原文】

梢梢枝早劲①，涂涂露晚晞②。

南中荣橘柚③，宁知鸿雁飞④。
拂雾朝青阁⑤，日旰坐彤闱⑥。
怅望一途阻，参差百虑依⑦。
春草秋更绿⑧，公子未西归。
谁能久京洛⑨，缁尘染素衣⑩。

【注释】

①梢梢：劲挺貌。

②涂涂：厚密貌。李善引《楚辞》曰："白露纷以涂涂。"王逸曰："涂涂，厚貌也。" 晞：干。《诗·秦风·蒹葭》："蒹葭萋萋，白露未晞。"

③南中：指晋安。 荣：茂盛。 柚：李善注引《列子》曰："吴越之国，有木焉，其名曰柚，碧树而冬生。"

④宁知句：李善注："鸿雁南栖衡阳，不至晋安之境，故曰宁知也。"

⑤拂雾句：李周翰曰："拂雾，言早也。青阁，朝堂也。"

⑥旰：日晚。 彤闱：李周翰曰："宫门，谓尚书处也。"

⑦参差：纷乱貌。

⑧春草句：李善注曰："言春草萋萋，故王孙乐之而不反，今春草秋而更绿，公子尚未西归。"

⑨京洛：京都，指建业。

⑩缁尘：黑色的尘埃。喻世俗的污垢。 素衣：洁白的衣裳。陆机《为顾彦先赠妇诗》曰："京洛多风尘，素衣化为缁。"

【译文】

早发的青树枝劲挺高昂，
晚干的白露珠密集闪光。
南国的橘柚林依然茂盛，
你怎知碧空中雁已南翔。
我凌晨拂朝露来到朝堂，
到黄昏仍坐在尚书红房。

被长路隔两处空劳怅望，
纷乱的愁思绪积满胸膛。
野草至小阳春已换新绿，
公子他仍远游未还故乡。
谁能够长住于京都城内，
黑尘埃染污了洁白衣裳。

（顾绍炯　译注）

奉答内兄希叔一首

陆韩卿

【作者】

陆厥(472～499)，南朝齐文学家。字韩卿，吴郡吴(今江苏省苏州)人。少有丰采气度，博览群书，好为诗文。永明九年(491)，竟陵王举他为秀才，继任王宴太傅主簿，后至行军参军，永元元年(499)，始安王萧遥光起兵东城，反抗齐主东昏侯，战败被杀，厥父受牵连被处死，陆厥也被系下狱。不久赦令下，陆厥痛惜父亲未及大赦，悲伤过度而亡。他亦精通音律，曾撰《与沈约书》，与沈约探讨音律方面的问题，颇有价值。原有集，已佚。今存其诗11首，以《奉答内兄希叔》、《临江王节士歌》较著名。

【题解】

顾肸(xī 西),字希叔,为邵陵王常侍,曾作诗赠与陆厥,陆厥作此诗以答。

陆厥在这首诗中,首先简叙自己出仕与归田的经历,接着赞颂顾肸辅佐邵陵王,广纳贤士,成绩卓著,末了表示自己对顾肸的深切怀念之情。全诗章法谨严,感情真切,词语清雅,其中如"杜门清三径,坐槛临曲池","虽无田田叶,及尔泛涟漪",描写罢归后的生活,颇饶清趣。再如"王门所以贵,自古多俊民。离宫收杞梓,华屋富徐陈。"勉励顾肸作好王府家臣,含意亦深刻。孙月峰评曰:"摛词既雅腴,风度亦逸荡。"不愧为陆厥遗诗中之代表篇章。

【原文】

嘉惠承帝子①,　屣履奉王孙②。
属叨金马署③,　又点铜龙门④。
出入平津邸⑤,　一见孟尝尊⑥。
归来翳桑柘⑦,　朝夕异凉温⑧。
徂落固云是⑨,　寂蔑终如斯⑩。
杜门清三径⑪,　坐槛临曲池⑫。
凫鹄啸俦侣⑬,　荷芰始参差⑭。
虽无田田叶⑮,　及尔泛涟漪⑯。
春华与秋实⑰,　庶子及家臣⑱。
王门所以贵⑲,　自古多俊民⑳。
离宫收杞梓㉑,　华屋富徐陈㉒。
平旦上林苑㉓,　日入伊水滨㉔。
书记既翩翩㉕,　赋歌能妙绝㉖。

相如恧温丽[27]，　子云惭笔札[28]。
骏足思长阪[29]，　柴车畏危辙[30]。
愧兹山阳宴[31]，　空此河阳别[32]。
平原十日饮[33]，　中散千里游[34]。
渤海方淫滞[35]，　宜城谁献酬[36]？
屏居南山下[37]，　临此岁方秋[38]。
惜哉时不与[39]。　日暮无轻舟[40]。

【注释】

①帝子：指竟陵王。

②屣（xǐ 洗）履：穿鞋不拔上鞋跟，形容行走急遽。《后汉书·王符传》："有顷，又白王符在门，（皇甫规）素闻符名，乃惊遽而起，衣不及带，屣履出迎。"王孙：李善注："谓太傅王晏也。"　何义门曰："帝子、王孙，皆指竟陵王也。下又点铜龙，乃言迁官平津，孟尝始指王晏言。旧注以王孙谓太傅王晏，非是。"

③属：李善注引《汉书音义》曰："近也。"　叨金马署：李善注："谓为秀才也。"

④点铜龙门：李善注："谓为太傅功曹椽也。"铜龙门，因门楼上有铜龙故名。"

⑤平津邸：《汉书》载：丞相公孙弘被封为平津侯，此以平津侯邸喻太傅王晏府第。

⑥孟尝：孟尝君，即田文，战国时齐贵族，齐湣王任为相国，门下有食客数千，曾联合韩魏先后打败楚、秦、燕等国。在齐国功高望重。此喻太傅王晏。

⑦柘（zhè 浙）：柘树，落叶乔木，叶卵形，可喂蚕，皮可染黄色。

⑧凉温：李善注："喻贵贱也。"　何焯曰："言中间罢归，又历温凉也。"

⑨徂落：李善注："犹凋落也。"

⑩寂蔑：寂寞，空虚。谢灵运《邻里相送方山》诗："各勉日新志，音尘慰寂蔑。"　终如斯：原文为"终始斯"，从汲古阁本校改。

⑪杜门：谓闭门不出。　三径：西汉末，王莽专权，兖州刺史蒋诩告病辞官，隐居乡里，于院中辟三径，唯与求仲、羊仲来往。后以三径指家园。

⑫坐槛(jiàn 贱):坐于栏杆旁。槛,此指池边栏杆。

⑬凫(fú 扶):野鸭。 鹄(hú 湖):水鸟名,即天鹅。

⑭芰(jì 技):菱。

⑮田田:叶浮水上貌。《古乐府·江南可采莲》:"江南可采莲,莲叶何田田。"

⑯及尔:与你。

⑰春华:春天花朵,此喻仅供观赏之物。 秋实:秋天果实,此喻可以吃、有实用之物。

⑱庶子、家臣句:李善注引《魏志》曰:"邢颙,字子昂,为平原侯植家丞。颙防闲以礼,无所屈挠,由是不合。庶子刘桢书谏植曰:'家丞邢颙,北土之彦。而桢礼遇殊特,颙反疏简。私惧观者将谓君侯习近不肖,礼贤不足。采庶子之春花,忘家丞之秋实。"按此上二句为对喻,以春花喻庶子,以秋实喻家丞。当时顾胤为邵陵王常侍,上述庶子、家丞、常侍,均属家臣,故言此。

⑲王门:谓邵陵王门。

⑳俊民:贤明的人。《尚书·洪范》:"俊民用章,家用平康。"注:"贤臣显用,国家平宁。"

㉑离宫:李善认为指太子,于光华说是指邵陵王宫,以于说为是。下句中"华屋"同。 杞梓:杞和梓为两种优质木材。用以比喻优秀人才。《国语·楚语》:"晋卿不若楚,其大夫则贤。其大夫皆卿材也,若杞梓、皮革焉,楚实遣之。"

㉒徐陈:徐干、陈琳 。此指如徐干、陈琳一样的人才。

㉓上林苑:秦旧苑,汉武帝时扩建,周围300里,有离宫70所,苑中养禽兽,供皇帝游猎之用。此代邵陵府人所猎之林苑。

㉔伊水滨:伊水、洛水之间。周灵王太子晋曾在此游览。此代邵陵府人所游之水滨。

㉕翩翩(piān 偏):此喻文辞美好。李善注引魏文帝《与吴质书》曰:"公干五言诗之善者,妙绝时人;元瑜(阮瑀字)书记翩翩,致足乐之。"

㉖赋歌:赋歌与上句"书记"为对文,指四种文体。一说赋为动词,赋歌指作歌。

㉗恧(nù 朒):惭愧。《汉书·王莽传》:"敢为激发之行,处之不惭恧。"

㉘相如、子云二句:李善注引《西京杂记》曰:"枚皋文章捷疾,长卿制作淹

迟，皆一时之誉。长卿首尾温丽，枚皋时有累句，故知疾行无善迹也。”此言邵陵王府的才人所作辞赋之温丽、所撰笔札之精妙，令相如和子云都感到惭愧。笔札：公文和书信。

㉙骏足：骏马。喻顾希叔。　阪(bǎn 板)：山坡。

㉚柴车：陋车。喻作者自己。　辙(zhé 哲)：车轮的痕迹。

㉛山阳宴：李善注引《魏氏春秋》曰：“嵇康寓居山阳县，与向秀游于竹林，号曰七贤。”

㉜河阳别：李善注：“曹植《送应氏》诗曰：‘亲昵并集送，置酒此河阳。’又，于光华曰：“别，别业。谓希叔不在，无与为宴，空有是别业而已。”以于光华说为是。

㉝平原句：李善注：“平原，赵胜也。《史记》曰：‘秦昭王闻魏齐在平原君家。遗平原君书曰：寡人闻君之高义，愿与为布衣之交，君幸过寡人，寡人愿与君为十日之饮。平原君遂入秦见昭王。’”

㉞中散句：李善注引干宝《晋纪》曰：“初吕安友嵇康，相思则命驾，千里从之。”

㉟渤海句：据《汉书》载：渤海郡有南皮县，即徐干、吴质所游之处。此代邵陵王府人所游之处。　淫滞：长期逗留。淫，久。

㊱宜城：春秋时楚鄢地，秦置鄢县，汉惠帝三年改为宜城，出产美酒。故城在今湖北宜城县南。曹植《酒赋》曰：“酒有宜城浓醪，苍梧漂清。”　献酬：饮酒时相酬劝。《诗·小雅·楚茨》：“为宾为客，献酬交错。”

㊲屏居：隐居。

㊳方秋：正值秋季。

㊴惜：哀伤，痛惜。《楚辞·措誓》：“惜余年老而日衰兮，岁忽忽而不反。”与：等待。《论语·阳货》：“日月逝矣，岁不我与。”

㊵日暮句：李善注：“言无轻舟以相从也。”

【译文】

身受到帝子的嘉惠厚恩，
我忠诚侍奉着贤明王孙。
前不久举秀才入金马署，

接着又为主簿进铜龙门。
出入于“平津侯”壮丽府第，
亲见到“孟尝君”德高位尊。
归田园又立于桑柘荫下，
晨温暖忽变为冷落黄昏。
从开花到凋谢本是常态，
有热闹有寂寞也属人情。
闭大门院落中小径清静，
坐栏边临曲池绿水澄清。
有野鸭和天鹅呼朋引伴，
荷茎高菱角低参差纷呈。
虽然无田田叶飘浮水面，
但与您可放舟荡波漾纹。
春花放秋果熟各有所用，
像王府的庶子和那家丞。
王府门之所以高贵可钦，
自古来都因有俊杰才人。
您协助邵陵王广招贤能，
王宫中充满了“徐干”“陈琳”。
平明时共驰入猎苑“上林”，
黄昏后又同游“伊水”之滨。
书和记皆擅长举重若轻，
诗与赋能兼善妙绝时人。
作辞赋极温丽胜过相如，
撰文章最精妙超越子云。
像骏马您想在长坡奔驰，
似柴车我畏于险途前行。
您未到宴会停使我惶愧，

您不在别墅空令我凄清。
您像那平原君十日对酒，
您像那嵇中散千里长游。
到如今您仍在“渤海”逗留，
谁斟满宜城酒向您献酬？
我独自隐居在南山之麓，
岁月流转瞬间又到金秋。
痛惜那年光去不稍停留，
看天色日已暮又无轻舟。

（顾绍炯　译注）

赠张徐州谡一首

范彦龙

【作者】

范云(451～503)，南朝梁代诗人。字彦龙，南乡舞阴(今河南省泌阳北部)人。年八岁即能赋诗属文。齐高帝时，在竟陵王萧子良府任文学，继而仕齐，历任零陵内史、建武将军、广州刺史等职；后与沈约等助萧衍称帝。入梁后官至尚书左仆射，封霄城县侯，深为梁武帝所重。卒于官，武帝亲临其殡，诏赠侍中、卫将军。

范云才思敏捷，落笔辄就。其诗风格清新，词语流转，钟嵘《诗品》评曰：“清便苑转，如流风回雪。”原有集三十卷，已佚。现存诗四

十余首，以《赠张徐州谡》、《巫山高》、《别诗》等为其代表作品。

【题解】

此诗为范云未入仕时所作。其好友张谡受命为徐州太守，赴任时至范云家告别，适范云入山采樵，归来听说后 作此诗寄赠。全诗共二十句，四句一转：首言采樵归家，闻有客人来访；次知来客随从甚众，裘马轻肥；三叙猜是张谡，又疑可能不是；四恨未能早归，不能与之畅谈；五写内心感动，作诗遥寄衷情。婉转流畅，摇曳生姿。清人邵子湘评此诗曰："字字流转，质而不野，自成一格。"孙月峰则说："磊落恣肆，如半空掷下，此等风调，须待一时意兴凑和，非可强行。"分别在章法、词语及诗的意兴上，予以充分肯定。

【原文】

田家樵采去①，　薄暮方来归②。
还闻稚子说：　有客款柴扉③。
傧从皆珠玳④，　裘马悉轻肥⑤。
轩盖照墟落⑥，　传瑞生光辉⑦。
疑是徐方牧⑧，　既是复疑非。
思旧昔言有⑨，　此道今已微⑩。
物情弃疵贱⑪，　何独顾衡闱⑫？
恨不具鸡黍⑬，　得与故人挥⑭。
怀情徒草草⑮，　泪下空霏霏⑯。
寄书云间雁⑰，　为我西北飞⑱。

【注释】

①田家：作者自称。当时范云尚隐居未仕。　樵采：采樵。

②来归：归来。

③款：叩，敲。《吕氏春秋·爱士》："夜款门而谒。"

④傧(bìn 宾去声)从：侍从的人。 傧，导引于前者。从，侍从于后者。珠玳：珠玉和玳瑁。

⑤轻肥：指轻裘肥马。

⑥轩：车的通称。 盖：车盖。 墟落：村落。

⑦传：驿站或驿站的车马。此指传车。 瑞：节信。皆为玉制的信物。若后世的符玺。《周礼·春官·典瑞》："典瑞，掌玉瑞、玉器之藏。"注："瑞，符信也。"

⑧徐方牧：指徐州刺史张谡。

⑨思旧：怀念故人友谊，不计其卑微贫贱。

⑩微：稀少，衰微。

⑪物情：世情，人情。 疵(cī 刺阴平)：小病，引申为缺点。

⑫衡闱："衡门"，横木为门。即茅屋陋室。

⑬具鸡黍：《后汉书》载：山阳范式，字巨卿，与汝南张元伯为友，春于京师相别，约于秋在张元伯家相见。至九月十五日，元伯杀鸡作黍。父母笑曰："山阳离此几千里，如何以为其必至？"元伯曰："巨卿信义之士，非失期者。"言未毕而巨卿至。

⑭挥：李善注引韩康《周易注》曰："挥，散也。"

⑮草草：忧貌。《诗·小雅·巷伯》："骄人好好，劳人草草。"

⑯霏霏：雨大而急之状。此指泪下如雨貌。

⑰云间雁：《汉书》载：武帝思苏武，使使谓单于，说天子射于上林中，得雁，足系有帛书，言苏武在某泽畔。单于闻之而惊，送苏武归。后 世遂以雁为信使。

⑱西北飞：张谡时为徐州刺史，徐州在扬州之西北。

【译文】

我入山采樵去正是清晨，
挑柴薪回到家已经黄昏。
放下担听幼子详细述说：
在今天有客人叩我家门。

随从人佩珠玑还有玳瑁，
穿轻裘乘肥马奔驰如云。
华车盖极辉煌照亮村落，
捧符节执瑞信光耀行人。
我猜想来客是徐州太守，
先肯定后怀疑无此可能。
访故交固然是传统风气，
此美德今天已荡然无存。
目前的世情是爱富嫌贫，
为什么车骑来对我访问？
恨未能烹肥鸡蒸熟小米，
茅屋中与故人畅叙衷情。
满胸怀聚深情忧思不已，
洒泪珠密如雨沾湿衣襟。
把书信交与那云间鸿雁，
请为我向西北迅速飞行。

（顾绍炯　译注）

古意赠王中书一首

范彦龙

【题解】

这是范云写给好友王融的一首赠言诗。题中“古意”是说此诗乃拟古诗之意而作，无现实意义；实际上是针对王融的思想性格而写的一首暗含讽谏意义的诗篇。

王融为当时著名诗人王僧达之孙，少而聪慧，博涉多才，且文思敏捷，仓猝所作皆工，当时被称为贾谊、终军一流人物。为竟陵王萧子良所恩宠，后齐武帝擢为中书郎。会武帝有疾，融先欲立竟陵王，被下廷尉赐死。范云作此诗时，王融正在中书郎任上。

诗中先盛赞王融才华出众，世所罕及；次言其得到明主器重，担任中书郎要职；最后劝其应珍重目前地位，安分知足。重点在最后部分。全诗生动秀逸，含意深刻。方伯海言：“有秀逸之气，虽体质之厚不如灵运、延年，而生动则过之。”

【原文】

摄官青琐闼①，　遥望凤皇池②。
谁云相去远，　脉脉阻光仪③。
岱山饶灵异④，　沂水富英奇⑤。
逸翮凌北海⑥，　抟飞出南皮⑦。

遭逢圣明后⑧，　来栖桐树枝⑨。
竹花何莫莫⑩，　桐叶何离离⑪。
可栖复可食，　此外亦何为？
岂知鹪鷯者⑫，　一粒有余赀⑬。

【注释】

①摄：代理。《左传·隐公元年》："不书即位，摄也。"范云此时为通直散骑常侍，不敢正言，故曰摄官。　青琐闼：以青漆涂饰之门，上画连琐花纹，称为青琐闼。

②凤皇池：亦称凤池。禁苑中池沼。魏晋南北朝设中书省于禁苑，掌管机要，接近皇帝，故称中书省为凤皇池。权重在尚书之上。故晋荀勖由中书监迁尚书令，人有贺之者，勖曰："夺我凤皇池，诸君贺我耶？"此指王中书任职处。皇：通"凰"。

③脉脉：相视貌。简文帝《对烛赋》："回照金屏里，脉脉两相看。"　光仪：指王中书之丰采容仪。

④岱山：即泰山。在山东省中部，主峰玉皇顶在泰安县城北。

⑤沂水（yí 移）：源出山东曲阜县东南的尼丘，西流经曲阜、兖州合于泗水。《论语·先进》中"浴乎沂"指此。岱山、沂水代指琅玡郡，为王中书先人所居，故称"饶灵异"、"富英奇"。

⑥翮（hé 核）：羽茎，代指鸟翼。　凌：逾越，超过。　北海：郡名，汉景帝时置。治所在营陵，辖今山东益都、寿光、昌乐、潍坊、昌邑、高密等地。东汉改为北海国，三国时孔融曾为北海相，治所在剧。

⑦抟：盘旋。《庄子·逍遥游》："鹏之徙于南冥也，水击三千里，抟扶摇而上者九万里。"　南皮：县名。属河北省。秦置，汉属渤海郡。因徐干居北海，吴质居南皮，故此二句言王融之才华超过徐干、吴质。

⑧圣明：指齐武帝。

⑨栖桐树枝：喻被擢为中书郎。因中书省设于禁苑中之凤凰池，桐树枝乃凤凰所栖之处。

⑩竹花：为凤凰所食之物。　莫莫：茂盛繁密貌。《诗·周南·葛覃》："葛之覃兮，施于中谷，维叶莫莫。"

⑪离离：繁茂貌。《诗·王风·黍离》："彼黍离离。"

⑫鷦(jiāo 焦)鷯：鸟名。俗称黄脰鸟。全身灰色，有斑，常取茅苇、毛毳为巢，大如鸡蛋，系以麻发，极精巧。《庄子·逍遥游》："鷦鷯巢于深林，不过一枝。" 岂知：原文为"岂如"，从汲古阁本校改。

⑬赀(zī 资)：财货。通"资"。

【译文】

代侍郎理事于青琐门里，
遥望见凤凰池水清色碧。
谁说我与知交相去甚远，
看不见焕发的丰采容仪。
泰山麓出高士才华卓异，
沂水岸育英杰智慧神奇。
展羽翼将飞临北海之上，
乘疾风可越过南皮边际。
幸得到圣明主深心眷顾，
高居于梧桐树枝叶丛里。
绿竹花开放得芬芳灿烂，
翠桐叶滋长得茂盛繁密。
在此处既可食又可栖息，
除此外还有啥值得希冀？
岂知道有种鸟名为鷦鷯，
一粒米吃饱后还有节余。

（顾绍炯　译注）

赠郭桐庐出溪口见侯，余既未至，郭仍进村，维舟久之，郭生方至一首

任彦昇

【作者】

见卷二十三《出郡传舍哭范仆射》作者介绍。

【题解】

这首诗是任昉从富春返新安郡路过桐庐时写赠郭峙的。当时任昉任新安郡太守，郭峙为桐庐县令，二人有师生之谊，相从甚得。由富春至新安，必经桐庐，故预约于途中相晤。届时郭生曾候于溪口，见任尚未至，又复进村。任昉乘船到时，未见郭生，与众官员系舟岸边，等候良久，郭生才到。随后任昉作此诗以赠。诗的内容一般。但婉转起伏，曲折多姿。孙月峰评此诗曰："篇不长而转意多，自觉态浓，此由笔力能驱故。"道出此诗之长。

【原文】

朝发富春渚①，　蓄意忍相思②。
涿令行春反③，　冠盖溢川坻④。
望久方来萃⑤，　悲欢不自持⑥。
沧江路穷此⑦，　湍险方自兹⑧。

叠嶂易成响⑨， 重以夜猿悲⑩。
客心幸自弭⑪， 中道遇心期⑫。
亲好自斯绝⑬， 孤游从此辞⑭。

【注释】

①富春渚：富春城外的江边沙洲。

②蓄意：聚集心头的情意。

③涿令："《后汉书》载：滕抚为涿令，有文武才，太守委任郡职，兼理六县，流爱于民。此喻桐庐令郭峙。 行春反：汉制，太守于春季时巡视所管州县，督促耕作日行春。此指刘峙出候溪头因任彦升未至而复进村。 反：同"返"。

④冠盖：帽子和车盖，指随行官员。 溢：满。 坻(chí 迟)：山的倾斜面；侧坡。

⑤萃(cuì 粹)：聚会也。

⑥不自持：不能自我控制。

⑦穷此：尽于此。

⑧湍险：险恶的急流。

⑨嶂(zhàng 瘴)：似屏嶂的山峰。

⑩重以：加上。

⑪客：作者自指。 弭(mǐ 米)：停止。

⑫心期：内心期望之人，指刘峙。

⑬自斯绝：从此断绝。

⑭孤游：孤独的游客。

【译文】

早上离富春渚欲晤相知，
怀旧情积蓄久难忍相思。
郭桐庐候溪口又进村去，
众官员立岸上苦等不至。
盼望久才见他姗姗来迟，

悲与欢相交织难以控制。
平缓的清江水尽于这里，
险恶的急湍流从此开始。
叠嶂里风吹树声音萧瑟，
再加上夜猿啼更增忧思。
旅客愁能够从内心消逝，
因途中遇上了期望之士。
亲密的友好情从今断绝，
孤游人从此起向你告辞。

（顾绍炯　译注）

行旅上

河阳县作二首

潘安仁

【作者】

见卷七《籍田赋》作者介绍。

【题解】

潘岳二十岁左右即受知于贾充。贾充作为司空、太尉，其女南风又为晋惠帝皇后，故位高权重。潘岳经贾充举为秀才，又举为郎，在贾充幕任太尉椽、太尉舍人等职。曾一度归隐天陵东山。太康三年(282)，出任河阳(今河南省孟县)县令。这首诗是他任县令不久时所作。

全诗描述他从出仕到归田，又从归田到出仕的生活经历。追述中流露出对贾充知遇的感激，对归田生活的怀念，但主要是描写初任河阳令时的心情。据《晋书》载：潘岳被任命为河阳令时，“负其才而郁郁不得志”，甚至还作歌谣讽刺主管吏部的山涛等人。但他知道这样做不解决问题，决心把河阳治好再谋调京任要职。故在此诗中勉励自己要关心百姓，树立政声。何义门评曰：“此诗从历仕及河阳，以令名自勖，不失雅正之义。”

【原文】

微身轻蝉翼①，　弱冠忝嘉招②。
在疚妨贤路③，　再升上宰朝④。
猥荷公叔举⑤，　连陪侧王寮⑥。
长啸归东山⑦，　拥耒耨时苗⑧。
幽谷茂纤葛⑨，　峻岩敷荣条⑩。
落英陨林趾⑪，　飞茎秀陵乔⑫。
卑高亦何常⑬，　升降在一朝⑭。
徒恨良时泰⑮，　小人道遂消。
譬如野田蓬⑯，　斡流随风飘⑰。
昔倦都邑游，　今掌河朔徭⑱。
登城眷南顾，　凯风扬微绡⑲。

洪流何浩荡，　修芒郁岩嶢[20]。
谁谓晋京远[21]，　室迩身实辽[22]。
谁谓邑宰轻[23]，　令名患不劭[24]。
人生天地间，　百岁孰能要[25]。
颍如槁石火[26]，　瞥若截道飙[27]。
齐都无遗声[28]，　桐乡有余谣[29]。
福谦在纯约[30]，　害盈犹矜骄[31]。
虽无君人德[32]，　视民庶不恌[33]。

【注释】

①轻蝉翼：轻如蝉翼。《晋书·周顗传》："质轻蝉翼，事重千钧。"曹植《表》："身轻蝉翼、恩重丘山。"

②弱冠：古代男子二十岁称弱冠。　忝嘉招：指被贾充举荐为秀才事。

③疚（jiù 救）：病也。

④再升：指贾充举潘岳为秀才后，再举为郎。　上宰朝：李善注："谓司空太尉府。"

⑤猥（wěi 委）：谦词，犹言辱。一说，凡猥。　公叔举：李善注引《论语》："公叔文子之臣大夫僎，与文子同升诸公，子曰：'可以为文矣。'"

⑥连：连续。《礼记·曲礼》："拾级聚足，连步以上。"　陪：陪臣。诸侯之大夫，对天子自称陪臣。《左传·僖公十二年》："有天子之二守国高在……陪臣敢辞。"注："诸侯之臣曰陪臣。"亦指大夫之家臣。此言自己连任皇亲贾充之家臣。潘岳曾任椽、太尉、舍人，均为贾充府中之家臣。　寮：通"僚"。

⑦东山：李善注引《岳天陵诗序》曰："岳屏居天陵东山下。"

⑧耒（lěi 垒）：古代耕地翻土的工具。　耨（nòu）：除草。

⑨纤葛：细小的葛藤。葛，多年生蔓草。块根可入药，茎的纤维，可制葛布。《诗·周南·葛覃》："葛之覃兮，施于中谷。"

⑩敷：散布。

⑪落英：此指落花。　林趾：树根。趾，通"址"。

⑫陵：《尔雅》："大阜曰陵。"　乔：高。

⑬卑高句：言卑贱与高贵没有一定。

⑭升降句：升与降在一天之内。李善注二句曰："二者升降，在于倏忽。以喻人之荣辱，亦在须臾，言不足叹也。"

⑮泰：《易》卦名乾下坤上，为上下交通之象。《易·泰》："天地交，泰。"《汉书·楚元王传》："君之道长，小人道消，则政日治，故为泰。泰，通而治也。"

⑯蓬：蓬蒿。秋枯根拔，风卷而飞，故又名飞蓬。《诗·卫风·伯兮》："自伯之东，首如飞蓬。"

⑰斡（wò 卧）：旋转。

⑱徭：徭役。

⑲凯风：和风，南风。　绡（xiāo 肖）：生丝织品，此指帷幕。

⑳修芒：李善注："北芒岭也。"　岧（tiáo 条）嶢：山高峻貌。原文为"苕嶢"，从于光华本校改。

㉑晋京：此指洛阳。

㉒迩：近。　辽：远。全句意为，只要心与京城近，不怕住处离京远。否则，即使住屋离京近，而心灵离京却遥远。

㉓邑宰：县令。

㉔令名：好名声。　劭：李善注引《小雅》曰："劭，美也。"

㉕要：求。

㉖颎（jiǒng 窘）：同"炯"。火光明亮，光明，《诗·小雅·无将大车》："无思百忧，不出于颎。"郑玄笺："思众小事以为忧，使人蔽暗，不得出于光明之道。"　槁：古通"考"，毛苌曰："考，击也。"

㉗瞥：见。李善注："瞥，见也。张衡《舞赋》：'瞥若电灭。'"　飙（biāo 标）：疾风。

㉘齐都句：李善注引《论语》曰："齐景公有马千驷，死之日，人无德而称焉。"

㉙桐乡句：李善注引《汉书》曰："朱邑为桐乡啬夫，廉平不苛，及死，子葬之桐乡，邑人为之起冢立祠也。"

㉚福谦：赐福给廉逊者。　纯约：纯粹约束自己。纯，纯粹。《诗·周颂·维天之命》："於乎不显，文王之德之纯。"约，约束，检束。《论语·子罕》："夫子循循然善诱人，博我以文，约我以礼。"

㉛害盈：危害自满的人。

㉜君人：治理百姓。

㉝佻(tiāo 滔)：苟且，轻薄。同“佻”。《诗·小雅·鹿鸣》：“视民不佻，君子是则是效。”全句意为，对百姓之事不马虎敷衍，应认真负责，息息相关。

【译文】

叹自身卑微如蝉翼般轻，
二十岁就承蒙太尉荐引。
因久病曾妨碍贤人仕进，
再擢升进入了宰府门庭。
深感谢贤太尉一再推举，
使我能连续任皇亲家臣。
不久又归东山长啸烟云，
持耒耜荐禾苗田间躬耕。
细葛藤茂生于幽谷曲径，
青树枝遍布在峻岩峻岭。
落花瓣积满了丛林树根，
细飞茎长遍了高低丘陵。
低官职高爵位哪能固定，
升青云降尘埃只是一瞬。
所遗憾清明世久未来临，
如来临小人的邪气难存。
他们像田野间无根蓬草，
只能够顺疾风旋转飞行。
我过去游京都曾感厌倦，
到今朝又出仕河阳县城。
站在这城墙上向南观看，
轻绡幕随和风飘荡翻卷。
黄河水奔腾急波涛浩瀚，

北芒山林深郁高入云天。
谁能说河阳城离京遥远，
有的人身虽近心在天边。
谁能说县令是芝麻小官，
怕的是无美名才感羞惭。
千万人生活在天地之间，
有几许寿命长活满百年？
敲石头溅火花光辉短暂，
卷地风势强劲转瞬不见。
齐景公只爱马身后寂寞，
朱啬夫因清廉享祀百年。
谦受福全在于约束自己，
盈招害都因为骄矜自满。
我虽然不具备治民德才，
对百姓定做到息息相关。

（顾绍炯　译注）

【题解】

这首诗继前首进一步描绘河阳的山川秋色，进一步表现如何治民这一主题。从具体内容看，所描写的山川更雄伟险峻，秋光也极为清丽自然，体现了作者对河山风物的观察更细，了解更深，感情也更浓。在为政治民方面，他以形象的语言："依水类浮萍，寄松似悬萝"，阐明官是浮萍民是水，官是悬萝民是松的依存关系，以说明他"政成在民和""民和俗自化"的深刻而正确的思想。

何义门评此诗说："先言山河风物，次及民俗政治，次第有法；归到自勖，与前相映。"通过《河阳县作》这两首诗，他总的看法是："安仁气质，高于士衡数倍。陆芜潘净，故是定论也。"

【原文】

日夕阴云起，　登城望洪河①。
川气冒山岭，　惊湍激岩阿②。
归雁映兰畤③，游鱼动圆波。
鸣蝉厉寒音④，时菊耀秋华。
引领望京室，　南路在伐柯⑤。
大夏缅无觌⑥，崇芒郁嵯峨⑦。
总总都邑人⑧，扰扰俗化讹⑨。
依水类浮萍，　寄松似悬萝。
朱博纠舒慢⑩，楚风被琅玡。
曲蓬何以直⑪，托身依丛麻。
黔黎竟何常⑫，政成在民和⑬。
位同单父邑⑭，愧无子贱歌。
岂敢陋微官，　但恐忝所荷⑮。

【注释】

①洪河：指黄河。

②岩阿：岩边。阿，山岩边。

③畤（zhì 沚）：水中的小片陆地。通"沚"。

④厉：李善注引《广雅》曰："厉，高也。"

⑤南路：指南去京洛的道路。因洛阳在河阳的西南方。　伐柯：《诗·豳风·伐柯》："伐柯伐柯，其则不远。"此取"不远"之意。全句意为，河阳离京洛不远。

⑥大夏：李善注引陆机《洛阳记》曰："大夏门，魏明帝所造，有三层，高百尺。" 缅：遥远。 觌(dí 笛)：看见。

⑦芒：指北芒山。李善注引郭缘生《述征记》曰："北芒，去大夏门不盈一里。" 郁：林木繁盛貌。《诗·秦风·晨风》："郁彼北林。" 嵯峨：山高峻貌。淮南小山《招隐士》："山气嵬岿兮石嵯峨。"

⑧总总：聚集，众多。

⑨扰扰：纷扰。枚乘《七发》："扰扰若三军之腾装。" 讹(é 鹅)：改变。《诗经·小雅·节南山》："式讹尔心，以畜万邦。"

⑩朱博句：李善注引《汉书》曰："朱博楚人，迁琅玡太守，齐部舒缓。敕功曹官属：'多褒衣大裙(宽衣大袂)，不中节度，自今椽吏衣皆去地三寸。'视事数年，大改其俗，椽吏礼节皆如楚。"

⑪曲蓬句：李善注引曾子曰："蓬生麻中，不扶自直。"

⑫黔黎：黔首黎民，均指百姓。

⑬政成句：何义门曰："晋初纪纲不立，豪贵奢僭，论政者欲纠之以猛，安仁则谓民和而俗自化。终前篇'视民不恌之义也'。"

⑭单父邑：李善注引《吕氏春秋》曰："宓子贱治单父，弹鸣琴，身不下堂而单父治。"

⑮忝(tián 田)所荷：有愧于所负的重任。忝，有愧于。《诗·小雅·小宛》："夙兴夜寐，无忝尔所生。"

【译文】

黄昏时阴云在天末出现，
登城楼望黄河浩荡蜿蜒。
白色的水蒸气飘浮山顶，
汹涌的惊浪涛激荡岩岸。
南归雁投影于兰芷水边，
水中鱼涌微波粼粼起圈。
树梢头寒蝉鸣声急响远，
篱畔菊绽黄花金光璀璨。
抬起头远眺那京都皇室，

川原上路蜿蜒相去不远。
大夏门在雾中不能看见，
北芒山林深郁高峰凌天。
都邑中聚居的众多百姓，
纷乱的旧习俗应当改变。
官与民似浮萍依附水面，
又好似女萝藤绕于松干。
朱博曾纠正过散漫齐俗，
楚良风在齐地形成发展。
弯曲的蓬蒿草何以能直？
都因为生长于丛麻中间。
百姓的陋习俗如何改变？
要成功须官民和谐无间。
地位与单父县主管相等。
惭愧无子贱的巨大贡献。
哪里敢轻视这县令职位，
只恐怕挑不起这副重担。

（顾绍炯　译注）

在怀县作二首

潘安仁

【题解】

这两首诗是潘岳在太康六年(285)初任怀县(故址在今河南武陟县西南)令时所作。

潘岳于太康三年(282)任河阳令,他是怀着"郁郁不得志"的心情去赴任的,但还想做出政绩后调京担任与自己才能相称的职务,不料三年以后,又调他去离京更远的怀县为令,这使他大失所望。因而诗中情绪低沉,牢骚颇深。但描写怀县盛夏景物部分,却生动自然,颇有风趣。孙月峰评此诗曰:"常意,卑意,写来却自有风致。"

【原文】

南陆迎修景①,　朱明送末垂②。
初伏启新节③,　隆暑方赫羲④。
朝想庆云兴⑤,　夕迟白日移⑥。
挥汗辞中宇,　登城临清池。
凉飙自远集⑦,　轻襟随风吹。
灵圃耀华果⑧,　通衢列高椅⑨。
瓜瓞蔓长苞⑩,　姜芋纷广畦⑪。
稻栽肃芊芊⑫,　黍苗何离离⑬。

虚薄乏时用⑭，　位微名日卑。
驱役宰两邑⑮，　政绩竟无施。
自我违京辇⑯，　四载迄于斯。
器非廊庙姿⑰，　屡出固其宜⑱。
徒怀越鸟志⑲，　眷恋想南枝。
春秋代迁逝⑳，　四运纷可喜㉑。
宠辱易不惊，　恋本难为思㉒。

【注释】

①南陆：指夏季。《隋书·天文志》："日循黄道东行，一日一夜行一度，三百六十五日有奇而周天。行东陆谓之春，行南陆谓之夏，行西陆谓之秋，行北陆谓之冬。"　修景：言夏季白日长。

②朱明：古代称夏季为"朱明"。《尔雅·释天》："夏为朱明。"　末垂：李善注："犹末也。崔骃《临洛观赋》曰：'迎夏之首，末春之垂。'"

③初伏：农历夏至后第三庚日起为初伏，第四庚日起为中伏，立秋后第一庚日起为末伏。又，李善注："六月初伏，荐麦瓜于祖祢。"

④隆暑：盛夏。　赫羲：光明炎盛貌。

⑤庆云：一种彩云，古人认为是祥瑞之气。

⑥迟：盼望，思念。李善注："犹思也。"

⑦凉飙(biāo 标)：凉风。

⑧灵圃：此指植花木的林苑。　华果：花果。

⑨通衢：大道。

⑩瓞(dié 迭)：小瓜。《诗·大雅·绵》："绵绵瓜瓞。"《集传》："大曰瓜，小曰瓞。"　苞：草名。茎坚韧，可织席、鞋。《史记·司马相如列传·子虚篇》："其高燥则生蔵薪苞荔，薜莎青薠。"

⑪畦：李善注引刘熙《孟子注》曰："今俗以五十亩为大畦也。"

⑫芊芊(qiān 千)：茂盛貌。原文为"仟仟"，从汲古阁本校改。

⑬黍(shǔ 薯)：一年生草本植物，子实叫黍子，碾成米叫黄米，性粘，可酿酒。　离离：茂盛貌。

⑭虚薄：空虚浅薄。

⑮两邑：指河阳县与怀县。

⑯京辇：此指京城之中。

⑰廊庙姿：指栋梁材。《宋书·裴松之传》："裴松之廊庙之才，不宜久尸边务，今召为世子洗马。"

⑱固：本来。

⑲越鸟志：《古诗十九首》："越鸟巢南枝。"喻人不忘故土。

⑳代：迭代，轮番。　迁逝：消逝。

㉑四运：四季运行。

㉒恋本：怀念本土，此指怀念京师。　难为思：不胜思念之情。

【译文】

白日长黑夜短夏季来临，
夏天的太阳光送走残春。
初伏时开始了新的季节，
到盛夏大地上炎热光明。
早上想彩云起遮蔽烈日，
黄昏盼炎阳光迅速西沉。
挥热汗走出了屋宇之中，
登城楼临清池河水清清。
凉爽风从远方阵阵吹来，
飘拂着我身上轻薄衣襟。
园林中花与果光辉耀眼，
大道上排列着高椅长凳。
大小瓜藤蔓像长长苞草，
姜和芋在畦田绿叶纷呈。
田里禾已长得茁壮芊绵，
土中黍也长得繁密茂盛。
我缺乏合时的品德才干，

论地位谈名声日益卑贱。
短期中驱使我主管两县，
理政才治民术无从施展。
我自从离开了京都洛阳，
一弹指到今天已经四年。
本来就不是那栋梁之材，
只适合在外地长期辗转。
空怀着越鸟的拳拳之心，
日夜对南边树深深眷恋。
春天去秋天来时序更换，
四季节忙运转令人喜欢。
受恩宠蒙耻辱不足惊异，
怀故乡才叫人苦痛思念。

（顾绍炯　译注）

【题解】

这首诗的主题与第一首没有什么不同，只不过情绪更低、牢骚更甚而已。

诗中一再出现怀归语句，如“怀归志”、“顾巩洛”、“旋旧乡”，以及第一首中的“想南枝”，实质上都是“思京洛”，言在此而意在彼。孙月峰指出：“总是思入京一意，殆无深致。”可谓深得作者之心，但诗中有个别语句，如“：白水过庭激，绿槐夹门植”，清新明快，仍不失为佳句。

【原文】

我来冰未泮①，　时暑忽隆炽②。
感此还期淹③，　叹彼年往驶。
登城望郊甸④，　游目历朝寺⑤。
小国寡民务⑥，　终日寂无事。
白水过庭激，　绿槐夹门植。
信美非吾土⑦，　只揽怀归志。
眷然顾巩洛⑧，　山川邈离异⑨。
愿言旋旧乡⑩，　畏此简书忌⑪。
只奉社稷守⑫，　恪居处职司⑬。

【注释】

①泮(pàn 判)：融解。《诗·邶风·匏有苦叶》："迨冰未泮。"

②隆炽：炎热。

③淹：淹留，停滞。此指迟迟不至。

④甸(diàn 电)：此指郊原，古时郭外称郊，郊外称甸。《周礼·天官·大宰》："三日邦甸之赋。"贾公彦疏："郊外曰甸，百里之外，二百里之内。"

⑤游目：流览。　寺：李善注引《风俗通》曰："今尚书御史所止，皆曰寺地。"

⑥国：此指城邑，即怀县。《国语·周语》："国有班氏，县有序民。"注："国，城邑也。"

⑦信美：真美，的确美。

⑧眷：回顾，恋慕。《诗·大雅·皇矣》："乃眷西顾。"原文为"卷"，据汲古阁本改。　巩洛：指河南巩县、洛水。李善注："巩洛，岳父坟所在地也。"

⑨邈：指遥远。　离异：离开。

⑩言：语助词，无义。　旋：返回。

⑪简书：文书。《诗·小雅·出车》："王事多难，不遑启居。岂不怀归，畏此

简书。”简书指有征役时临行告诫的文书。此指朝廷对为官者告诫的文书。

⑫社稷：土、谷之神。《白虎通义·社稷》：“人非土不立，非谷不食，……故封土立社，示有土也；稷，五谷之长，故立稷而祭之也。”故古代以社稷代国家。李善注引《论语》曰：“子路使子羔为费宰。子路曰：‘有民人焉，有社稷焉。’”

⑬恪（kè 刻）：恭敬，谨慎。《诗·商颂·那》：“温恭朝夕，执事有恪。”

【译文】

我来时正处于雪地冰天，
转眼间又面临夏日炎炎。
有感于回故乡遥遥无期，
看韶光如流水令人浩叹。
登城墙遥望那郊外平原，
流览到朝官来所住地点。
小县城百姓少事务有限，
整日在寂寞中虚度华年。
白流水势湍急绕过庭前，
绿槐树两长行列门两边。
怀县城虽美好非我故土，
无尽的思乡情把心搅乱。
依恋地回头望巩、洛那边，
故乡的山与水相距遥远。
我衷心想回到旧日家园，
又想起官诫书使我忌惮。
只能够奉君命为国守土，
谨慎地尽职守不可怠慢。

（顾绍炯　译注）

迎大驾一首

潘正叔

【作者】

见卷二十四《赠陆机出为吴王郎中令》作者介绍。

【题解】

潘尼此诗约写于晋惠帝光熙元年(306)。“大驾”指晋惠帝司马衷。当时是“八王之乱”的后期。河间王司马颙劫惠帝西奔长安,后来司马越率军击败司马颙,攻进长安,派潘尼迎惠帝返洛阳。由于司马越攻陷长安,大肆抢劫,滥杀无辜,给百姓带来严重灾难,深为作者所憎恨;加以干戈未息,时局动荡,也使作者忧心忡忡。故这首《迎大驾》诗既无半点隆重欢庆的气氛,也无一句歌功颂德的词语,全系抒发对时局的忧虑、对掌权者的愤恨和自己对仕途的厌倦。体现了潘尼对现实的清醒认识和爱憎分明的思想感情。在艺术技巧上,景物描写既体现田园寥落百性逃亡的景象,也寄寓了作者感伤动乱,忧深虑远的情怀,末了托“深识士”之语以表达自己对统治者的反感,特别是以象征手法表现其对统治者的鞭挞,都体现了作者构思这首诗的艺术匠心。

【原文】

南山郁岑崟①, 洛川迅且急②。

青松荫修岭③，　绿蘩被广隰④。
朝日顺长途⑤，　夕暮无所集⑥。
归云乘幰浮⑦，　凄风寻帷入⑧。
道逢深识士⑨，　举手对吾揖：
“世故尚未夷⑩，　崤函方崄涩⑪。
狐狸夹两辕⑫，　豺狼当路立⑬。
翔凤婴笼槛⑭，　骐骥见维絷⑮。
俎豆昔尝闻⑯，　军旅素未习⑰。
且少停君驾⑱，　徐待干戈戢。”

【注释】

①南山：长安城南的终南山。又名南山。　郁：林木葱郁。　岑（cén 涔）崟（yín 银）：山险峻貌。《汉书·司马相如传·子虚赋》：“其山则盘纡弗郁，隆崇律崒，岑崟参差，日月蔽亏。”

②洛川：即洛水，源出陕西洛南县西北部。东入河南，经卢氏、洛宁、宜阳、洛阳，至偃师纳伊河后，称伊洛河，到巩县的洛口流入黄河。

③修岭：绵延而长的山岭。

④蘩（fán 烦）：植物名，即白蒿。《诗·豳风·七月》：“春日迟迟，采蘩祁祁。”春夏间蒿草初生时为绿色，秋天草衰，渐变白色。蒿草在古诗中多表现人迹罕至，田园荒芜之貌。　隰：此指新开垦的田地。全句说，宽广的新垦田都长遍了绿蒿。表现农民逃亡，田地荒芜。

⑤顺长途：沿着漫长的道路前进。

⑥无所集：没有住宿之处。　集：群鸟栖止树上，此指旅客住宿。

⑦幰（xiǎn 显）：车前的帷幔。

⑧帷（wéi 韦）：帐幔。

⑨深识士：见识深远之士。

⑩世故：人世间的灾难变故。

⑪崤（xiáo 淆）函：崤山与函谷。崤，也作殽。在河南洛宁县北，西北接陕县界，东接渑池县界。山分东西二崤。相传周文王曾在东崤避雨，夏帝桀之祖皋

的墓在西崤。《左传·鲁僖公三十二年》晋败秦师于殽，即在此。 嶮(xiǎn险)涩：艰险难行。杜甫《早发射洪县南途中作》："俶装逐徒旅，达曙凌嶮涩。"

⑫狐狸：此指与他一同迎大驾的司马越的党徒。 辕：驾车用的直木或曲木，压在车轴上，伸出车舆的前端。商周的车都是独辕，辕在正中，汉以后多用双辕，左右各一。

⑬豺狼：此喻司马越。他战败司马颙，攻破长安时，纵容鲜卑族雇佣兵在长安奸淫掳掠，杀死二万余人，百姓对他无不切齿痛恨。

⑭翔凤：指有德有才之人，也暗喻自己。 婴：羁绊。

⑮维縶：维与縶皆羁绊束缚之意，引申为牢笼或使人就范。《诗·小雅·白驹》："皎皎白驹，食我场苗，縶之维之，以永今朝。"

⑯俎豆：俎与豆都是古代祭祀用的器具。《史记·孔子世家》："常陈俎豆，设礼容。"引申为祭祀、崇奉或礼仪。此指礼乐教化。

⑰军旅句：《论语·卫灵公》："卫灵公问阵于孔子，孔子对曰：'俎豆之事，则尝闻之；军旅之事，未之学也。'"作者暗引孔子的话，表示对统治集团长期混战的反对。

⑱少停：稍停。

⑲徐待：慢慢等待。 干戈戢(jí集)：战争停止。戢，收藏。《诗·周颂·时迈》："载戢干戈，载櫜弓矢。"以收藏武器表示战争停止。

【译文】

终南山高又险林木深密，
洛河水波汹涌水流湍急。
青松树荫蔽着绵延山岭，
绿野蒿长遍了新垦田地。
从清晨沿着这长途旅行，
到黄昏无人家可以憩息。
暮云在车帷前往来浮游，
凄风从帷帐缝吹进车里。
道途中逢一位有识之士，
来车前举双手向我拱揖。

说“人间战乱事方兴未已，
函谷关与崤山艰险崎岖。
众狐狸窥视在车的两边，
野心狼眦利牙当路而立。
高飞的鸾凤鸟关进牢笼，
优良的千里驹也被羁系。
听说你只知道礼乐教化，
率甲兵攻城池从未研习。
我劝你暂且把车驾停下，
安心地等待那烽烟全熄。”

（顾绍炯 译注）

赴洛二首

陆士衡

【作者】

见卷十六《叹逝赋》作者介绍。

【题解】

李善在此诗篇首加注道：“《集》云：此篇赴太子洗马时作。下篇云东宫作，而此同云赴洛，误也。”陆侃如经过多方考证，在《中古文学系年》中说：“下篇确作于东宫，上篇则应召赴洛时作，不过并非

就洗马之职。”根据此诗内容，陆侃如的意见是对的。

此诗作于太康十年(289)，此时晋武帝司马炎统一三国已经十年了，为了收罗人才，巩固统治，在全国范围内，“诏内外群官举清能，拔寒素”。陆机为州郡所举，被迫北赴洛阳。他自感世受孙吴厚恩，吴亡未能死节，也未深隐，内心已感惭愧，此次被迫仕晋，内心更觉痛苦，但迫于形势，不去不行，在离家上路时，内心无限凄楚，写下这感情真挚的诗篇。

【原文】

希世无高符①，　营道无烈心②。
靖端肃有命③，　假楫越江潭④。
亲友赠予迈⑤，　挥泪广川阴⑥。
抚膺解携手⑦，　永叹结遗音⑧。
无迹有所匿⑨，　寂寞声必沉。
肆目眇不及⑩，　缅然若双潜⑪。
南望泣玄渚⑫，　北迈涉长林⑬。
谷风拂修薄⑭，　油云翳高岑⑮。
亹亹孤兽骋⑯，　嘤嘤思鸟吟⑰。
感物恋堂室⑱，　离思一何深⑲。
伫立忾我叹⑳，　寤寐涕盈衿㉑。
惜无怀归志，　辛苦谁为心㉒！

【注释】

①希世：李善引《汉书音义》：“希世，随世也。”《庄子·让王》：“原宪笑曰：“夫希世而行，比周而友，……宪不忍为也。”　高符：于光华注：“高符，高蹈也。五臣以符为瑞命，恐非。”

②营道：求道，学道。　烈心：节烈之心。

③靖端：恭敬端正。 靖，恭敬。《管子·大匡》："士处靖，敬老与贵，交不失礼。" 端，端正。

④假楫：凭借舟船。 楫，船桨。指代船。 江潭（xún 旬）：江边。潭，水边。《汉书·杨雄传》："或倚夷门而笑，或横江浔而渔。"注："潭音寻"。

⑤赠：送。 迈：远行。《诗·王风·黍离》："行迈靡靡，中心摇摇。"

⑥川阴：江河的南岸。

⑦抚膺（yīng 英）：抚胸。膺，胸，阮籍《咏怀》诗："临觞附膺，对食忘餐。"

⑧永叹：长叹。两句意为，携着的手分开各自抚摩苦闷的胸膛，以深长的叹息来结束他们谈话的声音。

⑨无迹二句：李善注："言分诀之后，形声俱没，视之无迹，而形有所匿，听之寂寞，而其声必沉也。"

⑩肆目：纵目远望。

⑪缅然句：彼此相隔已远，互相都看不见，好像双方都潜隐了。缅，遥远。

⑫玄渚：北方的洲渚。玄，北方。《吕氏春秋·有始》："北方曰玄天。"其意为，北方之天为玄天。故"玄"可作"北"解。

⑬北迈：向北前进。

⑭修薄：长广而密的丛林。王逸《楚辞注》曰："草木交曰薄。"

⑮油云：聚集的云层。《孟子·梁惠王》："天油然作云，沛然下雨，则苗浡然兴之矣。" 岑（cén 涔）：小而高的山。

⑯亹亹（wěi 伟）：行进貌。《楚辞·九辨》："时亹亹而过中兮。"

⑰嘤嘤：鸟鸣声。 思鸟：思归之鸟。

⑱堂室：指家庭。

⑲一何：多么。

⑳忾（kài 慨）：叹息。《诗·曹风·下泉》："忾我寤叹，念彼周京。"

㉑衿：同"襟"。

㉒辛苦句：究竟是为了谁而辛苦呢？意思是辛苦奔波非己所愿。

【译文】

随世俗未能够高蹈远隐，
学大道又缺乏节烈之心。

既恭敬又端肃对待诏令，
我于是乘舟船越过江滨。
亲友们为送我向北远行，
伴着我渡过江泪下沾襟。
携着手又分开各抚胸膛，
最后的话语是长叹之声。
亲友望远行人形影模糊，
远行人听亲友声音消沉。
极目望都渺茫毫无所见，
送行者被送者两相潜隐。
我回头向南望泪滴洲渚，
朝北走穿过了漫长树林。
长广的草木丛吹过山风，
高高的山岭上遮盖云层。
孤独的野兽在仓皇奔跑，
思归的飞鸟在嘤嘤悲吟。
受景物所感动怀念家庭，
离别的愁思啊多么深沉。
边行走边佇立一再叹息，
或清醒或入睡泪都沾襟。
不敢抱回乡志令人憾恨，
究竟是为了谁如此艰辛？

（顾绍炯　译注）

【题解】

此诗题目有误，根据诗的内容，应是陆机入洛后二年任太子洗马时所作。洗马为东宫官名，亦称先马。秦时已置，汉沿袭之，职掌如谒者，太子出行，则为前导。晋以后改为掌管东宫图籍，需博学多识者充任。陆机于太康十年(289)到洛阳后，由于在东吴文名甚高，为晋名士所重，张华曾说："伐吴之役，利获二俊。"(指陆机、陆云两兄弟)据《晋书·陆机传》载：永熙元年(290)四月，"张华荐之诸公，后太傅杨骏辟为祭酒。"到元康元年(291)三月后，迁为太子洗马，本诗当是在任太子洗马不久后所作。萧统编时未能细察，以为作于离家之初，误编为《赴洛》之续篇。

【原文】

羁旅远游宦①，　托身承华侧②
抚剑遵铜辇③，　振缨尽祗肃④。
岁月一何易，　寒暑忽已革⑤。
载离多悲心⑥，　感物情凄恻。
慷慨遗安愈⑦，　永叹废寝食⑧。
思乐乐难诱⑨，　曰归归未克⑩。
忧苦欲何为？　缠绵胸与臆。
仰瞻陵霄鸟⑪　羡尔归飞翼⑫。

【注释】

①游宦：原指春秋战国时，士人离开本国到他国求官谋职，后泛指离家在外作官。

②承华侧：承华门旁。李善注引陆机《洛阳记》："太子宫有承华门。"全句意为，托身于承华门侧。即指任太子洗马官职一事。

③铜辇：李善注："太子车饰。"

④缨：以丝线做成的穗状饰物。以作冠饰。 祗(zhī 枝)肃：恭敬严肃。祗，恭敬。《诗·商颂·长发》："昭假迟迟，上帝是祗。"

⑤革：变。

⑥载：句首助词，无义。《诗·鄘风·载驰》："载驰载驱，归唁卫候。"

⑦慷慨：情绪激昂。《三国志·魏臧洪传》："洪辞气慷慨，涕泣横下，闻其言者，虽卒伍厮养，莫不激扬，人思致节。" 安愈：安宁。李善注曰："《东京赋》曰：'膺多福以安愈。'"又在《东京赋》注曰："愈：宁也。……祭祀受多福，以安宁也。'"

⑧寝食：原文为"餐食"，从五臣本校改。

⑨难诱：难以吸引。

⑩未克：未成。

⑪陵霄：凌空。陵，通"凌"。

⑫归飞翼：往回飞的羽翼。

【译文】

旅居在洛阳城谋职求官，
在今天托身于承华门边。
抚宝剑紧跟着太子铜辇，
同行的众随员恭敬庄严。
岁月逝如流水多么迅速，
从严寒转瞬间又到暑天。
别离情深似海令我悲伤，
观景物心感动凄恻愁惨。
心慷慨情激昂失掉安宁，
一声声长叹息废寝忘餐。
思游乐游乐遍难移情怀，
说还乡还乡梦永难实现。
满心忧满腹愁其状如何？

日与夜在胸臆悱恻缠绵。
抬起头仰望那凌空飞鸟，
羡慕你有双翼能返家园。

（顾绍炯　译注）

赴洛道中作二首

陆士衡

【题解】

陆机出身于东吴的士族显宦，祖父陆逊、父亲陆抗，都是东吴名将。他二十九岁时，与其弟陆云一同被迫北上洛阳。作为东吴名门之后，吴亡仕晋，纯系出于无奈；加以想到此去山高路远，前途未卜，因此内心凄楚，情绪低沉。写离家上道，沿途所见，无不渗透其悲凉凄恻之情。对陆机诗颇多贬辞的沈德潜，对此诗也不得不肯定“二章稍见凄切”（见《古诗源》）。可见此诗的感染力是谁也无法否认的。

【原文】

总辔登长路①，　呜咽辞密亲②。
借问子何之③，　世网婴我身④。
永叹遵北渚⑤，　遗思结南津⑥。

行行遂已远⑦，　野途旷无人⑧。
山泽纷纡余⑨，　林薄杳阡眠⑩。
虎啸深谷底，　鸡鸣高树巅。
哀风中夜流⑪，　孤兽更我前⑫。
悲情触物感，　沉思郁缠绵。
伫立望故乡，　顾影凄自怜。

【注释】

①总辔：以朱帛系于马缰绳为饰。总，车马之饰。《汉书·韩延寿传》："驾四马，傅总，建铜棨。"注："总，以缇缯饰镳辖也。"辔，马缰绳。

②密亲：亲密的亲友。

③借问：此为固定词组，其意同"请问"。

④世网婴我身：世间之事缠绕着我，使我无法脱身。婴，缠绕，羁绊。陆机《赠弟士龙诗序》中说："会逼王命。"姜亮夫《陆平原年谱》对此阐述道："上年诏内外群官举清能，拔寒素，则所谓逼王命者；州郡催逼上道之命，势非则已。"

⑤永叹：长叹。　遵：循，沿着。

⑥南津：南面的渡口。

⑦行行：行而又行。

⑧野旷：原野空旷。

⑨纷纡余：纷乱而纡回曲折。

⑩林薄：树林茂盛。　杳阡眠：因林木茂盛深密，什么也分不清，只见一片青绿颜色。吕延济："阡眠，原野之色。"一说：阡眠，同芊眠、阡绵。茂密貌。

⑪中夜：夜半。

⑫更我前：经过我面前。更，经过。《史记·张骞传》："欲通使，道必更匈奴中。"

【译文】

马辔上饰朱帛离家启程，

心悲切声呜咽告别亲人。
请问你为什么要去远方？
人世网缠着我不得不行。
长叹息沿洲渚向北前进，
我思绪仍留在南方水滨。
一天天行复行越去越远，
空旷的原野上杳无人影。
山重山夹沼泽纷乱纡曲，
树杂草极茂盛一片碧青。
深谷里猛虎啸悬崖震颤，
有雄鸡啼叫在高树之巅。
半夜里悲风起吹过荒原，
失群兽落荒走过我面前。
重重悲满胸间触物兴感，
深深忧积怀中郁结缠绵。
伫立久望故乡地迥天远，
形孤独心凄楚顾影自怜。

（顾绍炯　译注）

【题解】

这首诗继续前一首进一步述说旅途之艰辛和内心的哀伤，将孤寂忧郁的感情推向最高层次。

作者孤寂忧伤的心情由多方面的原因形成。作为东吴大臣的后裔，本身也曾出仕吴国，此次被迫远去洛阳，入仕晋朝，不能没有

故国之思，故园之恋。加以自己以亡国臣民之身份，入晋求仕干禄，晋君与权臣究竟如何对待，吉凶难料，前途未卜，故尔百感交集，忧心忡忡。这些原因是完全不能明言的，作者在诗中一句也未提及，只是通过对旅途景物和自己行为的细节描写，来表现其复杂的心情。比如“夕息抱影寐，朝徂衔思往”，“抚枕不能寐，振衣独长想”，将其孤寂难安，坐卧不宁的心情表现得细致入微；特别是对“顿辔倚嵩岩，侧听悲风响”这一下意识动作的描写，将他忧念前途，忐忑不安的心态更是刻画得入木三分。由于作者把深情的表述寄寓在形象的描写之中，所以写得含蓄而深刻，取得了“状难状之景如在目前，含不尽之意见于言外”的艺术效果。

【原文】

远游越山川，　山川修且广①。
振策陟崇丘②，案辔遵平莽③。
夕息抱影寐④，朝徂衔思往⑤。
顿辔倚嵩岩⑥，侧听悲风响⑦。
清露坠素辉⑧，明月一何朗⑨。
抚枕不能寐⑩，振衣独长想。

【注释】

①修且广：绵长而且宽广。

②振策：挥动马鞭，策马前进。　陟(zhì 治)：登上。　崇丘：高岗。

③案辔：按住马缰绳，任马慢慢走。　遵：循，沿着。　平莽：平坦的原野。案：通“按”。

④夕息：夜晚休息。　抱影寐：入睡时只有孤影作伴。

⑤朝徂：早上启程。徂：往，此指启程。　衔思：衔悲。思，悲思。

⑥顿辔：扣住缰绳，驻马不进。一说，放松缰绳。　倚嵩(sōng 松)岩：倚傍着高高岩壁。

⑦侧听句：侧耳倾听悲风响声，探究前面的动静。体现旅途的险恶情景和作者对前程凶吉难料，提心吊胆的心情。

⑧坠素辉：坠落的露珠，在月光映照下银辉闪烁，极言月光之明朗。

⑨一何：多么。

⑩抚枕：原文为“抚几”，从汲古阁本校改。

⑪振衣：抖衣去尘。　长想：深思。

【译文】

越山岭过江河游历远方，
山连水水连山绵长宽广。
挥马鞭登上了高高山岗，
按马辔循平原走向前方。
至夜晚就寝时孤影相伴，
到清晨启程时衔悲前往。
勒马缰倚傍着高高岩壁，
倾听那郊原上悲风回响。
月色中清露坠闪耀银辉，
天空里一轮月多么明朗。
抚摸着床上枕不能成寐，
披衣起又独自深深怀想。

（顾绍炯　译注）

为吴王郎中时从梁陈作一首

陆士衡

【题解】

此诗为陆机在赴任吴王郎中令时，于梁(今河南开封)陈(今河南淮阳)途中所作。陆机在元康四年(294)秋天由太子洗马迁任吴王司马晏的郎中令。郎中令为秦时所置官名，汉沿袭之。掌管宫殿、掖庭门户，汉武帝以后，更名为光禄勋，下属有大夫、郎、谒者等。吴国为晋藩属，也设此职。

陆机于太康十年(289)入洛后，颇为晋朝掌权者器重，尤其是在文坛上地位更高，这些都使他引以为慰；这次又是去吴(现江苏省苏州市)任职，吴地离他故乡极近。这一切因素，使他写此诗时，内心充满欢欣鼓舞甚至志得意满的感情，这感情洋溢在字里行间。

【原文】

在昔蒙嘉运①，　矫迹入崇贤②。
假翼鸣凤条③，　濯足升龙渊④。
玄冕无丑士⑤，　冶服使我妍⑥。
轻剑拂鞶厉⑦，　长缨丽且鲜⑧。
谁谓伏事浅⑨？　契阔逾三年⑩。
薄言肃后命⑪，　改服就藩臣⑫

夙驾寻清轨[13]， 远游越梁陈，
感物多远念[14]， 慷慨怀古人[15]。

【注释】

①嘉运：好运。

②矫(jiǎo 皎)：高举。杨雄《解嘲》："矫翼厉翮。" 崇贤：宫门名。为太子洗马须入此门。

③假翼：凭借羽翼。 凤条：梧桐树枝，为凤所栖之枝条。

④濯(zhuó 酌)：洗去污垢。 龙渊：藏龙之渊。渊，深潭。《淮南子·地形》："清水有黄金，龙渊有玉英。"

⑤玄冕：赤黑色的帽子。《周礼·春官·司服》："祭群小祀则玄冕。"郑玄注："凡冕服皆玄衣纁裳。"又为卿大夫之命服。

⑥冶服：艳服。冶，艳丽，妖艳。《易·系辞上》："慢藏诲盗，冶容诲淫。"

⑦鞶(pán 盘)厉：束腰革带与革带下垂的部分。《左传·桓公二年》："鞶厉游纓，照其数也。"注："鞶：绅带也，一名大带；厉，大带之垂者。"疏："大带之垂者名之为绅，而复名为厉者，绅是带之名，厉是垂之貌。

⑧纓：结冠的带子。以二组系于冠，结于颔下。屈原《渔父》："沧浪之水清兮，可以濯吾纓。"

⑨伏事：李善注引《周礼》曰："大司徒颁职事，十有二曰服事。"郑司农曰："服事，谓为公家服事也。'服'与'伏'同，古字通。"

⑩契阔：聚散，合离。契，投合。阔，别离。偏义复词，偏用阔的意思，谓久别。

⑪薄、言：均语助词，无义。 肃后命：恭肃地遵照后来诏命。

⑫藩臣：此指吴王司马晏。

⑬夙驾：早驾。

⑭感物：感于物，为景物所感动。

⑮慷慨：情绪激昂。

【译文】

在过去我曾经交上好运，

迈高步走进了崇贤大门。
展羽翼向桐树梢头飞升，
濯双足往龙宫里面前进。
戴青冠不会有丑陋之士，
穿艳服更使我抖擞精神。
佩挂上轻宝剑腰束大带，
既美丽又光鲜飘曳长缨。
谁说我勤国事时间短暂？
从入宫到今天已逾三年。
恭肃地又接受后来诏命，
改任为郎中令出仕外藩。
在早晨沿大路驱车向前，
越梁国过陈地远去东南。
被景物所感动遐想无限，
慨叹地怀念那古圣先贤。

（顾绍炯　译注）

始作镇军参军经曲阿作一首

陶渊明

【作者】

陶渊明(365～427)，东晋至刘宋时期的文学家。字元亮，东晋

亡后更名潜，字渊明。浔阳柴桑(今江西九江市)人。他出身于官僚家庭，曾祖父陶侃做过东晋大司马(据萧统《陶渊明》传)，祖父陶茂、父亲陶逸都做过太守或县令，至他时家境衰微，故“少而劳苦”，他青年时有“大济苍生”的壮志，先后做过江州祭酒、镇州参军、建威参军、彭泽令等小官，当时政治黑暗，他不愿同流合污，四十一岁时辞去彭泽令，归隐田园，从此一直“躬耕自资”，卒后友朋谥为“靖节先生”。

陶渊明是我国最早的田园诗人，其成就最高的是田园诗。诗中抒发了对农村风光和淳朴生活的热爱，表现了鄙夷利禄的感情和洁身守志的情操。诗的风格冲淡自然，意境超远，语言简洁含蓄，在古代诗歌中独树一帜；但他也有“金刚怒目”式的作品，或歌颂坚贞不屈的英雄，或赞扬慷慨牺牲的烈士，说明他并未忘情于世事，体现了他诗歌风格的另一方面。现存有诗歌一百四十多首，散文六篇和辞赋三篇，有《陶渊明集》。

【题解】

东晋安帝元兴四年(404)，刘裕平桓玄，收复京邑，行镇军将军，可能就在这一年任命陶渊明为镇军参军，此时他刚四十岁，在赴任途中路过曲阿(现江苏省丹阳县)时写了这首诗。

诗中抒写了作者初任军职时的复杂心态。他本来有“达则兼济天下”的宏伟抱负，但因仕途黑暗而裹足不前。只由于长期生活穷困，不得不出仕以维持生计，终于因为当时政治异常腐败，门阀制度盛行，加以官场中谄上压下之风极严重，使他无比憎厌仕途生涯，从而陷入出仕与归隐的尖锐矛盾之中。从全诗看，“望云惭高鸟，临水愧游鱼”是他在诗中流露的基本情感，“聊且凭化迁，终反班生庐”是他矛盾思想的主导方面，第二年他于彭泽令任上弃官归隐，并写出《归去来兮辞》，正是这种真实的思想感情进一步发展的体现。清人孙月峰评此诗曰：“俱是真实语，绝无粉饰，有冲淡之

味。”颇中肯綮。

【原文】

弱龄寄事外①，　委怀在琴书②。
被褐欣自得③，　屡空常晏如④。
时来苟冥会⑤，　宛辔憩通衢⑥。
投策命晨装⑦，　暂与园田疏⑧。
眇眇孤舟游⑨，　绵绵归思纡⑩。
我行岂不遥，　登降千里余⑪。
目倦修途异⑫，　心念山泽居⑬。
望云惭高鸟，　临水愧游鱼⑭。
真想初在衿⑮，　谁谓形迹拘⑯。
聊且凭化迁⑰，　终反班生庐⑱。

【注释】

①弱龄：二十岁，此指年轻时。　寄事外：托身于世事之外，此指未入仕途。

②委怀：托心于。

③被褐：穿粗布衣裳。被（pī 披），通“披”，穿。　褐（hè 贺），兽衣或粗麻制成的短衣，古时穷人所穿。《孟子·滕文公上》：“许子衣褐。”赵岐注：“褐以毳（cuì，鸟兽的细毛）织之，若今马衣也。或曰褐，枲（xǐ，大麻）衣也；一曰粗布衣也。”　自得：自足貌。

④屡空：经常贫穷，一无所有。《论语·先进》：“回也其庶乎，屡空。”　晏如：安然貌。《汉书·杨雄传》：“杨雄家产不过十金，室无檐石之储，晏如也。”

⑤时：时运，时机。　苟：且也。　冥会：默契，暗与相合。原文为“宜会”，从李公焕《笺注陶渊明集》校改。

⑥宛：屈。《汉书·杨雄传·解嘲》：“是以欲谈者宛舌而固声。”宛辔：枉道，走弯路。　憩：止息。　通衢：大道。此喻仕途，两句说，如果有出仕为官的

机会，也只好委屈就任。

⑦策：简策。古代编连有文字的竹简以成策叫简策，即今天的书籍。 命晨装：令人准备清晨出发的行装。原文为“命晨旅”，据李公焕《笺注陶渊明集》改。

⑧疏：疏远。

⑨眇眇：遥远貌。 孤舟游：汲古阁本为“孤舟逝。”

⑩绵绵：不绝貌。 纡：缭绕。

⑪登降：跋山涉水。五臣本作“登陟”。登，登山。降，临水。

⑫目倦：眼睛厌倦，看腻了。 修途异：异乡的漫长道路。

⑬山泽居：所居的山泽，指旧家园。

⑭惭高鸟，愧游鱼：对着高飞的鸟，自由的鱼而感到惭愧。

⑮真想：淳真的思想指原来爱琴书、乐自然的思想。 初：原来。 衿：五臣本作襟，胸怀。

⑯形迹：仪容礼貌。此指官场俗套。五臣本作“行蹟”。两句说自己本来怀抱淳真的思想。怎能受官场俗套的拘束呢？

⑰化迁：随着时势的变化而改变自己行为。李善注：“庄子谓惠子曰：‘孔子行年六十化。’郭象曰：‘与时俱化也。’”即与时推移之意。

⑱班生庐。李善注引班固《幽通赋》曰：“终保己而贻则，里上仁之所庐。”赞颂其父班彪能保持一生廉洁无暇，留给后人以崇高的典范，并且还告诫自己应择仁者之里而居住。故多以班生庐代仁者所居，此指作者自己的家。反：通“返”。

【译文】

年轻时不曾想出仕做官，
把感情寄托在琴书上面。
身上穿粗布衣欣喜自得，
经常在穷困中恬然自安。
时机来且出任镇军参军，
只好去仕途中委屈素愿。
抛开书命仆人备好行装，

我将要与田园暂时疏远。
驾轻舟凌清波航行远方，
望家山难归去思绪绵绵。
在异域行又行谁说不远，
登高山逾大河旅程逾千。
他乡的山与水已看厌倦。
殷切地怀念着旧日家园。
望云端鸟高飞油然生愧，
见水中鱼畅游暗自抱惭。
满胸怀本来是淳真思想，
怎么能受官场俗套拘管。
我姑且随时势改变素行，
有一天终将要重返故园。

（顾绍炯　译注）

辛丑岁七月赴假还江陵夜行涂口作一首

陶渊明

【题解】

东晋隆安五年(401,即辛丑年),陶渊明三十七岁。这一年他从荆州请假返家,至七月份假期满后,去江陵桓玄府销假赴任,夜行至涂口时写了这首诗。《舆地纪胜》六十六鄂州涂口下注曰:“在江

夏南，水路五十里。一名金口，陶潜有《涂口诗》。”

陶潜在此诗中，抒写了自己对诗书、林园的热爱，对躬耕生活的留恋，和对高官厚禄的淡漠，肯定了在衡门茅屋中修养淳真性情，才是美善的人生。清人邵子湘评此诗道：“一起便有尘外之想，结句照应，可见靖节胸中光景。”由于此诗主题集中，写景清新淡远，而且情景交融，故孙月峰说：“比前篇（指《始作镇军参军经曲阿作》）更冲淡。”更体现陶诗的特色。

【原文】

闲居三十载①，　遂与尘事冥②。
诗书敦宿好③，　林园无世情④。
如何舍此去⑤，　遥遥至西荆⑥。
叩枻新秋月⑦，　临流别友生⑧。
凉风起将夕⑨，　夜景湛虚明⑩。
昭昭天宇阔⑪，　皛皛川上平⑫。
怀役不遑寐⑬，　中宵尚孤征⑭。
商歌非吾事⑮，　依依在耦耕⑯。
投冠旋旧墟⑰，　不为好爵萦⑱。
养真衡茅下⑲，　庶以善自名⑳。

【注释】

①闲居三十载：按此时陶渊明三十七岁，如说“闲居三十载”，则七岁即闲居在家，不合情理。据逯钦立说，三十当是“三二”之误。三二为六，闲居六载。因陶渊明二十九岁（393）初次出仕，任州祭酒，不久即辞职归田，“躬耕自资”；到三十五岁（399）又为桓玄幕僚，其间赋闲六年。

②尘事：李善注：“尘俗之事”，此指交往应酬一类事。　冥：冥漠，隔绝。

③诗书敦宿好：勤学诗书，是自己一贯爱好。敦，勉励。此指勤勉学习。李

善注："《左氏传》赵襄曰：'郄縠悦礼乐而敦诗书。'"宿，宿昔，一贯。好（hào 皓），爱，喜欢。

④世情：指人世间的交往应酬，人情世故。五臣本作"俗情"。

⑤此：指诗书、林园。

⑥西荆：荆州。当时京都在东，因称荆州为西荆。李公焕《笺注陶渊明集》作"南荆"。

⑦枻（yì 曳）：船舷。　新秋月：六臣本作"亲月船"。

⑧友生：朋友。《诗·小雅·常棣》："虽有兄弟，不如友生。"

⑨将夕：薄暮。

⑩湛：清新澄澈貌。　虚明：空明。指秋月照耀下，天阔川平之状。

⑪昭昭：明亮。

⑫皎皎（jiǎo 皎）：洁白光明貌。

⑬怀役：惦念官家差役。　不遑：不暇。

⑭中宵：半夜。　孤征：独自行进。

⑮商歌：商调之歌。商：乐调名，其声短促激越。《淮南子·道应训》："宁戚商歌车下，而桓公慨然而悟。"许慎注："宁戚，卫人，闻桓公兴霸，无以自达，将车自往。"全句是说，像宁戚那样商歌自荐，不是我干的。指不愿意出仕。

⑯依依：留恋貌。　耦耕：并肩耕作。《论语·微子》："长沮、桀溺耦而耕。"

⑰投冠：指辞官。义同"桂冠"。　墟：村落。

⑱好爵：高官厚禄。　縈：牵挂。原本为"荣"，据李公焕《笺注陶渊明集》改。《晋书·夏侯湛传》："好爵见縈。"

⑲养真：修真养性。衡茅：指茅屋陋室。衡，衡门，横木为门。茅，茅舍。

⑳庶：庶几，将近，差不多。　名：指称。《论语·泰伯》："荡荡乎民无能名焉！"全句意为，差不多可以用"善"这个字来指称自己的一生了。

【译文】

在故乡闲居了整整六年，
长时期与世俗完全隔断。
读诗书本是我一贯爱好，
林园中也没有俗事牵连。

为什么要离开这个环境，
向西行去荆州道路漫漫。
秋月下心激动叩响船舷，
流水旁惜别了亲密友伴。
薄暮时秋风起凉意无限，
空旷的川原上澄明一片。
明朗的天宇下多么辽阔，
皎洁的河岸上非常平坦，
惦记着官家事无暇休息，
一个人走不停直到夜半。
入仕途求官做非我所愿，
留恋的只是那躬耕田园。
哪一天挂冠去回归故里，
高爵位厚俸禄不萦心间。
茅檐下陋室中修真养性，
像这样过一生才算至善。

（顾绍炯　译注）

永初三年七月十六日之郡，初发都一首

谢灵运

【作者】

见卷十九《述祖德诗》作者介绍。

【题解】

谢灵运生活于统治阶级内部矛盾日趋尖锐的时期。东晋末司马道子和宋初刘裕为了打击士族势力，都曾把斗争矛头指向谢家。谢灵运自宋武帝刘裕时降公爵为侯爵后，朝廷一直未予重用。当时卢陵王刘义真颖悟好文，与灵运情好款密。而谢灵运性情偏傲，自谓才能宜参权要，常怀愤懑。司徒徐羡之等既对谢灵运的才能和倔强性格心怀忌刻，更担心他与卢陵王交往于少帝不利，故当宋武帝晏驾少帝即位之初，即除谢灵运为永嘉（今浙江温州市）太守，谢灵运怀着复杂的感情，被迫离开京都前往永嘉，临行时写了这首诗告别卢陵王等人。题中“永初三年”(422)为宋武帝刘裕年号，刘裕病故，少帝初即位，未立年号。仍沿称永初三年。

【原文】

述职期阑暑①，　理棹变金素②。
秋岸澄夕阴③，　火旻团朝露④。

辛苦谁为情⑤，　游子值颓暮⑥。
爰似庄念昔⑦，　久敬曾存故⑧。
如何怀土心⑨，　持此谢远度⑩。
李牧愧长袖⑪，　郤克惭踊步⑫。
良时不见遗⑬，　丑状不成恶⑭。
曰余亦支离⑮，　依方早有慕⑯。
生幸休明世⑰，　亲蒙英达顾⑱。
空班赵氏璧⑲，　徒乖魏王瓠⑳。
从来渐二纪㉑，　始得傍归路㉒。
将穷山海迹㉓，　永绝赏心晤㉔。

【注释】

①述职：李善注引《尚书·大传》曰："古者诸侯之于天子，五年一期，朝见其身，述其职者，述其所职也。"此指作者向君王陈述自己对所司职务的完成情况。　期阑暑：时间已是溽暑将尽了。阑，尽。

②理棹（zhào 赵）：驾舟。棹，划船的一种工具，长曰棹，短曰桨，其状相似。此代指舟。　金素：指秋季。李善注："金素，秋也，秋为金而色白，故曰'金素'也。"

③秋岸句：秋天的江岸，薄暮时也澄明清爽。

④火：星名，又叫大火，即心宿。豳历五月黄昏时火星在天空当中，六月西斜，七月更往西下。《诗·豳风·七月》："七月流火。"此以火星指秋季。　旻（mín 民），秋天。《尔雅·释天》："秋为旻天。"郭璞注："旻，犹愍也，愍万物雕落。"愍，同"悯"。

⑤谁为情：谁胜情之意。

⑥游子：作者自称。　颓（tuí 推阳平）暮：指衰老之年。按谢灵运这年三十八岁，因体弱心忧，故自称衰老。在其《山居赋》中也说："弱质难恒，颓龄易丧，抚鬓生悲，视颜自伤。"

⑦爰似：爱与自己情趣相似之人。此指卢陵王刘义真。　庄念昔：李善注：

“言游子多悲，触物增恋，爱其似者，若庄生之念畴昔。”又引《庄子》曰：“夫越之流人，去国旬月，见所尝见于国中喜。及期年也，见似人者而喜矣。”

⑧久敬：交谊愈久愈尊敬。 曾存故：李善注：“久而愈敬，类曾子之存故交。”又引《韩诗外传》曰：“子夏过曾子。曰：‘入食’。子夏曰：‘不为公费乎？’曾子曰：‘有三费，饮食不在其中。’子夏曰：‘敢问三费？’曾子曰：‘少而学，长而忘之，一费也；事君有功，轻而负之，二费也；久友交而中绝，此三费也。’”

⑨怀土：怀念此土。指京都建业。

⑩持此：据此。 谢远度：以远去为惭。谢，惭愧。李善注此二句曰：“此谓怀土也。言如何同彼怀土之心，持此弥惭远度也。”

⑪愧长袖：言赵将李牧，身长臂短，故对长袖而有自愧之意。

⑫惭踊(xǐ 喜)步：惭愧步履不轻快。言齐使郤克脚跛，行走不便，故对别人轻快的步履而有自惭之心。对上述二句，李善注引《战国策》曰：“武安君李牧至赵，王使韩苍数之曰：‘将军战胜，天觞将军，将君为寿于前，捭匕首，当死。’武安君曰：‘身大臂短，不能及地，起居不敬，恐获死罪于前，故使工人为木杖以接手，上若弗信，请视之。’《说文》曰：‘捭，两手击也。’”又注引《左氏传》曰：“使郤克徵会于齐。顷公帷妇人使观之，郤克登，妇人笑于房。”踊(xǐ 喜)，轻快的步伐。左思《魏都赋》：“邯郸踊步，赵之鸣瑟。”

⑬良时：此指清明盛世。 不见遗：不被遗弃。

⑭恶(wù 悟)：厌恶。

⑮支离：形体不全，衰弱。《庄子·人间世》：“夫支离其形者，犹足以养其身，终其天年，又况支离其德者乎？”

⑯方：此指世俗常规。李善注引《名疏》：“子桑户、孟子反、子琴张三人相与友，子桑户死，孔子使子贡往待事，或鼓琴相和而歌。子贡反，以告孔子。孔子曰：‘彼游方之外者也，而丘游之内者也。’子贡曰：‘夫子何方之依？’曰：‘丘，天之戮民也。’郭象曰：‘以方内为桎梏，明所贵在方外，夫游外者依内。’司马彪曰：‘方，常也。言彼游心于常教之外也。’” 有慕：有所向往。

⑰休明：美善旺盛。《左传·宣公三年》：“宣王使王孙满劳楚子，楚子问鼎之大小轻重焉。对曰：‘在德不在鼎。……德之休明，虽小，重也。’”

⑱英达：英明贤达之人。此指卢陵王刘义真。

⑲班赵氏璧：李善注：“言见珍同乎赵璧。”班，班次，陈列。赵氏璧，即和氏璧。

⑳魏王瓠(hú 胡):大而无用之物。李善注:“惠施谓庄子曰:‘魏王贻我大瓠之种,我树之成,而实五石。以盛水浆,其坚不自举;剖之以为瓢,则瓠落无所容,非不枵然大也,吾为其无用,掊之。’”

㉑二纪:十二年为一纪,二纪为二十四年。

㉒傍归路:指作者经过故乡始宁县。

㉓穷:尽览。

㉔赏心晤句:与卢陵王会晤交游为赏心乐事,从此以后,将永远断绝了,因为不仅为山水阻隔,而且被徐羡之等所忌。故曰:“永绝”。晤:原文为“悟”,据五臣本校改。

【译文】

向君王述罢职溽暑刚完,
驾舟船离京都已是秋天。
初秋的江岸上夜色澄明,
初秋的朝阳下清露团团。
辛苦中度华年谁不兴感,
远游子已进入衰老之年。
对知己庄生最爱慕怀想,
对老友曾子更敬重留恋。
怀知音恋京都此情何堪,
临别时对远行暗自生惭。
赵李牧曾自叹身长臂短,
楚郤克也遗憾行走不便。
他们在清明世未遭遗弃,
体不全未曾见有谁憎厌。
我身体也孱弱近于衰残,
早倾慕方外人想与为伴。
幸亏得生活在清明圣朝,
蒙英贤对于我青眼相看。

虽然像和氏璧深受珍重，
但我是魏王瓠大而无用。
入仕途已经历二十四载，
到今天才能寻故园旧踪。
此一去将穷览山海胜迹，
可能会永断绝良友佳朋。

（顾绍炯 译注）

过始宁墅一首

谢灵运

【题解】

始宁墅在始宁县（今浙江省上虞县）东南，又名西庄，是谢灵运的庄园，灵运的祖父、父亲皆葬于始宁县，并有故宅及别墅在此。

本篇主要是写作者去永嘉任太守时，经过始宁别墅的游观之乐，并表现自己不久就要归来隐居的心愿。诗中写景精工细腻，其中如“白云抱幽石，绿篠媚清漪”等句，更显得清丽自然。鲍照说谢灵运的五言诗，如“初发芙蓉，自然可爱”，应是指这类句子。

何焯评此诗说：“前云违志，终云期归，与陶公《经曲阿作》绝相似，则陶气恬有任运之心，谢气傲有凌物之志矣。”恰切地道出两诗的异同。

【原文】

束发怀耿介①，　逐物遂推迁②。
违志似如昨③，　二纪及兹年④。
淄磷谢清旷⑤，　疲苶惭贞坚⑥。
拙疾相倚薄⑦，　还得静者便⑧。
剖竹守沧海⑨，　枉帆过旧山⑩。
山行穷登顿⑪，　水涉尽洄沿⑫。
岩峭岭稠叠⑬，　洲萦渚连绵⑭。
白云抱幽石，　绿篠媚清涟⑮。
葺宇临回江⑯，　筑观基曾巅⑰。
挥手告乡曲⑱，　三载期归旋⑲。
且为树枌榧⑳，　无令孤愿言㉑。

【注释】

①束发：古代男孩成童时束发为髻，因以为成童的代称。《大戴礼记·保傅》"束发而就大学，学六艺焉，履大节焉。"　耿介：守正不阿的节操。

②逐物：追逐世俗名利。　推迁：变化改易。全句说，因为追逐世俗名利，改变了原有的耿介节操。

③违志：违背守正不阿之志。

④及兹年：到今年。

⑤淄磷：《论语·阳货》："不曰坚乎，磨而不磷；不曰白乎，涅而不淄。"孔子说自己的意志坚强，磨也磨不薄；自己的品质洁白，染也染不黑。谢灵运反用其意，说自己意志磨得薄，品质染得黑。淄，黑。磷：薄。　谢清旷：对于清高旷达的人，自己感到惭愧。谢，此作"愧"解。

⑥苶（nǐ 你）：劣弱。通"苶"。《抱朴子·百里》："冒昧苟得，暗于自量者，虑中道之颠踬，不以驽苶服鸾衡。"

⑦拙：愚笨。此指不善做官，不会逢迎取巧。　相倚薄：互相依附。

⑧静者：指仁义之人。李善注："《论语》曰：'智者动，仁者静。'"五臣本无此二句。

⑨剖竹：古代以竹为符信，剖而为二，封官时一半与之，一半留朝廷。故剖竹为拜官之意。 守沧海：灵运任永嘉太守，永嘉郡临海，故曰"守沧海"。

⑩枉帆：行船绕弯。枉：绕弯。 旧山：故山，故居，指始宁墅。

⑪穷：尽。 登顿，指上山下谷。

⑫洄沿：逆流而上为洄，顺流而下曰沿。

⑬岩峭：山崖陡峭险峻。 岭稠叠：山岭重重叠叠。

⑭洲：水中大块陆地。 渚：水中小块陆地。 萦：回绕。

⑮篠(xiǎo 小)：细竹。 涟：微风吹起的细微波纹。

⑯葺(qi 气)：修整。 宇：屋宇。

⑰观：台榭。 曾巅：高山顶。曾，通"层"。

⑱乡曲：乡邻。

⑲三载朝：古代地方官多以三年为一任，故曰三年后归来。

⑳树：栽种。 枌(fén 汾)：白榆树。榾(jiǎ 甲)：楸树。

㉑孤：辜负。孤，通"辜"。 愿言：指三年归来的许愿之言。

【译文】

心正直情淳朴正当童年，
追名利求爵禄逐渐变迁。
违初志仿佛才始于昨天，
细数来已经有二十四年。
庸碌才与清高相去太远，
羸劣质对坚贞自感羞惭。
笨拙心疾病身互相依存，
还幸得仁智者教导指点。
圣明主剖符信令守海边，
扬轻帆绕海湾途经故园。
登海岸沿山行攀峰降谷，

驾扁舟渡清流上溯下沿。
陆上见山与岭陡峭重叠，
水上观洲与渚萦回连绵。
白云厚簇拥着深幽山石，
绿竹细掩映着清清漪涟。
修屋宇面临那弯弯江水，
建台观奠基于高高峰巅。
挥挥手告别了亲友乡邻，
去为官满三年定回家园。
请为我种楸树还有白榆，
我决不违背这归隐愿言。

（顾绍炯　译注）

富春渚一首

谢灵运

【题解】

此诗为谢灵在永初三年(422)被迫离京都去永嘉经过富阳(今

浙江富阳县)时所作。

被吴均赞为“奇山异水,天下独绝”的富阳江,在此诗中,只有云雾、惊浪和险岸;色彩黯淡,景物险恶。它既有作者当时心情的投影,也具有象征意义,象征作者当时所处的险恶政治环境。诗的抒情部分较长,其中表现了作者在极端苦闷中求解脱、找出路的心境。

谢灵运被迫出京的第三年(424),徐羡之等不仅杀了卢陵王刘义真,还弑了少帝刘义符。有人说此诗中的浓雾、惊浪、险岸是徐羡之等凶险政客的拟物写照,也不无道理。

【原文】

宵济渔浦潭①,　旦及富春郭②。
定山缅云雾③,　赤亭无淹蓐④。
溯流触惊急⑤,　临圻阻参错⑥。
亮乏伯昏分⑦,　险过吕梁壑⑧。
洊至宜便习⑨,　兼山贵止托⑩。
平生协幽期⑪,　沦踬困微弱⑫。
久露干禄请⑬,　始果远游诺⑭。
宿心渐申写⑮,　万事俱零落⑯。
怀抱既昭旷⑰,　外物徒龙蠖⑱。

【注释】

①宵济:夜渡。济,渡过。　渔浦潭:李善注引《吴郡记》曰:“富春东三十里有渔浦。”

②旦及:早上到达。　富春郭:富春的外城。李善注引《吴郡缘海四县记》曰:“钱塘西南五十里,有定山。去富春又七十里,横出江中,涛迅迈,以游山难。晨发钱塘,已达富春。”富春,县名,秦置。晋太元中因简文帝郑太后名春,

为避讳改名富阳，在今浙江杭州市西南富春江左岸。

③定山：见注②。全句意为，定山被云雾遮掩，未能看见秀丽景色。

④赤亭：在定山东十余里。 淹薄：同“淹泊”。滞留，停止。此指停泊。全句意为，赤亭无停泊行船的渡口，因此一晃而过，未能停下观览。

⑤溯流：同溯游，顺流下航。 触惊急：碰触惊涛急浪。

⑥圻：同“碕”。曲岸。 阻：险阻。 参错：参差错落，层出不穷。

⑦亮：明亮，此指明智。 伯昏：李善注引《列子》曰：“列御寇为伯昏无人射，引之盈贯，措杯水其肘上。伯昏无人曰：‘是射之射，非不射之射也。当与汝登高山，履危石，临百仞之泉，若能射乎？’于是无人遂登高山，履危石，临百仞之泉，背逡巡，足二分垂在外，揖御寇而进。御寇伏地，汗流至踵。伯昏无人曰：“夫至人者，上窥青天，下潜黄泉，挥斥八极，神气不变。今汝怵然有恂目之志，尔于中殆矣夫。” 分：此指节度。李善注：“分，犹节也。”

⑧吕梁：山名。在今山西省西部，黄河与汾河间。北接恒山，南至禹门口。《水经注·河水》：“河水左合一水，出善无县故城西南八十里，其水西流，历于吕梁之山而为吕梁洪。……盖大禹所辟，以通河也。”李善注引《列子》曰：“孔子观于吕梁，悬水三十仞，流沫三十里，黿鼉鱼鳖之不能游也。” 壑（hè 贺）：山沟。

⑨洊（jiàn 见）至：再至，相继而至。《易坎》：“水洊至，习坎。”注：“不以坎为隔绝，相仍而至。” 便习：熟悉。《后汉书·陈龟传》：家世边将，便习弓马。”

⑩兼山：《易·艮》：“兼山，艮，君子以思不出其位。”又：“艮以止之。”兼山，两山相重。艮，静止。两山各得其所，借指应安于自己所处的地位，即安分守己的意思。

⑪幽期：秘密的期约，此指个人未张扬过的抱负和志愿。

⑫沦踬（zhì 志）：沦落挫折。踬，困顿，挫折。《新唐书·杜牧传》：“而牧回踬不自振，颇怏怏不快。”

⑬干禄：求仕。

⑭始果句：才实现远游的诺言。李善注：“果，犹遂也。郑玄《毛诗笺》曰：‘诺，应辞也。’然古者请于君，君许，则画诺以报之。”

⑮宿心：素志。 申写：申述抒发。写，抒发。全句意为，素来的心志逐渐申述表达。

⑯万事句：李善注引《庄子》曰：“致命尽情，天地乐而万事销亡。”两句意

为，素来的志原虽已能够表达，而时光蹉跎，万事都已零落了。

⑰昭旷：豁达，宽宏。

⑱龙蠖(huò 获)：李善注引《周易》曰："尺蠖之屈，以求伸也；龙蛇之蛰，以存身也。"全句意为，只有心存豁达宽宏，外形的屈伸显晦，是无所谓的。蠖，即尺蠖。蛾的幼虫，生于树上，颜色如树皮，行动时身体一曲一伸地前进。

【译文】

昨夜晚从鱼浦潭边渡过，
今早上到达了富春城郭。
望定山被云雾遥遥遮掩，
过赤亭无渡口可以停泊。
顺流下冲撞着惊涛急浪，
临曲岸危险多参差错落。
谈明智比不上伯昏天分，
历艰险超过了吕梁山壑。
佳山水又重临认真熟习，
安本分守其职知足常乐。
忆平生曾有过幽期密约，
长时期受挫折困顿沦落。
早年就流露了守郡心愿，
到如今才实现远游许诺。
虽然将平生志逐渐申述，
好时光已虚度万事零落。
只要使怀抱中豁达宽宏，
那管得外形如蛰龙屈蠖。

（顾绍炯　译注）

七里瀨一首

谢灵运

【题解】

此诗是在宋少帝刘义符刚即位时(422),谢灵运除为永嘉太守路过桐庐县七里瀨而作。谢灵运是在怀才不遇,反遭贬斥的情况下前往永嘉的,其心情之抑郁苦闷可想而知。全诗十六句,共分四部分。一至四句写旅途中抑郁苦闷的心情;五至八句写 七里瀨淳朴生动的自然风光;九至十二句写在自然美的启示下获得了心灵的超越;十三至十六句写对隐居生活的向往。全诗的重点是第二部分淳朴景色之美。谢灵运的思想与同时的陶潜和以后的孟浩然、王维都有所不同,但对大自然的热爱,使他终于成为我国第一位山水诗人。七里瀨(lài 赖),即七里泷,为浙江桐庐县名胜。《甘州记》曰:"桐庐县有七里瀨,瀨下数里,至严陵瀨。"

【原文】

羁心积秋晨①,　晨积展②游眺。
孤客伤逝湍③,　徒旅苦奔峭④。
石浅水潺湲⑤,　日落山照耀。
荒林纷沃若⑥,　哀禽相叫啸。
遭物悼迁斥⑦,　存期得要妙⑧。

既秉上皇心⑨，　岂屑末代诮⑩。
目覩严子濑⑪，　想属任公钓⑫。
谁谓古今殊⑬，　异世可同调⑭。

【注释】

①羁心：行客羁旅时孤独和忧郁的心情。　积。指愁苦聚积。

②展：舒展。　游眺：眺望景物。全句意为，秋晨郁积的愁苦心情，因观览两岸景色而得到舒展，李善注："《尔雅》曰：'展，适也。'郭璞曰：'得自申展，皆适意。'"

③逝湍(tuān 团阴平)：逝去的急流。湍，急流的水。《水经注·江水》："春冬之时，则素湍绿潭，回清倒影。"

④徒旅：徒步旅行。　奔峭：崩落的峭岸。李善注："《淮南子曰》：'岸峭者必陀。'许慎曰：'陀，落也。然'奔'亦落也。"

⑤潺(chán 馋)湲(yuán 圆)：流水缓慢貌。屈原《湘夫人》："观流水兮潺湲。"

⑥沃若：枝叶茂盛貌。《诗·卫风·氓》："桑之未落，其叶沃若 。"

⑦遭物：遭物议，被谗毁。　迁斥：被斥逐，贬谪。谢灵运袭祖父谢玄爵位为康乐公，宋武帝刘裕因故降公爵为侯爵。少帝即位，遭司徒徐羡之等人谗毁，除为永嘉太守。

⑧存期：想念，期望。存，想念。《诗·郑风·出其东门》："出其东门，有女如云。虽则如云 ，匪我思存。"　要妙：精要微妙。《老子》："不贵其师，不爱其资，虽智，大迷。是谓要妙。"汉河上公《章句》："能通此意，是谓知微妙要道也。"

⑨秉：秉承，具有。　上皇心：上古帝王淳厚诚朴的思想感情。

⑩岂屑：难道介意。屑，介意。《后汉书·马援传附马廖》："尽心纳忠，不屑毁誉。"　末代：后世，此指作者当时的人世。　诮：讥诮。

⑪目睹句：严子，严光，字子陵，会稽余姚(今属浙江)人，少与光武帝刘秀一同游学，有高名。刘秀称帝，严光变姓隐居，刘秀派人寻访，征召到京，授谏议大夫，不受，退隐于富春山。严子濑，地名。在浙江桐庐县南，相传后汉严光耕于富春山，后人因名其垂钓处为严陵濑。《水经注·渐江水》："(孙权)割富

春之地立桐庐县，自县至于潜，凡十有六濑，第二是严陵濑，濑带山，山下有一石室，汉光武帝时，严子陵之所居也。”

⑫想属(zhǔ 主)：联想到。属，接连。 任公钓：李善注引《庄子》曰：“任公子为大钩巨纶，五十辖以为饵，蹲会稽，投竿东海，旦旦而钓，期年不得鱼。已而大鱼食之，牵巨钩，陷没而下，惊扬而奋鬐，白波若山。任公子得若鱼，离而腊之，自制河以东，苍梧以北，莫不餍若鱼也。”

⑬古今殊：指古人和今人性格不同。李善注引郭象《庄子》注曰：“人性有变，古今不同。”

⑭异世：不同时代。 同调：同奏一个曲调。全句是说，具有同样的思想，就能有同样的表现。李善注：“乐稽耀嘉曰：‘圣人虽生异世，其心异同如一也，’调，犹运也。谓音声之和也。”

【译文】

羁旅人在秋晓满怀惆怅，
放眼望愁绪消舒展眉梢。
船游见流水逝心怀感伤，
步行遇峭岸崩内心苦恼。
石河床水清浅潺湲流过，
日西沉东山上红光照耀。
荒郊中林木密枝叶茂盛，
密林里群鸟飞哀鸣悲叫。
遭物议被贬谪远去永嘉，
长思忖久期望终得奥妙：
既具有先王心淳厚诚朴，
岂在乎后世人讽刺讥诮。
眼见到严子濑清波滔滔，
联想起任公子东海垂钓。
谁能说古今人性格不同，

心相通仍可奏同一曲调。

（顾绍炯　译注）

登江中孤屿一首

谢灵运

【题解】

孤屿是永嘉（今浙江温州市）奇景，据《寰宇记》载：孤屿在温州南四里，是永嘉江中的一个洲渚，长三百丈，宽七十步，有二峰。谢灵运游览登临以后，当地人建亭于其上。

此诗所以能被萧统收入《文选》，与作者善于选择景点，并能描绘其特色有关。孤屿山独立江心，在云日辉映水天一色的背景下，呈现出一种幽静的审美境界。谢灵运以精炼的诗句，将景物的特色摄入诗中，使读者如亲临其境，获得幽静异常、超尘脱俗的艺术享受。清人邵子湘评此诗说："大谢诗无论才高，其所历之处，皆是妙境，焉得不触发。"

【原文】

江南倦历览①，　江北旷周旋②。
怀新道转迥③，　寻异景不延④。
乱流趋孤屿⑤，　孤屿媚中川⑥。

云日相辉映， 空水共澄鲜⑦。
表灵物莫赏⑧， 蕴真谁为传⑨？
想象昆山姿⑩， 缅邈区中缘⑪。
始信安期术⑫， 得尽养生年⑬！

【注释】

①江南：指永嘉江南岸。 倦：厌倦，腻烦。 历览：游览已遍。

②江北：指永嘉江北岸。 旷：旷废，荒疏。 周旋：即游览之意。全句意为，很久没去游览江北了。

③怀新：怀抱着探寻新景物的心情。原文为“怀杂”，据五臣本校改。 道转迥：由于寻新景之心急切，转觉道路变得漫长。又，沈归愚曰：“谓贪寻新景，忘其道之远也。”

④寻异：探寻奇异景色。 景不延：时光短暂，不能延长。景，日光，此指时间。

⑤乱流：横渡江流。《尔雅》：“正绝流曰乱。”郭璞注：“直横渡也。” 趋孤屿：横渡江流，趋登孤屿山。原文为“趋正绝”。据五臣本校改。梁章钜《文选旁证》说：“寻义作‘趋孤屿’为长。下句重上字，古诗常有。疑注引《尔雅》但释‘乱’字，后人沿注，故改重文耳。”梁章钜分析正确，今从之。

⑥屿：江中洲，上有山石。 媚：美好。 中川：中流，江中间。

⑦空水：天空与江水。 澄鲜：清澈明朗。

⑧表：显现。郑玄《礼记》注曰：“表，明也。谓显明之也。” 灵：灵秀。 物：风物，风光。 莫赏：没有谁欣赏。莫，否定性的无定代词，其义为“没有谁”。

⑨蕴：藏。 真：指仙人。《楚辞·九思·哀岁》：“随真人兮翱翔。”王逸注：“真，仙人也。” 谁为传：谁又将此事传说于后人呢？

⑩昆山：昆仑山。传说中的仙人住处。 姿：姿态。全句意为，从孤屿的姿态想象昆仑山的姿态。

⑪缅邈：遥远。此用为动词，作远离讲。 区中缘：尘世缘分。区中，尘世。全句说：孤屿环境清幽，好像与世隔绝。

⑫安期术：安期生长生不老之术。安期，安期生。先秦时代方士。《史记·封禅书》记汉武帝以方士李少君言，遣使入海求蓬莱仙人安期之术。又《乐毅

传》称河上丈人以黄老教安期生。数传至盖公，为曹参之师。后代传说愈多，为道家仙人名。

【译文】

江南的名胜地已经看厌，
江北的大自然久未游览。
探新景总觉得道路漫长，
寻奇观又感到时光短暂。
横渡过清江水登上孤屿，
孤屿山最幽美在江中间。
五彩云与红日互相辉映，
清江水与碧空明净澄鲜。
孤屿的灵秀色无人欣赏，
山洞中藏仙人谁为流传。
从孤屿可想象昆山仙境，
遥远地隔绝了尘世俗缘。
到此地才相信安期方术，
真能够使人们养生延年！

（顾绍炯　译注）

初去郡一首

谢灵运

【题解】

此为谢灵运在景平元年(423)称病辞官,返回故里时所作。

永初三年七月,谢灵运被迫出任永嘉太守,到第二年秋天即称病辞职。沈约《宋书·谢灵运传》曰:"在郡一周,称病去职,从弟晦、耀、弘等与书止之,不从。"可见他辞官归隐之志是很坚决的。此诗大约作于返回故里会稽郡始宁县的途中。

谢灵运任太守一年中,永嘉山水,游览殆遍。对大自然观察之细致,对山水美体会之深刻,远胜以往。特别是他摆脱了世俗的羁绊,实现了积蓄已久的隐退愿望,心情开朗,情趣盎然,故诗中写景极为清丽生动,清人方伯海曰:"读下半截,幽情逸性,触绪沓来。视在郡时,景物同,心胸眼界不同,凡文字有意趣则生,无意趣则死。"此语确属至评。

【原文】

彭薛裁知耻①,　贡公未遗荣②。
或可优贪竞③,　岂足称达生④。
伊余秉微尚⑤,　拙讷谢浮名⑥。
庐园当栖岩⑦,　卑位代躬耕⑧。

顾己虽自许⑨，　心迹犹未并⑩。
无庸妨周任⑪，　有疾像长卿⑫。
毕娶类尚子⑬，　薄游似邴生⑭。
恭承古人意，　促装反柴荆。
牵丝及元兴⑮，　解龟在景平⑯。
负心二十载⑰，　于今废将迎⑱。
理棹遄还期⑲，　遵渚骛修坰⑳。
溯溪终水涉，　登岭始山行。
野旷沙岸净，　天高秋月明。
憩石挹飞泉㉑，　攀林搴落英㉒。
战胜臞者肥㉓，　止鉴流归停㉔。
即是羲唐化㉕，　获我击壤声㉖。

【注释】

①彭薛句：李善注引《汉书》曰："彭宣，字子佩，淮阳人也。迁御史大夫，转为大司空。王莽秉政专权，宣上书乞骸骨，归乡里。又曰：薛广德，字长卿，沛郡人也。为御史大夫，乞骸骨。班固《汉书》彭薛平当述曰："广德当宣，近于知耻。"　裁：通"才"。

②贡公句：贡禹，字少卿，琅琊人也，为光禄大夫，上书乞骸骨，鍾会有《遗荣赋》。但他终为朝廷所留，卒于御史大夫之官，故曰"未遗荣"。

③优贪竞：优于贪婪竞进者。

④达生：不受世务之牵累的意思。《庄子·达生》："达生之情者，不务生之所无以为。"注："生之所无以为者，分外物也。"

⑤伊：句首助词，无义。　微：卑贱。《书·舜典》："虞舜侧微。"注："为庶人，故微贱。"　尚：即尚志，高尚其志。《孟子·尽心》："王子垫问曰：'士何事'孟子曰：'尚志'"。

⑥拙(zhuō 桌)讷：才疏口拙，不善应付。拙，笨拙，与巧相对。《老子》："大巧若拙。"

⑦栖岩：栖于山岩，指隐居。

⑧卑位：低下之地位。

⑨顾：回顾。　自许：自我期许。

⑩心迹：心思与行迹。

⑪无庸：无功。《周礼》"国功曰功，民功曰庸。"　妨：通"方"。比拟。《汉书·卫青霍去病传赞》："票骑亦方此意，为将如此。"　周任：《论语·季氏》："周任有言曰：'陈力就列，不能者止。'"

⑫长卿：司马相如，字长卿，西汉著名文学家。有消渴疾，常称疾闲居，不慕官爵。

⑬毕娶句：李善注引嵇康《高士传》云："尚长，字子平，河内人，隐避不仕，为子嫁娶毕，敕家事断之，无复相关。"

⑭薄游句：李善注引《汉书》："邴曼容养志自修，为官不肯过六百石，辄自免去。"

⑮牵丝：初仕。　元兴：晋安帝司马德年号。时间是公元402～404年，此时谢灵运为琅琊王大司马行军参军。

⑯解龟：去官。因官印为龟纽，故以解龟代指解印。　景平：刘宋少帝刘义符年号，时间是公元423～424年。

⑰负心：指违背归隐的夙愿。　二十载：从晋安帝元兴元年到宋少帝景平二年，谢灵运出仕整二十年。

⑱废：免去。将迎：官场中的送往迎来。将，《尔雅》曰："送也。"

⑲遄(chuán 穿阳平)：速。《诗·鄘风·相鼠》："人而无礼，胡不遄死！"

⑳骛(wù 务)：奔驰，急进。　坰(jiōng 炯阴平)：郊野。《诗·鲁颂·駉》："駉駉壮马，在坰之野。"传："坰，远野也。邑外曰郊，郊外曰野，野外曰林，林外曰坰。"

㉑挹(yì 邑)：舀。

㉒搴(qiān 牵)：采取。　落英：初开之花。落，始。

㉓战胜句：全句意为，富贵不如仁义。一个人如果倾慕仁义的思想战胜了倾慕富贵的思想，那末他就会心安理得，由瘦变肥。李善注："战，明贵不如义。"又引《韩子》："子夏曰：'吾入见先生之义，则荣之；出见富贵，又荣之。二者战于胸臆，故臞。今见先生之义战胜，故肥也。'"　臞(qú 渠)：亦作"癯"。瘦。《史记·司马相如列传》："形容甚臞。"

㉔止鉴句：原文作“止监”，据五臣本校改。李善注：“止鉴，明语不如默也。”又引《文子》曰：“莫鉴于流潦，而鉴于止水，以其保心而不外荡也。《苍颉篇》曰：亭，定也。停与亭同，古字通。”

㉕羲唐，伏羲和唐尧。均古代传说中的部落酋长。

㉖击壤：古代游戏名。《太平御览》引邯郸淳《艺经》：壤，以木为之，前广后锐，长尺四，阔三寸，其形如履。将戏，先侧一壤于地，遥于三四十步，以手中壤击之，中者为上。”相传尧时，有老人击壤而歌曰：“日出而作，日入而息，凿井而饮，耕田而食，帝力于我何有哉？”

【译文】

彭子佩、薛广德才算知耻，
不能赞贡少卿留下光荣。
或可说他高于贪黩钻营，
怎能称他已经通达人生？
我秉承微贱者高尚志向，
拙于心讷于口谢绝虚名。
把家庭权当作山岩隐居，
以低位代替那田间躬耕。
虽然我早就想归隐林泉，
但行动跟不上心中决定。
本无功可比那周任所评，
身有病还像那司马长卿。
儿女事已完成有如尚子，
也曾经作小官又似邴生。
恭谨地秉承那古人心意，
及时地整行装返回柴门。
曾记得元兴年开始出仕，
一弹指解印时已至景平。
违背我隐居志二十年整，

到今朝才免去官场送迎。
觅归船速确定返乡日期，
沿洲渚过长野纵情驰骋。
溯溪流终于又徒涉清波，
上峰岭重开始攀崖上登。
举目望野空旷沙岸洁净，
抬头看天高朗秋月清明。
憩息在山石上酌饮飞泉；
披树枝过丛林采摘落英。
战胜了名利观瘦躯变胖，
照影于平静水内心安宁。
这就是羲尧时淳朴风化，
我唱出欢乐的《击壤》歌声。

（顾绍炯　译注）

初发石首城一首

谢灵运

【题解】

石首城即石头城，刘宋王朝的京都。这首诗是作者在元嘉初年第二次离京都去临川任内史时写的。

谢灵运于景平元年(422)辞去永嘉太守，回故乡始宁县隐居。

第二年宋文帝刘义隆即位，召他为秘书监，要他修《晋书》。据沈约《宋书》载："(文帝)令灵运撰《晋书》，粗立条流，不见任遇，灵运意不平。"于是"上表陈疾，上赐假东归。"归家以后不久，掌权者又不放心，据李善在篇首叙述："灵运陈疾东归，会稽太守孟凯乃表其异志。灵运驰往京都，诣阙上表，太祖知见诬，不罪也。不欲使东归，以为临川内史。"在赴临川前夕，他写了这首诗，真实地记录了他这段坎坷的生活经历和当时复杂的思想感情。

【原文】

白珪尚可磨①，　斯言易为缁②。
虽抱中孚爻③，　犹劳贝锦诗④。
寸心若不亮⑤，　微命察如丝⑥。
日月垂光景⑦，　成贷遂兼兹⑧。
出宿薄京畿⑨，　晨装抟层飚⑩
重经平生别⑪，　再与朋知辞⑫。
故山日已远⑬，　风波岂还时⑭。
迢迢万里帆⑮，　茫茫终何之⑯？
游当罗浮行⑰，　息必庐霍期⑱。
越海凌三山⑲，　游湘历九嶷⑳。
钦圣若旦暮㉑，　怀贤亦凄其㉒。
皎皎明发心㉓，　不为岁寒欺㉔。

【注释】

①白珪：为帝王诸侯所执之长形玉版，上圆或尖，下方，表示符信。《左传·昭公五年》："朝聘有珪。"注："珪以为信。"　尚可磨：白珪被玷污尚可磨掉。李善注引《毛诗》曰："白珪之玷，尚可磨也；斯言之玷，不可为也。"

②为缁：染上黑色。缁，黑。

③中孚：卦名。六十四卦之一。《易·中孚》："象曰：泽上有风，中孚。"疏："风行泽上，无所不周，其犹信之被物，无所不至。"后称恩泽下流为中孚。《宋书·何承天传》："夫明德慎罚，文王所以恤下；议狱缓死，中孚所以垂化。"爻(yáo 肴)：《周易》中组成卦的符号叫爻。全句意为，虽然身受君王的恩泽。

④贝锦诗：贝锦比喻诬陷人的谗言：李善注引《毛诗》曰："萋兮菲兮，成是贝锦。"郑玄曰："谗人集作已过，以成于罪，犹女功之集彩色，以成锦文也。"

⑤亮：明。

⑥微命句：微命显然如细丝一样的易于断送。　察：明白，显然。

⑦日月：比喻宋文帝刘义隆。　景：日光。

⑧成：成全。　贷：宽免。《汉书·张敞传》："(絮)舜本臣敞素所厚吏，数蒙恩贷。"　兹：指任命谢灵运为临川内史一事。全句意为，成全和宽免的厚意都体现在新的任命上。

⑨薄：临，抵达。　京畿(jī 肌)：此指京城附近地区。

⑩抟(tuán 团)：抟风，旋风。　层：层风，高空之风。　飑(sī 思)：疾风。《后汉书·马融传》："靡飑风，陵迅流。"原文为"抟鲁飑"，从汲古阁本校改。

⑪重经句：第一次于永初三年别京都，此为第二次，故曰"重"。

⑫再与句：第一次在京都辞离卢陵王等知交，此为第二次，故曰"再"。

⑬故山：指故乡始宁县的山水。

⑭风波句：风波不已，哪有还乡之时。表现谢灵运对前程难料的不安心情。

⑮迢迢：原文为"苕苕"，从五臣本校改。

⑯茫茫句：前途茫茫无边，究竟走哪条路。

⑰罗浮：即罗浮山。在广东东江北岸，主峰飞云顶在博罗县城西北，多瀑布、泉水，风景优美，道教称为"第七洞天"，东晋葛洪曾修道于此。

⑱庐霍：二山名。释慧远《庐山记》曰："山在江州浔阳(今江西九江市)之南。"《尔雅》曰："霍山，为南岳。"郭璞曰："今在庐江西。"

⑲三山：李善注："三山在海中，众仙所居。"

⑳九嶷：即九嶷山。在今湖南宁远县南。《水经注·湘水》："蟠基苍梧之野，峰秀数郡之间；罗岩九举，各导一溪；岫壑负阻，异岭同势；游者疑焉，故曰九疑山。"

㉑圣：指宋文帝。

㉒贤：指所辞别之朋友知交。

㉓皎皎：光明洁白。　明发：《诗·小雅·小宛》："明发不寐，有怀二人。"朱熹《集传》："明发，谓将旦而光明开发也。二人，父母也。"后因以明发称孝心。此指对宋文帝忠诚之心。

㉔岁寒：比喻谗言的毁谤。两句意为，我对朝廷光明洁白的忠心，不因谗言毁谤而受影响。

【译文】

白玉珪受玷污可磨干净，
进谗言诬陷人最难洗清。
虽然我受君王雨露深恩，
还是被工谗人巧织罪名。
决策者如果是寸心不明，
转瞬间就断送如丝微命。
圣明主如日月照耀青天，
既宽免又成全授职临川。
昨晚在夜雾中进住京郊，
今晨于疾风里整装行远。
再一次离京师情思依依，
再一次别知交举步不前。
故乡的山与水日益遥远，
风正紧浪正高何日回还？
面临着万里路荡浆扬帆，
水茫茫路迢迢去向哪边？
游历时会去到罗浮名山，
憩息处将是那庐山、霍山。
越海涛登三山寻仙访道，
游湘江经九嶷瞻仰留连。

钦圣主心感激朝朝暮暮，
怀良友情凄切月月年年。
方寸心对圣朝忠诚热烈，
不会因岁时寒稍有改变。

（顾绍炯 译注）

道路忆山中一首

谢灵运

【题解】

这首诗是谢灵运离京赴临川内史任时在途中写的。

谢灵运在永嘉任太守一年，即称病去职。因其父亲、祖父都葬于会稽郡始宁县（今浙江上虞县），那里有其故宅和别墅，于是移籍于会稽郡，在始宁县兴修别业，依山带江，尽幽居之美，与隐士王弘之、孔淳之等，纵情于山水林泉之间，有终老于此之志。此次去临川任内史，非其所愿，故旅途中回忆起始宁山隐居生活，怀念不已，遂作此诗。

诗中重点描绘山中景色之清新幽美，山居情趣之疏放自由，对比目前身羁仕途，欲归不得，犹如笼鸟池鱼，憾恨兹深。篇首以听《采菱歌》引起愁思，篇末以吹弹《明月曲》、《广陵散》而加深愁思，构思巧妙，层层深入，艺术感染力极强。

【原文】

《采菱》调易急①，　江南歌不缓②。
楚人心昔绝③，　越客肠今断④。
断绝虽殊念⑤，　俱为归虑款⑥。
存乡尔思积⑦，　忆山我愤懑⑧。
追寻栖息时⑨，　偃卧任纵诞⑩。
得性非外求⑪，　自已为谁纂⑫。
不怨秋夕长，　常苦夏日短。
濯流激浮湍⑬，　息阴倚密竿⑭。
怀故叵新欢⑮，　含悲忘春暖。
凄凄《明月》吹⑯，　恻恻《广陵散》⑰。
殷勤诉危柱⑱，　慷慨命促管⑲。

【注释】

①《采菱》：楚人歌曲。

②歌不缓：歌曲的旋律很轻快。

③楚人：指屈原。一说指钟仪。

④越客：指作者自己。李善注引沈约《宋书》曰："灵运本在陈郡，父祖并葬始宁县，并有故宅，遂籍会稽，故称越客焉。"

⑤断绝、俱为二句：楚人心绝、越客肠断的具体原因虽然不同，但回归故乡的愿望受到阻挡这一点是相同的。

⑥款：留止。

⑦存乡：想念家乡。存，想。

⑧愤懑：胡枕泉曰："按'懑'当作'满'。刘越石答卢谌诗：'庭虚愤满'，是其义。满与上句'积'对。"

⑨追寻：追思。

⑩偃卧：仰面卧倒。《孙子·九地》："坐者涕沾襟，偃卧者涕交颐。"　纵

诞：纵放旷达，不受拘束。《新唐书·贺知章传》："知章晚节尤诞放，遨嬉里巷，自号四明狂客及秘书外监。"《旧唐书》本传作"纵诞"，义同。

⑪得性句：禀性天赋，非外求所得。

⑫自已：自止。　纂：此指继承。

⑬濯：洗。

⑭密竿：茂密的竹林。

⑮叵（pǒ 婆上声）：不可。

⑯《明月》：古笛曲。

⑰《广陵散》：古琴曲。

⑱危柱：李善注："谓琴也。"孙氏《箜篌赋》曰："陵危柱以颉颃。"

⑲促管：李注："谓笛也。"

【译文】

《采菱》歌荡漾在旅人耳畔，
轻快的江南曲动我心弦。
楚大夫过去曾心伤欲绝，
越游子如今也肝肠寸断。
虽说是"绝"与"断"原因有别，
但同为还乡梦不能实现。
念故里你心肠忧愁聚积，
忆家山我胸膛愤懑填满。
回想起在山中与友隐居，
仰卧在草地上旷达放诞。
人之性禀天赋非求于外，
自满足自停止与人无关。
没怨过入秋后月夜过长，
总苦于夏季里清昼太短。
濯急流常激起朵朵浪花，
息清荫曾倚遍密密竹竿。

念故乡无心看沿途风光，
含悲情忘记了春阳温暖。
且吹起《明月曲》衷情凄凄，
又弹奏《广陵散》忧思绵绵。
殷勤将怀旧意寄于琴弦，
慷慨把思乡情注入笛管。

（顾绍炯 译注）

入彭蠡湖口一首

谢灵运

【题解】

彭蠡湖即今江西鄱阳湖。彭蠡口即江州（九江）口，是湖与长江交接处，此诗当是谢灵运往临安途中，自长江入彭蠡口所作。

刘宋统治集团出于削弱士族势力的总目的，一直对有才能、性倔强的谢灵运存着戒心，对他归田，觉得失去控制，不能放心；召他入仕，又不予重用，未尽其才。使谢灵运处于归田不得，出仕不愿的两难境地。此次赴临川任内史，更非其所愿，但迫于形势，不得不行，以致苦闷忧愁之情，与日俱深。诗中写景叙事，都带上浓厚的忧郁色彩。陈胤倩说："通篇惟'千念'二语言愁，余句不言愁，而愁无际。"吴伯其也说："灵物吝珍怪而不出，异人秘精魂而不见，金膏之明光已灭，水碧之流温久辍，所谓天地闭贤人隐之时也，徒作思归

之曲，转令忧念益深耳。”这些分析，都准确地触及了诗中深沉的忧思愁情。

【原文】

客游倦水宿①，　风潮难具论②。
洲岛骤回合③，　圻岸屡崩奔④。
乘月听哀狖⑤，　浥露馥芳荪⑥。
春晚绿野秀⑦，　岩高白云屯⑧。
千念集日夜⑨，　万感盈朝昏⑩。
攀崖照石镜⑪，　牵叶入松门⑫。
三江事多往⑬，　九派理空存⑭。
灵物吝珍怪⑮，　异人秘精魂⑯。
金膏灭明光⑰，　水碧辍流温⑱。
徒作《千里》曲⑲，弦绝念弥敦⑳。

【注释】

①客游：出游他乡。　倦：厌倦。　水宿：指日夜住在船中。

②难具论：难以详尽述说。

③骤：突然，急遽。　回合：谓浪潮遇到洲岛，急遽地从两边回旋绕过，流过洲岛后又合在一起。又，吕向曰：“言人随风潮之急，数见洲岛回曲会合。”回：同“洄”。水回旋而流。《后汉书·王景传》：“十里立一水门，令更相洄注，无复溃漏之患。”

④圻（qí 其）：通“碕”，曲折的江岸。　崩奔：言浪潮打到岸上使曲折的江岸一次次崩塌下落 。李善注引《七里濑》曰：“《淮南子》曰：‘岸峭者必陀。’许慎曰：‘陀，落也。’然‘奔’亦落也。《入彭蠡湖口》诗曰：‘圻岸屡崩奔’，与此同也。”

⑤乘月：指借着月色游览。　狖（yòu 右）：黑猿。一说为长尾猴。

⑥浥（yí 仪）：沾湿。　馥（fù 付）：香、香气。　荪：香草名。即荃。屈原

《九歌·湘君》:“薜荔拍兮蕙醌,荪桡兮兰旌。”注:“荪,香草也。……一作荃。”

⑦绿野秀:绿色的原野上草木茂盛。秀,茂盛貌 。

⑧屯:聚集。

⑨千念集日夜:日日夜夜千万种思念集聚心间。

⑩万感盈朝昏:朝朝暮暮,千万种感想充满心头。

⑪石镜:即石镜山。李善注引张僧鉴《浔阳记》曰:“石镜山东有一圆石,悬崖明净,照人见形。”又《水经注·庐江水》载:庐山东“有一圆石,悬崖明净,照见人影,晨光初散,则延耀入石,毫细必察。故名石镜焉。”由此可知石镜山在江西浔阳一带,是庐山支麓,因山上有石镜得名。

⑫松门:李善注引顾野王《舆地志》云:“自入湖三百三十余里,穷于松门。东西四十里,青松遍于两岸。”朱珔《文选集释》引《方舆纪要》:“松门山,在今都昌县南二十里。”又云:“鄱阳湖亦在县东南二十里,故入湖口,即近松门山矣。”

⑬三江:三条江的合称,古代关于三江的说法很多,主要有:1、《国语·越语》:“三江环之。”注以吴江、钱塘江、浦阳江为三江。2、《水经注·沔水》引晋郭璞说,以岷江、松江、浙江为三江。3、《书·禹贡·释文》引《吴地记》以松江、娄江、东江为三江。4、《汉书·地理志》:“三江既入。”注以北江、中江、南江为三江。 事多往:由于三江后来说法不一,最初何所指无从知晓,故曰已成往事。

⑭九派:一指江西九江市北的一段长江。这里江水有九个支流,故叫九派。郭璞《江赋》“源二分于崌崃,流九派乎浔阳。”二说指长江。鲍照《登黄鹤矶》诗:“三崖隐丹磴,九派引沧流。” 理空存:由于对“九派”说法不一,其义难明,故曰九派的地理知识都已成空。

⑮灵物:通灵之物。 吝:惜。 珍怪:珍奇灵怪之相。全句意为,通灵之物吝惜其珍奇灵怪之相,不显示给人看。灵物,原文为“露物”,从明焦竑本《谢康乐集》校改。

⑯异人:此指水中仙人。 秘:隐秘。 精魂:精气灵魂。全句意为,水中神仙 为了隐秘其精气灵魂,也不向人们显示形象。

⑰金膏:仙药。《穆天子传》曰:“河伯示汝黄金之膏。” 明光:明亮的光芒。

⑱水碧:《山海经》:“耿山多水碧。”郭璞注:“碧,亦玉也。” 辍:停止。原

文为“缀”从五臣本《文选》校改。 流温：李善注：“言水玉温润也。”吕向释此二句曰：“（金膏、水碧）此江中有之，然皆灭其明光，止其温润而不见。”

⑲《千里》曲：曲名，即《千里别鹤》：李善于稽康《琴赋》下引蔡邕《琴操》：“商陵牧子娶妻五年，无子，父兄欲为改娶，牧子援琴鼓之，叹别鹤以舒其愤懑。故曰《别鹤操》。鹤一举千里，故名《千里别鹤》也。”

⑳弦绝：曲终。 念弥敦：李善注：“言奏曲冀以消忧，弦绝而念逾甚，故曰：‘徒作’也。”弥，更、另。敦，深。

【译文】

乘船游已厌倦漫漫航程，
江中的风与涛难以细论。
巨浪潮冲洲岛分而后合，
打江岸岸崩塌落入江心。
月光下听猿狖声声哀鸣，
香草上沾露珠散布清芬。
春已晚原野绿草木茂盛，
高峻的山岩上屯聚白云。
日与夜解不开千种思念，
早和晚排不去万般愁情。
攀悬崖上高峰对照石镜，
穿丛林牵枝叶进入松门。
三条江何所指已经茫然，
九支流在何处也难确定。
灵异物与仙人隐秘精魂，
不愿意对游人显现形影。
黄金膏泯灭了明亮光芒，
水碧玉收敛起它的温润。
徒然地奏起了《千里》名曲，

乐曲终我内心思念更深。

（顾绍炯　译注）

入华子岗是麻源第三谷一首

谢灵运

【题解】

此诗为谢灵运在临川内史任上所作。李善在篇首注引灵运《山居图》曰："华子岗麻山第三谷，故老相传华子期者，甫里先生弟子，翔集此项，故华子为称也。"又据刘坦之曰："华子岗，在今建昌南城县。麻源，在麻姑坛西北，见颜真卿《坛记》。……灵运既至临川，复得遨游名山，因入华子岗而作是诗。"

诗中描绘了华子岗高峻奇秀的风光，特别是根据"铜陵"地质，突出其景物特色，不仅给人以美的享受，也留下了深刻印象；抒情部分表达他山行纯属欣赏自然，非为寻仙访道。方伯海对此评价颇中肯，他说："惟不屑屑于神仙，方是达观。求药炼形，总是于死生撇脱不下，诗之体格意想俱高。"

【原文】

南州实炎德①，　桂树凌寒山②。
铜陵映碧涧③，　石磴泻红泉④。
既枉隐沦客⑤，　亦栖肥遁贤⑥。

险径无测度，　天路非术阡⑦。
遂登群峰首，　邈若升云烟。
羽人绝仿佛⑧，　丹丘徒空筌⑨。
图牒复摩灭⑩，　碑版谁闻传⑪？
莫辩百世后⑫，　安知千载前。
且申独往意⑬，　乘月弄潺湲。
恒充俄顷用⑭，　岂为古今然⑮！

【注释】

①南州：此指临川。　炎德：指阳光温暖。屈原《远游》："嘉南州之炎德兮，丽桂树之冬荣。"注："奇美太阳，气和正也。"

②桂：即木犀，别称桂花。　凌：逾越。木玄虚《海赋》："飞骏鼓楫，泛海凌山。"此作高挺讲。

③铜陵：产铜之山。扬雄《蜀都赋》："西有盐泉铁冶，橘林铜陵。"　碧涧：原文作"碧润"。从五臣本校收。

④石磴：石级，石阶。萧统《开善事法会》诗："牵萝下石磴，攀桂涉松梁。"　红泉：灵运自注："即近山所出。"

⑤枉：枉驾。走访的敬辞。《三国志·诸葛亮传》："此人可就见，不可屈致也，将军宜枉驾顾之。"　隐沦客：隐居之人。《晋书·郭璞传》：严平澄焕于尘肆，梅真隐沦乎市卒。"

⑥肥遁：同"飞遁"，离世隐居。《淮南九师道训》曰："遁而能飞，吉孰大焉？"　"肥"字古作"𦣞"，与古"蜚"字相似，即今之"飞"字。后世遂改为"肥"。

⑦术：古代城邑中的道路，左思《蜀都赋》："亦有甲第，当衢向术。"　阡：田间小路。

⑧羽人：神话中的飞仙。《楚辞·远游》："仍羽人于丹丘，留不死之旧乡。"

⑨丹丘：神话中的仙境，昼夜长明。　筌(quán 全)：即鱼笱。捕鱼用的竹器。一说是捕鱼用具的总称。全句暗引《庄子·外物》中"得鱼忘筌"的成语，意思是丹丘山也象鱼笱一样被忘掉。

⑩牒：谱牒。《史记·太史公自序》："维三代尚矣，年纪不可考，盖取之谱

牒旧闻。” 摩:通“磨”。

⑪版:李善注引孔安国《论语》注曰:“邦国之图籍也。”

⑫辩:通“辨”。

⑬独往:李善注引淮南《庄子要略》曰:“江海之士,山谷之人,轻天下,细万物,而独往者矣。”

⑭恒充:常供。 俄顷用:短时间之用。全句意为,常供短时间游赏山水之用。

⑮古今:指长久之事。即求仙访道以求长生一类事。张铣曰:“恒充少时为乐之用,不足为长久之事也。”于光华释此二句曰:言“入是岗不过因其胜地可乐,聊以申独往之意,因月下聆水声,自乐其乐而已,即此便可充足俄顷之用,岂为古今真有仙人之事往寻之而然乎!”

【译文】

南州的太阳光明亮温暖,
桂花树枝叶茂挺立寒山。
铜山的丹岩石映照碧涧,
石级上声淙淙流泻红泉。
峰秀丽吸引了归隐高士,
林幽深栖息着出世名贤。
险径高云缭绕无法测量,
天路窄不比那尘世道宽。
历群峦登上了主峰之巅。
我仿佛置身于飘渺云端。
寻仙人羽化士杳无踪影。
觅仙境丹丘峰也已茫然。
古图籍与谱牒湮灭不存,
旧碑文及版册未闻留传。
既无人看得透百代之后,
又怎能知晓那千年以前。

姑且按古人的“独往”之意，
乘月光入清溪逗弄微澜。
我只为短期间观山玩水，
意岂在贯古今得道成仙。

（顾绍炯　译注）

文选全译卷第二十七

诗戊

行旅下

北使洛一首

颜延年

【作者】

见卷十四《赭白马赋》作者介绍。

【题解】

《宋书·颜延之传》:“义熙十二年,高祖北伐,有宋公之授,府遣一使庆殊命,参起居,延之与同府王参军俱奉使至洛阳,道中作诗二首,文辞藻丽,为谢晦、傅亮所赏。”《南史·颜延之传》所载与此略同,唯多“行至洛阳,周视故宫室,尽为禾黍,凄然咏《黍离篇》”数语。但据《宋书·武帝纪》,刘裕于义熙十二年(416)八月率军北伐,九月到达彭城后,派王镇恶、檀道济率军攻向洛阳,自己则坐镇彭城指挥。十月,檀道济攻下洛阳。安帝下诏,刘裕进位相国,封十郡为宋公。次年正月,刘裕亲统后续部队北进,于三月到达洛阳。因

此刘裕受封宋公时，尚在彭城。缪钺认为："如为庆殊命，亦不必至洛阳，故知延之本年冬北使洛，盖别有使命，非为庆刘裕受宋公之命也。"(《读史存稿·颜延之年谱》)自西晋末以来，中原地区迭遭战乱，破坏严重，诗篇描写沿途所见的残破景象，悲歌感慨，充满故国之思和行役之恸。手法和情调颇受陆机《赴洛道中作》影响，但文字较为朴素。钟嵘《诗品》将其列入"五言之警策者"。沈德潜有"黍离之感，行役之悲，情旨畅越"(《古诗源》卷十)之评。

【原文】

改服饬徒旅①，　首路跼险难②。
振楫发吴州③，　秣马陵楚山④。
涂出梁宋郊⑤，　道由周郑间⑥。
前登阳城路⑦，　日夕望三川⑧。
在昔辍期运⑨，　经始阔圣贤⑩。
伊穀绝津济⑪，　台馆无尺椽⑫。
宫陛多巢穴⑬，　城阙生云烟⑭。
王猷升八表⑮，　嗟行方暮年⑯。
阴风振凉野⑰，　飞雪瞀穷天⑱。
临涂未及引⑲，　置酒惨无言。
隐悯徒御悲⑳，　威迟良马烦㉑。
游役去芳时㉒，　归来屡徂愆㉓。
蓬心既已矣㉔，　飞薄殊亦然㉕！

【注释】

①改服：谓换上远行的衣服。饬(chì 赤)：告戒，勉励。　徒旅：徒，步兵；旅，古代军队以五百人为一旅。借指随行士卒。《诗经·小雅·黍苗》："我徒我御，我师我旅。"

②首路：谓出发上路。 踡(jú局)：曲身，弯腰。为小心戒惧之貌。 难：《全宋诗》作“艰”。

③振：划动。 楫：船桨。 吴州：指今江苏一带。作者从京都建康(今江苏南京市)出发，故云“发吴州”。

④秣(mò末)马：喂饱马匹。 陵：升，登上。 楚山：楚地的山。战国时楚国原在今湖北、湖南一带，后扩展到今河南、安徽、江苏、浙江、江西和四川一带。估计作者大体沿着刘裕北伐的路线北上，故这里“楚山”当指今安徽或苏北一带。

⑤涂：同“途”。 梁：战国时魏惠王将魏都从安邑(今山西夏县北)迁到大梁(今河南开封市)后，魏别称梁。 宋：周代诸侯国名，在今河南商丘一带。

⑥周郑：周，指周朝；郑，周代诸侯国名，在今河南新郑一带。这里偏用“郑”义。

⑦阳城：县名，故城在今河南登封县东南。

⑧日：《艺文类聚》二十七作“旦”。 三川：指黄河、伊水、洛水三条河流。伊水源出今河南熊耳山，在今河南偃师流入洛水。洛水源出陕西冢岭山，在今河南巩县流入黄河。

⑨辍：停止。 期运：运数，气数。蔡邕《陈太丘碑文》：“应期运之数。”

⑩经始：开始创建。《晋书·乐志上·祠宣皇帝登歌》：“经始大业，造创帝基。” 阔：稀阙。古代术数家有五百年间有圣贤产生的说法，而五百年较为漫长，故言“阔”。李善注引《抱朴子》：“闻之前志，圣人生，率阔五百岁。”

⑪伊：水名，详见注⑧。 穀：水名。源出河南渑池县，经渑池合于渑水，又东合涧水为涧河。原作“穀”，误。《全宋诗》作“瀫”，《艺文类聚》二七作“洛”。津：渡口。 济：渡河。

⑫椽(chuán船)：椽子，为放在檩子上架着屋瓦的木条。曹植《毁鄄城故殿令》：“周之亡也，则伊洛无只椽；秦之灭也，则阿房无尺梠。”

⑬陛(bì避)：台阶。《艺文类聚》二七作“阶”。 多巢穴：谓多狐兔洞穴。

⑭城阙：城郭宫阙。阙，宫门前两边的望楼。

⑮王猷(yóu由)：王道。 八表：八方之外。指极远的地方。曹睿《苦寒行》：“遗化布四海，八表以肃清。”

⑯暮年：岁末。

⑰振：动。 凉野：陆机《苦寒行》：“北游幽朔城，凉野多险难。”

⑱雪:《全宋诗》作“云”。 瞀(mào 冒):昏暗。 穷天:李善注:“谓季冬之日月穷尽也。”即指一年将尽之时。

⑲涂:同“途”。 引:李善注:“犹进也。”

⑳隐悯:犹隐忍。也作“隐闵”。屈原《九章·思美人》:“宁隐闵而寿考分,何变易之可为。” 徒御:徒,步行者;御,驾车者。泛指随行士卒。

㉑威迟(yí 移):道路迂回遥远貌。也作倭迟、倭夷、逶迤。《诗经·小雅·四牡》:“四牡騑騑,周道倭迟。” 马烦:曹植《洛神赋》:“日既西倾,车殆马烦。”

㉒芳时:美好的时光,指严冬来临之前。

㉓徂愆(qiān 迁):迁移,变化。愆,差失。李善注:“言当归来,而更数有所往,而愆本期。”

㉔蓬心:飘荡不定之心。蓬,一种菊科植物,末大于本,秋天干枯后,遇风辄拔,随风飞转。

㉕飞薄:犹言飞蓬。薄,草木丛生的地方,代指草木。 殊:很,非常。李善注:“言已有蓬心,事既已矣;而身分薄,亦复同之。”

【译文】

换上行装告勉随行士卒,
躬身上路戒惧险阻艰难。
划动船桨即从吴州出发,
喂饱马匹登上楚地山峦。
路途穿越梁宋故地郊野,
道路经由周地郑地之间。
往前踏上阳城境内道路,
傍晚望见黄河伊洛三川。
以前国家突然断了运数,
创建大业总是缺少圣贤。
伊水穀水断了过河渡口,
台观馆舍没有一尺屋椽。

宫殿台阶出现许多巢穴，
城郭宫阙冒出缕缕云烟。
王道传布八方极远之地，
感叹此行正当岁末冬天。
阴冷北风吹动寒凉郊野，
漫漫飞雪搅得寒冬昏暗。
来到路边未及开路前行，
朋友置酒惨然相对无言。
随行士卒强自隐忍悲痛，
道路迂远良马显得烦乱。
远行服役荒废美好时光，
归来日期一再因故拖延。
寸心如蓬就算这个样了，
身如飞草竟然也是这般！

（张亚新　译注）

还至梁城作一首

颜延年

【题解】

本篇为《北使洛》的姊妹篇，即《宋书·颜延之传》所说的“道中作诗二首”之一，为作者从洛阳东归途经梁城（今河南商丘市）时所

作。诗中描写北地的荒凉和行役的艰辛，情调与《北使洛》相同。后半吊古伤今，情调较为消沉，但因为残破的现实激发所致，有其不难理解之处。情感真挚深沉，文字朴实无华，无“铺锦列绣”、“雕绘满眼”(《南史·颜延之传》)的弊病，在颜诗中属上乘之作。

【原文】

眇默轨路长①，　憔悴征戍勤②。
昔迈先徂师③，　今来后归军。
振策眷东路④，　倾侧不及群⑤。
息徒顾将夕⑥，　极望梁陈分⑦。
故国多乔木⑧，　空城凝寒云。
丘垄填郛郭⑨，　铭志灭无文。
木石扃幽闷⑩，　黍苗延高坟。
惟彼雍门子⑪，　吁嗟孟尝君⑫。
愚贱同堙灭，　尊贵谁独闻！
曷为久游客⑬，　忧念坐自殷⑭！

【注释】

①眇默：遥远静寂貌。屈原《九章·悲回风》：“登石峦以远望兮，路眇眇之默默。”

②勤：劳苦，辛苦。

③迈：行进。指从京城出使。　徂师：前往征讨的军队。徂，往。闻人倓笺：“言北伐之师未兴，而我已先迈；今全军已归，而我至独后也。”(《古诗笺》五言诗卷八)

④振策：挥鞭。陆机《赴洛道中作》：“振策陟崇丘。”　眷(juàn 倦)：反顾。这里指瞻望。

⑤倾侧：倾斜。身体向前倾，谓欲疾行。　不及群：不能赶上众人。谓道路险阻，虽欲疾行而不能得。

⑥息徒：让跟随的众人休息。嵇康《赠秀才入军》："息徒兰圃。"

⑦梁：见《北使洛》注⑤。 陈：周代诸侯国名，辖境约相当今河南开封以东、安徽亳州以北之地。 分：分野。古代星象家把天上十二星辰的位置和地面上州国的位置相配合，称分野。

⑧乔木：高耸的树木。李善注引《论衡》："观乔木，知旧都。"

⑨丘垄：坟墓。 郛(fú 扶)郭：外城。

⑩扃(jiōng 窘阴平)：门闩。用作动词，关闭之意。 幽闼(tà 沓)：指墓穴的门。

⑪惟：思。 雍门子：即雍门周，战国齐人。曾携琴见孟尝君，孟尝君曰："先生鼓琴，亦能令文悲乎？"雍门周曰："臣之所为足下悲者一事也。……千秋万岁之后，庙堂必不血食矣。高台既以坏，曲池既以渐，坟墓既以平，而青廷矣，婴儿竖子、樵采薪荛者，蹢躅其足而歌其上，众人见之，无不愀焉而为足下悲之，曰：'夫以孟尝君尊贵，乃可使若此乎？'"于是孟尝君不觉下泪。事见刘向《说苑·善说》。

⑫孟尝君：姓田名文，战国时齐贵族，曾为齐相。

⑬曷：何。 久游客：作者自指。

⑭坐：无缘无故。 殷：盛。《诗经·邶风·北门》："出自北门，忧心殷殷。"

【译文】

渺远静寂道路长而又长，
面容憔悴征戍辛劳万分。
以前出行先于军队动身，
今天回来落在归军后行。
挥动马鞭看看东行道路，
倾身疾行不能赶上众人。
看看将晚吩咐众人休息，
极目远望已近梁陈界分。
北方故土长有许多高树，
空城上面凝结团团寒云。

座座高坟已将城外填满，
墓志铭文已经磨灭不清。
木头石块关闭幽暗墓门，
青青黍苗延伸上了高坟。
遥想起雍门周曾经有言，
叹息那位感伤的孟尝君。
愚人贱人一同堙灭埋没，
尊贵之士有谁独生留名！
不知为何我这远游之客，
无缘无故如此忧思深深！

（张亚新　译注）

始安郡还都与张湘州登巴陵城楼作一首

颜延年

【题解】

永初三年(422)五月，宋武帝刘裕病卒，太子刘义符继位，徐羡之等辅政。颜延之因与庐陵王刘义真亲厚，为徐羡之等所疑忌，出为始安太守(郡治在今广西桂林市)。元嘉三年(426)初，徐羡之等被诛，颜延之被征为中书侍郎，在返回建康途中，与湘州刺史张邵同登巴陵(今湖南岳阳市)城楼，有感而作了此诗。诗篇描写巴陵一带景色，融入个人人生体验，境界雄阔，情调悲凉，有一定艺术感染

力。对偶工整，讲究雕饰，亦为本篇特色。

【原文】

江汉分楚望①，　衡巫奠南服②。
三湘沦洞庭③，　七泽蔼荆牧④。
经涂延旧轨⑤，　登阃访川陆⑥。
水国周地险⑦，　河山信重复。
却倚云梦林⑧，　前瞻京台囿⑨。
清氛霁岳阳⑩，　曾晖薄澜澳⑪。
凄矣自远风，　伤哉千里目⑫。
万古陈往还⑬，　百代劳起伏⑭。
存没竟何人⑮？　炯介在明淑⑯。
请从上世人⑰，　归来艺桑竹⑱。

【注释】

①望：地望。

②衡：即南岳衡山，在今湖南境内。　巫：巫山，在今四川巫山县东。　奠：定。《尚书·禹贡》："奠高山大川。"　南服：周制，将国土按距离国都的远近分为五服，南方叫南服。《晋书·刘弘传》："弘专督江、汉，威行南服。"

③三湘：指长江、湘江、沅江三水，三水皆流经今湖南境内。李善注引郭璞《山海经注》："巴陵县有洞庭陂，江、湘、沅水皆共会巴陵，故号三江口也。"　沦：注入。

④七泽：指古代楚地的诸湖泊。司马相如《子虚赋》："臣闻楚有七泽，尝见其一，未睹其余也。臣之所见，盖特其小小者耳，名曰云楚。"　蔼：多貌。用如动词，谓满布。　荆：即楚。因楚国原建于荆山一带，故称。　牧：郊外。

⑤经涂：本指都城中的道路。《周礼·冬官·匠人》："国中九经、九纬，经涂九轨。"这里指回都的路途。涂，同"途"。延：《说文》："行也。"即行进之意。旧轨：旧路，原路。延之回都，系沿原路返回。永初三年延之从建康赴始安途经

汨罗时，即曾受张邵之托作“祭屈原文以致其意”(《宋书》本传)，今从原路返回，故得再逢张邵。

⑥闉(yīn 因)：古代城门外另筑的半环形的墙，又称城曲重门。《诗经·郑风·出其东门》：“出其闉阇，有女如荼。” 访：探寻，探望。

⑦水国：楚地多河流湖泊，故称。 周：环绕。

⑧却倚：后倚。班固《西都赋》：“舍棂槛而却倚。” 云梦：泽名。《周礼·夏官·职方》：“正南曰荆州，其山镇曰衡山，其泽薮曰云梦。”

⑨京台：即荆台，地名，在今湖北监利县北。李善注：“《说苑》曰：楚昭王游于荆台，司马子期谏曰：‘荆台左洞庭，右彭蠡。’” 囿(yòu 又)：古代帝王畜养禽兽的园林。

⑩清氛：指云气。 霁(jì 济)：云气散开，天放晴。 岳：指天岳，山名。又名巴丘山，在今胡南岳阳市湘水右岸。延之写此诗时，今湖南岳阳尚称巴陵，岳阳为后起之名。阳：山南。

⑪曾(céng 层)晖：指日光。曾，通“层。” 薄：迫近，照临。 澜澳：澜，水波；澳，水湾。泛指水面。

⑫千里目：远望千里之目。屈原《招魂》：“湛湛江水兮上有枫，目极千里兮伤春心。”

⑬往还：与下句“起伏”皆指人事的兴衰变化和人的生老病死。

⑭劳：疲劳，厌倦。

⑮没：死亡。通“殁”。

⑯炯介：光明正大。同“耿介”。屈原《离骚》：“彼尧舜之耿介兮，既遵道而得路。” 明淑：明智贤淑之士。闻人倓笺：“言万古百代，存者没者，宁可数计，至竟何人为可法耶！翘企耿光，惟在明淑之士而已。”(《古诗笺》五言诗卷八)

⑰上世：上古时代。李善注：“《论衡》曰：‘上世之人，质朴易化。’”

⑱艺：种植。

【译文】

长江汉水划分楚地山川，
衡岳巫山把这南服奠定。
长江湘沅一齐注入洞庭，

众多湖泽满布荆郊如云。
回都途中沿着原路行进，
登上城郭探访河川原陆。
水国四周环绕险要地形，
河山交错确是山重水复。
后面背靠云梦泽边林莽，
前面瞻望京台帝王林园。
清气散尽山南一派晴朗，
阳光缕缕照临波澜水湾。
凄凉啊这来自远方的风，
悲伤啊这远望千城的眼。
万古将无穷的往还陈列，
百代对无尽的起伏生厌。
存者殁者究竟何人可法？
光明正大只在明智贤淑。
请让我去追随上古之人，
归来田园种植桑麻绿竹。

（张亚新　译注）

还都道中作一首

鲍明远

【作者】

见卷十一《芜城赋》作者介绍。

【题解】

本篇《鲍参军集》题作《上浔阳还都道中》。宋文帝元嘉十七年(410),临川王刘义庆由江州刺史调任南兖州刺史,由浔阳(江州治所,在今江西九江市)乘船赴广陵(南兖州治所,在今江苏江都县东北)就任。时鲍照在刘义庆幕下任国侍郎之职,随同前往,在途中作了此诗。诗篇描写旅途景色,抒发思念故乡的情绪,境界浑阔,意绪愁惨。用了大量对仗,而能笔力遒劲;讲究字句雕琢,但不失其流畅。何焯评云:"字字清新句句奇,此诗及小谢《还都》,各极其情文之盛妙,可谓异曲同工。"(《义门读书记》卷四十七)

【原文】

昨夜宿南陵①,　今旦入芦洲②。
客行惜日月③,　崩波不可留④。
侵星赴早路⑤,　毕景逐前俦⑥。
鳞鳞夕云起⑦,　猎猎晓风遒⑧。

腾沙郁黄雾，　翻浪扬白鸥⑨。
登舻眺淮甸⑩，　掩泣望荆流⑪。
绝目尽平原⑫，　时见远烟浮。
倏悲坐还合⑬，　俄思甚兼秋⑭。
未尝违户庭⑮，　安能千里游！
谁令乏古节⑯？　贻此越乡忧⑰。

【注释】

①南陵：地名。晋置南陵戍，至南朝梁置县，故城在今安徽繁昌县西北，下临长江。

②芦洲：李善注："庾仲雍《江图》曰：'芦洲至樊口二十里，伍子胥初渡处也。樊口至武昌十里。'然此芦州在下，非子胥所渡也。"钱仲联《鲍参军集注》引黄节补注："芦洲，谓芦荻之洲耳。起对句不必地名，谢康乐《石门新营所住》诗：'跻险策幽居，披云卧石门。'岂以幽居亦地名耶？"按春秋时伍子胥所渡的芦洲在今湖北鄂城县西，非此处所言芦洲。黄节之说可从，即指芦苇丛生的沙洲。

③惜日月：吕向注："务疾还也。"

④崩波：吕向注："犹奔波也。"郭璞《江赋》："骇崩浪而相礧。"李善注："言客行既惜日月，兼崩波之上，不可少留。"

⑤侵星：闻人倓笺："犹戴星也。"（《古诗笺》五言诗卷八）

⑥毕景：李周翰注："落日也。"　俦（chóu 仇）：伴侣。前俦，指行驶在前面的同伴船只。

⑦鳞鳞：云貌，谓其如鱼鳞之状。

⑧猎猎：风声。　晓：本集作"晚"。　遒：刚劲，有力。

⑨鸥：水鸟名。

⑩登：《艺文类聚》二七作"发"。　舻（lú 卢）：船头　甸：上古时，国都百里内称郊，郊外称甸。淮甸，指江淮平原，是诗人将去的地方。

⑪掩泣：掩面而泣。　荆流：钱仲联《鲍参军集注》："指浔阳九派之水。《书·禹贡》'荆及衡阳惟荆州：江、汉朝宗于海，九江孔殷。'照诗语本此。"流，《艺

文类聚》二七作“州”。

⑫绝目：极目。

⑬倏悲：倏然而至的悲思。悲，本集作“忽。” 坐：无缘无故。 还(xuán旋)：迅速。

⑭俄思：顷刻兴起的思念。兼：李善注：“犹‘三’也。《毛诗》曰：‘一日不见，如三秋。’”

⑮违：谓离开。 户庭：犹言家门。《周易·系辞上》：“不出户庭，无咎。”李善注引《古歌》：“离家千里客，戚戚多思复。”

⑯古节：谓古人志在四方的节操。据《礼记·内则》载，古代有家生男儿即于门左挂弓一张的习俗，表示男儿志在四方。乏古节，为诗人自责之辞。

⑰贻：遗留。 越乡：犹离乡。李善注：“《左氏传》：宋人曰：‘怀璧不可以越乡。’”

【译文】

昨天夜里还在南陵住宿，
今天一早船已进入芦洲。
客行在外十分珍惜光阴，
水波奔流也不能够停留。
清晨顶着星星去赶早路，
日落还在追赶同伴飞舟。
鱼鳞般的夕云冉冉升起，
晓风猎猎吹得刚劲急骤。
尘沙升腾迷漫犹如黄雾，
波浪翻卷扬起只只白鸥。
登上船头眺望江淮郊野，
掩面哭泣怅望荆楚江流。
极尽目力遥望浩渺平原，
不时看见远处云烟飘浮。
倏然悲至无故迅速聚合，

俄又思乡别绪超过三秋。
从来不曾离开家门外出，
哪里能到千里之外宦游！
谁让我缺乏古人的节操，
留下这远离故乡的忧愁。

（张亚新　译注）

之宣城出新林浦向版桥一首

谢玄晖

【作者】

见卷二十《新亭渚别范零陵》作者介绍。

【题解】

齐明帝建武二年(495)初夏，谢朓由中书郎出为宣城太守，本诗即作于赴任途中。宣城郡在今安徽宣城县，新林浦和版桥在今江苏南京市西南。版桥，也作板桥。《水经注·江水》："江水经三山，又湘浦出焉。水上南北结浮桥渡水，故曰版桥浦。江又北经新林浦。"谢朓这次出任外官，并非其本意，故诗中流露出留恋京都的情绪。但另一方面，当时政局复杂多变，就在谢朓离京的前一年，南齐一连改了三个年号，换了三个皇帝，为了脱离政治斗争的漩涡，达到远害避祸的目的，诗中同时又表达了对于出任外官的欣喜之情，

表达了对于远离嚣尘的隐居生活的向往。诗篇前半写景，后半抒情，笔致轻俊，情味旷逸。“天际”一联为名句。王夫之评云：“语有全不及情而情自无限者，心目为政，不恃外物故也。‘天际识归舟，云中辨江树’，隐然一含情凝眺之人，呼之欲出。从此写景，乃为活景。故人胸中无丘壑，眼底无性情，虽读尽天下书，不能道一句。”（《古诗评选》卷五）

【原文】

江路西南永①，　归流东北骛②。
天际识归舟③，　云中辨江树④。
旅思倦摇摇⑤，　孤游昔已屡⑥。
既欢怀禄情⑦，　复协沧州趣⑧。
嚣尘自兹隔⑨，　赏心于此遇⑩。
虽无玄豹姿⑪，　终隐南山雾。

【注释】

①江路：李善注引宋孝武帝《之江州诗》：“山曲蒙幽雨，江路结流寒。”（全诗今佚）　永：长。

②归流：指东流入海的江水。《尚书大传》：“大水小水，东流归海也。”　骛（wù 务）：奔驰。司马相如《上林赋》：“东西南北，驰骛往来。”

③归舟：指驶回建康的船。

④“云中”句：李善注引应劭《风俗通》：“太山岩石松树，郁郁苍苍如云中。”

⑤摇摇：心神不定貌。《诗经·王风·黍离》：“行迈靡靡，中心摇摇。”

⑥屡：多次。

⑦怀禄：怀恋禄位。杨恽《报孙会宗书》：怀禄贪势，不能自退。”

⑧协：符合。　沧州趣：谓隐居的乐趣。沧州，水边州渚，为隐者所居，代指宣城一带的幽僻之地。李善注：“扬雄《檄灵赋》曰：‘世有黄公者，起于苍州，精

神养性，与道浮游。'"

⑨嚣尘：喧闹而多尘埃的地方。指建康。

⑩赏心：心所欣赏之事。指隐居。谢灵运《游南亭诗》："我志谁与亮，赏心唯良知。"

⑪"虽无"二句：用《列女传》故事。《列女传·贤明·陶答子妻》："答子治陶三年，名誉不兴，家富三倍。……居五年，从车百乘归休，宗人击牛而贺之。其妻独抱儿而泣。姑怒曰：'何其不祥也！'妇曰：'妾闻南山有玄豹，雾雨七日而不下食者，何也？欲以泽其毛而成文章也，故藏而远害。至于犬豕，肥以取之，逢祸必矣。'……处期年，答子之家果以盗诛。"

【译文】

溯流而上江路长长通向西南，
江流归海朝向东北滔滔奔赴。
茫茫天际可以识别片片归舟，
云霭之中能够分辨江边绿树。
旅途奔波神情倦怠思绪不定，
独自宦游以前曾经有过多次。
此行既可为获得禄位而欢欣，
又投合了在沧州隐居的乐趣。
喧闹尘埃从此同我远远隔绝，
悦目赏心之事在此同我相遇。
虽然我没有黑豹那样的姿质，
但终于也隐身进了南山云雾。

（张亚新　译注）

敬亭山一首

谢玄晖

【题解】

李善注引《宣城郡图经》:“敬亭山,宣城县北十里。”诗作于齐明帝建武二年(495)出守宣城时,在对山水奇奥的刻画中寄托了既萦心禄位又企想栖隐的矛盾心情。谢朓的山水诗大多写得清新秀逸,而本篇落笔遒劲,意境幽峭,气韵凝重,显得别具一格。这主要由于诗人处在出处仕隐的矛盾中,有意识地接近山水,而宣城四周有高山为屏,正是风景奥区,诗人探奇入胜,穷形极致,且将自己企望栖隐的心情旨趣融入其中,故给诗篇涂上了一层清远绵邈、险峭幽深的色彩。诗体逼肖谢灵运,同时也吸取了鲍照的奇峭笔法。随步换形,布局一一有次第。较熟练地运用了永明声律和骈化修辞,“独鹤”、“缘源”二联,已颇接近律体要求,呈现出崭新的面目。

【原文】

兹山亘百里①, 合沓与云齐②。
隐沦既已托③, 灵异俱然栖④。
上干蔽白日⑤, 下属带回溪⑥。
交藤荒且蔓⑦, 樛枝耸复低⑧。
独鹤方朝唳⑨, 饥鼯此夜啼⑩。

渫云已漫漫⑪，　多雨亦凄凄⑫。
我行虽纡组⑬，　兼得寻幽蹊⑭。
缘源殊未极⑮，　归径宵如迷⑯。
要欲追奇趣，　即此陵丹梯⑰。
皇恩竟已矣⑱，　兹理庶无睽⑲。

【注释】

①亘(gèn 根去声)：横贯。

②合沓：重叠。李善注："贾谊《旱云赋》曰：'遂积聚而合沓，相纷薄而慷慨。'"(按《全汉文》《旱云赋》作《旱云赋》，"合沓"作"给沓")　云齐：古诗："西北有高楼，上与浮云齐。"

③隐沦：隐士。桓谭《新论》："天下神人五：……二曰隐沦。"谢灵运《入华子冈是麻源第三谷诗》："既枉隐沦客，亦栖肥遯贤。"

④灵异：神灵，神仙。　俱：本集作"居"，以作"居"是。《诗经·大雅·生民》："居然生子。"

⑤干：触犯。司马相如《子虚赋》："日月蔽亏，交错纠纷，上干青云。"

⑥属：连接。司马相如《子虚赋》："罢池陂陀，下属江河。"　带：环绕。

⑦荒：覆盖。

⑧樛(jiū 纠)枝：向下弯曲的树枝。《诗经·周南·樛木》："南有樛木，葛藟荒之。"

⑨唳(lì 厉)：鹤鸣。《晋书·陆机传》："华亭鹤唳，岂可复闻乎？"

⑩鼯(wú 吴)：鼠名。欲称飞鼠。形似蝙蝠，前后肢间有飞膜，能在树林中滑翔。

⑪渫(xiè 泄)云：飘散的云雾。渫，本集作"泄"，《三谢诗》作"滞"。

⑫多雨：屈原《涉江》："山峻高以蔽日兮，下幽晦以多雨。"五臣本"多"作"夕"。　凄凄：寒凉貌。

⑬纡(yū 迂)组：系佩官印。谓做官。组，佩印的丝带。扬雄《解嘲》："纡青拖紫。"

⑭幽蹊：幽深的小路。指山径。王褒《九怀·陶壅》："道幽路兮九疑。"

⑮缘源：谓沿着山径追寻山溪之源。

⑯窅（yǎo 舀）：深远貌。

⑰陵：登。 丹梯：谓山。谢朓《随王鼓吹曲·登山曲》："暮春春服美，游驾陵丹梯。升峤既小鲁，登峦且怅齐。"

⑱已：完毕。谢朓是齐高祖、齐武帝二朝诸王的旧僚，齐明帝对他外和而内存戒心，出守宣城可以说是一种不信任的安排，谢朓因而在政治上感到了一种无望，故这里有"皇恩已矣"之句。

⑲兹理：谓陵丹梯以追奇趣之理，实即幽栖隐居之理。 庶：表期望之词。睽（kuí 葵）违背。王粲《从军诗》其三："兹理不可违。"

【译文】

此山横贯绵延足有百里，
重重叠叠上与浮云等齐。
隐士已在这里把身托付，
神灵居然也来这里安身。
山顶触天白日全被遮蔽，
山脚下环绕着曲折清溪。
藤罗交错覆盖蔓延山岭，
弯弯树木耸起复又低垂。
独鹤正好在这清晨哀鸣，
饥鼯恰在这夜深时悲啼。
飘散的云雾已迷漫山间，
山间多雨更显寒凉凄冷。
这次出行我虽是为做官，
但能兼得探寻幽僻小径。
追寻水源远未达到终点，
回去的路却已渺远如迷。
想要追寻到奇妙的意趣，
那就从这里往山顶攀登。

皇恩毕竟已是过眼烟云，
这个道理望不会有背违。

（张亚新　译注）

休沐重还道中一首

谢玄晖

【题解】

本篇本集题作《休沐重还丹阳道中》。休沐，官吏休息沐浴，指例假。《初学记》二十："休假亦曰休沐。汉律：吏五日得一下沐，言休息以洗沐也。"诗或作于齐明帝建武二年(495)春在朝任中书郎时，既表达了罢官归田的愿望，同时又表示"霸池不可别，伊川难重违"。展示隐仕思想矛盾，是谢朓这一时期诗作的常见主题，《直中书省》诗云："兹言翔凤池，鸣佩多清响。信美非吾室，中园思偃仰。"即此。生活在一个充满倾轧和杀戮的社会政治环境中，"常恐鹰隼击，时菊委严霜"(《暂使下都夜发新林至京邑赠西府同僚》)，具有这种想法是不难理解的。"汀葭"以下三联描景状物，无论静态动态，均极细致生动，读来历历可见，切切可感，充分显示了诗人敏锐的观察力、感受力和独到的表现力。

【原文】

薄游第从告①，　思闲愿罢归。

还邛歌赋似②，　休汝车骑非③。
霸池不可别④，　伊川难重违⑤。
汀葭稍靡靡⑥，　江菼复依依⑦。
田鹤远相叫⑧，　沙鸨忽争飞⑨。
云端楚山见⑩，　林表吴岫微⑪。
试与征徒望⑫，　乡泪尽沾衣。
赖此盈樽酌⑬，　含景望芳菲⑭。
问我劳何事？　沾沐仰清徽⑮。
志狭轻轩冕⑯，　恩甚恋重闱⑰。
岁华春有酒⑱，　初服偃郊扉⑲。

【注释】

①薄游：谓短暂出游。李善注引《孙绰子》："或问贾谊不遇汉文，将退耕于野乎？薄游于朝乎？"　第：且。　告：告归，官吏请假回家。《史记·高祖本纪》："高祖为亭长时，常告归之田。"

②邛（qióng 穷）：临邛，秦置县名，汉因之，在今四川邛崃县。这句用西汉辞赋家司马相如故事。《汉书·司马相如传》载，相如为蜀郡成都人，早年曾客游于梁，居数年，作《子虚赋》。后梁孝王死，回成都，而家贫无以自业，遂往依友人临邛令王吉。临邛富人卓王孙大宴宾客，请相如，相如前往。是时，卓王孙有女文君新寡，好音，相如遂以琴心挑之，携之私奔归成都。家徒四壁立，又同返临邛，文君当垆卖酒，相如穿犊鼻裈，涤器于市中。这里以临邛比休沐之地。何焯《读书记》："'还邛'，义取家徒四壁。言游宦以来，徒有相如之四壁，无袁绍之兼辆，所以思归也。"

③汝：汝南，汉置郡名，治平舆（今河南汝南县东南）。这句用东汉末袁绍故事。《后汉书·许劭传》："许劭字子将，汝南平舆人也。……初为郡功曹，太守徐璆甚敬之。府中闻子将为吏，莫不改操饰行。同郡袁绍，公族豪侠，去濮阳令归，车徒甚盛，将入郡界，乃谢遣宾客，曰：'吾舆服岂可使许子将见。'遂以单车归家。""车骑非"，谓无袁绍车骑之盛。

④霸池：即霸陵，为汉文帝陵，在长安城东七十里。李善注引潘岳《关中记》："霸陵，文帝陵也。上有池，有四出道以写水。"又据李善注，西汉枚乘曾作有《临灞池远诀赋》(赋今不存)。这里以"霸池"代指京都、朝廷，下句"伊川"同。

⑤伊川：即伊水，源出今河南卢氏县东南，东北流经洛阳。 重：深。

⑥汀：水中小洲。 葭(jiā 加)：芦苇。《诗经·卫风·硕人》："葭菼揭揭。" 稍：逐渐。 靡靡：草伏相依貌。宋玉《高唐赋》："薄草靡靡，联延夭夭。"

⑦菼(tǎn 坦)：荻草。 依依：轻柔而随风披拂之貌。

⑧鹤：本集、《艺文类聚》二七并作"鹄"。

⑨鸨(bǎo 保)：鸟名。似雁而大，脚上无后趾。

⑩楚山：亦即吴地的山。因战国时楚国拥有吴地，故称。

⑪表：外。 岫(xiù 袖)：峰峦。

⑫征徒：谓随行徒从。

⑬赖此：谓凭藉上述感情。 樽：酒器。嵇康《赠兄秀才入军诗》："旨酒盈樽，莫与交欢"。 酌：斟酒。

⑭含景：谓面对大自然所包含的美景。陆机《日出东南隅行》："清川含藻景，高崖被华丹。" 芳菲：花草。

⑮沾沐：谓蒙受恩泽。 清徽：指清正的操守。徽，美。仰清徽，谓归隐以洁身自好。

⑯轩冕：卿大夫的轩车和冕服。代指官职。

⑰重闱：指深宫。

⑱岁华：犹言岁时。即指春时。春，《初学记》二十作"初"。

⑲初服：当初未仕前的服饰。比喻原有的志趣。屈原《离骚》："进不入以离尤兮，退将复修吾初服。" 偃：卧。 郊扉：指在郊野的房子。扉，门扇。颜延之《赠王太常僧达诗》："侧同幽人居，郊扉常昼闭。"

【译文】

短暂出游且把休假来请，
想着闲散愿暂罢职回归。
回到临邛歌赋近似相如，

休假汝南亦无袁绍车骑。
霸池不可与之长久分别，
伊川很难与之深相背违。
小洲芦苇逐渐随风倾倒，
江边荻草也正轻轻披拂。
田中野鹤远远引颈鸣叫，
沙洲大雁忽地争相翩飞。
云头之上楚山倏地显现，
树林之外吴山隐约幽微。
试与随从纵目四野怅望，
衣服上落满了思乡之泪。
凭藉此情且把酒杯斟满，
面对春色凝望花艳草美。
要问我在为了何事辛劳？
蒙受恩泽仰慕清正品格。
志向狭小不重轩车冕服，
恩重非常眷恋深宫重闱。
正当春时又有酒在身边，
穿上旧服躺卧郊野屋内。

（张亚新　译注）

晚登三山还望京邑一首

谢玄晖

【题解】

本篇写登山所见春天傍晚景色及因瞻望京城而勾起的怀乡愁绪，可能作于齐武帝永明九年(491)春将离京跟着随王萧子隆赴荆州之时(一说作于齐明帝建武二年春出任宣城太守之时)。三山，在今江苏南京市西南长江南岸，上有三峰，南北相连。诗从“登”、“望”二字落笔，以敏锐细致的观察和高度的艺术概括力，描绘了一幅层次分明、色调缤纷、饶有情趣的春江暮景图。“余霞”二句设喻奇妙而贴切，词语工丽而自然，读之令人悬想不尽，成为谢朓诗中最受推崇的名句。李白说：“解道澄江静如练，令人长忆谢玄晖。”(《金陵城西楼月下吟》)又说：“三山怀谢朓，水澹望长安。”(《三山望金陵怀殷淑》)从这些推挹中，不难看出谢诗对后世产生的影响。

【原文】

灞涘望长安①，　河阳视京县②。
白日丽飞甍③，　参差皆可见④。
余霞散成绮⑤，　澄江静如练⑥。
喧鸟覆春洲⑦，　杂英满芳甸⑧。
去矣方滞淫⑨，　怀哉罢欢宴⑩。

佳期怅何许⑪， 泪下如流霰⑫。
有情知望乡⑬， 谁能缜不变⑭？

【注释】

①灞：一作霸，水名，源出今陕西蓝田县，流径长安。灞涘(sì 似)，犹言灞岸。涘，水边。汉末王粲避乱离开长安时，作有“南登灞陵岸，回首望长安”(《七哀诗》其一)的诗句。

②河阳：县名，在今河南孟县南。 京县：即京城，指西晋京城洛阳。西晋潘岳在河阳做官时，曾有“引领望京室，南路在伐柯”(《河阳县》)的诗句。这里以灞岸、河阳比三山，以王粲、潘岳之望长安、洛阳比自己之望建康。

③丽：明丽。用作动词，谓映照得十分明丽。飞甍(méng 萌)：高耸的屋脊。左思《吴都赋》：“长干延属，飞甍舛互。”

④参差：高低不齐貌。李尤《洪池铭》：“渐台中起，列馆参差。”

⑤绮：锦缎。

⑥澄江：清澈的江水。 练：白绸子。

⑦喧：《三谢诗》作“暄”。

⑧杂英：杂花。 芳甸：长满花草的郊野。

⑨方：将。 滞淫：淹留，久留。王粲《七哀诗》其二：“荆蛮非我乡，何为久滞淫？”

⑩怀：指怀念家乡。《诗经·王风·扬之水》：“怀哉怀哉，曷日月旋归哉！”欢宴：指在故乡的欢宴。

⑪佳期：指还乡之期。 何许：何处，哪里。阮籍《咏怀诗》：“良辰在何许？”

⑫霰(xiàn 现)：小雪珠。

⑬“有情”句：卢谌《与刘琨书》：“苟曰有情，孰能不怀！”

⑭缜(zhěn 诊)：黑发。

【译文】

站在灞水岸边眺望长安，

身居河阳之地远看京县。
夕阳映照着高耸的屋脊，
高低错落全都可以看见。
晚霞散开有如匹匹锦缎，
江水清澈澄静如同白练。
百鸟喧闹覆盖春天小洲，
各色花儿满布芬芳郊野。
离去了将要在外乡久留，
怀念啊停止了故乡欢宴。
归期美好怅恨何时到来，
泪珠滴落如同流动雪霰。
有情之人都知怅望故乡，
谁能保持黑发颜色不变？

（张亚新　译注）

京路夜发一首

谢玄晖

【题解】

本篇写于齐明帝建武二年(495)初夏出任宣城太守时。前部写天未明时出发情景，后部想象到任后情状，字里行间流露出思乡倦游的心情。“晓星”以下四句摹绘晨光熹微之状，颇为细致传神。何

焯评云："字字是'夜发'，细心熨贴，是永明以后之格也，便为唐人律诗之所自出。"(《义门读书记》卷四十七)

【原文】

扰扰整夜装①，　肃肃戒徂两②。
晓星正寥落③，　晨光复泱漭④。
犹沾余露团⑤，　稍见朝霞上⑥。
故乡邈已夐⑦，　山川修且广⑧。
文奏方盈前⑨，　怀人去心赏⑩。
敕躬每跼蹐⑪，　瞻恩唯震荡⑫。
行矣倦路长，　无由税归鞅⑬。

【注释】

①扰扰：纷乱貌。枚乘《七发》："扰扰若三军之腾装。"

②肃肃：疾速貌。《诗经·召南·小星》："肃肃宵征，夙夜在公。"　戒：命令。　徂两：徂，前往；两，通"辆"。谓远行之车。《尚书·牧誓序》："武王戎车三百两。"

③寥落：稀疏貌。

④泱(yǎng 养)漭：昏暗不明貌。

⑤露团：露珠圆貌。《诗经·郑风·野有蔓草》："野有蔓草，零露漙兮。"

⑥稍：渐。

⑦邈：远。　夐(xiòng 凶去声)：远。班固《封燕然山铭》："夐其邈兮亘地界。"

⑧修：长。陆机《赴洛道中作》："远游越山川，山川修且广。"

⑨文奏：章表。这里指公文案卷。曹植《鞞舞歌·圣皇篇》："侍臣有文奏，陛下体仁慈。"

⑩怀人：指怀念在京师的友人。《诗经·周南·卷耳》："嗟我怀人，寘彼周行。"心赏：心所欣赏之事。指与友人欢会。鲍照《白头吟》："心赏固难恃，貌恭岂易凭？"

⑪敕躬：即敕身，谓整饬己身，谨持己身。《汉书·孔光传》："勤心虚己，延见群臣，思求其故，然后敕躬自约，总正万事。" 踽踽：踽，曲身，弯腰；踽，小步走路。为行动小心谨慎之貌。《诗经·小雅·正月》："谓天盖高？不敢不局。谓地盖厚？不敢不踽。"

⑫震荡：谓内心震动惊惧。

⑬税（tuō 脱）：解，脱。 鞅（yāng 央）：套在马颈上用以负轭的皮带。代指驾车的马。税归鞅，谓解卸驾车之马而回归故乡。

【译文】

纷纭扰攘整理夜行服装，
疾速匆忙命备远行车辆。
晓星这时正是稀稀落落，
晨光又是那样昏暗迷茫。
草上还沾有圆圆的余露，
慢慢见到朝霞悬挂天上。
故乡离去越来越觉遥远，
山川望去漫长而且宽广。
公文案卷即将堆满眼前，
怀念友人舍却心中悦赏。
谨慎持身弯腰小步走路，
瞻顾皇恩唯觉心内震荡。
走啊实在厌倦路途漫长，
却无办法卸马回归故乡。

（张亚新 译注）

望荆山一首

江文通

【作者】

见卷十六《恨赋》作者介绍。

【题解】

荆山在今湖北南漳县西,《水经注·沮水》称其"高峰霞举,峻竦层云"。《梁书·江淹传》:"起家南徐州从事,转奉朝请。宋建平王景素好士,淹随景素在南兖州。广陵令郭彦文得罪,辞连淹,系州狱。淹狱中上书曰……景素览书,即日出之。寻举南徐州秀才,对策上第,转巴陵王国左常侍。"巴陵王即刘休若,于宋明帝泰始二年(466)任雍州刺史,镇襄阳。本篇约作于泰始三年秋,时到襄阳任巴陵王左常侍(江淹《自序》作"右常侍")不久。由于刚刚蒙受冤狱,现在又远适异乡,举目无亲,前途未卜,因此诗中充满悲苦之情。诗熔古朴遒劲与流丽清新于一炉,显示出从"元嘉体"向"永明体"过渡的痕迹。

【原文】

奉义至江汉①,　　始知楚塞长②。
南关绕桐柏③,　　西岳出鲁阳④。
寒郊无留影⑤,　　秋日悬清光。

悲风桡重林⑥，　云霞肃川涨⑦。
岁晏君如何⑧？　零泪沾衣裳⑨。
玉柱空掩露⑩，　金樽坐含霜⑪。
一闻《苦寒》奏⑫，　更使《艳歌》伤⑬。

【注释】

①奉义：李善注："犹慕义也。"义，本集作"谒"，《艺文类聚》七作"诏"，江汉：代指雍州。汉水流经襄阳。江淹《秋至怀归》："怅然集汉北，还望岨山田。"

②楚塞：即指荆山，因其为古代楚国郢都的北部屏蔽。李善注引盛弘之《荆州记》："鲁阳县，其地重险，楚之北塞也。"

③南关：指荆山南端的关隘。　桐柏：山名，在今湖北枣阳县、随县和河南桐柏县之间。

④西岳：指荆山西端的峰峦。岳，本集作"途"　鲁阳：山名，在今河南鲁山县西南。

⑤无留影：谓深秋树叶落尽，看不到有什么阴影了。

⑥桡(náo 挠)：弯曲。李善注引《周易》："桡万物者，莫疾于风。"桡，本集作"挠"，《艺文类聚》七作"绕"。　重林：层林。

⑦肃：收缩。《诗经·豳风·七月》："九月肃霜。"《毛传》："肃，缩也。霜降而收缩万物。"

⑧岁晏：犹岁暮，谓一年将尽。

⑨零泪：落泪。

⑩玉柱：柱为弦乐器上支弦的小木柱，以"玉"形容其质地的精美。代指瑟琴筝等弦乐器。　空：徒然。　掩：蒙上。

⑪樽：酒器。　坐：枉自。

⑫《苦寒》：即《苦寒行》，为乐府清调曲名。《乐府诗集》三十三题解引《乐府解题》："晋乐奏魏武帝《北上篇》(按即《苦寒行》)，备言冰雪溪谷之苦。"

⑬更：本集作"再"。　《艳歌》：即《艳歌行》，为乐府瑟调曲名。《乐府诗集》三十九题解引《乐府解题》："古辞云'翩翩堂前燕，冬藏夏来见'。言燕尚冬藏夏来，兄弟反流宕他县。"

【译文】

仰慕道义来到这江汉流域，
这才知道楚国北塞的漫长。
南边的关隘要绕到桐柏山，
西边的峰峦要延伸到鲁阳。
寒凉郊野没有了树阴花影，
只有秋日散发着清凉辉光。
凄厉北风把层层林木吹弯，
云霞收缩河流使不再上涨。
一年将尽不知君心情如何？
眼泪纷落浸湿了我的衣裳。
乐器上徒然蒙上一层白露，
酒杯中枉自落下一层寒霜。
首先听到演奏的是《苦寒行》，
再听《艳歌行》更加使人悲伤。

（张亚新　译注）

旦发鱼浦潭一首

丘希范

【作者】

见卷二十《侍宴乐游苑送张徐州应诏》作者介绍。

【题解】

这是一首纪游诗。鱼浦潭，在今浙江富阳县东。诗人早晨从鱼浦潭出发，顺富春江东下，沿途村童野老、怪石绝峰、荒树寒沙、藤罗岛屿扑面而来，诗人一一绘诸毫端，遂有了这一幅江上风光图。最后抒发感慨，表达了在此“幽栖”的愿望。谢灵运有《富春渚》诗，首六句点明出游的时间及走向：“宵济渔浦潭，旦及富春郭。定山缅云雾，赤亭无淹薄。溯流触惊急，临圻阻参错。”后半转入直说议论，形象性较差，且带玄理意味。本篇构思或曾受其影响，但刻画工细，辞采丽逸，饶有情趣，有“点缀映媚，似落花依草”（钟嵘《诗品》中）的风致，实非灵运所能及。何焯认为丘诗”步趋康乐而未届精微，所工特模范间矣。体物工矣，兴象不逮。”（《义门读书记》四十七）实未可一概论之。全用对仗而能妥切自然，亦为本篇特色。

【原文】

渔潭雾未开，　赤亭风已飏①。
棹歌发中流②，鸣鞞响沓障③。

材童忽相聚， 野老时一望。
诡怪石异像④，崭绝峰殊状⑤。
森森荒树齐⑥，析析寒沙涨⑦。
藤垂岛易陟⑧，崖倾屿难傍。
信是永幽栖⑨，岂徒暂清旷⑩。
坐啸昔有委⑪，卧治今可尚⑫。

【注释】

①赤亭：地名，在今浙江杭州市东南。 已：《艺文类聚》九作“未”。 飏（yáng 扬）：飞扬。

②棹（zhào 照）歌：划船时唱的歌。汉武帝《秋风辞》：“横中流兮扬素波，箫鼓鸣兮发棹歌。”

③鞞（pí 皮）：小鼓。同“鼙”。 沓：重叠。 障：屏障。指似屏障的山峰。《艺文类聚》九作“嶂”。

④诡怪：奇异。李善注引张衡《七辩》：“蹊路诡怪。”

⑤崭绝：高耸险峻貌。鲍照《登庐山望石门》：“崭绝类虎牙，巉岏象熊耳。”

⑥森森：繁密貌。

⑦析析：沙涨声。《艺文类聚》九作“淅淅”。 涨：李善注引谢灵运《山居赋注》：“涨者，沙始起将成屿也。”

⑧陟（zhì 治）：登。

⑨信：的确。 幽栖：隐居。谢灵运《邻里相送至方山诗》：“资此永幽栖，岂伊年岁别。”

⑩清旷：清静疏旷。谢灵运《田南树园激流植援》：“中园屏氛杂，清旷招远风。”

⑪坐啸：闲坐吟啸。谓做官而不亲自处理政事。据卷二十六谢玄晖《在郡卧病呈沈尚书》李善注引张璠《汉记》，后汉弘农人成瑨任南阳太守，用岑晊（字公孝）为功曹，政事都交给岑办理，岑成了实际上的太守，故“时人为之语曰：‘南阳太守岑公孝，弘农成瑨但坐啸。’” 委：放弃。昔有委，谓以前未这样做。

⑫卧治：躺着处理政务。谓不劳而治。《史记·汲黯传》："居数年，会更五铢钱，民多盗铸钱，楚地尤甚。上以为淮阳，楚地之郊，乃召拜黯为淮阳太守。黯伏谢不受印。……上曰：'君薄淮阳耶？吾今召君矣。顾淮阳吏民不相得，吾徒得君之重，卧而治之。'" 尚：尊崇，实行。

【译文】

渔浦潭的晨雾还没散开，
赤亭的江风已经在飞扬。
唱着划船歌从江心出发，
鼓声在重峦叠嶂间震响。
江村儿童忽地聚集拢来，
乡间老农不时抬头观望。
石头全都长得奇形怪状，
山峰高耸绝非通常模样。
荒野树木繁密而又整齐，
寒沙析析似在不断上涨。
藤罗悬垂小岛容易攀登，
山崖前倾岛畔难以依傍。
真想在此长久隐居下去，
哪里只图一时清静疏旷。
闲坐吟啸以前放过机会，
躺卧而治现在可以尊尚。

（张亚新　译注）

早发定山一首

沈休文

【作者】

见卷二十《应诏乐游苑饯吕僧珍》作者介绍。

【题解】

本篇写于齐郁林王隆昌元年(494)出任东阳太守时。定山,在今浙江杭州市东南。卷二十六谢灵运《富春渚》李善注引《吴郡缘海四县记》:“钱唐西南五十里有定山,去富春又七十里。横出江中,涛迅迈以避山难。”诗篇描绘了定山奇特迷人的景色,抒写了对于山川灵秀的深相眷恋之情。诗风颇近似于谢灵运,但无大谢的古奥生涩,具有峻洁明丽、圆活自然的特色。沈约提倡“四声八病”之说,为“永明体”的创始人之一。诗篇对仗精整,声调谐和,节奏明快,体现了诗人的创作主张。

【原文】

夙龄爱远壑①,　晚莅见奇山②。
标峰彩虹外③,　置岭白云间④。
倾壁忽斜竖⑤,　绝顶复孤员⑥。
归海流漫漫⑦,　出浦水浅浅⑧。

野棠开未落⑨，　山樱发欲然⑩。
忘归属兰杜⑪，　怀禄寄芳荃⑫。
眷言采三秀⑬，　徘徊望九仙⑭。

【注释】

①夙龄：少年。夙，早。　远壑：远僻的山谷。

②莅(lì 例)：到。

③标峰：即峰标。标，标举，突出。

④置岭：即岭置。李善注引《穆天子传》："西王母谣曰：'白云在天，丘陵自出。'"

⑤倾壁：指悬崖峭壁。郭璞《江赋》："绝岸万丈，壁立霞驳。虎牙嵯竖以屹崒，荆门阙竦而磐礴。"

⑥绝顶：最高峰。　员：通"圆"。

⑦归海：指钱塘江水。

⑧浦：据《风土记》，大水有小口别通它叫浦。　浅(jiān 坚)浅：水流急速貌。屈原《九歌·湘君》："石濑兮浅浅，飞龙兮翩翩。"

⑨野棠：即棠梨，俗称野梨，初春开小白花。

⑩山樱：即野樱桃，春季先叶开花，花呈淡红或白色。　发：谓盛开。　然："燃"的本字。

⑪属：谓属意，归心。　兰杜：即兰草、杜若，皆香草名。

⑫怀禄：留恋禄位。　荃(quán 全)：香草名，又称溪荪。屈原《离骚》："兰芷变而不芳兮，荃蕙化而为茅。"

⑬眷言：怀顾貌。言，语助词，无义。　三秀：指灵芝草。秀，开花。灵芝一年开花三次，故称。屈原《九歌·山鬼》："采三秀兮于山间。"

⑭九仙：道教谓天界有九种类型的神仙。《云笈七签》卷三载，太清境有九仙："一上仙，二高仙，三大仙，四玄仙，五天仙，六真仙，七神仙，八灵仙，九至仙。"

【译文】

少年时就喜爱远僻的山谷，

老来到这里又见到了奇山。
山峰高耸于五色彩虹之外，
山岭置身于白云缭绕之间。
倾斜的峭壁忽地好像斜竖，
绝高的峰顶又像一个孤圆。
东流入海的大江水势浩渺，
奔出浦口的小河波飞浪卷。
野棠花绽苞怒放还未凋落，
野樱桃正盛开像火焰烧燃。
流连忘返倾心于兰草杜若，
怀禄之情得以寄托于芳荃。
辗转怀顾且把灵芝草采摘，
徘徊依恋遥望上天的九仙。

（张亚新　译注）

新安江水至清浅深见底 贻京邑游好一首

沈休文

【题解】

本篇《文苑英华》一百六十二、《艺文类聚》八并题作《渡新安江贻京邑友好》，作于齐隆昌元年(494)出任东阳太守时。新安江，源于今安徽婺源县西北，东流经休宁、歙县合练溪，始称新安江；再东

流入浙江省境，在建德东南与兰溪合，东北流至桐庐县为桐江，至富阳县为富春江，至旧钱塘县境为钱塘江。诗篇前部极写江水的澄净清澈，后部展开联想，表示愿以此水为京师友人洗濯冠缨，实即希望京师友人身处嚣尘之中而能洁身自好，可谓写景既有神，立意也高妙。吴淇评"洞澈"二句云："凡水浅清易，深清难；冬清易，春清难。一层一层，极得'至'字意。"(《六朝选诗定论》卷十六)"千仞"二句，与吴均《与宋元思书》"水皆缥碧，千丈见底，游鱼细石，直视无碍"有异曲同工之妙。

【原文】

眷言访舟客①，　兹川信可珍。
洞澈随深浅②，　皎镜无冬春③。
千仞写乔树④，　百丈见游鳞。
沧浪有时浊⑤，　清济涸无津⑥。
岂若乘斯去⑦，　俯映石磷磷⑧？
纷吾隔嚣滓⑨，　宁假濯衣巾⑩？
愿以潺湲水⑪，　沾君缨上尘⑫。

【注释】

①眷言：怀顾貌。访舟客：寻船过河的客人。为诗人自指。

②洞澈：透明。澈，《文苑英华》作"彻"。

③皎镜：明洁澄澈。

④仞：古代以七尺或八尺为一仞。　写：描摹。这里是映入的意思。　乔树：高树。李善注引《淮南子》："丰水之深千仞，投金铁焉，则形见于外。"

⑤沧浪：水名。或云为汉水支流，或云即汉水，旧说颇分歧。还有解作"青色"者。《孟子·离娄上》："有孺子歌曰：'沧浪之水清兮，可以濯我缨，沧浪之水浊兮，可以濯我足。'"

⑥济：水名。源出今河南济源县王屋山，其故道过黄河而南，东流至山东，

与黄河并行入海。后下游为黄河所夺，惟发源处尚存。《战国策·燕策》："齐有清济浊河。" 涸(hé 合)：干枯。 津：本指口液，这里借指水。李善注引《吴越春秋》："禹周行宇内，竭洛涸济，沥淮于泽。"又《后汉书·郡国志》："温，苏子所都，济水出。王莽时大旱，遂枯绝。"

⑦斯：此，指新安江。

⑧磷磷：石在水中很明净的样子。刘祯《赠从弟》其一："泛泛东流水，磷磷水中石。"

⑨纷：杂乱貌。 嚣滓：犹嚣尘，喧闹而多尘埃。谓京师污浊的环境。滓，沉淀的杂质。李善注："谓去京师嚣尘之地以往东阳，自然隔越，亦不须濯衣巾。"

⑩宁：岂，难道。 假：借。

⑪潺(chán 蝉)湲(yuán 元)：水流不断貌。

⑫沾：犹洗。 缨：结冠的带子。《艺文类聚》八作"衣"。闻人倓笺："言游好在京邑，众人皆浊，正须以此水沾之。"(《古诗笺》五言诗卷十)

【译文】

我这个寻船客在这不断怀顾，
这条江真是值得好好地珍惜。
无论深浅它都那样清晰透明，
无论冬春它都那样澄澈明洁。
千仞高的树木影子直映水底，
百丈深的水中也能看到游鱼。
沧浪之水也有个浑浊的时候，
济水虽清却干枯得没水一滴。
难道要乘着这江流远远离去，
在江中磷磷白石上俯映身影？
我已经离开喧闹多尘的京师，
难道还须用这江水洗濯衣巾？
我愿用这不断流淌着的江水，

为京师诸君洗掉帽带上灰尘。

（张亚新　译注）

军戎

从军诗五首

王仲宣

【作者】

见卷十一《登楼赋》作者介绍。

【题解】

“军戎”是表现军旅征戍生活的一类作品。《从军诗》一作《从军行》，属乐府《相和歌·平调曲》，歌辞以王粲所作五首为最早。据《三国志·魏书·武帝纪》，建安二十年(215)三月曹操率大军西征张鲁，十一月张鲁归降，十二月曹操自南郑还，二十一年(216)春正月回到邺城，《从军诗》其一即作于此时。又据《武帝记》，二十一年十月曹操南征孙权，王粲从征，《从军诗》其二、三、四、五即作于此时。《乐府诗集》郭茂倩题解引《乐府解题》曰：“《从军行》皆军旅苦

辛之辞。”王粲《从军诗》虽也写了从军之苦，但同时也表达了以苦为乐的情愫。诗的主旨在歌颂曹操的统一业绩，表示“不能效沮溺，相随把锄犁”，而要“弃余亲睦恩，输力竭忠贞”，“虽无铅刀用，庶几奋薄身”。曹操所从事的统一大业符合历史发展的趋势和当时人民的普遍愿望，对之进行歌颂，从其主导面来说是无可非议的。王粲愿为统一大业贡献力量，虽然其动机包含着效忠曹氏的成分，但其主导方面同样值得肯定。诗篇情怀慷慨，气象壮阔，格调苍劲，文质兼美，具有较高的艺术成就。陈祚明评云：“立言得体，调并苍劲，古质之笔不及汉而高于晋。”(《采菽堂古诗选》卷七)方东树评云：“紧健处，杜公时效之，《出塞》诸作可见。”(《昭昧詹言》卷二)

【原文】

从军有苦乐，　但闻所从谁①。
所从神且武②，焉得久劳师③。
相公征关右④，赫怒震天威⑤。
一举灭獯虏⑥，再举服羌夷⑦。
西收边地贼，　忽若俯拾遗⑧。
陈赏越丘山⑨，酒肉逾川坻⑩。
军人多饫饶⑪　人马皆溢肥⑫。
徒行兼乘还⑬，空出有余资⑭。
拓地三千里，　往返速若飞⑮。
歌舞入邺城⑯，所愿获无违。
尽日处大朝⑰，日暮薄言归⑱。
外参时明政⑲，内不废家私⑳。
禽兽惮为牺㉑，良苗实已挥㉒。
不能效沮溺㉓，相随把锄犁。

熟览夫子诗[24]，信知所言非。

【注释】

①闻：《三国志·魏书·武帝纪》裴松之注、《乐府诗集》三十二、《艺文类聚》五十九并作“问”。

②神且武：神明而勇武。《周易·系辞上》：“古之聪明睿智，神武而不杀者夫”。

③焉：《武帝纪》注作“安”。 劳师：使军队很疲劳。《左传·僖公三十二年》：“劳师以袭远，非所闻也。”

④相公：指曹操。曹操时为丞相，故称。 关右：即关西，指函谷关以西之地。古人以西为右。

⑤赫怒：勃然大怒。《诗经·大雅·皇矣》：“王赫斯怒，爰整其旅。” 天威：本指帝王的威严，这里用以歌颂曹操。《左传·僖公九年》：“天威不违颜咫尺。”

⑥獯（xūn 勋）：即獯鬻，我国古代西北地区的一个少数民族。周时称玁狁，秦汉时称匈奴。 虏：与下句“夷”皆为古代对异族的贬称。

⑦羌：我国古代西北地区的少数民族之一。

⑧忽：疾貌。 拾遗：拾取遗失在地的东西。谓轻而易举。《汉书·梅福传》：“是以举秦如鸿毛，取楚若拾遗。”

⑨越：超过。李善注引《六韬》：“赏如高山，罚如深溪。”

⑩逾：超过。 坻（chí 迟）：水中小洲或高地。《左传·昭公十二年》：“有酒如淮，有肉如坻。”

⑪人：《武帝纪》注、《艺文类聚》、《乐府诗集》并作“中”。胡克家《考异》：“‘人’但传写误。” 饫（yù 育）：饱。 饶：《说文》：“饱也。”段注：“饶者，甚饱之词也。”《后汉书·刘盆子传》：“十余万人皆得饱饫。”《武帝纪》注作“饶饫”。

⑫溢：益，增。

⑬徒行：徒步走。兼乘：两乘，两匹战马。

⑭有余资：谓缴获了大量物资。

⑮速若：《乐府诗集》作“一如” 飞：《诗经·大雅·常武》：“王旅嘽嘽，如飞如翰。”

⑯邺城：在今河北临漳县西南。建安十八年(213)曹操被封魏公，三年后做了魏王，魏公、魏王的王都均在邺城。

⑰尽：《乐府诗集》作“昼”。 处：《乐府诗集》作“献”。大朝：对朝廷的敬称。

⑱薄言：急迫之意。言，语助词。《诗经·召南·采蘩》：“薄言还归。”

⑲时明政：合乎时宜的清明政治。

⑳家私：家中私事。

㉑惮(dàn 但)：害怕。 牺：牺牲，古代作祭品用的毛色纯一的牲畜。惮为牺，谓政治清明，生产发展，禽兽均担心被捕杀，不敢糟蹋庄稼。《左传·昭公二十二年》：“宾孟适郊，见雄鸡自断其尾。问之，侍者曰：‘自惮其牺也。’”

㉒良苗：李善注：“谷也。” 挥：摇动。谓庄稼长势良好。

㉓沮(jǔ 举)溺：长沮和桀溺，春秋时的两位隐士。《论语·微子》：“长沮桀溺耦而耕，孔子过之，使子路问津焉。”按：此句之上，六臣本《文选》、《乐府诗集》尚有“窃慕负鼎翁，愿厉朽钝姿”二句，中华书局新校点本《王粲集》(俞绍初点校)已据补。句中的“负鼎翁”指殷相伊尹，传说伊尹善烹调，曾负鼎求见商汤王。《韩诗外传》卷七：“伊尹，故有莘氏僮也，负鼎操俎调五味而立为相。”

㉔孰览：细看。孰，“熟”的本字。 夫子：指孔子。李善注：“《孔丛子》曰：‘赵简子使聘夫子。夫子将至，及河，闻鸣犊与窦犨之见杀，回舆而趣，为操曰：翱翔于卫，复我旧居；从吾所好，其乐只且。’然夫子欲从所好而隐居，仲宣欲厉节而求仕，有异夫子之志，故以所言为非也。”

【译文】

参加军旅既有苦也有乐，
只看你跟随的主帅是谁。
所跟的主帅神明而勇武，
哪会长时间让部队劳苦？
相公征讨关西一带地区，
勃然大怒震动上天神威。
一举消灭了西北的獯虏，
再举将反叛的羌人降服。

西边擒获了边地的反贼，
快得就像弯腰拾起东西。
赏赐陈列起来超过丘山，
酒肉多得超过河流高地。
军中大多吃得酒足饭饱，
人和战马无不增膘长肥。
步行去的牵回两匹战马，
空手走的有了剩余物资。
新开拓的地盘有三千里，
往返迅速就像鸟儿翩飞。
载歌载舞凯旋回到邺城，
所愿有了收获而无违背。
白日整天都在朝中值班，
太阳落山又急忙把家回。
在外参与谋画清明时政，
在内也不耽误家中私事。
飞禽走兽害怕成为牺牲，
田中良苗已在摇头摆尾。
决不能效法长沮和桀溺，
相随隐居手握锄犁种地。
细细观览夫子所吟诗句，
确实深知这种说法不对。

【原文】

凉风厉秋节①，　司典告详刑②。

我君顺时发③，　桓桓东南征④。
泛舟盖长川⑤，　陈卒被隰坰⑥。
征夫怀亲戚⑦，　谁能无恋情⑧？
拊襟倚舟樯⑨，　眷眷思邺城⑩
哀彼东山人⑪，　喟然感鹳鸣⑫。
日月不安处，　人谁获常宁⑬？
昔人从公旦⑭，　一徂辄三龄⑮。
今我神武师，　暂往必速平⑯。
弃余亲睦恩⑰，　输力竭忠贞⑱。
惧无一夫用⑲，　报我素餐诚⑳。
夙夜自怿性㉑，　思逝若抽萦㉒。
将秉先登羽㉓，　岂敢听金声㉔！

【注释】

①厉：猛烈。

②司典：主管刑法的官员。　详刑：用刑详审谨慎。也作“祥刑”。《尚书·吕刑》：“有邦有土，告尔祥刑。”《后汉书·明帝纪》：“详刑慎罚，明察单辞。”

③顺时：李善注：“应秋以征也。”谓到了用兵的季节。《礼记·月令》孟秋之月：“凉风至，白露降，寒蝉鸣，鹰乃祭鸟，用始行戮。……天子乃命将帅选士厉兵，简练桀俊，专任有功，以征不义，诘诛暴慢，以明好恶，顺彼远方。”

④桓桓：威武貌。　东南：指孙吴。《诗经·鲁颂·泮水》：“桓桓于征，狄彼东南。”

⑤泛舟：行舟。

⑥被：覆盖。　隰（xí 习）坰（jiōng 窘阴平）：隰，低注之地；坰，郊野。泛指郊野。

⑦亲戚：亲人。古代父子兄弟均可称为亲戚。

⑧恋：《艺文类聚》五十九、《乐府诗集》三十二并作“此”。

⑨拊：同“抚”。　樯：桅杆。

⑩眷眷：依恋貌。《乐府诗集》作“眷言”。

⑪东山人：指士兵。《诗经·豳风》有《东山》诗，是写远征东山的士兵在归途中的思家之情的。其第三章云：“我徂东山，慆慆不归。我来自东，零雨其濛。鸛鸣于垤，妇叹于室。”

⑫喟然；叹息貌。　鸛(guàn 贯)：水鸟名，形似鹭，亦似鹤。

⑬常：《乐府诗集》作“恒”。《国语·晋语四》：“日月不处，人谁获安？”

⑭公旦：即周公，为周文王之子，周武王之弟，名姬旦。

⑮徂：往。《乐府诗集》作“征”。　三龄：三年。李善注引《毛诗序》：“周公东征，三年而归。”

⑯暂：不久的时间。

⑰亲睦恩：亲人和睦的恩惠。即亲人对自己的恩惠。

⑱输力；贡献力量。

⑲一夫：一个平常人。

⑳报：报效。素餐：白吃饭。谓无功受禄。《诗经·魏风·伐檀》：“彼君子兮，不素餐兮。”

㉑夙夜：早晚。即终日。　饼(pēng 烹)：慷慨。用作动词，谓激励而使慷慨。

㉒萦：旋回缠绕。指旋回缠绕的细丝。

㉓秉：持。羽，羽箭。先登羽，谓拿着弓箭(泛指武器)在攻城时冲在前面。李善注引《东观汉记》：“贾复击青犊于射犬，被羽先登，所向皆靡。”

㉔金声：锣声。古代作战，击鼓则进攻，鸣金则停止进攻收兵。

【译文】

凉风在这秋季猛烈刮起，
司典告知用刑详审谨填。
我君顺应时节率军出发，
威武雄壮朝着东南远征。
战船开进满布长长大河，
兵士列队覆盖郊野如云。
远征将士怀念家中亲人，

有谁能够无此眷恋之情？
抚摸衣襟靠在桅杆上面，
情怀依依思念魏都邺城。
可怜那些远征东山的人，
喟然叹息感慨鹳鸟啼鸣。
日月不安心处一个地方，
人怎能获得长久的安宁？
从前人们跟着周公姬旦，
一去就要去整整的三年。
今天我们神武之师出征，
去后定能很快将敌平定。
抛弃我亲人和睦的恩惠，
贡献力量竭尽我的忠贞。
只怕还不如平常人顶用，
要报我无功受禄的诚心。
从早到晚自我激励情性，
思绪消逝犹如抽丝难尽。
将要拿着弓箭率先登城，
哪愿听下令收兵的锣声！

【原文】

从军征遐路①，　讨彼东南夷②。
方舟顺广川③，　薄暮未安坻④。
白日半西山，　桑梓有余晖。

蟋蟀夹岸鸣，　孤鸟翩翩飞⑤。
征夫心多怀，　恻怆令吾悲⑥。
下船登高防⑦，　草露沾我衣。
回身赴床寝，　此愁当告谁？
身服干戈事⑧，　岂得念所私⑨。
即戎有授命⑩，　兹理不可违。

【注释】

①遐路：远路。

②东南夷：指孙吴。

③方舟：两船并在一起称方舟。

④薄暮：傍晚。　未安坻(chí 迟)：谓未靠岸停泊。坻，水中小洲或高地。

⑤翩翩：鸟飞轻疾貌。

⑥恻怆：悲伤。恻，《艺文类聚》五十九、《乐府诗集》三十并作“凄”。

⑦防：堤岸。“登高防”是为了遥望故乡。

⑧服：从事，担负。　干戈事：指战事。

⑨所私：李善注：“情所亲也。”指怀念家乡和亲人的感情。

⑩即戎：奔赴战场作战。《论语·子路》：“善人教民七年，亦可以即戎矣。”授命：献出生命。《论语·宪问》：“见利思义，见危授命，久要不忘平生之言，亦可以为成人矣。”

【译文】

从军出战迈上遥远征程，
讨伐那盘踞东南的敌寇。
战船顺着宽阔河道开进，
到了傍晚还未靠岸停泊。
太阳西沉照在西山山腰，
桑树梓树上闪耀着余辉。

蟋蟀在两岸不住地鸣叫，
孤鸟在暮色中翩翩疾飞。
战士心中颇多怀乡之情，
愁苦凄凉使我感到悲伤。
走下战船登上高高堤岸，
草上露水浸湿我的衣裳。
转过身来回到床边就寝，
这番愁绪能够倾诉给谁？
身上担负着从军的重任，
哪能够顾念个人的私情。
上战场要准备献出生命，
这个道理决不可以背违。

【原文】

朝发邺都桥，暮济白马津①。
逍遥河堤上②，左右望我军。
连舫逾万艘③，带甲千万人④。
率彼东南路⑤，将定一举勋⑥。
筹策运帷幄⑦，一由我圣君⑧。
恨我无时谋⑨，譬诸具官臣⑩。
鞠躬中坚内⑪，微画无所陈⑫。
许历为完士⑬，一言独败秦⑭。
我有素餐责⑮，诚愧伐檀人⑯。
虽无铅刀用⑰，庶几奋薄身⑱。

【注释】

①济：渡河。　白马津：渡口名，在今河南滑县东。

②逍遥：悠然自得貌。《诗经·郑风·清人》："二矛重乔，河上乎逍遥。"

③连舫：两船相连。犹言"方舟"。

④带甲：指全副武装的战士。甲，古代军人所穿的用皮革或金属片做的护身衣。　千万人：极言其多。

⑤率：循，沿着。《诗经·小雅·何草不黄》："匪兕匪虎，率彼旷野。"

⑥一举勋：一举获胜的功勋。

⑦帷幄：军中帐幕。运筹帷幄，谓在室内筹画。《汉书·高帝纪下》："夫运筹帷幄之中，决胜千里之外，吾不如子房。"

⑧一由：全靠。　圣君：指曹操。

⑨恨：《艺文类聚》五十九作"限"。　时谋：适时合用的计谋。

⑩具官臣：即具臣，指那些备位充数、不称职的臣子。《汉书·翟方进传》："上无恻怛济世之功，下无推让避贤之效，欲当大位，为具臣以全身，难矣！"师古注："谓具位之臣，无功德也。"

⑪鞠躬：谨慎恭敬貌。　中坚：古代主将所在的中军部队，为全军主力，称中坚。此指军中重要部门。

⑫微画：小小的计谋。　陈：上言，陈述。

⑬许历：战国时赵国军士。据《史记·廉颇蔺相如列传》载，秦国攻打韩国，驻军阏与，赵国派将军赵奢率军往救。赵奢"去阏与五十里而军。军垒成，秦人闻之，悉甲而至。军士许历请以军事谏，赵奢曰：'内之。'许历曰：'秦人不意赵师至此，其来气盛，将军必厚集其阵以待之。不然，必败'……许历复请谏，曰：'先据北山上者胜，后至者败。'赵奢许诺，即发万人趋之。秦兵后至，争山不得上，赵奢纵兵击之，大破秦军。秦军解而走，遂解阏与之围而归。"　完士：李善注："完，谓全具也。言非有奇也。"即普通人之意。俞绍初辑校《建安七子集》(中华书局版)："'完士'，孙志祖《文选考异》引何焯说，云'《史记》云"军士许历请以军事谏"，"完"当作"军"，传写误也。'然《史记·索隐》引此句亦作'完'，盖唐时粲集已如此。"

⑭独：《艺文类聚》、《乐府诗集》并作"犹"。

⑮素餐责：谓无功受禄的责任。

⑯伐檀人：《诗经·魏风·伐檀》："坎坎伐檀兮，寘之河之干兮，河水清且涟猗。不稼不穑，胡取禾三百廛兮？不狩不猎，胡瞻尔庭有悬貆兮？彼君子兮，不素餐兮！"伐檀人与素餐者对举，本指劳动者，这里指建有功勋的人。

⑰铅刀：铅质的刀，言其不锋利。《后汉书·班超传》："况臣奉大汉之威，而无铅刀一割之用乎？"

⑱庶几：或许可以。为表希望之词。 薄身：犹言微躯。奋薄身，谓贡献微薄的力量。

【译文】

早晨军队从邺都桥出发，
傍晚时分已渡过白马津。
悠然地漫步在河堤之上，
左顾右盼前进中的我军。
相连的战船超过一万艘，
披甲的将士足有千万人。
沿着朝东南的道路开进，
将建立一举获胜的功勋。
在帷幄之中把良策筹画，
全靠我足智多谋的圣君。
只恨我没有适宜的计谋，
就像那备位充数的朝臣。
恭谨地在重要部门任职，
连个小计谋也不曾上陈。
许历是一个普通的军士，
还靠一句话打败了秦军。
我负有无功受禄的责任，
确实愧对有功的伐檀人，
虽没有铅刀一割的用处，
或还能震奋起微薄之身。

【原文】

悠悠涉荒路①，　靡靡我心愁②。
四望无烟火，　但见林与丘。
城郭生榛棘③，　蹊径无所由④。
藿蒲竟广泽⑤，　葭苇夹长流⑥。
日夕凉风发，　翩翩漂吾舟。
寒蝉在树鸣，　鹳鹄摩天游⑦。
客子多悲伤⑧，　泪下不可收。
朝入谯郡界⑨，　旷然消人忧⑩。
鸡鸣达四境⑪，　黍稷盈原畴⑫。
馆宅充廛里⑬，　女士满庄馗⑭。
自非圣贤国，　谁能享斯休⑮？
诗人美乐土⑯，　虽客犹愿留。

【注释】

①悠悠：远貌。《诗经·小雅·黍苗》："悠悠南行，召伯劳之。"　涉：本指徒步渡水，这里为行进之意。

②靡靡：迟迟，迟缓。《诗经·王风·黍离》："行迈靡靡，中心摇摇。"

③榛（zhēn 真）棘：丛生的草木。

④蹊：小路。

⑤藿（guàn 贯）：草名，为蔓生植物，亦名萝藦、芄兰。　蒲：草名，有香蒲和菖蒲两种，均生长水边。　竟：周遍。

⑥葭（jiā 加）苇：芦苇。

⑦鹳：鸟名。　鹄：天鹅。　摩天：迫近天。

⑧客子：指远征的战士。《艺文类聚》二十八作"游客"。

⑨谯郡：东汉末分沛国地置，治谯县（今安徽亳州市）。谯为曹操故乡，在当时经济恢复较快。

⑩旷然：开朗貌。

⑪四境：指四方郡界。《孟子·公孙丑上》："鸡鸣狗吠相闻，而达乎四境，而齐有其民矣。"

⑫畴：已耕作的土地。

⑬馆宅：房舍。 廛(chán 婵)里：住宅、市区的通称。

⑭女士：女子和男子。 庄、馗(kuí 奎)：皆指四通八达的大道。

⑮休：幸福。

⑯美：赞美。 乐土：安乐幸福的地方。《诗经·魏风·硕鼠》："逝将去女，适彼乐土。乐土乐土，爰得我所。"

【译文】

在遥远荒凉的道路行进，
步履迟缓我心无比忧愁。
四面望去没有人间烟火，
只见无边的树林和荒丘。
城邑丛生出杂木和野草，
路径不知经由哪里好走。
藿草蒲草长遍广泽四周，
芦苇茂密夹住长长江流。
傍晚时分阵阵凉风吹起，
风帆翩翩漂动我的行舟。
寒蝉在林间凄厉地鸣叫，
鹳鸟鸿鹄迫近苍天遨游。
远征之人心多悲伤之情，
眼泪横流一发而不可收。
早晨进入谯郡所辖地界，
豁然开朗令人消去忧愁。
鸡叫之声远传四面边境，
高粱小米长满原野田畴。

人烟稠密房舍布满街市，
路上满是男男女女在游。
这要不是圣贤所在国度，
有谁能把如此幸福享受？
这就是诗人赞美的乐土，
虽为客人也愿在此居留。

（张亚新　译注）

郊庙

宋郊祀歌二首

颜延年

【作者】

见卷二十《应诏曲水宴》作者介绍。

【题解】

此二首，《乐府诗集》中分别以《夕牲歌》、《迎送神歌》为题，收在《郊庙歌辞·宋南郊登歌三首》中。古代帝王祭天地称为“郊祀”，

《郊祀歌》即专用于郊祀仪式的歌曲。内容除赞美天神地祇外，还歌咏其他神灵和祥瑞。《宋书·乐志》载，“文帝元嘉二十二年，诏颜延之造《天地郊夕牲》、《迎送神》、《飨神》雅乐登歌三篇。”

【原文】

夤威宝命，　严恭帝祖①。
炳海表岱，　系唐胄楚②。
灵监睿文，　民属睿武③。
奄受敷锡，　宅中拓宇④。
亘地称皇，　罄天作主⑤。
月霓来宾，　日际奉土⑥。
开元首正，　礼交乐举⑦。
六典联事，　九官列序⑧。
有牲在涤，　有絜在俎⑨。
荐飨王衷，　以答神祜⑩。

【注释】

①夤(yín 寅)：通寅，敬也。“夤威”即敬畏，威通畏。　宝命：对神命、天命、帝命的美称。李善注引《尚书》：“王无坠天之降宝命。”　严：庄重。　恭：恭敬。　帝祖：上帝、先祖。此二句意思是说郊祀乃是敬畏天帝和尊敬先祖的表现。

②炳：显。　表：彰显。　海岱：指徐州。李善注引《尚书》曰：“海岱及淮惟徐州。“说徐州东临大海，北邻泰山(岱)，南接淮水。徐州是刘宋王室 的祖籍，故言之。李善注引沈约《宋书》曰：“高祖(刘裕)，彭城人，楚元王之后也。彭城，徐州之境。”　系唐胄楚：张铣注：“宋承唐尧及楚元王后，故云。”系、胄，承也。

③灵监二句：张铣注：“灵，神；监，察；睿，圣也”。这二句是赞美宋高祖刘裕，说神灵明鉴其文德，老百姓寄望于其武功。　属(zhǔ 主)：同瞩，注视。

④奄受二句：吕向注：“敷，大；锡，赐；宅，居也。言宋高祖奄受天之大赐，故居中开拓疆宇。”奄，包括，“奄受”犹言广受。按，刘裕受禅前曾率兵北伐，收

复了中原广大地区以及陕西一带。

⑤亘地二句：言宋高祖遍有土地而称帝主宰天下。李周翰注："亘，徧(同遍)；罄，尽也。"

⑥月窦(cuì 脆)：月窟。窦，窟也。古人认为月的归宿处在西方，故以称极西之地。 日际：指太阳升起的地方，以称极东之地。 宾：宾服。吕延济注："言远国皆来宾王庭，奉献土物。"

⑦开元二句：刘良注："元、首，皆始也。正者，正月上日。言天子布开政教之始，起于正月上日也。礼交乐举，和之至也。"

⑧六典：六种典制。李善注引《周礼》曰："太宰之职，掌建邦之六典，以佐王治邦国。一曰治典，二曰礼典，三曰教典，四曰政典，五曰刑典，六曰事典。" 九官：传说虞舜置九官，即：伯禹作司空，弃为后稷，契作司徒，皋陶作士，禹作共工，益作朕虞，伯夷作秩宗，夔作典乐(《尚书·舜典》)。诗中六典、九官，借指刘宋王朝的典章制度和列官。张铣注："周礼有六典之官以掌万邦，舜命九官以理天下，若斯之官，皆接联而事于此，罗列皆有次序。"

⑨牷(qiān 全)：牲牷。用作牺牲的牛羊，色纯体完者曰牷。 涤：古时指养祭牲之室。也叫牢。取其荡涤洁清之意称"涤"。李善注引《礼记》曰："帝牛必在涤三月。" 絜：同洁。 俎：指祭器。此二句言牲牷已关养在涤中，祭器也在清洗了。

⑩荐飨(xiǎng 享)：祭献。 衷：衷诚。 祜(hù 户)：福。

【译文】

敬畏尊严的天命，
庄重恭敬上帝、先祖。
推崇尊显海岱之地，
我皇乃是继承尧、楚。
神灵明察圣君文治，
百姓寄望圣君武功。
高祖大受上天恩赐，
居于中土开拓疆宇。
拥有广土登上帝位，

普天之下尽归统治。
西极之地前来宾服，
东极之地纳贡归依。
布开政教始于正月，
礼乐制度融通振起。
各种典章联接侍奉，
朝延众官排列有序。
牲牷已经养在牢中，
祭器正在打扫清洗。
祭献我皇一片衷诚，
报答神明降福佑庇。

【原文】

维圣飨帝， 维孝飨亲①。
皇乎备矣， 有事上春②。
礼行宗祀， 敬达郊禋③。
金枝中树， 广乐四陈④。
陟配在京， 降德在民⑤。
奔精昭夜， 高燎炀晨⑥。
阴明浮烁， 沈祟深沦⑦。
告成大报， 受釐元神⑧。
月御案节， 星驱扶轮⑨。
遥兴远驾， 曜曜振振⑩。

【注释】

①维圣二句：李善注引《礼记》曰："唯圣人为能飨帝，孝子为能飨亲，"谓只有圣人（指天子）才能祭供上帝，孝子才能祭供父母。

②皇乎二句：谓皇上尽具圣孝之道，将行祭祀之礼于上春时节。 上春：即孟春，正月。 有事：谓有祭祀之事。

③宗祀：祭祀祖宗。宗祀在庙中举行。 郊禋(yīn 因)：郊祀。对天帝的祭祀称禋祀。把祭牲和玉帛置于柴上，烧柴烟升，表示告天。《周礼·春官·大宗伯》："以禋祀祀昊天上帝。"郑注："禋之言烟，……燔燎而升烟，所以报阳也。"此二句言在庙中举行祭祖宗之礼，在郊外举行禋祀向天布达敬诚。

④金枝二句：吕向注："金枝谓灯，以金饰之。广乐，天子乐也。"广乐，传说天上的一种乐曲。诗中借指祭祀中所奏的乐曲。 四陈：谓四下传布。

⑤陟配二句：李善注引《毛诗》曰："三后在天，陟配在京。"李周翰注："三后，谓大王、王季、文王。既没，精气在天，武王能配行其道于镐京。言天子升祖考以配天，下以德及众庶也。"

⑥奔精：指流星。 昭：照。李善注引《史记》曰："汉家常以正月上辛祠甘泉，昏时夜祠，到明而终。常有流星经于祠坛。" 燎：焚柴。 炀：烟。此二句言在祭祀的夜晚，有流星出现，光照夜空。焚柴升烟，达于清晨。

⑦阴明：指水星。 浮烁：光上浮貌。李善注引《尚书·考灵耀》曰："气在于冬，其纪辰星，是谓阴明。" 辰星即水星。 沈禜(yǒng 咏)：李善注："《尚书·大传》曰：'沈四海。'郑玄曰：'祭水曰沈。'郑司农《周礼注》曰：'禜，祭名也。'" 深沦：深水。深沦在诗中既指所祭祀的深水，也用来比喻祭祀的深沉诚意。按，古代阴阳家用水、火、木、金、土五种物质德行相生相克和终而复始的循环变化，来说明王朝兴替的原因。刘宋王朝属水德，所以这里言水星放光和祭祀水神。

⑧告成二句：刘良注："告其成功以报于天，遂受福于天神矣。"釐(xī 希)：通禧，福也。 元神：大神。元，大也。

⑨月御：月的驾车人，传说名叫望舒。 案节：控制车马的步伐，谓缓行。 星驱：星星驰驱。 扶轮：谓在车驾两侧簇拥而行。此二句乃承上言天神降临，月为之驾车徐行、星为之拥驾。

⑩兴：起。 曜曜：光明貌。 振振：盛貌。此二句说天神遥起远驾而降，车驾队伍放射光彩，十分盛大壮观。

【译文】

唯有天子能够祭祀上帝，

唯有孝子能够祭祀双亲。
皇上已具圣孝之道，
将有祭祀之事于孟春。
举行了对祖宗的祭祀，
又行禋祀向上天布达敬诚。
金色 的灯盏设立在中央，
四方传扬着典雅的乐声。
同祭列祖和上帝于京城，
把德泽降临给百姓。
流星的光辉照亮了夜空，
高烧柴火升烟直达清晨。
水星渐渐呈现出光芒，
在幽深的水边祭祀水神。
向上天呈报大功告成，
我们受到的福佑来自大神。
月亮的御者放慢了车马步伐，
众星驰驱护着大神车驾降临。
您遥远地起驾前来，
光辉照耀场面多么隆盛。

（骆礼刚　译注）

乐府上

乐府三首　古辞

饮马长城窟行

【题解】

“乐府”是西汉武帝时设立的音乐机关，它除了将文人歌功颂德的诗制成曲谱并制作、演奏新的歌舞外，还采集民间的歌辞入乐。后来人们把这些歌辞也叫做乐府。《汉书·艺文志》载：“自孝武立乐府而采歌谣，于是有赵、代之讴，秦、楚之风，皆感于哀乐，缘事而发，亦可以观风俗，知厚薄云。”可见当时采诗范围遍及黄河、长江两大流域，及其在社会生活中的意义。据《艺文志》所载篇目，仅西汉时“乐府”收集的民歌，就有一百三十八首之多，但现存的乐府民歌，包括东汉作品在内只有约四十首，大都收录在宋代郭茂倩所编的《乐府诗集》中。

《饮马长城窟行》，在《乐府诗集》中属《相和歌辞·瑟调曲》，又名《饮马行》。长城窟，指长城之下的泉窟。李善注：“言征戍之客至于长城，而饮其马，妇思之，故为长城窟行。”诗中细致地描述了思

妇苦楚的心情和迫切的盼望。

【原文】

青青河边草，　绵绵思远道①。
远道不可思，　夙昔梦见之②。
梦见在我旁，　忽觉在他乡③。
它乡各异县，　展转不可见④。
枯桑知天风，　海水知天寒⑤。
入门各自媚，　谁肯相为言⑥？
客从远方来，　遗我双鲤鱼⑦。
呼儿烹鲤鱼，　中有尺素书⑧。
长跪读素书，　书上竟何如⑨？
上有加餐食，　下有长相忆⑩。

【注释】

①青青二句，李善注："言良人行役，以春为期，期至不来，所以增思。"绵绵，在此有双关义，一状春草细密绵延，一状思念缠绵不断。

②夙昔：昨夜。夙，旧也。昔，李善注引《广雅》曰："昔，夜也。"此二句言良人既在远道、徒然思之无益，只能在梦中相见。

③觉，醒。言忽然醒来，梦中人仍在他乡。

④展转：不定。言远道之人行踪不定。一说为反复，言反复思量。亦通。

⑤枯桑 二句：李善注："枯桑无枝，尚知天风，海水广大，尚知天寒。君子行役，岂不离(罹)风寒之患乎？"此以枯桑、海水喻征夫。或以枯桑、海水喻妇人，言其孤苦忧思唯 自知，故下文即言"入门各自媚"云，似于义较长。

⑥媚：爱悦。此二句言从远处归来之邻人，各爱自家之人，有谁肯为我捎个问讯呢？

⑦遗(wèi 位)：赠与。　双鲤鱼：指装书信的函，一底一盖，刻为鱼形。

⑧烹鲤鱼：指打开书函。烹，煮也。此处乃是涉笔成文以求生动。　尺素

书：指书信。素，生绢。古人在绢上写字。

⑨长跪：伸直腰跪着。古人席地而坐，两膝着地，坐在脚后跟上，直起腰来即是长跪的姿式。

⑩上有二句：信前面写到要妇人多吃点饭，后面写到自己长长的思念。诗作弦外之音是无有归期。

【译文】

翠色青青长在河岸上的野草，
细密绵延引起我对远道之人的思念。
徒然思念远道之人也是无益，
昨天夜里睡梦之中把他梦见。
梦见他就在我的身旁，
忽然醒来他却仍然远在他乡。
他乡各自是另外一县，
路途之人行踪不定难以相见。
叶儿枯落的桑树也知天风猛烈，
宽广的海水也知天气的严寒。
别人归来都各自回家倾诉爱悦之情。
谁肯为我捎带上只语片言？
有位客人从远方来到我家，
赠与我刻着双鲤鱼的木函。
呼唤儿子打开双鲤鱼木函，
中间有写着书信的一尺白绢。
长跪着读这白绢书信，
书信中到底写有何言：
前面写着要我多加餐饭，
后面提到他长长的思念。

伤 歌 行

【题解】

《伤歌行》，在《乐府诗集》中属《杂曲歌辞》。诗作写一位独处深闺的女子，在明月之夜忧思难已，不能成眠，起而徘徊，见春鸟孤飞，哀鸣求偶，更加触动自己怀念心上人的愁肠。明梅鼎祚《古乐苑》曰："《伤歌行》，侧调曲也。伤日月代谢，年命遒尽，绝离知友，伤而作歌。"谓托男女之情以言思友，亦一解。

【原文】

昭昭素月明，　晖光烛我床①。
忧人不能寐，　耿耿夜何长②！
微风吹闺闼，　罗帷自飘扬③。
揽衣曳长带，　屣履下高堂④。
东西安所之？　徘徊以彷徨⑤。
春鸟翻南飞，　翩翩独翱翔。
悲声命俦匹，　哀鸣伤我肠⑥。
感物怀所思，　泣涕忽沾裳。
伫立吐高吟，　舒愤诉穹苍⑦。

【注释】

①昭昭：光明貌。　素月明：当作素明月（胡克家《文选考异》）。素，白也。

烛：照。

②耿耿：形容心中不能安稳。李善注引《毛诗》曰："耿耿不寐，如有隐忧。"

③闼：门。

④曳(yè 叶)拖。　屣(xǐ 洗)履：拖着鞋子走路。

⑤安所之：去哪里。　之：往，去。　以：连词。

⑥命：犹言呼唤。　俦匹：伴侣。

⑦舒：同抒。　穹苍：天空。

【译文】

明亮洁白的月儿，
辉光照临我的眠床。
忧思之人不能入睡，
心不安宁总觉得夜太漫长！
微风吹进闺房的门户，
吹得帷帐不停飘扬。
揽起衣裳拖着长长衣带，
拖着鞋子走下高堂。
不知该走东边还是西边，
徘徊走动心中彷徨。
春天一到鸟儿朝着南边飞去，
你何故展翅翩翩独自翱翔？
悲凉鸣叫呼唤着伴侣，
哀伤的鸣声使我满腹感伤。
感此景物引起我怀念所思的人，
泪水顿时流淌沾湿了衣裳。
伫立着发出高声吟唱，
抒发忧愤倾诉给浩浩上苍。

长 歌 行

【题解】

《长歌行》，在《乐府诗集》中属《相和歌辞·平调曲》。“长歌”之义，崔豹《古今注》曰：“长歌、短歌，言人寿命长短有定分，不可妄求也。”此说前人多非之。《乐府解题》曰：“按古诗‘长歌正激烈’，魏文帝《燕歌行》‘短歌微吟不能长’，晋傅玄《艳歌行》‘咄来长歌续短歌’，盖歌声有长短，非言寿命也。”可作参考。本诗言时光易逝，当珍惜少年时日，无遗老来之叹。

【原文】

青青园中葵，　朝露行日晞①。
阳春布德泽，　万物生光晖。
常恐秋节至，　焜黄华蘂衰②。
百川东到海，　何时复西归？
少壮不努力，　老大乃伤悲③。

【注释】

①葵：冬葵，是我国古代的重要蔬菜之一。　晞：晒干。　行，别本作“待”。
②焜(hún 浑)黄：色衰貌。　华：同花。　蘂别本作叶。
③乃：别本作徒。

【译文】

颜色青青的园中葵菜，
上有朝露等待着太阳晒干。
阳春普遍布下德泽，
万物焕发出光采。
常常担心秋季到来，
花儿叶子枯黄色衰。
百条江河东流大海，
何时见它往西归来？
少壮之时若不努力，
老大之时徒然悲哀。

（骆礼刚　译注）

怨歌行一首

班婕妤

【作者】

班婕妤（公元前48？～6？），西汉女文学家。名不详，婕（jié 捷）妤（yú 予）是妃嫔的称号。楼烦（今山西朔县）人。少有才学，工于诗赋。汉成帝时选入宫，初为少使，不久立为婕妤。后赵飞燕得宠，乘机进谗，班遂失宠，自求退居长信宫侍奉太后。原有集一卷，已佚。

今存《自悼赋》、《捣素赋》、《怨歌行》等，均抒写她在宫中的苦闷和幽怨。传在《汉书·外戚传》。

【题解】

《怨歌行》，属《相和歌辞·楚调曲》，一名《团扇歌》。李善注："《歌录》曰：'《怨歌行》，古辞。'然言古者有此曲，而班捷妤拟之。"后人则多疑为伪作。诗作以纨扇至秋见弃，喻人之失宠。或云即班失宠后所作。钟嵘《诗品》曰："婕妤《团扇》短章，辞旨清捷，怨深文绮。"

【原文】

新裂齐纨素①，　皎洁如霜雪。
裁为合欢扇②，　团团似明月。
出入君怀袖，　动摇微风发③。
常恐秋节至，　凉风夺炎热④。
弃捐箧笥中，　恩情中道绝⑤。

【注释】

①裂：截断。指从织机上把纨素截下来。　齐纨素：齐国产的白绢。
②合欢扇：即团扇，谓其形如两扇之合。
③出入二句：李善注："此谓蒙恩幸之时也。"
④秋节：秋季。　夺：取代。
⑤箧笥(sì 饲)：匣、盒等。　中道：中途。

【译文】

新织成的齐地白绢，
光亮洁白如同霜雪。
裁剪制作成把团扇，

圆圆如像一轮明月。
出入君子怀袖之中，
摇起发出阵阵凉风。
常常害怕秋季到来，
凉爽秋风送走夏日。
把扇弃置于匣盒中；
恩情中途就已断绝。

（骆礼刚　译注）

乐府二首

魏武帝

短　歌　行

【作者】

曹操(155～220)，三国魏著名政治家、军事家、文学家。字孟德，沛国谯(今安徽亳县)人。少机警，有权数而任侠。20岁时，举孝廉为郎，历任洛阳北部尉、济南相等。曾参与镇压黄巾起久，后击败袁绍、吕布等割据势力，统一北方。建安十三年(280)进位为丞相。二十一年(216)封魏王。死后其子曹丕称帝。追尊为武帝。现存诗二十余首，较完整的散文四十余篇。其诗虽全为汉乐府旧题，却不因袭古辞古意，而是以旧题写时事，内容深刻，气魄宏伟，慷慨悲壮，苍劲雄浑，代表了“建安风骨”的特色。钟嵘《诗品》说：“曹公古

直，甚有悲凉之句。”如《蒿里行》、《苦寒行》、《薤露行》等，反映汉末的战乱和人民的苦难，有“汉末实录，真诗史也”的誉称（钟惺《古诗归》）。《观沧海》、《龟虽寿》、《短歌行》“对酒当歌”首等，抒写统一天下的雄心壮志和思贤若渴的情怀。其散文也别具一格，善于以质朴刚健的语言直抒胸臆，而无典雅浮华之弊，代表作如《让县自明本志令》。原有集三十卷，已散佚。现有中华书局辑校的《曹操集》较为无备，近人黄节的《魏武帝诗注》是比较完善的注释本。《三国志》有本纪。

【题解】

《短歌行》是“汉旧歌”（《宋书·乐志》），古辞已佚。《乐府诗集》中属《相和歌辞·平调曲》。“短歌”之义，参见本卷《长歌行》题解。曹操的《短歌行》、《乐府诗集》载有二首，第二首述王业之本。《文选》只录其一。这首诗先感叹时光易逝，接着抒写求贤若渴的心情，最后说出自己的雄心大志。

【原文】

对酒当歌①，　人生几何？
譬如朝露，　去日苦多②。
慨当以慷③，　忧思难忘。
何以解忧？　唯有杜康④。
青青子衿，　悠悠我心⑤。
但为君故⑥，　沉吟至今。
呦呦鹿鸣，　食野之苹⑦。
我有嘉宾，　鼓瑟吹笙。
明明如月，　何时可掇⑧？
忧从中来，　不可断绝。

越陌度阡，　枉用相存⑨。
契阔谈宴⑩，　心念旧恩。
月明星稀，　乌鹊南飞，
绕树三匝，　何枝可依⑪？
山不厌高，　海不厌深。
周公吐哺，　天下归心⑫。

【注释】

①对酒当歌：面对着酒筵和歌舞。当，对着。

②譬如朝露句：早上的露水，太阳出来不久就被晒干了。用来比喻人生短促，光阴易逝。　去日苦多：逝去的岁月苦于太多了。

③慨当以慷：是“慷慨”的间隔用法，如说“慨而有慷”。形容心情不平静。

④杜康：相传是最先造酒的人。一说黄帝时人，一说周时人。此处作为酒的代称。

⑤青青二句：衿，衣领。“青衿”是周代学子的服装。悠悠，长远貌。《诗经·郑风·子衿》：“青青子衿，悠悠我心，纵我不往，子宁不嗣音？”郑玄笺：“学子而俱留学校之中，己留彼去，故随而思之耳。嗣，续也。女（汝）曾不传声问我以思，责其忘己。”本诗此处用《子衿》成句，借以表示对贤才的思慕。并且兼用“纵我不往”二句诗意，谓己与贤才有故旧之谊，稍含“责其忘己”之意。

⑥但：只是。　沉吟：沉思低吟。

⑦呦呦四句：这是《诗经·小雅·鹿鸣》中的句子。苹，艾蒿。呦呦，鹿鸣声。毛苌曰：“鹿得苹，呦呦然鸣而相呼，恳诚发乎中，以兴嘉乐宾客。当有恳诚相招呼，以成礼也。”本诗用《鹿鸣》成句，表示自己如得贤才，将以优礼相待。

⑧明明如月二句：明洁的月亮，何时才能拾取到呢？喻贤才难得。掇（duō多）：李善注引《说文》：“掇，拾取。”

⑨陌、阡：田间小道，南北叫阡，东西叫陌。　枉：枉驾，屈就。　用：以。存：问。此二句是设想贤才越过田间的道路，枉驾前来对自己表示问候。

⑩契阔：犹言聚散，合离。这里是复词偏义，偏用“阔”的意思，谓久别。谈宴：宴饮谈心。此二句是说久别重逢，宴饮畅谈，心中充满了往昔的情谊。

⑪月明星稀四句：以乌鹊比喻贤才，意思是说他们都在寻找依托。 匝：周、圈。

⑫山不厌高四句：李善注引《管子》曰："海不辞水，故能成其众。山不辞土，故能成其高，明主不厌人，故能成其众。"前二句语本此。又引《韩诗外传》曰："周公践天子之位。七年，成王封伯禽于鲁，周公诫之曰：'吾，文王之子，武王之弟，成王叔父也。又相天下。吾于天下亦不轻矣！然一沐三握发，一饭三吐哺，犹恐失天下之士。"后二句语本此。哺，咀嚼着的食物。这四句意思是说山不嫌高，海不嫌深，自己要像周公那样虚心招纳贤才，天下人就会诚心归服。

【译文】

面对着酒筵和歌舞，
人生能有多少岁月？
就像那清晨的露水，
逝去的日子苦于太多。
心情如此不能平静，
忧愁的思念难以遗忘；
用什么才能排解忧愁？
只有这杯中浓酒。
穿着青色衣领服装的学子，
远远地牵动我的思念之心。
只是因为您的缘故，
使我沉思低吟直到如今。
鹿发出呦呦鸣叫，
招唤同伴共食野苹。
如果我有美好的宾客，
我也要为他们弹琴吹笙。
贤才如同明月皎洁，
何时方能揽于手中？

忧愁从内心升起，
不绝如缕绵绵无穷。
朋友们度越田间的小道，
屈驾前来对我表示慰问。
久别重逢设宴畅谈，
心中涌起昔日的友情。
月儿明亮星星稀疏，
乌鹊朝着南边飞翔，
绕树盘旋飞个不止，
到底想落在哪一枝上？
山不会嫌峥嵘高峻，
海不会嫌阔大幽深，
周公虚心礼遇贤才，
天下之人诚心归顺。

苦寒行

【题解】

《苦寒行》，《乐府诗集》收为《相和歌辞·清调曲》。《乐府解题》曰："晋乐奏魏武帝《北上篇》，备言冰雪谿谷之苦。其后或谓之《北上行》，盖因武帝辞而拟之也。"何焯认为此诗大约作于建安十一年(206)春正月征高干时(《义门读书记》)。《三国志·武帝纪》载："(建安十年冬十月)公还邺。初，袁绍以甥高干领并州牧。公之拔邺，干降，遂以为刺史。干闻公讨乌丸，乃以州叛，执上党太守，举

兵守壶关口。遣乐进、李典击之。干还守壶关城。十一年春正月，公征干……公围壶关，三月拔之。”

【原文】

北上太行山，　艰哉何巍巍①！
羊肠坂诘屈，　车轮为之摧②。
树木何萧瑟？　北风声正悲③。
熊罴对我蹲，　虎豹夹路啼④。
谿谷少人民，　雪落何霏霏⑤！
延颈长叹息，　远行多所怀⑥。
我心何怫郁，　思欲一东归⑦。
水深桥梁绝，　中路正徘徊⑧。
迷惑失故路，　薄暮无宿栖⑨。
行行日已远，　人马同时饥。
担囊行取薪，　斧冰持作糜⑩。
悲彼《东山》诗，悠悠使我哀⑪。

【注释】

①太行山：起自今河南省济源县，北入山西，再经河南入河北。曹操从邺城（今河北临漳县西）西北度太行山攻高干所在的壶关（今山西长治市东南），故云“北上”。　巍巍：高峻貌。

②羊肠坂：地名，在壶关东南。以其山盘纡如羊肠得名。　诘屈：盘纡曲折。　摧：毁坏。

③萧瑟：风吹拂树木发出声响。

④罴（pí 皮）：熊中的一种，形体较大，也叫人熊。　啼：号叫。

⑤霏霏：雨雪纷扬貌。

⑥延颈：谓伸长脖颈眺望。

⑦怫（fú 弗）郁：犹悒郁，心情不舒畅。　东归：李善注：“言望旧乡也。”刘

履《选诗补注》认为是指曹操故乡谯郡。

⑧中路：中途。此二句言中途遇到深水且桥梁断绝，故徘徊不前。

⑨故路：原有之路。 宿栖：信宿栖身之处。

⑩担囊行取薪：挑着行囊边走边拾取柴禾。 斧冰：用斧斫冰。“斧”用作动词。 糜：粥。此句言斫冰来化水煮饭。

⑪《东山》：《诗经·豳风》篇名，描写长期征戍的士兵在归还家乡途中对家乡的思念。《毛传》：“《东山》，周公东征也。周公东征，三年而归，劳（犒劳）归。士大夫美之，故作是诗也。”此句以周公东征归还，反衬自己眼下思归不得，故有深悲。 悠悠：深长貌。

【译文】

往北登上太行山，
山多么高峻呵充满艰难！
羊肠坂盘纡曲折，
车轮在此而毁坏。
树木为何发出阵阵喧响？
北风正劲疾风声悲凉。
熊罴面对着我蹲在路上，
虎豹号叫在道路两旁。
谿谷之中少人居住，
大雪飘落呵纷纷扬扬。
引颈眺望发出长长叹息，
远行之人心中更多怀念。
我心中多么悒郁不畅，
真想归返东边的故乡。
河流水深桥梁已断，
途中正徘徊愁怅。
迷惑中寻不到原有的道路，
临近天黑还没有住宿的地方。

天天行走路途已远，
人和马一起感到饥饿。
挑着行李边走边拾柴禾，
以斧斫冰化水来煮饭。
悲伤地想起那《东山》诗，
更加深深地引起我的哀叹。

（骆礼刚　译注）

乐府二首

魏文帝

燕歌行

【作者】

见卷二十二《芙蓉池作》作者介绍。

【题解】

《燕歌行》，李善注："《歌录》曰：'燕'地名，犹楚、宛之类。'此不言古辞，起自此也。"《乐府诗集》中属《相和歌辞·平调曲》。《乐府广题》曰："燕，地名，言良人从役于燕而为此曲。"《乐府正义》曰："《燕歌行》与《齐讴行》、《吴趋行》、《会吟行》俱以各地声音为主，后世声音失传，于是但赋风土。而燕自汉末魏初辽东西为慕容（指鲜卑族）所居，地远势偏，征戍不绝，故为此者往往作离别之辞，与《齐

讴》诸行又自不同，庾信所谓‘燕歌远别、悲不自胜’者也。”本诗以思妇的口吻，抒发对远行在外的丈夫的思念之情。音节流畅，情辞凄惋，有较高的艺术性。是现在所能见到的最早最完整的七言诗。

【原文】

秋风萧瑟天气凉，
草木摇落露为霜。
群燕辞归雁南翔，
念君客游思断肠①。
慊慊思归恋故乡，
何为淹留寄他方②？
贱妾茕茕守空房③，
忧来思君不敢忘，
不觉泪下沾衣裳。
援琴鸣弦发清商，
短歌微吟不能长④。
明月皎皎照我床，
星汉西流夜未央⑤。
牵牛织女遥相望，
尔独何辜限河梁⑥？

【注释】

①秋风四句：王尧衢《古唐诗合解》谓为“感时物以起兴，言霜飞木落，鸟亦知归，独我君子，客游不返，令我思之断肠”。萧瑟，风吹动草木发出的声响。摇落，凋残。《乐府诗集》“雁”作鹄，“思断肠”作“多思肠”。

②慊慊二句：上句是设想之辞，说丈夫也在痛苦地思念归回故乡。下句是妇人怨艾之辞，说既然如此，为什么又淹留外地而不回来呢？慊慊，恨貌，不满

貌。《乐府诗集》“何为”作“君何”。

③茕苑(qiónq 穷):孤单貌。

④援琴二句:援,取。清商,乐调名。吴淇《六朝选诗定论》曰:“歌不能长者,为琴所限也。古人多以歌配弦,不似今人专鼓(弹奏)不歌,所谓声依永(咏)也……琴弦仅七,……故正调之外,或缦(慢)或紧,其弦因有四调:曰缦宫、曰缦角、曰紧弱、曰清商。……(清商)其节极短促,其音极纤微,长讴曼咏,不能逐焉。故云('不能长')。”此二句乃承上言已垂泪哽咽,故奏琴歌唱,只能发出短促微弱的声音,不能唱出舒缓悠长的歌曲。

⑤明月二句:李善注:“《古诗》曰:'明月何皎皎,照我罗床帷。'《毛传》曰:'夜如何其?夜未央。'”是本诗此二句所本。星汉,指众星和天河。天河又称河汉。西流,向西流转。夜未央,夜已深而未尽之时。此二句言已不能入寐。

⑥牵牛:牵牛星,在银河南。 织女:织女星,在银河北。 尔:指牵牛,织女。辜:通故,何辜即何故。 限河梁:谓银河上无桥梁,遂为阻隔。传说牵牛和织女是夫妇,只能每年七月七日相会一次。诗作写妇人借此慨叹自己与夫相离。

【译文】

秋风发出喧响天气变得寒凉,
草木调残摇落白露凝而为霜。
群燕告辞南归大雁飞向南方,
挂念夫君外游使我思断愁肠。
您也充满怅恨思念返回故乡,
却又为何淹留不返寄居他乡?
贱妾孤苦零丁独自守着空房,
忧思袭人记挂着您不敢相忘,
不知不觉泪水已经沾湿衣裳。
取来琴拨起弦奏起清商曲调,
歌声短促微弱不能舒缓悠扬。
明月皎洁清光照耀在我床上,

星汉银河朝西流转夜正深长。
牵牛织女只能空自遥相对望，
你们何故被阻隔在银河两旁？

善哉行

【题解】

《善哉行》，乐府旧题，《乐府诗集》收为《相和歌辞·瑟调曲》。“善哉”是叹美之辞。本诗不袭古意，但用旧题而已。刘履《选诗补注》曰：“此因文帝征行劳苦，感物忧伤而歌以自娱也。托言上山采薇不足以疗饥，而徒为风霜所侵；且物之群动者尚各求其匹侣，我何独远离所亲而劳于征役乎！于是还望故乡，则郁然垒垒者又为隔绝使不可见，故其忧感之怀，反复兴叹而不能已焉。”

【原文】

上山采薇，　薄暮苦饥①。
谿谷多风，　霜露沾衣。
野雉群雊，　猴猿相追②。
还望故乡，　郁何垒垒③！
高山有崖，　树木有枝；
忧来无方，　人莫之知④。
人生如寄，　多忧何为⑤？
今我不乐，　岁月如驰⑥

汤汤川流， 中有行舟；
随波回转， 有似客游⑦。
策我良马， 被我轻裘；
载驰载驱， 聊以忘忧⑧。

【注释】

①上山二句：说傍晚时为饥饿所苦，于是上山采薇欲以充饥。薇：野菜名。李善注引《毛诗》曰："陟彼南山，言采其薇。"这是《诗经·召南·草虫》中的句子。毛序谓《草虫》诗意为"大夫妻以礼自防也。" 黄节曰："《诗·小雅》：'采薇采薇，薇亦作止。曰归曰归，岁亦莫止。'又：'忧心烈烈，载饥载渴，'又：'我心悲伤，莫知我哀。'本篇用意用字似出此诗，序所云'遣戍役也'。若善注引《召南·草虫》之'采薇'。则大夫妻能以礼自守，非本篇义矣。"(《汉魏乐府风笺》)黄注为是。

②野雉(zhì 至)：野鸡。 雊(gòu 够)：野鸡叫。

③郁何垒垒：谓山上林木郁葱而又重重迭迭。 垒垒，山重貌(李周翰注)。此二句意谓回头想望故乡，却被树木郁葱而又重重迭迭的山挡住了视线。

④高山有崖四句：这四句是用谐音双关手法，崖谐 涯，枝谐知。前二句又是承上文"郁何垒垒"句而进言之。忧来无方，忧愁生起无边无涯。方，范围。"无方"，犹无边无涯。

⑤人生如寄：李善注引《尸子》曰："老莱子曰：'人生天地之间，寄也。寄者，固(归)也。'"按，固字下脱归字，今据胡克家《文选考异》以补。言人生于天地之间，不过暂寓形体而已，终当一死。归，谓死。 多忧何为：多忧多愁是因为什么呢？何为即为何。

⑥今我不乐二句：是对上二句设问的回答。言今我不乐之故，正为岁月如奔驰一般消逝，更增人生如寄之叹。李善注引《毛诗》曰："今我不乐，日月其除。"

⑦汤汤(shāng 商)：大水疾流貌。 川流：河流。此四句既以行舟喻客游，又以流水喻时光消逝，言外之意则是说既然如此，何不且乐眼前？以兴起下文之良马轻裘，聊以忘忧。

⑧策：用鞭抽打马。 被：披。 轻裘：轻暖的裘衣。 载驰载驱：即驰驱，载为语助词，无义。 聊：姑且。成语“肥马轻裘”常用来比喻豪华、放荡不羁的生活，此四句即丢开忧虑，及时行乐的形象化说法。

【译文】

上山去采摘薇菜，
傍晚被饥饿困苦。
谿谷之中多凉风，
霜露沾湿了衣服。
野鸡成群地鸣叫，
猴猿不停地追逐。
回头遥望那故乡，
山峦重迭林葱郁！
高山有陡峭悬崖，
林木有纷披树枝；
心忧愁无边无涯，
悲伤情没有人知。
人生如寄天地间，
多忧多愁为什么？
而今我闷闷不乐，
因岁月飞驰消逝。
疾逝而去的河流，
其中有一艘行舟；
随波浪来回打转，
恰似离乡人浪游。
扬鞭抽打这良马，
披上我轻暖皮裘；
飞快地奔驰前行，

想以此忘掉忧愁。

（骆礼刚　译注）

乐府四首

曹子建

箜篌引

【作者】

见卷十九《洛阳赋》作者介绍。

【题解】

《箜篌引》，《古今乐录》据张永《技录》谓为《相和四引》之一，属《瑟调曲》。且云本诗又名《门有车马客行·置酒篇》。而《宋书·乐志》及《乐府诗集》则置本诗于《野田黄雀行》题下，亦属《相和歌辞·瑟调曲》。《文选》则作《箜篌引》。是一诗而有三名者也。《箜篌引》之义，崔豹《古今注》曰："《箜篌引》者，朝鲜津卒（管理渡口的士兵）霍里子高妻丽玉所作也。子高晨起刺船（用篙撑船），有一白首狂夫，被发提壶，乱流（直着横渡）而渡，其妻随而止之，不及，遂堕河而死。于是援箜篌而歌曰：'公无渡河，公竟渡河，堕河而死，将奈公何。'声甚凄怆，曲终亦投河而死。子高还，以语丽玉。丽玉伤之，乃引箜篌而写其声，闻者莫不堕泪饮泣。丽玉以其曲传邻女丽容，名曰《箜篌引》。"清朱绪曾说此诗大约作于曹植封平原侯或临

淄侯时，在建安十六年(211)至二十一年(216)间(《曹子建集考异》)。其时太子之位未定，曹植也正是贵盛之时，所以诗中含蓄地表现出建立功业的愿望，并以此勉励亲友。

【原文】

置酒高殿上，　新友从我游①。
中厨办丰膳，　烹羊宰肥牛②。
秦筝何慷慨，　齐瑟和且柔③。
阳阿奏奇舞，　京洛出名讴④。
乐饮过三爵，　缓带倾庶羞⑤。
主称千金寿，　宾奉万年酬⑥。
久要不可忘，　薄终义所尤⑦。
谦谦君子德，　磬折欲何求⑧？
惊风飘白日，　光景驰西流⑨。
盛时不可再，　百年忽我遒⑩。
生在华屋处，　零落归山丘⑪。
先民谁不死？　知命亦何忧⑫！

【注释】

①亲友：亲近的友人。　游：谓宴游。

②中厨：内厨房。

③慷慨：高昂激越。　筝、瑟：皆弦乐器，筝以秦地制造者为佳，瑟以齐地人善奏，秦筝、齐瑟用来称乐器优良。

④阳阿：地名，在今山西省凤台县北。李善注引《汉书》："孝成赵皇后及壮，属阳阿主家，学歌舞。"赵皇后即善舞之赵飞燕。诗中用此典称扬舞蹈者。京洛：指东汉都城洛阳。　名讴：著名歌曲。

⑤乐饮：欢乐地饮酒。　过三爵：超过了三杯。爵，雀形酒杯。李善注引

《礼记》曰："君子之饮酒也，受一爵而色洒如（肃敬貌），二爵而言言斯（和敬貌），三爵而油油（悦敬貌）以退。" 缓带：宽松衣带。 庶羞：众肴，即指各种佳肴。此二句描写酒宴上尽情畅饮，不拘细节的情形。

⑥千金寿：《史记·鲁仲连邹阳列传》载，鲁仲连为赵国却退秦军后，"平原君欲封鲁连，鲁连辞让使者三，终不肯受。平原君乃置酒，酒酣，起前，以升金为鲁连寿。"古时以祝寿为辞赠送人财物称寿。 万年酬：祝主人长寿的酬答语。此二句写酒宴后宾主酬答的情形。

⑦久要：旧约。李善注引《论语》："久要不忘平生之言，亦可以为成人矣。" 薄终义所尤：谓开初交情深厚而后来淡薄，这是道义所谴责的行为。 尤：非难。

⑧磬折：磬是古代乐器，玉石制成，中间弯曲，挂起来敲击。"磬折"用以形容人弯腰鞠躬之貌，谓谦恭有礼。此二句言谦卑本是君子的品德，屈身优礼贤士是为了什么呢？言下之意是说希望朋友们不忘旧约，帮助自己建立功业。

⑨惊风：疾风。 光景：指白日。此二句言时光流逝之速，如疾风飘送白日西驰一般。

⑩盛时：谓年壮之时。 百年：谓人一生。 遒：尽。

⑪零落：指人事殂落，谓死。此二句言人活着时住在华美的房屋里，死后则归于山丘。李善注引《古董逃行》曰："年命冉冉我遒，零落下归山丘。"

⑫先民：指过去的人。 知命：指想通生死之理。此二句言外之意是说生死不足忧，所忧的就是功业无成。

【译文】

设置酒筵在高高殿堂之上，
亲近的友人跟随我来此宴游。
内厨办理丰盛的膳食，
烹煮羊又宰杀肥牛。
秦筝之声多么高昂激越，
齐瑟之声温和而又轻柔。
阳阿舞女跳起优美的舞蹈，
著名歌曲出自洛阳京都。

纵情畅饮已经超过三杯，
宽缓衣带吃尽各种佳肴。
主人说以千金为大家祝寿，
客人酬答祝主人益寿延年。
旧时的约言不能够忘记，
厚始薄终为道义所非难。
谦恭虚心是君子的品德，
屈身下士想有什么希求？
疾风吹送着白日，
白日如奔驰一般西流。
少壮之年不会再来，
人的一生倏忽就到了尽头。
生时居住在华美的房中，
死后则归于野岭荒丘。
过去之人有谁不死？
想通生死之理又有何忧！

美女篇

【题解】

《美女篇》，无古辞，以首二字为篇名。《乐府诗集》收为《杂曲歌辞·齐瑟行》，序云："美云者，以喻君子。言君子有美行，愿得明君而事之。若不遇时，虽见征求，终不屈也。"刘履曰："子建志在辅君匡济，策功垂名，乃不克遂；虽授爵封，而其心犹为不仕，故托处女

以寓怨慕之情焉。”(《选诗补注》)

【原文】

美女妖且闲，　采桑歧路间①
柔条纷冉冉，　叶落何翩翩②。
攘袖见素手，　皓腕约金环③。
头上金爵钗，　腰佩翠琅玕④。
明珠交玉体，　珊瑚间木难⑤。
罗衣何飘飘，　轻裾随风还⑥。
顾盼遗光采，　长啸气若兰⑦。
行徒用息驾，　休者以忘餐⑧。
借问女安居？　乃在城南端⑨。
青楼临大路，　高门结重关⑩。
容华耀朝日，　谁不希令颜⑪。
媒氏何所营？　玉帛不时安⑫。
佳人慕高义，　求贤良独难⑬。
众人何嗷嗷，　安知彼所观⑭。
盛年处房室，　中夜起长叹⑮。

【注释】

①妖：艳丽。　闲：娴静。　歧路：岔路。

②冉冉：形容树枝拂动的样子。

③攘袖：捋起袖子。　素：白。　皓：洁白。　约：束。

④金爵钗：雀形的金钗。爵，同雀。　琅玕(láng 郎 gān 干)：一种似玉的石。

⑤交：络。　间(jiàn 见)：隔。　木难：李善注引《南越志》曰：“木难，金翅鸟沫所成碧色珠也，大秦国珍之。”此二句写美女身上穿着有明珠。珊瑚、木难

间杂络串为饰的服装。

⑥裾:衣襟。 还(xuán 旋):通旋,转动。

⑦啸:撮口发出长而激越的声音。古人好长啸以抒情。 气若兰:谓吐气芬芳如兰。

⑧行徒:行路之人。 用:因。 息驾:停下车驾。 休者:休息的人。此二句说行路之人因为看见美女而停下车驾,休息之人也因此忘了吃饭。汉乐府《陌上桑》:"行者见罗敷,下担捋髭须。……耕者忘其犁,锄者忘其锄。"此二句即本此变化而成。

⑨安居:居住在哪里。

⑩青楼:涂饰青漆的楼房,指显贵之家。非后世以青楼称倡女居处。 重关:两道门杠称重关。此二句言美女住在大路旁高门重关的青楼里,意谓其为豪贵人家之女。

⑪容华:容颜。 希:慕。 令颜,美丽的容貌。令,善。

⑫媒氏:指做媒之人。 营:指营媒。 玉帛:指圭璋和束帛,是古代定婚所用 的聘礼。 不时安:不及时定下。安,定也。此二句意谓,媒人在干些什么呢?为什么不及时来下聘定婚。

⑬佳人慕高义二句:谓美女敬慕品德高尚之人,但要寻求贤德之人实在困难。良,诚,实在。

⑭众人二句:意谓不理解美女的众人只对她乱说一通,却不知道她看得上的是什么样的人。嗷嗷,乱叫。何,别本作徒。

⑮盛年处房室:谓美女正当青春年盛却家居未嫁。处,指未嫁。

【译文】

美女艳丽而又娴静,
采摘桑叶于岔路之间。
桑树柔嫩的枝条纷纷拂动,
摘下的桑叶飞动翩翩。
捋起衣袖现出白晰的手臂,
洁白的手腕上戴着金色手环。
头上插着雀形的金钗,

腰间佩戴着翠绿的琅玕，
明珠络串装饰在身上，
间杂着珊瑚珠和木难。
绫罗衣裙飘动不已，
轻盈的衣襟随风旋转。
顾盼之间留下光采，
长啸时抒发气息如兰。
行路之人见了你而停车不走，
休息之人见了你而忘了吃饭。
借问美女你居住在何处？
回答说就住在城市的南端。
青色的楼房面临大路，
高大的门户安有两道门栓。
容光焕发有如朝阳照耀，
谁能不羡叹你美丽的容颜？
媒人不知在干些什么，
为何不及时带上聘礼前来议婚？
美女敬慕品德高尚之人，
想寻求贤德之人也真困难。
众人乱嚷嚷胡说一通，
怎知什么人她才看得上眼。
青春年盛而居于闺中，
半夜里发出声声长叹。

白马篇

【题解】

《白马篇》，无古辞，以首二字名篇。《乐府诗集》收在《杂曲歌辞·齐瑟行》，序曰："白马者，言人立功立事，尽力为国，不可念私也。"诗中描写的武艺高超、勇敢机智、忠勇爱国的幽并游侠形象，其实是诗人自况。

【原文】

白马饰金羁，　连翩西北驰①
借问谁家子？　幽并游侠儿②。
少小去乡邑，　扬声沙漠垂③。
宿昔秉良弓，　楛矢何参差④。
控弦破左的，　右发摧月支⑤。
仰手接飞猱，　俯身散马蹄⑥。
狡捷过猴猿，　勇剽若豹螭⑦。
边城多警急，　胡虏数迁移⑧。
羽檄从北来，　厉马登高堤⑨。
长驱蹈匈奴，　左顾凌鲜卑⑩。
弃身锋刃端，　性命安可怀⑪。
父母且不顾，　何言子与妻？
名编壮士籍，　不得中顾私⑫。

捐躯赴国难， 视死忽如归⑬。

【注释】

①羁：马络头。 连翩：连续奔跑如飞。

②幽并：幽州和并州，相当于现在河北、山西和陕西的一部分。

③去乡邑：离开家乡。 扬声：扬名。 垂：同郵，边疆。

④宿昔：犹言素常。 秉：持。楛(hù 户)矢：以楛木为杆的箭。

⑤控弦：张弓。左的：左边的目标。 月支：箭靶名。李善注引邯郸淳《艺经》曰："马射(骑在马上射箭)，左边为月支三枚，马蹄二枚。"

⑥接：迎射对面飞来之物曰接。 猱(náo 挠)：猿类动物，体小，善攀援树木，轻捷如飞，故称"飞猱"。 散：谓射碎。 马蹄：箭靶名，本诗中与"飞猱"对举，又言"俯身"，似为双关语，有实指马蹄之义。

⑦狡捷：动作灵活敏捷。 过：超。 勇剽：勇猛轻疾。 螭(chī 痴)：古代传说中的一种动物，若龙而黄。

⑧胡虏：即下文所云匈奴、鲜卑。 数：屡次。 迁移：诗中谓入侵。

⑨羽檄(xí 习)：即羽书。《汉书·高帝纪下》："吾以羽檄征天下兵。"颜师古注："檄者，以木简为书，长尺二寸，用征召也。其有急事，则加以鸟羽插之，示速疾也。" 厉马：犹言催马。

⑩蹈：赴也。诗中是冲进之意。 左顾：回顾。 凌：侵。亦冲进之意。

⑪安可怀：岂可顾惜。怀，犹惜。

⑫中顾私：心中顾念个人私事。此二句言既然名字编在壮士的簿籍中，就不能顾念个人私事了。

⑬捐躯：献身。 国难：国家的危难。 忽：复，又也。

【译文】

白马装饰着金色的络头，
如飞一般奔往西北方向。
要问那是谁家子弟？
就是幽并一带的游侠儿郎。
少年时就离别了家乡，

名声传扬于沙漠边疆。
素常总是手持良弓，
楛木箭有短有长。
张弓射破左边的目标，
右边放箭射断月支箭靶。
抬手能射中迎面而来的飞猱，
俯身可以射碎马蹄。
灵活敏捷超过猴猿，
勇猛迅疾如同豹螭。
边疆城镇多有紧急军情，
敌人屡次兴兵入侵。
征兵的羽书自北而来，
催马登上高高的堤岸。
长驱直入冲进匈奴阵地，
回头又冲进鲜卑军营。
委身于刀枪锋刃尖上，
怎么可以顾惜生命？
父母尚且不能顾及，
何况儿子和妻子。
名字既已编入壮士簿籍，
就不能心中顾念个人私事。
敢于献身奔赴国家危难，
把死亡看成回家一般。

名 都 篇

【题解】

《名都篇》，无古辞，以首二字名篇。《乐府诗集》收在《杂曲歌辞·齐瑟行》，序曰："名都者，邯郸、临淄之类也。以射（影射）时人骑射之妙，游骋之乐，而无忧国之心也。"吴淇谓此诗是曹植因为被曹丕压抑，"牢骚抑郁，借以消遣岁月，一片雄心，无有泄处，其自效之意，可谓深切著明矣。"历来解说此诗者，不外就此二说或彼即此。较之，似以前说为妥贴。

【原文】

名都多妖女，　京洛出少年①。
宝剑直千金，　被服光且鲜②。
斗鸡东郊道，　走马长楸间③。
驰驰未能半，　双兔过我前④。
揽弓捷鸣镝，　长驱上南山⑤。
左挽因右发，　一纵两禽连⑥。
余巧未及展，　仰手接飞鸢⑦。
观者咸称善，　众工归我妍⑧。
我归宴平乐，　美酒斗十千⑨。
脍鲤腾胎鲲，　寒鳖炙熊蹯⑩。
鸣俦啸匹旅，　列坐竟长筵⑪。

连翩击鞠壤， 巧捷惟万端⑫。
白日西南驰， 光景不可攀⑬。
去散还城邑， 清晨复来还⑭。

【注释】

①名都：著名都市。 妖女：艳丽的女子。指乐伎而言。 京洛：京城洛阳。少年：谓骄奢的游侠少年。沈德潜曰："起句以妖女陪少年，乃客意也。"

②直：同值。 光且鲜：光洁而新鲜。此二句写少年的装束。

③走马：驰马。长楸间：指两旁种有楸树的长道之间。

④驰驰：胡克家《文选考异》谓"茶陵本作驰骋。驰驰。犹行行耳。骋字盖后人改之。"

⑤捷：引。 鸣镝：响箭。 南山：黄节注："洛阳南山也。潘尼《迎大驾》诗曰：'南山郁岑钝，洛川迅且急。'即指此山。"(《曹子建诗注》)此二句言少年揽弓射兔。并因追 赶兔子驱马而上南山。

⑥左挽二句：言左手挽弓向右发射，一箭而贯穿两兔。因，沿也。禽，鸟兽总称。两禽即指双兔。

⑦展：施展。 接：迎射。鸢(yuān 冤)：鹞鹰。此二句言少年还未完全施展高超的箭术，抬手一箭，就射落了迎面飞来的鹞鹰。

⑧众工：指众多工于箭术之人。 归：许与。妍：精妍。

⑨平乐：观名，汉明帝时建造，在洛阳城西门外。 斗十千：一斗酒值十千钱。乃盛言酒之美。

⑩脍：细切的肉。 腾(jùn 俊)：少汁的肉羹。脍、腾在此用作动词。 胎鰕(xiā 虾)：有子的鲂鱼。 寒：酱渍。 鳖：甲鱼。 熊蹯(fán 凡)熊掌。此二句言菜肴讲究。

⑪鸣俦啸匹旅：谓朋友们互相呼唤。鸣、啸在此意为呼唤。 俦、匹旅：均谓朋友。 竟：穷、极。此句谓朋友们坐满了长筵的席位。

⑫连翩：谓不停飞跑貌。 击鞠壤：踢毛球和作"击壤"的游戏。"鞠"是毛球。古人踢以为戏，称为蹴踘。击壤，古代的一种投掷游戏。"壤"用木块制成，前宽后锐，长一尺四寸，阔三寸。玩时将一壤侧放于地，距离三四十步远以手中之壤击之，中者为胜。 巧捷惟万端：谓其灵巧多变。惟，语助词。

⑬光景：指时光。景，同影。　攀：留。

⑭云散二句：言少年们如浮云分散，各自入城归家。明天清早又捋来此取乐。

【译文】

著名的都市多有艳丽女子，
京城洛阳自有骄奢少年。
佩戴的宝剑价值千金，
穿着的衣服光亮新鲜。
斗鸡于东郊的大道上，
跑马于栽满楸树的长道间。
行行走走还未到中途，
一对兔子跑过我的眼前。
揽弓引弦射出响箭，
逐兔长驱直上南山。
左边挽弓沿着右边射出，
一箭把双兔贯穿。
更多的技巧尚未施展，
抬手就射中了飞翔的鹞鹰。
观看之人全都叫好，
众多善射之人推许我箭术精妍。
归来在平乐观设下酒筵，
醇美的酒一斗值钱十千。
细切鲤鱼又用有子鲂鱼作羹，
酱渍甲鱼再加烧炙熊掌。
呼喊朋友召唤伙伴，
大家入座坐满长长的酒筵。
宴毕又翩翩奔跑踢球击壤，

动作灵活敏捷变化多端。
白日朝着西南方向疾驰而去，
时光消逝不能攀挽，
如云消散大家分手入城归家，
翌日清晨再来此地嬉玩。

（骆礼刚　译注）

王明君词一首

石季伦

【作者】

石崇（249～300），渤海南皮（今河北南皮东北）人，字季伦，小名齐奴。石苞幼子。少敏慧。年二十余为修武令，后迁散骑常侍、侍中。元康中，为荆州刺史，曾劫掠远行客商而致富。于洛阳置金谷别墅，富丽甲一时，后入为太仆，官至卫尉卿。与潘岳等谄事贵戚贾谧，为“二十四友”之一。他穷奢极欲，与贵戚王恺、羊琇等以奢靡相尚。及贾谧被诛，以同党免官。时赵王伦专权，崇有妓名绿珠，美艳异常，孙秀使人求之，不与，秀乃劝伦矫诏杀之。绿珠亦堕楼死。崇长于诗，以《王明君词》为最著。原有集六卷，已佚。现存诗十首。传附《晋书·石苞传》。

【题解】

《王明君词》,《乐府诗集》题为《王明君》,收在《相和歌辞·吟叹曲》。《唐书·乐志》曰:"《明君》,汉曲也。元帝时,匈奴单于入朝,诏以王嬙配之,即昭君也。及将去,入辞,光彩射人,悚动左右,天子悔焉。汉人怜其远嫁,为作此歌。晋石崇妓绿珠善舞,以此曲教之,而自制新歌。"诗作为代言体,抒写昭君远嫁异邦的遭遇和心中的哀伤。何焯《义门读书记》曰:"石季伦《王明君辞》,逼似陈王(陈思王曹植)。此诗句以讽失节之士。"此说乃是引伸发挥之论,恐非石崇原诗主旨。

【原文】

王明君者,本是王昭君,以触文帝讳改焉①。匈奴盛,请婚于汉,元帝以后宫良家子昭君配焉②。昔公主嫁乌孙,令琵琶马上作乐,以慰其道路之思③。其送明君,亦必尔也④。其造新曲,多哀怨之声,故叙之于纸云尔⑤。

我本汉家子,　将适单于庭⑥。
辞诀未及终,　前驱已抗旌⑦。
仆御涕流离,　辕马悲且鸣⑧。
哀郁伤五内,　泣泪湿朱缨⑨。
行行日已远,　遂造匈奴城⑩。
延我于穹庐,　加我阏氏名⑪。
殊类非所安,　虽贵非所荣⑫。
父子见陵辱,　对之惭且惊⑬。
杀身良不易。　默默以苟生⑭。
苟生亦何聊?　积思常愤盈⑮。

愿假飞鸿翼，乘之以遐征⑯。
飞鸿不我顾，伫立以屏营⑰。
昔为匣中玉，今为粪上英⑱。
朝华不足欢，甘与秋草并⑲。
传语后世人，远嫁难为情⑳。

【注释】

①触：犯。 文帝：指晋文帝司马昭。这几句是说因为触犯了晋文帝的名讳“昭”字，故改昭君为明君。

②元帝：汉元帝刘奭，公元前48～33年在位。 良家子：好人家的子女。按，根据汉朝制度，医、巫、商贾、百工均不能列入良家。李善注引《琴操》曰：“单于遣使请一女子，帝以昭君赐单于。”此事在汉元帝竟宁元年（前33年），匈奴单于是呼韩邪。

③昔公主……道路之思：李善注引《汉书》曰：“乌孙（西域国名）使使献马，愿得尚公主（娶公主为妻）。乃遣江都王建女为公主，以妻乌孙焉。”此为汉武帝时事。

④尔：如此。

⑤造：制。 叙之于纸：指以文字写在纸上。此与上文的“曲”抒之于乐器而对言。

⑥汉家子：汉朝的女子。古代女子亦可称为“子” 适：出嫁。 单（chán 蝉）于：匈奴最高首领的称号。 庭：厅堂。指家。

⑦辞诀：告别。 抗旌：举起旗帜。此二句说告别还未终结，前面队伍已举起旗帜要出发了。

⑧仆御：赶车的人。 流离：犹淋漓，流泪貌。李善注引《长门赋》曰：“涕流离而纵横。”

⑨哀郁：哀伤忧郁。 五内：指五脏。缨：系于颔下的冠带。

⑩造：抵达。

⑪延：引进。 穹（qiong 穷）庐：古代称游牧民族居住的毡帐。 阏氏（yān zhī 烟支）：汉时匈奴单于之妻的称号。

⑫殊类：异类，诗中指族别不同。此二句是说因为是异民族，所以感到难以安居。虽然地位尊贵，但自己却并不感觉荣耀。

⑬父子见陵辱二句：言己被单于父子凌辱，面对这种情况，自己既惭愧又惊愕。这里所指的事是，呼韩邪死后，其前阏氏之子继为单于，又以王昭君为妻。

⑭杀生：谓自杀。 良：甚。此二句言自杀实在不是容易之事，只好默默无言，苟且偷生。

⑮苟生二句：苟且偷生又有什么意思，心中积满了悲愤的思绪。

⑯假：借。 遐征：远行。此二句意谓南归故乡。

⑰不我顾：不看我。 屏(bīng 兵)营：犹彷徨。李善注引《国语》："申包胥曰：'昔楚灵王独行屏营。'"

⑱昔为二句：意谓往昔虽不显贵，其质犹为玉，言清白也；今虽显贵，却为粪土所玷污也。英：花。

⑲朝华：春朝之花，喻年青貌美。秋草，喻年老色衰。此二句意思是说年青貌美并不值得高兴，而今自己甘心像秋草那样萎落了。言己因貌美而得祸。

⑳难为情：犹难忍、难堪之意。

【译文】

王明君，本来叫做王昭君，因为触犯了晋文帝的名字而改。匈奴强盛，向汉朝请求通婚，汉元帝把后宫中从好人家选来的女子王昭君许配给他。从前汉王朝将公主嫁到乌孙国去，曾下令弹奏琵琶的人骑在马上奏乐，用来安慰公主在路途上的忧思。他们送明君，也一定如此吧。他们所制作的新曲，多为哀怨的音律，我因此用文字叙述于纸上。

我本来是汉朝的女子，
将要出嫁到单于家去。
告别的话还没说完，
前面的队伍已举起了旌旗。
赶车的仆人泪水淋漓，

驾辕的马也悲伤长嘶。
悲哀忧郁使五内俱伤，
泪水沾湿了红色的冠带。
走呵走一天天远离乡土，
于是来到匈奴居住的地方。
将我引入毡帐之中，
给我加上阏氏的名号。
民族差异使我不能安居，
虽然尊贵我却不觉得荣耀。
遭受父子两代人相继凌辱，
对此情形使我羞惭而又惊愕。
自杀也实在不是易事，
只好默默地苟且偷生。
苟且偷生又有什么意思？
思前想后心中充满忧愤 。
我愿凭借飞鸿的翅膀，
乘着它高飞远行。
可是飞鸿却不看我一眼，
只好独自伫立彷徨伤心。
从前我像那匣中的白玉，
而今却如粪土上的鲜花。
即如春朝的鲜花也值不得高兴，
我甘心与那秋天的枯草为群。
此话要传给后世人听取，
远嫁叫人实在难忍。

（骆礼刚　译注）

文选全译卷第二十八

乐府下

乐府十七首

陆士衡

【作者】

见卷十六《叹逝赋》作者介绍。

猛　虎　行

【题解】

《猛虎行》，乐府古题，属《相和歌·平调曲》，古辞今存，载《乐府诗集》卷三十一《题解》，其辞曰："饥不从猛虎食，暮不从野雀栖。野雀安无巢，游子为谁骄？"本篇写志士虽慎于出处，但为时命所迫，不得已而违背初衷，结果既难以成就功业，又难以正直为人，因而有愧平生抱负的苦闷，是诗人入洛后功名无成、进退维谷的艰难

处境和一面仕进着、一面却又危惧着的矛盾心态的真实写照，同时也折射了当时社会政治的险恶。虽脱胎于古辞，但已别开生面，不失为一自我表现之作。或云陆机诗“踵前人步伐，不能流露性情”（黄子云《野鸿诗的》），实未可一概论之。

【原文】

渴不饮盗泉水①，　热不息恶木阴②。
恶木岂无枝？　志士多苦心③。
整驾肃时命④，　杖策将远寻⑤。
饥食猛虎窟，　寒栖野雀林⑥。
日归功未建⑦，　时往岁载阴⑧。
崇云临岸骇⑨，　鸣条随风吟⑩。
静言幽谷底⑪，　长啸高山岑⑫。
急弦无懦响⑬，　亮节难为音⑭。
人生诚未易，　曷云开此衿⑮？
眷我耿介怀⑯，　俯仰愧古今⑰。

【注释】

①盗泉：水名，在今山东省境内，注入洙水。《水经注·洙水》：“洙水西南流，盗泉水注之。”《尸子》：“孔子至于胜母，暮矣而不宿；过于盗泉，渴矣而不饮，恶其名也。”

②恶木：指形状丑恶的树，与嘉树相对。

③志士：有志气有操守的人。《论语·卫灵公》：“志士仁人，无求生以害仁，有杀身以成仁。”　多苦心：谓志士坚持操守，爱惜声名，为避免堕入不良环境而煞费苦心。李善注引江邃《文释》：“《管子》曰：‘夫士怀耿介之心，不荫恶木之枝。恶木尚能耻之，况与恶人同处？’”“多苦心”，《艺文类聚》四十一作“苦用心”。

④整驾：整理车马。泛指备好行装。张衡《思玄赋》：“爰整驾而亟行。”

肃：恭敬地遵奉。　时命：时君之命。

⑤杖策：执鞭。策，古代的一种马鞭，头上有尖刺。“杖”，《艺文类聚》四十一作“振”。

⑥“饥食”两句：《猛虎行》古辞：“饥不从猛虎食，暮不从野雀栖。”这里反用其语，谓杖策远寻，环境艰苦，故饥不择食，寒不择栖。

⑦日归：日屡西归。即“时往”。

⑧岁载阴：即岁暮。古代以春夏为阳月，以秋冬为阴月。李善注引《神农本草》：“秋冬为阴。”载，犹“则”。

⑨崇：高。　骇：起。

⑩鸣条：因风吹而发声的枝条。

⑪静言：犹静然，静默沉思。语本《诗经·邶风·柏舟》：“静言思之。”言，语助词。　幽谷：深谷。

⑫长啸：撮口长呼，并发出一种清越的声音。这是古人抒发抑郁感情的一种方式。　岑：《尔雅》：“山小而高曰岑。”

⑬急弦：乐器上绷得很紧的弦。　懦响：缓弱的声音。

⑭亮节：高尚的节操。　难为音：谓执高节的人言必慷慨，不同流俗，而这不容易讨得时君的喜欢。

⑮曷：何。　云：语助词。　开此衿：谓放弃初衷而产生远行的想法。衿，同“襟”，胸襟、胸怀。

⑯眷：顾。　耿介：正直。

⑰俯仰：思忖貌。俯，低头。仰，抬头。　古今：指古今贤圣。

【译文】

口渴也不喝盗泉水，
天热也不歇恶树荫。
恶树难道没有枝叶？
志士惜名煞费苦心。
驾车谨奉时君之命，
执鞭就要远出家门。
饿了在猛虎窟求食，

冷了在野雀林栖身。
时光消逝功业未建，
转眼之间一年将尽。
岸边高云腾空而起，
枝条随风发出悲吟。
静默沉思深谷底下，
撮口长啸高山峰顶。
紧弦不发缓弱音声，
高节难为慷慨言论。
人生一世实在不易，
为何生此行役之心。
回顾平生耿介情怀，
愧对古今圣人贤人。

君子行

【题解】

《君子行》，乐府古题，属《相和歌·平调曲》，古辞今存，载《乐府诗集》卷三十二。《乐府解题》曰："古辞云'君子防未然'，盖言远嫌疑也。"本篇借"远嫌疑"三字生发，写诗人在复杂政治斗争环境中的切身感觉。前部慨叹人生祸福变化多端，情怀感伤；后部寄希望于"君子防未然'，微表乐观。但诗人终不免遭人暗算，受灭顶之祸，说明在那个世道中，"人道险而难"是绝对的，"人益犹可欢"是相对的。诗意以精整的排偶、反复的比论出之，多用成言，刻意求

深，不够显豁，可能即出于“防未然”的考虑，但因此也就形成了“意欲逞博”、“遂开出排偶一家”（沈德潜《古诗源》卷七）的特色。

【原文】

天道夷且简①，　人道嶮而难②。
休咎相乘蹑③，　翻覆若波澜。
去疾苦不远④，　疑似实生患⑤。
近火固宜热，　履冰岂恶寒⑥。
掇蜂灭天道⑦，　拾尘惑孔颜⑧。
逐臣尚何有⑨，　弃友焉足叹。
福钟恒有兆⑩，　祸集非无端。
天损未易辞⑪，　人益犹可欢⑫。
朗鉴岂远假⑬，　取之在倾冠⑭。
近情苦自信⑮，　君子防未然⑯。

【注释】

①天道：自然界的规律。　夷：平坦。　简：简易，单纯。

②人道：人类社会的处事原则。嶮（xiǎn 险）：艰险。《庄子·在宥》：“有天道，有人道。无为而尊者，天道也；有为而累者，人道也。”　难，《艺文类聚》四十一、影宋钞本《陆士衡文集》并作“艰”。

③休咎：即善与恶，吉与凶，福与祸。《尚书·洪范》有“休征”、“咎征”之语。　相乘蹑：谓互相追随。乘，登。蹑，踩。

④去疾：去除毒害、灾祸。　苦：恨。　远：犹尽。《左传·哀公元年》：“树德莫如滋，去疾莫如尽。”

⑤疑似：谓是非难辨。《吕氏春秋·疑似》：“使人大迷惑者，必物之相似也。玉人之所患，患石之似玉者。相剑者之所患，患剑之似吴干者。贤主之所患，患人之博闻辩言而似通者。……疑似之迹，不可不察。”　患：灾祸。

⑥履：踩。　恶（wù 务）：讨厌，不喜欢。王充《论衡·寒温》：“夫近水则寒，

近火则温，远之渐微。何则？气之所加，远近有差也。”《荀子·天论》：“天不为人之恶寒也辍冬。”

⑦掇蜂：把蜂取走。周宣王时，重臣尹吉甫的后妻欲害前妻之子伯奇，以立己子为太子，就把一只去了毒的蜂放在衣领上，让伯奇替她捉走，以便诬其无礼。吉甫远远看见，怒而逐去伯奇。事见刘向《说苑》。　灭天道：谓父道不存。

⑧“拾尘”句：孔子被困在陈蔡之间，饿了七天。颜回找了些米回来做饭，快熟时，看见烟尘落在饭甑中，就把不净的饭抓出来吃了。睡醒午觉的孔子刚好看见，以为他偷吃，后经颜回说明，孔子才知自己错怪了弟子，感慨地说：“所信者目也，而目犹不可信；所恃者心也，而心犹不足恃。弟子记之，知人固不易矣。”事见《吕氏春秋·任数》。

⑨逐臣：被朝廷贬谪放逐之臣。傅毅《七激》：“阖君逐臣，顽父放子。”

⑩钟：聚集。　恒：常。枚乘《上吴王书》：“福生有基，祸生有胎。”傅玄《傅子》：“福生有兆，祸来有端。”

⑪天损：指自然界带来的损害。

⑫人益：人为所加的。谓通过人的努力去防止祸患的发生。语本《庄子·山木》：“无受天损易，无受人益难。”而用意与之不同。

⑬朗鉴：明亮的镜子。指可供借鉴的实例。　假：借，取。

⑭倾冠：谓冠不正。李善注引葛洪《抱朴子》：“明镜举，则倾冠见矣。”

⑮近情：近，切近。近情，谓急于名利。情，指情欲，利欲。　苦：恨。

⑯君子：有德行的人。　李善注：“小人近情，自信而遇祸；君子远虑，防未然而蒙福。”

【译文】

天道运行平直单纯，
人类社会危险艰难。
吉凶祸福互相追随，
翻来覆去有如波澜。
灾祸只恨去除不尽，
是非难辨易生祸患。

近火本来应当发热，
踏冰岂能讨厌严寒。
诱人取蜂摧灭天道，
误会拾尘迷惑孔颜。
逐臣还能有何追求，
被友抛弃又何足叹。
福聚常常显露征兆，
祸集并非毫无由端。
老天降罚无从规避，
谨慎防祸犹可乐观。
明镜哪用老远去找，
随便一照可见倾冠。
急于名利恨其自信，
君子虑远防患未然。

从 军 行

【题解】

《从军行》，《乐府诗集》收入《相和歌·平调曲》。郭茂倩《题解》引《乐府解题》云："《从军行》皆军旅苦辛之辞。"按此曲始作于王粲，其《从军行》五首开宗明义："从军有苦乐，但问所从谁"，主要写跟随曹操南北转战之"乐"，几无"苦辛之辞"。同时稍后的左延年继作，今仅存残篇。郭茂倩《题解》引《广题》云："左延年辞云：'苦哉边地人，一岁三从军。三子到敦煌，二子诣陇西。五子远斗去，五

妇皆怀身。'"已属"苦辛之辞"。而《初学记》二十二又引左延年《从军诗》云："从军何等乐，一驵乘双驳。鞍马照人白，龙骧自动作。"则又与"苦辛"二字相左矣。此后陆机再继作，即本篇所写，始将"苦辛"二字发挥到极致，为后世同类之作开出轨范。自汉末以来，动乱不断，人们厌战的情绪越来越强烈，本篇写从军"言苦而不及乐"（葛立方《韵语阳秋》），正反映了这种社会心理。

【原文】

苦哉远征人，　飘飘穷四遐①。
南陟五岭巅②，北戍长城阿③。
深谷邈无底④，崇山郁嵯峨⑤。
奋臂攀乔木⑥，振迹涉流沙⑦。
隆暑固已惨⑧，凉风严且苛⑨。
夏条集鲜藻⑩，寒冰结冲波。
胡马如云屯，　越旗亦星罗⑪。
飞锋无绝影⑫，鸣镝自相和⑬。
朝食不免胄⑭，夕息常负戈⑮。
苦哉远征人，　拊心悲如何⑯！

【注释】

①穷：尽，走到尽头。　四遐：四边极远之地。　"飘飘"，《艺文类聚》四十一作"飘飖"。"穷四遐"，作"穷西河"。

②陟（zhì 治）：登。　五岭：山名。据《汉书·张耳传》注引邓德明《南康记》，指大庾、骑田、都庞、萌渚、越城五岭，横亘在今江西、湖南、两广交界处。

③阿：边上。

④邈：幽深。

⑤崇：高。　郁嵯（cúo 痤）峨：山势高峻貌。李善注引秦嘉诗："岩石郁嵯峨。"（全诗今佚）

⑥乔木：高耸的树。

⑦流沙：沙漠。

⑧隆暑：盛暑。

⑨苛：严酷。

⑩条：树枝。此指柳条。 鲜藻：谓鲜绿色。《诗经·小雅·采薇》："昔我往矣，杨柳依依。"这句暗用其意。

⑪越：古代民族名，居住在今江苏、浙江、福建、广东一带。 星罗：像星星一样罗列、密布。形容敌人众多。

⑫锋：兵器的尖端。借指兵器。李善注引张衡《髑髅赋》："飞锋曜景，秉尺持刀。"(按，严可均校辑《全后汉文》"飞锋"作"飞风")。

⑬鸣镝(dí 敌)：响箭。

⑭食：六臣本《文选》注："五臣作'餐'。"

⑮戈：古代的一种兵器，盛行于殷周时期。

⑯拊：本集作"抚"。"拊"、"抚"字通。

【译文】

多么苦啊远征军人，
飘泊四方何其遥远。
往南登上五岭山顶，
往北戍守长城旁边。
俯窥山谷深不见底，
仰望高峰直插云天。
刚在林海奋臂攀援，
又来沙漠举足跋涉。
盛夏暑气酷热无比，
隆冬寒风恣意肆虐。
夏天柳枝凝聚鲜绿，
冬天寒冰冻住长河。
北边胡马如云密布，

南边越旗有似星罗。
刀来剑往光影不绝，
响箭飕飕声相应和。
早上吃饭不脱头盔，
晚上睡觉怀抱干戈。
多么苦啊远征军人，
抚心悲恸无可奈何。

豫章行

【题解】

《豫章行》，乐府古辞，属《相和歌·清调曲》，古辞载《乐府诗集》卷三十四，写豫章本深山中良材，结果被山客斧斤加之，遂根株离绝。本篇从“离绝”二字生发，写人间兄弟离别事，抒内心年华早逝之感。《乐府解题》曰：“陆机《泛舟清川渚》，谢灵运《出宿告密亲》，皆伤离别，言寿短景驰，容华不久。”深得诗旨。按陆机系东吴将领陆逊、陆抗之后，陆抗去世，与其兄陆晏、陆景、陆玄及其弟陆云分领父兵，为牙门将。吴亡，晏、景被杀，乃与弟云回吴县华亭(今上海松江县)故里，闭门勤学。十年后，与云辞家远宦，北至洛阳，常有流离思归之感，美志不遂、时不我待之慨，本篇所写，即此种情怀之外化，同时也反映了一定的社会现实。

【原文】

泛舟清川渚①，　遥望高山阴②。
川陆殊途轨，　懿亲将远寻③。

三荆欢同株④，　四鸟悲异林⑤。
乐会良自古⑥，　悼别岂独今⑦？
寄世将几何⑧，　日昃无停阴⑨。
前路既已多⑩，　后涂随年侵⑪。
促促薄暮景⑫，　亹亹鲜克禁⑬。
曷为复以兹⑭？　曾是怀苦心⑮。
远节婴物浅⑯，　近情能不深⑰？
行矣保嘉福⑱，　景绝继以音⑲。

【注释】

①渚：水中小洲。

②高：《艺文类聚》四十一作“南”。

③懿亲：至亲。　远寻：犹远行。

④三荆：一株三枝的荆树。用以比喻同胞兄弟。李善注引《古上留田行》：“出是上独西门，三荆同一根生，一荆断绝不长。兄弟有两三人，小弟块摧独贫。”　同株：喻兄弟相聚。

⑤四鸟句：《孔子家语·颜回》：“孔子在卫，昧旦晨兴，颜回侍侧。闻哭者之声甚哀。子曰：‘回，汝知此何所哭乎？’对曰：‘回以此哭声，非但为死者而已，又将有生离别者也。’子曰：‘何以知之？’对曰：‘回闻桓山之鸟，生四子焉，羽翼既成，将分于四海，其母悲鸣而送之，哀声有似于此，谓其往而不返也，回窃以音类知之。’孔子使人问哭者，果曰：‘父死家贫，卖子以葬，与之长决。’子曰：‘回也，善于识音矣！’”句意本此。异林：喻兄弟别离。

⑥乐会：欢乐的聚会。古诗：“今日良宴会，欢乐难具陈。”　良：的确。

⑦悼：悲伤。

⑧寄世：谓活在世上。寄，依附。《尸子》：“人生天地之间，寄也。”

⑨日昃（zè 仄）：太阳开始偏西，约未时，即下午两点左右。此喻人生开始走下坡路。　阴：日影，日光。

⑩前路：谓已获得的寿命。

⑪后涂：谓余下的寿命。涂，同“途”。　随年侵：谓一年年减少。即人寿无

几之意。侵，渐进。

⑫促促：短促，匆匆。 薄暮景：喻人之将老。薄，迫近。景，日光。

⑬亹(wěi 伟)亹：行进不息貌。宋玉《九辩》："时亹亹而过中兮，蹇淹留而无成。" 鲜(xiǎn 显)克禁：很少有人能将其止住。实际是无法将其止住。鲜，少。克，能够。《艺文类聚》四五魏文帝《苍舒诔》："促促百年，亹亹行暮。"以上二句本此。

⑭曷：何。 兹：此，这。指以上所言暮景不留之意。

⑮曾：乃。 是：这样。 苦心：悲苦之心。古诗："晨风怀苦心，蟋蟀伤局促。"

⑯远节：何焯："'远节'谓向时。"(《义门读书记》卷四十七) 婴物浅：谓年纪尚轻，对人生物态感受尚肤浅。婴，绕。

⑰近情：谓眼下，目前。 能不深：谓对时光流逝、老之将至岂能感受不深。

⑱嘉福：好福气。

⑲景(yǐng 影)：即影。指身影。音：音讯。李善注："言形影若绝，当继之以惠音。"

【译文】

船行清江小洲旁边，
遥望高山阴阴沉沉。
水中陆上不同路途，
至亲就要远出家门。
三荆高兴能得同株，
四鸟悲伤不得同林。
欢聚确实自古就有，
伤离难道只有如今。
人活世上能有多久，
太阳西滑一点不停。
年华逝去既已很多，

光阴荏苒摧耗余生。
匆匆暮年已经迫近，
哪有良法留住寸阴。
为何想得又这样多，
凄凄惶惶好不伤心。
以前年轻感受肤浅，
眼下岂能想不深沉。
走吧愿把福气长保，
走后还望常传佳音。

苦 寒 行

【题解】

《苦寒行》，属《相和歌·清调曲》。《乐府诗集》所收无古辞，最早作品为曹操所作，记建安十一年(206)正月北征高干事，因首句为“北上太行山”，后来也称《北上行》或《北上篇》。《乐府解题》曰：“晋乐奏魏武帝《北上篇》，备言冰雪溪谷之苦，其后或谓之《北上行》，盖因武帝辞而拟之也。”陆机所拟，可谓“才高辞赡，举体华美”(钟嵘《诗品》上)，在遣词造句、形象刻画方面比操诗略胜一筹，但内容缺乏创新，更无操诗那种沉雄顿挫的气韵、慷慨激昂的情绪。盖各处异代，经历不同，感受有别，所以如此。

【原文】

北游幽朔城①， 凉野多嶮难②。

俯入穹谷底③，　仰陟高山盘④。
凝冰结重涧⑤，　积雪被长峦⑥。
阴云兴岩侧，　悲风鸣树端。
不睹白日景⑦，　但闻寒鸟喧⑧。
猛虎凭林啸⑨，　玄猿临岸叹⑩。
夕宿乔木下⑪，　惨怆恒鲜欢⑫。
渴饮坚冰浆⑬，　饥待零露餐⑭。
离思固已久⑮，　寤寐莫与言⑯。
剧哉行役人⑰，　慊慊恒苦寒⑱。

【注释】

①幽：州名。《尔雅·释地》："燕曰幽州。"其地相当今河北北部及辽宁一带。　朔：北方。

②崄：同"险"。　难：《艺文类聚》四十一、《乐府诗集》三十三并作"艰"。

③穹谷：深谷。班固《西都赋》："其阳则崇山隐天，幽林穹谷。"

④陟（zhì 治）：登，上。　盘：谓山路盘旋曲折。

⑤重涧：谓山重涧复，溪流众多。

⑥被：覆盖。

⑦景：日光。

⑧但：只。

⑨凭：依。

⑩玄猿：黑猿。　叹：悲啼。

⑪乔木：高树。

⑫惨怆：《乐府诗集》三十三作"惨惨"。　恒：常。　鲜：少。

⑬浆：水。

⑭待：《艺文类聚》四十一作"食"，《太平御览》三四作"啖"。　零露餐：谓食用带着寒露的冷餐。零，降落。《诗经·郑风·野有蔓草》："野有蔓草，零露漙兮。"

⑮离思：离别的悲愁。

⑯寤(wù 误):睡醒。 寐(mèi 妹):睡着。《诗经·卫风·考槃》:"独寤寐言。"

⑰剧:甚。 行役人:《艺文类聚》四十一作"人行役"。

⑱慊(qiàn 欠)慊:不满、不平之貌。

【译文】

往北远游幽州之城,
原野寒凉实多艰难。
俯身走入深谷底下,
仰首爬上盘旋高山。
道道溪流坚冰封住,
厚厚积雪覆盖长峦。
云团阴冷岩边喷涌,
山风凄厉长鸣树颠。
不见太阳放出光彩,
只听寒鸟声声呼喧。
林莽丛中猛虎长啸,
黑猿悲啼山崖边缘。
傍晚露宿高树下面,
悲凄痛苦久无欢颜。
渴饮坚冰所化凉水,
饥食冰冷带露野餐。
离别忧思积郁已久,
醒来睡着对谁开言?
实在难啊行役之人,
内心恨恨常苦严寒。

饮马长城窟行

【题解】

《饮马长城窟行》，又名《饮马行》，其古辞最早见于《文选》卷二十七（《玉台新咏》载该诗，则题“蔡邕”作，未见其必然）。《乐府诗集》收入《相和歌·瑟调曲》，题解云：“长城，秦所筑以备胡者。其下有泉窟，可以饮马。古辞云：‘青青河畔草，绵绵思远道。’言征戍之客，至于长城而饮其马，妇人思念其勤劳，故作是曲也。”从曹魏起，代有拟作。陆机拟作，咏出塞远征之事，既写出了远征之苦，也写出了战士的卫国立功之志，在内容上有所创新，对后来边塞诗作产生了一定影响，故何焯甚至誉为：“后惟老杜前后《出塞》可以追配之。”（《义门读书记》卷四十七）

【原文】

驱马陟阴山①，　山高马不前。
往问阴山候②，　劲虏在燕然③。
戎车无停轨④，　旌旆屡徂迁⑤。
仰凭积雪岩⑥，　俯涉坚冰川。
冬来秋未反⑦，　去家邈以绵⑧。
猃狁亮未夷⑨，　征人岂徒旋⑩？
末德争先鸣⑪，　凶器无两全⑫。
师克薄赏行⑬，　军没微躯捐⑭。

将遵甘陈迹⑮， 收功单于旃⑯。
振旅劳归士⑰， 受爵槁街传⑱。

【注释】

①陟：登。 阴山：山名，起于河套西北，绵亘于今内蒙古自治区南境一带，为古代边陲。

②候：候官，负责管理斥候（侦察兵）的军官。

③燕然：山名，即今蒙古人民共和国境内的杭爱山。东汉时，窦宪率军出塞大破北匈奴，登燕然山刻石纪功。

④戎车：战车。 轨：本指车两轮间的距离，此指轨道，道路。

⑤旌旆（pèi 配）：旌旗。借指军队。 徂（cú 粗去声）迁：迁移，变化。谓被山阻挡而改变进军路线。

⑥凭：靠着。

⑦反：同“返”。

⑧邈：遥远。 绵：长久。

⑨猃（xiǎn 险）狁（yǔn 允）：古代北方少数民族名。也称玁狁。这里泛指入侵的敌人。 亮：通“谅”，诚然，确实。 夷：平，平定。《诗经·小雅·出车》：“赫赫南仲，玁狁于夷。”

⑩岂：难道。 徒旋：空手回去。

⑪末德：德之末者，谓道德衰微。指战争。《庄子·天道》：“三军五兵之运，德之末也。”先鸣：李周翰注：“先登而大呼。”

⑫凶器：古称兵器为凶器。《国语·越语下》：“兵者，凶器也；争者，事之末也。” 无两全：谓不可能同时保住敌我双方。器，《艺文类聚》四十一作“德”。

⑬克：战胜。 行：颁，给予。

⑭没：被消灭。

⑮遵：循，沿着。《艺文类聚》四十一作“军”。 甘陈：指西汉时的甘延寿和陈汤。甘延寿，字君况，北地郁郅（今甘肃庆阳）人。善骑射，有材力。元帝时，任西域都护。陈汤，字子公，山阳瑕丘（今山东兖州东北）人。博达有文才，多策谋，善建奇功。元帝时出任西域副校尉。时匈奴郅支单于攻掠乌孙、大宛等国，威胁西域，甘延寿和陈汤共率兵至康居（约今巴尔喀什湖、咸海之间），攻杀郅

支单于，甘延寿封义成侯，陈汤封关内侯。 迹：业迹。

⑯收功：获取功绩。 单于：匈奴君主的称号。 旃(zhan 沾)：旌旗。谓夺得单于的旌旗。

⑰振旅：整顿部队。《尚书·大禹谟》："班师振旅。"《传》："兵入曰振旅，言整众。" 劳：慰劳。

⑱槁街：汉时长安街名，当时属国邸第皆建于此。《汉书·陈汤传》："斩郅支首及名王以下，宜悬头槁街蛮夷邸间，以示万里。"这里借指长安的街道。

【译文】

鞭驱战马攀登阴山，
山峰高峻战马不前。
往前询问阴山候官，
回说强敌正在燕然。
战车无路难以停放，
部队受阻一再改线。
仰面靠着积雪山岩，
低头过河水冻冰坚。
去冬前来今秋未返，
离开家乡又久又远。
入侵之敌还没消灭，
战士哪能空手而还？
战争之事旨在争胜，
干戈一动哪得两全。
打了胜仗赏赐微薄，
打了败仗把贱躯献。
将要遵循甘、陈业迹，
降服单于立功阵前。
凯旋归来慰劳将士，

接受封爵扬名长安。

门有车马客行

【题解】

《门有车马客行》,《乐府诗集》收入《相和歌·瑟调曲》。题解引《乐府解题》曰:“曹植等《门有车马客行》皆言问讯其客,或得故旧乡里,或驾自京师,备叙市朝迁谢,亲友凋丧之意也。”按今本《曹植集》无《门有车马客行》,另有《门有万里客》,其辞云:“门有万里客,问君何乡人?褰裳起从之,果得心所亲。挽衣对我泣,太息前自陈。本是朔方士,今为吴越民。行行将复行,去去适西秦。”此后,张华有《门有车马客行》,其辞云:“门有车马客,问君何乡士?捷步往问讯,果是旧乡里。语昔有故悲,论今无新喜。清晨相访慰,日暮不能已。词端竟未究,忽唱分途始。前悲尚未弥,后忧方复起。”以上二篇,皆为本篇所本,而张华所作,《乐府诗集》未收。本篇虽有所本,但更注意细节和人物性格的刻画,情景历历,感慨深沉,既反映了战乱时代整个社会的悲哀,也曲折地抒写了诗人自己对于吴国灭亡、二兄被害所怀抱的余痛心情。语言也较朴素,有建安余风。何焯评云:“悲凉古直。”(《义门读书记》卷四十七)其言不虚。

【原文】

门有车马客,　驾言发故乡①。
念君久不归,　濡迹涉江湘②。
投袂赴门涂③,揽衣不及裳④。

拊膺携客泣⑤，掩泪叙温凉⑥。
借问邦族间⑦，恻怆论存亡⑧。
亲友多零落⑨，旧齿皆凋丧⑩。
市朝互迁易⑪，城阙或丘荒⑫。
坟垄日月多⑬，松柏郁芒芒⑭。
天道信崇替⑮，人生安得长。
慷慨惟平生⑯，俛仰独悲伤⑰。

【注释】

①驾：驾着马车。　言：语助词。

②濡：渍湿。　江湘：长江、湘江，指今湖北、湖南一带。以上两句是假设来客的话。

③投袂(mèi 妹)：谓奋袖而起。袂，袖子。　赴门涂：谓奔向门边。涂，同“途”。赴，《艺文类聚》四十一作“起”。

④揽衣：撩起衣摆。　不及裳：来不及整理好下面的衣服。古时衣服上面的叫衣，下面的叫裳。裳，《艺文类聚》四十一作“裘”。

⑤拊膺：抚胸。

⑥掩泪：犹擦泪。　温凉：指春天和秋天。叙温凉犹今之问暖问寒。

⑦邦族：本指故国家乡。《诗经·小雅·黄鸟》：“言旋言归，复我邦族。”这里指家乡的父老亲友。

⑧恻怆：悲伤。

⑨零落：指死亡。孔融《论盛孝章书》：“海内知识，零落殆尽。”

⑩旧齿：耆老，老人。　凋丧：死亡。

⑪市朝：市集，市街。李善注引《古出夏门行》：“市朝人易，千岁墓平。”

⑫城阙：城楼。借指城市。　丘荒：谓已成为荒废的丘墟。

⑬坟垄：坟墓。　日月多：随着日月的消逝而一天天增多。

⑭松柏：古代墓地，多种松柏梧桐以作为标志。　郁芒芒：茂盛貌。芒芒，《乐府诗集》四十作“茫茫”。

⑮天道：自然运行的规律。　信：诚然。　崇替：灭亡。《国语·楚下》：“吾

闻君子唯独居思念前世之崇替者，与哀殡丧，于是有叹，其余则否。”注：“崇，终也；替，废也。”

⑯慷慨：《说文》：“慷慨，壮士不得志于心。”此为感慨叹息之貌。 惟：思。

⑰俛仰：低头仰首。俛，同“俯”。

【译文】

门前停有车马之客，
驱马驾车来自故乡。
客言：念君久不回乡，
特意湿足跋涉江湘。
奋袖而起奔赴门庭，
撩起上衣不及下裳。
按住心跳携手呜咽，
擦去眼泪问暖问凉。
请问家乡父老亲友，
满怀悲伤谈起存亡。
亲友不少已经作古，
老的一辈都已死亡。
街市已经面目全非，
城镇有的已成丘荒。
郊野坟墓只见增多，
坟畔松柏郁郁苍苍。
天道诚有兴盛衰微，
人生哪得保住久长。
感慨长吁回味平生，
低头抬头独自悲伤。

君子有所思行

【题解】

《君子有所思行》,《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》,共七首,本篇列第一首,颇疑这个曲调即始于陆机。《乐府解题》曰:"《君子有所思行》,晋陆机云:'命驾登北山。'宋鲍照云:'西上登雀台。'梁沈约云:'晨策终南首。'其旨言雕室丽色,不足为久欢,宴安鸩毒,满盈所宜敬忌,与《君子行》异也。"何焯云:"此君子以戒有位者也。"(《义门读书记》卷四十七)皆颇得诗旨。晋武帝统一中国后,在政治上经济上施行了一些利国安民的措施,因此呈现出暂时繁荣的景象,"廛里一何盛"数语,可能为陆机太康末入洛时所见的真实情景。而对"膏粱士"的规谏、针砭和嘲讽,则体现了陆机的识见,在当时具有现实意义。

【原文】

命驾登北山①,　延伫望城郭②。
廛里一何盛③,　街巷纷漠漠④。
甲第崇高闳⑤,　洞房结阿阁⑥。
曲池何湛湛⑦,　清川带华薄⑧。
邃宇列绮窗⑨,　兰室接罗幕⑩。
淑貌色斯升⑪,　哀音承颜作⑫。
人生诚行迈⑬,　容华随年落⑭。

善哉膏粱士⑮， 营生奥且博⑯。
宴安消灵根⑰， 鸩毒不可恪⑱。
无以肉食资⑲， 取笑葵与藿⑳。

【注释】

①命驾：命御者驾驶车马。 北山：当即指洛阳城北的北邙山。曹植《送应氏》："步登北邙坂，遥望洛阳山。"

②延伫：久久地站立。 城郭：内城和外城。泛指城邑。

③廛(chán 蝉)里：住宅、市肆区域的通称。

④漠漠：密布貌。

⑤甲第：豪门贵族的宅第。 崇：高。闼(tà 踏)：门。

⑥洞房：幽深的内室。 结：构筑，建成。阿阁：四周有檐的楼阁，是古代最考究的宫殿式的建筑。

⑦湛湛：水清貌。

⑧带：环绕。 华薄：花草。薄，深密的草地。

⑨邃宇：幽深的屋宇。 绮窗：雕画美观的窗户。绮，原是有花纹的丝织品，这里引申作"花纹"解。屈原《招魂》："高堂邃宇，槛层轩些。"

⑩兰室：芳香高雅的居室。李善注引古诗："卢家兰为室，桂为梁。" 罗幕：用轻软的丝织品做的帷幕。

⑪淑貌。美貌。 色：指脸色。 升：动。色斯升，指脸上浮现出动人的表情。语本《论语·乡党》："色斯举矣，翔而后集。"

⑫颜：容颜。这里指逐渐衰退的容颜。 作：响起。李善注："言淑貌以色斯而见升，哀音也承颜衰而作也。"

⑬诚：《乐府诗集》六十一作"盛"，并注云："一作'人生诚行过'。" 行迈：行，走路；迈，也是行。《诗经·王风·黍离》："行迈靡靡，中心摇摇。"古诗："人生天地间，忽如远行客。"

⑭容华：容颜。

⑮善哉：赞美感叹之词。这里意含嘲讽。膏粱士：指养尊处优的贵族。膏粱，本指精美的食物。《国语·晋七》："夫膏粱之性难正也。"注："膏，肉之肥者；粱，食之精者。言食肥美者，率多骄放，其性难正。"

⑯营生：保养身体。　奥且博：即奥博，谓富裕。

⑰宴安：安逸。灵根：指身体。李善注引《老子黄庭经》："玉池清水灌灵根，灵根坚固老不衰。然灵根谓身也。"

⑱鸩(zhèn 镇)毒：《左传·闵公元年》："宴安鸩毒，不可怀也。"据说鸩羽有剧毒，入酒，饮之立死。言宴安之为害，犹如鸩之有毒，其意为以上两句诗所本。　恪(kè 克)：恭敬。这里是品尝的意思。

⑲肉食：《艺文类聚》四十一作"酒肉"。资：本钱。

⑳葵：菜名。《诗经·豳风·七月》："七月亨葵及菽。"《乐府诗集》六十一作"藜"。　藿：豆叶，嫩时可食。葵与藿皆贫贱者所食，这里即代指贫贱者。刘向《说苑·说善》："肉食者已虑之矣，藿食者尚何与焉？"

【译文】

吩咐驾车登上北山，
久久站立眺望城郭。
住宅商肆何等繁盛，
大街小巷纵横交错。
豪门贵族朱门高耸，
内室皆为有檐楼阁。
水池弯曲澄澈明净，
清水岸边花草繁多。
幽深屋宇窗雕户镂，
芳香居室环绕罗幕。
美女浮现动人表情，
便承色衰唱起哀歌。
人生诚如路上过客，
容颜随年逐渐衰落。
好啊这些富贵老爷，
保养身体钱多物多。
安安逸逸有损健康，

鸩酒有毒哪能品啜。
不要因有肉食资本，
取笑别人食葵及藿。

齐 讴 行

【题解】

《齐讴行》，《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》。郭茂倩题解："《汉书》曰：'汉主至南郑，诸将及士卒皆歌讴思东归。'颜师古曰：'讴，齐歌也。谓齐声而歌。或曰齐地之歌。'《礼乐志》曰：'齐古讴员六人。'梁元帝《纂要》曰，'齐歌曰讴'是也。陆机《齐讴行》，备言齐地之美，亦欲使人推分直进，不可妄所营也。"本篇通过对齐国史事的吟咏，阐述了"天道有迭代"、"人道无久盈"的哲理，对恋生畏死、不及"至人情"的齐景公进行了批判，明确提出了不营长存的主张，体现出了一种新的生死观和理性精神。

【原文】

营丘负海曲①，　沃野爽且平②。
洪川控河济③，　崇山入高冥④。
东被姑尤侧⑤，　南界聊摄城⑥。
海物错万类⑦，　陆产尚千名⑧。
孟诸吞楚梦⑨，　百二侔秦京⑩。
惟师恢东表⑪，　桓后定周倾⑫。
天道有迭代⑬，　人道无久盈⑭。
鄙哉牛山叹⑮，　未及至人情⑯。

爽鸠苟已徂[17]，　吾子安得停[18]？
行行将复去，　长存非所营[19]。

【注释】

①营丘：地名，在今山东淄博东。西周时，成王封姜尚于齐，建都营丘，授以征讨五侯九伯的特权，地位在各封国之上。　负：背靠。　海曲：犹言海隅，谓沿海偏僻的地区。《战国策·齐一》："齐西有强赵，南有韩魏，负海之国也。"

②爽：明亮，清朗。《左传·昭公三年》："初，(齐)景公欲更晏子宅，曰："子之宅近市，湫隘嚣尘，不可以居，请更诸爽垲者。'"

③洪川：大河。　控：犹控引、控制。　河济：黄河、济水。济水源出河南济源县，东流至山东，与黄河并行入海，后下游为黄河所夺。

④高冥：高空。

⑤被：及。　姑、尤：二水名。《左传·昭公二十年》："聊、摄以东，姑、尤以西，其为人也多矣。"杜预注："姑、尤，齐东界也。"姑即今大姑河，源出山东招远会仙山，南流经莱阳西南。尤即小姑河，源出掖县北马鞍山，南流注入大姑。二水合流后南经平度为沽河，至胶县与胶莱河合流入海。

⑥南：何焯："'南'字必为'西'字之误。"(《义门读书记》四十七)。　聊、摄：地名。《左传》杜预注："聊、摄，齐西界也。"古聊城在今山东聊城西北，古摄城在今山东茌平西。

⑦错：错杂，谓种类繁多。《尚书·禹贡》："海岱惟青州。厥贡盐絺，海物惟错。"

⑧尚：超过。　千名：千种。张衡《南都赋》："酸甜滋味，百种千名。"

⑨孟诸：古泽名，故地在今河南商丘东北。司马相如《子虚赋》中乌有先生夸齐国之大，谓孟诸为齐所有。　楚梦：楚国的云梦泽，大致在今湖北江陵以南，湖南益阳湘阴以北地区。《子虚赋》："齐东陼钜海，南有琅邪，观乎成山，射乎之罘，浮渤澥，游孟诸。邪与肃慎为邻，右以汤谷为界；秋田乎青丘，彷徨乎海外，吞若云梦者八九于其胸中，曾不蒂芥。"

⑩百二：《史记·高祖本纪》："秦，形胜之国，带河山之险，县隔千里，持戟百万，秦得百二焉。"百二，一说为百分之二。《集解》："苏林曰：得百中之二焉。秦地险固，二万人足当诸侯百万人也。"一说为百之二倍，即二百。《索隐》："虞

喜云：百二者，得百之二。言诸侯持戟百万，秦地险固，一倍于天下，故云得百二焉，言倍之也，盖言秦兵当二百万也。”这里“百二”用指齐国。《史记·高祖本纪》：“夫齐，东有琅邪、即墨之饶，南有泰山之固，西有浊河之限，北有勃海之利。地方二千里，持戟百万，县隔千里之外，齐得十二焉。”《索隐》：“虞喜云：‘齐得十二’亦如之（按同秦之百二），故为东西秦，言势相敌，但立文相避，故云十二。言余诸侯十万，齐地形胜亦倍于他国，当二十万人也。” 侔：相等，匹敌。 秦京：秦都咸阳，这里代指秦国。

⑪惟：一作“维”，发语词。 师：官名，又称太师。武王伐纣时，姜尚曾任统兵的师氏（简称为师）。《诗经·大雅·大明》：“维师尚父，时维鹰扬。” 恢：发扬，扩大。 表：显扬，表率。《左传·襄公二十九年》：“为之歌《齐》，曰：‘美哉，泱泱乎！大风也哉！表东海者，其大公乎！国未可量也。”大公同太公，即姜尚。

⑫桓后：指齐桓公。古代天子及列国诸侯皆称后。 定周倾：安定周朝，使之免于倾危。春秋时，齐桓公曾率诸侯在首止（故址在今河南睢县东南）相会，会见王太子郑，计划安定成周，事见《左传·僖公五年》。

⑬天道：自然运行的法则。 迭代：更迭。《庄子·天运》：“四时迭起，万物循生。”

⑭人道：指人的命运。 盈：满，谓长生久视。

⑮牛山：山名，在今山东淄博东。《晏子春秋·内篇谏上》：“（齐）景公游于牛山，北临其国城而流涕曰：‘若何滂滂去此而死乎！’艾孔、梁丘据皆从而泣。晏子独笑于旁，公刷涕而顾晏子曰：‘寡人今日游悲，孔与据皆从寡人而涕泣，子之独笑，何也？’晏子对曰：‘使贤者常守之，则太公、桓公将常守之矣；使勇者常守之，则庄公、灵公将常守之矣。数君者将守之，则吾君安得此位而立焉？以其迭处之，迭去之，至于君也，而独为之流涕，是不仁也。不仁之君见一，谄谀之臣见二，此臣之所以独窃笑也。’”句意本此。

⑯至人：道德修养达到最高境界的人。《庄子·逍遥游》：“至人无己。”

⑰爽鸠：即爽鸠氏，相传为上古少皞时官名，掌刑狱。 苟：且，诚。 徂（cú）：通“殂”，死亡。《晏子春秋·外篇第七》：“景公饮酒乐，公曰：‘古而无死，其乐如何？’晏子对曰：‘古而无死，则古之乐也，君何得焉？昔爽鸠氏始居此地，季萴因之，有逢伯陵因之，蒲姑氏因之，而后太公因之。古若无死，爽鸠氏之乐，非君所愿也。’”

⑱吾子：你。 停：谓长生。

⑲营：谋画，谋求。

【译文】

齐国营丘背靠大海，
田野肥沃清朗坦平。
黄河济水横贯东西，
崇山峻岭高耸入云。
东边抵达姑尤二水，
西边连接聊摄二城。
海物错杂不下万类，
陆产丰富超过千名。
孟诸气吞楚国云梦，
甲兵可与强秦抗衡。
尚父开国表率东海，
桓公安定周之倾沦。
天道总有交替更迭，
人道不能长久充盈。
多鄙陋啊牛山之叹，
未能具备至人之情。
爽鸠尚且早已死亡，
您又怎能得到长生？
走吧走吧还是走吧，
不要妄求长生久存。

长安有狭邪行

【题解】

《长安有狭邪行》，即《长安有狭斜行》，一作《相逢行》、《相逢狭路间行》，属《相和歌·清调曲》。《乐府诗集》卷三十四载《相逢行》古辞，卷三十五又载《长安有狭斜行》古辞，内容俱写富贵人家的声势气派及享受。郭茂倩题解引《乐府解题》曰："晋陆机《长安有狭斜行》云：'伊洛有歧路，歧路交朱轮。'则言世路险狭邪僻，正直之士无所措手足矣。"按本篇开头写于歧路遇豪贵，对其排场气派作了渲染；中写豪贵之士"欲鸣当及晨"的劝告；末写自己的想法：人生不必遵循一个模式，规行矩步没有出路，自己将按既定的生活方式，与豪贵之士殊途同归。"歧路"语含双关，象征不同的生活道路；"同归津"者，实即同归于死。陆机到洛后，一面有着强烈的政治追求，常常怀抱大志不遂的苦闷，一面又觉得仕途艰险，人生易逝，还是独善其身为好。这首诗，实际是委曲地表达了这种苦闷惶惑的心境。

【原文】

伊洛有歧路①，　歧路交朱轮②。
轻盖承华景③，　腾步蹑飞尘④。
鸣玉岂朴儒⑤，　凭轼皆俊民⑥。
烈心厉劲秋⑦，　丽服鲜芳春。

余本倦游客⑧，　豪彦多旧亲⑨。
倾盖承芳讯⑩，　欲鸣当及晨⑪。
守一不足矜⑫，　歧路良可遵⑬。
规行无旷迹⑭，　矩步岂逮人⑮。
投足绪已尔⑯，　四时不必循⑰。
将遂殊涂轨⑱，　要子同归津⑲。

【注释】

①伊洛：二水名。伊水源出河南卢氏东南，到偃师入洛水；洛水源出陕西洛南的冢岭山，到河南巩县入黄河。　歧路：岔道。

②交：接触，碰上。　朱轮：古代高官所乘之车，用朱江漆轮，故名。杨恽《报孙会宗书》："恽家方隆盛时，乘朱轮者十人。"古辞《相逢行》："相逢狭路间，道隘不容车。"

③盖：车盖。　承：承受。　华景：日光。

④蹑：踩。

⑤鸣玉：古人佩戴在腰间的玉饰，行走动作时相击发声。《国语·楚下》："赵简子鸣玉以相。"注："鸣玉，鸣其佩玉，以相礼也。"　朴儒：从事朴学的儒生。朴，朴学，本指上古朴质之学。《汉书·欧阳生传》："（倪）宽有俊材，初见武帝语经学。上曰：'吾始以《尚书》为朴学，弗好，及闻宽说，可观。'"后泛指汉学中的古文经学派为朴学。

⑥轼：车前供乘者扶手的横木。　俊民：贤明的人。《尚书·洪范》："俊民用章，家用平康。"

⑦烈心：谓胸怀激烈。　厉：猛烈。　劲秋：秋天。因秋气肃杀，故称。

⑧倦游：指仕宦不如意而思退休。《史记·司马相如传》："长卿故倦游。"

⑨豪彦：豪放贤达之士。

⑩倾盖：谓途中相遇，停车交谈，因车盖接近，故云。　承：接受。　芳讯：美好的问讯。

⑪"欲鸣"句：李善注："鸡及晨而鸣，以喻人及时而仕也。"

⑫守一：执一，专一。指固守一种信仰。《汉书·严安传》："守一而不变者，

未睹治之至也。” 矜:夸耀。

⑬遵:循。

⑭规行:行步端正。含有谨守礼法之意。 旷迹:超出常人的功绩。旷,远。

⑮矩步:犹规行。 逮:及。

⑯投足:举步。 绪:事业,指前人、别人的事业。 已:停止。尔:语气词。李善注:“言规行矩步,既无所及,故投足前绪,且当止矣。犹如四时异节,不必相循。”

⑰四时:指春夏秋冬四季。

⑱遂:顺利地做到。 殊涂:不同的道路。涂,同“途”。 轨:本指两轮间的距离,这里即指道路。

⑲要(yāo 腰):约,同。 子:你。 津:渡口。《易·系辞下》:“天下同归而殊途。”稽康《与山巨源绝交书》:“君子百行,殊涂而同致,循性而动,各附所安。”

【译文】

伊洛之间有条岔道,
道上碰见驶过朱轮。
车盖顶上日光辉耀,
迈步行进脚踏飞尘。
佩玉鸣响岂是朴儒,
车轼后边尽是贤人。
胸怀激烈猛似劲秋,
欢度芳春丽服鲜明。
我本是个倦游之客,
贤豪俊彦多为旧亲。
承蒙停车俯身问讯,
想要一鸣应趁早晨。
固守一意不足夸耀,
道路多岔实可自行。

走路规矩难有建树，
规矩走路难及他人。
亦步亦趋可以休矣，
就像四季不相遵循。
将要选择不同道路，
与你同向渡口行进。

长歌行

【题解】

《长歌行》，属《相和歌·平调曲》，古辞今存，载《乐府诗集》卷三十。郭茂倩题解云："《乐府解题》曰：'古辞云"青青园中葵，朝露待日晞"，言芳华不久，当努力为乐，无至老大乃伤悲也。'魏改奏文帝所赋曲'西山一何高'，言仙道茫茫不可识，如王乔、赤松，皆空言虚词，迂怪难信，当观圣道而已。若陆机'逝矣经天日，悲哉带地川"，则复言人运短促，当乘间长歌，与古文合也。"按古辞包含珍视年华、及时努力之意，陆机拟作则只及时光易逝、功业未就的苦闷，在情调上趋于消极。陆机《叹逝赋》云："伊天地之运流，纷升降而相袭。日望空以骏驱，节循虚而警立。嗟人生之短期，孰长年之能执！时飘忽其不再，老晚晚其将及。"对日月迁逝之迅疾、人世流转之必然作了颇富诗意的阐发，可与本篇参读。

【原文】

逝矣经天日①，　悲哉带地川②。

寸阴无停晷③，　尺波岂徒旋④？
年往迅劲矢⑤，　时来亮急弦⑥。
远期鲜克及⑦，　盈数固希全⑧。
容华夙夜零⑨，　体泽坐自捐⑩。
兹物苟难停⑪，　吾寿安得延？
俛仰逝将过⑫，　倏忽几何间⑬。
慷慨亦焉诉⑭，　天道良自然⑮。
但恨功名薄⑯，　竹帛无所宣⑰。
迨及岁未暮⑱，　长歌承我闲⑲。

【注释】

①经天：行天。《后汉书·冯衍传》载田邑与冯衍书："日月经天，河海带地。"

②带地：行地。　川：河流。

③寸阴：短暂的光阴。照应"经天日"。　晷(guǐ 轨)：日影。《淮南子·原道》："故圣人不贵尺之璧，而重寸之阴，时难得而易失也。"

④尺波：照应"带地川"。　岂徒：《艺文类聚》四十二、《乐府诗集》三十作"徒自"。　旋：流转。李善注："言日无停景，川不旋波，以喻年命流行，曾无止息。"

⑤迅：疾。《诗纪》二十四作"信"。　劲矢：急飞的箭。

⑥亮：的确。　急弦：急速发矢的弓弦。

⑦远期：指百岁。百年为人生年数之极，故曰期。《礼记·曲礼上》："百年曰期颐。"李善注引《管子》："任之重者莫如身，期之远者莫如年。"　鲜(xiǎn 显)克及：很少有人能达到。

⑧盈数：满此数(指百岁)。　固：本来。　希全：很少有人能实现。希，通"稀"。

⑨容华：容颜。　夙夜：犹言日夜。夙，早。　零：落，衰老。

⑩体泽：身体的光泽。　坐自捐：谓无故自捐。捐，弃，衰退。

⑪兹物：此物，指容华体泽。

⑫俛仰：低头抬头。俛，同“俯”。

⑬倏忽：疾速，指极短的时间。　几何：多少。这里是“少”的意思。

⑭慷慨：指内心不平静的情绪。　焉：疑问代词，哪里。

⑮天道：指年往时来、日月运行的客观变化。　良：诚然。

⑯但恨：只恨。　功名：功绩和声名。

⑰竹帛：指史籍。古人在竹简和帛素上书写，故称史籍为竹帛。　宣：述，载。

⑱迨(dài 代)：及。　岁未暮：指年未老。

⑲承：《乐府诗集》三十作“乘”。李善注引《楚辞》：“愿乘闲而自察。”宜据改。

【译文】

飞速去了天上太阳，
让人悲啊地上河川。
寸阴虽短毫不停留，
尺波哪肯白白流转？
年华消逝赛过劲矢，
光阴流转确如急弦。
百岁高龄世上少有，
想活百岁实在太难。
容颜日夜变衰变老，
体泽时消不再光鲜。
颜变泽消假如难停，
我这寿命哪得久延？
俯仰之间岁月将逝，
人生短暂倏忽之间。
不平慷慨无处倾诉，
年往时来诚属自然。
只恨自己功名微薄，

无法载入史册里边。
还是趁着年纪未老，
长歌一曲消此悠闲。

悲 哉 行

【题解】

《悲哉行》,《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》。郭茂倩题解引《歌录》曰:“《悲哉行》,魏明帝造。”又引《乐府解题》曰:“陆机云:‘游客芳春林。’谢惠连云:“羁人感淑节。”皆言客游感物忧思而作也。”本诗写客子伤春念远之思,当为入洛后怀念江南故里之作。诗以乐景衬哀情,对春日风光作了鲜丽真切、有声有色的描绘,文采富艳,铿锵悦耳,大量使用骈偶句,呈现出一种精致整炼之美。何焯评云:“缘情绮丽,斯为不负。”(《义门读书记》卷四十七)

【原文】

游客芳春林①，　春芳伤客心②。
和风飞清响，　鲜云垂薄阴③。
蕙草饶淑气④，　时鸟多好音⑤。
翩翩鸣鸠羽⑥，　喈喈仓庚吟⑦。
幽兰盈通谷⑧，　长秀被高岑⑨。
女萝亦有托⑩，　蔓葛亦有寻⑪。
伤哉游客士⑫，　忧思一何深！

目感随气草⑬，耳悲咏时禽⑭。
寤寐多远念⑮，缅然若飞沉⑯。
愿托归风响⑰，寄言遗所钦⑱。

【注释】

①芳春：春天。

②春芳：指春天的景色。芳，草香，也泛指花卉。屈原《招魂》："目极千里兮伤春心。"陆机《春咏》诗："节运同可悲，莫若春气甚。"

③薄阴：淡淡的云影。

④蕙草：香草名。 饶：多。淑气：温馨之气。

⑤时鸟：指春鸟。 好音：动听的声音。《诗经·邶风·凯风》："睍睆黄鸟，载好其音。"

⑥翩翩：鸟飞轻疾貌。 鸠：鸟名。《礼记·月令》："季春之月……鸣鸠拂其羽。"

⑦喈(jiē 阶)喈：鸟鸣声。 仓庚：即黄莺，善鸣。《诗经·小雅·出车》："仓庚喈喈，采蘩祁祁。"

⑧幽兰：兰草，因多生于幽僻之处，故称。通谷：整条山谷。

⑨秀：草木之花。 被：覆盖。岑(cén)：小而高的山。李善注："幽兰生于通谷，而长秀被乎高岑，言有托也。"

⑩女萝：即松萝，常寄生于松树上。《诗经·小雅·頍弁》："莵与女萝，施于松上。"

⑪蔓葛：即葛，多年生草本植物，茎蔓生，可长二三丈，缠绕他物生长。《诗经·周南·樛木》："南有樛木，葛藟累之。" 寻：依附，攀援。李善注："言女萝蔓葛，各有寻托，而已独无，所以增思也。"

⑫游客士：本集、《乐府诗集》六十二并作"客游士"。

⑬随气草：指随淑气而滋生的蕙草、幽兰之类。

⑭咏时禽：指歌唱春天的鸣鸠、黄莺。

⑮寤寐：醒着和睡着。犹言"日夜"。

⑯缅然：远貌。 飞沉：一飞上天，一沉入水。谓殊隔。

⑰"愿托"句：李陵《答苏武书》："时因北风，复惠德音。"句意本此。

⑱遗(wèi 卫):给予。 所钦:所钦敬的人。嵇康《赠兄秀才入军诗》:“感悟驰情,思我所钦。”

【译文】

游客游春步入山林,
美好春色触伤客心。
和风吹拂传来清响,
云彩绚丽投下淡影。
蕙草之气温馨浓郁,
春鸟和鸣婉转动听。
鸣鸠翩翩振动毛羽,
黄莺喈喈叫个不停。
兰草清幽长满山谷,
花木芳菲覆盖山岭。
女萝袅娜也有依托,
葛藤散漫攀援前伸。
心伤悲啊客游之士,
忧思郁郁何等深沉!
目感花草随气而生,
春鸟和鸣耳听生悲。
日思夜想远方亲友,
悬隔犹如高飞深沉。
愿把情意托给归风,
带给远方所慕之人。

吴趋行

【题解】

《吴趋行》,《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》。郭茂倩题解引崔豹《古今注》曰:“《吴趋行》,吴人以歌其地。”盖为流行吴地的歌曲。陆机此作,礼赞了吴国的风物和历史,寄托了自己追慕故乡先贤和祖上功德的感情。陆机入洛后,时有行旅之愁,每生怀乡之念,情见乎辞,故有是作。

【原文】

楚妃且勿叹①,　齐娥且莫讴②。
四座并清听③,　听我歌《吴趋》。
《吴趋》自有始④,请从昌门起⑤。
昌门何峨峨⑥,　飞阁跨通波⑦。
重栾承游极⑧,　回轩启曲阿⑨。
蔼蔼庆云被⑩,　泠泠祥风过⑪。
山泽多藏育⑫　土风清且嘉⑬。
泰伯导仁风⑭,　仲雍扬其波⑮。
穆穆延陵子⑯,　灼灼光诸华⑰。
王迹隤阳九⑱,　帝功兴四遐⑲。
大皇自富春⑳,　矫手顿世罗㉑。
邦彦应运兴㉒,　粲若春林葩㉓。

属城咸有士㉔，　吴邑最为多㉕。
八族未足侈㉖，　四姓实名家。
文德熙淳懿㉗，　武功侔山河㉘。
礼让何济济㉙，　流化自滂沱㉚。
淑美难穷纪㉛，　商榷为此歌㉜。

【注释】

①楚妃：楚王之妃。指楚庄王姬樊姬。李善注引《歌录》："石崇《楚妃叹》曰。歌辞楚妃叹，莫知其所由。楚之贤妃，能立德著勋，垂名于后，唯樊姬焉，故今叹咏之声永世不绝。"这里借指歌女。　叹：本指歌尾曳声以相助。《礼纪·乐记》："清庙之瑟，朱弦而疏越，壹倡而三叹。"这里引申为歌咏。

②齐娥：齐王之后。这里也借指歌女。　娥：美女。　讴：歌唱。

③并：一起。清听：静听。

④始：《艺文类聚》四十一作"纪"。《诗纪》二十四注："一作'纪'"。

⑤昌门：春秋吴国都城（在今江苏苏州）的西郭门，也作"阊门"。《吴越春秋》及《越绝书》均谓为吴王阖闾所建，阖闾欲西破楚，故又名破楚门。

⑥峨峨：高貌。《乐府诗集》六十四作"嵯峨"。

⑦飞阁：架空建筑的阁道。李善注引《吴地记》："昌门者……高楼阁道。"　通波：指城濠。谓其与江海相通。《文选》班固《西都赋》："控引淮湖，与海通波。"李善注："控引淮湖之流，而与海通其波澜。"

⑧重（chóng 虫）：重叠。　栾：柱首承梁的曲木。　游极：游梁。游，谓凌空飞架。《文选》张衡《西京赋》："跱游极于浮柱，结重栾以相承。"李善注："三辅名梁为极。作游梁，置浮柱上。栾，柱上曲木。"

⑨回轩：曲折的长窗。　启：开于。　阿：即四阿，是四面有曲檐的建筑。李善注："轩，长窗也，言长窗开于屋之曲阿也。"

⑩蔼蔼：密布貌。　庆云：五色云。也作"景云"、"卿云"，古以为祥瑞之气。《史记·天官书》："若烟非烟，若云非云，郁郁纷纷，萧索轮囷，是谓卿云。卿云，喜气也。"

⑪泠（líng 凌）泠：清凉貌。宋玉《风赋》："清清泠泠，愈病析酲。"

⑫藏育：埋藏化育。指物产。

⑬土风：乡土的歌谣乐曲。《左传·成公九年》："乐操土风，不忘旧也。" 清且嘉：清越美好。

⑭泰伯：一作太伯，周太王（周文王祖父）长子。太王晚年，欲传位少子季历，泰伯与弟仲雍率部分周人避往荆蛮，改从当地习俗，又传以耕作、筑城等技术，被推戴为君长，号曰"勾吴"，建都梅里（今江苏无锡东南）。

⑮仲雍：周太王次子，泰伯之弟。泰伯死后，由他接位。周灭商后，封其曾孙周章为吴王，列为诸侯。后人以他为吴的始祖，称为吴仲。 扬其波：谓发扬光大了泰伯的事业。楚辞《渔父》："何不淈其泥而扬其波？"

⑯穆穆：端庄盛美貌。 延陵子：即春秋时吴国公子季札，曾受封延陵（今江苏常州），史称延陵季子。贤明博学，多次推让王位。

⑰灼灼：光明貌。 诸华：指文化发达的中原各国。《左传·昭公三十年》："吴，周之胄裔也，而弃在海滨，不与姬通，今而始大，比于诸华。" 季札曾北游列国，故云。

⑱王迹：王者创业的功迹。 隤（tuí 颓）：败坏，排除。 阳九：指灾荒年景和厄运。方以智《通雅》："阳九百六，有三说：《汉志》所言，一元之中，九度，阳五阴四，阳为旱，阴为水。一说：九、七、五，三皆阳卦也，故曰阳九之厄。刘珏表曰：阳九之会，其数四千六百一十七岁为一元，初入元，百六岁有厄，故曰百六之会。《灵宝运度经》：天厄谓之阳九，地亏谓之百六。"

⑲帝功：帝王的功业。指公元229年孙权称帝，建立吴国。何焯："'王迹隤阳九'。以下言昔惟为侯国，今乃出天子也。"（《义门读书记》卷四十七） 四遐：四方极远之地。

⑳大皇：指孙权。孙权为吴郡富春（今浙江富阳）人，死后，追尊为吴大帝。

㉑矫手：举手。 顿：整理。 世罗：犹言皇纲（帝王统治天下的纪纲、法度）。

㉒邦彦：国之美士、模范。《诗经·郑风·羔裘》："彼其之子，邦之彦兮。"

㉓粲：鲜明，美好。 葩：草木之花。

㉔属城：吴郡所管辖的县邑。 咸：都。

㉕吴邑：吴县。陆机为吴郡吴县人。

㉖八族：八姓。李善注引张勃《吴录》："八族，陈、桓、吕、窦、公孙、司马、徐、傅也。四姓，朱、张、顾、陆也。" 未足侈：不值得夸口。实际是说值得夸口，

但这里不多说。侈，侈言，侈论。

㉗文德：指以礼乐教化治国。常对“武功”而言。李善注：“曹植令曰：相者文德昭，将者武功烈。” 熙：兴盛。 淳懿：犹纯懿，指高尚完美的德行。李善注引谢承《后汉书》：“朱皓德行纯懿，才学优裕。”

㉘武功：战功。 侔：等同。

㉙礼让：指泰伯、季札多次让位于人。《史记·吴太伯世家》：“太伯、仲雍二人乃奔荆蛮，文身断发，示不可用，以避季历。” 济济：众多貌。

㉚流化：广布教化。 滂沱：多貌。

㉛淑美：美好。 纪：录。

㉜商榷：谓举其大概以供商量、讨论。李善注：“许慎《淮南子》注曰：商榷，粗略也。言商度其粗略也。”

【译文】

楚妃暂且不要咏叹，
齐娥暂且不要高歌。
四座宾客都请静听，
听我高唱一曲《吴趋》。
《吴趋》自然有个开头，
就让我从昌门唱起。
昌门高耸何其巍峨，
阁道凌空横跨水波。
柱上曲木架起横梁，
曲析长窗开于四阿。
蔼蔼瑞云当空密布，
清凉祥风习习吹过。
山泽之间物产丰饶，
乡土歌谣美妙清越。
泰伯仁厚首开风气，
仲雍继位又扬其波。

延陵季子端庄盛美，
北游列国大放光华。
创建王业排除灾厄，
完成帝功四方归化。
大皇当初来自富春，
举手来把皇纲整理。
国内美士应运而兴，
灿烂有如春林奇葩。
所辖各县都有俊杰，
吴县人才最为众多。
八族这里不再多说，
四姓确实都是名家。
文治出色德行完美，
武功杰出齐同山河。
礼让之事层出不穷，
教化广布似雨滂沱。
美好事迹难以尽述，
举其大概作此赞歌。

短歌行

【题解】

《短歌行》为“汉旧歌”(见《宋书·乐志》),《乐府诗集》收入《相和歌·平调曲》,古辞已佚,今存最早作品为曹操所作。《乐府古题

要解》云："《短歌行》，魏武帝'对酒当歌，人生几何'。晋陆士衡'置酒高堂，悲歌临觞'，皆言当及时为乐。"按曹操所作既抒写了时光易逝的感慨，又表达了为实现统一大业而广招人才的急切心情，气魄雄伟，音调壮阔，后人拟作，多有不及。陆机所作，仅就时光易逝一节加以敷衍，殊少新意，原诗中的"雄气逸响，杳不可寻"（沈德潜《古诗源》卷七）。但由于在一定程度上寄寓了陆机自己对生活的切身感受，仍有其感人之处，故王世贞评云："陆士衡之'来日苦短，去日苦长'，语若卑浅，而亦实境所就，故不忍多读。"（《艺苑卮言》卷三）

【原文】

置酒高堂，　悲歌临觞①。
人寿几何②？逝如朝霜。
时无重至，　华不再阳③。
苹以春晖④，兰以秋芳⑤。
来日苦短⑥，去日苦长⑦。
今我不乐⑧，蟋蟀在房⑨。
乐以会兴⑩，悲以别章⑪。
岂曰无感？　忧为子忘⑫。
我酒既旨⑬，我肴既臧⑭。
短歌有咏⑮，长夜无荒⑯。

【注释】

①觞（shāng 商）：酒器。曹操《短歌行》："对酒当歌，人生几何？"

②寿：《乐府诗集》三十作"生"。《左传·襄公八年》："周诗有之曰：'俟河之清，人寿几何？'"

③华：日华，太阳的光华。代指太阳。　阳：阳光。

④苹:《礼记·月令》季春之月:“虹始见,萍始生。”郑玄注:“萍,其大者曰苹。” 晖:光辉,谓发出光辉。

⑤芳:芳香。

⑥来日:剩下的日子。

⑦去日:过去了的日子。曹操《短歌行》:“譬如朝露,去日苦多。”

⑧不乐:谓不及时行乐。

⑨在房:蟋蟀本在野外,进入房中说明天寒岁暮。这里用以映衬人生迟暮之悲。《诗经·唐风·蟋蟀》:“蟋蟀在堂,岁聿其莫。今我不乐,日月其除。”

⑩会:欢会。 兴:产生。

⑪章:明显,显著。

⑫子:你。

⑬旨:醇美。《诗经·小雅·颀弁》:“尔酒既旨,尔肴既嘉。”

⑭肴:鱼肉等荤菜。 臧(zāng 脏):好。

⑮有:《乐府诗集》三十作“可”。

⑯无荒:勿荒,不要放纵超过限度。荒,荒废,荒淫。《诗经·唐风·蟋蟀》:“好乐无荒,良士瞿瞿。”

【译文】

酒席摆在高堂之上,
对着美酒把悲歌唱。
人的寿命能有多少?
瞬息即逝有如朝霜。
时间流走不再重来,
日头西落不再放光。
苹在春天发出光辉,
兰在秋天发出芳香。
剩下日子只恨太少,
过去日子只恨太长。
今天我不及时行乐,

岁暮蟋蟀已经在房。
欢聚使人得到快乐，
离别使人更加悲伤。
内心难道没有感受？
为你而把忧愁暂忘。
我酒如此浓郁醇美，
我菜如此丰盛甘香。
短歌一曲正好咏唱，
欢乐终夜但不荒唐。

日出东南隅行
或曰《罗敷艳歌》

【题解】

《日出东南隅行》，或曰《罗敷艳歌》，又作《陌上桑》、《艳歌行》、《采桑》、《艳歌罗敷行》。其古辞最早著录于《宋书·乐志》，属大曲类，《乐府诗集》收入《相和歌·相和曲》。郭茂倩题解："《乐府解题》曰：'古辞言罗敷采桑，为使君所邀，盛夸其夫为侍中郎以拒之。'……若陆机'扶桑升朝晖'，但歌美人好合，与古词始同而末异。"按古辞《陌上桑》揭露了封建官吏的丑恶，塑造了罗敷这样一个美丽、坚贞、勇敢而又具有高度智慧的女性形象，艺术表现也极为出色，相比之下，陆机拟作不免黯然逊色。但陆机着重描写洛水边美女春游情景，反映了当时洛阳表面的繁荣和统治阶级的奢侈。诗篇词语雕琢，举体华美，"而缀辞尤繁"(《文心雕龙·镕裁》)，也

颇能体现陆机在创作上的特色。

【原文】

扶桑升朝晖①，　照此高台端②。
高台多妖丽③，　濬房出清颜④。
淑貌耀皎日⑤，　惠心清且闲⑥。
美目扬玉泽⑦，　蛾眉象翠翰⑧。
鲜肤一何润，　秀色若可餐⑨。
窈窕多容仪⑩，　婉媚巧笑言。
暮春春服成⑪，　粲粲绮与纨⑫。
金雀垂藻翘⑬，　琼佩结瑶璠⑭。
方驾扬清尘⑮，　濯足洛水澜⑯。
蔼蔼风云会⑰，　佳人一何繁！
南崖充罗幕⑱，　北渚盈轩轩⑲。
清川含藻景⑳，　高崖被华丹㉑。
馥馥芳袖挥㉒，　泠泠纤指弹㉓。
悲歌吐清响㉔，　雅舞播《幽兰》㉕。
丹唇含《九秋》㉖，妍迹陵《七盘》㉗。
赴曲迅惊鸿㉘，　蹈节如集鸾㉙。
绮态随颜变㉚，　沉姿无乏源㉛。
俯仰纷阿那㉜，　顾步咸可欢㉝。
遗芳结飞飙㉞，　浮景映清湍。
冶容不足咏㉟，　春游良可叹㊱

【注释】

①扶桑：神话中长在东方日出处的大树。《淮南子·天文》："日出于旸谷，

浴于咸池，拂于扶桑，是谓晨明。” 朝晖：早晨的阳光。

②台端：李善注：“台端犹室端。”汉乐府《陌上桑》：“日出东南隅，照我秦氏楼。”

③妖丽：美女。妖，艳丽。胡克家《文选考异》：“‘妖’当作‘姣’。”按：妖、姣义同。

④濬(jùn 俊)房：深房。《玉台新咏》三作“洞房”。“濬”或当作“邃”，胡克家《文选考异》：“注引‘广厦邃房’，是善正文作‘邃’字。” 清颜：清丽的容貌。指美女。

⑤淑貌：美貌。 皎日：白日。《诗经·齐风·东方之日》：“东方之日兮，彼姝者子，在我室兮。”

⑥惠心：善良的心地。 闲：文静。曹植《美女篇》：“美女妖且闲。”

⑦泽：光泽、光彩。《诗经·卫风·硕人》：“巧笑倩兮，美目盼兮。”曹植《美女篇》：“顾盼遗光彩，长啸气若兰。”

⑧蛾眉：蚕娥的触须，细长而弯，用以比喻女子长而美的眉毛。 翠翰：翠羽。宋玉《登徒子好色赋》：“眉如翠羽。”

⑨秀色：《玉台新咏》三作“彩色”。

⑩窈(yǎo 杳)窕(tiǎo 挑)：容貌美好貌。 容仪：容貌仪表。

⑪“暮春”句：《论语·先进》：“莫春者，春服既成，冠者五六人，童子六七人，浴乎沂，风乎舞雩，咏而归。”

⑫粲粲：鲜艳华丽貌。《艺文类聚》四十一作“霞粲”。 绮：有花纹的丝织品。 纨：白色细绢。《诗经·小雅·大东》：“西人之子，粲粲衣服。”

⑬金雀：一端饰有雀形的金钗。雀，或作“爵”。曹植《美女篇》：“头上金爵钗，腰佩翠琅玕。” 藻翘：即翠翘。翠翘本指翠鸟尾上的长毛，这里指形似翠翘的头饰。

⑭琼：美玉。 瑶、璠(fán 凡)：皆美玉。

⑮方驾：两车并行。

⑯濯足：洗足。 洛水：水名，发源于陕西洛南的冢岭山，向东流经河南洛阳，注入黄河。

⑰蔼蔼：盛多貌。犹言“济济”。 风云：言其多。

⑱充：满。 罗幕：用轻软的丝织品搭的帐幕。

⑲渚：水中小洲。这里指水边。 轿(píng 平)轩：妇女乘坐的四周有障蔽

的车。

⑳藻景：华美的景色。

㉑崖：胡克家《文选考异》："'崖'当作'岸'"。 华丹：美艳的红色。

㉒馥馥：香气浓烈貌。 挥：指起舞。

㉓泠泠：声音清脆貌。 弹：指弹奏乐器。

㉔响：《玉台新咏》三作"音"。

㉕雅舞：《乐府诗集》二十八作"雅韵"，疑是。雅韵，指高雅的音乐。 播：扬。《幽兰》：古琴曲名。《古文苑》二宋玉《讽 赋》："乃更于兰房之室，止臣其中，中有鸣琴焉，臣援而鼓之，为《幽兰》、《白雪》之曲。"

㉖丹唇：朱唇， 《九秋》：古乐府曲名。《文选》张衡《南都赋》："结《九秋》之增伤，怨《西荆》之折盘。"李善注："古乐府有《历九秋妾薄相行》，歌辞曰：'齐讴楚舞纷纷，歌声上彻青云。'《西荆》，即楚舞也。'折盘'，舞貌。张衡有《七盘舞赋》，咸以'折盘'为'七盘'也。"

㉗妍迹：指舞步。妍，美好。 陵：升，跳跃。 《七盘》：古舞名。《通典》一四五《乐》五："盘舞，汉曲。……张衡《舞赋》云：'历七盘而纵蹑。'王粲释云：'七盘陈于广庭。'"

㉘赴曲：谓依乐曲而舞。 鸿：水鸟名，是雁中最大者。李善注引卞兰《七牧》："翻放袂而赴节，若游鸿之翔天。"(全文今佚)

㉙蹈节：踩着节拍。 集：齐。谓齐舞。 鸾：传说中凤 凰一类的神鸟。边让《章华台赋》："忽飘飖以轻逝兮，似鸾飞于天汉。"

㉚绮态：美丽的容态。

㉛沉姿：深沉的舞姿。 无乏源：谓变化多端，层出不穷。乏，李善注："或为'定'。"

㉜阿那：同"婀娜"，柔美貌。

㉝顾：视。 咸：都。

㉞芳：香。 飙(biāo 标)：暴风。

㉟冶容：美艳的容态。不足：不值得。

㊱良：诚，确实。

【译文】

东方升起火红太阳，

照在这座高台上面。
高台上面美女众多，
深房中出美色丽颜。
美貌生辉照耀白日，
善良心地恬静悠闲。
美目顾盼闪耀光彩，
蛾眉就像翠羽一般。
肌肤鲜洁多么柔润，
秀色宜人好似可餐。
容颜佼丽多姿多态，
婉媚巧笑开口言谈。
暮春时节春服做成，
绮衣纨裳有多华艳。
头上悬垂金雀翠翘，
身上缠结琼佩瑶璠。
双车并行扬起清尘，
洗足来到洛水水边。
风涌云会好不热闹，
美女众多遍布山野。
南崖到处张起罗幕，
北渚停满车驾万千。
河水清清含映美景，
岸边一片耀眼红艳。
芳香四溢长袖挥舞，
清曲盈耳纤指轻弹。
口唱悲歌发出清响，
乐曲高雅播放《幽兰》。
朱唇含怨吟唱《九秋》，

蹁跹跳跃舞起《七盘》。
闻乐而起快如惊鸿，
踏节好似鸾鸟齐舞。
容态万千表情丰富，
舞姿深沉变化多端。
俯仰之间婀娜多姿，
一步一挪令人喜欢。
芳香随舞凝成暴风，
美景映入激流中间。
美艳容态不足吟咏，
如此春游实可慨叹！

前缓声歌

【题解】

《前缓声歌》，《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》，古辞今存，是一首讲穷则变、变则通道理的说理诗。陆机所拟，则为游仙诗，曲折表现了企图解脱在短促人生中所遭受的太多压抑和痛苦的心理。《乐府古题要解》云："《升天行》，曹植'日月何肯留'、鲍照'家世宅关辅'。曹植又有《飞龙》、《仙人》、《上仙篆》与《神游》、《五游》、《远游》、《龙欲升天》等七篇。如陆士衡《缓声歌》，皆伤人世不永，俗情险艰，当求神仙翱翔六合之外。其词盖出楚歌《远游篇》也。"言及本篇渊源所自及创作动因，不为无见。而曲末受古辞影响，衍为祝颂之辞，堕入俗套，实属蛇足。

【原文】

游仙聚灵族①，　高会曾城阿②。
长风万里举③，　庆云郁嵯峨④。
宓妃兴洛浦⑤，　王韩起太华⑥。
北征瑶台女⑦，　南要湘川娥⑧。
肃肃宵驾动⑨，　翩翩翠盖罗⑩。
羽旗栖琼鸾⑪，　玉衡吐鸣和⑫。
太容挥高弦⑬，　洪崖发清歌⑭。
献酬既已周⑮，　轻举乘紫霞⑯。
总辔扶桑枝⑰，　濯足汤谷波⑱，
清辉溢天门⑲，　垂庆惠皇家⑳，

【注释】

①游仙：脱离尘世，游历仙境。　灵族：指众神灵。

②高会：大宴会。会，《艺文类聚》四十二作“宴”。　曾城：传说中地名，又作“层城”、“增城”。《淮南子·地形》：“昆父虚中有增城九重，其高万一千里百一十四步二尺六寸。”《水经注·河水》：“三成为昆仑丘。《昆仑记》曰：‘昆仑之山三级：下曰樊桐，一名板桐；二曰玄圃，一名阆风；上曰增城，一名天庭，是为太帝之居。’”《玉台新咏》三作“曾山”。　阿：山的转变处。这里即指山顶。

③举：吹。《艺文类聚》四十二作“急”。

④庆云：五色云，古以为祥瑞之气。详见前《吴趋行》注⑩。郁：浓盛貌。嵯(cuó 瘥)峨：本为山高峻貌，这里形容庆云的形状。

⑤宓(fú 服)妃：传说中洛水女神名。《史记·司马相如传·上林赋》：“若夫青琴、宓妃之徒。”索隐：“如淳曰：宓妃，伏羲女，溺死洛水，遂为洛水之神。”洛浦：洛水之滨。张衡《思玄赋》：“载太华之玉女兮，召洛浦之宓妃。”

⑥王韩：指王子乔和韩众，皆传说中仙人。王子乔，一作“王乔”。《列仙传》卷上：“王子乔者，周灵王太子晋也。好吹笙作凤凰鸣，游伊洛间，道士浮丘

公接以上嵩高山。三十余年后，求之于山上，见桓良，曰：‘告我家，七月七日，待我于缑氏山头。’至时，果乘白鹤驻山头。望之不得到。举手谢时人，数日而去。”韩众，一作“韩终”。楚辞《远游》：“奇傅说之托星辰兮，羡韩众之得一。”洪兴祖补注：“《列仙传》：齐人韩终为王采药，王不肯服，终自服之，遂得仙也。”

太华：即西岳华山，在今陕西华阴县南。

⑦征：召。 瑶台女：屈原《离骚》：“望瑶台之偃蹇兮，见有娀之佚女。”传说上古有娀氏的美女名简狄，住在高台上，后来成为帝喾之妃，生子契，是商朝的始祖。瑶台，美玉砌成之台，极言其华丽。

⑧要(yāo 妖)：邀。 湘川娥：指尧之二女娥皇、女英。《水经注·湘水》：“大舜之陟方也，二妃从征，溺于湘江。”传说二女死后成为湘水之神。

⑨肃肃：疾速貌。 宵：夜。 驾：车驾。《诗经·召南·小星》：“肃肃宵征。”

⑩翩翩：摇曳貌。 翠盖：用翠鸟羽毛装饰的车盖。李善注引曹植《飞龙篇》：“芝盖翩翩。” 罗：罗列。

⑪羽旗：以羽毛装饰的旌旗。 栖琼鸾：将玉做的鸾鸟置于旗上。屈原《离骚》：“扬云霓之晻蔼兮，鸣玉鸾之啾啾。”琼鸾，《玉台新咏》三作“琐鸾”。

⑫衡：车辕前端的横木。 玉衡，极言其华美。 和：挂在衡上的铃铛。《诗经·小雅·蓼萧》：“和鸾雝雝。”

⑬太容：传说黄帝乐师名。张衡《思玄赋》：“素女抚弦而余音兮，太容吟曰念哉。” 挥：动。

⑭洪崖：一作“洪厓”、“洪涯”，传说中仙人名。《文选》张衡《西京赋》：“洪涯立而指麾。”薛综注：“洪涯，三皇时伎人。”《列仙全传》卷一：“洪厓先生，或曰，黄帝之臣伶伦也。或曰，尧时已三千岁矣。”

⑮献：敬酒。 酬：劝酒。《诗经·小雅·楚茨》：“献酬交错。” 周：《艺文类聚》四十二作“终”。

⑯轻举：轻身升起。《玉台新咏》三作“轻轩”。 乘：升，登。《玉台新咏》三作“垂”。 紫霞：天空。曹植《仙人篇》：“万里不足步，轻举凌太虚。”

⑰总辔(pèi 配)：结上马缰绳。 扶桑：神话中长在东方日出处的大树。屈原《离骚》：“饮余马于咸池兮，总余辔乎扶桑。”

⑱濯足：洗脚，谓去掉世俗的污垢。 汤(yáng 阳)谷：一作旸谷，传说中的日出之处。屈原《离骚》：“朝濯发乎洧盘。”

⑲天门:《淮南子·原道》:“乘云车,排阊阖,钥天门。”高诱注:“天门,上帝所居紫宫门也。”

⑳垂庆:留下幸福。 惠:给以好处。

【译文】

游历仙境聚集众神,
饮酒高会曾城山顶。
驾起长风逍遥万里,
庆云如山浓密繁盛。
洛水之滨宓妃动身,
王乔韩众华山起程。
北面请来瑶台神女,
南面邀来娥皇女英。
驾起车马连夜上路,
翠盖翩翩列队而行。
羽旗上面安着玉鸾,
玉衡上面响着和铃。
太容挥手拨动琴弦,
洪崖唱起清越歌声。
觥筹交错既已尽兴,
身轻如燕升上天庭。
马缰拴在扶桑枝头,
洗脚来到汤谷水滨。
清辉灿烂照耀天门,
带给皇家无限好运。

塘上行

【题解】

《塘上行》,《乐府诗集》收入《相和歌·清调曲》。古辞五解,"或云甄皇后造,或云魏文帝,或云武帝"(李善注引《歌录》),以甄皇后作为近是。郭茂倩题解引《邺都故事》:"魏文帝甄皇后,……为郭皇后所谮,文帝赐死后宫。临终为诗曰:'蒲生我池中,绿叶何离离。岂无蒹葭艾,与君生别离。莫以贤豪故,弃捐素所爱。莫以麻枲贱,弃捐菅与蒯。莫以鱼肉贱,弃捐葱与薤。'"又引《乐府解题》:"前志云:晋乐奏魏武帝《蒲生篇》,而诸集录皆言其词文帝甄后所作,叹以谗诉见弃,犹幸得新好,不遗故恶焉。若晋陆机:'江蓠生幽渚',言妇人衰老失宠,行于塘上而为此歌,与古辞同意。"诗以香草美人为比,寄寓了诗人的人生盛衰之叹,表达了诗人仕进之中的危惧感和对朝政的忧患意识。形象鲜明,情辞委婉,颇见特色。王夫之评云:"不但末视陈王,且于甄后始制,增其风度矣。以文士而咏奁情,无宁止此。"(《船山古诗评选》)

【原文】

江蓠生幽渚①,　微芳不足宣②。
被蒙风云会③,　移居华池边④。
发藻玉台下⑤,　垂影沧浪泉⑥。
沾润既已渥⑦,　结根奥且坚⑧。

四节逝不处⑨，　华繁难久鲜⑩。
淑气与时殒⑪，　余芳随风捐⑫。
天道有迁易⑬，　人理无常全⑭。
男欢智倾愚⑮，　女爱衰避妍⑯。
不惜微躯退，　但惧苍蝇前⑰。
愿君广末光⑱，　照妾薄暮年⑲。

【注释】

①江蓠：一作“江离”，香草名。屈原《离骚》：“扈江离与辟芷兮，纫秋兰以为佩。”　幽渚：幽僻的小洲。

②宣：播扬。

③被：遭遇，碰上。　风云会：指好的际遇。风云，《玉台新咏》三、《乐府诗集》三十五作“风雨”。李善注引《周易》：“润之以风雨。”或《文选》原作“风雨”。

④居：《玉台新咏》三作“君”。　华池：本为传说中昆仑山上的仙池，这里泛指华美的水池。

⑤发藻：散发光彩。　玉台：台观名。张衡《西京赋》：“西有玉台，联以昆德。”这里泛指宫廷的台观。

⑥沧浪：水青色。《孟子·离娄上》：“沧浪之水清兮，可以濯我缨。”卢文弨《钟山札记》：“仓浪，青色。”　泉：《玉台新咏》三作“渊”。《乐府诗集》三十五注：“一作‘渊’。”

⑦沾润：沾湿浸润。　渥（wò 沃）：浓厚。《诗经·小雅·信南山》：“既优既渥，既沾既足。”

⑧奥：深。古诗：“冉冉孤生竹，结根泰山阿。”

⑨四节：春夏秋冬四季。　不处：不停留。

⑩华：古“花”字。

⑪淑气：温馨之气。　殒：消失。

⑫捐：除去，消失。

⑬天道：自然运行的法则。　迁易：迁移、变易。

⑭人理：犹“人道”，指人与人这间相处的法则、道理。司马迁《悲士不遇

赋》:"天道微哉,吁嗟阔兮! 人理显然,相倾夺兮!"(李善注引作:"天道悠昧,人理促兮!")

⑮智:智者。 倾:排挤,欺凌。 愚:愚者。李善注引仲长统《昌言》:"强者胜弱,智者欺愚。"

⑯妍:美丽。

⑰但:只是。《乐府诗集》三十五作"恒"。 惧:《诗纪》二十四注:"一作'叹'。" 苍蝇:比喻搬弄是非的小人。《诗经·小雅·青蝇》:"营营青蝇,止于樊。"郑玄注:"蝇之为虫,污白使黑,污黑使白。"曹植《赠白马王彪》:"苍蝇间黑白,谗巧令亲疏。"

⑱末光:日月之余光。喻夫君微末的恩惠。

⑲薄暮年:指年老。

【译文】

江蓠本生幽僻小洲,
香气微弱不足播散。
有幸碰上风云际会,
移居来到华池旁边。
流光溢彩玉台之下,
倩影映入清清水泉。
沾溉浸润既已优厚,
扎根地下又深又坚。
四时代序毫不停留,
繁花虽美难保久鲜。
温馨之气与时俱逝,
余香随风不断飘散。
天道也有迁移变易,
人生不能常保周全。
男爱智者欺凌弱者,
女爱衰者避让美颜。

微躯退避并不可惜，
只怕苍蝇进身君前。
但愿君能稍加余光，
照我度过寂寞晚年。

（张亚新　译注）

乐府一首

谢灵运

【作者】

见卷十九《述祖德诗》作者介绍。

会吟行

【题解】

《会吟行》，《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》。郭茂倩题解引《乐府解题》："《会吟行》，其致与《吴趋》同。会谓会稽，谢灵运《会吟行》曰：'咸共聆会吟'。"谢灵运祖籍陈郡阳夏（今河南太康），世居会稽（今浙江绍兴）。《会吟行》就是一曲对家乡的赞歌，倾注了诗人对

会稽山水风光和历史人物的无限深情。在写作上深受陆机《吴趋行》影响，而详略处置各有不同。何焯评云："曩疑《吴趋行》既述泰伯、仲雍之化，复述大帝刱业、四姓夹辅，所谓乐操土风也。灵运此诗，既序大禹及勾践旧迹，当举永嘉南渡名臣将相出于会稽以征邦彦之盛。且文靖常居会稽，而献武又为内史，乃皆略之，未免举典而忘其祖。后细玩诗中，亦故有微旨。首叙禹功及勾践伯业，不敢忘其在上者也。自范蠡以下皆客游之杞梓，则所以增土风之重，固隐然在南渡诸贤矣。不明言近事，恐一群白颈乌张其喙耳。往时于斯艺实粗，致滋妄议。"(《义门读书记》卷四十七)

【原文】

六引缓清唱①，　三调伫繁音②。
列筵皆静寂③，　咸共聆《会吟》④。
《会吟》自有初⑤，请从文命敷⑥。
敷绩壶冀始⑦，　刊木至江汜⑧。
列宿炳天文⑨，　负海横地理⑩。
连峰竞千仞⑪，　背流各百里⑫。
漉池溉粳稻⑬，　轻云暧松杞⑭。
两京愧佳丽⑮，　三都岂能似⑯？
层台指中天⑰，　高墉积崇雉⑱。
飞燕跃广途⑲，　鹣首戏清沚⑳。
肆呈窈窕容㉑，　路曜便娟子㉒。
自来弥年代㉓，　贤达不可纪㉔。
勾践善废兴㉕，　越叟识行止㉖。
范蠡出江湖㉗，　梅福入城市㉘。
东方就旅逸㉙，　梁鸿去桑梓㉚。

牵缀书土风[31]， 辞殚意未已[32]。

【注释】

①六引：古乐调名。李善注引沈约《宋书》："控揆宫引第一，商引第二，徵引第三，羽引第四，古有六引，其宫引本第二，角引本第四也。并无歌，有弦笛，存声不足，故阙二曲。"《乐府诗集》卷二十六《相和歌·相和六引》则以箜篌引、宫引、商引、角引、徵引、羽引为六引。 清唱：清美的歌唱。

②三调：汉代乐府相和歌的平调、清调、瑟调，合称清商三调。南北朝至隋唐，则以清、平、侧为三调。 伫：本为久立，这里犹言"缓"，谓演唱时拖长音调，是一种满怀深情的表示。 繁音：繁盛的乐音。

③列筵：犹言满座。指满座宾客。 静寂：《艺文类聚》四十二作"寂寂"。

④咸：都。共：一起。聆：听。《会吟》：会，音 kuài(快)。

⑤初：开头。

⑥文命：文德教命。《尚书·大禹谟》："曰文命敷于四海，祗承于帝。"又《史记·夏本纪》："夏禹，名曰文命。"此用其意。相传会稽因禹会诸侯江南计功而得名，禹死后又葬于会稽，故先从禹说起。 敷：陈述。

⑦敷绩：指禹分土治水的功绩。敷，分，布。 壶：壶口，山名，在今山西吉县西南。因黄河北来，至此倾泻于西崖，悬注如壶，故名。冀：冀州，为禹所区划的九州之一。相传禹治水首先治理了壶口的水利工程。《尚书·禹贡》："冀州：既载壶口，治梁及岐。"

⑧刊：砍削。禹治水时砍削木桩，插在山路上以作标记。《尚书·禹贡》："禹敷土，随山刊木，奠高山大川。" 江汜(sì 祀)：长江的支流。 《诗经·召南·江有汜》："江有汜。"这里指长江的源头，谓禹从江源开始疏导长江。《尚书·禹贡》："岷山导江。""岷山导江"，即从岷山开始疏导长江。岷山下有岷江，古以为长江正源。

⑨列宿：众星宿。这里指越地上空的列宿。古代星象家把天象和地面上州、国的位置相配合，称分野，同时又把十二辰(方位)和二十八宿相结合，形成对应。与越地对应的星次是星纪，二十八宿则为其中的斗、牛、女三星。
炳：明亮。 天文：日月星辰等天体在宇宙间分布运行的现象。这里即指日、月、星辰。李善注引宋衷易《纬注》："天文者，谓三光。"

⑩负海：靠海。 地理：山川土地的环境形势。《易·系辞上》："仰以观于天文，俯以察于地理。"这里指拥有广袤的地域和多样的土地。李善注引宋衷易《纬注》："地理，谓五土也。"五土，指山林、川泽、丘陵、水边平地、低洼地等五种土地。

⑪仞：长度单位。古以七尺或八尺为一仞。

⑫背流：流向相反的河流。司马相如《上林赋》："荡荡乎八川分流，相背而异态。"

⑬滮(biāo 标)池：古水名，在今陕西西安市西北。《诗经·小雅·白华》："滮池北流，浸彼稻田。"这里泛指越地的水池。池，《乐府诗集》六十四作"地"。 粳(jīng 晶)稻：不粘之稻。

⑭暧(ài 爱)：昏暗。这里用作动词，遮蔽之意。杞(qǐ 起)：木名，质地优良。

⑮两京：指西京长安、东京洛阳。 佳丽：美好。指土地景物的美好。

⑯三都：指三国魏都邺城(在今河北临漳县西南)，蜀都成都(今四川成都市)，吴都建业(今江苏南京市)。

⑰中天：天空之中。

⑱墉(yōng 雍)：城墙。 崇雉：高峻的墙。雉，本为计算城墙面积的单位。《左传·隐公元年》："都城过百雉，国之害也。"注："方丈曰堵，三堵曰雉，一雉之墙长三丈，高一丈。"这里引申指城墙。

⑲飞燕：良马名。《文选》张协《七命》："驾红阳之飞燕。"张铣注："良马名飞燕。"

⑳鹢(yì 益)首：船头，代指船。鹢，水鸟名，形如鹭而大，羽色苍白，善翔。古人喜画鹢首于船头。《淮南子·本经》："龙舟鹢首，浮吹以娱。" 沚(zhǐ 止)：水中小洲。

㉑肆：集市。窈窕：容貌美好貌。 容：《三谢诗》作"客"。

㉒便(pián 骈)娟：轻盈美好貌。枚乘《梁王兔园赋》："若乃夫郊采桑之妇人兮，袿裼错迁，连袖广路，摩眦长髮(李善注引作"磨陁长髻")，便娟数顾。"阮籍《咏怀》其七十五："路端便娟子，但恐日月倾。"

㉓弥：长久。 年代：《乐府诗集》六十四作"世代"。

㉔贤达：贤能通达的人。 纪：录。

㉕勾践：春秋末越国国君。公元前496年即位后，在夫椒(今江苏吴县西南)一役大败于吴，退保会稽山(今浙江绍兴)，用范蠡计向吴乞和，卧薪尝胆，

十年生聚，十年教训，锐意灭吴雪耻。后乘吴王夫差北上争霸之际，发兵袭吴，终于在前473年一举灭吴。接着乘胜渡淮，大会诸侯于徐州（今山东腾县东南），称为霸主。周天子使人赐胙，命为伯。

㉖越叟：李善注："越叟，盖越公也。《越绝书》曰："子胥战于隽李，阖闾伤马，军败而还，欲复其仇，师事越公，录其术。'" 按《越绝书》卷九："夫有勇见有外，必有仁于内。子胥战于就李，阖庐伤焉，军败而还。是时死伤者不可称数，所以然者，罢顿不得已。子胥内忧：'为人臣，上不能令主，下令百姓被兵刃之咎。'自责内伤，莫能知者。故身操死持伤及被兵者，莫不悉于子胥之手，垂涕啼哭，欲伐而死。三年自咎，不亲妻子，饥不饱食，寒不重彩，结心于越，欲复其仇。师事越公，录其述。"细审文意，"越公"与"识行止"无涉，李善注未见妥帖，"越叟"当指范蠡、梅福之类的人物。 行止：犹言进退。《周易·艮》："艮，止也，时止则止，时行则行，动静不失其时，其道光明。"

㉗范蠡：春秋楚宛（今河南南阳）人，字少伯。仕越为大夫，辅佐勾践刻苦图强，埋头备战，终于一举灭吴，被擢为上将军。但范蠡以勾践为人可与同患难，不能共安乐，乃乘扁舟，浮于江湖，去越入齐，改名鸱夷子皮，治产获数十万，受任为齐相。后又弃官散财，到陶（今山东定陶西北）称朱公，再度经商致富，并一再散财与贫交和疏远的兄弟。他认为世间一切事物都在变化，时势的盛衰也如此，故须待时而动，顺其自然。事见《史记·越王勾践世家》及《货殖列传》。

㉘梅福：字子真，西汉末九江寿春（今安徽寿县）人。初任郡文学，补南昌尉，后去官归乡。曾多次上书，其言词多犯权臣，不被采纳。元始中，王莽专权，他弃妻、子离九江，隐居不仕，被传为"仙人"。后来有人在会稽看见他，已变换姓名，为吴市门卒。事见《汉书》本传。

㉙东方：指东方朔。东方朔字曼倩，西汉武帝时待诏金马门，官至太中大夫，为武帝弄臣。因其以诙谐滑稽著名，后人传其异闻颇多，方士又附会其为仙人。《列仙传》卷下："东方朔……至宣帝初，弃郎以避乱世，置帻官舍，风飘之而去。后见于会稽卖药，五湖智者，疑其岁星精也。" 旅：客。 逸：放逸，放纵。

㉚梁鸿：字伯鸾，东汉初扶风平陵（今陕西兴平）人。家贫好学，不求仕进，与妻孟光同入霸陵山中，以耕织为业。后往吴，寄住皋伯通家，居于廊下，为人舂米。既归，孟光奉上饭食，举案齐眉。事见《后汉书》本传。 桑梓：桑与梓为

古代住宅常栽的树木，后遂以代指家乡。《诗经·小雅·小弁》："惟桑与梓，必恭敬止。"

㉛牵缀：牵连。 土风：本乡本土的歌谣乐曲。《左传·成公九年》："乐操土风，不忘旧也。"这里指有关乡土的历史、人物等。

㉜殚：尽。 已：止，尽。

【译文】

奏起六引缓缓清唱，
三调延宕繁盛乐音。
在座各位都请安静，
一起听听我唱《会吟》。
《会吟》自要有个开头，
请从大禹开始唱起。
治水首治冀州壶口，
刊木直到长江源头。
天上众星光耀日月，
背靠大海土地纵横。
山峰连绵竞高千仞，
河水背流各有百里。
水池密布灌溉粳稻，
轻云阴蔽遍山松杞。
两京愧无如此形胜，
三都难道能够比拟？
层层楼台直插云空，
城墙高耸坚固险峻。
大道上面骏马奔驰，
扁舟穿梭水中嬉戏。
街上游人颇多佳丽，

路上美女光彩照人。
从古至今年代久远，
贤达众多不可胜记。
勾践亡国终又复国，
越叟颇知进退行止。
范蠡功成遨游江湖，
梅福归隐来到城市。
东方曼倩放逸旅途，
梁鸿远游离开乡里。
拉杂来把乡土赞颂，
文辞已尽意犹未止。

（张亚新　译注）

乐府八首

鲍明远

【作者】

见卷十一《芜城赋》作者介绍。

东武吟

【题解】

《东武吟》，一作《东武吟行》、《代东武吟》，《乐府诗集》收入《相和歌·楚调曲》。郭茂倩题解引《乐府解题》曰："鲍照云'主人且勿喧'，沈约云'天德深且旷'，伤时移事异，荣华徂谢也。"又引左思《齐都赋》注云："《东武》、《泰山》，皆齐之土风，弦歌讴吟之曲名也。"东武，泰山下小山名。《东武吟》和《泰山吟》、《梁甫吟》同类，都是齐地的土风。诗借一个百战老兵之口，反映了战士一生的劳苦和暮年废弃归家的悲惨，对统治集团的刻薄寡恩作了尖锐的揭露。末望君主赐恩，不负有功之人，既是为老兵代言心声，也表达了因家世贫贱而在仕途上饱受压抑的诗人自己内心的希冀。其时宋魏两个政权南北对峙，边境一线战争不断，故鲍照颇多从军之作，开拓了边塞诗的表现领域，对后来边塞诗的发展产生了深远影响。

【原文】

主人且勿喧，　贱子歌一言①。
仆本寒乡士②，出身蒙汉恩。
始随张校尉③，占募到河源④。
后逐李轻车⑤，追虏穷塞垣⑥。
密涂亘万里⑦，宁岁犹七奔⑧。
肌力尽鞍甲⑨，心思历凉温⑩。
将军既下世⑪，部曲亦罕存⑫。
时事一朝异，　孤绩谁复论⑬？
少壮辞家去　　穷老还入门。
腰镰刈葵藿⑭，倚杖牧鸡豚⑮。

昔如鞲上鹰⑯，今似槛中猿⑰。
徒结千载恨⑱，空负百年怨⑲。
弃席思君幄⑳，疲马恋君轩㉑。
愿垂晋主惠㉒，不愧田子魂㉓。

【注释】

①贱子：老军人自称。下“仆”同。古诗：“四坐且莫喧，愿听歌一言。”(《玉台新咏》卷一)

②寒乡：贫寒的地区。

③随：《乐府诗集》四十一注：“一作‘逢’。”张校尉：指张骞。张骞，西汉成固(今陕西成固)人，曾为校尉，随大将军卫青北击匈奴。

④占募：自己估计情况后应募。李善注：“谓自隐度而应募为占募。”占，本集、《艺文类聚》四十一、《乐府诗集》四十一并作“召”。 河源：黄河发源处。张骞曾奉命出使乌孙，有寻河源事。

⑤李轻车：指李蔡。李蔡，李广的堂弟，武帝元朔(前128～前123)中为轻车将军，击匈奴右贤王有功，死后封乐安侯。

⑥虏：对敌人的称呼，指匈奴。 穷：到了尽头。本集、《乐府诗集》四十一并作“出”。 塞垣：本指边境筑以御敌的城墙，这里即指边境地带。

⑦密涂：近路。涂，同“途”。 亘：绵延。

⑧宁岁：安宁的年岁。 七奔：七次奔命。《左传·成公七年》：“吴始伐楚、伐巢、伐徐，子重奔命。马陵之会，吴入州来，子重自郑奔命。子重、子反于是乎一岁七奔命。”

⑨尽鞍甲：谓在征敌中耗尽了力气。鞍甲，鞍马铠甲，指征战。

⑩历凉温：经历了无数寒暑变化。

⑪下世：去世，死亡。

⑫部曲：本为汉代军队编制的名称，“大将军营五部，部校尉一人。部下有曲，曲有军侯一人”(《汉书·李广传》颜师古注引《续汉书·百官志》)。这里泛指将军的部下。

⑬孤绩：独有的功绩。绩，本集云：“一作‘愤’。”

⑭腰镰：镰，用作动词，谓腰间插上镰刀。 刈(yì 意)：割。 葵：蔬菜名。

藿：豆叶。葵藿为贫者所食。

⑮牧：《诗纪》五十："一作'收'。" 豚：小猪。

⑯鞲(gōu 沟)：皮革制的臂衣(手臂上的皮套子)，打猎时套在臂上以擎猎鹰。

⑰槛：关牲畜野兽的栅栏。李善注引《淮南子》："置猿槛中，则与豚同，非不巧捷也，无所肆其能也。"

⑱结：郁结。《诗纪》五十："一作'积'。" 千载恨：谓千百年来人们未曾有过的怨恨，亦即很深的怨恨。

⑲负：承担。

⑳弃席：用晋文公故事。晋公子重耳在多年流浪之后回晋国为君(文公)，走到黄河边上，下令将陈旧的器皿和卧席丢弃，让那些手足长了茧子、脸色发黑的人走在最后。其功臣咎犯听了在夜里哭泣，劝谏道："笾豆所以食也，而君捐之；席蓐所以卧也，而君弃之；手足胼胝，面目黧黑，有功劳者也，而君后之。今臣与在后中，不胜其哀，故哭之。"文公听了便收回了成命。事见《韩非子·外储说左上》。 幄(wò 卧)：用木架成的帐幕。

㉑疲马：用战国魏人田子方故事。《韩诗外传》卷八："昔者田子方出，见老马于道，喟然有志焉，以问于御者曰：'此何马也？'御曰：'故公家畜也，罢而不为用，故出放之也。'田子方曰：'少尽其力，而老弃其身，仁者不为也。'束帛而赎之。穷士闻之，知所归心矣。" 轩：车。

㉒晋主：指晋文公。 惠：恩惠。

㉓田子：指田子方。魂：魂灵。因田子谢世已久，故云。

【译文】

各位主人且勿喧哗，
请让我来唱上一曲。
我本是个贫寒乡士，
在世深蒙汉朝厚恩。
开始跟随校尉张骞，
应召从军去到河源。
后又跟随将军李蔡，

追击敌人穷尽边塞。
近路全程也有万里，
安宁年也不得安宁。
力气耗尽鞍马之间，
心思经历无数寒温。
将军已经告别人世，
部下也无几人生存。
时事一朝发生变化，
谁还谈论我的功勋？
少壮时期辞家远征，
又穷又老回到家门。
腰插镰刀去割葵藿，
拄着拐杖牧养鸡豚。
过去像那鞲上雄鹰，
今天就像圈中猴猿。
徒然郁积千载之恨，
空自承受百年之怨。
席蓐被弃尚思君帐，
疲马遭贬还恋君车。
但愿垂下晋主恩惠，
不愧田子在天之灵。

出自蓟北门行

【题解】

《出自蓟北门行》，一作《代出自蓟北门行》，《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》。郭茂倩题解云："魏曹植《艳歌行》曰：'出自蓟北门，遥望胡地桑。枝枝自相值，叶叶自相当。'《乐府解题》曰：'《出自蓟北门行》，其致与《从军行》同，而兼言燕蓟风物，及突骑勇悍之状。若鲍照云《羽檄起边亭》，备叙征战苦辛之意。'"诗题出自曹植《艳歌行》(全诗今佚)，但内容已自不同。蓟，古燕国都城，即今北京。诗篇既讴歌了战士从军卫国的壮志，又描写了北方边地的风物和从军的艰苦，语言峻健，意境奇伟，感情悲壮，音调高亢，充分体现了诗人如"饥鹰独出，奇矫无前"(敖陶孙《诗评》)，如"高鸿决汉，孤鹘破霜"(郑厚《艺圃·折中》)的创作特色，已大具盛唐边塞诗的气韵。沈德潜评云："明远能为抗壮之音，颇似孟德。"(《古诗源》卷十一)

【原文】

羽檄起边亭①，　烽火入咸阳②。
征骑屯广武③，　分兵救朔方④。
严秋筋竿劲⑤，　虏阵精且强⑥。
天子按剑怒，　使者遥相望⑦。
雁行缘石径⑧，　鱼贯度飞梁⑨。

萧鼓流汉思⑩，　旌甲被胡霜⑪。
疾风冲塞起，　沙砾自飘扬⑫。
马毛缩如蝟⑬，　角弓不可张⑭。
时危见臣节，　世乱识忠良。
投躯报明主，　身死为国殇⑮。

【注释】

①羽檄：古代的一种紧急军事公文，因上面插着表示急速的鸟羽，故名。《汉书·高帝纪》："吾以羽檄征天下兵。"　边亭：边境上的亭候。亭候，驻兵监视、防守敌人的建筑。

②烽火：古时边防告警用的烟火。　咸阳：战国秦都，在长安西北，这里泛指都城。李善注引《风俗通》："文帝时，匈奴犯塞，候骑至甘泉，烽火通长安。"

③征骑（jì 继）：《乐府诗集》六十一作"征师"。骑，骑兵。　广武：县名，在今山西代县西。

④朔方：郡名，辖有今内蒙古自治区黄河以南地区。

⑤严秋：肃杀的秋天。指深秋。　筋竿：筋指弓弦，竿指弓箭。　劲：强劲。深秋气候干燥，故弓箭显得强劲有力。

⑥虏阵：敌人的阵容、阵势。

⑦遥相望：谓使者不绝于路。

⑧雁行：形容军队行进时队列整齐。　缘：沿。

⑨鱼贯：鱼游前后相贯，形容兵士一个接着一个行进。　飞梁：飞跨在两山之间的桥梁。

⑩汉思：指对于国家的思念情绪。　思：《诗纪》五十云："当作'飑'。"汉思，即汉地的凉风。

⑪旌甲：旌旗、铠甲。　被：覆盖。

⑫砾（lì 利）：小石，碎石。

⑬蝟：刺蝟。李善注引《西京杂记》："元封二年，大雪深五尺，野鸟兽皆死，牛马蜷缩如蝟。"

⑭角弓：有兽角装饰的弓。　不可张：谓天气寒冷，双手冻得拉不开弓。

⑮国殇：为国战死的人。屈原《九歌·国殇》："身既死兮神以灵，子魂魄兮为鬼雄。"

【译文】

羽檄来自边境亭候，
烽火飞速传入咸阳。
远征骑兵屯集广武，
分出兵力救援朔方。
深秋弓箭强劲有力，
敌方阵营精悍坚强。
天子闻讯按剑大怒，
传令使臣前后相望。
沿着石路部队开进，
鱼贯跨越高山桥梁。
箫鼓流溢家国之思，
旌旗铠甲蒙上白霜。
疾风猛刮冲击边关，
沙石竟自满天飘扬。
天寒马毛缩如刺蝟，
手冻强弓无法开张。
国势危急显露节操，
社会动乱见出忠良。
舍身赴敌报效明主，
为国捐躯战死沙场。

结客少年场行

【题解】

《结客少年场行》，一作《代结客少年场行》，《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》。郭茂倩题解云："《后汉书》曰：'祭遵尝为部吏所侵，结客杀人。'曹植《结客篇》曰：'结客少年场，报怨洛北邙。'《乐府解题》曰：'《结客少年场行》，言轻生重义，慷慨以立功名也。'《广题》曰：'汉长安少年杀吏，受财报仇，相与探丸为弹，探得赤丸斫武吏，探得黑丸杀文吏。尹赏为长安令，尽捕之。长安中为之歌曰：'何处求子死，桓东少年场。生时谅不谨，枯骨复何葬。'按结客少年场，言少年时结任侠之客，为游乐之场，终而无成，故作此曲也。"诗前受曹植《结客篇》(全诗今佚)启发，后则受古诗《青青陵上柏》影响，借少年口眼对官僚贵族的豪奢生活和热中名利的蝇营狗苟之风表示了蔑视和嘲讽，同时发抒了自己坎坷不遇的牢骚。此诗一出，后人拟作纷至，影响颇深远。

【原文】

骢马金络头①，　锦带佩吴钩②。
失意杯酒间③，　白刃起相仇④。
追兵一旦至⑤，　负剑远行游。
去乡三十载⑥，　复得还旧丘⑦。
升高临四关⑧，　表里望皇州⑨。

九涂平若水⑩，双阙似云浮⑪。
扶宫罗将相⑫，夹道列王侯。
日中市朝满⑬，车马若川流⑭。
击钟陈鼎食⑮，方驾自相求⑯。
今我独何为？　埳壈怀百忧⑰。

【注释】

①驄马：青白杂毛的马。　络头：马笼头。汉乐府《陌上桑》："青丝系马尾，黄金络马头。"

②吴钩：吴地所产的一种宝刀，似剑而曲。

③失意：不遂心。

④相仇：互相结为仇敌。李善注引《淮南子》："今有美酒佳肴，以相宾飨，争盈爵之间，乃反为斗而相伤，三族结怨。"

⑤追兵：指追捕闯祸少年的官兵。

⑥去：离开。

⑦旧丘：老家。《广雅》："丘，居也。"

⑧临：从高处往下看。　四关：四个关口。李善注引陆机《洛阳记》："洛阳有四关：东为城皋，南伊阙，北孟津，西函谷。"关，《艺文类聚》四十一作"野"，《乐府诗集》六十六注："一作'塞'。"

⑨表里：犹内外。　皇州：指京城。

⑩九涂：指京城中的交通要道。《周礼·冬官·考工记》："匠人营国，方九里；旁三门，国中九经九纬，经涂九轨。"郑玄注："经纬，谓涂也。"涂，同"途"。《乐府诗集》六十六作"衢"。

⑪双阙：宫门前的两座望楼，也称观。崔豹《古今注》："古每门树立两观于其前，所以标表宫门也。"古诗："两宫遥相望，双阙百余尺。"

⑫扶宫：夹宫。《文选》六臣注李周翰云："扶，亦夹也；罗，亦列也。皆王侯将相之宅。"

⑬日中：中午。《周易·系辞下》："日中为市，致天下之民，聚天下之货。"市朝：市，交易买卖的场所；朝，官府办公的场所。代指争名争利的场所。《战

国策·秦一》:“臣闻争名者于朝,争利者于市,今三川、周室,天下之市朝也。”市朝满,谓在京城中追求利禄的人很多。

⑭川:河。李善注引张协《禊饮赋》:“车马胶葛,川流波乱。”(全赋今佚)

⑮鼎:一种金属制成的三足两耳的锅。古代高官贵族之家列鼎而食,食则击钟,十分豪奢。

⑯方驾:并车而行。形容车马拥挤之状。 自相求:指官场中的人互相交往干求。

⑰埳(kǎn 坎)壈(lǎn 览):同“坎壈”,也作“坎廪”,穷困不遇貌。宋玉《九辩》:“坎廪兮,贫士失职而志不平。”刘向《九叹·怨思》:“惟郁郁之忧毒兮,志坎壈而不违。”《乐府诗集》六十六作“轗轲”。

【译文】

青骢白马黄金笼头,
锦带上面佩着吴钩。
酒席之间稍不遂意,
持刃格斗彼此成仇。
官兵追捕眼看就到,
带剑潜逃高飞远走。
离开家乡三十春秋,
终又回到老家炕头。
登上高处远眺四关,
里里外外端详皇州。
条条大道平坦如水,
宫阙高耸如云悬浮。
将相第宅罗列宫旁,
道边朱楼尽住王侯。
中午市中人潮爆满,
车马穿梭犹如水流。
敲钟而餐列鼎而食,

车拥马挤互相追求。
今我独自干些什么？
穷困不遇心怀百忧。

东门行

【题解】

《东门行》，一作《代东门行》，《乐府诗集》收入《相和歌·瑟调曲》。郭茂倩题解引《乐府题解》曰："古词云：'出东门，不顾归。入门怅欲悲。'言士有贫不安其居者，拔剑将去，妻子牵衣留之，愿共俯糜，不求富贵。且曰'今时清，不可为非'也。若宋鲍照'伤禽恶弦惊'，但伤离别而已。"诗篇前半写离别情景，后半写别后愁思，将"行子"之苦写得既足且透。王夫之评云："空中布意，不堕一解。而往复萦回，兴比宾主，历历不昧。虽声情爽丽，疑于豪宕，乃以视《青青河畔草》，亦相去无三十里矣。"(《船山古诗评选》)

【原文】

伤禽恶弦惊①，　倦客恶离声②。
离声断客情③，　宾御皆涕零④。
涕零心断绝⑤，　将去复还诀⑥。
一息不相知⑦，　何况异乡别。
遥遥征驾远⑧，　杳杳落日晚⑨。
居人掩闺卧⑩，　行子夜中饭⑪。

野风吹秋木⑫，　行子心肠断。
食梅常苦酸，　衣葛常苦寒⑬。
丝竹徒满坐⑭，　忧人不解颜⑮。
长歌欲自慰，　弥起长恨端⑯。

【注释】

①伤禽：为箭所伤的飞禽。　恶（wù 务）：厌恶，害怕。《艺文类聚》四十一作“见”。　弦惊：放开弓弦时所发出的声响。本集云：“一作‘惊弦’。”这里用更赢发虚弓而得鸟的典故。《战国策·楚策四》：“更赢与魏王处京台之下，仰见飞鸟。更赢谓魏王曰：‘臣为王引弓虚发而下鸟。’魏王曰：‘然则射可至此乎？’更赢曰：‘可’。有间，雁从东方来，更赢以虚发而下之。魏王曰：‘然则射可至此乎？’更赢曰：‘此孽也。’王曰：‘先生何以知之？’对曰：‘其飞徐而鸣悲。飞徐者，故疮痛也；鸣悲者，久失群也，故疮未息，而惊心未至也。闻弦音，引而高飞，故疮陨也。’”

②倦客：倦游之人。　离声：指离别时亲友所奏的音乐。

③断客情：即伤客心。客，指“倦客”。

④宾：送别的宾客。　御：御者，赶车的人。　涕零：落泪。

⑤心断绝：犹言心碎。

⑥诀：别。

⑦一息：指片刻。息，呼吸。　不相知：谓不在一起。

⑧征驾：远行的车子。

⑨杳（yǎo 咬）杳：深远幽暗貌。　落：本集、《乐府诗集》三十七并作“白”。

⑩居人：与“行子”相对，指留在家中的人。　闺：闺门，内室之门。

⑪夜中：夜半。夜，《艺文类聚》四十一作“野”。《诗纪》五十云：“作‘中夜’”。　饭：这里用作动词，吃饭。

⑫秋：《乐府诗集》三十七、《诗纪》五十并作“草”。

⑬葛：葛布衣服。葛布用葛的纤维织成，布纹粗疏，宜做夏服。

⑭丝竹：弦乐器和管乐器。泛指音乐。　满座：指满座的人演奏乐曲。

⑮解颜：开颜，欢笑。

⑯弥：益，更加。　端：头绪，心绪。

【译文】

伤禽怕听弓弦声响，
倦客怕听离别乐声。
离别歌声伤透客心，
宾客御者一齐泪盈。
泪流满面肠断心碎，
临行复又回头话别。
片刻分离尚有悬念，
何况远去异地他乡。
车马远行越来越远，
落日幽暗时光已晚。
家人早已掩门而卧，
行子半夜还在进餐。
野风吹乱深秋林木，
行子心悲肝肠寸断。
进食梅子常常苦酸，
穿着葛衣常常苦寒。
众人空自演奏音乐，
行子心忧总不开颜。
高歌一曲欲以自慰，
反更激起愁思万端。

苦 热 行

【题解】

《苦热行》，一作《代苦热行》，《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》。郭茂倩题解引曹植《苦热行》曰："行游到日南，经历交阯乡。苦热但曝露，越夷水中藏。"又引《乐府解题》曰："《苦热行》备言流金烁石、火山炎海之艰难也。若鲍照云：'赤阪横西阻，火山赫南威。'言南方瘴疠之地，尽节征伐，而赏之太薄也。"诗受曹植《苦热行》(全诗今佚)启发，以夸张奇峭的笔墨，竭力描绘南征的艰苦，进而展示将士的不幸遭遇，最后画龙点睛地以"财轻君尚惜，士重安可希"作结，表达了诗人的愤慨。方回评云："热者地之至恶，死者事之至难。蹈至恶之地，责以至难之事，而上之人不察，则天下士有去之而已。此诗连以十六句言苦热。毒泾渡泸，始入议论。富哉言乎！"(《文选颜鲍谢诗评》)

【原文】

赤阪横西阻①，　火山赫南威②。
身热头且痛，　鸟堕魂来归③。
汤泉发云潭④，　焦烟起石圻⑤。
日月有恒昏⑥，　雨露未尝晞⑦。
丹蛇逾百尺⑧，　玄蜂盈十围⑨。
含沙射流影⑩，　吹蛊痛行晖⑪。

鄣气昼熏体⑫，　菌露夜沾衣⑬。
饥猿莫下食⑭，　晨禽不敢飞⑮。
毒泾尚多死⑯，　渡泸宁具腓⑰。
生躯蹈死地⑱，　昌志登祸机⑲。
戈船荣既薄⑳，　伏波赏亦微㉑。
财轻君尚惜㉒，　士重安可希㉓？

【注释】

①赤阪(bǎn 板)：赤山。　西阻：西方险阻之地。《汉书·西域传》："杜钦曰：'又历大头痛、小头痛山，赤土、身热之阪，令人身热无色，头痛呕吐。'"

②赫：显著，盛。《御览》三十四作"燃"。　南威：南方险阻之地。威，威严，引申指险阻之地。东方朔《神异经》："南荒外有火山焉，长四十里，广四五里，其中皆生木，昼夜火燃，虽暴风雨火不灭。"

③来：《乐府诗集》六十五、《御览》三十四并作"未"。屈原《招魂》："魂兮归来，南方不可以止兮！"

④汤：热水，开水。云：指水气蒸腾如云。　潭：《艺文类聚》四十一、《御览》三十四并作"泽"。李善注引王歆之《始兴记》："云水，源泉涌溜如沸汤，有细赤鱼出游，莫有获之者。"

⑤焦烟：指热气。　圻(qí 其)：曲岸。通"碕"。《御览》三十四作"沂"。《乐府诗集》六十五作"矶"。本集云："一作'矶'。"李善注引《南越表》："兴宁县有热水山焉，其下有焦石，敲蒸之，热恒数四丈。"

⑥恒：常。左思《魏都赋》："穷岫泄云，日月恒翳。"

⑦露：《御览》三十四作"雾"。　晞(xī 希)：晒干。《诗经·秦风·蒹葭》："蒹蔬凄凄，白露未晞。"《后汉书·马援传》："当吾在浪泊、西里间，虏未灭之时，下潦上雾，毒气重蒸，仰视飞鸢趾趾堕水中。"

⑧丹：赤色。　逾：超过。李善注引《外国图》："杨山，丹蛇居之，去九疑五万里。"

⑨玄：黑色。　盈：满。屈原《招魂》："赤蚁若象，玄蜂若壶些。"

⑩"含沙"句：《诗经·小雅·何人斯》："为鬼为蜮，则不可得。"蜮又名射

工、射影。相传居水中，听到人声，即含沙以射人，被射中者皮肤发疮，中影者也会发病。干宝《搜神记》更云："所中者头痛发热，剧者至死。"

⑪吹蛊(gǔ 古)：即飞蛊，相传为一种人工培养的毒虫。李善注引顾野王《舆地志》："江南数郡，有畜蛊者，主人行之以杀人。行食饮中，人不觉也。其家绝灭者，则飞游妄走，中之则毙。" 痛：《乐府诗集》六十五作"病"。 行晖：李善注："行旅之光也。"

⑫鄣气：即瘴气，旧指我国南部和西南部地区山林中湿热蒸腾能使人得病的气体。李善注："《吴志》：华覈表曰：'苍梧南海，岁有厉风鄣气。'宋永初《山水记》曰：'宁州鄣气茵露，四时不绝。'"鄣，《乐府诗集》六十五作"瘴"。

⑬茵(wǎng 往)：草名，有毒，据说碰上茵草上的露水，肉即溃烂。

⑭莫：不。李善注引《南越志》："背石县有铜涧，泉源沸涌，谓之毒水。飞禽走兽，经之者殒。"又引《列女传》："陶答子妻曰：'玄豹雾雨七日不下食。'"下，《御览》三十四作"暇"。

⑮"晨禽"句：李善注引曹植《七哀诗》："南方有鄣气，晨鸟不得飞。"(全诗今佚)

⑯泾：水名，发源于甘肃，东南流入陕西渭水。春秋时诸侯的大夫跟晋侯攻打秦国，军队渡过泾水驻扎下来。秦人在泾水上游放置毒物，诸侯军队死者甚众。事见《左传·襄公十四年》。李善注："言秦人毒泾尚或多死，况今毒厉乎？"

⑰泸：水名。三国蜀汉时，诸葛亮率军南征，到达今四川西部泸水一带。诸葛亮《出师表》："五月渡泸，深入不毛。" 腓(féi 肥)：病，枯萎。《诗经·小雅·四月》："秋日凄凄，百卉具腓。"

⑱蹈：踩，踏。 死地：必死之地。

⑲昌志：犹壮志。昌，盛壮。 登：《乐府诗集》六十五云："一作'高'。" 祸机：指祸患潜伏，一触即发，有如机括(弩上发箭的机件)。李善注："《庄子》曰：'其发若机括，其司是非之谓也。'司马彪曰：'言生以是非臧否交接，则祸败之来，若机括之发。'"

⑳戈船：汉时将军名号。《汉书·武帝纪》："归义越侯严为戈船将军，出零陵，下离水。"《史记·东越传》："越侯为戈船、下濑将军，出若邪、白沙。"二役戈船皆无功，后封赏不及，故云"荣既薄"。

㉑伏波：汉时将军名号。汉武帝时路博德、后汉光武时马援皆为伏波将

军。《后汉书·马援传》:“昔伏波将军路博德开置七郡,裁封数百户。”故云“赏亦微”。

㉒财:《乐府诗集》六十五作“爵”。

㉓士重:指士所看重的生命。 希:希求。《韩诗外传》卷七:“宋燕相齐见逐,罢归之舍,召门尉陈饶等二十六人,曰:‘诸大夫有能与我赴诸侯者乎?’陈饶等皆伏而不对。宋燕曰:‘悲乎哉!何士大夫易得而难用也!’……陈饶对曰:‘三斗之稷不足于士,而君雁鹜有余粟,是君之一过也。果园梨栗,后宫妇人以相提掷,而士曾不得一尝,是君之二过也。绫纨绮縠,靡丽于堂,从风而弊,而士曾不得以为缘,是君之三过也。且夫财者,君之所轻也。死者,士之所重也。君不能行君之所轻,而欲使士致其所重,譬犹铅刀畜之,而干将用之,不亦难乎?’”又《文选》六臣注吕向云:“小臣计倪对越王勾践曰:‘爵禄,君之轻也;性命,臣之重也。’”

【译文】

险峻西方横着赤阪,
荒僻南方燃着火山。
浑身燥热头痛难忍,
鸟儿坠落魂魄飞还。
水潭涌出滚烫泉水,
热气蒸腾曲折石岸。
日月长久迷濛昏沉,
雨露从来不曾晒干。
红蛇长长超过百尺,
黑蜂硕大足有十围。
鬼蜮含沙喷射人影,
飞蛊毒杀行旅中人。
白天瘴气蒸熏人体,
夜晚菌露沾湿人衣。
饥猿不敢窜下觅食,

晨鸟不敢纵身高飞。
秦人毒泾尚多死人，
诸葛渡泸岂未尽病？
身躯踏入必死之地，
壮志陷进莫测祸机。
戈船将军荣宠不厚，
伏波将军赏赐轻微。
财为君轻君尚吝惜，
士重性命怎可希冀？

白 头 吟

【题解】

《白头吟》，一作《代白头吟》，《乐府诗集》收入《相和歌·楚调曲》。郭茂倩题解引《西京杂记》曰："司马相如将聘茂陵人女为妾，卓文君作《白头吟》以自绝，相如乃止。"又引《乐府解题》曰："古辞云：'皑如山上雪，皎若云间月。'又云：'愿得一心人，白头不相离。'始言良人有两意，故来与之相决绝。次言别于沟水之上，叙其本情。终言男儿重意气，何用于钱刀。若宋鲍照'直如朱丝绳'……自伤清直芬馥，而遭铄金玷玉之谤，君恩以薄，与古文近焉。"按《白头吟》古辞本是一首弃妇谴责丈夫变心的诗，鲍照所作，则写君王任用谗佞而疏远正直之士的事，主题有所发展。鲍照曾在朝中任太学博士，兼中书舍人，后被贬出宫廷，诗篇不仅针砭了当时的社会现实，实亦抒写了自己内心的失意不平。刘履评云："此殆明远为人所间，

见弃于君，故借是题以喻所怀。”(《选诗补注》)

【原文】

直如朱丝绳①，　清如玉壶水。
何惭宿昔意②，　猜恨坐相仍③。
人情贱恩旧④，　世议逐衰兴⑤。
毫发一为瑕⑥，　丘山不可胜⑦。
食苗实硕鼠⑧，　玷白信苍蝇⑨。
凫鹄远成美⑩，　薪刍前见陵⑪。
申黜褒女进⑫，　班去赵姬升⑬。
周王日沦惑⑭，　汉帝益嗟称⑮。
心赏犹难恃⑯，　貌恭岂易凭⑰？
古来共如此，　非君独抚膺⑱。

【注释】

①朱丝：朱弦。李善注引《桓子新论》：“神农始削桐为琴，绳丝为弦。”古有“直如弦，死道边”之语，因以为喻。

②宿昔：向来，往日。

③相仍：相因，相继。

④贱：轻视。恩旧：谓旧日情义。

⑤世议：世俗的议论。议，《乐府诗集》四十一作“路”。 逐：追逐，趋奉。衰兴：失势得势。

⑥瑕：玉上面的斑点。引申为毛病、过失。

⑦胜(shēng 生)：承担，承受。李善注引李尤《戟铭》：“山陵之祸，起于毫芒。”又引孙盛曰：“刘琨、王浚，睚眦起于丝发，亹败成于丘海。”

⑧硕鼠：大老鼠。《诗经·魏风·硕鼠》：“硕鼠硕鼠，无食我苗。”

⑨玷(diàn 店)：弄脏，玷污。《玉台新咏》四、《乐府诗集》四十一并作“点”。白：指白璧。《诗经·小雅·青蝇》：“营营青蝇，止于樊。”郑玄注：“蝇之为

虫，污白使黑，污黑使白，喻佞人变乱善恶也。” 信：确实。

⑩凫(fú 壶)鹄：凫，野鸭；鹄，天鹅。这里偏指天鹅。《韩诗外传》卷二：“田饶事鲁哀公而不见察，谓哀公曰：‘臣将去君，黄鹄举矣。’哀公曰：‘何谓也？’田饶曰：‘君独不见夫鸡乎？头戴冠者文也，足傅距者武也，敌在前敢斗者勇也，见食相呼者仁也，守夜不失时者信也。鸡虽有此五德，君犹日瀹而食之者何也？则以其所从来者近也。夫黄鹄一举千里，止君园池，食君鱼鳖，啄君黍粱，无此五德者，犹贵之者何也？以其所从来者远也。故臣将去君，黄鹄举矣。’”

⑪薪：柴。 刍：草。 前见陵：指烧柴时先烧的柴被后添上的柴压在下面。陵，侵。《玉台新咏》四、《乐府诗集》四十一并作“凌”。《史记·汲郑列传》：“见上，前言曰：‘陛下用群臣如积薪耳，后来者居上。’”

⑫申：申后，为申侯之女，周幽王之后。 褒女：即褒姒，周幽王宠妃。幽王为博得她的欢心，废去申后母子，改立她为后。

⑬班：班婕妤，班固祖姑。汉成帝即位，选入后宫，始为少使，后立为婕妤。赵姬：赵飞燕，汉成帝宠妃。谗班婕妤，班婕妤惧祸，自求供养太后，成帝许其入长信宫侍奉。

⑭周王：指周幽王。 日：一天天地。 沦惑：沉沦迷惑。指为褒姒所迷。幽王为博褒姒一笑，多次谎报敌警，举烽火征兵，由此失信于诸侯。后犬戎兵至，被杀于骊山下，西周亡。

⑮汉帝：指汉成帝。 益：更。嗟称：嗟叹称赞。指“嗟称”赵飞燕。

⑯心赏：有契于心，欣然自得。 犹：《乐府诗集》四十一作“固”。《吕氏春秋·任数》：“所恃者心也，而心犹不足恃。”

⑰貌：容色。 恭：恭谨，有礼貌。《论语·季氏》：“貌思恭。”“心赏”、“貌恭”皆指“周王”、“汉帝”。

⑱君：指被谗遭疏者。 抚膺：捶胸。表示怅恨、慨叹。

【译文】

正直犹如琴上朱弦，
清纯犹如玉壶中冰。
往昔情意并无愧疚，

却频招来猜疑忌恨。
人情轻视旧日情义，
世议趋奉得势之人。
毛病不过细如毫发，
任意夸张大似丘陵。
盗食禾苗实为大鼠，
玷污白璧确是苍蝇。
天鹅高飞得成美名，
柴草燃烧前者受侵。
申后被废褒姒得立，
班姬离去赵姬进升。
周王更加沉沦迷溺，
汉帝更加赞叹连声。
内心高兴尚靠不住，
外貌恭谨岂能依凭？
从古至今概莫例外，
不光是你捶胸叹恨。

放 歌 行

【题解】

《放歌行》，一作《代放歌行》，《乐府诗集》收入《相和歌·瑟调曲》。郭茂倩题解："《孤子生行》，一曰《孤儿行》。古辞言孤儿为兄嫂所苦，难与久居也。《歌录》曰：'《孤子生行》，亦曰《放歌行》。'《乐

府解题》曰：‘鲍照《放歌行》云“蓼虫避葵堇”，言朝廷方盛，君上好才，何为临歧相将去也。’”按古辞《孤儿行》描写一个孤儿受兄嫂虐待的故事，鲍照拟作，则以正言若反的口吻，揭露了达官贵人热衷名利、奔竞驰逐的丑态，赞扬了旷士的疏放不仕，与古辞迥异其面，独出新意。今人萧涤非评云：“沈德潜曰：‘素带二语，写尽富贵人尘俗之状。’按日中二句，感慨尤深，此辈直以京城为行乐处耳。贤君爱才数语，实是反说。魏晋以来，用人不以才而以势，南朝益重门第，驯致黄口小儿，纨绔荡子，亦起家为常侍，照本北人，地胄孤单，故终沉沦下位，能不致其愤懑？”(《汉魏六朝乐府文学史》)

【原文】

蓼虫避葵堇①，　习苦不言非②。
小人自齷齪③，　安知旷士怀④。
鸡鸣洛城里⑤，　禁门平旦开⑥。
冠盖纵横至⑦，　车骑四方来⑧。
素带曳长飙⑨，　华缨结远埃⑩。
日中安能止⑪，　钟鸣犹未归⑫。
夷世不可逢⑬，　贤君信爱才⑭。
明虑自天断⑮，　不受外嫌猜。
一言分珪爵⑯，　片善辞草莱⑰。
岂伊白璧赐⑱，　将起黄金台⑲。
今君有何疾⑳　　临路独迟回㉑？

【注释】

①蓼(liǎo 了)虫：寄生在蓼草上的昆虫。蓼，植物名，一年生草本，叶味辛辣。　葵堇(jǐn 紧)：葵和堇皆野菜名，味甜。《楚辞》东方朔《七谏·怨世》：“蓼虫不知徙乎葵菜。”王逸注：“言蓼虫处辛烈，食苦恶，不能知徙于葵菜，食甘

美，终以困苦而癯瘦也。”

②习苦：谓蓼虫习惯于辛味。 不言非：《艺文类聚》四十二作“良可哀”。非，《文选》五臣本作“排”。

③龌(wò 握)龊(chuò 辍)：局狭貌。谓眼光短浅，心胸狭窄。

④旷士：旷达之士。《文选》六臣注：“吕延济曰：小人不知旷士之心，亦犹蓼虫不知葵堇之美。”

⑤洛城：洛阳。这里泛指京城。

⑥禁门：宫门。皇帝所居的地方禁卫森严，称为禁中，其门则称为禁门。平旦：平明，天刚亮的时候。

⑦冠盖：冠冕和车盖。指达官贵人。 纵横：纷纭杂乱貌。形容其多。

⑧车骑(jì 计)：车马。

⑨素带：古时士大夫所用的衣带，也叫绅。 曳长飙：在长风中飘动。曳，引，飘动。飙，暴风。

⑩华缨：用彩线做成的漂亮帽缨。

⑪日中：中午。

⑫钟鸣：指漏尽钟鸣、深夜戒严之后。李善注引崔元始《正论》：“永宁诏曰：‘钟鸣漏尽，洛阳城中不得有行者。’”

⑬夷世：太平之世。

⑭信：确实。

⑮明虑：英明的谋虑。 天：指君王。

⑯珪(guī 归)：一种上圆(或剑头形)下方的玉，古代封官时所赐。《左传·哀公十四年》：“司马牛致其邑与珪焉。”杜预注：“珪，守邑符信。” 爵：爵位，官阶。李善注引《汉书》：“张竦奏曰：‘一言之劳，皆蒙丘山之赏。’”又引《解嘲》：“析人之珪，担人之爵。”

⑰辞草莱：谓辞别山野入朝做官。草，《艺文类聚》四十二作“蒿”。

⑱伊：语助词。《史记·平原君虞卿列传》：“(虞卿)说赵孝成王。一见，赐黄金百镒，白璧一双。”

⑲黄金台：台名，故址在今河北易县东南。战国时，燕昭王筑此台，上置千金，以招天下贤士。

⑳君：指旷士。疾：患，顾虑。

㉑临路：谓面临仕途。 迟回：迟疑不前。

【译文】

蓼虫不吃甘美葵堇，
习惯苦味不以为非。
小人本自局促狭隘，
哪能理解旷士胸怀。
洛阳城中雄鸡啼鸣，
天刚放亮宫门打开。
达官贵人纷纷涌至，
千车万马四方赶来。
素带飘扬大风之中，
华缨积满远方尘埃。
中午时分怎能止步，
钟鸣夜深仍未回归。
太平盛世难得遇上，
贤君确实喜爱人才。
明断自由君王作出，
不因外言产生疑猜。
一言可取赐给爵禄，
片善可纳入朝做官。
哪里只是白璧之赐，
还要造起黄金高台。
现在你还有何忧虑，
面对仕途独自徘徊？

升天行

【题解】

《升天行》，一作《代升天行》，《乐府诗集》收入《杂曲歌辞》，郭茂倩题解引《乐府解题》认为与曹植《升天行》、《神游》、《五游》等篇俱为“伤人世不永，俗情险艰，当求神仙，翱翔六合之外”之作，名为游仙，实为咏怀。前八句直陈倦世厌俗之意，“穷涂”以下，写升天遐举，恣意畅快，兴会淋漓，末突推出“何时与汝曹，啄腐共吞腥”二句，口吻凌厉，气势峥棱，出人意表，发人深省。方回评云：“厌世故而求仙。从末句之意，则寓言借喻君子，有高世远意，拔出尘埃之表。视世间卑污苟贱之人，直如禽畜之吞啄腐腥耳。”（《文选颜鲍谢诗评》）正意出之以反，是诗人别出心裁处。曹植《仙人篇》云：“俯观五岳间，人生如寄居。”李白《古风》其十九云：“俯视洛阳川，茫茫走胡兵。流血涂野草，豺狼尽冠缨。”俱写升天遐举中对尘世的回顾，角度不同，各臻妙境。

【原文】

家世宅关辅①，　胜带宦王城②。
备闻十帝事③，　委曲两都情④。
倦见物兴衰，　骤睹俗屯平⑤。
翩翻类回掌⑥，　恍惚似朝荣⑦。
穷涂悔短计⑧，　晚志重长生⑨。

从师入远岳，　结友事仙灵⑩。
五图发金记⑪，　九龠隐丹经⑫。
风餐委松宿⑬，　云卧恣天行⑭。
冠霞登彩阁⑮，　解玉饮椒庭⑯。
蹔游越万里⑰，　近别数千龄⑱。
凤台无还驾⑲，　箫管有遗声⑳。
何时与尔曹㉑，　啄腐共吞腥㉒？

【注释】

①家世：家阀和世系。这里犹言祖祖辈辈。　宅：居住。　关辅：关中三辅之地。关中，约相当今陕西省。三辅，本指西汉治理京畿地区的三个职官，即京兆尹、左冯翊、右扶风，这里指三辅所辖的京畿地区。

②胜(shēng 声)带：犹言胜衣胜冠。胜衣，指儿童体力足以承受成人的衣服。《史记·三王世家》："皇子赖天，能胜衣趋拜。"胜冠，指男子成年可以加冠。《史记·万石君传》："乃许子孙胜冠者在侧，虽燕居必冠，申申如也。"这里即指年轻时。或疑当作"绅带"。　宦：六臣本《文选》注云："五臣作'官'。"　王城：指京城。

③备闻：尽闻。王充《论衡·宣汉》："汉家三百岁，十帝耀德。"《文选》六臣注李周翰云："两汉都两京，各十余帝。其中情事，尽已知之。"

④委曲：用作动词，谓知道原委、底细。　两都：指长安、洛阳。西汉都长安，东汉都洛阳。　情：情况。

⑤骤：屡次。　俗：世俗。指世间之事。　屯：艰难。　平：容易。

⑥翩翻：疾速貌。《乐府诗集》六十三云："一作'翩翩'。"　类：本集作"若"。　回掌：翻掌。

⑦恍惚：疾速貌。《文选》六臣注吕延济云："翩翻、恍惚，谓须臾间也。"朝荣：早上开花。潘岳《朝菌赋》："奈何兮繁华，朝荣兮夕毙。"(全赋今佚)

⑧穷涂：无路可走。涂，同"途"。悔短计：即悔计短。

⑨晚志：老来的志趣。志，《文选》六臣本作"至"。

⑩结友：结交为友。庄忌《哀时命》："与赤松而结友兮，比王侨而为耦。"

⑪五图：图，《乐府诗集》六十三作“芝”。《诗纪》五十云：“一作‘芝’。”解有三说。一说，李善注引《抱朴子》曰：“余闻郑君言，道书之重，莫尚于《三皇文》、《五岳真形图》也。”似以“五图”指《五岳真形图》。按《五岳真形图》为道家所佩带的一种符箓。二说，以“五图”指一般的地图。胡绍煐注下“九龠”句云：“‘九龠’与‘五图’为偶句，则龠为书篇。九龠，犹云九篇耳。”(《文选笺证》)既以“龠”为“书篇”，则与之相对的“图”必以为地图。三说，以“五图”为五种采芝之法。《文选》六臣注刘良云：“采芝法有五，故云五图。出《太清金匮记》。”以上三说，似都未尽妥帖。葛洪《抱朴子·地真》：“仙经曰：九转丹，金液经，守一诀，皆在昆仑五城之内，藏以玉函，刻以金札，封以紫泥，印以中章焉。”“五城”，传说神仙居住的地方，在昆仑山上。《史记·封禅书》：“黄帝时，为五城十二楼，以候神人。”“五图”当为存放丹经的所在，因此颇疑“五图”指“五城”之图，也即指“五城”。 发：开。 金记：指《金液经》之类的记载冶炼金丹(古代方士、道士用黄金炼成的“玉液”，或用铅汞等八石烧炼成的黄色药金)方法的书。

⑫九龠(yuè 岳)：有三说。一说，“龠”指道家藏经卷的容器。李善注：“《尚书》曰：‘启龠见书。’郑玄《易纬》注曰：‘齐、鲁之间，名门户及藏器之管曰龠，以藏经。’而丹有九转，故曰九龠也。”刘良注：“仙经有《九转金液丹法》，龠可以盛书，故云‘隐丹经’。”九转，道教炼丹名词，谓金丹经反复烧炼之意。认为反复次数越多，药力越足，服后成仙越快。详见《抱朴子·金丹》。二说，认为“九龠，犹云九篇耳”，已见前注。三说，吴聿《观林诗话》：“李善注：‘《易纬注》：齐、鲁之间，名门户及藏器之管曰龠，以藏经。而丹有九转，故曰九龠。’此可笑也。天门有九，故曰九龠。涪翁云‘九龠天阙守夜义’是也。”李善注可通，但如以“五图”指五城，则“九龠”以指天之九门为宜。 隐：藏。 丹经：犹“金记”。

⑬风餐：谓以风为食。《庄子·逍遥游》：“藐姑射之山，有神人居焉。……不食五谷，吸风饮露。” 委：托身。 宿：《文选集注》云：“或为‘柏。’”

⑭恣：任意。

⑮冠霞：头戴彩霞。李善注引郭璞《游仙诗》：“振发戴翠霞(按，一作‘戴翠羽’)，解褐礼绛霄。” 登：《乐府诗集》六十三作“金”。 彩阁：指仙阁。

⑯解玉：解下佩玉。谓辞官。《文选》六臣注吕向云：“冠霞，谓从仙也。解玉，谓去仕也。” 饮：《乐府诗集》六十三云：“一作‘隐’。” 椒庭：指仙宫。宫内以椒和泥涂壁，取其芳香。

⑰蹔：同“暂”，短暂，一刹那。 越：越过。李善注引《神仙传》“若士谓卢敖

曰：‘吾一举千万里，吾犹未之能。’”

⑱近别：稍别，分别一会儿。近，《诗纪》五十作“少”。 龄：年。李善注引《马明先生别传》：“昔与女郎游于安息，忆此未久，已二千年矣。”江淹《别赋》：“蹔别万里，少别千年。”

⑲“凤台”句：用萧史、弄玉故事。《列仙传》卷上：“萧史者，秦穆公时人也。善吹箫，能致孔雀白鹤于庭。穆公有女字弄玉，好之。公遂以女妻焉。日教弄玉作凤鸣。居数年，吹似凤声，凤凰来止其屋。公为作凤台，夫妇止其上不下数年，一旦，皆随凤凰飞去。故秦人为作凤女祠于雍宫中，时有箫声而已。”

⑳遗声：指还有萧史所吹的箫声。即《列仙传》所云：“时有箫声而已”。阮籍《咏怀》其三十一：“箫管有遗音，梁王安在哉？”

㉑时：《乐府诗集》六十三云：“一作‘当’。” 尔曹：你辈，你们。指世间追名逐利、钻营谗佞的小人。

㉒腥：臭味。

【译文】

祖祖辈辈住在京畿，
打年轻就仕宦京城。
十帝之事无不知晓，
西京东京尽知底细。
世事兴衰看得厌倦，
或难或易翻覆不停。
倏忽变化犹如反掌，
又似朝花转眼凋零。
穷途末路后悔计短，
老来志趣看重长生。
随师走进幽山远岳，
结伴交友奉事仙灵。
五图打开捧读金记，
九龠里面藏有丹经。

吸风饮露松间歇宿，
静卧彩云漫天游行。
头顶彩霞登上彩阁，
解下佩玉酣饮椒庭。
刹那之间飞越万里，
稍别就是好几千年。
凤台萧史不再飞回，
偶还传来箫管之声。
何时能与你们一道，
共同来把腐腥啄吞？

（张亚新　译注）

鼓吹曲一首

谢玄晖

【作者】

见卷二十《新亭渚别范零陵》作者介绍。

【题解】

《鼓吹曲》，全称《齐随王鼓吹曲》，《乐府诗集》收入《鼓吹曲辞》，为南朝萧齐永明八年(490)奉随王萧子隆训示而作，共八曲，这是其中的第四曲，名《入朝曲》。诗篇歌颂京都的堂皇富丽和藩王

的功德，有一定认识价值，在绘景状物、声调格律方面尤见特色。全诗除最后两句外，其余八句词采华丽，对仗工整，声律方面大都合于平仄规律，读来音韵铿锵，琅琅上口，充分体现出永明新体诗的特点。严羽《沧浪诗话·诗评》云："谢朓之诗，已有全篇似唐人者，当观其集方知之。"这即是一篇典型的"似唐人"的作品。

【原文】

江南佳丽地①，　金陵帝王州②。
逶迤带渌水③，　迢递起朱楼④。
飞甍夹驰道⑤，　垂杨荫御沟⑥。
凝笳翼高盖⑦，　叠鼓送华辀⑧。
献纳云台表⑨，　功名良可收⑩。

【注释】

①江南：指扬州。为古九州之一，其地相当今江苏南部地区。《尔雅·释地》："江南曰扬州。"　佳丽：指土地景物美好。

②金陵：古地名。战国楚威王置金陵邑。秦称秣陵。三国吴自京口迁都于此，称建业。东晋、南朝宋齐梁陈皆都于此，改称建康。即今江苏南京市。李善注引《吴录》："秦始皇时，望气者云：金陵有王者气。"

③逶（wēi 威）迤（yǐ 已）：弯曲延续貌。　带：环绕。　渌（lù 录）：清澈。左思《吴都赋》："树以青槐，亘以渌水。"

④迢递：远貌，谓楼房鳞次栉比，一直延向远方。递，《三谢诗》作"遞"。朱：大红色。

⑤飞甍（méng 萌）：高耸如飞的屋檐。　驰道：犹言御道，皇帝驰走车马之处。左思《吴都赋》："朱阙双立，驰道如砥。……长干延属，飞甍舛互。"

⑥荫：遮蔽。　御沟：流入宫内的河道。也称杨沟、羊沟。《三辅黄图·杂录》："长安御沟，谓之杨沟，谓置高杨于其上也。"

⑦凝：声调徐缓。李善注："徐引声谓之凝。"　笳：古管乐器名，汉时流行于西域一带少数民族间，后传入内地。　翼：送。　高盖：高盖车，其车盖高，可

立乘。《汉书·于定国传》:“少高大其门,令容驷马高盖车。”

⑧叠:轻击鼓。李善注:“小击鼓谓之叠。” 华辀(zhōu 舟):华美的车子。

⑨献纳:指进言以供采纳。班固《两都赋序》:“朝夕论思,日月献纳。” 云台:本汉宫中高台名,汉明帝曾图画中兴功臣三十二人于此。这里借指皇宫。表:上面。

⑩良:确实。

【译文】

江南大地山河锦绣,
金陵虎踞帝王之州。
绿水环绕犹如飘带,
鳞次栉比遍地朱楼。
驰道两旁屋檐高耸,
垂杨浓郁荫蔽御沟。
高车徐驶笳声相伴,
朱轮来往鼓声悠悠。
献纳忠言云台之上,
转瞬就可功成名就。

(张亚新 译注)

挽歌

挽歌一首

缪熙伯

【作者】

缪袭(186～245),三国魏诗人。字熙伯,东海兰陵(今山东苍山县兰陵镇)人。初在御史大夫府任职,历仕曹操、曹丕、曹睿、曹芳四朝,官至尚书、光禄勋。有才学,多所撰述。《隋书·经籍志》著录其《列女传赞》一卷、文集五卷,已佚。今存《鼓吹曲》十二首,五言诗一首。钟嵘《诗品》将其列为下品,评云:"熙伯《挽歌》,惟以造哀尔!"

【题解】

《挽歌诗》,一作《挽歌》,《乐府诗集》收入《相和歌·相和曲》。挽歌初为送葬时牵挽柩车的人所唱的哀悼死者的歌,如《薤露》、《蒿里》之类。《薤露》古辞云:"薤上露,何易晞。露晞明朝更复落,人死一去何时归!"《蒿里》古辞云:"蒿里谁家地,聚敛魂魄无贤愚。鬼伯一何相催促,人命不得少踟躕。"本篇在写作上受《薤露》、《蒿里》古辞影响,但通过对整个人类历史的理性审视,在不无伤感的同时表现出一种达人式的平静,形成一种"词极峭促,亦淡以悲"(何焯《义门读书记》卷四十七)的艺术境界。直接以"挽歌"为题始于缪袭,此后陆机、陶渊明、鲍照、白居易等历代诗人均有同题之

作，并且大多能对死亡怀抱一种达观态度，从中不难看出缪袭的影响。

【原文】

生时游国都，　死没弃中野①。
朝发高堂上，　暮宿黄泉下②。
白日入虞渊③，悬车息驷马④。
造化虽神明⑤，安能复存我？
形容稍歇灭⑥，齿发行当堕⑦。
自古皆有然⑧，谁能离此者？

【注释】

①中野：荒野之中。《易·系辞传》："葬之中野，不封不树。"

②黄泉：地下的泉水，黄色。这里指墓穴。王充《论衡·薄葬》："亲之生也，坐之高堂之上；其死也，葬之黄泉之下。"

③虞渊：神话中的日入之处。《淮南子·天文》："日入于虞渊之汜。"

④悬车：指黄昏前的一段时间。《淮南子·天文》："至于悲谷，爰止其女，爰息其马，是谓悬车；至于虞渊，是谓黄昏。"　驷(sì 似)马：套有四马之车。古神话说羲和驾车载太阳，朝发扶桑，暮入虞渊。

⑤造化：指天地或大自然的创造化育。

⑥形容：容貌。　稍：渐渐。　歇：尽，完。

⑦行：将要。

⑧然：这样。

【译文】

生时欢欣畅游国都，
死没凄凉抛弃荒野。
早上出发高堂之上，

晚上歇宿黄泉之下。
白日西沉进入虞渊，
停下车驾黄昏之前。
天地造化虽然神明，
怎能把我再留世间？
容颜天天走向衰老，
牙齿头发将要落完。
从古至今无不如此，
谁能逃脱命运安排？

（张亚新　译注）

挽歌三首

陆士衡

【作者】

见卷十六《叹逝赋》作者介绍。

【题解】

《挽歌诗三首》，《乐府诗集》收入《相和歌·相和曲》。三首排列

顺序，《陆机集》以《文选》之第二首为第三首，第三首为第二首，与诗意较为吻合。前二首写送葬者“呼子子不闻，泣子子不知”的哀恸和“哀鸣兴殡宫，回迟悲野外”的送葬情景，第三首则转以死者口吻，通过今昔对比，抒写死者本人的悲痛，想象奇特，情词哀婉。这种代死者为词的写法，脱胎于阮瑀《七哀诗》，但有了很大发展，对后来陶渊明写作《挽歌辞三首》有很大影响。魏晋时代，战乱频仍，瘟疫继踵，死人的事经常发生，人人都有朝不保夕的危惧感，诗篇所表现的对于死的悲切沉痛，代表了一种典型的社会情绪，在知识阶层中有其普遍的意义。

【原文】

卜择考休贞①，　嘉命咸在兹②。
夙驾惊徒御③，　结辔顿重基④。
龙幌被广柳⑤，　前驱矫轻旗⑥。
殡宫何嘈嘈⑦，　哀响沸中闱⑧。
中闱且勿谨⑨，　听我《薤露》诗⑩。
死生各异伦⑪，　祖载当有时⑫。
舍爵两楹位⑬，　启殡进灵辒⑭。
饮饯觞莫举⑮，　出宿归无期。
帷衽旷遗影⑯，　栋宇与子辞⑰。
周亲咸奔凑⑱，　友朋自远来。
翼翼飞轻轩⑲，　骎骎策素骐⑳。
按辔遵长薄㉑，　送子长夜台㉒。
呼子子不闻，　泣子子不知。
叹息重榇侧㉓，　念我畴昔时㉔。
三秋犹足收㉕，　万世安可思。

殉没身易亡㉖， 救 子非所能。
含言言哽咽， 挥涕涕流离㉗。

【注释】

①卜择：用占卜选择出殡的日期。 考：考察 。 休贞：休，美；贞，正。美好恰当的意思。

②嘉命：犹嘉名，美名。指所选择的日期美好。 咸：都。兹：此。

③夙驾：早起驾车出行。 惊：《乐府诗集》二十七作“警”，疑是。警，指严肃地护卫着。 徒御：徒，徒步行走的挽车者；御，驾车者。《诗经·大雅·车攻》：“徒御不惊，大庖不盈。”

④结辔：谓停车。辔，马缰绳。 顿：停留。 重基：谓崇山之中。李善注引《春秋运斗枢》：“山者，地基也。”

⑤龙幠（máng 盲）：灵柩上画着龙形的饰物。幠，同“荒”。《礼记·丧大记》：“饰棺，君龙帷、三池、振容、黼荒。”疏：“君，诸侯也。帷，柳车边障也，以白布为之，王侯皆画为龙，故云君龙帷也。”注：“荒，蒙也，柳车上覆，谓鳖甲也。缘荒边为白黑斧文，故云黼荒。” 广柳：广柳车，载运棺柩的大车。《史记·季布传》：“乃髡钳季布，衣褐衣，置广柳车中。”《集解》引服虔曰：“东郡谓广辙车为‘柳’。”引邓展曰：“皆棺饰也。载以丧车，欲人不知也。”引李奇曰：“大牛车也。车上覆为柳。”引瓒曰：“《茂陵书》中有广柳车，每县数百乘，是今运转大车是也。”其说不一，以邓展说为近是。

⑥前驱：前边导引的人。 矫：举。 轻旗：指魂幡，为出丧时为棺柩引路的旗。参阅第三首注⑧。

⑦殡宫：临时停柩之所。 嘈嘈：喧闹声。

⑧中闱：内室之中。

⑨中闱：《乐府诗集》二十七作：“闱中”。 谨（huān 欢）：喧哗。《初学记》十四、《乐府诗集》二十七并作“喧”。

⑩《薤（xiè 谢）露》：乐府曲调名，属《相和歌·相和曲》，古辞为送葬时所唱的挽歌。薤是一种多年生草本植物，薤露易干以喻人的年命短速。参阅前缪熙伯《挽歌诗》题解。

⑪伦：同类。各异伦，《初学记》十四作“必异论”。李善注引范晔《后汉书》：

“唐姬诗曰：‘死生各异兮从此乖。’”

⑫祖载：将葬之际，举柩升车上，行祖祭之礼，称祖载。《后汉书·蔡邕传》上封事“[桓]思皇后祖载之时”注：“《周礼》曰：‘丧祝掌大丧，及祖饰棺[乃]载，遂御之。’郑玄注云：‘祖谓将葬祖祭于庭，载谓升柩于车也。’”

⑬舍爵：放置酒器。《礼记·礼器》：“宗庙之祭，贵者献以爵。”注：“凡觞，一升曰爵。” 两楹(yíng 盈)位：殿堂的中间。楹，堂前直柱。《礼记·檀弓上》：“殷人殡于两楹之间，则与宾主夹之也。……予畴昔之夜，梦坐奠于两楹之间。”

⑭启殡：移动灵柩。 辘(ér 而)：丧车。《释名·释丧制》：“舆棺之车曰辘。”李善注引《仪礼》：“迁于祖，用辘，正柩于两楹间，奠设如初。”

⑮饯：以酒宴送行。《诗经·邶风·泉水》：“出宿于泲，饮饯于祢。” 觞(shāng 商)：酒器。 觞莫举：《初学记》十四作“怅莫反”。

⑯帷：床帐。 衽(rèn 任)：床席。 旷：空。

⑰栋宇：房屋。 子：你。指死者。

⑱周亲：至亲。 咸：都。 奔凑：奔赴。

⑲翼翼：疾行如飞貌。轻轩：轻车。

⑳骎(qīn 侵)骎：马行疾貌。《诗经·小雅·四牡》：“驾彼四骆，载骤骎骎。” 策：鞭打。 素骐：白马。

㉑按辔：扣紧马缰，使马慢慢前行。 遵：沿着。 长薄：指郊野。薄，草木丛生之处。

㉒长夜台：指墓穴。阮瑀《七哀诗》：“冥冥九泉室，漫漫长夜台。”

㉓重榇(chèn 衬)：棺木。古代棺木有两重，外曰椁，内曰棺。

㉔畴昔：往日。

㉕三秋：《诗经·王风·采葛》：“一日不见，如三秋兮。”疏：“年有四时，时皆三月，三秋谓九月也。”后多作三年解。 收：结束，衰谢。

㉖殉：李善注：“‘殉’或为‘殒’。”殒没，即死亡。

㉗挥涕：拭泪。 流离：泪淋漓貌。司马相如《长门赋》：“左右悲而垂泪兮，涕流离而从横。”

【译文】

占卜选择出殡日期，
嘉瑞吉祥尽在今日。
早起驾车众人肃整，
拴好马缰停车山里。
龙形饰物覆盖丧车，
前面高举引路轻旗。
停柩之所何其喧闹，
内室之中哀声沸盈。
且请各位暂勿喧哗，
听我歌吟《薤露》之诗。
一死一生各不同类，
临葬祖祭终当有时。
置酒祭奠殿堂中间，
移动灵柩放入丧车。
以酒饯行酒杯不举，
出外眠宿永无归期。
床帐床席空留暗影，
房屋从此与你长辞。
至亲一齐赶来吊唁，
友朋纷纷自远方来。
驾着轻车疾行如飞，
赶着白马心急如焚。
沿着山野马儿徐行，
送你前往长夜之台。
大声呼唤你听不见，

放声恸哭你岂能知。
长声叹息棺椁旁边，
忆念我们往昔情谊。
三年分别尚足衰谢，
万世别离怎可思议。
人身死亡实在容易，
救你还生哪有可能。
心中有话哽咽难言，
欲把泪拭泪更淋漓。

【原文】

重阜何崔嵬①，　玄庐窜其间②。
旁薄立四极③，　穹隆放苍天④。
侧听阴沟涌⑤，　卧观天井悬。
广霄何寥廓⑥，　大暮安可晨⑦！
人往有反岁⑧，　我行无归年。
昔居四民宅⑨，　今托万鬼邻⑩。
昔为七尺躯，　今成灰与尘。
金玉素所佩⑪，　鸿毛今不振⑫。
丰肌飨蝼蚁⑬，　妍姿永夷泯⑭。
寿堂延螭魅⑮，　虚无自相宾⑯。
蝼蚁尔何怨？　螭魅我何亲？
拊心痛荼毒⑰，　永叹莫为陈⑱。

【注释】

①重阜：犹言崇山。阜，土山，丘陵。　崔嵬：高耸貌。

②玄庐：黑屋子。指墓舍。 窜：安置，建筑。

③旁薄：《乐府诗集》二十七作“磅礴”。 四极：四方极远之地。

④穹隆：墓舍中间高而四周低的形状。扬雄《太玄·玄告》：“天穹隆而周乎下，地旁薄而向乎上。”《初学记》十四、《御览》五五二作“崇隆”，《乐府诗集》二十七作“穹崇”。 放：《初学记》、《御览》、《乐府诗集》并作“效”。

⑤阴沟：李善注：“古之葬者，于圹中为天象及江河，阴沟，江河也，天井，天象也。”《史记·秦始皇本纪》：“始皇初即位，穿治郦山，以水银为百川江河大海，机相灌输，上具天文，下具地理。”

⑥广霄：霄，天空。《初学记》十四、《御览》五五二、《乐府诗集》二十七并作“圹宵”。 寥廓：旷远辽阔。

⑦大暮：无边无际的夜晚。暮，本指傍晚，这里以指夜晚。 晨：用作动词，天亮。李善注引张奂《遗令》：“地底冥冥，长无晓期。”

⑧反：同“返”。

⑨四民：士、农、工、商。《谷梁传·成公元年》：“古者有四民：有士民、有商民、有农民、有工民。”民，《初学记》十四、《御览》五五二并作“人”。

⑩托：《初学记》十四、《御览》五五二并作“为”。

⑪素：一向。《初学记》十四、《御览》五五二、《乐府诗集》二十七并作“昔”。

⑫鸿毛：喻轻。李善注：“燕丹子曰：死有轻于鸿毛。” 振：举。

⑬丰肌：丰腴的肌肤。 飨（xiǎng 享）：用酒食招待人。这里为给食之意。蝼蚁：蝼蛄与蚂蚁。《庄子·列御寇》：“在上为乌鸢食，在下为蝼蚁食。”

⑭妍姿：美好的姿容。《初学记》十四作“形骸”，《御览》五五二作“形体”，《乐府诗集》二十七作“妍骸”。 夷泯：灭绝。

⑮寿堂：祭祀的地方。 延：引进。 螭（chī 吃）魅：传说山林中能害人的怪物。《左传·宣公三年》：“螭魅罔两，莫能逢之。”注：“螭，山神，兽形。魅，怪物。”

⑯相宾：相与为客。即与虚无为伴。

⑰拊心：抚胸，拍胸。 荼（tú 涂）毒：残害。

⑱永叹：长叹。陈：陈诉。

【译文】

崇山峻岭何其崔嵬，

漆黑墓舍建筑其间。
气势磅礴立于四极，
形状穹隆就像青天。
侧面倾听阴沟水响，
仰卧观看天井高悬。
天空茫茫何其辽阔，
黑夜无边哪有早晨。
别人外出总要回来，
我这一走永无归期。
过去住在四民之宅，
而今却与万鬼为邻。
过去堂堂七尺之躯，
而今化作泥土灰尘。
过去身上披金戴玉，
而今却比鸿毛还轻。
丰腴肌肤蝼蚁啮食，
美好姿容永远灭绝。
寿堂之上螭魅来往，
长与虚无彼此亲近。
蝼蚁对我有何怨恨？
我同螭魅又有何亲？
抚胸悲痛遭此残害，
引颈长叹不再吭声。

【原文】

流离亲友思①，　惆怅神不泰②
素骖伫辋轩③，　玄驷骛飞盖④。
哀鸣兴殡宫⑤，　回迟悲野外⑥。
魂舆寂无响⑦，　但见冠与带。
备物象平生⑧，　长旌谁为旆⑨？
悲风徽行轨⑩，　倾云结流蔼⑪。
振策指灵丘⑫，　驾言从此逝⑬。

【注释】

①流离：见第一首注㉗。　思：悲。

②惆怅：伤感，悲痛。　泰：安宁。

③素：白色。　骖（cān 参）：同驾一车的三匹马。　伫：久立。　辋轩：丧车。

④玄：黑色。　驷：同驾一车的四匹马。　骛（wù 务）：奔驰。　盖：车盖。

⑤兴：响起。　殡宫：见第一首注⑦。

⑥回迟：徘徊，迟延。

⑦魂舆：魂车，古代丧礼于下葬前依死者生前外出之状所备的车。《仪礼·既夕礼》："荐车直东荣。"郑玄注："荐，进也。进车者，象生时将行陈驾也，今时谓之魂车。"

⑧平生：平时。

⑨旌：即旌铭，灵柩前的旗幡，用绛帛做成，上以粉书死者姓名、官衔。《后汉书·赵咨传》："表以旌铭之仪。"注："《礼记》曰：'铭，明旌也。以死者为不可别，故以其旗识之。'"　谁为：为谁。　旆（pèi 配）：旗帜。即"旌"。这里用作动词，制作旌旗。

⑩徽：李善注："《尔雅》曰：'徽，止也。'或作'鼓'。"《书钞》九十二作"激"，《乐府诗集》二十七作"鼓"。　轨：车两轮间的距离，代指车。

⑪结：聚合。　蔼：通"霭"，云气。

⑫振策：挥鞭。灵丘：墓地。

⑬驾：驾车。　言：语气词。

【译文】

亲友悲痛涕泪涟涟，
满怀惆怅心神不安。
白马久立丧车不前，
黑马奔驰车盖翩翩。
停柩之所哭声四起，
悲伤难行徘徊旷野。
魂车之中寂无声响，
只见冠带还似从前。
准备物品宛若平时，
长旌飘拂为谁备办？
悲风环绕车前车后，
云气汇聚车顶盘旋。
挥动马鞭朝着墓地，
驾车前往永别人间。

（张亚新　译注）

挽歌一首

陶渊明

【作者】

见卷二十六《始作镇军参军经曲阿作》作者介绍。

【题解】

《挽歌诗一首》,《乐府诗集》收入《相和歌·相和曲》,原共三首,此为第一首。《陶渊明集》题作《拟挽歌辞三首》,此为第三首。与《自祭文》俱为诗人的自挽之词,约作于宋文帝元嘉四年(427)九月,即诗人临终前两月。诗篇"音调弥响,哀思弥深"(沈德潜《古诗源》卷九),同时也表现了诗人对生死现实的旷达态度和视死如归的理性精神。结尾四句为名句,鲁迅曾在《纪念刘和珍君》(《华盖集续编》)一文中加以称引。

【原文】

荒草何茫茫①,　白杨亦萧萧②。
严霜九月中,　送我出远郊。
四面无人居,　高坟正嶕峣③。
马为仰天鸣④,　风为自萧条⑤。
幽室一已闭⑥,　千年不复朝⑦。

千年不复朝，　贤达无奈何⑧。
向来相送人，　各已归其家。
亲戚或余悲⑨，　他人亦已歌。
死去何所道，　托体同山阿⑩。

【注释】

①茫茫：广大无边际貌。古诗："四顾何茫茫，东风摇百草。"

②萧萧：风吹树木的声音。古诗："白杨何萧萧，松柏夹广路。"

③嶕(jiāo 交)峣(yáo 摇)：高耸貌。

④"马为"句：《乐府诗集》二十七作"鸟为动哀鸣"。注："一作'马为仰天鸣'。"

⑤"风为"句：《乐府诗集》二十七作"林风自萧条"。

⑥幽室：指墓穴。

⑦朝：早晨。用作动词，天亮。

⑧贤达：有道德有知识的人。

⑨亲戚：指家人。

⑩山阿：山陵。

【译文】

荒草茫茫无边无际，
风吹白杨其声萧萧。
严霜铺地深秋九月，
送我离家去到远郊。
四面空落无人居住，
座座坟丘耸得高高。
马儿为之仰天长鸣，
风儿为之寂寞萧条。
墓穴一经用土封闭，

长夜漫漫永不天晓。
长夜漫漫永不天晓，
贤达也会无可奈何。
原先赶来送葬之人，
各自已经回到家中。
父母妻子或有余悲，
他人却已放声高歌。
死去还有什么可说，
山陵中把身体寄托。

（张亚新　译注）

杂歌

歌 一 首 并序

荆 轲

【作者】

荆轲(？～前227)，战国末卫国人。先世为齐人。卫人称为“庆

卿”，游历至燕，燕人称为“荆卿”。好读书击剑。由田光推荐给燕太子丹，拜为上卿。被派入秦，向秦王进献燕督亢（今河北涿州、易县、固安一带）图，图穷而匕首见，乘机行刺，未遂被杀。

【题解】

《歌一首》，即《荆轲歌》，一作《渡易水歌》，《乐府诗集》收入《琴曲歌辞》，为荆轲自燕出发赴秦时所唱。《史记·刺客列传》：“太子及宾客知其事者，皆白衣冠以送之。至易水之上，既祖，取道，高渐离击筑，荆轲和而歌，为变徵之声，士皆垂泪涕泣。又前而为歌曰：‘风萧萧兮易水寒，壮士一去兮不复还’复为羽声慷慨，士皆瞋目，发尽上指冠。于是荆轲就车而去，终已不顾。”其歌情景交融，悲壮淋漓，虽只短短两句，却尽将其时其地的其景其情传出，“至今读之，犹存变徵之声”（沈德潜《古诗源》卷一），成为千古不磨的杰作。

【原文】

燕太子丹使荆轲刺秦王①，丹祖送于易水上②。高渐离击筑③，荆轲歌，宋如意和之曰④：

风萧萧兮易水寒⑤，
壮士一去兮不复还！

【注释】

①燕太子丹（？～前226）：战国末燕王喜太子。秦灭韩前夕，为质于秦，因不受礼遇，怨而逃归。秦灭韩、赵后，略地至燕南界，丹震惧，派荆轲入秦刺秦王。事败后，秦急发兵攻燕，拔蓟（今北京）。丹率部走保辽东，被燕王喜斩首以献秦。　使：派遣。　秦王：即秦始皇嬴政，公元前246年至公元前210年在位。

②祖送：饯行。　易水：水名，在今河北易县东南。

③高渐离：战国末燕国人。与荆轲为至交。荆轲赴秦，他到易水送别，以壮

行色。秦灭燕后，隐姓埋名为人佣保。后秦始皇闻其善击筑，召见之，熏瞎其双目，仍使击筑。他在筑内暗放铅丸，就近扑击秦王，不中被杀。 筑：古弦乐器名。

④宋如意：未详其人。 和(hè 贺)：应和，跟着唱。

⑤萧萧：风声。 兮：语气词。古音读如“阿”，犹今口语“啊”。

【译文】

燕太子丹派遣荆轲前去刺杀秦王，丹在易水岸边设宴送行。高渐离击筑，荆轲引吭高歌，宋如意跟着应和。歌词云：

风声萧萧啊易水寒，
壮士一去啊不再回还！

（张亚新 译注）

歌 一 首 并序

汉高祖

【作者】

汉高祖(前 256～前 195)，即刘邦，西汉著名政治家。字季，沛县丰邑(今江苏丰县)人。初为亭长。秦二世元年(前 209)，起兵响应陈胜起义，自称沛公。前 206 年，率军进入咸阳，灭秦，被项羽封为汉王。旋与羽战，前 202 年，败羽，统一全国，建立汉朝，在位 8 年。《汉书·艺文志》著录《高祖传》十三篇，乃刘邦“与大臣述古语

及诏策也”；另有《高祖歌诗》二篇。

【题解】

《歌一首》，见《史记·高祖本纪》和《汉书·高帝纪》，《史记·乐书》又作《三侯之章》，《艺文类聚》作《大风歌》，《乐府诗集》收入《琴曲歌辞》，题作《大风起》。公元前195年，刘邦东讨淮南王英布，西归途中，在家乡沛县召故人父老子弟饮酒，席间击筑并作了此诗，“令儿皆和习之。高祖乃起舞，慷慨伤怀，泣数行下”（《史记》本纪）。“时帝春秋高，韩彭已诛，而孝惠仁弱，人心未定”（沈德潜《古诗源》卷二），因而诗篇包含着极复杂微妙的情绪，既有统一天下的自豪感，又有对故乡的依恋之情，更深怀着对国家前途的忧虑。风格雄豪质朴，震铄古今。朱熹评云：“自千载以来，人主之词，亦未有若是之壮丽而奇伟者也。呜呼雄哉！”（《楚辞后语》卷一）

【原文】

高祖还，过沛①，留。置酒沛宫，悉召故人父老子弟佐酒②，发沛中儿得百二十人③，教之歌。酒酣④，上击筑自歌曰⑤：

大风起兮云飞扬⑥，
威加海内兮归故乡⑦。
安得猛士兮守四方⑧！

【注释】

①沛：县名，在今江苏沛县东。

②悉：尽。佐酒：陪伴吃酒。《史记·高祖本纪》作“纵酒”。

③发：挑选。

④酣：酒喝得很畅快。

⑤上：指高祖。筑：弦乐器名。

⑥风起、云飞：李善注："喻群凶竞逐，而天下乱也。"一说："风喻已，云喻乱也。"（李周翰注）

⑦威加海内：威镇天下。谓已取得胜利，统一中国。海内，《书钞》一百六作"四海"。

⑧猛：《御览》五三九作"壮"。李善注："夫安不忘危，故思猛士以镇之。"李周翰注："已平乱还故乡，故思与贤才共守之。"

【译文】

高祖平叛回来，经过沛县，停留下来。在沛宫中摆下酒宴，把旧友父老兄弟全都请来，陪着吃酒，又在沛县挑选了一百二十个儿童，教他们唱歌。酒喝到高兴处，高祖亲自击筑，放声高唱道：

大风骤起啊，青云飞扬，
威镇天下啊，回到故乡。
如何能得到猛士啊，为我镇守四方！

（张亚新　译注）

扶风歌一首

刘越石

【作者】

见卷二十五《答卢谌诗》作者介绍。

【题解】

《扶风歌一首》,《乐府诗集》收入《杂歌谣辞》,题作九首,“盖以两韵为一首,即乐府四句一解之例也”(陈沆《诗比兴笺》)。扶风,郡名,郡治在今陕西泾阳县。诗作于永嘉元年(307)从洛阳北赴晋阳(今山西太原)任并州刺史途中。《晋书·刘琨传》:“九月末得发,道崄山峻,胡寇塞路,辄以少击众,冒险而进,顿伏艰危,辛苦备尝。”诗篇即表现了赴任沿途的经历和感触,展示了一个忧怀时艰、忠愤交织的爱国志士的情怀。全诗充满禾黍之悲,末路之感,“苍苍莽莽,一气直达”(成书倬云《多岁堂古诗存》),充分体现了“善为凄戾之词,自有清拔之气”、“善叙丧乱,多感恨之词”(钟嵘《诗品》中)的创作特色。

【原文】

朝发广莫门①,　莫宿丹水山②。
左手弯繁弱③,　右手挥龙渊④。
顾瞻望宫阙⑤,　俯仰御飞轩⑥。
据鞍长叹息⑦,　泪下如流泉。
系马长松下,　发鞍高岳头⑧。
烈烈悲风起⑨,　泠泠涧水流⑩。
挥手长相谢⑪,　哽咽不能言⑫。
浮云为我结⑬,　归鸟为我旋⑭。
去家日已远⑮,　安知存与亡⑯。
慷慨穷林中⑰,　抱膝独摧藏⑱。
麋鹿游我前⑲,　猿猴戏我侧。
资粮既乏尽⑳,　薇蕨安可食㉑!
揽辔命徒侣㉒,　吟啸绝岩中㉓。

君子道微矣㉔， 夫子故有穷㉕。
惟昔李骞期㉖， 寄在匈奴庭。
忠信反获罪㉗， 汉武不见明㉘。
我欲竞此曲㉙， 此曲悲且长。
弃置勿重陈㉚， 重陈令心伤。

【注释】

①广莫门：洛阳城北门。并州在洛阳北，故出北门。

②莫：同“暮”。 丹水山：即丹朱岭，在今山西高平县北，是丹水的发源处。

③弯：拉弓。 繁弱：古大弓名。

④龙渊：古宝剑名。 《战国策·韩策一》：“邓师、宛冯、龙渊、大阿，皆陆断马牛，水击鹄雁，当敌即斩坚。”

⑤顾瞻：回头看。 宫阙：指洛阳的皇宫。阙是宫门前两边的望楼。

⑥御：驾。 飞轩：奔驰如飞的车。一说：“‘俯仰’，犹高下也。‘御’，犹驾也。‘飞轩’，廊宇也。言顾见晋宫。”（吕向注）

⑦据：靠着。

⑧发鞍：卸下马鞍。发，或作“废”。张云璈云：“《晋书·袁瓌传》言‘魏武身亲介胄，务在武功，犹尚废鞍览卷，投戈吟咏。’此‘发鞍’或亦作‘废鞍’，与上‘系马’句合。”（《选学胶言》）《初学记》二十八作“歇”。 高岳头：高山头。

⑨烈烈：风声。《乐府诗集》八十四作“冽冽”。

⑩泠（líng 伶）泠：水声。

⑪谢：告辞。

⑫哽咽：悲泣时气结咽塞、说不出话的样子。

⑬结：凝聚。李善注引《汉书》：“息夫躬《绝命辞》曰：秋风为我吟，浮云为我阴。”

⑭归：《乐府诗集》八十四作“飞”。 旋：盘旋。

⑮日已远：一天比一天远。古诗：“相去日已远。”

⑯“安知”句：李善注引韦弘嗣《秋风篇》：“辞亲向长路，安知存与亡。”

⑰穷林：深林。

⑱摧藏：悲伤貌。

⑲麋：鹿的一种。

⑳乏尽：《艺文类聚》四十三作“以乏”。

㉑薇、蕨：两种野菜，嫩时可食。　可：《艺文类聚》四十三作“足”。

㉒揽辔：挽住马缰绳。　徒侣：指随从。

㉓吟啸：唉声长叹。

㉔道：思想，主张，学说。　微：衰微。

㉕夫子：指孔子。故：本来，从前。《诗纪》三十一云：“一作‘固’。”　穷：困厄。《论语·卫灵公》：“孔子在陈绝粮，从者病，莫能兴。子路愠见曰：‘君子亦有穷乎？’子曰：‘君子固穷，小人穷斯滥矣。’”

㉖李：指李陵。　骞期：谓李陵过期不归。骞，通“愆”，《艺文类聚》四十三、《乐府诗集》八十四并作“愆”。李陵于汉武帝天汉二年（前99）率步卒五千出塞击匈奴，至期欲还，而单于以兵八万围击陵军。陵战败降敌，流落匈奴，武帝杀了他的全家。事见《史记·李将军列传》。

㉗忠信：指李陵。李陵忠信之说，本于司马迁。司马迁说李陵“常思奋不顾身，以徇国家之急”，说李陵“身虽陷败彼，观其意，且欲得当而报汉”（《报任安书》）。

㉘不见明：不被谅解。陈沆《诗比兴笺》：“时琨领匈奴中郎将，故借李陵以见志。《文选注》：‘骞期，即愆期。’盖恐旷日持久，讨贼不效，区区孤忠，不获见谅于朝廷耳。”

㉙竟：当作“竟”，完，结束。胡克家《文选考异》：“‘竞’即‘竟’传写误。”宋子侯《董娇饶诗》：“吾欲竟此曲，此曲愁人肠。”

㉚重陈：再说，再唱。曹丕《杂诗》：“弃置勿复陈。”

【译文】

清早从广莫门出发，
傍晚歇宿在丹水山。
左手挽着大弓繁弱，
右手挥着宝剑龙渊。

回头眺望洛阳宫阙，
一下一上驾车如飞。
依着马鞍长声叹息，
泪流不断犹如泉水。
把马拴在长松之下，
卸鞍在那高高山头。
悲风烈烈骤然卷起，
泠泠不断涧水长流。
挥手再见从此长别，
悲痛哽咽哪还能言。
浮云为我结聚不走，
归鸟为我当空盘旋。
离开家园日见遥远，
哪知今后是存是亡。
慷慨悲歌树林深处，
怀抱膝头独自悲伤。
麋鹿游荡在我身前，
猿猴嬉戏在我身侧。
路费干粮都已用光，
薇蕨枯干哪里能吃！
挽缰再命众人动身，
悲吟长啸绝壁之中。
君子之道已经衰微，
孔子也曾遭受困穷。
以前李陵逾期不归，
流落寄身匈奴朝廷。
忠信反而被诬得罪，
不被鉴谅汉武不明。

我想结束这支曲子，
这支曲子既悲且长。
放在一边不再吟唱，
再唱实在让人哀伤。

（张亚新　译注）

中山王孺子妾歌一首

陆韩卿

【作者】

见卷二十六《奉答内兄希叔》作者介绍。

【题解】

《中山王孺子妾歌一首》，《乐府诗集》收入《杂歌谣辞》，共二首，此为第二首。《汉书·艺文志》："诏赐中山靖王子哙及孺子妾冰未央材人歌诗四篇。"颜师古注："孺子，王妾之有品号者也。妾，王之众妾也。冰，其名。材人，天子内官。"《乐府诗集》郭茂倩题解："此谓以歌诗赐中山王及孺子妾、未央才人等尔，累言之，故云及也。而陆厥作歌，乃谓之中山孺子妾，失之远矣。"诗篇写女子由得

宠而失宠的遭遇，罗列典故，失之累赘晦涩，盖钟嵘“自制未优”（《诗品》下）之谓乎？何焯评云：“拟《怨歌行》。陆士衡之乐府，虽本前人之意，实能自开风气，所以可尚。韩卿生承明、天监之时，而规杌前人，略不能自出新意，岂非所谓失肉余皮者乎？”（《义门读书记》卷四十七）

【原文】

如姬寝卧内①，　班婕坐同车②。
洪波陪饮帐③，　林光宴秦余④。
岁暮寒飙及⑤，　秋水落芙蕖⑥。
子瑕矫后驾⑦，　安陵泣前鱼⑧。
贱妾终已矣⑨，　君子定焉如⑩？

【注释】

①如姬：战国魏安釐王的宠妾。　卧内：指魏王卧室之内。安釐王二十年（前257），秦兵围赵邯郸，信陵君欲救赵，魏王不许。隐士侯嬴向信陵君献计说：“嬴闻晋鄙之兵符常在王卧内，而如姬最幸，出入王卧内，力能窃之。”信陵君果请如姬窃得兵符，夺晋鄙军，破秦救赵。事见《史记·魏公子列传》。

②班婕：即班婕妤，汉成帝宠妃。成帝游于后庭，常要班婕妤同车陪侍。婕，《玉台新咏》四作“妾”。

③洪波：台名。春秋末赵简子信用直言之臣周舍，“简子居则与之居，出则与之出。居无几何，而周舍死，简子如丧子。”后与诸大夫饮于洪波之台，酒酣，简子因思念周舍而哭泣。事见《韩诗外传》卷七。

④林光：秦离宫（正式宫殿之外别筑的宫室）名，胡亥时所建，纵横各五里。汉又于其旁起甘泉宫。　秦余：谓秦遗留下来的建筑。张衡《西京赋》：“觌往昔之遗馆，获林光于秦余。”按，如以“洪波”句照应“如姬”句，以“林光”句照应“班婕”句，则未尽妥贴，故李善注云：“秦余汉帝所幸，洪波非魏王所游，疑陆误也。”

⑤寒飙（biāo 标）：寒风。

⑥芙蕖(qú 渠):荷花的别名。

⑦子瑕:弥子瑕,春秋时卫灵公的宠臣。 矫:假托,诈称。 后驾:宫中国君的车驾。《韩非子》载:卫国法律规定,凡私自使用国君车驾者要处以刖刑(一种断足的酷刑)。一天晚上,弥子瑕得知母亲生病,于是假托君命私自乘车前去看望。卫君知道后,不仅没有责怪,相反赞扬说:"孝哉! 为母之故犯刖罪。"

⑧安陵:安陵君,战国时楚共王宠臣,因封于安陵,故称。阮籍《咏怀》其十二:"昔日繁华子,安陵与龙阳。"但安陵君并无"泣前鱼"之事,这里是将"龙阳"误成了"安陵"。龙阳,战国时魏国的宠臣,因封于龙阳,称龙阳君。一次,龙阳君与魏王同船钓鱼,龙阳君钓得十多条后却伤起心来。魏王问这是为什么,龙阳君回答说:"臣之始得鱼也,臣甚喜,后得又益大,今臣直欲弃臣前之所得矣。今以臣凶恶,而得为王拂枕席。今臣爵至人君,走人于庭,辟人于途。四海之内,美人亦甚多矣,闻臣之得幸于王也,必褰裳而趋王。臣亦犹曩臣之前所得鱼也,臣亦将弃矣,臣安能无涕出乎?"事见《战国策·魏策四》。

⑨"贱妾"句:《乐府诗集》八十四云:"一作'贱妾恩已毕'。" 已矣:完了。指终于失去宠爱。

⑩君子:指夫君。 定:确定,打算。 焉如:何如,如何,怎么样。指对"贱妾"打算怎么样。

【译文】

如姬歇宿魏王卧室,
班姬常与成帝同车。
洪波台上陪饮简子,
林光殿中摆下宴席。
一年将尽寒风袭来,
秋水之中飘落芙蕖。
子瑕矫命私驾君车,
安陵悲泣先钓之鱼。
贱妾终于失去宠爱,

夫君打算怎么处置？

（张亚新　译注）

文选全译卷第二十九

诗己

杂诗上

古诗十九首

【题解】

《古诗十九首》最早见于《文选》，作者姓名失考，大约是东汉末年的作品。“古诗”本是六朝人对汉魏诗歌的统称。因这十九首时代风貌和艺术风格相近，萧统编《文选》时便将它们编为一组，后来《古诗十九首》便成了这组五言诗的专称。沈德潜《说诗晬语》云：“《古诗十九首》，不必一人之辞，一时之作。大率逐臣弃妻、朋友阔绝、游子他乡、死生新故之感。”东汉末年，政治黑暗，社会混乱，外出游学求仕的士人大多艰苦备尝，彷徨苦闷，发而为诗，于是便有了这许多或伤离怨别、或叹老嗟卑、或感节序如流、或悲人生无常、或叹知音稀少、或怨友情浇薄的作品，真实反映了当时知识分子失意沉沦的心境。感情真挚，语言自然，表现婉曲，形象生动，艺术上有较高成就。钟嵘《诗品》说它“文温以丽，意悲而远，惊心动魄，可谓几乎一字千金”；刘勰《文心雕龙》说它“结体散文，直而不野，婉转附物，怊怅切情，实五言之冠冕也。”《古诗十九首》成为文学史上

五言诗成熟的标志，对后世产生了深远的影响。

【原文】

行行重行行①，　与君生别离②。
相去万余里③，　各在天一涯④。
道路阻且长⑤，　会面安可知⑥？
胡马依北风⑦，　越鸟巢南枝⑧。
相去日已远⑨，　衣带日已缓⑩。
浮云蔽白日⑪，　游子不顾反⑫。
思君令人老，　岁月忽已晚⑬。
弃捐勿复道⑭，　努力加餐饭⑮！

【注释】

①这是一首思妇怀人之作。张玉谷《古诗赏析》："'重行行'，言行之不止也。"

②生别离：活着分开。含有"生离死别"之意。屈原《九歌·少司命》："悲莫悲兮生别离。"

③相去：相距。

④天一涯：天一方。

⑤阻：险阻，艰险。《诗经·秦风·蒹葭》："溯回从之，道阻且长。"

⑥知：《诗纪》十云："一作'期'。"

⑦胡马：指北方所产的马。胡，汉代对西北少数民族的称谓。依：依恋。《玉台新咏》一作"嘶"。李善注引《韩诗外传》："诗曰：'代马依北风，飞鸟栖故巢'，皆不忘本之谓也。"

⑧越鸟：南方的鸟。越，指南方的越族，居住在今福建、两广一带。

⑨已：同"以"。　远：指时间而言，久。

⑩缓：松弛。衣带日渐宽松，表示人因相思而日渐消瘦。汉乐府《古歌》："离家日趋远，衣带日趋缓。"

⑪“浮云”句：李善注：“浮云之蔽白日，以喻邪佞之毁忠良，故游子之行，不顾反也。《文子》曰：‘日月欲明，浮云盖之。’陆贾《新语》曰：‘邪臣之蔽贤，犹浮云之障日月。’《古杨柳行》曰：‘谗邪害公正，浮云蔽白日。’义与此同也。”朱自清《古诗十九首释》：“李善注引了三证，都只是‘谗邪害公正’一个意思。本诗与所引三证时代相去不远，该还用这个意思。不过也有两种可能：一是那游子也许在乡里被‘谗邪’所‘害’，远走高飞，不想回家。二也许是乡里中‘谗邪害公正’，是非黑白不分明，所以游子不想回家。前者是专指，后者是泛指。”马茂元《古诗十九首初探》：“‘浮云’，是设想他另有新欢，象征彼此间情感的障碍。”从“越鸟”二句看，以朱说可能性较大。

⑫顾：念。　反：同“返”。

⑬“岁月”句：朱自清《古诗十九首释》：“‘岁月忽已晚’和‘东城高且长’一首里‘岁暮一何速’同义，指的是秋冬之际岁月无多的时候。”晚，既指岁暮，也指年老。

⑭“弃捐”句：有两说：一说将心中的烦恼抛开，不必再说了；一说自己被丈夫抛弃，不必再说了。以前说较宜。捐，与“弃”同义。

⑮“努力”句：也有两说：一说希望丈夫努力加餐，一说勉励自己努力加餐。以前说为宜。

【译文】

走啊走啊不停地朝前走，
我同你就这样活活分离。
两地间相距有一万多里，
两人各自住在天的一隅。
道路不仅艰险而且漫长，
何时再会有谁能够料知？
南来胡马依恋凛冽北风，
北飞越鸟筑巢南向树枝。
分别的日子越来越久远，
身上的衣带越来越松缓。

天上的浮云遮蔽了白日，
游子在外不想着把家返。
日思夜念令人很快衰老，
转眼之间这又快到年关。
丢开这些烦恼不用再提，
愿你多多保重努力进餐！

【原文】

青青河畔草①，　郁郁园中柳②。
盈盈楼上女③，　皎皎当窗牖④。
娥娥红粉妆⑤，　纤纤出素手⑥。
昔为倡家女⑦，　今为荡子妇⑧。
荡子行不归，　空床难独守。

【注释】

①这也是一首写思妇的诗。顾炎武《日知录》："诗用叠字最难。《卫诗》：'河水洋洋，北流活活。施罛涉涉；鳣鲔发发。葭菼揭揭，蒹姜孽孽。'连用六叠字，可谓复而不厌，赜而不乱矣。古诗：'青青河畔草，……纤纤出素手。'连用六叠字，亦极自然，下此即无人可继。"　青青：朱自清《古诗十九首释》："'青青'是颜色兼生态，'郁郁'是生态。都带有动词性。"

②郁郁：浓密茂盛貌。

③盈盈：仪态美好貌。

④皎皎：白皙明洁貌。　当：面临。　牖（yǒu 有）：壁窗。

⑤娥娥：娇美貌。　红粉妆：指艳丽的妆饰。

⑥纤纤：手指细而柔长貌。　素：白。

⑦昔为：《书钞》百十二、《初学记》十九并作"自云"。　倡：古代专门从事

歌舞的艺人，与后代所谓娼妓不同。

⑧今：《书钞》百十二、《初学记》十九并作“嫁”。 荡子：游宦异乡、久而不归的人，即游子。和后世浪荡不务正业的所谓浪子不同。

【译文】

满眼青青河边芳草，
郁郁葱葱园中垂柳。
姿容美好楼上女子，
白皙光艳站在窗口。
身段娇美妆饰艳丽，
纤细白净露出双手。
过去曾是歌舞艺人，
今天做了荡子媳妇。
荡子外出久久不归，
空床清冷难以独守。

【原文】

青青陵上柏①，　磊磊涧中石②。
人生天地间，　忽如远行客③。
斗酒相娱乐④，　聊厚不为薄⑤。
驱车策驽马⑥，　游戏宛与洛⑦。
洛中何郁郁⑧，　冠带自相索⑨。
长衢罗夹巷⑩，　王侯多第宅⑪。
两宫遥相望⑫，　双阙百余尺⑬。
极宴娱心意⑭，　戚戚何所迫⑮？

【注释】

①这是一首忧时伤己的感兴诗。前半从人生短促之感写到及时行乐的愿望和行动，情绪显得消极；后半叙述权贵享受，并以己之戚戚忧迫与之对比，在一定程度上流露了对现实的不满。 陵：大的土山。也指坟墓。《庄子·德充符》："受命于地，唯松柏独也，在冬夏青青。"

②磊磊：众石垒积貌。 涧：山沟。朱自清《古诗十九首释》："本诗用三个比喻开端，寄托人生不常的慨叹。陵上柏青青，涧中石磊磊，都是长存的。人生却是奄忽的、短促的。"

③忽：速貌。李善注："《尸子》：'老莱子曰：人生于天地之间，寄也。'《列子》曰：'死人为归人，则生人为行人矣。'《韩诗外传》曰：'枯鱼衔索，几何不蠹。二亲之寿，忽如过客。'"

④斗酒：指不多的酒。斗，酒器。

⑤"聊厚"句：张庚《古诗解》："斗酒本薄，我亦未尝不知其薄，而聊以为厚，不以为薄，真足娱乐矣。"聊，粗略之词，姑且之意。

⑥策：鞭打。 驽马：劣马。策驽马出游，也是"聊厚不薄"之意。

⑦宛：宛县，东汉时为南阳郡治所在，有南都之称，即今河南南阳市。洛，洛阳，东汉都城。

⑧郁郁：盛貌。指人物众多，气象繁盛。

⑨"冠带"句：谓达官贵人之间互相访求，自成集团，不同比他们地位低的人来往。冠带，特指贵人所戴的冠和所束的带，即代指贵人。 索：求，探访。

⑩衢：四通的大道，即大街。 罗：排列。 夹巷：夹在大街两旁的小巷，犹今之胡同。

⑪第宅：府第住宅。第，李善注引《魏王奏事》："出不由里，门面大道者，名曰第。"

⑫两宫：洛阳城内的南北两宫。李善注引蔡质《汉官典职》："南宫北宫，相去七里。"

⑬双阙：指南北宫前两边的望楼。 百余尺：指高度。

⑭极宴：尽情地享乐。 宴：安乐。

⑮戚戚：忧愁貌。《论语·述而》："君子坦荡荡，小人常戚戚。" 迫：逼，指

心情受到压抑。这句有二解：一说指豪贵之人，一说指诗人自己。以后说为近是。黄节云："结语乃强作旷达，正是戚戚之极者也。'极宴娱心意'句总承'洛中'六句，言当时权贵无忧国之心，一味宴乐自娱，我独何所迫而戚戚乎！正打转'斗酒娱乐'、'车马游戏'四句意。"(《古诗赏析》眉批)

【译文】

高山柏树四季常青，
沟中石头长年堆积。
人生在这天地之间，
匆匆就如远行过客。
互献斗酒以相娱乐，
聊以为厚不以为薄。
驾起车来赶着劣马，
游戏且到宛城与洛。
洛阳城中何其繁盛，
贵人互访来往如梭。
大街两旁罗列小巷，
王侯颇多府第住宅。
南北两宫遥遥相对，
两座望楼高百余尺。
尽情享受愉悦心意，
为何忧愁如有所迫？

【原文】

今日良宴会①，　欢乐难具陈②。
弹筝奋逸响③，　新声妙入神④。

令德唱高言⑤，　识曲听其真⑥。
齐心同所愿⑦，　含意俱未申。
人生寄一世，　奄忽若飙尘⑧。
何不策高足⑨，　先据要路津⑩？
无为守穷贱⑪，　轗轲长苦辛⑫。

【注释】

①这是一首凭藉反语、发抒感愤的诗。　良宴会：犹言热闹的宴会。

②具陈：全部说出。

③筝：弦乐器名。　奋：发出。　逸响：奔放的声音。

④新声：指时新歌曲。声，《艺文类聚》三十九作“诗”。

⑤令德：美德，指有美德的人，即歌者。　高言：高妙的言辞，指歌辞。“令德”、“高言”皆反语。

⑥识曲：知音者。　真：指歌曲中的真意、真理。“高言”和“真”均指下文“人生寄一世”六句。

⑦所愿：指上文“高言”言。朱自清《古诗十九首释》：“‘齐心同所愿’是人人心中所欲说，‘含意俱未申’是口中说不出。二语中复沓着‘齐’、‘同’、‘俱’等字，见得心同理同，人人如一。”

⑧奄忽：急遽、速疾貌。　飙尘：被狂风卷起的尘土。比喻人生不仅短促，而且不由自主。飙，《艺文类聚》三十九作“飘”。

⑨策：鞭打。　高足：指快马。

⑩据：占有。　要路津：本指行人必经的渡口，这里比喻高官要职。《孟子·公孙丑上》：“夫子当路于齐。”“当路”犹言执政，也就是“要路津”的意思。

⑪无为：不要。

⑫轗(kǎn 坎)轲：本是车行不利的意思，引申为人不得志。

【译文】

今天宴会真是热闹非常，
欢乐无限难以一一说清。

弹奏筝弦发出奔放音响，
时新歌曲听来奇妙入神。
美德之人唱起高妙歌词，
知音之人明白歌中真情。
大家想的都是一个道理，
只是含而未吐没有作声。
人生一世犹如旅客寄宿，
疾速就像狂风卷起灰尘。
何不赶着马儿快快奔跑，
抢先去把大路渡口占领？
不要老是守着贫穷低贱，
如此失志不遇辛苦一生。

【原文】

西北有高楼①，　上与浮云齐。
交疏结绮窗②，　阿阁三重阶③。
上有弦歌声④，　音响一何悲！
谁能为此曲，　无乃杞梁妻⑤？
清商随风发⑥，　中曲正徘徊⑦。
一弹再三叹⑧，　慷慨有余哀⑨。
不惜歌者苦，　但伤知音稀⑩。
愿为双鸣鹤⑪，　奋翅起高飞。

【注释】

①这是一首感慨知音难遇的诗。

②交疏：交错刻镂。交，《御览》百八十八作“文”。 结绮：连结着的窗格子就像丝织品的花纹。绮，绫之有花纹者，引申为花纹。

③阿阁：四边有檐的楼阁。 三重阶：阶梯有三重，言其高。

④弦歌：以琴、瑟等弦乐器伴奏的歌曲。

⑤无乃：犹言莫非，大概。 杞梁妻：杞梁妻的故事，最早见于《左传·襄公二十三年》，后来许多书籍都有记载。杞梁，名殖，字梁，春秋时齐国的大夫，伐莒战死，其妻痛哭十天后自杀。古乐府《琴曲》有《杞梁妻叹》，《琴操》说是杞梁妻作，《古今注》则说是杞梁妻之妹朝日因“悲其姊之贞操”而作。

⑥清商：乐曲名，其音清越，宜于表现哀怨的情调。

⑦中曲：指乐曲中段。 徘徊：指乐曲旋律回环往复。

⑧一弹：指奏完一曲弦歌。 再三叹：指反复重奏或用泛声和奏。叹，乐曲的和声。

⑨慷慨：失意。《说文》：“慷慨，壮士不得志于心也。”

⑩知音：识曲的人。这里知音引申为知音、知心。余冠英《汉魏六朝诗选》：“以上二句是说我所痛惜的还不是歌者心有痛苦，而是歌者心里的痛苦没有人能够理解。这种缺少知音的悲哀乃是楼中歌者和楼外听者所共有的（听者设想如此），所以闻歌而引起情绪的共鸣。”

⑪鸣鹤：《玉台新咏》一作“鸿鹄”。鸿鹄是善飞的大鸟，从下句“高飞”看，以作“鸿鹄”为近是。汉高祖《鸿鹄歌》：“鸿鹄高飞，一举千里。”

【译文】

西北有一座高高的楼阁，
拔地而起上与浮云等齐。
交错刻镂窗格犹如花纹，
四面曲檐建有三层阶梯。
上面传来弹奏唱歌之声，
声音听来充满无限悲凄！
有谁能够唱出这种曲调，
莫非就是那位杞梁之妻？
清商曲调随着清风散发，

奏到中间乐声往复环回。
一曲奏毕反复泛声和奏，
心中失意留下不尽余悲。
我不痛惜歌者心中痛苦，
只伤歌者世上知音稀微。
我愿同他化成一对鸣鹤，
奋力展翅朝着蓝天高飞。

【原文】

涉江采芙蓉①，　兰泽多芳草②。
采之欲遗谁③？　所思在远道④。
还顾望旧乡⑤，　长路漫浩浩⑥。
同心而离居⑦，　忧伤以终老⑧。

【注释】

①这是一首写游子思乡怀人的诗。刘履《选诗补注》："客居远方，思亲友而不得见，虽欲采芳以为赠，而路长莫致，徒为忧伤终老而已。"　芙蓉：莲花，一名荷花。

②兰泽：长有兰草的低湿之地。　芳草：指兰。屈原《离骚》："兰芷变而不芳兮，荃蕙化而为茅。何昔日之芳草兮，今直为此萧艾也。"即以"芳草"称兰。

③遗（wèi 卫）：赠送。

④所思：《御览》九百九十九作"思之"。　远道：犹言远方。屈原《九歌·山鬼》："折芳馨兮遗所思。"

⑤还顾：回头看。　旧乡：故乡。

⑥漫：即漫漫，这里省叠字为单词。　浩浩：广大无际貌。

⑦同心：指夫妻感情融洽。《易·系辞上》："二人同心，其利断金。"屈原《九歌·大司命》："折疏麻兮瑶华，将以遗兮离居。"

⑧以:《艺文类聚》二十九作“已”。

【译文】

涉水到江中去采摘莲花，
还在兰泽采了许多兰草。
采来花草想要赠送给谁？
赠给所思的人她在远方。
回头眺望那久别的故乡，
只见望不到头的路一条。
感情弥笃而竟长久分离，
怕要彼此忧伤一直到老。

【原文】

明月皎夜光①，　促织鸣东壁②。
玉衡指孟冬③，　众星何历历④！
白露沾野草⑤，　时节忽复易⑥。
秋蝉鸣树间，　玄鸟逝安适⑦？
昔我同门友⑧，　高举振六翮⑨。
不念携手好⑩，　弃我如遗迹⑪。
南箕北有斗⑫，　牵牛不负轭⑬。
良无盘石固⑭，　虚名复何益？

【注释】

①这首诗写悲秋和对于世态炎凉的怨愤。《说文》:“皎，月之白也。”《诗经·陈风·月出》:“月出皎兮。”

②促织:蟋蟀。 鸣东壁:张庚《古诗十九首解》:“东壁向阳,天气渐凉,草虫就暖也。”

③玉衡:指北斗七星中的斗柄三星。北斗七星形状像个舀酒的大斗——长柄的勺子,一至四星成勺形,名斗魁;五至七星成一条线,称斗柄。由于地球绕日公转,从地面上看去,作为恒星的北斗星每月所指的方位不同,一月相差三十度,一年旋转一周。古人于是根据斗星所指方位的变换来辨别节令的推移。 孟冬:冬季的第一个月,即夏历十月。但因诗中所写为秋景,与“孟冬”节令不合,有人认为这句就一夜而言,不是就四季而言。由于地球除公转外,还须自转,北斗在同一夜间,其方位也在变动,于是古人又将北斗划为三分:入夜时分看第一星所指方位,半夜看第五星,天明看第七星。古 人将这称为“斗纲”。斗纲既在不同时间以北斗的三个不同星为指针,自然也可以反过来从不同星所指的方位测定夜间的时刻。马茂元《古诗十九首初探》:“这句是就一天的时刻而言的 。‘孟冬’代表星空中的亥宫,并非实指孟冬十月的时令。结合上下文来看,诗中所写,都是仲秋八月的景象,这句更标明了具体的时刻,正当夜半与天明之间。”

④历历:分明貌。

⑤白露:《礼记·月令》:“孟秋之月,白露降,寒蝉鸣。”

⑥时节:季节。 易:交换。

⑦玄鸟:即燕子。 逝:去。 安适:到什么地方去?燕子是候鸟,秋天避寒就暖,飞向南方。《礼记·月令》“仲秋之月,玄鸟归。”张玉谷《古诗赏析》:“首八(句),就秋夜景物写起,然时节忽易,已暗喻世态炎凉。”

⑧同门友:同在师门受业的朋友,犹言同窗、同学。

⑨高举:高飞。 振:奋。 六翮(hé 合):指翅膀。翮,羽茎。据说善飞的鸟翅膀上有六根劲健的羽茎。《韩诗外传》:“夫鸿鹄一举千里,所恃者六翮耳。”

⑩携手好:犹言旧谊。《诗经·邶风·北风》:“惠而好我,携手同行。”

⑪遗迹:走路时留下的脚印。《国语·楚语下》:“(楚)灵王不顾其民,一国弃之,如遗迹焉。”

⑫南箕:星名,由四星组成,形似簸箕。 斗:指南斗星,由六星组成,形似斗(舀酒器),与箕星同在南方时,箕在南,斗在北。《诗经·小雅·大东》:“维南有箕,不可以簸扬。维北有斗,不可以挹酒浆。”意谓箕星和斗星空有其名,

实际并没有簸米和舀酒的作用，以比喻“同门友”空有“同门友”之名而无“同门友”之实。

⑬牵牛：星名。 轭：车辕前架在牛颈上的横木，牛拉车必负轭。《诗经·小雅·大东》：“脘彼牵牛，不以服箱。”“服箱”与“负轭”同义。此本其意，说牵牛星不能负轭拉车，也是空有其名。

⑭良：诚。 盘石：大石。盘，同“磐”。

【译文】

夜间明月发出清朗光辉，
蟋蟀在那东壁鸣叫不息。
玉衡指着孟冬夜已很深，
群星璀灿分明景象历历。
白露自天而降沾湿野草，
夏去秋来又到换季时节。
秋蝉在树丛间凄厉鸣叫，
燕子南飞不知哪儿歇息？
过去与我同窗共读之友，
而今展翅高飞声名显赫。
毫不顾念携手同游交情，
遗弃旧友就如遗弃足迹。
箕斗空有簸米舀酒之名，
牵牛实际并不拉车负轭。
如不能像磐石坚定不移，
纵有同窗虚名又有何益？

【原文】

冉冉孤生竹①， 结根泰山阿②。

与君为新婚，　兔丝附女萝③。
兔丝生有时，　夫妇会有宜④。
千里远结婚，　悠悠隔山陂⑤。
思君令人老，　轩车来何迟⑥！
伤彼蕙兰花⑦，　含英扬光辉⑧。
过时而不采，　将随秋草萎⑨。
君亮执高节⑩，　贱妾亦何为⑪？

【注释】

①这首诗一说为女子埋怨新婚久别之作，一说为女子埋怨婚迟之作，以前说为近是。　冉冉：柔弱下垂貌。　孤生竹：暗喻自己是个独养女儿，出嫁前依靠父母。

②泰山阿：泰山里面。阿，山曲处。张玉谷《古诗赏析》："孤竹结根，有不移意，直贯章末。"王念孙《读书杂志》谓"泰山当为大山"，魏明帝曹睿《种瓜篇》："愿托不肖躯，有如倚大山。"本此。

③兔丝：一种细柔蔓生的植物，属旋花科，女子自比。　女萝：即松萝，一种地衣类蔓生植物，这里比女子的丈夫。兔丝女萝互相缠绕，比喻夫妇两情缠绵，难解难分。

④会：团聚。　宜：适宜的时间。

⑤悠悠：远貌。　山陂（bēi 卑）：山坡。这句说婚后又久别远离。

⑥轩车：有屏障的车，古时大夫以上官员所乘。女子的丈夫可能是远宦不归。

⑦蕙、兰：皆香草名，女子自比。

⑧含英：指即将盛开的花朵。

⑨萎：枯萎，凋谢。

⑩亮：同"谅"，想必。　高节：高尚的节操，指忠于爱情，守节不移。

⑪何为：干什么，指自伤自怨干什么，也就是不必自伤自怨的意思。张玉谷《古诗赏析》："末二（句），代揣彼心，自安己分。"

【译文】

一根柔弱而孤独的竹子，
把根儿深扎在泰山山窝。
同夫君结合把家庭建立，
就像兔丝紧紧缠绕女萝。
兔丝开花自有一定期限，
夫妻团聚应趁青春盛时。
不远千里赶来结成婚姻，
岂料婚后这样久别远离。
思念夫君使人日趋衰老，
夫君车子实在来得太迟！
可怜那些蕙草以及兰花，
花儿正散发着夺目光辉。
过了时候不去加以采摘，
将随秋草一起凋零枯萎。
想来夫君定会守节不移，
我又何必苦苦伤离怨别？

【原文】

庭中有奇树①，　绿叶发华滋②。
攀条折其荣③，　将以遗所思④。
馨香盈怀袖⑤，　路远莫致之⑥。
此物何足贡⑦，　但感别经时。

【注释】

①这是一首思妇怀念游子的诗。清人邵长蘅说："与《涉江采芙蓉》首意同，而前曰望乡，此称'路远'者，有行者居者之别。" 庭中：《玉台新咏》一作"庭前"。 奇树：犹言嘉树，美好的树木。李善注引蔡质《汉官典职》："宫中种嘉木奇树。"

②发：开放。 华：古"花"字。 滋：繁盛。

③条：枝。 荣：花。

④遗所思：见《涉江采芙蓉》注③、④。

⑤馨：香。

⑥致：送达。《诗经·卫风·竹竿》："岂不尔思，远莫致之。"

⑦贡：李善注："'贡'或作'贵'。"沈德潜《古诗源》："贡，谓献也，较有味。"

【译文】

院中长有一棵嘉美树木，
树叶碧绿花儿开得繁盛。
攀着树枝折下一枝鲜花，
想要送给心中思念的人。
花儿香气充满襟袖之间，
路途遥远送到哪有可能。
这枝花本来不值得远寄，
只因分别久聊表相思情。

【原文】

迢迢牵牛星①， 皎皎河汉女②。
纤纤擢素手③， 札札弄机杼④。
终日不成章⑤， 泣涕零如雨⑥。

河汉清且浅， 相去复几许⑦。
盈盈一水间⑧， 脉脉不得语⑨。

【注释】

①这首诗借天上的牛女双星故事，写人间的男女相思之情。李因笃《汉诗音注》："写无情之星，如人间好合绸缪，语语认真，语语神化。" 迢迢：远貌。《玉烛宝典》作"苕苕"。 牵牛星：俗称牛郎星，为天鹰星座主星，在银河南。

②皎皎：明貌。 河汉：即银河。河汉女，指织女星，为天琴星座的主星，在银河北，与牵牛星隔河相对。牵牛织女为夫妇的传说约产生于西汉。

③擢：举，摆动。《玉烛宝典》作"濯"。 素：白。

④札札：织机声。《初学记》四作"轧轧"。 杼(zhù 助)：织机上穿引横线的梭子。

⑤章：指布帛的经纬纹理。《诗经·小雅·大东》："跂彼织女，终日七襄。虽则七襄，不成报章。"说织女徒有虚名，不会织布，这里袭用其词，说织女因相思无心织布，而终日没有织出成品。

⑥零：落。《诗经·邶风·燕燕》："瞻望弗及，泣涕如雨。"

⑦复：《玉烛宝典》、《艺文类聚》四并作"讵"。 几许：多少。

⑧盈盈：水清浅貌。 水：指河汉。

⑨脉脉："脉脉"的俗写，含情相视貌。

【译文】

牵牛星远远地挂在天际，
对面是颗明亮的织女星。
织女摆动着纤细的双手，
札札地投梭织布忙不停。
忙碌终日也织不成布匹，
泪落如雨只因为了相思。
银河是那样地又清又浅，
彼此相隔能有多少距离？

清浅的河流横隔在中间，
只能含情相视不能言语。

【原文】

回车驾言迈①，　悠悠涉长道②。
四顾何茫茫③，　东风摇百草④。
所遇无故物，　焉得不速老⑤？
盛衰各有时⑥，　立身苦不早⑦。
人生非金石，　岂能长寿考⑧？
奄忽随物化⑨，　荣名以为宝⑩。

【注释】

①这首诗从客观景物的更新，联系到人生寿命的短暂，从而想到当及时努力、建功立业。自警自励的语气中，包含有一种凄恻的情绪。　回：《御览》百九十五作“驱”。　言：语助词。　迈：远行。《诗经·邶风·泉水》：“还车言迈。”又：“驾言出游。”这句《艺文类聚》二十七作“驱车远行役”。

②悠悠：远貌。　涉：经历。

③茫茫：无边际貌。

④东风：春风。　摇：吹动。

⑤焉得：怎能。吴淇《六朝选诗定论》：“‘四顾何茫茫’，正描写‘无故物’光景，‘无故物’正从‘东风’句逼出。盖草经春来，便是新物；彼去年者，尽为故物矣。草为东风所摇，新者日新，则故者日故，时光如此，人焉得不老！老焉得不速！”

⑥各：由春草的荣枯联想到人的盛衰，所以用一“各”字。　时：指一定的时机。

⑦立身：指立德、立功、立言等各种事业的建树。　苦：患，恨。

⑧长寿考：即长寿之意。考，老。

⑨奄忽：迅速貌。 随物化：随着客观事物（如草木等）的变化而变化，指死亡。《庄子·刻意》："圣人之生也天行，其死也物化。"

⑩荣名：光荣的名声，犹言美名。

【译文】

掉过头来驾着车儿远行，
一路山川悠远路途遥遥。
举目四顾旷野无边无际，
春风和煦吹动碧绿野草。
眼中所见都非过去事物，
人又怎能啊不飞快衰老？
荣枯盛衰各有一定时候，
只恨立身没有能够趁早。
人的一生并非坚金固石，
哪能永保健康长生不老？
转眼随着外物走向死亡，
只有荣名可以视作珍宝。

【原文】

东城高且长①， 逶迤自相属②。
回风动地起③， 秋草萋已绿④。
四时更变化⑤， 岁暮一何速！
《晨风》怀苦心⑥，《蟋蟀》伤局促⑦。
荡涤放情志⑧， 何为自结束⑨。
燕赵多佳人⑩， 美者颜如玉。

被服罗裳衣⑪，　当户理清曲⑫。
音响一何悲，　弦急知柱促⑬。
驰情整中带⑭，　沉吟聊踯躅⑮。
思为双飞燕⑯，　衔泥巢君屋。

【注释】

①这是一首描写士人因感年华易逝而思为荡涤情志之行的诗。陆时雍《古诗镜总论》："景驰年摧，牢落莫偶，所以托念佳人，衔泥巢屋，是则荡情放志之所为矣。踢足不伸，祗以自苦，百年有尽，无谓也。"近是。此诗明张凤翼《文选纂注》、清刘大櫆《历朝诗约选》将"燕赵多佳人"以下另作一首，理由是前后文义不连贯，情调不一致。　东城：指东城的城垣。

②逶迤：长貌。　相属：连续不断。

③回风：旋风。　动地起：卷地而起。

④萋：通"凄"。萋已绿，是初秋草木将衰未衰时的景色。

⑤更：更替。

⑥《晨风》：《诗经·秦风》篇名，为女子怀人的诗，中云："未见君子，忧心钦钦。"情调哀苦，故云"怀苦心"。

⑦《蟋蟀》：《诗经·唐风》篇名，中云："蟋蟀在堂，岁聿其莫。今我不乐，日月其除。无已大康，职思其居。好乐无荒，良士瞿瞿。"因其思想拘束而不旷达，故云"伤局促。"

⑧荡涤：冲洗，谓清除烦恼的情绪。　放情志：放纵情怀志意。

⑨结束：拘束。

⑩燕、赵：二国名，其地在今河北、山西一带。　佳人：指女乐。赵地女子多习歌舞为女乐。

⑪被(pī 披)服：穿着。

⑫理：练习。　清曲：清商曲。

⑬柱促：将柱移近。柱是琴瑟等弦乐器上用来支弦的小木柱。每弦一柱，可自由移动以调整音的高低。柱促则弦紧，发出来的声音高而急，显得哀怨激动。

⑭驰情：神往。　整：理。　中带：中衣(内衣)束带。李善注："整带将欲从

之。”《诗纪》十作“巾带”。

⑮沉吟：指心中还在斟酌犹豫。 踯躅：脚步才移又止。

⑯思：《御览》三百八十一作“愿”。 双飞燕：谓与歌者成为佳偶。

【译文】

东城城墙高耸而又漫长，
绵延不断一直伸向远处。
遥看旋风阵阵卷地而起，
秋草凄然变成一片黄绿。
春夏秋冬交替发生变化，
一年将尽光阴何其迅速！
《晨风》诗情怀感伤太凄苦，
《蟋蟀》诗所见不大太拘束。
不如扫除烦恼放纵情志，
何必紧紧把自己来束缚。
燕赵自古就出倡优女乐，
其中美者容颜犹如美玉。
身穿罗衣轻软而又华丽，
对着门户奏起清商乐曲。
音响清越何其哀感动听，
曲调高急知已移近木柱。
不觉神往且把衣带整理，
盘算一番暂又止了脚步。
但愿化成燕子比翼双飞，
衔泥筑巢一起住进君屋。

【原文】

驱车上东门①，　遥望郭北墓②。
白杨何萧萧③，　松柏夹广路④。
下有陈死人⑤，　杳杳即长暮⑥。
潜寐黄泉下⑦，　千载永不寤⑧。
浩浩阴阳移⑨，　年命如朝露⑩。
人生忽如寄⑪，　寿无金石固。
万岁更相送⑫，　圣贤莫能度⑬。
服食求神仙⑭，　多为药所误。
不如饮美酒，　被服纨与素⑮。

【注释】

①这是一首宣扬及时行乐的诗，反映了当时一些人的消极颓废心理。方东树《昭昧詹言》："此诗意激于内，而气奋于外，豪宕悲壮，一气喷薄而下。前八句夹叙，夹写，夹议，言死者。'浩浩'以下十句，言今生人。凡四转，每转愈妙，结出归宿。"　上东门：汉代洛阳城有十二门，东城三门中最北头的门叫上东门。

②郭北：指洛阳城北的北邙山，为当时的丛葬之地。《艺文类聚》四十一作"北郭"。

③白杨：与松、柏皆为墓地所植树木。仲长统《昌言》："古之葬者，松柏梧桐，以识其坟也。"　萧萧：风吹树叶声。

④广路：富贵人坟前的墓道。

⑤陈：久。《庄子·寓言》："人而无人道，是之谓陈人也。"陈，《乐府诗集》六十一作"冻"。

⑥杳杳：幽暗貌。　即：就。　长暮：长夜。

⑦潜：默。　寐：睡。　黄泉下：地下。

⑧永不：《艺文类聚》四十一作"不觉"。　寤：醒。

⑨浩浩：流貌。 阴阳：指一年四季。李善注引《神农本草》："春夏为阳，秋冬为阴。"《庄子·知北游》："阴阳四时运行。"

⑩年命：犹言"寿命"。

⑪忽：匆遽貌。 寄：客寓。

⑫万岁：指自古以来。 更：更替。句意谓自古以来，生死更相代替，一代送走一代，永无了时。

⑬度：超越。

⑭服食：指吞食丹药。

⑮被（pī 披）服：穿着。 纨：细绢。 素：白色绢。

【译文】

赶着车儿走出上东城门，
遥望北邙山上座座坟墓。
参天白杨风中萧萧作响，
墓道两旁种满松树柏树。
下面埋着死去很久的人，
四周长夜漫漫黑暗永驻。
躺在黄泉之下默默眠宿，
千年万载也不睁眼复苏。
四季运行流转永不停息，
人寿却像朝露那样短促。
人生在世就如旅客寄居，
寿命没有金石那样坚固。
自古生死更迭代代相送，
纵是圣贤也不能够特殊。
吞食丹药想要乞灵神仙，
不少人却反被丹药所误。
不如开怀畅饮琼浆美酒，
穿绸着缎图个眼前舒服。

【原文】

去者日以疏①，　生者日以亲②。
出郭门直视③，　但见丘与坟。
古墓犁为田④，　松柏摧为薪⑤。
白杨多悲风，　萧萧愁杀人。
思还故里闾⑥，　欲归道无因⑦。

【注释】

①这首诗写游子因过墓地而思乡，充满感伤情调。刘履《选诗补注》："客游遐远，思还故里，日与生者相亲而不可得，故其悲愁感慨，见于词气，有不能自已者焉。"　去者：死者。　以：《艺文类聚》四十作"已"。　疏：疏远。李善注引《吕氏春秋》："死者弥久，生者弥疏。"

②生者：《诗纪》十作"来者"。　以：《艺文类聚》四十作"已"。

③郭门：外城门。

④古墓：指年代久远的无主坟墓。

⑤摧：折。　薪：柴火。

⑥故里闾：故乡。

⑦道无因：没有可由的路。这是一种象征的说法，意谓找不到办法回乡。张庚《古诗十九首解》："（道）当作'引导'解：归有资斧，则因资斧为导；或归有附托，则因附托为导；两者俱无，所以久淹也。若作'道路'解，则东南西北，犁然在目，何谓无因？"

【译文】

死去的一天比一天疏远，
活着的一天比一天亲近。
走出外城门去放眼眺望，

只见排列着一座座丘坟。
古墓已被犁成块块田土，
墓旁松柏也被断为柴薪。
白杨树颠掠过阵阵悲风，
树叶萧萧听来真愁杀人。
想要动身回到故乡怀抱，
却无一条合适道路可行。

【原文】

生年不满百①，　常怀千岁忧②。
昼短苦夜长③，　何不秉烛游④？
为乐当及时，　何能待来兹⑤？
愚者爱惜费⑥，　但为后世嗤⑦。
仙人王子乔⑧，　难可与等期⑨。

【注释】

①这首诗主旨和《驱车上东门》相类。 生年：《御览》八百七十作“人生”。李善注：“孙卿子曰：人生无百岁之寿，而有千岁之信士。”

②千岁忧：余冠英《汉魏六朝诗选》：“指身后的种种考虑，如为子孙的生活打算，为自己的冢墓计划等等。”

③苦：兼“昼短”、“夜长”两层而言。

④秉烛游：燃烛照明以作长夜之游。秉，持。

⑤来兹：来年，指以后的岁月。

⑥费：花费。

⑦嗤：耻笑。

⑧王子乔：古仙人名。《列仙传》说他是周灵王的太子，名晋，好吹笙作凤

鸣。后来被道人浮丘公接上嵩高山，成仙。

⑨等期：同样的期望。

【译文】

一个人一生活不到百岁，
却常为身后事久久担忧。
白天恨短夜晚又恨太长，
何不燃起蜡烛彻夜长游？
嬉游行乐应当抓紧时间，
哪能往后推迟等待来年？
愚蠢的人总舍不得花钱，
终被后人耻笑丢人现眼。
王子乔上嵩高山成了仙，
别人想跟他一样难上难。

【原文】

凛凛岁云暮①，　蝼蛄夕鸣悲②。
凉风率已厉③，　游子寒无衣。
锦衾遗洛浦④，　同袍与我违⑤。
独宿累长夜⑥，　梦想见容辉⑦。
良人惟古欢⑧，　枉驾惠前绥⑨。
“愿得常巧笑，　携手同车归⑩”
既来不须臾⑪，　又不处重闱⑫。
亮无晨风翼⑬，　焉能凌风飞⑭？
眄睐以适意⑮，　引领遥相晞⑯。

徙倚怀感伤⑰， 垂涕沾双扉⑱。

【注释】

①这是一首思妇想念游子的诗。沈德潜《古诗源》："此相见无期，托之于梦也。'既来不须臾'二语，恍恍惚惚，写梦境入神。" 凛凛：寒冷貌。 云：语助词，无义。《诗经·小雅·小明》："曷云其还，岁聿云暮。"

②蝼蛄：虫名，俗称土狗，又名拉拉古，喜夜鸣。 夕：（玉台新咏）一作"多"。

③率：大概，大都。 厉：猛烈。

④锦衾：锦被。 洛浦：洛水之滨。相传伏羲氏之女宓妃，溺死于洛水，遂成为洛水之神。关于宓妃的神话多集中在人神恋爱上面，故这里设想丈夫将锦被送往洛水之滨的宓妃，也就是设想他另有了新欢。

⑤同袍：余冠英《汉魏六朝诗选》："'袍'，今名披风，古代行军者白天用来当衣穿，夜里用来当被盖。《诗经·无衣》有句云：'与子同袍。'那是军士表示友爱的话。本篇以'同袍'代同衾，指夫妇。" 违：离。

⑥独宿：指思妇言。 累长夜：经历了许多长夜。

⑦容辉：容貌风采。

⑧良人：女子对丈夫的称谓。 惟古欢：思旧欢。指丈夫还是爱着自己。古，故，即旧。

⑨枉驾：屈驾。谓丈夫不惜委曲自己，驾车前来。 惠：授。 绥：供攀援上车的绳索。前绥，指以前结婚时丈夫所授之绥。古代风俗，结婚时丈夫驾车迎接新妇，授绥以引新妇上车。《礼记·昏义》："（壻）出御妇车，而壻授绥，御轮三周。"

⑩携手句：这句同上句为思妇梦中所听到的丈夫对自己讲的话。《诗经·邶风·北风》："惠而好我，携手同归。"又《郑风·有女同车》："有女同车，颜如舜华。"这句兼用两诗语意。

⑪须臾：一会儿。

⑫处：住下来。 重闱：指闺中，女子住处。

⑬亮：同"谅"，信，实在。 晨风：鸟名，善飞。

⑭能：《玉台新咏》一作"得"。 凌风：乘风，以上二句为思妇醒后的悲怨

之语。

⑮眄(miǎn 免)睐(lài 赖):邪视。这里为纵目四顾之意。 适意:散怀,宽心。

⑯引领:伸长脖子。 晞(xī 希):望。

⑰徙倚:徘徊。

⑱沾:湿。 扇:门扇。

【译文】

气候寒冷一年又将过去,
蝼蛄夜鸣声音如此悲凄。
凉风大都变得凄厉猛烈,
游子在外还没过冬寒衣。
锦被大概已送洛水神女,
不念旧情同我远远分离。
独自眠宿度过多少长夜,
忽然梦见夫君容貌光辉。
夫君还是十分顾念旧情,
屈驾前来把我牵引上车。
说“愿常常见我开颜欢笑,
手拉着手一起来把家回。”
夫君来后却只呆了片刻,
更没打算眠宿在这深闺。
我非晨风没长善飞翅膀,
哪能追随夫君乘风高飞?
纵目四顾宽宽自己心思,
引颈远望想把夫君寻觅。
徘徊门边情怀无限感伤,
泪流不止竟把门扇沾湿。

【原文】

孟冬寒气至①，　北风何惨慄②。
愁多知夜长，　仰观众星列③。
三五明月满④，　四五詹兔缺⑤。
客从远方来⑥，　遗我一书札。
上言长相思，　下言久离别。
置书怀袖中⑦，　三岁字不灭。
一心抱区区⑧，　惧君不识察。

【注释】

①这也是一首思妇怀人的诗。陆时雍《诗镜总论》："末四语，深于造情。善造情者，如身履其境而有其事，古人所以善于立言。"沈德潜《古诗源》："置书怀袖，亲之也。三岁不灭，永之也。然区区之诚，君岂能察识哉！用意措词，微而婉矣。"　孟冬：初冬，指农历十月。

②惨慄：寒极貌，兼指生理上和心理上的感受。

③列：罗列。

④三五：指农历每月十五日。

⑤四五：指农历每月二十日。　詹：《玉台新咏》一作"蟾"，蟾是"詹"的俗写。神话传说，嫦娥偷吃了其夫后羿的神药飞入月宫，化为蟾蜍（蛤蟆）；又月中有玉兔捣药不息。因以"蟾兔"为月的代称。

⑥客从远方：《御览》四百八十九作"有客从南"。

⑦怀袖：犹言怀抱，指将书信藏在胸前贴身衣内。

⑧区区：相爱之情。

【译文】

初冬的寒气一阵阵袭来，

北风劲吹多么刺骨凄厉。
心多忧愁顿觉寒夜漫长，
抬起头来且观众星罗列。
每逢十五看见月亮圆圆，
每逢二十看见月亮有缺。
家中来了一位远方客人，
为我捎来一封丈夫信札。
前面写着经常把我思念，
后面写着夫妇久久离别。
特把信札珍藏贴身衣内，
三年过去字迹也不磨灭。
一心一意我把夫君相爱，
就怕夫君不能洞识明察。

【原文】

客从远方来①，　遗我一端绮②。
相去万余里，　故人心尚尔③。
文彩双鸳鸯④，　裁为合欢被⑤。
著以长相思⑥，　缘以结不解⑦。
以胶投漆中，　谁能别离此⑧？

【注释】

①这是一首歌咏爱情的诗，诗中多用谐音双关语，具有浓郁的民歌风味。

②遗：《御览》四百七十八作“赠”。　端：犹言匹。《左传·昭公二十六年》杜注：“二丈为一端，二端为一两，所谓匹也。”　绮：有花纹的绫。

③尚尔：还是这样。

④文彩句：言绮上绣有双鸳鸯的图案。彩，《御览》四百七十八作“作”。

⑤合欢：一种对称的用以象征和合欢乐的图案花纹。又，马茂元《古诗十九首初探》：“这里的‘合欢被’，是指把绮裁成表里两面合起来的被，所以有合欢之义。象征夫妇同居的愿望。”郑文《汉诗选笺》：“合欢被，可能指被里被面同样大小，四周有带或丝缕将两片连缀一起，折洗时可不用缝，如此形制之被。”

⑥著：在衣被中装绵。　长相思：指丝绵絮。“思”与“丝”谐音，“长”与“绵”同义。

⑦缘：沿边装饰或缘被四边缀以丝缕。　结不解：象征爱情坚贞不移。

⑧别离：分开，拆散。　此：指胶漆，也指胶漆一般牢固缠绵的爱情。

【译文】

有一个客人从远方前来，
捎来丈夫赠我的一匹绮。
丈夫同我相距有万多里，
感情还是这样坚贞不移。
绮上一对鸳鸯恩恩爱爱，
把它裁成了一条合欢被。
装进象征长相思的丝绵，
缘边缀以丝缕结而不解。
把胶投进漆中互相粘合，
谁能够把它们彼此分离？

【原文】

明月何皎皎①，　照我罗床帏②。
忧愁不能寐，　揽衣起徘徊③。
客行虽云乐④，　不如早旋归。

出户独彷徨⑤， 愁思当告谁？
引领还入房⑥， 泪下沾裳衣。

【注释】

①这首诗一作闺妇思夫之词。张玉谷《古诗赏析》："此亦思妇之诗。首四即夜景引起空闺之愁，中二申己之望归也，却从彼边揣度'客行虽乐，不如早归'，便觉笔曲意圆。末四只就出户入房，彷徨泪下，写出相思之苦，收得尽而不尽。"一说为久客思归之词。方东树《昭昧詹言》："客子思归之作，语意明白，一出一入，情景如画。"两说皆可通，但因"诗的情调和古乐府《伤歌行》、曹丕《燕歌行》相类，作思妇的诗为是。"（余冠英《汉魏六朝诗选》）

②罗床帏：用轻薄透亮的罗绮制作的床帐。

③揽衣：用手提敛衣裳。

④客行：《艺文类聚》二十九作"行客"。

⑤彷徨：犹"徘徊"。

⑥引领：伸颈，谓抬头远望。

【译文】

一轮明月多么皎洁明亮，
一直照进我的罗绮帐帏。
心中忧愁不能安然入睡，
披衣起床不住沉思徘徊。
客行在外虽然也有乐趣，
还是不如早早来把家回。
踱出门外独自彷徨四顾，
满腹愁思能够倾诉给谁？
仰望一番还是只得回房，
泪如雨下沾湿胸前衣裳。

（张亚新 译注）

与苏武诗三首

李少卿

【作者】

李陵(?～前74),西汉将领。字少卿,陇西成纪(今甘肃秦安西北)人。名将李广之孙。少为侍中建章监,善骑射。武帝时,为骑都尉。天汉二年(前99),武帝命李广利率骑兵三万出酒泉,李陵率步兵五千出居延,以击匈奴。李陵被敌大军围困,连战十余日,粮尽矢绝,兵败投降。居匈奴二十余年,病卒。《隋书·经籍志》著录有集二卷,已佚。

【题解】

《与苏武三首》,传为李陵在匈奴为苏武所作的赠别诗。钟嵘《诗品》将其列为上品,评云:"其源出于《楚辞》。文多凄怆,怨者之流。"但这样成熟的五言诗不可能在苏、李时代就产生出来,加之诗中内容多与苏、李当时情事、行踪不合,故六朝时即有人怀疑此为伪托。颜延之《庭诰》云:"逮李陵众作,总杂不类,元是假托,非尽陵制。"(《太平御览》卷五八六引)刘勰《文心雕龙·明诗》云:"至成帝品录,三百余篇,朝章国采,亦云周备,而辞人遗翰,莫见五言,所以李陵、班婕妤,见疑于后代也。"后来学者,虽仍有人宗萧统、钟嵘之说,但大多认为出于伪托,推断可能是与《古诗十九首》同一时代的作品。诗在艺术上有较高成就,对后世产生了较大影响。刘熙载

《艺概》云："李陵赠苏武五言，但叙别愁，无一语及于事实，而言外无穷，使人黯然不可为怀。"

【原文】

良时不再至， 离别在须臾①。
屏营衢路侧②，执手野踟蹰③。
仰视浮云驰， 奄忽互相逾④。
风波一失所⑤，各在天一隅。
长当从此别， 且复立斯须⑥。
欲因晨风发⑦，送子以贱躯。

【注释】

①须臾：顷刻。

②屏营：彷徨。 衢路：四通八达的路。

③野踟蹰：在野外徘徊。

④奄忽：疾速貌。 互：《艺文类聚》二十九作"交"。 逾：超过。

⑤风波：因风波荡。波，用作动词。

⑥立：《艺文类聚》二十九作"去"。 斯须：即"须臾"。

⑦晨风：李善注："晨风，早风，言欲因风发而已乘之以送子也。《楚辞》曰：'乘回风兮远游。'"一说，指晨风鸟，其飞迅疾 。

【译文】

美好的时光不会再有，
离别的时刻就要来临。
彷徨着站在大路旁边，
手拉着手在旷野徘徊。

抬头见浮云飞快奔驰，
转瞬之间就互相超越。
因风波荡而失去处所，
各自要远处天东天西。
从此就要长久地分开，
且再站片刻倾吐心曲。
我愿随晨风一道出发，
相送你啊一程又一程。

【原文】

嘉会难再遇①，　三载为千秋②。
临河濯长缨③，　念子怅悠悠④。
远望悲风至⑤，　对酒不能酬⑥。
行人怀往路⑦，　何以慰我愁？
独有盈觞酒，　与子结绸缪⑧。

【注释】

①嘉：好。

②三载：指过去相聚的时间。　千秋：千年。

③濯：洗涤。　缨：结冠的带子。屈屈《渔父》："沧浪之水清兮，可以濯吾缨。"一说指驾车时系在马颈的革带，又叫马鞅。

④念子：《艺文类聚》二十九、《初学记》十八并作"念别"。

⑤远：《艺文类聚》二十九作"望"。

⑥酬：劝酒。

⑦行人：指就要上路的客人。　怀：思。　往路：去路。

⑧绸缪（móu 谋）：缠绵不解的情意。余冠英《汉魏六朝诗选》："上文说'对

酒不能酬’，结尾又说‘独有盈觞酒，与子结绸缪’，见出烦忧重叠和无可奈何之情。”

【译文】

美好的聚会今后难得再遇上，
相聚的三年能顶一千个年头。
来到河边把长长的帽带冲洗，
内心惆怅不已只因你就要走。
极目远望阵阵悲风迎面袭来，
对着酒席却提不起心肠劝酒。
朋友你一个心思只想着上路，
这怎么能抚慰我满腹的忧愁？
只有举起这斟得满满的酒杯，
喝下吧愿我们永远情浓意厚。

【原文】

携手上河梁①，　游子暮何之②？
徘徊蹊路侧③，　悢悢不得辞④。
行人难久留，　各言长相思⑤。
安知非日月⑥，　弦望自有时⑦？
努力崇明德⑧，　皓首以为期⑨。

【注释】

①梁：桥。

②何之：何往。

③蹊（xī 希）：小路。《艺文类聚》二十九作“溪”。　蹊路侧：《初学记》十八

作“临蹊路”,《御览》四百八十九作“歧路间”。

④悢(liàng 亮)悢:惆怅貌。五臣本《文选》作“恨恨”。 不得辞:不能成辞,谓因悲怅而找不到话说。

⑤各:《御览》四百八十九作“客”。

⑥日月:偏义复词,偏用“月”义。

⑦弦望:月形如弓时叫弦,阴历每月初七八为上弦,二十三四为下弦。阴历每月十五日月满叫望,取日月相望之义。

⑧崇:高,这里作动词用,提高的意思。明德:犹言美德。

⑨皓首:白头,指老年。

【译文】

紧拉着你的手走上河桥,
天都快黑了你还上哪去?
在这小路边不住地徘徊,
内心惆怅一时竟无话语。
我知道没办法把你久留,
临别互诉长相思念之意。
怎知我们不是天上月亮,
缺而圆分而合自有时机?
但愿我们努力修养美德,
一直到白发满头老年时。

(张亚新 译注)

诗四首

苏子卿

【作者】

苏武(约前140～前60),西汉大臣。字子卿,杜陵(今陕西西安东南)人。武帝时为郎。天汉元年(前100),以中郎将持节出使匈奴,被扣。匈奴贵族多方威胁利诱,欲使投降,不从。被迁至北海(今贝加尔湖)边牧羊,匈奴单于派李陵去劝降,又不从。留匈奴十九年,历尽艰辛,直到始元六年(前81),匈奴与汉和亲,方获释回朝。官至典属国。

【题解】

《诗四首》,传为苏武在匈奴时所作,实与李陵《与苏武三首》一样,为东汉末年无名氏诗人的作品。详见《与苏武三首》"题解"。这四首诗,其一写送别兄弟,其二写客中送客,其三为丈夫应征入伍时留别其妻之诗,其四为送友南行之诗。

【原文】

骨肉缘枝叶①,　结交亦相因②。
四海皆兄弟③,　谁为行路人?

况我连枝树④，　与子同一身。
昔为鸳与鸯，　今为参与辰⑤。
昔者常相近⑥，　邈若胡与秦⑦。
惟念当离别⑧，　恩情日以新⑨。
鹿鸣思野草⑩，　可以喻嘉宾⑪。
我有一樽酒⑫，　欲以赠远人。
愿子留斟酌⑬，　叙此平生亲⑭。

【注释】

①骨肉：指兄弟。　缘枝叶：比喻兄弟关系犹如叶之缘枝而生一样自然亲密。

②结交：指朋友。　因：亲。

③“四海”句：《论语·颜渊》：“四海之内，皆兄弟也——君子何患乎无兄弟也？”

④连技树：即连理树，根不同而枝干相连的树。通常用来喻夫妇，这里喻兄弟。

⑤参（shēng 申）、辰：二星名，参星居西方，辰星（又名商星）居东方，此出彼没，两不相见。

⑥者：《艺文类聚》二十九作“在”，《初学记》十八作“时”。

⑦邈：远。　胡：指外国。　秦：指中国。当时西域人称中国为“秦”。

⑧离别：《诗纪》二作“乖离”。

⑨恩情：情谊。　日以新：谓别后情谊日新。

⑩“鹿鸣”句：《诗经·小雅·鹿鸣》：“呦呦鹿鸣，食 野之苹。我有嘉宾，鼓瑟吹笙。”此用其意。

⑪“可以”句：谓可以鹿得食物呼唤 同类来比喻人之宴乐嘉宾。

⑫樽：酒器。

⑬斟酌：本双声字，酌即斟。酌，用勺舀酒。

⑭平生亲：平日亲爱之情。

【译文】

兄弟就如树叶缘枝而生，
朋友在外也是彼此相亲。
天下人个个都是好兄弟，
谁肯做漠不相关的路人？
何况我本是一株连理树，
与你枝干相连如同一身。
过去像那鸳鸯常不相离，
今后分开就像参星辰星。
过去朝夕相处亲亲近近，
今后山河远隔就像胡秦。
心中顾念这眼前的离别，
但愿别后情谊与日俱新。
鹿得野草后便鸣呼同伴，
就像今天在此宴乐嘉宾。
我斟满一杯清醇的美酒，
要献给你这位远行的人。
盼你再留片刻喝下此酒，
再叙叙平日里亲爱之情。

【原文】

黄鹄一远别①，　千里顾徘徊。
胡马失其群，　思心常依依②。
何况双飞龙③，　羽翼临当乘④。
幸有弦歌曲，　可以喻中怀⑤。

请为《游子吟》⑥，泠泠一何悲⑦！
丝竹厉清声⑧，　慷慨有余哀。
长歌正激烈⑨，　中心怆以摧⑩。
欲展清商曲⑪，　念子不能归⑫。
俛仰内伤心⑬，　泪下不可挥⑭。
愿为双黄鹄，　送子俱远飞。

【注释】

①鹄：天鹅。《初学记》十八作“鹤”。

②依依：恋恋不舍貌。

③双龙飞：喻已及友。飞龙，有翼的龙。又，鸟名。

④乖：离别。

⑤喻：宣示，表白。

⑥《游子吟》：琴曲名，内容当是写游子的生活和思想感情的。李善注引《琴操》：“楚引者，楚游子龙丘高出游三年，思归故乡，望楚而长叹，故曰楚引。”《游子吟》或即指此曲。

⑦泠泠：形容凄清的声音。

⑧丝：指琴瑟等弦乐器。　竹：指箫笛等管乐器。联及上“幸有”句，则此“丝竹”为偏义复词，只指弦乐。　厉：振发。　声：五臣本《文选》作“音”。

⑨长歌：乐府歌有《长歌行》和《短歌行》，“长歌”者其歌声较长，听来慷慨激烈，“短歌”则歌声较短，听来微吟低徊。

⑩怆以摧：怆且摧，即悲伤。

⑪展：申。　清商曲：一种悲惋凄清的乐曲。从曹丕《燕歌行》“援琴鸣弦发清商，短歌微吟不能长”诗句看来，属短歌而非长歌。

⑫不能：《诗纪》二作“不得”。

⑬俛：同“俯”。

⑭挥：擦拭。

【译文】

天鹅告别了同伴朝远方飞去，

飞出千里后还不住顾盼徘徊。
胡马走失离开它所在的马群，
心中也会思念不已情怀依依。
何况你我像比翼齐飞的双龙，
一朝收敛羽翼就要长别久离。
幸而有一支弦乐伴奏的歌曲，
可以把内心惆怅的感情宣泄。
请让我为你弹上一曲《游子吟》，
声音凄清听起来是多么悲切！
琴瑟振发出清越感人的音响，
慷慨激昂中传出不尽的悲凄。
一曲长歌正弹奏得高亢激烈，
心中哀痛也似长河奔腾不息。
还想弹上一支低徊的清商曲，
想到你这一走就不可能再回。
低头抬头都止不住内心悲伤，
怎么擦拭也擦不尽如潮泪水。
我愿同你一起化成一对天鹅，
送送你啊一齐跃上蓝天远飞。

【原文】

结发为夫妻①，　恩爱两不疑。
欢娱在今夕，　嬿婉及良时②。
征夫怀往路③，　起视夜何其④？
参辰皆已没⑤，　去去从此辞⑥。

行役在战场⑦， 相见未有期。
握手一长叹， 泪为生别滋⑧。
努力爱春华⑨， 莫忘欢乐时。
生当复来归， 死当长相思。

【注释】

①结发：束发，借指男女刚成年时。古代男子二十束发加冠，女年十五束发加笄，表示成年。 妻：《玉台新咏》一作“妇”。

②嫣婉：欢好貌。

③往路：去路。《玉台新咏》一作“远路”。

④夜何其(jī 基)：夜里什么时候。语出《诗经·小雅·庭燎》：“夜如何其？”其，表疑问的语气词。

⑤参、辰：二星名，代指所有星宿。 皆已没：言将天晓。

⑥去去：重言以加重语气。

⑦行役：应役远行。

⑧生别：生离死别。 滋：多。

⑨春华：李善注：“喻少时也。”

【译文】

刚刚成年我们就结成夫妻，
恩恩爱爱彼此间从无猜疑。
应征从军欢娱只剩下今晚，
缱绻缠绵莫失这良辰美时。
忘不掉就要出发踏上征途，
爬起来看看夜晚已到何时？
星星都已沉没天就要放亮，
走了走了我这就向你告辞。
应征服役奔赴遥远的疆场，

何时再见面实在难以估计。
紧握双手长长地叹息一声，
泪流不止都为这生离死别。
但愿珍惜我们的青春年华，
别忘了在一起的快乐日子。
我活着一定回来同你团聚，
我死了在阴间也会思念你。

【原文】

烛烛晨明月①，　馥馥我兰芳②。
芬馨良夜发③，　随风闻我堂。
征夫怀远路，　游子恋故乡④。
寒冬十二月⑤，　晨起践严霜⑥，
俯观江汉流⑦，　仰视浮云翔。
良友远离别，　各在天一方。
山海隔中州⑧，　相去悠且长。
嘉会难两遇⑨，　欢乐殊未央⑩。
愿君崇令德⑪，　随时爱景光⑫。

【注释】

①烛烛：明貌。

②馥馥：香气浓貌。　我：《诗纪》二云："《补注》曰：当作'秋'。"

③芬馨：芳香。芬，五臣本《文选》作"芳"。　良：《诗纪》二云："一作'长'。"

④游子：诗人自指，与上句"征夫"指友人相对。这实际上也是一首客中送客的诗。

⑤十二:《初学记》三作“十一”。

⑥严:《文选 》五臣本作“凝”。

⑦江汉:长江和汉水,是友人将去的地方。这里写的是想象中友人和自己分手后的情景。

⑧山海:犹言山水。又,逯钦立《汉诗别录》引东汉、魏、晋人的话说明当时人常用“山海”指赴交州所经历的艰险,山指五岭,海指南海,则友人将去的是比江汉流域更远的地方。 中州:指古豫州(今河南省地),因其居九州之中,故称。

⑨两:《诗纪》二作“再”,是。

⑩未央:未尽。这句是说眼下欲别未别,相聚的欢乐还未尽。

⑪令德:美德。

⑫景光:即光景,光阴。

【译文】

晨月当空闪耀着朗朗辉光。
秋兰幽邃散发出浓郁芳香。
香气在夜间四处生发弥漫,
随着清风飘进了我的住房。
客人就要踏上远行的路途,
游子心中也十分思念故乡。
这眼看就到了寒冬十二月,
你途中早行将要脚踩寒霜。
俯观江汉滔滔不尽的水流,
仰看白云在天空疾速飞翔。
好友就这样匆匆离我远去,
今后一南一北将天各一方。
南方与中州隔着千山万水,
彼此间相距多么悠远漫长。
美好的聚会恐怕很难再遇,

好在眼下这欢乐还没收场。
但愿你努力提高自己美德，
随时都要珍惜宝贵的时光。

（张亚新　译注）

四愁诗四首　并序

张平子

【作者】

见卷二《西京赋》作者介绍。

【题解】

《四愁诗四首》，“盖以东西南北分也。东泰山，南桂林，西汉阳，北雁门。时东汉天下渐乱，其以‘四方’分‘四愁’，即诗人‘我瞻四方，蹇蹇靡所骋’之意。”（《消寒诗话》）始载于《文选》，诗前有短序，谓诗作于张衡为河间王相时。据王观国《学林》、吴景旭《历代诗话》等考证，短序并非张衡所为，而是后人所作。按诗写欲追随四方所慕之人并报答他们的赐予而不得的忧愁，若目为怀人之作，自不无道理，但不免失之浮浅。以此之故，若依短序之意，欲报“时君，而惧谗邪不得以通，”阐述似也并无不可，唯不可过于拘泥，失之穿凿。要之，诗借写怀人愁思抒发了伤时忧世之情，从中不难窥见诗人的政治理想和人生抱负。在艺术上深受屈原《离骚》影响，并继承

了《诗经》民歌重章叠句、反复咏唱的手法，读来缠绵悱恻，凄切感人。《艺苑卮言》誉为“千古绝唱”，对后来《七哀》、《行路难》等抒情之作及七言诗的形成发展产生了一定影响。

【原文】

张衡不乐久处机密①，阳嘉中②，出为河间相③。时国王骄奢，不遵法度，又多豪右并兼之家④。衡下车⑤，治威严⑥，能内察属县，奸滑行巧劫⑦，皆密知名，下吏收捕⑧，尽服擒。诸豪侠游客⑨，悉惶惧逃出境。郡中大治，争讼息⑩，狱无系囚⑪。时天下渐弊⑫，郁郁不得志⑬，为《四愁诗》。屈原以美人为君子⑭，以珍宝为仁义，以水深雪雾为小人⑮。思以道术相报⑯，贻于时君⑰，而惧谗邪不得以通。其辞曰：

【注释】

①机密：本指机要的职务、部门，这里指张衡所任的太史令职。太史令掌管天文地理，探讨天机秘密，故称。

②阳嘉：汉顺帝年号(132～135)。据《后汉书·张衡传》，张衡出为河间相在顺帝永和(136～141)初，此云“阳嘉中”，误。

③河间：王国名，治乐成县，故城址在今河北献县东南。相：即国相，官名。汉沿袭秦朝实行郡县制，但又以部分郡县分封王侯，时人称为郡国。被封的王只能享受封区内的赋税收入，没有行政权力，行政权力掌握在国相手里。国相由中央政府直接委派，相当于郡太守，秩二千石。

④豪右：豪强大族。　并兼：即兼并，指并吞别人的土地、财产。

⑤下车：到任。

⑥威严：严厉。

⑦滑：通“猾”。

⑧收捕：逮捕。

⑨豪侠：强横任侠的人。　游客：游手好闲、不遵纪守法的人。

⑩争讼：争端诉讼，打官司。

⑪系囚：在押的囚犯。

⑫弊：凋弊，衰败。五臣刘良注："谓政教衰，礼义薄，小人在位，君子在野。"

⑬郁郁：忧闷不舒貌。

⑭"屈原"句：据胡克家《文选考异》，"屈原"前应有一"依"字。

⑮雰（fēn 芬）：雾气。同"氛"。

⑯道术：道德学术。　报：报效。

⑰贻（yí 移）：赠送。这里是贡献的意思。

【译文】

张衡不愿意长期担任太史令的职务，便在阳嘉年间离京到河间做了国相。当时河间国王骄横奢侈，不遵守法规制度，境内还有不少恣意兼并贫弱的豪强大族。张衡到任后，采取了严厉的治理措施，充分调查了解了下属各县的情况，奸诈狡猾、巧取豪夺的人，都被暗中掌握了姓名，然后下令官吏予以逮捕，这些人无不低头服罪，束手就擒。其余豪强任侠、四处游荡为非作歹的人，一个个都害了怕，纷纷逃出了河间国。国中局势顿时大为改观，争端诉讼消失，狱中没有了在押的囚犯。当时国家已逐渐趋于衰败，张衡郁郁不得志，于是写了《四愁诗》。仿照屈原手法，以美人比君子，以珍宝比仁义，以水深雪氛比小人。打算以自己的道德学术报效君王，贡献给君王，但担心谗邪之人从中作梗，不能上达此意。其辞写道：

【原文】

一思曰①：

我所思兮在太山②，　欲往从之梁父艰③。
侧身东望涕沾翰④。　美人赠我金错刀⑤，
何以报之英琼瑶⑥。　路远莫致倚逍遥⑦，

何为怀忧心烦劳⑧？

二思曰：

我所思兮在桂林⑨，　欲往从之湘水深⑩。

侧身南望涕沾襟。　美人赠我金琅玕⑪，

何以报之双玉盘。　路远莫致倚惆怅，

何为怀忧心烦伤⑫？

三思曰：

我所思兮在汉阳⑬，　欲往从之陇阪长⑭。

侧身西望涕沾裳。　美人赠我貂襜褕⑮。

何以报之明月珠⑯。　路远莫致倚踟蹰⑰，

何为怀忧心烦迂⑱？

四思曰：

我所思兮在雁门⑲，　欲往从之雪纷纷⑳。

侧身北望涕沾巾。　美人赠我锦绣段㉑，

何以报之青玉案㉒。　路远莫致倚增叹，

何为怀忧心烦惋㉓？

【注释】

①一思曰：刘履《选诗补注》认为这三字为衍文。

②所思：指所思念的人，即下文的“美人”。太山：即泰山，在今山东泰安市北。

③从：追随。　梁父：又作“梁甫”，泰山下小山名，在泰安市东南。李善注：“太山以喻时君，梁父以喻小人。”

④翰：衣襟。

⑤金错刀：一说指刀环或刀把用黄金镀过的刀，一说指王莽铸的一种刀币。谢承《后汉书》曰：“诏赐应奉金错把刀。”作为馈赠的珍贵礼品，以前说为胜。错，镀金。

⑥英：通“瑛”，玉的光。《御览》三百四十六、八百九或作“双”，或作“美”。琼、瑶：都是美玉。《诗经·卫风·木瓜》：“投我以木桃，报之以琼瑶。”

⑦致：送达。 倚：通“猗”，叹词，犹今口语“呀”、“啊”。下同。 逍遥：这里义同“彷徨”、“徘徊”，谓心情不安。

⑧为：《艺文类聚》三十五作“以”。 忧：作“愁”。 烦劳：烦恼。劳，忧。

⑨桂林：秦郡名，在今广西境内，汉改置为郁林郡。

⑩湘水：源于广西，经湖南流入洞庭。李善注：“《海南经》：‘湘水出零陵，舜死苍梧，葬九疑。’故思明君。”

⑪金琅(láng 狼)玕(gān 杆)：用金叶镶着的美玉，即所谓“金镶玉”。琅玕，似玉的美石。金，《玉台新咏》九、《文选》五臣本并作“琴”，《艺文类聚》三十五、《御览》四百七十八并作“翠”，皆可通。

⑫伤：《玉台新咏》九作“怏”。

⑬汉阳：郡名。本西汉天水郡，东汉明帝时改为汉阳郡，郡治在今甘肃甘谷县南。

⑭陇阪：即陇山，在今陕西陇县西北，绵亘于陇县、宝鸡和甘肃的镇原、清水、秦安、静宁等县，长约一百多公里。在古代以迂回险阻著名。

⑮貂襜(chān 搀)褕(yú 于)：直襟的貂皮袍子。貂，形似黄鼠狼，其皮毛极珍贵。《御览》七百八作“毡氍毹”。

⑯明月珠：宝珠名，《后汉书·西域传》说产于大秦国(罗马帝国)。

⑰踟躕：徘徊貌。《玉台新咏》九作“跱躇”。

⑱迂：迂曲，迂绕，指心情烦乱不舒畅。

⑲雁门：郡名，在今山西西北部之地。

⑳纷纷：《诗纪》三作“雰雰”。

㉑锦绣段：成匹的锦绣。段，与“端”同义。一说，段同“缎”。

㉒案：放食器的托盘。

㉓惋：怨。

【译文】

一思为：

我所思慕的人啊在东边泰山，

想要前去追随他梁父太艰险。
侧身往东望不觉泪下湿衣衫。
美人赠给我黄金镀边的佩刀，
以何还报呢就用那美玉琼瑶。
路太遥远没法送到啊好彷徨，
为何要这般愁肠满腹心烦恼？

二思为：

我所思慕的人啊在南边桂林，
想要前去追随他湘水又太深。
侧身往南望不觉泪下湿衣襟。
美人赠给我金叶镶着的美玉，
以何还报呢就用那一对玉盘。
路太遥远没法送到啊好惆怅，
为何要这般愁肠满腹心忧烦？

三思为：

我所思慕的人啊在西边汉阳，
想要前去追随他陇阪太漫长。
侧身往西望不觉泪下湿衣裳。
美人赠给我貂皮做的直襟衫。
以何还报呢就用那明月宝珠。
路太遥这没法送到啊好踟蹰，
为何要远般愁肠满腹心不舒？

四思为：

我所思慕的人啊在北边雁门，
想要前去追随他大雪正纷纷。
侧身往北望不觉泪下湿衣巾。
美人赠给我成匹的绫罗绸缎，
以何还报呢就用那青玉托盘。

路太遥远没法送到啊增叹息，
为何要这般愁肠满腹心烦怨？

（张亚新　译注）

杂诗一首

王仲宣

【作者】

见卷十一《登楼赋》作者介绍。

【题解】

“杂诗”其名，最早见于《文选》。李善注：“杂者，不拘流例，遇物即言，故云杂也。”可见“杂诗”的意思与“杂文”、“杂感”相类。这首诗传为曹植《赠王粲》诗的答诗。吴淇《六朝选诗定论》：“此诗与子建赠诗，不惟格调相同，且字句相类，如后人拟诗然。想亦答子建之诗。子建借水鸟为比，故先树后池，仲宣借树鸟为比，故先池后树。惟末四句是各人说话，一赠一答，本文自明。”建安末期，曹丕与曹植争为太子，双方各植党羽，明争暗斗得异常激烈。王粲深恐卷入漩涡，故在诗中表达了一种既想亲近曹植，但又不敢与之公开交往的心情。但也有人认为，这不过是一首追求爱情的诗，其中是否有所借喻，尚难确定。诗在艺术上颇具特色，陈祚明评云：“写情真至，语亦沉邃。”（《采菽堂古诗选》卷七）堪为的论。

【原文】

日暮游西园①，　冀写忧思情②。
曲池扬素波③，　列树敷丹荣④。
上有特栖鸟⑤，　怀春向我鸣⑥。
褰衽欲从之⑦，　路嶮不得征⑧。
徘徊不能去，　伫立望尔形⑨。
风飙扬尘起⑩，　白日忽已冥⑪。
回身入空房，　托梦通精诚。
人欲天不违，　何惧不合并⑫。

【注释】

①西园：即铜雀园，在邺城（今河北临漳西南），是曹丕兄弟和建安七子经常聚会游宴的地方。

②冀：希望。　写：宣泄。《文选》五臣本作“写我”。

③素波：白色的波浪。

④列树：成行的树。　敷：陈，遍开。　丹荣：红花。

⑤特栖：独栖。

⑥怀春：谓春情萌动，有求偶之意。

⑦褰（qiān 千）：提起。　衽：衣襟。

⑧嶮：同“险”。　征：行。

⑨伫立：久立。

⑩飙：旋风。《文选》五臣本作“飘”。

⑪冥：昏暗。

⑫合并：指结婚。

【译文】

傍晚来到西园独自漫游，

想要排遣一下内心愁情。
曲池中翻卷着白色水波，
成行树上遍开红花如云。
上面有只孤独无偶的鸟，
春情萌动朝我婉转啼鸣。
提起衣襟想要前去会面，
道路险阻以致不能成行。
来回徘徊不愿就此离去，
久久站立望着你的身影。
旋风骤起卷起阵阵尘土，
白日瞬间变得昏昏沉沉。
转过身来回到空房之中，
托梦给你传达爱恋之诚。
老天不会违背人的意愿，
不怕我们不能最后成婚。

（张亚新　译注）

杂诗一首

刘公幹

【作者】

见卷二十《公宴》诗作者介绍。

【题解】

刘履《选诗补注》云："此必公干输作之时所赋，故言文墨簿领之繁，驰翰劳苦，而至于沉迷昏乱，或且释此出游，见水中之凫雁而叹，不能如彼之浮游也。"吴淇《六朝选诗定论》云："无他深意，只是不耐簿书之烦。"按此诗不一定作于减死输作之时，但的确写出了诗人"不耐簿书之烦"而欲"释此出游"的情怀。刘桢其人，对功名事业的渴望与追求远不如大多数建安诗人那么强烈，诗中又极少歌功颂德话头，故得与"轻官忽禄，不耽世荣"(《魏志·王粲传》裴松之注引《先贤行状》)的徐干结为至交。其"真骨凌霜，高风跨俗"(钟嵘《诗品》上)的个性及遒迈的逸气，均不难从这首诗中窥见一斑。

【原文】

职事相填委①，　文墨纷消散②。
驰翰未暇食③，　日昃不知晏④。
沉迷簿领书⑤，　回回自昏乱⑥。

释此出西城，　登高且游观。
方塘含白水，　中有凫与雁⑦。
安得肃肃羽⑧，　从尔浮波澜⑨。

【注释】

①职事：职务范围内应做之事。　相：《文选》五臣本作“烦”。　填委：堆积。

②文墨：指案牍文书。　纷：乱。　消散：谓疏理、整理。

③翰：笔。　暇：空闲。《北堂书钞》三六作“遑”。

④日昃(zè 仄)：太阳开始偏西。　晏：息，休息。李善注引《尚书》：“自朝至于日昃，不遑暇食。”

⑤簿领：李善注：“谓文簿而记录之。《史记》曰：‘问上林尉诸禽兽簿。’司马彪《庄子注》曰：‘领，录也。’”这里泛指文书。　书：《北堂书钞》三六作“间”。

⑥回回：迂曲。引申为心乱貌。王褒《九怀·昭世》：“魂凄怆兮感哀，肠回回兮盘迂。”

⑦凫(fú 符)：野鸭。《诗经·郑风·女曰鸡鸣》：“弋凫与雁。”

⑧肃肃：鸟拍翅膀的声音。《诗经·小雅·鸿雁》：“鸿雁于飞，肃肃其羽。”

⑨浮：《文选》五臣本作“游”。

【译文】

眼前事情只见堆积如山，
案牍纷乱总是疏理不完。
挥笔不停没有闲空吃饭，
太阳西偏还是不得闲散。
一头扎进公文簿籍之间。
只觉得头也昏来目也眩。
放下工作来到西城郊外，
登上高处尽兴游览一番。
方方的池塘中蓄满清水，

水中嬉戏着野鸭和大雁。
身上怎能长出一对翅膀，
随你遨游清波碧水之间。

（张亚新　译注）

杂诗二首

魏文帝

【作者】

见卷二十二《芙蓉池作》作者介绍。

【题解】

这两首都是游子诗。第一首通过对秋夜景色的描绘，抒写了游子寂寞怀乡的愁绪；第二首借浮云以喻游子的飘泊不定，抒写了游子久客异乡的抑郁苦闷。或云两诗作于黄初五年(224)以舟师伐吴至广陵时(刘履《选诗补注》卷二)，或云两诗“有疑惧意，应作于魏武欲易太子时”(吴淇《六朝选诗定论》卷五)，皆未见其必。艺术上以自然为宗，情景交融，清凄感人，深得古诗遗韵，或即为拟古诗之作，故王世贞认为：“可入《十九首》，不能辨也。”(《艺苑卮言》卷三)

【原文】

漫漫秋夜长，　烈烈北风凉①。
展转不能寐②，披衣起彷徨③。
彷徨忽已久，　白露沾我裳。
俯视清水波，　仰看明月光。
天汉回西流④，三五正纵横⑤。
草虫鸣何悲，　孤雁独南翔。
郁郁多悲思⑥，绵绵思故乡。
愿飞安得翼，　欲济河无梁。
向风长叹息，　断绝我中肠。

【注释】

①烈烈：猛烈而寒冷貌。《诗经·邶风·北风》："北风其凉。"

②展转：来回地翻身。　寐：睡。

③彷徨：徘徊。

④天汉：银河。　回西流：由西南向正西转动，表示夜已深。

⑤三五：《诗经·召南·小星》："嘒彼小星，三五在东。"三，指参星；五，指昴星。这里泛指群星。　纵横：排列貌。

⑥悲：《艺文类聚》二十七作"愁"。

【译文】

深秋的夜晚多么漫长，
凛冽的北风多么凄凉。
翻来覆去总不能入睡，
披衣起来到屋外彷徨。
不知不觉已徘徊许久，
白露沾湿了我的衣裳。

低头瞧瞧清清的流水，
抬头看看皎洁的月光。
银河正在向西方流转，
众星罗列在夜空四方。
草虫鸣叫得多么悲伤，
孤雁独自向南方飞翔。
心中抑郁有无限忧思，
缠绵不断地思念故乡。
想要奋飞哪里来翅膀，
想要过河又没有桥梁。
面对寒风深深地叹息，
痛苦使我如断了肝肠。

【原文】

西北有浮云， 亭亭如车盖①。
惜哉时不遇， 适与飘风会②。
吹我东南行， 南行至吴会③。
吴会非我乡， 安能久留滞④？
弃置勿复陈⑤，客子常畏人⑥。

【注释】

①亭亭：李善注："迥远无依之貌。"

②适：恰巧。 飘风：暴起的风。

③南行：《诗纪》十二、《御览》八并作"行行"。 吴会：吴郡和会稽郡，在今江苏南部和浙江境内。吴本是秦时会稽郡，东汉时分为吴和会稽两郡。

④滞：久留。

⑤弃置：搁置，抛开。　陈：叙说。这句是汉魏诗中常见的套语。
⑥畏人：谓人生地不熟，常担心受人欺负。

【译文】

西北方有一朵飘浮的云，
高高地耸立着好像车盖。
可惜啊它没遇着好时机，
不早不晚恰同狂风相遇。
吹着我朝东南方向飞驰，
飞啊飞啊一直到了吴会。
吴郡会稽都不是我故乡，
怎能长久地在这里留停。
搁置一边不用再说这些，
他乡游子常常害怕见人。

（张亚新　译注）

朔风诗一首

曹子建

【作者】

见卷十九《洛神赋》作者介绍。

【题解】

曹丕即帝位后，诸侯王一律去到自己封国。曹植其时为临淄侯，去临淄。黄初二年(221)，因 被有司诬枉治罪，贬爵安乡侯，其年改封鄄城侯。三年，立为鄄城王。四年，徙封雍丘王。太和元年(227)，徙封浚仪。二年，复还雍丘。三年，徙封东阿。五年，改封陈王。“十一年中而三徙都，常汲汲无欢”(《魏志》本传)。这首诗即作于藩国，既表达了对于故国先人和至亲兄弟的思念之情，也抒写了对“蓬转”生活、闲居境遇、怀抱忠诚而不被理解、怀抱利器而无所施展的怨愤。关于具体写作时间，由于诗中感情跳跃、多用比兴，有隐而未显示之处，因而历来颇多歧说。刘履认为作于黄初四年徙封雍丘时(见《选诗补注》)，王尧衢认为作于徙封东阿后(见《古唐诗今解》)，黄节认为作于黄初六年在雍丘时(见《曹子建诗注》)，余冠英认为作于太和二年从浚仪复还雍丘时(见《三曹诗选》)，还有认为或作于建安二十二年(217)后的(赵幼文《曹植集校注》)。从诗中“昔我初迁”、“今我旋止”、“载离寒暑”等语看来，以余冠英说为近是，可从。诗篇感情炽烈、托意深远，回环曲折，如泣如诉。陈祚明评云：“此诗比兴之意，蔼然情长，不袭风人之语，而最为神似。”(《采菽堂古诗选》卷六)，张玉谷评云：“正喻间出，虚实相生，奥衍离奇，不易领略，有美必臻，无懈可击。”(《古诗赏析》卷八)

【原文】

仰彼朔风①，　用怀魏都②。
愿骋代马③，　倏忽北徂④。
凯风永至⑤，　思彼蛮方⑥。
愿随越鸟⑦，　翻飞南翔。
四气代谢⑧，　悬景运周⑨。

别如俯仰⑩，　脱若三秋⑪。
昔我初迁⑫，　朱华未希⑬。
今我旋止⑭，　素雪云飞⑮。
俯降千仞⑯，　仰登天阻⑰。
风飘蓬飞⑱，　载离寒暑⑲。
千仞易陟⑳，　天阻可越 。
昔我同袍㉑，　今永乖别㉒。
子好芳草㉓，　岂忘尔贻㉔？
繁华将茂，　秋霜悴之㉕。
君不垂眷㉖，　岂云其诚㉗？
秋兰可喻，　桂树冬荣㉘。
弦歌荡思㉙，　谁与消忧？
临川暮思㉚，　何为泛舟㉛？
岂无和乐㉜？　游非我邻㉝。
谁忘泛舟㉞？　愧无榜人㉟

【注释】

①朔风：北风。

②用：因。魏都：指魏的故都邺城（在今河北临漳西南）曹丕迁都洛阳后，邺仍为魏都之一，曹操的陵墓在此。

③骋：驰。　代马：代郡（在今山西北部）出产的骏马。

④倏忽：迅急貌。　徂：往。

⑤凯风：李善注引毛苌《诗传》："南风谓之凯风。"　永：远。

⑥蛮方：李善注引《礼记》："南方曰蛮。"这里指吴国。"思蛮方"，是欲南征吴国以求自试之意。即作者《杂诗》所云："仆夫早严驾，吾行将远游。远游欲何之？吴国为我仇。"

⑦越鸟：越国（在今江浙一带）所产的鸟。《古诗》："越鸟巢南枝。"

⑧四气：四季的气候。犹言四时。　代谢：依次更替。

⑨悬景：指日月。景，同“影”。　运周：运行周而复始。

⑩俯仰：喻时间的短暂。《庄子·在宥》：“其疾也俯仰之间。”

⑪脱：离别。三秋：三季，九个月。《诗经·王风·采葛》：“一日不见，如三秋兮。”

⑫初迁：指太和元年(227)从雍丘徙封浚仪时。

⑬朱华：红花。或即指荷花。作者《公宴诗》：“朱华冒绿池。”　希：同“稀”。

⑭旋止：归来，指回到雍丘。止，语气助词。

⑮素雪：白雪。云：语气助词。《诗经·小雅·采薇》：“昔我往矣，杨柳依依；今我来思，雨雪霏霏。”

⑯千仞：指深溪。《吕氏春秋·适威》：“若决积水于千仞之溪。”　仞：长度单位，古代以八尺或七尺为一仞。

⑰天阻：天险，指高山。这两句与作者《吁嗟篇》中“自谓终天路，忽然下沉泉”两句同意。

⑱蓬：草名，也叫飞蓬，菊科植物，叶子像柳叶，开小白花，秋后干枯，遇风即拔，随地飞转。

⑲载：犹“则”。　离：同“罹”，经历。　寒暑：指一年。《诗经·小雅·小明》：“载离寒暑。”

⑳陟(zhì 治)：一般指登山或登高，这里犹言跋涉。

㉑同袍：指最亲近的人或战友。《诗经·秦风·无衣》：“岂曰无衣？与子同袍。”这里指兄弟，即生离的曹彪和死别的曹彰。

㉒乖：离。

㉓子：指明帝曹睿。下“尔”、“君”同此。　芳草：喻自己忠诚的志节。

㉔贻：赠予。

㉕秋霜：比小人。　悴(cuì 粹)：伤。《文子》：“丛兰欲茂，秋风败之。”语意相似。

㉖眷：顾念。

㉗云：义同“旋”，转回。李善注：“言君虽不垂眷，己则岂得不言其诚？”作者《求通亲亲表》：“若葵藿之倾叶太阳，虽不为之回光，然终向之者诚也。臣窃自比葵藿。”意与此相类。

㉘荣：茂盛。李善注：“兰以秋馥，可以喻言。桂以冬荣，可以喻性。”两句以

兰、桂象征美好的品德。屈原《九歌·少司命》:“秋兰兮青青。”又《远游》:“丽桂树之冬荣。”

㉙荡思:荡涤忧思。

㉚暮思:李善注:“言临川日暮,而又相思。”暮,《曹子建集》作“慕”。

㉛何为:即谁为。

㉜和乐:指弦歌。

㉝邻:指志同道合的人。《论语·里仁》:“子曰:‘德不孤,必有邻。’”《曹子建集》作“怜”。李善注:“言岂无和乐以荡思乎?为游非我邻,故不奏也。”作者《求通亲亲表》:“每四节之会,块然独处,左右唯仆隶,所对惟妻子,高谈无所与陈,发义无所与展,未尝不闻乐而拊心,临觞而叹息也。”即说明了这种心境。

㉞谁忘:《御览》七百七十作“何以”。李善注:“言岂忘泛舟以相从乎?愧无榜人,所以不济也。”

㉟榜人:驾船的人。

【译文】

抬头面对着寒冷的北风,
不由得怀念起魏国故都。
我愿骑上一匹代郡骏马,
飞快地踏上北归的路途。
南风从远处呼呼地吹来,
使我想起了荒蛮的南方。
我愿跟着那越国的飞鸟,
翩翩地一直向南方飞翔。
春夏秋冬四季依次更替,
日月流转运行周而复始。
离别时间其实十分短暂,
却像度过了漫长的三季。
过去刚奉命迁徙的时候,

春天的红花还没有凋谢。
今天我再奉命迁徙回来，
白雪纷纷扬扬下个不止。
一会低头走下万丈深渊，
一会抬头爬上天险高山。
就像蓬草随着狂风飘卷，
一去一来转眼就是一年。
万丈深渊我可以走过去，
天险高山我也可以逾越。
可悲的是我至亲的兄弟，
从此却永远痛苦地离别。
你喜欢清新高雅的芳草，
我岂会忘了把芳草相赠？
可芳草正长得繁茂之时，
秋霜却将它们摧残殆尽。
你对我虽并不顾念爱怜，
我岂会改变自己的忠诚？
我像秋兰永远不改其芳，
又像桂树冬天仍然茂盛。
弦歌可以荡涤心中愁思，
但有谁能同我一起销忧？
傍晚对着河水苦苦思念，
但有谁来为我摆渡泛舟？
难道没人一道弦歌相和？
但这些人都非我的知心。
谁能忘了划船渡过河去？
惭愧的是没有划船的人。

（张亚新　译注）

杂诗六首

曹子建

【题解】

《杂诗六首》大体上是曹植后期的作品，始载于《文选》。“诗中不专指一事，亦不必作于一时。称物引类，比兴之义为多，故题名曰《杂诗》。”（吴淇《六朝选诗定论》卷五）第一首为登高怀远之作，所怀之人可能是诗人的异母弟曹彪。曹彪于黄初三年至五年（222～224）间封吴王，在南方，故诗中有“江湖”、“南游”等语。第二首以“转蓬”喻游子，实以“转蓬”、游子自喻，倾诉自己迁徙不定、生活困顿的苦衷。第三首写女子对久戍不归的丈夫的思念，不一定有什么寄托，但也有人认为是“思君之念，托之夫妇”（陈祚明《采菽堂古诗选》卷六）。第四首写佳人不为时俗所重，大约是自伤不遇之作，也有人认为“佳人盖指（曹）彪”，“此诗盖为彪而发，亦以自伤也”（黄节《曹子建诗注》）。第五、六首写甘赴国忧的壮志及壮志不能实现的苦闷和愤慨。六首诗在艺术上深受楚辞和古诗的影响，但自抒怀抱，自出机杼，风骨与丹采并重，充分体现出了“骨气奇高，词采华茂，情兼雅怨，体被文质”（钟嵘《诗品》上）的创作特色。

【原文】

高台多悲风，　朝日照北林①。
之子在万里②，江湖迥且深③。

方舟安可极④？离思故难任⑤。
孤雁飞南游， 过庭长哀吟。
翘思慕远人⑥，愿欲托遗音⑦。
形影忽不见， 翩翩伤我心⑧。

【注释】

①北林：地名。《诗经·秦风·晨风》："鴥彼晨风，郁彼北林。未见君子，忧心钦钦。"这里是用"北林"起兴，以引起怀人的情绪。

②之子：那个人。指所怀念的人。

③迥：远。

④方舟：两条船并在一起叫方舟，古代大夫出行时所乘。 极：至。

⑤离思：离别的愁思。 任：承受。

⑥翘思：仰首而思。 慕：思念。

⑦遗音：寄去音信。

⑧翩翩：疾飞貌。

【译文】

高台上不断刮过凄厉的大风，
早晨的太阳照耀着那片北林。
所思念的人啊远在万里之外，
中间江湖阻隔路又远水又深。
就是方舟又怎能驶达目的地？
因而离别愁思特别使人难忍。
失群的孤雁独自向南方飞去，
飞过庭院时发出悲哀的长鸣。
抬起头来又把远方的人思念，
想要托孤雁给他带去个音信。
不料转眼间已不见孤雁身影，

它飞得那么快真是让我伤心。

【原文】

转蓬离本根①，　飘飖随长风②。
何意回飙举③，　吹我入云中。
高高上无极④，　天路安可穷⑤？
类此游客子⑥，　捐躯远从戎。
毛褐不掩形⑦，　薇藿常不充⑧。
去去莫复道，　沉忧令人老⑨。

【注释】

①“转蓬”句：李善注：“《说苑》曰：鲁哀公曰：秋蓬恶其本根，美其枝叶，秋风一起，根本拔矣。”

②飘飖：即飘摇，飘荡。　随长：《曹子建集》作“长随”。　长风：远风。

③意：料想。　回飙：旋风。　举：起。

④无极：没有尽头。

⑤穷：尽。这两句或有所寓意。刘履《选诗补注》：“盖久在远外，正如蓬离本根，一得入朝京都，如遇回飙吹入云中，自谓天路之可穷矣。及乎终不见用，转致零落，乃知高高无极，不可企及，反类游客从戎而有饥寒之苦者。”

⑥类：似。游客：《艺文类聚》八十二、《御览》九百九十七并作“流宕”。

⑦毛褐：粗毛布衣。　掩形：犹言蔽体。

⑧薇：一种野生植物，嫩叶可食。　藿：豆叶。作者《赠徐干》诗：“薇藿弗充虚，皮褐犹不全。”与这两句同意。

⑨沉忧：深忧。

【译文】

转蓬枯干断裂离开了本根，

飘飘荡荡伴随着远去的风。
没想到一阵旋风突然刮来，
一下子把我吹到云霭之中。
天空高而又高没有个边际，
上天的道路又怎能有尽头？
就好像这漂泊在外的游子，
为国献身在远方当兵从戎。
粗毛布衣不足以遮蔽身体，
野菜豆叶常不能填饱腹中。
抛开这些吧用不着再唠叨，
忧伤过度会加速人的衰老。

【原文】

西北有织妇①，　绮缟何缤纷②！
明晨秉机杼③，　日昃不成文④。
太息终长夜⑤，　悲啸入青云⑥。
妾身守空闺⑦，　良人行从军⑧。
自期三年归⑨，　今已历九春⑩。
飞鸟绕树翔⑪，　噭噭鸣索群⑫。
愿为南流景⑬，　驰光见我君。

【注释】

①织妇：指织女星。织女星位于北方。

②绮缟（gǎo 槁）：有花纹的丝织品。　缤纷：繁乱貌。

③明晨：清晨。　秉：持，指拿梭织布。杼，梭子，是织布机上穿引纬线的工

具。

④日昃(zè 仄):日过午。昃,《艺文类聚》三十二作“晏”,《御览》八百十六作“暮”。 不成文:织不成花纹,即织不成布。《诗经·小雅·大东》:“跂彼织女,终日七襄。虽则七襄,不成报章。”《古诗》:“札札弄机杼”、“终日不成章”,以上四句化用其语意。

⑤太息:即叹息。

⑥啸:长叹。刘履《选诗补注》:“蹙口出声,以舒愤懑之气也。”

⑦守:《曹子建集》作“入”。 闺:《玉台新咏》二、《艺文类聚》三十二作“房”。

⑧良人:女子对丈夫的称谓。

⑨期:预期。

⑩九春:九年。一说,三年。李善注:“一岁三春,故以三年为九春。言已过期也。”

⑪飞:《玉台新咏》二、《艺文类聚》三十二作“孤”。

⑫噭(jiào 叫)噭:鸟鸣声。

⑬景:日光。作者《七哀》诗:“愿为西南风,长逝入君怀。”用意手法与此相类。

【译文】

西北方有一个织绢的女子,
织出的绢文多么缭乱纷纭!
清早起来就持梭忙个不停,
太阳偏西了也还没有织成。
她整夜叹息一声接着一声,
悲哀的长叹声直飘上青云。
我孤身守着这空空的闺房,
丈夫出门到远方去当了兵。
走时自以为三年就可回来,
现在已经过去了九个冬春。

鸟儿绕着树林不住地飞翔，
叽叽喳喳地叫着寻找鸟群。
我愿化作向南流泻的日光，
飞驰到南方见到我的夫君。

【原文】

南国有佳人①，　容华若桃李②。
朝游江北岸③，　日夕宿湘沚④。
时俗薄朱颜⑤，　谁为发皓齿⑥？
俛仰岁将暮⑦，　荣耀难久恃⑧。

【注释】

①南国：指江南。屈原《九章·橘颂》："受命不迁，生南国兮。"

②容华：容颜。《诗经·召南·何彼秾矣》："何彼俛矣？华如桃李。"

③北：《艺文类聚》十八作"海"。

④湘：水名，在今湖南。　沚：水中小洲。"朝游江北"、"夕宿湘沚"喻流徙不定。"日夕宿湘"五臣本作"夕宿潇湘"，《玉台新咏》二作"夕宿湘川"。

⑤薄：鄙薄，不看重。　朱颜：红颜，指美色。"薄朱颜"，喻不重视有才德的人。

⑥谁为：为谁。　发皓齿：犹言启玉齿，或指唱歌，或指言笑。

⑦俛仰：俯仰之间。喻时间短暂。俛，同"俯"。

⑧荣耀：指花开灿烂，照应"桃李"；也指人的青春容颜，照应"佳人"。难：《艺文类聚》十八作"宁"。　久恃：久待，久留。

【译文】

江南有个年青美丽的姑娘，

容貌像盛开的桃李花一样。
她早晨还在长江北岸游玩，
夜晚却又睡在湘水小洲上。
时下的风俗并不看重美色，
那又为谁去开口把歌高唱？
转眼之间寒冬就快要来临，
光彩的容华很难保持久长。

【原文】

仆夫早严驾①，　吾将远行游②。
远游欲何之③？　吴国为我仇④。
将骋万里涂⑤，　东路安足由⑥？
江介多悲风⑦，　淮泗驰急流⑧。
愿欲一轻济⑨，　惜哉无方舟⑩。
闲居非吾志，　甘心赴国忧。

【注释】

①仆夫：这里指赶车的仆人。　严驾：备好车马。

②这句《曹子建集》作“吾行将远游”。又“远行”五臣作“行远”。李善注：“《楚辞》曰：‘严车驾兮出戏游。’又曰：‘愿轻举兮远游。’”

③之：往。

④“吴国”句：李善注引《说苑》：“楚王谓淳于髡曰：吾有仇在吴国，子能为吾报之乎？”这里“吴国”指孙吴。作者《求自试表》：“方今天下一统，九州晏如，顾西尚有违命之蜀，东有不臣之吴……若使陛下出不世之诏，效臣锥刀之用，使得西属大将军，当一校之队；若东属大司马、统偏师之任，必乘危蹈险，骋舟奋骊，突忍触锋，为士卒先。”

⑤骋：驰。　涂：同“途”。

⑥东路：指向东回藩国的路。《魏志》本传：“三年，立为鄄城王，邑二千五

百户。四年，徙封雍丘王。其年，朝京都。”据黄节考证，曹植徙封雍丘王在回鄄城之后，则此诗作于黄初四年(223)七月朝洛阳后东归鄄城(今山东鄄城县北)途中，与《赠白马王彪》诗(中也有“怨彼东路长”之句)作于同时。 由：行。

⑦江介：江间，江上。李善注：“《楚辞》曰：哀江介之悲风。”

⑧淮泗：淮水和泗水。淮水源于河南桐柏山，经安徽、江苏入海，泗水源于山东泗水县入淮。二水是南征孙吴的必经之地。

⑨轻：易。济：渡。

⑩无方舟：比喻没有凭藉、机缘。

【译文】

赶车仆人早已备好车马，
我这就要动身出门远行。
远行打算要去什么地方？
南征吴国打败我的敌人。
将在万里路上纵横驰骋，
怎能安心往东回到鄄城？
长江江面常有凄厉大风，
淮水泗水急流奔涌翻腾。
想要一下子就飞越过去，
可惜没有船只把我载运。
在家闲居不是我的心愿，
为国分忧就死了也甘心。

【原文】

飞观百余尺①，　临牖御棂轩②。
远望周千里③，　朝夕见平原。

烈士多悲心④，　小人媮自闲⑤。
国仇亮不塞⑥，　甘心思丧元⑦。
拊剑西南望⑧，　思欲赴太山⑨。
弦急悲声发⑩，　聆我慷慨言⑪。

【注释】

①飞观：观，即“阙”，是宫门前的两座望楼。飞观，谓其凌空而起。古诗：“双阙百余尺。”

②临牖(yǒu 友)：当窗。　御：凭，扶着。《曹子建集》作“仰”。　棂(líng 灵)轩：栏杆。棂是栏杆上雕有花纹的木格子。

③周：犹“遍”。

④烈士：有功业心而胸怀激烈的人。犹言“志士”、“壮士”。　悲心：忧时忧国之心和有志不遂的愤慨。

⑤小人：指胸无大志的人。犹言“庸人”。　媮：同“偷”，苟且。《曹子建集》作“偷”。　闲：安闲，安乐。

⑥亮：的确，实在。　塞：杜绝。指杜绝敌人侵扰。

⑦丧元：丢掉脑袋。作者《求自试表》：“使名挂史笔，事列朝荣。虽身分蜀境，首悬吴阙，犹生之年也。”

⑧拊：同“抚”。　西南：指敌国吴、蜀，蜀在西，吴在南。

⑨赴太山：犹言赴死，汉魏时有人死后魂魄归于泰山的说法。汉时纬书《援神契》云：“太山，天帝孙也，主召人魂。”古乐府《怨诗行》：“人间乐未央，忽焉归东岳。”又李善注：“东岳，接吴之境。《责躬诗》曰：‘愿蒙矢石，建旗东岳。’”谓“赴太山”即欲从军伐吴之意。

⑩弦急：谓琴声急促。古诗：“音响一何悲，弦急知柱促。”

⑪聆：听。　慷慨言：指上述激昂慷慨的言辞。余冠英《三曹诗选》：“从这两句看来，这首诗可能原是乐府歌辞。”

【译文】

楼观凌空而起有百多尺高，

我面对着窗户手扶着栏杆。
远望四周千里之外的地方，
早晚都能看见宽阔的平原。
志士常怀着忧时忧国之心，
庸人却只顾自己贪图安闲。
国家的仇敌眼下还没消灭，
前往征讨掉了脑袋也心甘。
按着宝剑眺望西方和南方，
一心想战死沙场把生命献。
弹奏的琴声多么急促悲壮，
请听我这激昂慷慨的豪言。

（张亚新　译注）

情诗一首

曹子建

【题解】

《情诗》,《玉台新咏》题作《杂诗》。

诗写游子远役思归之叹,可能寓有作者身世的感慨。吴淇《六

朝选诗定论》:“大抵子建半生,只为不得于文帝,常有忧生之嗟,因借遥役思归之情,以喻其忧谗畏讥、进退维谷之意。”不无道理。曹植《临观赋》云:“乐时物之逸豫,悲予志之长违。叹《东山》之怨勤,歌《式微》以诉归。进无路以效公,退无隐以营私。”所抒情怀与本诗极为相似,可参读。全诗情切意厚,意象生动,音节流美,色彩绚丽。“游鱼潜渌水,翔鸟薄天飞”和“始出严霜结,今来白露晞”两联,对仗工稳,平仄谐协,已暗含律诗粘对的规则,显露了中国诗歌由古体向新体、近体转捩的苗头。

【原文】

微阴翳阳景①,　清风飘我衣。
游鱼潜渌水②,　翔鸟薄天飞③。
眇眇客行士④,　遥役不得归⑤。
始出严霜结,　今来白露晞⑥。
游子叹《黍离》⑦,处者歌《式微》⑧。
慷慨对嘉宾,　凄怆内伤悲。

【注释】

①翳(yì 艺):遮蔽。　阳景:日光。

②渌:《玉台新咏》二作“绿”。

③薄:逼近。李善注:“言得所也。《大戴礼》曰:‘鱼游于水,鸟飞于云。’”

④眇(miǎo 渺)眇:遥远貌。

⑤遥:《艺文类聚》二十九作“徭”。李善注:“言不如鱼鸟也。《楚辞》曰:‘安眇眇兮,无所归薄。’”

⑥晞:干。《艺文类聚》二十七作“稀”。《诗经·秦风·蒹葭》:“蒹葭凄凄,白露未晞。”

⑦子:《曹子建集》作“者”。　《黍离》:《诗经·王风》篇名。其首章云:“彼黍离离,彼稷之苗。行迈靡靡,中心摇摇。知我者谓我心忧,不知我者谓我何

求。悠悠苍天，此何人哉！”《毛诗序》认为是周大夫行役到镐京，见到宗庙宫室的旧址都长了禾黍，不胜感慨而作的诗。这里只取其行役而悲之意。

⑧处者：在家的人。与“游子”相对。《式微》：《诗经·邶风》篇名。其首章云：“式微式微，胡不归？微君之故，胡为乎中露？”《毛诗序》认为是黎侯的臣属劝寄居在卫国的黎侯回国的诗。这里只取其劝归之意。

【译文】

薄薄的云层遮蔽了阳光，
清风吹来拂动我的衣裳。
鱼儿在清澈的水底漫游，
鸟儿在高高的空际翔飞。
游子在遥远的异乡服役，
眷恋着故乡却不能回归。
离家时原野结满了寒霜，
而今又是白露已干之时。
游子悲行役而感叹《黍离》，
家人盼回归而歌吟《式微》。
对着客人情绪无比激动，
内心里怀着强烈的伤悲。

（张亚新　译注）

杂诗一首

嵇叔夜

【作者】

见卷十八《琴赋》作者介绍。

【题解】

这首诗写在清朗的月夜与友人欢聚畅饮的情景，以清新俊雅的笔调，创造了一个新鲜飘逸的意境。陈祚明《采菽堂古诗选》云："嵇中散诗，如独流之泉，临高赴下，其势一往必达，不能曲折潆洄。然固澄澈可鉴。"此诗或可当之。末四句，流露出对渊淡虚无的向往和功名利禄的鄙薄，既为诗篇抹上了一层玄理色彩，同时也表达了诗人"旷迈不群，高亮任性"(《魏志·嵇康传》裴松之注)及愤世疾俗的情怀。钟嵘说嵇诗"峻切"(《诗品》上)，刘熙载说嵇诗"峻烈"(《艺概·诗概》)。从这首清宕遐远的诗中，也不难寻到一些蛛丝马迹。

【原文】

微风清扇①，　云气四除。
皎皎亮月②，　丽于高隅③。
兴命公子④，　携手同车。

龙骧翼翼⑤，扬镳踟蹰⑥。
肃肃宵征⑦，造我友庐⑧。
光灯吐辉⑨，华幔长舒⑩。
鸾觞酌醴⑪，神鼎烹鱼。
弦超子野⑫，叹过绵驹⑬。
流咏太素⑭，俯赞玄虚⑮。
孰克英贤⑯，与尔剖符⑰？

【注释】

①清：《嵇康集》作“轻”。

②皎皎亮：《嵇康集》作“皦皦朗”。古诗：“明月何皎皎。”

③丽：附着。《易·离》有“日月丽乎天”之语。这里是“高挂”的意思。 高隅：指城楼。因位于城角、城曲处，故称为“隅”。李善注：“《周礼》曰：‘城隅之制九雉。’”

④兴：起。

⑤龙骧：骏马。 翼翼：行列整齐貌。《诗经·小雅·采薇》：“四牡翼翼。”

⑥扬镳（biāo 标）：动镳，谓马昂首将行。镳，马嚼子。 踟蹰：来回踏步，是将行未行时的情景。傅毅《舞赋》：“龙骧横举，扬镳飞沫。”

⑦肃肃：疾速貌。 宵：夜。 征：行。《诗经·召南·小星》：“肃肃宵征。”

⑧造：到。 庐：房屋，家。

⑨辉：《嵇康集》作“耀”，五臣作“曜”。

⑩幔：帐幕。 舒：展开。

⑪鸾觞：犹言神觞。鸾，传说中凤凰之类的神鸟。觞，酒器。 酌：饮酒。醴：甜酒。《诗经·小雅·吉日》：“且以酌醴。”

⑫弦：弦乐器。此指演奏弦乐器的技巧。子野：李善注：“杜预《左氏传》注曰：‘子野，师旷字也。’”师旷，春秋时晋国乐师，善鼓琴。

⑬叹：咏叹，指歌唱。 绵驹：春秋时齐人，善歌。《孟子·告子下》：“绵驹处于高唐，而齐右善歌。”

⑭流咏：纵声吟咏。 太素：朴素。作者《五言诗三首》其二云：“朱紫虽玄

黄，太素贵无色。渊淡体至道，色化同消息。”“流咏太素”，也即崇尚虚无之意。

⑮玄虚：道家所称玄妙虚无的道理。《老子》第一章：“玄之又玄，众妙之门。”

⑯孰克：谁能。　英贤：德才杰出的人物。

⑰剖符：分符。符即符节，是帝王封赏功臣的一种文约，竹制，分而为二，皇帝和功臣各执其一，以昭信守。李善注：“言咏赞妙道，游心恬漠，谁能以英贤之德，与尔分符而仕乎？”又何焯《义门读书记》：“‘剖符’乃同乐之意，不谓仕也。”

【译文】

微风轻轻迎面吹拂，
云气慢慢四处散开。
一轮明月清辉四溢，
挂在高高城楼之上。
站起身来叫上公子，
手拉着手登上车来。
骏马排列有多齐整，
高扬头颅踏步徘徊。
迎着月色快速行进，
来到我的友人住宅。
明灯散发柔和光辉，
华丽帐幕长长拉开。
酒杯盛满甘美酒浆，
大鼎煮着诱人鱼鲜。
琴声高妙超过子野，
歌声激越胜过绵驹。
纵声吟咏本色太素，
低头赞叹莫测玄虚。
有谁能做杰出英贤，

同你剖符建立功勋？

（张亚新　译注）

杂诗一首

傅休奕

【作者】

傅玄(217～278)，西晋大臣、文学家。字休奕，北地泥阳(今陕西耀县东南)人。仕魏、晋两朝，历官侍中、御史中丞、司隶校尉等职。性刚直峻急，在朝多有针对时弊的谏议。博学能文，精通音律。著《傅子》数十万言，评论诸家学说及三史故事，已散佚，今存辑本五卷。诗以乐府见长，内容大多描写儿女情事和妇女痛苦，善用比兴，情致委婉。明人辑有《傅鹑觚集》。

【题解】

这首诗通过对一夜之间不同时分的不同物象的捕捉和描写，表现了“愁人知夜长”的诗旨，抒发了一种轻淡的人生倏忽孤寂之感，实际上是诗人在政局翻覆多变时代的一种忧危悲凄情绪的反映。善于描摹景物，自然清丽，具体可感。沈德潜评云：“清俊是选体，故昭明独收此篇。”(《古诗源》卷七)

【原文】

志士惜日短，　愁人知夜长。
摄衣步前庭[1]，仰观南雁翔。
玄景随形运[2]，流响归空房[3]。
清风何飘飖[4]，微月出西方。
繁星依青天，　列宿自成行。
蝉鸣高树间，　野鸟号东箱[5]。
纤云时髣髴[6]，渥露沾我裳[7]。
良时无停景[8]，北斗忽低昂[9]。
常恐寒节至，　凝气结为霜。
落叶随风摧[10]，一绝如流光。

【注释】

①摄：整理，撩起。

②玄景：黑影。景，同“影”。　形：指大雁的身形。运：移动。

③流响：流动着的声响，指大雁的鸣声。

④飘飖：飘摇，飘荡。

⑤东箱：东边的厢房。箱，通“厢”。

⑥髣髴：同“仿佛”，隐隐约约，看不真切。

⑦渥：浓厚。

⑧景：亮光，光阴。

⑨低昂：由于地球自转的关系，北斗在同一夜间其方位会有所变动，“低昂”，谓夜已深。

⑩摧：坏。

【译文】

志士叹惜白天时间短暂，

愁人深知夜晚时间漫长。
撩起衣裳来到门前院中，
仰观大雁朝着南方飞翔。
黑影随着雁飞逐渐前移，
声声雁鸣不断传入空房。
清风四处飘拂何其迅疾，
月光微弱出现在天西方。
繁星密布点缀蓝色夜空，
众星纵横排列自然成行。
秋蝉啼鸣在屋外高树间，
野鸟哀号在东边厢房上。
浮云纤淡看去若有若无，
露珠浓重沾湿我的衣裳。
美好时光一刻也不停留，
北斗不断变化忽低忽昂。
常常担心寒冷季节来到，
寒气凝结成为厚厚白霜。
树叶在寒风中纷然凋落，
一扫而尽如流逝的时光。

（张亚新　译注）

杂诗一首

张茂先

【作者】

见卷十三《鹪鹩赋》作者介绍。

【题解】

这首诗写冬夜不眠情景，并揭示了不眠原因：一因气候严寒，二因思虑太多，而思虑太多是起决定作用的内因。“永思虑崇替”一语，不仅表现了对时光流逝的焦虑，更表现了对于生命和时局的一种迁逝感和危惧感，即作者《答何劭诗三首》其二所说的“负乘为我戒，夕惕坐自惊”之意。表现上较重对偶藻饰，音韵谐婉，庶几可当“奕奕清畅”(《文心雕龙·才略》)、“辞藻温丽”(《晋书》本传)之评。

【原文】

晷度随天运①，　四时互相承②。
东壁正昏中③，　固阴寒节升④。
繁霜降当夕⑤，　悲风中夜兴⑥。
朱火青无光⑦，　兰膏坐自凝⑧。
重衾无暖气⑨，　抉纩如怀冰⑩。
伏枕终遥昔⑪，　寤言莫予应⑫。

永思虑崇替⑬， 慨然独抚膺⑭。

【注释】

①晷(guǐ 轨)：日影。 运：转移。

②承：接续。

③东壁：星名，即壁宿，初冬黄昏时见于正南天空。李善注引《礼记》："仲冬之月，日昏东壁中。"

④固：凝涸。《艺文类聚》三作"涸"。 阴：即寒气。《左传·昭公四年》："其藏冰也，深山穷谷，固阴冱寒。" 升：至。

⑤繁霜：浓霜。《诗经·小雅·正月》："正月繁霜，我心忧伤。" 降：《艺文类聚》三作"隆"。 当夕：当夜。

⑥中夜：半夜。 兴：起。

⑦朱火：红色的火焰。指烛。李善注："古诗曰：朱火然其中，青烟飏其间。"

⑧兰膏：加有香料的油脂，用以制烛。屈原《招魂》："兰膏明烛，华容备兮"。 坐：自然而然地。李善注："无故自凝曰坐。" 自：《艺文类聚》三作"未"。

⑨重衾(qīn 钦)：厚被。

⑩挟纩(kuàng 旷)：披着棉衣。纩，细棉。

⑪遥昔：长夜。《诗经·陈风·泽陂》："寤寐无为，辗转伏枕。"联系上下文意，这句也是说一夜没有睡着。

⑫寤言：醒着时说话。《诗经·卫风·考槃》："独寤寐言。"莫予应：即"莫应予"，没有人答应我。

⑬永：长。 崇替：灭亡。指时间的消逝。

⑭抚膺：捶胸。

【译文】

日影随着天体运转移动，
春夏秋冬彼此取代相承。
黄昏时东壁星正挂南天，
寒气凝涸冬季就要来临。

浓霜在这夜晚纷纷降落，
半夜里刮起了凄风阵阵。
烛火青烟缭绕暗淡无光，
芬芳油脂在不觉中自凝。
盖着厚被竟无一点热气，
披着棉衣就像抱着寒冰。
伏枕终夜没有能够合眼，
说了句话自也无人答应。
反复思虑担心时光永逝，
无限感慨独自捶胸悲吟。

（张亚新　译注）

情诗二首

张茂先

【题解】

《情诗二首》，第一首写独守幽闺的女子思念远方的丈夫，即《古诗十九首》中“青青河畔草”一首所表达的“空床难独守”之意；第二首写游子对家中妻子的思慕，则颇受《古诗十九首》中“涉江采芙蓉”一诗的影响。两诗刻画细致，情调凄回，意致绵邈，哀艳动人，历来为选家所注目。沈德潜评云：“秾丽之作，油然入人，茂先诗之

上者。”(《古诗源 》卷七)钟嵘评张华诗,恨其“儿女情多,风云气少”(《诗品》中),可备一说。但换一个角度看,如能将儿女之情摹写得精妙入微,也自有其存在的价值,诗歌百花园中是少不得这一朵奇葩的。

【原文】

清风动帷帘①,　晨月照幽房②。
佳人处遐远③,　兰室无容光④。
襟怀拥灵景⑤,　轻衾覆空床。
居欢愒夜促⑥,　在戚怨宵长⑦。
拊枕独啸叹⑧,　感慨心内伤⑨。

【注释】

①帷:帐幔。

②晨月:天将亮时的月亮。　照:《玉台新咏》二作“烛”。　幽房:指深闺。

③佳人:女子称丈夫。　遐:远。

④兰室:芬芳的居室,指女子闺房。　无容光:谓在闺房中看不到丈夫的身影。李善注引曹植《离别诗》:“人远精魂近,寤寐梦容光。”

⑤襟怀:胸怀 。　拥:抱。　灵景:犹言“虚景”。《玉台新咏》二作“虚景”。景,同“影”。

⑥愒:《玉台新咏》二、五臣注并作“惜”。李善注:“一云‘居欢惜夜促’。《尔雅》曰:‘愒,贪也。’”贪,也即“惜”意。　促:短。

⑦戚:忧伤。　宵:夜。

⑧拊:《玉台新咏》二、五臣注并作“抚”,“拊”、“抚”字通。　啸叹:长叹。啸,《玉台新咏》二作“吟”。

⑨感慨:《玉台新咏》二作“绵绵”。

【译文】

清风吹动着帐幔和窗帘，
晨月辉映着幽静的闺房。
丈夫在老远老远的地方，
闺房中看不到他的模样。
胸前只抱着虚空的光影，
轻被只盖着空空的大床。
欢乐时候惋惜夜晚太短，
忧伤时候怨恨夜晚太长。
抚着枕头独自长吁短叹，
心中无限感慨无限悲伤。

【原文】

游目四野外①，　逍遥独延伫②。
兰蕙缘清渠③，　繁华荫绿渚④。
佳人不在兹⑤，　取此欲谁与⑥？
巢居知风寒⑦，　穴处识阴雨⑧。
不曾远别离⑨，　安知慕俦侣⑩？

【注释】

①游目：纵目观览。

②逍遥：自在地。　延伫：久立。

③蕙：香草名，暮春开花。　缘：沿。　渠。水沟，河道。

④繁华：繁花。指兰、蕙花。　荫：覆盖。《艺文类聚》三十二作“阴”。　渚：小洲。

⑤佳人：指妻子。　兹：此。

⑥此：《艺文类聚》三十二作“之”。　谁与：与谁，赠谁。古时有采兰蕙以赠

所爱的习俗。一说,“谁与”,谓与谁共赏,也可通。

⑦巢居:指鸟。李善注引《春秋汉含孳》:“巢居之鸟先知风,树木摇,鸟已翔。” 知风寒:《玉台新咏》二作“觉风飘”。风寒,《艺文类聚》三十二作“寒风”。

⑧穴处:指蝼蚁之类。相传蝼蚁穴处能预知阴雨。 识:《艺文类聚》三十二作“知”。

⑨不:《玉台新咏》二作“未”。

⑩俦侣:伴侣,指夫妻。

【译文】

在空旷的原野纵目四望。
独自优游自得久久站立。
兰蕙沿着清溪蓬勃生长,
繁花覆盖着碧绿的小洲。
只可惜妻子她不在这里,
采摘了兰蕙又赠送给谁?
巢居的鸟儿能先知风寒,
穴处的蝼蚁能预识阴雨。
不曾经历过远离别的人,
怎能理解这种思念之情?

(张亚新 译注)

园葵诗一首

陆士衡

【作者】

见卷十六《叹逝赋》作者介绍。

【题解】

晋惠帝永宁元年(301),赵王伦谋篡位,以陆机为中书郎。不久,废帝自立。齐王冏、成都王颖、河间王颙等共起兵讨伦,迎惠帝返朝,赐伦死。齐王冏以陆机职在中书,疑上伦的《九锡文》及禅文为陆机所作,遂逮捕了陆机等九人,交付廷尉,赖成都王颖及吴王晏救助,得减死徙边,遇赦而止。陆机遇赦后,即作了这首《园葵诗》,以向日的园葵自喻,表达了对司马颖的倾慕感激之情。"时成都王颖推功不居,劳谦下士。机既感全济之恩,又见朝廷屡有变难,谓颖必能康隆晋室,遂委身焉。"(《晋书》本传)颖以陆机参大将军军事,表为平原内史。陆机到官后,作表谢颖,其中谈到被齐王冏幽执后,"重蒙陛下恺悌之宥,回霜收电,使不陨越,复得扶老携幼,生出狱户,怀金拖紫,退就散辈。感恩惟咎,五情震悼,跼天蹐地,若无所容。不悟日月之明,遂垂曲照,云雨之泽,播及朽瘁。"可与此诗参读。但后来陆机终因军败遭谗而被司马颖所杀,这不能不是诗人的一个惨痛的人生悲剧。

【原文】

种葵北园中①，　葵生郁萋萋②。
朝荣东北倾③，　夕颖西南晞④。
零露垂鲜泽⑤，　朗月耀其辉⑥。
时逝柔风戢⑦，　岁暮商猋飞⑧。
曾云无温液⑨，　严霜有凝威。
幸蒙高墉德⑩，　玄景荫素蕤⑪。
丰条并春盛⑫，　落叶后秋衰。
庆彼晚凋福，　忘此孤生悲。

【注释】

①葵：菊科草本植物，有锦葵、向日葵、蜀葵、秋葵等。葵常朝向太阳，因常用来比喻倾慕向往之情。

②萋萋：茂盛貌。

③荣：花。

④颖：东西末端的尖锐部分，这里指葵的顶端。　晞（xī 希）：干，谓向日而干，实即指向日。李善注引《淮南子》："圣人之于道，犹葵之与日，虽不与终始哉，其乡之诚也。"

⑤零：降落。《诗经·郑风·野有蔓草》："零露漙兮。"《艺文类聚》八十二作"灵"，《书钞》百五十二作"寒"。

⑥朗月：《艺文类聚》八十二作"朗日"，《书钞》百五十二作"明日"。

⑦时逝：指春天过去。　柔风：和风。李善注引《管子》："东方曰春，柔风甘雨乃至。"柔，《艺文类聚》八十二作"和"。　戢（jí 吉）：收敛，止息。

⑧商猋（biāo 标）：秋风。猋，同"飙"，本指旋风，暴风。《艺文类聚》八十二作"伤飙"。

⑨曾（céng 层）：重叠。通"层"。　云：《艺文类聚》八十二作"露"，较胜。无温液：谓露珠冰冷。

⑩墉（yōng 庸）：墙。

⑪玄景：幽暗。 素：指秋天。古代五行以金配秋，其色白，称素秋。 蕤(ruí 锐阳平)：枝叶繁盛貌。指葵。

⑫丰条：茂盛的枝条。

【译文】

把葵种在北面园中，
长得多么葱郁茂盛。
早晨花朝东北倾斜，
傍晚头朝西南转回。
露珠呈现鲜艳光泽，
明月闪耀和悦光辉。
春天过去和风消歇，
一年将尽秋风劲吹。
重重露珠透出冰凉，
浓浓白霜凝成严威。
幸蒙高墙庇护之德，
暗影遮蔽繁盛秋葵。
枝条丰茂与春同盛，
落叶却在秋后衰微。
庆幸它有晚凋之福。
使人忘此孤生之悲。

（张亚新　译注）

思友人诗一首

曹颜远

【作者】

曹摅(？～308)，西晋诗人。字颜远，谯国(今安徽亳州市)人。初任临淄令，后入为尚书郎，转洛阳令。齐王冏辅政，与左思俱为记室督。不久，升任中书侍郎。惠帝末，任襄城太守。永嘉二年(308)，为征南司马，因镇压流民，兵败而死。好学善属文。《文心雕龙·才略》云："曹摅清靡于长篇。"《隋书·经籍志》著录有集三卷，已佚。今存诗九首，以《感旧诗》较著名。

【题解】

这是一首感情深挚的怀友诗。所怀之人为欧阳建。曹摅有《赠欧阳建诗》四章，其首章云："嗟我良友，惟彦之远。弱冠参戎，既立南面。或踊或升，蔚焕其变。岂徒虚声，考绩畿甸。约政理繁，事省功辩。如何勿思，自我不见。乃命仆夫，北临其县。"可证。欧阳建，字坚石，渤海南皮(今河北南皮县东北)人，是当时重要的玄学理论家，提出了"言尽意"这一著名的玄学命题。诗中"精义测神奥，清机发妙理"二句，即是对其作为玄学家的思维和语言活动的绝妙刻画。

【原文】

密云翳阳景①，　霖潦淹庭除②。
严霜凋翠草，　寒风振纤枯③。
凛凛天气清④，　落落卉木疏⑤。
感时歌《蟋蟀》⑥，思贤咏《白驹》⑦。
情随玄阴滞⑧，　心与回飙俱⑨。
思心何所怀？　怀我欧阳子⑩。
精义测神奥⑪，　清机发妙理⑫。
自我别旬朔⑬，　微言绝于耳⑭。
褰裳不足难⑮，　清阳未可俟⑯。
延首出阶檐⑰，　伫立增想似⑱。

【注释】

①翳(yì 义)：遮蔽。　阳景：阳光。

②霖：久雨。《左传·隐公九年》："凡雨，自三日以往为霖。"　潦(lǎo 老)：积水。　庭除：庭前阶下，院内。

③振：动。　纤枯：指枯草。

④凛凛：寒冷貌。

⑤落落：稀疏、零落貌。　卉木：草木。

⑥《蟋蟀》：《诗经·唐风》篇名，是一首岁暮述怀的诗。其首章云："蟋蟀在堂，岁聿其莫。今我不乐，日月其除。"

⑦《白驹》：《诗经·小雅》篇名，是一首别友思贤的诗。其首章云："皎皎白驹，食我场苗。絷之维之，以永今朝。所谓伊人，于焉逍遥。"

⑧玄阴：指冬月。　滞：滞积不通，即不舒畅。

⑨回飙：旋风。　俱：一起。

⑩子：古代对男子的尊称。

⑪精义：事物精微的含义。 测：测度，研究。 神奥：神妙。谓精研事物的微义，达到了神妙的境地。《易·系辞下》："精义入神，以致用也。"欧阳建善思辨，著有《言尽意论》等哲学著作。

⑫清：清晰，明确。 机：枢机，指事物的枢要、关键。 发：阐发。 妙理：精深的道理。

⑬旬朔：十天称旬，农历每月初一称朔，"旬朔"指十天或一月。

⑭微言：精微之言。

⑮褰（qiān 千）：提起衣服。《诗经·郑风·褰裳》："子惠思我，褰裳涉溱。"

⑯清阳：即清扬。清，指目，扬，指眉，"清扬"谓眉清目秀。这里代指友人。 俟：等待。《诗经·郑风·野有蔓草》："这美一人，清扬婉兮，邂逅相遇，适我愿兮。"这里反用其意，谓不可能"邂逅相遇"，故云"未可俟"。

⑰延首：伸颈。欲远望之意。 阶檐：屋前台阶。

⑱伫立：久立。 增想似：由于不断地想念友人，以致觉得有的人的形象同友人的形象越来越相似。李善注："阮瑀《止欲赋》曰：'伫延首以极视兮，意谓是而复非。'《庄子·徐无鬼》曰：'夫越之流人，去国数日，见其所知而喜；去国旬月，见所尝见于国中者喜；及期年也，见似人者而喜矣。不亦去人滋久思之滋深乎？'"

【译文】

云层厚密遮蔽了阳光，
雨后积水淹没了院子。
严霜摧败了原野碧草，
寒风吹动着细叶枯枝。
天气越来越寒冷清肃，
草木越来越稀疏凋敝。
感时迁逝唱起了《蟋蟀》，
怀念贤友吟起了《白驹》。
情随冬至而郁塞不通，
思与旋风飘卷在一起。

心中想着的到底是谁？
是我亲爱的欧阳兄弟。
精研微义达神妙之境，
阐发枢机有精深道理。
同你分别这旬月以来，
精微之言再无人说起。
提起衣走走并不困难，
只是不可能同你相遇。
走下台阶去举头远望。
觉得有人越来越像你。

（张亚新　译注）

感旧诗一首

曹颜远

【题解】

这首诗以浑厚质朴的语言，前后对比的手法，抒写了对看重故旧情义的乡人的感念之情，而对趋炎逐势的世态人情作了抨击，寓意颇为深刻。首二句高屋见瓴，既写出了诗人痛切的人生感受，也概括了封建社会一个重要的本质特征，颇能引起某些人感情上的共鸣。沈德潜《古诗源》云："殷浩坐废，韩康伯咏首二句，因而泣下。"即其一例。据《晋书》本传，曹摅曾被长沙王司马乂任为骠骑司

马，义败，曹摭被免官，因丁母忧，本诗有可能作于免官家居时。

【原文】

富贵他人合①，　贫贱亲戚离。
廉蔺门易轨②，　田窦相夺移③。
晨风集茂林④，　栖鸟去枯枝⑤。
今我唯困蒙⑥，　郡士所背驰⑦。
乡人敦懿义⑧，　济济荫光仪⑨。
对宾颂《有客》⑩，举觞咏"露斯"⑪。
临乐何所叹？　素丝与路歧⑫。

【注释】

①合：谓前来趋奉。李善注："《鹖冠子》曰：'家富疏族聚，居贫兄弟离。'"

②廉：廉颇，战国时赵将。　蔺：蔺相如，战国时赵臣。　门易轨：谓门人离开故主投靠别人。据《史记·廉颇蔺相如列传》，蔺相如因却秦之功，拜上卿，位在廉颇之上。廉颇不服，欲羞辱相如。相如以国为重，不与廉颇争名于朝，路遇廉颇，引车避匿。门客不知其故，欲离相如而附廉颇。又，廉颇失势之时，故客尽去，及复用为将，客又复至。廉颇感慨此事，客曰："吁！君何见之晚也？夫天下以市道交，君有势，我则从君，君无势则去，此固其理也，有何怨乎？"

③田：田蚡，西汉大臣。　窦：窦婴，西汉大臣。据《史记·魏其武安侯列传》，魏其侯窦婴和武安侯田蚡争权夺利，相互倾轧，俱被窦太后罢官居家。"武安侯虽不任职，以王太 后故，亲幸，数言事多效，天下吏士趋势利者，皆去魏其归武安。"

④晨风：鸟名，善飞。《诗经·秦风·晨风》："鴥彼晨风，郁彼北林。"

⑤栖：栖息，歇息。李善注："黄石公《兵书》曰：'树机者，鸟不栖也。'"

⑥困蒙：困于蒙昧。《易·蒙》："困蒙，吝。"

⑦郡：《诗记》三十作"群"。　所：《诗纪》云："一作'皆'。"

⑧敦：厚。　懿义：美好的道义。李善注引《春秋说题辞》："秉懿诚之义，思

至忠之功。”

⑨济济：众多貌。 荫：荫庇，庇护。这里是环绕围护的意思。 光仪：光采和仪表。指乡人。祢衡《鹦鹉赋》：“背蛮夷之下国，侍君子之光仪。”

⑩颂：通“诵”。 《有客》：《诗经·周颂》篇名，旧说是宋微子朝周，将要回国，周王设宴饯行时所唱的乐歌。中云：“有客有客，亦白其马。有萋有且，敦琢其旅。有客宿宿，有客信信。言授之縶，以縶其马。”

⑪觞：酒器。 露斯：指《诗经·小雅》中的《湛露》诗。其辞云：“湛湛露斯，匪阳不晞。厌厌夜饮，不醉无归。”是周王宴饮宾客的诗。

⑫素丝：未经染色的丝。 路歧：歧路，岔道。李善注引《淮南子》：“杨子见逵路而哭之，为其可以南可以北；墨子见练丝而泣之，为其可以黄可以黑。”这里隐以可南可北、可黄可黑喻人情的有冷有暖、世情的反复多变。

【译文】

人一富贵他人都来趋奉，
人一贫贱亲戚都要离去。
廉蔺失势门客改弦易轨，
田窦相争下人见机转移。
晨风喜欢居留繁树茂林，
栖鸟也会离开秃树枯枝。
今我因蒙昧而陷入困境，
郡中吏士纷纷同我背离。
只有乡人个个崇美重义，
兴高采烈同我围坐一起。
对着我把《有客》高声吟诵，
举杯劝酒一齐歌咏《湛露》。
面对如此场面有何感叹？
叹变化无常的素丝歧路。

（张亚新 译注）

杂诗一首

何敬宗

【作者】

见卷二十一《游仙诗》作者介绍。

【题解】

这首诗所表达的意思是很平常的，但语言平易，层次清晰，意境空灵，在写作上颇具特色。其时诗坛藻饰之风渐起，这首诗是能别具一格者。（何劭也有较重藻饰之作，如《赠张华诗》云："四时更代谢，悬象迭卷舒。暮春忽复来，和风与节俱。俯临清泉涌，仰观嘉木敷。"）关于排列顺序，此诗似应在陆机《园葵诗》之前，故李善云："《赠答》何在陆前，而此居后，误也。"

【原文】

秋风乘夕起，　明月照高树。
闲房来清气，　广庭发晖素①。
静寂怆然叹②，惆帐出游顾③。
仰视垣上草④，俯察阶下露。
心虚体自轻⑤，飘飘若仙步。
瞻彼陵上柏⑥，想与神人遇。

道深难可期⑦，精微非所慕⑧。
勤思终遥夕⑨，永言写情虑⑩。

【注释】

①晖素：指月光。李善注："古《长歌行》曰：'昭昭素明月，晖光烛我床。'"

②怆：悲伤。

③出：《诗纪》二十三作"忽"。　顾：看。

④垣：墙。李善注："垣草易凋，阶露易隕，言可伤也。"

⑤心虚：谓静心寂虑，不为世事所烦。　体自轻：道家谓得道者身轻。李善注："言既悟二物，故当全形养生。张湛曰：'心虚则形全。'"

⑥瞻：望。　陵：坟墓。古诗："青青陵上柏。"

⑦期：期待。李善注引魏武帝《秋胡行》："道深未可得，名山历观行。"（按今本《曹操集》作"道深有可得，名山历观"。）

⑧精微：谓神仙之道所包含的精细隐微的内蕴。

⑨遥夕：长夜。

⑩永言：《尚书·尧典》："诗言志，歌永言。"永，长，谓歌是延长诗的语言，徐徐咏唱，以突出诗的意义。一说，"永"通"咏"。这里"永言"指诗。

【译文】

秋风在这傍晚时分刮起，
明月清澄照着院中高树。
房中闲静吹来空气清新，
庭院宽广洒满月色如注。
倍感静寂不禁伤心叹息，
无限惆怅出门漫游四顾。
抬头望一望墙上的小草，
低头看一看阶下的白露。
心中虚静身体自然轻爽，
飘飘摇摇仿佛迈起仙步。

看看那坟上青郁的柏树，
心中希望能同神人相遇。
神仙之道深奥难以期待，
其理精细隐微不可钦慕。
这么想着过去了一整夜，
且用诗写下这情怀思虑。

（张亚新　译注）

杂诗一首

王正长

【作者】

王讚（生卒年不详），西晋诗人。字正长，义阳（今河南桐柏县东）人。博学有俊才。始任司空掾，太康中为太子舍人，惠帝时拜侍中，永嘉中为陈留内史，加散骑侍郎。工诗，钟嵘《诗品》将其列入中品。《隋书·经籍志》著录有集五卷，已佚。今存诗五首。

【题解】

这是一首久役思归的诗。“王事离我志”云云，还表达了厌弃官场生活、向往隐归林园的情怀，与后来陶渊明的《归去来辞》在精神上是相通的。首二句就眼前景物，信手拈来，自然入妙，有很强的艺术概括力，成为一时传诵的名句。沈德潜评云：“起得雄杰。”（《古诗

源》卷七)不少人将这两句作为这首诗的代表,进而作为王谢诗最高成就的代表。沈约认为"正长朔风之句,……直举胸情,非傍诗史,正以音律调韵,取高前式"(《宋书·谢灵运传论》)。

【原文】

朔风动秋草①,　边马有归心。
胡宁久分析②,　靡靡忽至今③?
王事离我志④,　殊隔过商参⑤。
昔往鸽鹏鸣⑥,　今来蟋蟀吟⑦。
人情怀旧乡⑧,　客鸟思故林⑨。
师涓久不奏⑩,　谁能宣我心⑪?

【注释】

①朔风:北风。蔡琰《悲愤诗》:"北风厉兮肃泠泠,胡笳动兮边马鸣。"古诗:"胡马依北风,越鸟巢南枝。"

②胡宁:为什么。《诗经·小雅·四月》:"先祖匪人,胡宁忍予?" 分析:分离。

③靡靡:迟迟。《诗经·王风·黍离》:"行迈靡靡,中心摇摇。" 忽:迅疾。

④王事:国家之事《诗经·小雅·采薇》:"王事靡盬,不遑启处。" 离我志:背离了我的志向。

⑤殊隔:远隔。 商、参:二星名,商星(又名辰星)居东方,参星居西方,出没两不相见。

⑥鸽鹏:一作"仓庚",即黄莺,鸣于春。《诗经·豳风·七月》:"春日载阳,有鸣仓庚。"

⑦蟋蟀:鸣于秋。《诗经·唐风·蟋蟀》:"蟋蟀在堂,岁聿其莫。"

⑧"人情"句:五臣作"人情旧乡客"。

⑨"客鸟"句:五臣作"鸟思栖故林"。

⑩师涓:春秋时卫国乐师。《韩非子·十过》:"卫灵公将之晋,至濮水之上,税车而放马,设舍以宿。夜分而闻鼓新声者而说(悦)之,使人问左右,尽报

弗闻。召师涓而告之曰：‘有鼓新声者，使人问左右，尽报弗闻。其状似鬼神。子为听而写之。’师涓曰：‘诺。’因静坐抚琴而写之。师涓明日报曰：‘臣得之矣。’”

⑪宣：宣示，表白。

【译文】

北风吹动着衰枯的秋草，
边地的马有了归乡之心。
为什么久久地这样分离，
迟迟不动转眼到了而今？
奔波国事与我志向相背，
远隔家乡超过商参二星。
离家时节黄莺叫得正欢，
而今归来蟋蟀声声悲吟。
怀念故乡这是人之常情，
鸟在外地也想它的故林。
师涓已有好久不奏妙曲，
谁能宣泄我郁积的心声？

（张亚新 译注）

杂诗一首

枣道彦

【作者】

枣据(生卒年不详),西晋诗人。本姓棘,其祖先避仇改为枣。字道彦,颍川长社(今河南长葛县西)人。初在大将军府任职,后出为山阳令,有政绩。升迁尚书郎,转右丞。贾充伐吴,请为从事中郎。军还,任黄门侍郎、冀州刺史、太子中庶子。太康中(280～289)卒,时年五十余。著诗、赋、论四十五篇,《隋书·经籍志》著录有集二卷,大多亡佚。钟嵘《诗品》列为下品。

【题解】

这首诗为作者随贾充大举伐吴前所作。据《晋书·武帝纪》,西晋大举伐吴在咸宁五年(279)十一月,此诗当即作于此时,据《晋书·贾充传》,贾充虽被任命为大都督,统帅诸路伐吴大军,但因担心"大功不捷",一再反对伐吴,此诗虑及军旅生活的种种艰辛,或亦受其影响。何焯《义门读书记》云:"枣道彦《杂诗》,拟仲宣《从军》。"但此诗主要抒写正式伐吴前的内心活动与感受,自有不同之处。其抒写曲折细致,真切自然,娓娓道来,如叙家常,颇见特色。

【原文】

吴寇未殄灭①, 乱象侵边疆②。

天子命上宰③，　作蕃于汉阳④。
开国建元士⑤，　玉帛聘贤良⑥。
予非荆山璞⑦，　谬登和氏场⑧。
羊质复虎文⑨，　燕翼假凤翔⑩。
既惧非所任⑪，　怨彼南路长⑫。
千里既悠邈⑬，　路次限关梁⑭。
仆夫罢远涉⑮，　车马困山冈。
深谷下无底，　高岩暨穹苍⑯。
丰草停滋润⑰，　雾露沾衣裳。
玄林结阴气⑱，　不风自寒凉。
顾瞻情感切⑲，　恻怆心哀伤⑳。
士生则悬弧㉑，　有事在四方。
安得恒逍遥㉒，　端坐守闺房㉓。
引义割外情㉔，　内感实难忘。

【注释】

①殄(tiǎn 舔)灭：消灭。

②乱象：指战乱。王粲《七哀诗》："西京乱无象，豺狼方遘患。"

③上宰：宰相。指贾充。贾充时任尚书令，相当宰相。

④作蕃：设置屏障、防线。蕃，同"藩"。　汉阳：汉水的北面。

⑤开国：建立邦国。《易·师》："大君有命，开国承家，小人勿用。"　建：建立，设置。　元士：官名，即上士。《礼记·王制》："天子之元士视附庸。"注："元士，上士也。"《礼记·王制》："王者之制禄爵，公、侯、伯、子、男凡五等。诸侯之上大夫卿、下大夫、上士、中士、下士凡五等。"这里"建元士"指贾充征调官吏在军中设置有关机构。

⑥玉帛：瑞玉和缣帛，指珍贵的礼品。　贤良：有德行的人。李善注："王逸《楚辞》注曰：'天下贤人将持玉帛聘而遗之。'"

⑦予：我。　荆山：楚地的山。璞：未经雕琢加工的玉。春秋时楚人卞和得

璞玉于荆山，经剖琢而为宝玉。后以荆璞比喻优秀卓异的人才。

⑧谬：错误，这里为自谦之词。 和氏场：鉴别、治理和陈列宝玉的地方。这里指自己被当作人才请为从事中郎，随军伐吴。

⑨“羊质”句：谓自己虚有其表。扬雄《法言·吾子》：“羊质虎皮，见草而说（悦），见豺而战，忘其皮之虎矣。” 复：《诗记》二十三作“服”。 虎文：虎皮上的花纹，即指虎皮。

⑩燕：喻己。 假：凭藉。 凤：喻贾充。

⑪任：胜任。

⑫“怨彼”句：曹植《赠白马王彪诗》：“怨彼东路长。”

⑬悠邈：遥远。

⑭次：《左传·庄公三年》：“凡师一宿为舍，再宿为信，过信为次。”这里泛指军队在途中停留。 关梁：关，关门；梁，桥梁。指水陆要冲之处。宋玉《九辩》：“猛犬唁唁而迎吠兮，关梁闭而不通。”

⑮罢（pí 皮）：通“疲”。

⑯暨（jì 既）：至，到。 穹苍：天空。

⑰滋润：谓沾满露水。《诗经·小雅·湛露》：“湛湛露斯，在彼丰草。”

⑱玄林：幽暗的树林。 阴气：阴凉潮湿的空气。

⑲顾瞻：回头眺望。

⑳恻怆：悲伤。

㉑悬弧：悬弓。古代风俗。家生男子门左挂弓一张。李善注：“《礼记》曰：‘国君太子，生三日，卜士负之，射人以桑弧蓬矢六，射天地四方。’又孔子曰：‘士使之射，不能，则辞以疾，悬弧之义也。’《韩诗内传》曰：‘男子生，桑弓蓬矢六，射上下四方，明当有事天地四方也。’”

㉒恒：常。

㉓守闺房：谓守着妻子。

㉔引义：援引大义。 外情：害怕外出行军艰苦的情绪。

【译文】

吴国这敌寇还没有消灭，
挑起事端侵犯我国边疆。

天子发下诏书命令宰相，
带兵赶到汉水北岸布防。
建立邦国需要任命元士，
瑞玉缣帛用以招聘贤良。
我并不是一块荆山璞玉，
却荒谬地走进和氏之场。
好似绵羊披上一层虎皮，
又像燕翅依傍凤凰飞翔。
既担心不能够承担重任，
又怕那南去的路太漫长。
千里路程本来就很遥远，
途中还有水陆冲要阻挡。
仆夫因长途跋涉而疲惫，
车马被困在高高的山冈。
山谷深深一眼看不见底，
高岩高高一直伸到天上。
野草茂盛显得非常滋润，
雾露浓重沾湿人的衣裳。
幽暗的树林笼罩着阴气，
即使无风也觉又冷又凉。
回头眺望故国情感激动，
心中怅然生出无限悲伤。
男儿生下门上就要悬弓，
表明有事要奋斗在四方。
哪里能够常常逍遥自在，
成天端坐守在深闺洞房。
援引大义去掉畏难情绪，

内心这番感受实在难忘。

（张亚新　译注）

杂诗一首

左太冲

【作者】

见卷四《三都赋序》作者介绍。

【题解】

这是一首秋夜感怀之作。李善题解云："冲于时贾充征为记室，不就，因感人年老，故作此诗。"诗从时节变换写起，最后直陈感慨，表达了对人生失意的悲愤。诗篇表明诗人直到晚年，也并没有从早年强烈的功业之心中超脱出来，虽曾写过《招隐》等诗，但并非真想绝意仕宦，归隐田园。表现上，前以景语起，后以情语结，由远景而近景，由外物而内心，由视觉、听觉而心感，层层变幻，步步深入，可谓深具匠心，很好地达到了述志抒怀的目的。

【原文】

秋风何洌洌①，　白露为朝霜②。

柔条旦夕劲③，　绿叶日夜黄。
明月出云崖④，　皦皦流素光⑤。
披轩临前庭⑥，　嗷嗷晨雁翔⑦。
高志局四海⑧，　块然守空堂⑨。
壮齿不恒居⑩，　岁暮常慨慷⑪。

【注释】

①**冽冽**：寒貌。五臣作“烈烈”。

②为：凝结成。《诗经·秦风·蒹葭》：“蒹葭苍苍，白露为霜。”

③旦夕劲：一天天强劲。秋天树叶枯黄，树枝突现，在秋风中给人以强劲之感。

④云崖：指云端。

⑤皦皦：同“皎皎”，明净貌。　素光：白光。李善注引刘桢诗：“皦月垂素光。”（全诗今佚）

⑥披轩：开门。

⑦嗷嗷：鸟哀鸣声。

⑧高志：崇高的志向。　局四海：谓四海之大仍感到局促狭小。四海，指四海之内，即中国。

⑨块然：孤独貌。

⑩壮齿：壮年。　不恒居：不常驻。

⑪岁暮：一年将尽，同时隐含老之将至、一生将尽之意。　慨慷：感伤之意。

【译文】

凛冽的秋风是多么寒凉，
早晨的白露变成了浓霜。
柔弱的枝条一天天强劲，
碧绿的树叶一天天枯黄。
明月出现在高高的云端，

皎洁清朗发出白色辉光。
把门打开来到庭院踱步，
只听晨雁嗷嗷叫着飞翔。
志向崇高以四海为局促，
却只能独守这斗室空堂。
壮健年华不会长久留驻，
岁暮来临常感无限悲伤。

（张亚新　译注）

杂诗一首

张季鹰

【作者】

张翰（生卒年不详），西晋诗人。字季鹰，吴郡吴（今江苏苏州市）人。有清才，善属文，而纵任不拘，时人号为“江东步兵”。齐王司马冏任为大司马东曹掾，翰见天下纷纷，祸难未已，有不安意。见秋风起，乃思吴中菰菜、莼羹、鲈鱼脍，遂辞官归家。年五十七卒。《隋书·经籍志》著录有集二卷，已佚。钟嵘《诗品》将其诗列入中品。《文心雕龙·才略》云：“季鹰辨切于短韵。”宋濂《答章秀才论诗书》云：“张季鹰则法公干。”

【题解】

《晋书·张翰传》:“翰任性自适,不求当世。或谓之曰:‘卿乃可纵适一时,独不为身后名邪?’答曰:‘使我有身后名,不如即时一杯酒。’时人贵其旷达。”但从这首《杂诗》看来,诗人虽陶醉于家乡的风物之美,但也并未忘怀世事,内心仍然翻腾着荣辱贵贱、生老病死的矛盾,就像归隐了田园的陶渊明一样,“并非整天整夜的飘飘然”(鲁迅《且介亭杂文二集·〈“题未定”草〉》)。此乃时代使之然,不足为奇。诗篇“虽不具美,而文采高丽”(钟嵘《诗品》中),“黄花如散金”一句尤为出色,李白曾称赞说:“张翰黄花句,风流五百年。”(《金陵送张十一再游东吴》)

【原文】

暮春和气应①,　白日照园林。
青条若总翠②,　黄华如散金③。
嘉卉亮有观④,　顾此难久耽⑤。
延颈无良涂⑥,　顿足托幽深⑦。
荣与壮俱去⑧,　贱与老相寻⑨。
欢乐不照颜⑩,　惨怆发讴吟⑪。
讴吟何嗟及⑫,　古人可慰心⑬。

【注释】

①暮春:春末,农历三月。　和气:清明温和之气。　应:互相回应,指清风和气四处吹拂。

②条:树枝。

③华:同“花”。

④嘉:美。卉,草。这里泛指花草树木。　亮:确实。　有观:可观。

⑤耽:玩乐,沉溺。

⑥延颈：伸颈。谓伸颈远望。　涂：同“途”。

⑦顿足：犹止步。　托幽深：谓归隐林泉。

⑧荣：光荣，荣耀。

⑨相寻：连续不断而来。

⑩不照颜：不在脸上露出，也即没有欢乐。

⑪惨怆：凄楚悲伤。　讴吟：歌吟。

⑫何嗟及：即“嗟何及”，谓嗟叹又有什么用处，嗟，悲叹声。《诗经·王风·中谷有蓷》：“啜其泣矣，何嗟及矣！”

⑬“古人”句：谓以古人的德行事迹作为自己心灵的慰藉。《诗经·邶风·绿衣》：“我思古人，实获我心。”又《大雅·烝民》：“仲山甫永怀，以慰其心。”

【译文】

暮春时节和风来回吹拂，
阳光明媚照耀山野园林。
树枝青青似将翠色汇聚，
黄花烂熳好像点点散金。
花草秀美确实值得观赏，
无奈看来不能久乐长娱。
举首四望没有好路可走，
停下步来托身幽深泉林。
荣耀连同青春一起消逝，
卑贱伴随老年一齐来临。
脸上看不见有欢乐踪影，
凄楚悲声发出曼声歌吟。
曼声歌吟感叹没有用处，
唯有古人可以慰我心灵。

（张亚新　译注）

杂诗十首

张景阳

【作者】

见卷二十一《咏史》作者介绍。

【题解】

《杂诗十首》是张协的代表作，不作于一时一地，内容较为广泛，可看作是一组诗的“随感录”。据《晋书》本传，张协曾任河间内史等职，“在郡清静寡欲。于时天下已乱，所在寇盗，协遂弃绝人事，屏居草泽，守道不竞，以属咏自娱”，诗篇大体表现了诗人淡然尘外的情趣及不偶于世的沉忧。情感的表现较微婉冲淡，语言也较朴素明净，故形成了一种与同时代的潘、陆不同，而与后来的陶渊明相似的素淡的风格。不过张协胸次难与渊明比肩，其语言也还有警拔工巧的一面，这突出地表现在对自然景物的刻画上，如“腾云似涌烟”、“密雨如散丝”等句，都颇具形似之工，堪称精妙。故钟嵘评云：“巧构形似之言。……词采葱茜，音韵铿锵，使人味之，亹亹不倦。”（《诗品》上）何焯更进一步指出这是“于建安能者而外，复变创新体”。的确，对自然景物作细微刻画是张协《杂诗》的特色所在，同时也是中国诗歌在艺术意趣上逐渐走向精致的一个标志。

【原文】

秋夜凉风起①，　清气荡暄浊②。
蜻蛚吟阶下③，　飞蛾拂明烛④。
君子从远役⑤，　佳人守茕独⑥。
离居几何时？　钻燧忽改木⑦。
房栊无行迹⑧，　庭草萋以绿⑨。
青苔依空墙，　蜘蛛网四屋⑩。
感物多所怀，　沉忧结心曲⑪。

【注释】

①这首诗写女子秋夜思夫的情怀。对时节变易的描写，也可能包含了对当时政局变化的隐射。

②清气：指凉风。　荡：洗涤。　暄（xuān 宣）：暖。指炎热混浊之气。

③蜻蛚（liè）：蟋蟀的一种。

④飞蛾：即灯蛾，见灯火即飞扑。　拂：扑向。

⑤君子：指女子的丈夫。

⑥佳人：美女，指思妇。　茕（qióng 穷）独：孤独。

⑦钻燧：钻木取火。燧，古代取火的一种工具。　改木：古代钻木取火，所用之木，四季更换。李善注引《邹子》："春取榆柳之火，夏取枣杏之火，季夏取桑柘之火，秋取柞楢之火，冬取槐檀之火。"

⑧房栊（láng 龙）：犹言房舍。

⑨萋：通"凄"《古诗》："秋草萋以绿。"以，《玉台新咏》三作"已"。

⑩四屋：指墙壁四面。

⑪沉忧：深重的哀愁。　心曲：内心深处。

【译文】

秋天夜晚吹来阵阵凉风，

凉风荡涤了闷热和混浊。
蟋蟀在阶下不停地鸣叫，
飞蛾扑向那明亮的蜡烛。
夫君离开家到远方服役，
佳人守空闺寂寞又孤独。
离别分居已经过去多久？
时节变易钻火忽要换木。
房中不见夫君一点踪影，
庭院秋草凄然变成黄绿。
青苔沿着空墙悄悄滋长，
蜘蛛到处结网挂满四屋。
眼前景物触动多少情怀，
哀愁深重郁结内心深处。

【原文】

大火流坤维①，　白日驰西陆②。
浮阳映翠林③，　回飙扇绿竹④。
飞雨洒朝兰，　轻露栖丛菊。
龙蛰暄气凝⑤，　天高万物肃⑥。
弱条不重结⑦，　芳蕤岂再馥⑧。
人生瀛海内⑨，　忽如鸟过目。
川上之叹逝⑩，　前修以自勖⑪。

【注释】

①这首诗前半写节候变迁，后半抒发感慨，流露出自勉自励之意。　大

火：星名，亦称火，即心宿二。每年夏历五月黄昏的时候，出现在南方，方位最正，位置最高。六月以后，就偏西向下行。 流：向下行。《诗经·豳风·七月》："七月流火。" 坤维：指地。一说，指西南方。李善注："《淮南子》曰：'坤维在西南。'又曰：'斗指西南维为立秋。'"

②西陆：指秋天。李善注引《续汉书》："日行西陆谓之秋。"

③阳：指日光。

④回飙：旋风。这里泛指风。 扇：吹动。

⑤蛰(zhé 哲)：动物冬眠，藏起来不食不动。《易·系辞下》："龙蛇之蛰，以存身也。" 暄气：暖气。 凝：《广雅》："止也。"

⑥天高：秋天天高气爽。 肃：收缩。《诗经·豳风·七月》："九月肃霜。"《毛传》："肃，缩也，霜降而收缩万物。"

⑦弱条：柔弱的枝条。 不重结：因干枯而不能再弯曲打结。即左思《杂诗》"柔条旦夕劲"之意。李善注引《文子》："冬冰可折，夏条可结。"

⑧芳蕤(ruí 锐阳平)：指繁花。 馥：香。

⑨瀛海内：犹言天地间。瀛海，浩瀚的海洋。《史记·孟子荀卿列传》："中国名曰赤县神州。赤县神州内自有九州，禹之序九州是也，不得为州数。中国外如赤县神州者九，乃所谓九州也。于是有裨海环之，人民禽兽莫能相通者，如一区中者，乃为一州。如此者九，乃有大瀛海环其外，天地之际焉。"

⑩川上：河边。 叹逝：感叹时光流逝。《论语·子罕》："子在川上曰：'逝者如斯夫！不舍昼夜。'"

⑪前修：前代贤人。指孔子。 勖(xù 序)：勉励。

【译文】

大火星朝着西南方滑行，
太阳朝着秋天方向奔赴。
阳光浮动映照青翠树林，
秋风回荡吹动碧绿秀竹。
雨花飞溅洒向清晨幽兰，
露珠轻亮在丛菊上流转。
龙已蛰伏热气消歇四散，

秋高霜降万物收缩枯干。
柔细枝条不能弯曲打结，
各种花儿岂再芳香四溢。
一个人生活在天地之间，
快得就像鸟从眼前飞越。
孔子河边感叹时光流逝，
前贤就是这样勉励自己。

【原文】

金风扇素节①，　丹霞启阴期②。
腾云似涌烟③，　密雨如散丝。
寒花发黄采④，　秋草含绿滋⑤。
闲居玩万物，　离群恋所思⑥。
案无萧氏牍⑦，　庭无贡公綦⑧。
高尚遗王侯⑨，　道积自成基⑩。
至人不婴物⑪，　余风足染时⑫。

【注释】

①这首诗抒写玩万物、遗王侯、积道基的淡然情怀。　金风：秋风。金，五行之一，于位为西，于时为秋，故称。　扇：吹动。　素节：指秋天。《初学记》三引梁元帝《纂要》："秋日白藏，……节曰素节、商节。"

②丹霞：红色的云霞：　启：开，开端，引出。　阴期：指秋季。犹"阴中"，旧以农历秋 季七月八月为阴中。《汉书·律历志上》："秋为阴中，万物以成。"

③涌烟：《初学记》一作"漏网"。

④寒花：指菊花，秋日盛开。　采：五臣、《艺文类聚》二并作"彩"。

⑤滋：繁盛。

⑥恋：五臣、《诗记》二十九并作“念”。

⑦案：几案，矮长桌。 萧氏：指萧育。汉代萧育与朱博为友，同显荣于当世。《汉书·萧育传》：“少与陈咸、朱博为友，著闻当世。往者有王阳，贡公，故长安语曰：‘萧、朱结绶，王、贡弹冠。’言其相荐达也。”这里代指为官作宦之人。 牍：文书。

⑧贡公：名贡禹。与王吉（字子阳）相友善，故王吉做官，贡禹也高兴地做出仕的准备。《汉书·王吉传》：“吉与贡禹为友，时称王阳在位，贡公弹冠。”“弹冠”，指入仕前先拂除帽子上的尘埃。这里代指奔走权门想要做官的人。綦（qí其）：履迹，脚印。

⑨遗：弃，藐视。李善注引《周易》：“不事王侯，高尚其事。”

⑩“道积”句：李善注：“《文子》曰：‘积道德者，天与之，地助之。’《庄子》曰：‘无为无治，谓之道基。’”

⑪至人：道家认为存养本性的得道之人。李善注引《庄子》：“不离于真，谓之至人。” 不婴物：不羁绊于外物。谓超脱世事，不受纷扰。

⑫余风：谓古朴的遗风。 染时：影响世俗。

【译文】

金风扇动标志秋季来临，
红色云霞迎来收获季节。
云海翻腾好似轻烟喷涌，
雨点稠密有如束束散丝。
清寒菊花发出黄色光彩，
萋萋秋草包含宜人绿意。
闲居在家自在观赏万物，
离开人群恋我心中所思。
桌上没有官家公文堆积，
院中没有趋奉之人足迹。
品性高尚不理王侯权贵，
积累道德自成深厚根基。

至性之人不受外物羁绊，
发扬古风足可影响当世。

【原文】

朝霞迎白日①，　丹气临汤谷②。
翳翳结繁云③，　森森散雨足④。
轻风摧劲草⑤，　凝霜竦高木⑥。
密叶日夜疏，　丛林森如束⑦。
畴昔叹时迟⑧，　晚节悲年促⑨。
岁暮怀百忧⑩，　将从季主卜⑪。

【注释】

①这首诗抒写叹老伤时、百愁莫解的情怀。前八句“分写春夏秋冬景象，言时光流逝很快”(北京大学中国文学史教研室《魏晋南北朝文学史参考资料》)，后四句抒怀点题。

②丹气：日光照射云气成红色，即朝霞。　汤(yáng 阳)谷：传说中日出之处。一作“旸谷”，音义同。

③翳翳：浓云密布貌。李善注引《论衡》：“初出为云，繁云为翳。”

④森森：雨丝长密貌。　雨足：指雨点。李善注引蔡雍《霖赋》：“瞻玄云之晻晻，悬长雨之森森。”

⑤摧：折。五臣作“推”。　劲草：挺拔的草。

⑥竦：同“耸”，惊惧貌。　高：五臣作“乔”。

⑦森：长木貌。　束：捆缚成一札。叶落枝轻，枝条上举较为合拢，故给人以如束之感。

⑧畴昔：从前。指年轻时。　迟：缓慢。

⑨晚节：指老年。　年促：岁月短促。

⑩岁暮：既指岁末，也指人的暮年。

⑪季主：即司马季主，汉初长安著名的卖卜者，常卜于东市。一次宋忠和贾谊问他："今何居之卑，何行之污？"他回答说："骐骥不能与罢（疲）驴为驷，而凤皇（凰）不与燕雀为群，而贤者亦不与不肖者同列。故君子处卑隐以辟（避）众，自匿以辟伦。"事见《史记·日者列传》。这句谓将像司马季主那样，继续避世隐居，以此聊作排遣"百忧"的出路。

【译文】

朝霞东升迎出一轮白日，
红色云气纷纷降临旸谷。
浓云密布天空一片昏暗，
雨丝长密淅沥下个不住。
轻风吹断了挺立的秋草，
凝结的寒霜耸压在高树。
厚密的树叶一天天稀少，
树枝上举合拢就像捆束。
过去感叹时间过得太慢，
老来又悲岁月实在短促。
一年将尽百忧交集于怀，
将随季主去走卖卜之路。

【原文】

昔我资章甫①，　聊以适诸越②。
行行入幽荒③，　欧骆从祝发④。
穷年非所用⑤，　此货将安设⑥？
瓴甋夸玙璠⑦，　鱼目笑明月⑧。
不见郢中歌⑨，　能否居然别⑩。

《阳春》无和者⑪,《巴人》皆下节⑫。
流俗多昏迷⑬, 此理谁能察?

【注释】

①这首诗以层层设喻的手法,抒写自己怀才不遇和对时俗不能识别贤愚的感慨。 资:供给,这里引申为贩卖。 章甫:殷代冠名。春秋时宋人是殷族后代,也戴这种样式的冠。《庄子·逍遥游》:"宋人资章甫而适诸越,越人断发文身,无所用之。"

②聊:姑且。适:去到。谓去贩卖章甫。诸:于。越:指居住在今浙江南部、福建一带的越族。李善注:"章甫,以喻明德;诸越,以喻流俗也。"

③行行:行而又行。 幽荒:远方荒凉之地。

④欧骆:越族部落名。欧,五臣作"瓯"。 祝发:断发。

⑤穷年:尽年,一年到头。

⑥安设:如何处置。李善注:"冠无所设,以喻德无所效也。"

⑦瓴(líng 伶)甋(dì 的):砖。 夸:夸口。玙(yú 于)璠(fán 凡):宝玉名。

⑧笑:嗤笑。 明月:宝珠名。

⑨郢:春秋时楚国都城。宋玉《对楚王问》:"客有歌于郢中者,其始曰《下里》、《巴人》,国中属而和者数千人;其为《阳春》、《白雪》,国中属而和者不过数十人。是其曲弥高,其和弥寡。"

⑩能否:能与不能。能,指能唱《阳春》、《白雪》者;不能,指不能唱《阳春》、《白雪》而只能唱《下里》、《巴人》者。 居然别:很分明地有所区别。

⑪《阳春》:高级乐曲名。

⑫《巴人》:低级乐曲名。 下击:犹言击节、打拍子,意思是都能击节而和。

⑬流俗:世俗,世人。

【译文】

以前我贩卖一批章甫冠,
姑且去一趟南方的越族。
走啊走进入边远荒凉地,

所见欧骆都要剪去头发。
一年到头章甫都没用处，
这批货物将要如何处置？
砖头对着宝玉兀自夸口，
死鱼眼睛嗤笑宝珠明月，
你不见楚都郢中的歌唱，
能与不能确然有所区别。
《阳春》没有几个人跟着唱，
《巴人》却都争着相和击节。
世上的人大多蒙昧昏迷，
这个道理谁能认识明白？

【原文】

朝登鲁阳关①，　狭路峭且深②。
流涧万余丈③，　围木数千寻④。
咆虎响穷山⑤，　鸣鹤聒空林⑥。
凄风为我啸，　百籁坐自吟⑦。
感物多思情⑧，　在险易常心⑨。
揭来戒不虞⑩，　挺辔越飞岑⑪。
王阳驱九折⑫，　周文走岑崟⑬。
经阻贵勿迟⑭，　此理著来今⑮。

【注释】

①这首诗写“经阻贵勿迟”的人生体验，实则表明了作者对险恶复杂的社会政治环境所抱的态度。　鲁阳：关名，在今河南鲁山县西南。

②峭:陡直。 深:幽深。

③万余丈:言峡谷之深。

④围木:两手合抱之木。 寻:古代长度单位,八尺为一寻。

⑤穷山:遍山。

⑥聒(guō 郭):喧扰,声音嘈杂。指鹤的饥鸣之声。《诗经·小雅·鹤鸣》:"鹤鸣于九皋,声闻于野。"又《小雅·白华》:"有鸳在梁,有鹤在林。"

⑦百籁(lài 赖):"籁"本是从孔隙中发出的声音。《庄子·齐物论》:"地籁则众窍是已。"这里泛指自然界发出的各种声响。 坐:因。

⑧思:悲感。

⑨易:改变。

⑩揭(jiē 皆)来:"揭"是"离去"的意思,"揭来"即去来。这里偏用"来"义。 戒:防备。 不虞:没有意料到的事,意外。《易·萃》:"君子以除戒器,戒不虞。"

⑪挺辔:谓纵马。辔,马缰绳。 飞岑(cén):高峻的山。

⑫王阳:西汉人。 九折:九折阪,在今四川荥阳县西邛崃山。山路险阻回曲,须九折乃得上,故名。据《汉书·王尊传》,王阳为益州刺史,路过此地,怕出意外,托病辞官。后王尊为刺史,路过这里,问人知是王阳停留的地方,仍命驱马前行。李善注:"然此言王阳驱九折,盖驱马而去之也。"

⑬周文:周文王。 岑崟(yín 银):山峻险貌。此指崤山。崤山在今河南洛宁县西北,山势险峻。《左传·僖公三十二年》:"蹇叔之子与师。哭而送之曰:'晋人御师必于崤。崤有二陵焉:其南陵,夏后皋之墓也;其北陵,文王之所避风雨也。必死是间,余收尔骨焉。'"李善注:"《公羊传》曰:'百里奚与蹇叔子送其子而戒之曰:尔即死,必崤之厥岩,是文王之所避风雨者也。'何休曰:'其处阻险,故文王过之驱驰,常若避风雨也。'"

⑭经阻:经过险阻之地。 迟:缓慢。

⑮著:显明。 来今:犹言古今。

【译文】

早晨动身去攀登鲁阳关,
羊肠小道既陡峭又幽深。

涧流在万余丈深的谷底，
合抱的大树高达数千寻。
猛虎的咆哮声响遍群山，
白鹤的饥鸣声响彻空林。
凄厉的山风在耳边呼啸，
各种声音因而自动悲吟。
面对此景生出许多悲感，
身处险境改了平常心情。
来后要提防不测的意外，
骑马赶紧越过崇山峻岭。
王阳驱马离开九折险阪，
周文王驰过崤山的北陵。
经过险阻贵在不要迟缓，
这个道理可以昭明古今。

【原文】

此乡非吾地①，　此郭非吾城②。
羁旅无定心③，　翩翩如悬旌④。
出睹军马阵，　入闻鞞鼓声⑤。
常惧羽檄飞⑥，　神武一朝征⑦。
长铗鸣鞘中⑧，　烽火列边亭⑨。
舍我衡门衣⑩，　更被缦胡缨⑪。
畴昔怀微志⑫，　帷幕窃所经⑬。
何必操干戈⑭，　堂上有奇兵⑮。
折冲樽俎间⑯，　制胜在两楹⑰。

巧迟不足称⑱， 拙速乃垂名⑲。

【注释】

①这首诗借一个羁旅之人之口，表达了对战争的看法，认为施行仁义比出兵动武更为重要。

②郭：外城墙。此即指城。

③羁旅：寄居作客。

④翩翩：摇曳貌。 悬旌：悬挂着的旌旗。喻心神不定。《战国策·楚一》："寡人卧不安席，食不甘味，心摇摇如悬旌，而无所终薄。"

⑤鞞(pí 皮)鼓：古代军中所敲的一种小鼓。

⑥羽檄："檄"是调兵的文书，上面插着羽毛表示紧急。

⑦神武：神明而威武。

⑧长铗(jiā 夹)：犹长剑。铗，剑把。 鞘：剑套。

⑨烽火：古代边境报警的烟火。 列：《御览》三百三十五作"烈"。 边亭：边境上驻兵防守敌寇的城堡。亭，《御览》作"庭"。

⑩衡门：衡，通"横"。横木为门，指简陋的房屋。《诗经·陈风·衡门》："衡门之下，可以栖迟。" 衣：原作"依"，据《诗纪》二十九改。

⑪被：同"披"。 缦胡：武士缨带名，代指武士。缦，也作"曼"。《庄子·说剑》："吾王所见剑士，皆蓬头突鬓，垂冠，曼胡之缨，短后之衣。"

⑫畴昔：以前。

⑬帷幕：军中帐幕，为出谋画策之处。《史记·高祖本纪》："夫运筹策帷帐之中，决胜于千里之外，吾不如子房。" 窃：私下。

⑭干戈：干，盾；戈，戟。皆古代常用兵器。代指战争。

⑮堂：届堂，指朝廷。 奇兵：指施行仁义。据李善注所引《吕氏春秋·召类》，楚国的士尹池出使宋国，宋国的司城(司空)子罕设宴招待。席间，士尹池见南家的墙曲出子罕堂前，西家的水流经子罕堂前而不止，便询问原因。子罕回答说："南面是一家织履的工人，我本来要他搬迁，但其父回答说：'我家靠织履为生已经三代了。如果现在搬迁，宋国想要织履的人就将找不到我，我也将无以为生，希望相国关照一下，'就这样，我没有让他们搬迁。西面的这一家地势比我高，水流经我这里是很自然的，所以也就没有管这事。"士尹池听过

这番话。回到楚国，楚王正要兴兵攻打宋国，士尹池于是劝谏道："宋不可攻也，其主贤，其相仁，贤者能得民，仁者能用人，荆国攻之，其无功而为天下笑乎？"后来孔子听说了这件事，也评论道："夫修之于庙堂之上，而折冲乎千里之外者，其司城子罕之谓乎？"

⑯折冲：使敌人的战车后撤，即击退敌人。冲，战车的一种。 樽俎（zǔ阻）：皆盛酒食的器具，借指宴席、宴会。李善注引《晏子春秋》："晋平公使范昭观齐国政，景公觞之。范昭起曰：'愿得君之樽为寿。'公令左右酌樽以献，晏子命撤去之。范昭不悦而起舞，顾太师曰：'为我奏成周之乐。'太师曰：'盲臣不习也。'范昭归，谓平公曰：'齐未可并，吾欲试其君，晏子知之。吾欲犯其乐，太师知之。'于是辍伐齐谋。孔子闻之曰：'善哉！不出樽俎之间，而折冲千里之外，晏子之谓也。'"

⑰两楹：殿堂的中间。代指庙堂、朝廷。楹，堂前直柱。《礼记·檀弓上》："殷人殡于两楹之间，则与宾主夹之也。"注："两楹之间，南面乡明，人君听治正坐之处。"

⑱巧迟：用兵巧妙而拖得很久。

⑲拙速：即使笨拙也要求速胜。《孙子兵法·作战篇》："故兵闻拙速，未睹巧之久也。夫兵久而国利者，未之有也。"

【译文】

这个地方并非我的故乡，
这城也不是我故乡的城。
作客在外心中不能安定，
摇来摇去像悬着的旗旌。
出门看见军马排成阵势，
进门听见军中鞞鼓声声。
常常害怕征兵文书飞传，
将军神武一旦出朝远征。
长剑锋利在剑套中鸣响，
烽火熊熊燃烧在那边亭。

脱下我在家中所穿衣服，
披上武士所戴的缦胡缨。
以前曾胸怀小小的志向，
军旅参谋生活也曾身经。
何必动不动就挥舞干戈，
殿堂之上自有百万奇兵。
酒席之间迫使敌人后撤，
制胜千里关键还在朝廷。
巧妙而拖延不值得称道，
笨拙而速胜千古能留名。

【原文】

述职投边城①，　羁束戎旅间②。
下车如昨日③，　望舒四五圆④。
借问此何时？　胡蝶飞南园⑤。
流波恋旧浦⑥，　行云思故山。
闽越衣文蛇⑦，　胡马愿度燕⑧。
土风安所习⑨，　由来有固然⑩。

【注释】

①这是一首怀乡诗。 述职：《孟子·梁惠王下》："诸侯朝于天子曰述职。述职者，述所职也。"这里喻到职。 投：到。

②羁束：羁绊，谓受牵制束缚。 戎旅：军中。

③下车：到任。

④望舒：神话中为月神驾车的人。后用为月亮的代称。 四五圆：谓圆了四五次。四，《艺文类聚》二十七作"三"。

⑤胡蝶：即蝴蝶《庄子·齐物论》："昔者庄周梦为胡蝶，栩栩然胡蝶也。自喻适志与！不知周也。"蝴蝶飞南园，指春夏时节。

⑥浦：水边。

⑦闽越：也作闽粤，古国名。汉高祖封无诸为闽越王，后为汉武帝所灭。衣(yì 义)：穿着。这里指身上刻着。　文蛇：刺画着蛇的图案。李善注："苏武书曰：'越人衣文蛇，代马依北风，君子于其国也，凄怆伤于心。'"

⑧度燕：往北越过燕国。李善注："即'依北风'也。"

⑨土风：乡土的歌谣乐曲。《左传·成公九年》："乐操土风，不忘旧也。"习：学习，练习。

⑩由来：从来。　固然：一定。

【译文】

到边疆的城镇赴任就职，
一下被牵扯进军务里边。
到任时间好像还是昨日，
其实月亮已四五次缺圆。
请问现在是个什么时候？
只只蝴蝶纷纷飞向南园。
流水眷恋依傍过的水岸，
行云思念最初盘桓的山。
闽越之人喜欢刻刺文蛇，
北方的马希望越过幽燕。
乡土歌谣哪用专门练习，
从古至今习惯成为自然。

【原文】

结宇穷冈曲①，　耦耕幽薮阴②。

荒庭寂以闲③，　幽岫峭且深④。
凄风起东谷，　有渰兴南岑⑤。
虽无箕毕期⑥，　肤寸自成霖⑦。
泽雉登垄雊⑧，　寒猿拥条吟⑨。
溪壑无人迹，　荒楚郁萧森⑩。
投耒循岸垂⑪，　时闻樵采音⑫。
重基可拟志⑬，　回渊可比心⑭。
养真尚无为⑮，　道胜贵陆沉⑯。
游思竹素园⑰，　寄辞翰墨林⑱。

【注释】

①这首诗写屏居山涧的环境和心情，或为作者自己隐居生活的写照。诗末表示寄情于翰墨竹素，即本传“以属咏自娱”之谓。　结宇：建造房舍。　穷冈：幽僻的山冈。　曲：深隐之处。

②耦（ǒu 偶）耕：二人并肩耕作。《论语·微子》：“长沮、桀溺耦而耕。”薮：大泽。　阴：南面。

③闲：空闲，安闲。

④幽：《艺文类聚》三十六作“山”。　岫（xiù 秀）：山洞。卷三十五张协《七命》：“临重岫而揽辔。”李善注引仲长统《昌言》：“闻上古之隐士，或伏重岫之内，窟穷皋之底。”

⑤有渰（yǎn 掩）：云兴起貌。《诗经·小雅·大田》：“有渰萋萋，兴雨祁祁。”这里指云。

⑥箕、毕：二星名，皆为二十八宿之一。《尚书·洪范》：“庶民惟星，星有好风，星有好雨。日月之行，则有冬有夏。月之从星，则以风雨。”《传》：“箕星好风，毕星好雨。”月经于箕星之度时则多风，离于毕星之度时则多雨。

⑦肤寸：古长度单位，以一指宽为一寸，四指为肤。形容甚小。《公羊传·僖公三十一年》：“触石而出，肤寸而合，不崇朝而遍天下者，唯太山云也。”霖：久雨。

⑧泽雉：生活在草泽中的野鸡。《庄子·养生主》：“泽雉十步一啄，百步一

饮，不蕲畜乎樊中。” 垄：田埂。 雊(gòu 构)：雉鸣。

⑨条：树枝。

⑩荒楚：草木丛生的荒地。 萧森：阴晦貌。

⑪投：放下。 耒(lěi 磊)：古代的一种农具，形状像木叉。“投耒”照应前“耦耕”。 循：沿着。 岸垂：指高岸。

⑫樵采：打柴。

⑬重(chóng 虫)基：高山。李善注：“《春秋运斗枢》曰：‘山者地基。’《顾子》曰：‘登高使人意遐，临深使人志清。’”

⑭回渊：指深渊。回，水波回旋。

⑮养真：养性修真，涵养本性。李善注引曹植《辨问》：“君子隐居以养真也。” 尚无为：贵尚无为。无为，道家指顺应自然，不求有所作为。《老子》二章：“是以圣人处无为之事，行不言之教。”三章：“为无为，则无不治。” 《淮南子·原道》：“所谓无为者，不先物为也；所谓无不为者，因物之所为。”

⑯道胜：以道为胜，即以隐居思想为胜。《韩非子·说林》：“子夏曰：‘吾入见先王之义，则荣之；出见富贵之乐，又荣之。两者战于胸中未知胜负，故臞(qú 渠，瘦的意思)。今先王之义胜，故肥。’” 陆沉：无水而沉。喻隐居。《庄子·则阳》：“方且与世违，而心不屑与之俱。是陆沉者也。”

⑰竹素：竹简和白绢，古代初无纸，用以书写文字。代指书、史。李善注引《风俗通》：“刘向为孝成皇帝典校书籍，皆先书竹，为易刊定，可缮写者以上素也，今东观书竹素也。”

⑱寄辞：谓挥笔著文。 翰：笔。李善注引张衡《归田赋》：“挥翰墨以奋藻。”

【译文】

把房舍建在隐僻的山冈，
并耕在幽邃的大泽之滨。
荒芜的庭园寂静又悠闲，
山间的洞穴险峭又幽深。
东边山谷刮起阵阵凄风，
南边山岭升起朵朵白云。

虽非月亮经箕离毕之时，
方寸之地却都降满甘霖。
野鸡站在田埂上面啼鸣，
猿猴爬在树梢上面哀吟。
溪涧沟壑不见一个人影，
荒山草木丛杂晦暗阴森。
放下农具沿着高岸观览，
不时传来砍柴伐木之声。
高山可以比拟我的志向，
深渊可以比拟我的心性。
养性修真崇尚无所作为。
以道为胜贵在离世独隐。
披览史书载籍畅游心意，
挥笔写诗作文发抒幽情。

【原文】

黑螭跃重渊①，　商羊舞野庭②。
飞廉应南箕③，　丰隆迎号屏④。
云根临八极⑤，　雨足洒四溟⑥。
霖沥过二旬⑦，　散漫亚九龄⑧，
阶下伏泉涌⑨，　堂上水衣生⑩。
洪潦浩方割⑪，　人怀昏垫情⑫。
沉液漱陈根⑬，　绿叶腐秋茎。
里无曲突烟⑭，　路无行轮声。
环堵自颓毁⑮，　垣闾不隐形⑯。

尺烬重寻桂⑰，红粒贵瑶琼⑱。
君子守固穷⑲，在约不爽贞⑳。
虽荣田方赠㉑，惭为沟壑名。
取志于陵子㉒，比足黔娄生㉓。

【注释】

①这首诗写淫雨所造成的严重灾害及诗人在灾害面前矢志守穷的志节。黑蜧(lì 厉)：传说中的神蛇。《淮南子·齐俗》："牺牛骈毛，宜于庙牲，其于致雨，不若黑蜧。"高诱注："黑蜧，神蛇，潜于神渊，能兴风雨。" 重渊：深渊。

②商羊：传说中的鸟名，大雨前，常屈一足起舞。刘向《说苑·辨物》："其后齐有飞鸟，一足，来下止于殿前，舒翅而飞。齐侯大怪之，又使聘问孔子。孔子曰：'此名商羊，急告民趣治沟渠，天将大雨。'于是如之，天果大雨。"王充《论衡·变动》："商羊者，知雨之物也；天且雨，屈其一足起舞矣。" 野庭：指郊野。

③飞廉：风神。 南箕：即箕宿，形似簸箕。据说月经过箕星之度时多风，故以箕宿与飞廉相应。《风俗通》："风师者，箕星也。"参阅前首注⑥。

④丰隆：云师。屈原《离骚》："吾令丰隆乘云兮，求宓妃之所在。" 号屏：即"屏号"，也作"萍号"。《楚辞》屈原《天问》："萍号起雨，何以兴之？"王逸注："萍，萍翳，雨师名也。号，呼也。兴，起也。言雨师号呼，则云起而雨下。"

⑤云根：谓云起之处。 八极：八方极远之地。李善注引《淮南子》："八纮之外有八极，八极之云，是雨天下。"

⑥雨足：雨丝。 四溟：四海。以上两句互文见义。

⑦霖沥：雨不止貌。亦状雨声。《左传·隐公九年》："凡雨，自三日以往为霖。" 二旬：二十天。

⑧散漫：雨丝纷布貌。 亚：差不多，仅次于。 九龄：九年。极言时间之久。李善注引郑玄《诗谱》："尧之末，洪水九年，万国不粒。"

⑨伏泉：积水。

⑩水衣：青苔。李善注："高诱《淮南子注》曰：'苍苔，水衣也。'"衣，《艺文类聚》二作"苔"。

⑪洪潦：洪水。 浩：水盛大貌。 割：灾害。方割，到处为害之意。《尚书

·尧典》:“汤汤洪水方割,荡荡怀山襄陵,浩浩滔天。”

⑫昏垫:谓昏乱不知所从。李善注:“《尚书》:‘禹曰:洪水滔天,浩浩怀山襄陵,下民昏垫。’孔安国曰:‘昏,瞀;垫,溺。皆病水灾。’”瞀,眼睛昏花,昏乱。

⑬沉液:指积水。 漱:荡。 陈根:草木被水冲淹后留下的残根。

⑭里:乡里。 曲突:烟囱。《汉书·霍光传》:“曲突徙薪亡恩泽,焦头烂额为上客。”

⑮环堵:四周的墙壁。

⑯垣闾:墙门。垣,矮墙。闾,里门, 不隐形:因倒塌而不能遮掩里屋。

⑰烬:本指柴燃烧后剩下的部分,这里即指柴。 重寻桂:比寻桂还值钱。寻,古长度单位,八尺为一寻。《战国策·楚三》:“楚国之食贵于玉。薪贵于桂,谒者难得见如鬼,王难得见如天帝。今令臣食玉炊桂。因鬼见帝。”后有“薪桂米珠”之说。

⑱红粒:红色米粒,为变了质的粮食。李善注引《汉书》:“太仓之粟,红腐而不可食也。” 瑶、琼:皆美玉名。

⑲固穷:甘处贫困,不失气节。《论语·卫灵公》:“在陈绝粮,从者病,莫能兴。子路愠见曰:‘君子亦有穷乎?’子曰:‘君子固穷,小人穷斯滥矣。’”

⑳约:穷困。 爽:失。 贞:正。李善注引《左传》:“居利思义,在约思纯。”

㉑田方:即田子方,战国时魏人,魏文侯曾师事之。孔子之孙孔伋(子思)居卫时,贫,田子方曾想予以馈赠,被拒绝。李善注引《说苑》:“子思居卫,缊袍无里,二旬九食,田子方使人遗狐白之裘,恐其不受。因谓之曰:‘吾假人,遂忘之;吾与人,如弃之。’子思辞曰:‘伋闻忘与不如遗弃物于沟壑。伋虽贫,不忍身为沟壑,故不敢当。’卒不肯受。”

㉒于陵子:战国齐人,一作楚人。即陈仲子,因居于陵,故号于陵子,又称于陵子仲。《战国策·齐四》:“于陵子仲尚存乎?是其为人也,上不臣于王,下不治其家,中不索交诸侯。”《孟子·滕文公下》:“陈仲子岂不诚廉士哉?居于陵,三日不食,耳无闻,目无见也。……彼身织履,妻辟纑,以易之也。……兄戴,盖禄万钟,以兄之禄为不义之禄而不食也,以兄之室为不义之室而不居也,辟(避)兄离母,处于于陵。”

㉓比足:犹言“比肩”。 黔娄生:战国时齐隐士,家贫,不求仕进,鲁恭公欲以为相,齐威王聘为卿,皆不就。刘向《列女传》载,黔娄生死后,曾子往吊,见以被覆尸,覆头则足见,覆足则头见。曾子曰:“斜其被则敛矣。”其妻曰:“斜

之有余，不若正之不足。先生生而不斜，死而斜之，非其志也。”

【译文】

黑色神蛇从深渊中跃起，
商羊在郊野外飞舞不停。
风神飞廉正与箕星呼应，
云师丰隆把雨师屏翳迎。
黑云降临八方极远之地，
雨丝连绵洒向四海沧溟。
大雨淅沥直下二十多天，
纷扬不止似有九年光阴。
台阶下面积水来回腾涌，
堂屋上面已有青苔滋生。
洪水泛滥到处肆虐为害，
人人怀着昏乱惶恐之情。
积水来回冲刷草木之根，
茎干上面绿叶腐烂变形。
村中烟囱没有一处冒烟，
路上断绝车轮行驶之声。
四面墙壁纷纷自行倒塌，
墙门消失里屋样样看清。
一尺柴比八尺桂还值钱，
变质米粒胜过宝玉瑶琼。
君子有固守穷困的节操，
再苦再穷也不失去坚贞。
虽也感谢田子方的馈赠，
但惭愧不想有沟壑之名。
将学于陵子以树立志向，

将同黔娄生并肩朝前行。

（张亚新　译注）

文选全译卷第三十

杂诗下

时兴一首

卢子谅

【作者】

见卷二十一《览古》作者介绍。

【题解】

这是一首因时感兴的诗。前部描写大自然的运转变化，最后抒写感慨，表示要像“圣人”那样，存养本性，恬澹自然，不为物累。《庄子·应帝王》：“无名人曰：‘汝游心于淡，合气于漠，顺物自然而无容私焉，而天下治矣。’”这首诗的末二句，即是对这一思想的阐发，反映了诗人在立身处事上力求淡泊的一种考虑，实际上是在复杂多变的社会政治环境中力求安宁自适的一种考虑。正始以来，诗人谈玄多直接从理性入手，形成枯燥的说理诗。这首诗却能注意将理性的东西同感性的形象的东西结合起来，在阐发玄理时，以物象的刻画为依托，具有诗的意境和兴味，这是其在艺术上成功的地方。

【原文】

亹亹圆象运①，　悠悠方仪廓②。
忽忽岁云暮③，　游原采萧藿④。
北逾芒与河⑤，　南临伊与洛⑥。
凝霜沾蔓草⑦，　悲风振林薄⑧。
槭槭芳叶零⑨，　蕊蕊芬华落⑩。
下泉激冽清⑪，　旷野增辽索⑫。
登高眺遐荒⑬，　极望无崖崿⑭。
形变随时化⑮，　神感因物作⑯。
澹乎至人心⑰，　恬然存玄漠⑱。

【注释】

①亹(wěi 伟)亹：行进貌。　圆象：指天。李善注："曾子曰：天道曰圆，地道曰方，在天成象，故曰圆象。"　运：运转。

②悠悠：远貌。　方仪：指地。古称天地为两仪，地方，故曰方仪。　廓：寥阔，广阔。

③忽忽：迅疾貌。　云：语助词。屈原：《离骚》："日忽忽其将暮。"

④原：原野。　萧：艾蒿。　藿：豆叶。《诗经·小雅·小明》："岁聿云莫，采萧获菽。"

⑤逾：超过。　芒：水名，在今陕西周至东南。《水经注·渭水》："芒水出南山芒谷。"　河：黄河。

⑥伊、洛：二水名。伊水源于河南熊耳山，至偃师入洛水。洛水源于陕西冢岭山，至河南巩县入黄河。

⑦沾：湿。

⑧振：吹动。　林薄：树林。薄，草木丛生之地。

⑨槭(shè 涉)槭：落叶声。　零：落。

⑩蕊蕊：花飘落貌。　芬华：香花。

⑪下泉：低地的泉水。 激：流急。 冽(liè 列)：寒凉。《诗经·曹风·下泉》："冽彼下泉，浸彼苞蓍。"

⑫辽索：旷远萧索。

⑬遐荒：边远广大的地方。

⑭崿(è 遏)：山崖。

⑮化：变化。

⑯因：凭藉。 作：产生。

⑰澹：恬静，安定。 至人：道家称能够存养本性的得道之人。李善注："言己澹乎同彼至人，意存玄漠而已。《庄子》曰：'不离于真，谓之至人。'"

⑱恬：安静。 玄漠：渊静无为。

【译文】

天体在一刻不停地运转，
大地四望悠悠广袤辽阔。
转瞬之间一年又将过去，
来到原野采摘艾蒿豆藿。
往北跨过了芒水与黄河，
往南来到了伊水和洛河。
严霜沾湿了蔓生的野草，
凄风吹得草木前仰后合。
槭槭声中芳香树叶凋零，
蕊蕊声中朵朵香花飘落。
低处的流泉寒凉而清澈，
旷野显得分外辽远萧索。
登上高处极目眺望远方，
坦坦荡荡没有山崖陡坡。
万物形态随着时令变化，
精神随着外物感动郁勃。
至人存养本性其心恬澹，

清静无为安于闲适淡泊。

（张亚新　译注）

杂诗二首

陶渊明

【作者】

见卷二十六《始作镇军参军经曲阿作》作者介绍。

【题解】

《杂诗》二首，《陶渊明集》归入《饮酒二十首》，分别列第五和第七。其序云："余闲居寡欢，兼比夜已长，偶有名酒，无夕不饮。顾影独尽，忽焉复醉。既醉之后，辄题数句自娱。"可见皆为秋夜酒后所作。第一首为陶诗名篇，写诗人心远地偏、悠然看山的情怀，赞颂了田园生活的恬静闲适。吴淇《六朝选诗定论》云："'心远'为一篇之骨，而'真意'为一篇之髓。"方东树《昭昧詹言》云："境既闲寂，景物复佳，然非'心远'则不能领其真意味。"王国维将诗境分为"有我之境"和"无我之境"，认为"无我之境，以物观物，故不知何者为我，何者为物"，将"采菊东篱下，悠然见南山"列入"无我之境"（见《人间词话》卷上），正确地指出了这首诗突出地表现了诗人与大自然心相契合的特色。第二首情致与第一首大致相同，但"啸傲"等语，隐约地透出了内心的悲哀不平，确乎是"其意不在酒，亦寄酒为迹者"

(萧统《陶渊明集序》)。

【原文】

结庐在人境①，　而无车马喧②。
问君何能尔③？　心远地自偏④。
采菊东篱下，　悠然望南山⑤。
山气日夕佳⑥，　飞鸟相与还⑦。
此还有真意⑧，　欲辩已忘言⑨。

【注释】

①结庐：造房。　人境：人间，人类聚居之处。

②车马喧：指人世交往的纷扰。

③君：作者自谓。　尔：如此。

④心远：心胸高远。谓不慕名利，不与世俗交游。李善注："《琴赋》曰：'体轻心远邈难极。'"

⑤悠然：安闲貌。一说，超远貌。　望：《陶渊明集》或作"见"。苏轼《东坡题跋》："因采菊而见山，境与意会，此句最有妙处。近岁俗本皆作'望南山'，则此一篇神气都索然矣。"　南山：指庐山。

⑥山气：山中景象。　日夕：傍晚。

⑦相与还：结伴而归。李善注引《管子》："夫鸟之飞，必还山集谷也。"

⑧此：指此时此地的境界。　还：《陶渊明集》或作"中"。　真意：自然意趣。《庄子·渔父》："真者，所以受于天也，自然不可易也。故圣人法天贵真，不拘于俗。"

⑨辩：《陶渊明集》或作"辨"，"辩"、"辨"字通。　已忘言：意谓自己领会了大自然真朴自然的意趣，却忘了该用怎样的语言来加以表达。言外之意实际是，既然已经领会了其中真意，也无须再用言语来加以表达了。《庄子·齐物论》："辩也者，有不辩也。大辩不言。"《庄子·外物》："言者所以在意也，得意而忘言。"

【译文】

把房造在这繁杂的人间，
却没有车来马往的嚣喧。
请问你怎能做到这一点？
心远尘世地方自然就偏。
在东边篱笆下采摘菊花，
悠然自得仰头望见南山。
山中景象临晚更觉美好，
只只飞鸟相约结伴而还。
其中包含无限自然意趣，
想要表达已忘用何语言。

【原文】

秋菊有佳色①，　裛露掇其英②。
泛此忘忧物③，　远我达世情④。
一觞虽独进⑤，　杯尽壶自倾⑥。
日入群动息⑦，　归鸟趋林鸣。
啸傲东轩下⑧，　聊复得此生⑨。

【注释】

①秋：《陶渊明集》或作“霜”。

②裛(yì 意)露：沾带露水。裛，浸湿，湿润。　掇：采摘。　英：花。

③泛：泛滥，引伸为放纵。　忘忧物：指酒。一说，指菊。

④远：使之远，助长。　达世：通达地看待尘世。达，《陶渊明集》多作“遗”。

⑤觞：酒器。

⑥倾：倒尽。

⑦群动：各种物类的活动。李善注：“《庄子》善卷曰：‘余日出而作，日入而

息。'《尸子》曰：'昼动而夜息，天之道也。'杜育诗曰：'临下览群动。'"

⑧啸傲(ào 傲)：傲然长啸。傲，同"傲"。 轩：窗。李善注引郭璞《游仙诗》："啸傲遗俗，罗得此生。"

⑨此生：指人生的真义。李善注引刘瓛《易注》："自无出有曰生。生，得性之始也。"

【译文】

秋天菊花有美丽的颜色，
采来花朵上面露水浸润。
开怀畅饮杯中忘忧之物，
更助长我达观处世之情。
虽是独自端着酒杯饮酒，
杯中饮个干壶中自倒尽。
太阳落山万物活动止息，
归鸟飞回林中自在啼鸣。
在东窗下傲然放声长啸，
又暂且得到适意的人生。

（张亚新　译注）

咏贫士一首

陶渊明

【题解】

《陶渊明集》共载《咏贫士诗》七首，此为其中的第一首，以孤云、孤鸟喻贫士，亦以自喻，抒写不慕荣利、安贫守贱的抱负和“知音不存”的孤独。刘履《选诗补注》云：“所谓朝霞开雾，喻朝廷之更新；众鸟群飞，比诸臣之趋附。而迟迟出林，未夕来归者，则又自况：其审时出处与众异趣也。”若据此说，则此为刘宋初年的作品。王瑶定为宋武帝永初元年(420)岁末，陶渊明时年五十六岁(见其所注《陶渊明集》)，可备一说。

【原文】

万族各有托①，　孤云独无依②。
暧暧虚中灭③，　何时见余辉④？
朝霞开宿雾⑤，　众鸟相与飞⑥。
迟迟出林翮⑦，　未夕复来归⑧。
量力守故辙⑨，　岂不寒与饥？
知音苟不存，　已矣何所悲⑩。

【注释】

①万族：万类，万物。　各：《初学记》十八作“皆”。　托：依附。

②“孤云”句：李善注：“孤云，喻贫士也。《楚辞》曰：‘怜浮云之相佯。’王逸注曰：‘相佯，无依据之貌也。’”

③暧暧：昏暗貌。　虚：《陶渊明集》作“空”。

④余：《初学记》十八作“残”。　辉：《陶渊明集》作“晖”。

⑤宿雾：夜雾。

⑥相与：相伴。

⑦翮：鸟羽的茎，这里代指孤鸟，以喻贫士。

⑧夕：晚上。《陶渊明集》或作“久”。

⑨故辙：旧道，指前人的安贫守贱之道。辙，车轮经过时留下的痕迹。

⑩已矣：犹言“算了吧”。李善注：“《楚辞》曰：‘已矣，国无人兮莫我知。’”

【译文】

自然界的万物各有依附，
只有孤云一片无凭无依。
无声地在空中暗然消逝，
何时才能看见它的光辉？
朝霞驱散了浓重的夜雾，
众鸟成群结队往外竞飞。
只有孤鸟迟迟飞出树林，
没到天黑又早早地飞回。
量力而行甘守贫贱之道，
难道不知道会挨冻受饥？
世上如果已无知音之人，
那就算了吧用不着伤悲。

（张亚新　译注）

读《山海经》一首

陶渊明

【题解】

《山海经》共十八卷，分为《山经》和《海经》两大类，中多神话传说及古代海内外山川异物的记载，自古号称奇书。王充《论衡》及《吴越春秋》谓为大禹治水时将所见闻命伯益记录而成，不足信，大约出于周秦间人之手。鲁迅《中国小说史略》认为是“古之巫书”。古有图，东晋郭璞曾为作注，并作《图赞》一卷。陶渊明《读〈山海经〉诗》共十三首，此为第一首，总写耕种之余在静谧环境中浏览《山海经图》(还有《穆天子传》)的乐趣，实际上是赞颂自己隐居生活的美好。

【原文】

孟夏草木长①，　绕屋树扶疏②。
众鸟欣有托，　吾亦爱吾庐③。
既耕亦已种，　且还读我书④。
穷巷隔深辙⑤，　颇回故人车⑥。
欢言酌春酒⑦，　摘我园中蔬。
微雨从东来，　好风与之俱⑧。
泛览周王传⑨，　流观山海图⑩。

俛仰终宇宙[11]， 不乐复何如！

【注释】

①孟夏：初夏，农历四月。

②扶疏：枝叶繁茂四布貌。

③庐：房屋。这两句“隐然有万物各得其所之妙”（刘履《选诗补注》）。

④且：《陶渊明集》作“时”。

⑤穷巷：陋巷。 隔：阻隔。 深辙：显贵者所乘大车的车迹。

⑥回：回转。 故人：旧交。

⑦欢言：犹“欢然”。言，语助词。《陶渊明集》或作“然”。 春酒：冬天酿酒，经春始成，故名。《诗经·豳风·七月》：“为此春酒，以介眉寿。”

⑧俱：一起。

⑨泛览：浏览。即作者《五柳先生传》所谓“好读书，不求甚解”。 周王传：指《穆天子传》。《晋书·束皙传》载，西晋太康二年（281），汲郡人不准盗发魏襄王墓，或言安厘王冢，得竹书数十车，其中有《穆天子传》五篇，记周穆王驾八骏巡游四海的故事。

⑩流观：即“泛览”。 山海图：即《山海经图》。

⑪俛仰：谓顷刻之间。俛，同“俯”。 终宇宙：穷尽宇宙之事。

【译文】

初夏四月草木生长，
房屋四周枝叶密布。
众鸟高兴有了依托，
我也喜欢我的茅屋。
春耕完毕且已播种，
回到家中阅读我书。
身居陋巷不通车辙，
故友常把车头掉回。
高高兴兴畅饮春酒，

摘我园中新鲜菜蔬。
微雨轻轻从东飘来，
和风与之伴随一起。
随便翻翻《穆天子传》，
大约看看《山海经图》。
顷刻穷尽宇宙之事，
这不快乐还要怎的！

（张亚新　译注）

七月七日夜咏牛女一首

谢惠连

【作者】

见卷十三《雪赋》作者介绍。

【题解】

李善题解引《齐谐记》云："桂阳成武丁有仙道，常在人间。忽谓其弟曰：'七月七日织女渡河，诸仙悉还宫，吾向已被召，不得停，与尔别矣。'弟问：'织女何事渡河？兄何当还？'答曰：'织女暂诣牵牛。吾去后三千年当还耳。'明旦，失武丁所在。世人至今犹云：七月七日织女嫁牵牛。"这首诗即据上述"七月七日织女嫁牵牛"的故事写成。这个故事是我国古代民间传说中最为动人的故事之一，在魏晋

时期已经流传得相当广泛。南朝乐府有《七日夜女歌》九首(载《乐府诗集》卷四十五),其五云:“婉娈不终夕,一别周年期。桑蚕不作茧,昼夜长悬丝。”其六云:“灵匹怨离处,索居隔长河。玄云不应雷,是侬啼叹歌。”产生时代与本诗同时还稍前,本诗写作或受其影响。

【原文】

落日隐榈楹①,　升月照帘栊②。
团团满叶露③,　析析振条风④。
蹀足循广除⑤,　瞬目丽曾穹⑥。
云汉有灵匹⑦,　弥年阙相从⑧。
遐川阻昵爱⑨,　修渚旷清容⑩。
弄杼不成藻⑪,　耸辔骛前踪⑫。
昔离秋已两⑬,　今聚夕无双。
倾河易回斡⑭,　款颜难久悰⑮。
沃若灵驾旋⑯,　寂寥云幄空⑰。
留情顾华寝⑱,　遥心逐奔龙⑲。
沉吟为尔感⑳,　情深意弥重㉑。

【注释】

①榈:屋檐下的走廊。　楹:堂前直柱。

②帘栊(lóng 龙):帘子及窗户。栊,窗上棂木,代指窗户。帘,《玉台新咏》三作“房”。

③团团:圆貌。

④析析:风声。　振条:吹动树枝。李善注引《楚辞》:“秋风兮萧萧,舒芳兮振条。”

⑤蹀(dié 蝶)足:谓迈步而行。蹀,踩。　除:殿阶。

⑥瞬:《说文》:“开阖目也。”即眨眼。这里是开目而视之意。　丽(xǐ 洗):远视,远看。　曾:通“层”。　穹:天空。

⑦云汉：银河。 灵匹：神仙匹偶，指牵牛、织女二星。

⑧弥年：终年。阙：分隔。李善注："曹植《九咏》注曰：'牛、女为夫妇，七月七日得一会同也。'"

⑨遐川：指银河。遐，远。李善注："曹植《九咏》注曰：'织女牵牛之星，各处河之旁。'"

⑩修：长。 渚：水中小洲。 旷：远隔不见。 清容：清丽的容貌。

⑪弄杼：投梭织布。指织女。弄，《初学记》四作"投"。 不成藻：谓织不成布。藻，布上的纹理。《玉台新咏》三作"彩"。古诗："纤纤擢素手，札札弄机杼。终日不成章，泣涕零如雨。"

⑫耸辔：提起马缰，谓御马前行。 骛：奔驰。 前踪：前轨，谓历年所行之路。

⑬"昔离"二句：李善注："昔离迄今会，而秋已两；今聚便别，故夕无双也。"

⑭倾河：指银河。 回斡：回转。李善注："陆机《拟古诗》曰：'天汉东南倾。'边让《章华台赋》曰：'天河既回，欢乐未终。'"

⑮款颜：指面容，表情。款，诚恳。颜，五臣作"情"。 悰(cóng 丛)：欢乐。

⑯沃若：马缰柔润貌。《诗经·小雅·皇皇者华》："我马维骆，六辔沃若。" 灵驾：神车。

⑰寥：《初学记》四作"寞"。 幄：帷帐。谢朓《七夕赋》："云幄静兮香风浮。"

⑱顾：回头看。指已行之织女。

⑲遥心：指牛郎之心。李善注："龙，仙者所驾，故遥心以逐之。《庄子》：'神人，承云气，御飞龙也。'"

⑳沉吟：心中盘算。 尔：你。 感：感伤。古诗："驰情整中带，沉吟聊踯躅。"

㉑弥：更加。

【译文】

夕阳渐渐从房屋前消失，
明月东升照亮门帘窗栊。

叶片上沾满圆圆的露珠，
树枝摇动吹过析析凉风。
迈步沿着宽宽台阶走下，
放眼眺望那高高的星空。
银河边有一对神仙匹偶，
终年分隔不能团聚相从。
河面宽阔挡住亲昵相爱，
小洲漫长隔断清丽面容。
投梭织布总是织不成匹，
沿着旧路驾车奔向前方。
离别以来秋天已是两度，
聚会今夜良宵不能成双。
银河容易把它倒转过来，
脸上欢乐却难保持久长。
马缰光润手握驾车回返，
云中帷幄重又寂寞虚空。
回头怅望情留华美寝处，
芳心遥逐那远去的奔龙。
徘徊沉吟为你感伤悲痛，
相思绵绵情意更加深重。

（张亚新　译注）

捣衣一首

谢惠连

【题解】

六朝隋唐间，“捣衣”是诗歌中常咏的题材，往往借此抒写思妇的孤愁和对丈夫的悬念、盼归之情。南朝乐府《子夜四时歌·秋歌》云：“风清觉时凉，明月天色高。佳人理寒服，万结砧杵劳。”是民歌中较早吟咏“捣衣”的作品。惠连的这首诗，则是文人诗中较早吟咏“捣衣”的，对后来的同类作品有一定影响。诗篇不无追琢辞藻的毛病，但描写较为细腻生动，情感也比较委婉真挚，不失为精心结撰之作。钟嵘誉之为“五言之警策”(《诗品·总论》)。何焯评云：“结语托意高妙。”(《义门读书记》卷四十七)沈德潜虽认为惠连诗“一味镂刻，失自然之致”，但却认为这首诗“一结能作情语，不入纤靡”(《古诗源》卷十一)。

【原文】

衡纪无淹度①，　晷运倏如催②。
白露滋园菊③，　秋风落庭槐。
肃肃莎鸡羽④，　烈烈寒螀啼⑤。
夕阴结空幕⑥，　霄月皓中闺⑦。
美人戒裳服⑧，　端饰相招携⑨。

簪玉出北房⑩，　鸣金步南阶⑪。
檐高砧响发⑫，　楹长杵声哀⑬。
微芳起两袖⑭，　轻汗染双题⑮。
纨素既已成，　君子行未归⑯。
裁用笥中刀⑰，　缝为万里衣。
盈箧自余手⑱，　幽缄候君开⑲。
腰带准畴昔⑳，　不知今是非。

【注释】

①衡：北斗星的第五星，代指北斗星。　纪：星纪，十二星次之一，在二十八宿中为斗宿和牛宿。《尔雅·释天》："星纪，斗牵牛也。"随着时间的推移，斗转星移，位置变更。　淹度：停留。

②晷（guǐ 轨）：日影。　倏：疾速。　催：《玉台新咏》三作"摧"。

③滋：生。

④肃肃：振羽声。　莎（suō 梭）鸡：虫名，即纺织娘。《诗经·豳风·七月》："六月莎鸡振羽。"

⑤烈烈：啼鸣声。《艺文类聚》六十七作"冽冽"。　寒蜇（jiāng 江）：蝉的一种。王充《论衡·变动》："是故夏末，蜻蛚鸣，寒蜇啼，感阴气也。"

⑥幕：帷幕。

⑦霄：天空。五臣作"霄"。　皓：明，用作动词，照明。中：《艺文类聚》六十七作"空"。

⑧戒：准备。

⑨端饰：郑重地修饰一番。饰，《玉台新咏》三作"饬"。　招携：邀约。

⑩簪（zān 咱阴平）玉：头上插着玉簪的女子。簪，插定发髻的针形首饰。

⑪鸣金：鸣响着金饰的女子。

⑫砧：捶衣物时垫在下面的木头。缝制寒衣前须先将衣料放在砧上用杵捶平。

⑬楹：堂前直柱，指长廊。　杵：捶衣物用的短棒。

⑭芳：芳香。　起：《艺文类聚》六十七作"发"。

⑮题：额。双题，指两边额角。

⑯君子：指丈夫。　未：《玉台新咏》三作“不”。

⑰笥（sì 似）：一种盛物的竹器。

⑱盈箧（qiè 切）：满箱。指满箱的衣服。

⑲幽缄（jiān 坚）：藏闭。　候：《玉台新咏》三作“俟”。

⑳准畴昔：按以前在家时的尺寸为准。

【译文】

斗转星移一点也不停留，
光阴流逝疾速有似相催。
白露滋润着园中的菊花，
秋风吹来庭槐落叶成堆。
纺织娘肃肃地振动翅膀，
寒蝉在风中烈烈地啼鸣。
夜色降临笼罩空虚帷幕，
皓月升空照亮寂寞深闺。
美人郑重其事穿好衣服，
修饰一番互相邀约一起。
她戴着玉簪走出了北房，
她响着金饰走下了南阶。
高檐下砧声乒乓地响起，
长廊上杵声包含着清哀。
双袖飘动透出幽幽芳香，
两边额角渗出细汗微微。
洁白的细绢已捣好捶平，
可惜夫君远行至今未归。
笥中拿出剪刀把绢裁好，
给万里外的他缝制冬衣。

这满箱衣服全出自我手，
藏闭好等夫君回来打开。
腰带还是按以前的尺寸，
不知现在穿上合不合身。

（张亚新　译注）

南楼中望所迟客一首

谢灵运

【作者】

见卷十九《述祖德诗》作者介绍。

【题解】

谢灵运《游名山志》云："始宁又北转一汀，七里，直指舍下园南门楼。自南楼百许步，对横山。"据此，可知南楼在灵运的出生地会稽始宁（今浙江上虞）。这首诗抒写在南楼等候佳宾而佳宾迟迟未至的情怀。全诗围绕着一个"望"字婉转陈述，感情真挚而急切，语言也不甚雕琢，在谢集中显得比较突出。许学夷评云："灵运佳句既妙合自然，至如'杳杳日西颓'通篇圆畅，亦近自然矣。今人笃好灵运，于其俳偶雕刻处字字摹仿，不遗余力，至其妙合自然者，则未有一语也，安知所谓'初发芙蓉'哉！"（《诗源辨体》卷七）

【原文】

杳杳日西颓①，　漫漫长路迫②。
登楼为谁思③，　临江迟来客。
与我别所期④，　期在三五夕⑤。
圆景早已满⑥，　佳人犹未适⑦。
即事怨睽携⑧，　感物方凄戚⑨。
孟夏非长夜⑩，　晦明如岁隔⑪。
瑶华未堪折⑫，　兰苕已屡摘⑬。
路阻莫赠问⑭，　云何慰离析⑮？
搔首访行人⑯，　引领冀良觌⑰。

【注释】

①杳(yǎo 舀)杳：幽暗貌。　颓：落。

②迫：窘迫，谓被忧心所窘迫。《楚辞》刘向《九叹·远逝》："日杳杳以西颓兮，路长远而窘迫。"王逸注："言日已西颓，年岁卒尽，道路长远，不得复还，忧心迫窘，无所舒志也。"

③为谁思：为思谁。

④期：约定。

⑤三五：农历十五日。农历十五日月亮团圆。

⑥圆景：卷二十四曹植《赠徐干》："圆景光未满。"李善注："圆景，月也。《论衡》曰：'日月之体，状如正圆。'郑玄《毛诗笺》曰：'景，明也。'"

⑦佳人：美人，指所思念者，或为爱侣，或为挚友。　犹：《诗纪》四十八作"殊"。　适：归。曹丕《秋胡行》其一："朝与佳人期，日夕殊不来。"

⑧即事：李善注："即此离别之意也。《列子》：周之尹氏有老役夫，昼则呻呼即事，夜则昏惫而熟寐。"　睽(kuí 葵)：乖离。　携：离。

⑨方：李善注："郑玄《论语注》曰：'方，常也。'"

⑩孟夏：初夏，农历四月。

⑪晦明：晦，暗，指夜。晦明谓从夜晚到天明，即昼夜。屈原《九章·抽思》："望孟夏之短夜兮，何晦明之若岁？"

⑫瑶华：传说中的仙花。屈原《九歌·大司命》："折疏麻兮瑶华，将以遗兮离居。"

⑬兰茎：兰的茎。屈原《九歌·山鬼》："被石兰兮带杜衡，折芳馨兮遗所思。"

⑭赠问：馈赠。《诗经·郑风·女曰鸡鸣》："杂佩以问之。"《毛传》："问，遗也。"古诗："将以遗所思，路远莫致之。"

⑮云：语助词。　离析：离别。

⑯搔首：抓头皮。《诗经·邶风·静女》："爱而不见，搔首踟躇。"

⑰引领：伸长脖子。　冀：希望。　良觌(dí 敌)：李善注："《尔雅》曰：'觌，见也。'良觌，谓见良人也。"良人，指"佳人"。

【译文】

太阳幽暗逐渐向西沉落，
长路漫漫内心忧伤窘促。
登楼远眺为把谁来思念？
这临近江边的迟来之客。
当初分别时已与我商定，
商定十五日为聚会之期。
天上月亮早已圆似玉盘，
佳人却还没有露面返回。
面对此事不由怨恨离别，
一景一物常常触动悲戚。
孟夏时节夜间并不算长，
度过一夜却似分别一年。
瑶华还不到采摘的时候，
兰茎却已经是摘了又摘。
但道路险阻没办法送到，

如何来慰藉这离别之情？
搔头询问南来北往行人，
引颈而望但愿见到佳人。

（张亚新　译注）

田南树园激流植援一首

谢灵运

【题解】

这首诗写庄园清旷幽静的环境和诗人寡欲少私、超然尘俗的情怀。沈德潜《古诗源》谓其“命题简古”。题中“援”字，一作“援”，援，木名。《宋书·谢灵运传》云：“灵运父祖并葬始宁县，并有故宅及墅，遂移籍会稽，修营别业，傍山带江，尽幽居之美。与隐士王弘之、孔淳之等纵放为娱，有终焉之志。”并作有《山居赋》，可与本诗参读。又《宋书》本传云：“灵运因父祖之资，生业甚厚。奴仆既众，义故门生数百，凿山浚湖，功役无已。寻山陟岭，必造幽峻，岩嶂千重，莫不备尽。”诗中一面说“迢递瞰高峰”，一面又说“靡迤趋下田”，是将“寻山陟岭”与巡视农田之利的生活结合在一起的，实际上反映了大庄园主的生活情趣，与“夏日长抱饥，寒夜无被眠”（陶渊明《怨诗楚调示庞主簿邓治中》）之类的隐居生活有着很大不同。

【原文】

樵隐俱在山①，　由来事不同②
不同非一事，　养痾亦园中③。
中园屏氛杂④，　清旷招远风⑤。
卜室倚北阜⑥，　启扉面南江⑦。
激涧代汲井⑧，　插槿当列墉⑨。
群木既罗户，　众山亦对窗⑩。
靡迤趋下田⑪，　迢递瞰高峰⑫。
寡欲不期劳⑬，　即事罕人功⑭。
唯开蒋生径⑮，　永怀求羊踪⑯。
赏心不可忘⑰，　妙善冀能同⑱。

【注释】

①樵：樵夫。　隐：隐士。

②由来：为何而来的原因。李善注引臧荣绪《晋书》："胡孔明有言'隐者在山，樵者亦在山，在山则同，所以在山则异，岂不信乎？'"

③痾（ē 阿）：病。

④中园：园中。《三谢诗》作"园中"。　屏（bǐng 丙）：排除。　氛杂：烦杂。

⑤清旷：清新旷远之地。李善注引范晔《后汉书》："仲长统曰：'欲卜居清旷，以乐其志。'"

⑥卜室：通过占卜定点建造的房屋。　阜：土山，丘陵。

⑦启扉：开门。扉，门扇。

⑧激涧：谓采用筑堰之类的办法提高水位，利用涧水灌园植木。激，阻遏水势。《汉书·沟洫志》："河从河内北至黎阳为石堤，激使东抵东郡平刚。"注："激者，聚石于堤旁冲要之处，所以激去其水也。"　汲井：到井中打水。

⑨槿（jǐn 仅）：木名，落叶灌木，夏秋开红、白或紫色花。　墉（yōng 拥）：墙。

⑩对：《三谢诗》作“当”。

⑪靡迤（yǐ 已）：绵延不断貌。指山路。 趋：快走。这里即“走”的意思。

⑫迢递：高貌。 瞰：远望。

⑬寡欲：少私欲。《老子》十九章：“见素抱朴，少私寡欲。” 不期劳：不希望劳苦。

⑭即事：遇到事情。 罕：少。 人功：人力，劳动力。

⑮蒋生：指蒋诩。西汉末，王莽专权，兖州刺史蒋诩告病辞官，隐居乡里，在住宅前面的竹林中开出三条小路，只同隐士求仲、羊仲二人来往。事见赵岐《三辅决录·逃名》。

⑯怀：思。 求羊：即求仲、羊仲。

⑰赏心：心意欢乐。

⑱妙善：指大道。 冀：希望。 同：谓与大道同在。李善注：“《庄子》曰：‘颜成子游谓东郭子綦曰：‘自吾闻子之言也，八年而不知死生，九年大妙。’郭象曰：‘妙善同，故无往而不冥也。’”按，新编诸子集成《庄子集释》（中华书局版）郭注为：“妙，善也。善恶同，故无往而不冥。此言久闻道，知天籁之自然，将忽然自忘，则秽累日去以至于尽耳。”

【译文】

樵夫和隐士都在山林中，
为何在山林情况却不同。
不同的事不只一件两件，
隐士养病也在山间园中。
园中摒尽了纷乱和烦杂，
清新疏旷引来远处和风。
占卜所建居室靠近北山，
打开门来正好面对南江。
涧中取水代替井中取水，
栽种木槿可当排列围墙。
众多树木既已罗列门外，

群山蜿蜒也正对着方窗。
沿着绵延山路行视下田，
抬头仰望那高耸的山峰。
少私寡欲不愿辛勤劳苦，
遇到事情很少兴师动众。
只像蒋诩那样开出三径，
长想着求仲羊仲的足踪。
心欢意乐不可轻易忘却，
大道妙善心愿与之认同。

（张亚新　译注）

斋中读书一首

谢灵运

【题解】

这首诗作于永嘉郡（郡治在今浙江温州市）书斋。永初三年（422）七月，谢灵运被以“构扇异同，非毁执政”的理由，从太子左卫率出为永嘉太守。因苦闷和忧虑，抵达永嘉不久，即罹病卧床，直到第二年春天才算痊愈。此后，“遂肆意游遨，遍历诸县，动逾旬朔，民间听讼，不复关怀”（《宋书》本传）。至秋，称病去职。这首诗叙写在永嘉养病期间的生活，透露出思想上“仕”与“隐”的矛盾，最后表示要到老庄达生之道的哲理中去寻求解脱，以避免身心的过度操劳。

“既笑沮溺苦”四句，与陶渊明在《劝农》诗中所表达的“冀缺携俪，沮溺结耦。相彼贤达，犹勤垄亩。”“民生在勤，勤则不匮。宴安自逸，岁暮奚冀”的劳动观点有着很大不同。

【原文】

昔余游京华①，　未尝废丘壑②。
矧乃归山川③，　心迹双寂漠④。
虚馆绝诤讼⑤，　空庭来鸟雀。
卧疾丰暇豫⑥，　翰墨时间作⑦。
怀抱观古今⑧，　寝食展戏谑⑨。
既笑沮溺苦⑩，　又哂子云阁⑪。
执戟亦以疲⑫，　耕稼岂云乐⑬。
万事难并欢，　达生幸可托⑭。

【注释】

①京华：京师。

②丘壑：深山幽谷，指隐士所居之地。李善注引《汉书》：“班嗣书曰：‘夫严子者，渔钓于一壑，万物不干其志；栖迟于一丘，天下不易其乐也。’”未尝废丘壑，谓在京华时即已有隐居的打算。

③矧(shěn 审)：况且。　乃：才，这才。

④心迹：心境与行事。　寂漠：同“寂寞”。《庄子·天道》：“夫虚静恬淡，寂漠无为者，万物之本也。”

⑤诤讼：争吵，诉讼之声。诤，通“争”。

⑥丰：多。　暇豫：空闲逸乐。

⑦翰墨：指诗文。翰，笔。　间(jiàn 见)：间或，不时。张衡《归田赋》：“挥翰墨以奋藻。”

⑧怀抱：谓捧书阅读。陆机《文赋》：“观古今于须臾。”

⑨展戏谑：开玩笑。

⑩沮(jǔ 举)、溺:春秋时的隐士长沮和桀溺。《论语·微子》:"长沮、桀溺耦而耕,孔子过之,使子路问津焉。"

⑪哂(shěn 审):讥笑。 子云:扬雄,字子云,西汉辞赋家。王莽篡位后,以大夫校书天禄阁。刘歆之子刘棻等人为进献符命事,触怒王莽,被严加惩治,并株连扬雄。使者收捕,扬雄投阁自杀,几死。时京师歌谣云:"惟寂寞,自投阁;爰清静,作符命。"事见《汉书》本传。

⑫执戟:秦汉时的宫廷侍卫官,因执勤时手持戟而得名。这里泛指小官。扬雄一生位居下僚,不得迁进,这里即指扬雄。李善注引潘岳《夏侯湛诔》:"执戟疲杨。"

⑬耕稼:指沮、溺。 云:语助词。

⑭达生:达,通,明白。生,生命,此指养生。《庄子·达生》:"达生之情者,不务生之所无以为。"注:"生之所无以为者,分外物也。"后以指不受世务牵累之意。

【译文】

过去我供职京师的时候,
不曾忘记日后隐居丘壑。
何况我这已经回归山川,
心境行事都已趋于寂寞。
馆舍虚静没有争讼之声,
庭院空空飞来一群鸟雀。
卧床养病颇多闲暇逸乐,
诗赋文章不时提笔写作。
怀抱图书可以纵览古今,
睡觉吃饭时时取笑戏谑。
既笑长沮桀溺种地辛苦,
又笑扬雄跳下那天禄阁。
当个小官一天疲于奔命,
种地也谈不上有何快乐。

天下事难得都让人高兴，
幸有达生之道可以寄托。

（张亚新　译注）

石门新营所住四面高山回溪石瀨茂林修竹诗一首

谢灵运

【题解】

石门，山名，在今浙江嵊县。谢灵运《游名山志》云："石门涧六处，石门溯水上入两山口，两边石壁，右边石岩，下临涧水。"其地极为清幽险峻。这首诗写石门新居，首四句描写新居所在的独特环境，"枭枭"十句描写对远方友人的热切期盼，"俯濯"六句描写山间景象，最后六句为悟道见理之辞。全诗具有融情景理于一炉的特点，读之令人如入山阴道中，应接不暇。陈祚明云："详谢诗格调，深得《三百篇》旨趣，取泽于《离骚》、《九歌》；江水、江枫、斫冰、积雪，是其所师也。间作俚语，辄近《十九首》。然大抵多发自然，少规往则，称性而出，达情务尽，钩深索隐，穷态极妍。"（《采菽堂古诗选》卷十七）这首诗其可当之。

【原文】

跻险筑幽居①，　披云卧石门。
苔滑谁能步，　葛弱岂可扪②。

袅袅秋风过③，　萋萋春草繁④。
美人游不还⑤，　佳期何由敦⑥？
芳尘凝瑶席⑦，　清醑满金樽⑧。
洞庭空波澜，　桂枝徒攀翻⑨。
结念属霄汉⑩，　孤景莫与谖⑪。
俯濯石下潭⑫，　仰看条上猿⑬。
早闻夕飙急⑭，　晚见朝日暾⑮。
崖倾光难留，　林深响易奔。
感往虑有复⑯，　理来情无存⑰。
庶持乘日车⑱，　得以慰营魂⑲。
匪为众人说⑳，　冀与智者论㉑。

【注释】

①跻(jī 基)：登。　幽居：幽静的居室。

②葛：葛藤，一种蔓生纤维科植物。　扪：持，握。

③袅袅：秋风吹拂貌。屈原《九歌·湘夫人》："袅袅兮秋风。洞庭波兮木叶下。"

④萋萋：草盛貌。淮南小山《招隐士》："王孙游兮不归，春草生兮萋萋。"

⑤美人：指所思念的友人。

⑥佳期：与佳人约会的日期。屈原《九歌·湘夫人》："登白薠兮骋望，与佳期兮夕张。"　敦：李善注引《方言》："敦，信也。"信，实在。

⑦瑶席：华美的坐席。席，席位，座位。屈原《九歌·东皇太一》："瑶席兮玉瑱，盍将把兮琼芳。"

⑧醑(xǔ 许)：美酒。　樽：酒杯。

⑨攀翻：舞动。淮南小山《招隐士》："攀援桂枝兮聊淹留。"

⑩结念：谓心思专注。　属(zhǔ 嘱)：连接。　霄汉：天空。李善注："言所思念，邈若霄汉。"

⑪孤景：孤影。　谖(xuān 宣)：忘记。李善注："孤影独处，莫与忘忧。蔡

琰诗曰：‘茕茕对孤影，怛咤糜肝肺。’”

⑫濯：洗。

⑬条：树枝。

⑭早闻：朝日迟至，而晚风早起，故云早闻。 飙：暴风。

⑮暾(tūn 吞)：明亮，炽盛。《楚辞》屈原《九歌·东君》：“暾将出兮东方。”王逸注：“谓日始出东方，其容暾暾而盛大也。”

⑯感往：感慨既往。 虑有复：谓往事纷纭复杂，深恐重蹈覆辙。李善注：“言悲感已往，而夭寿纷错，故虑有回复。”

⑰理：指老庄之道。 情：指人生欲念。李善注：“妙理若来，而物我俱丧，故情无所存。”

⑱庶：副词，表示期望。 乘日车：比喻顺随时光的流逝。《庄子·徐无鬼》：“有长者教予曰：‘若乘日之车而游于襄城之野。’”

⑲营魂：指心灵、精神。

⑳匪：非，不是。 众人：普通人。

㉑冀：希望。 智者：卓识之士。司马迁《报任安书》：“然此可为智者道，难为俗人言也。”

【译文】

登上高险之处建造幽居，
身披白云偃卧峻峭石门。
青苔溜滑谁能迈开脚步，
葛藤细弱岂可攀援前行。
习习秋风轻轻吹过山间，
转眼春草长得碧绿茂盛。
美人远游至今还未回还，
约定日期岂不成了泡影？
华美的座席凝聚着芳尘，
清冽的美酒倒满了金樽。
洞庭湖空涌着茫茫波澜，

桂树枝也徒然飘舞飞翻。
深沉思念邈若寥阔长空，
茕茕孤影怎能销忧解烦。
低头在石下清潭中洗濯，
抬头看猿猴跳跃在林间。
很早就能听到晚风呼啸，
很晚才见朝日缓缓东升。
谷深崖倾阳光很难久留，
林海深幽声响容易远奔。
悲感已往担心有所反复，
妙理若来情欲无所留存。
愿乘日车顺随时光流逝，
逍遥处世得以慰藉魂灵。
这个道理不对众人说起，
想同智者好好谈论谈论。

（张亚新　译注）

杂诗一首

王景玄

【作者】

王微（415～453，一作443），南朝宋诗人。字景玄，琅琊临沂

(今山东临沂市)人。少好学,善属文,能书画,兼解音律、医方、阴阳术数。始为司徒祭酒,转主簿,后任太子中舍人、始兴王友,以父丧去职。因素无宦情,后屡召皆不就,幽居独处,以文籍自娱。其弟僧谦病,他亲自医治,僧谦服药失度而死,因深自咎恨,发病不复自治,卒。为文好古,工诗,钟嵘《诗品》将其列为中品,称其"殊得风流媚趣"。《隋书·经籍志》著录有集十卷,已佚。

【题解】

这首诗写思妇怀念征夫,造语清浅,情辞凄怨,情景交融,余韵悠长,颇能体现"务其清浅,殊得风流媚趣"(钟嵘《诗品》中)的创作特色。王夫之评云:"寄托宛至,而清亘有风度。"(《古诗评选》卷五)这种清怨的诗风,对后来江淹的创作有一定影响,故钟嵘《诗品》中评江淹诗,有"筋力于王微"之语。

【原文】

思妇临高台, 长想凭华轩①。
弄弦不成曲②, 哀歌送苦言③。
箕帚留江介④, 良人处雁门⑤。
讵忆无衣苦⑥, 但知狐白温⑦。
日阁牛羊下⑧, 野雀满空园⑨。
孟冬寒风起⑩, 东壁正中昏⑪。
朱火独照人⑫, 抱景自愁怨⑬。
谁知心曲乱⑭, 所思不可论⑮!

【注释】

①凭:依靠。 华轩:华美的窗户。王粲《登楼赋》:"凭轩槛以遥望兮。"
②弄弦:弹弦。

③送苦言：《玉台新咏》三作“若送言”。李善注：“张平子书曰：‘酸者不能不苦于言也。’”

④箕帚：畚箕扫帚。李善注：“妇人所执也。《国语》曰：吴王夫差伐越，越王勾践乃命诸稽郢行成于吴，曰：‘勾践请盟，一介适女执箕帚，以备姓于王宫。’”这里代指思妇。　江介：江边。

⑤良人：思妇称其夫。　雁门：秦置郡名，辖境在今山西北部，为边塞之地。

⑥讵(jù 巨)：岂。

⑦但：只。　狐白：指狐白裘，名贵的轻暖之物，为贵者所服。两句化用曹植诗句“狐白足御冬，焉念无衣客。”(《赠丁仪》)，意在讽刺处尊贵者多忘贫贱。《晏子春秋》：“景公之时，雨雪三日而不霁。公被狐白之裘，坐堂侧陛。晏子入见，立有间，公曰：‘怪哉！雨雪三日而天不寒。’晏子曰：‘婴闻古之贤君饱而知人之饥，温而知人之寒，逸而知人之劳。今君不知也。’”

⑧阖：阴暗。《诗经·王风·君子于役》：“日之夕矣，羊牛下来。”《集传》：“日则夕矣，羊牛则下来矣。是则畜产出入，尚有旦暮之节，而行役之君子乃无休息之时，使我如何而不思也哉！”

⑨“野雀”句：李善注：“古《猛虎行》曰：‘日暮不从野雀栖。’”

⑩孟冬：初冬，农历十月。

⑪东壁：星名，也称壁宿，二十八宿之一，与营室星连成正方形，在营室之东，故名。初冬黄昏时，出现于正南天空，意味着时近岁暮。李善注引《礼记》：“仲冬之月，昏东壁中。”

⑫朱火：红色的火焰。指烛光。张华《杂诗》：“朱火青无光，兰膏坐自凝。”

⑬景：身影。李善注：“《楚辞》曰：‘廓抱景而独倚。’”

⑭心曲：内心深处。

⑮不可论：犹曹丕《杂诗》“弃置勿复陈”之意。

【译文】

思妇登上高台极目远望，
身靠着窗户久久地冥想。
弹奏琴弦总是弹不成曲，

放声哀歌发出危苦之言。
孤身一人留这寂寞江岸，
夫君却在那遥远的雁门。
有人不顾念无衣的痛苦，
只知道狐白裘非常保温。
太阳落山牛羊齐把家转，
野雀飞来也挤满了园林。
孟冬十月寒风阵阵刮起，
壁宿高挂南天时正黄昏。
只有烛光照着孤苦之人，
形单影只暗自忧愁怨恨。
谁能知道这内心的烦乱，
无限相思真不值得谈论！

（张亚新　译注）

数诗一首

鲍明远

【作者】

见卷十一《芜城赋》作者介绍。

【题解】

据谢榛《四溟诗话》，魏晋六朝时期诗坛有离合体、回文体、十数体、建除体、道里名体、卦名体、歌曲名体、姓名体、鸟名体、兽名体、龟兆名体、针穴名体、将军名体、宫殿名体、屋名体、车名体、船名体、草名体，树名体、六府体、八音体、六甲体、十二属体等众多名目。这些诗体虽多为“古人好奇之过，欲以文字示其巧”（叶梦得《石林诗话》）的产物，从其影响的主导面来看不能说是积极的，但多少从一个侧面反映了中国古代诗歌体制繁富的状况，有的也具有一定的思想内容，不拟一笔加以抹煞。这首《数诗》（即“十数体”）从一至十，铺陈了骑乘、宴饮、乐舞等种种物质享受，刻画了“九族共瞻迟，宾友仰徽容”的心理满足，最后以“十载学无就，善宦一朝通”作结，对富贵与仕宦既有讥讽之意，又不无艳羡之情，表现了一种复杂矛盾的心态，对研究鲍照其人有一定参考价值，即不宜纯以游戏笔墨视之。

【原文】

一身仕关西①，　家族满山东②。
二年从车驾③，　斋祭甘泉宫④。
三朝国庆毕⑤，　休沐还旧邦⑥。
四牡曜长路⑦，　轻盖若飞鸿⑧。
五侯相饯送⑨，　高会集新丰⑩。
六乐陈广坐⑪，　组帐扬春风⑫。
七盘起长袖⑬，　庭下列歌钟⑭。
八珍盈雕俎⑮，　绮肴纷错重⑯。
九族共瞻迟⑰，　宾友仰徽容⑱。
十载学无就⑲，　善宦一朝通⑳。

【注释】

①关西：指函谷关(在今河南灵宝县南)以西之地。

②家族：同姓亲属。 山东：即关东，指函谷关以东之地。李善注引《汉书》："高帝问群臣，群臣皆山东人也。"

③车驾：代指帝王。

④斋：斋戒。古代祭祀前为表示虔敬，须整洁身心，称斋戒。 甘泉宫：秦、汉宫名，在今陕西淳化县西北甘泉山。李善注："《汉书》曰：'元延二年，行幸甘泉。'赋曰：'正月从上甘泉。'蔡邕《独断》曰：'不敢指斥天子，故但言车驾。'《汉书》曰：'武帝作甘泉宫，中为台，置祭具，以致天神也。'"

⑤三朝(zhāo 招)：正月一日。正月一日为一年岁、月、日的开始，故称。李善注："《汉书》：谷永上书曰：'食于三朝之会。'《周礼》曰：'国有福事，即庆贺之。'"

⑥休沐：官吏休息沐浴。指例假。《初学记》二十："休假亦曰休沐。汉律：吏五日得一下沐，言休息以洗沐也。" 旧邦：故里。

⑦四牡：驾车的四匹雄马。 曜：光耀。

⑧盖：车盖。李善注引石崇《还京诗》："迅风翼华盖，飘飖若鸿飞。"

⑨五侯：汉成帝河平二年(公元前 27)封舅王谭平阿侯、王商成都侯、王立红阳侯、王根曲阳侯、王逢时高平侯，五人同日封，时人谓之五侯。 见《汉书·元后传》。

⑩高会：盛大的宴会。 新丰：县名，故城在今陕西临潼东北。本秦骊邑，汉高祖七年(公元前 200)，因太上皇思乡，遂按丰县街里布局改筑骊邑，并迁来丰、沛商人，故称新丰。

⑪六乐：相传远古时代的六种乐曲。《周礼·地官·保氏》："乃教之六艺。……二曰六乐。"注："六乐，《云门》、《大咸》、《大韶》、《大夏》、《大濩》、《大武》也。"据说《云门》为黄帝之乐，《大咸》为尧乐，《大韶》为舜乐，《大夏》为禹乐，《大濩》为汤乐，《大武》为武王之乐。这里代指送行的众多乐曲。 陈：张设。 广坐：众人聚会的场所。李善注引《史记》："侯嬴曰：'公子自迎嬴群众广坐之中。'"

⑫组帐：华美的帷帐。组，系帐的丝带。嵇康《赠秀才入军》诗其五："微风

动袿，组帐高褰。”

⑬七盘：古舞名。《通典》一四五《乐》五：“盘舞，汉曲，至晋加之以杯，谓之《世宁舞》也。张衡《舞赋》云：‘历七盘而纵蹑。’王粲释云：‘七盘陈于广庭。’”

⑭歌钟：即编钟，古代打击乐器名。铜制。因用来配合歌曲，故名。

⑮八珍：古代八种烹饪法。《周礼·天官·膳夫》：“珍用八物。”注：“珍谓淳熬、淳母、炮豚、炮牂、捣珍、渍、熬、肝肯也。”后用来泛指珍贵的食品。《三国志·魏书·卫觊传》：“饮食之肴必有八珍之味。” 盈：满。 雕俎(zǔ 组)：刻有花纹的俎。俎，置肉的几，为古代宴客、朝聘、祭祀用的礼器。

⑯绮肴：美盛的菜肴。 纷：盛多貌。 错重：交错重叠。李善注引应璩《与公琰书》：“繁俎绮错，羽爵飞腾。”

⑰九族：《尚书·尧典》：“以亲九族。”《孔疏》：“上至高祖，下及玄孙，是为九族。”即高祖、曾祖、祖、父、自己、子、孙、曾孙、玄孙。一说是父族四、母族三、妻族二。 瞻迟：瞻望。

⑱仰：瞻仰。 徽容：美容。

⑲就：成就。李善注引《汉书》：“张释之事文帝，十年不得调。”

⑳善宦：巧于做官。《史记·汲黯传》：“黯姑姊子司马安，亦少与黯为太子洗马。安文深巧，善宦，官四至九卿。”

【译文】

一人做官远在关西，
同姓亲属布满山东。
二年随从帝王车驾，
斋戒祭祀在甘泉宫。
三朝之日国庆完毕，
休息沐浴返回故乡。
四匹雄马光耀长路，
轻盖翩翩有如飞鸿。
五侯设宴热烈欢送，
热热闹闹聚会新丰。

六乐设于广坐之中，
华美帷帐飘卷春风。
七盘舞起长袖蹁跹，
庭下齐列一排歌钟。
八珍摆满雕花几案，
菜肴美盛交错叠重。
九族之人一齐瞻望，
宾客朋友共仰美容。
十年苦学无所成就，
巧于做官一朝亨通。

（张亚新　译注）

玩月城西门解中一首

鲍明远

【题解】

这首诗是鲍照任秣陵县令时所写，“城西门解”即秣陵西门的官廨（官舍）。诗写十五六月圆之夜宴饮情景，却先以首六句追述此前初生之月以作陪衬，见出月圆之夜千里共赏的可贵。首创“蛾眉”、“玉钩”两词以状摹新月之形，贴切形象，后人遂沿用不衰。“归华”二句，为一篇转折，引出厌倦宦游、欲借公余宴饮聊以销忧之意。最后结于怀友，戛然而止，不枝不蔓。诗篇琢句精工（尤以“归

华”一联为最），但无“有句无篇”之病，环环相生，气势流贯，灵幻之景，郁勃之情，一一诉诸毫端，浑融无迹，杜甫曾有“俊逸鲍参军”（《春日忆李白》）之语，沈德潜因而评云：“少陵所云俊逸，应指此种。”（《古诗源》卷十一）

【原文】

始见西南楼①，　纤纤如玉钩②。
末映东北墀③，　娟娟似蛾眉④。
蛾眉蔽珠栊⑤，　玉钩隔琐窗⑥。
三五二八时⑦，　千里与君同⑧。
夜移衡汉落⑨，　徘徊帷户中⑩。
归华先委露⑪，　别叶早辞风⑫。
客游厌苦辛，　仕子倦飘尘⑬。
休浣自公日⑭，　宴慰及私辰⑮。
蜀琴抽《白雪》⑯，郢曲发《阳春》⑰。
肴干酒未缺⑱，　金壶启夕沦⑲。
回轩驻轻盖⑳，　留酌待情人㉑。

【注释】

①见：《诗纪》五十二云：“一作‘出’。”

②纤纤：尖细貌。　玉钩：玉制的钩。李善注引《西京杂记》：“公孙乘《月赋》曰：‘值圆岩而似钩，蔌修堞如分镜。’”

③墀（chí 池）：台阶。

④娟娟：明媚美好貌。　蛾眉：蚕蛾的触须细长而弯，如人的眉毛，故称。

⑤珠栊（lóng 龙）：华美的窗棂（窗格）。代指窗户。栊，《玉台新咏》四作“笼”。

⑥琐窗：镂刻有连琐图案的窗棂。代指窗户。琐，镂玉为连环。《玉台新咏》四作“绮”。

⑦三五：农历十五日。 二八：农历十六日。《释名·释天》："望，月满之名也。月大十六日，小十五日，日在东，月在西，遥相望也。"

⑧"千里"句：月光普照千里，既照着自己，又照着远方的知己，故云"与君同"，即谢庄《月赋》"隔千里兮共明月"所说的意思。君，即后文的"情人"，为诗人所怀念的知己。

⑨衡：北斗七星的第五星，这里代指北斗。 汉：天汉，即银河。

⑩徘徊：月光恍动不前之貌。曹植《七哀》："明月照高楼，流光正徘徊。" 户：《玉台新咏》四作"幌"。

⑪归华：即归花。花落向根，故称。 委露：为露所堕。委，弃。

⑫别叶：叶下离枝，故称。 辞风：因风而离树陨落。

⑬飘尘：喻游宦。

⑭休浣：犹"休沐"，官吏休息洗沐，指休假。浣，洗。

⑮宴慰：宴饮自慰。 私辰：属于自己的时辰。

⑯蜀琴：暗用司马相如其事。司马相如曾以琴挑卓文君。李善注："相如工琴而处蜀，故曰蜀琴。" 抽：发出，演奏。《白雪》：与下句《阳春》皆高级歌曲名。宋玉《对楚王问》："客有歌于郢中者，……其为《阳春》、《白雪》，国中属而和者，不过数十人。"

⑰郢曲：李善注："客歌郢中，故称郢曲。"郢，战国时楚国都城，在今湖北江陵。 发：《玉台新咏》四作"绕"。

⑱肴干：菜肴已尽。 缺：尽。

⑲金壶：铜壶，为古代计时器。分播水壶、受水壶两部分。播水壶有小孔，可以漏水，水流入受水壶。受水壶里有立箭，箭上画分一百刻，箭随蓄水逐渐上升，露出刻数，表示时间。 启夕沦：谓铜壶滴漏已表示一夜将尽。沦，水起微波，这里当尽讲。

⑳轩：车。 驻轻盖：谓停车。

㉑酌：酒。

【译文】

新月最初在西南楼出现，
形状尖细就像一只玉钩。

最后映在东北的台阶上，
明媚美好犹如一弯蛾眉。
蛾眉被华美的窗户遮蔽，
玉钩被连琐的窗户隔离。
十五十六夜皓月正当空，
普照千里与君同享光明。
夜色推移北斗银河下沉，
月光清朗徘徊房帷之中。
花朵因露率先凋零向本，
树叶因风早早飘落归根。
客游在外受够劳碌辛苦，
做官在外厌倦宦海风尘。
好容易得到公余休假日，
宴饮自慰抓紧这个时辰。
蜀琴把动听的《白雪》弹奏，
又响起那郢中歌曲《阳春》。
莱肴吃完酒还剩下不少，
铜壶滴漏表示一夜将尽。
回过车来暂时停留一会，
把酒留着等待心中情人。

（张亚新　译注）

始出尚书省一首

谢玄晖

【作者】

见卷二十《新亭渚别范零陵诗》作者介绍。

【题解】

永明十一年(493)七月,齐武帝萧赜病死,临死前立萧昭业为皇太孙(太子萧长懋此前已死),以萧鸾为侍中、尚书令,总理朝政。萧昭业继位,于十一月立其弟萧昭文为新安王。隆昌元年(494)七月,萧鸾废萧昭业为郁林王而杀之,另立萧昭文为帝,自为骠骑大将军、录尚书事、扬州刺史、宣城郡公,不久废萧昭文为海陵王,自立为帝。谢朓因被人诬陷,于永明十一年从荆州被召还京,迁新安王萧昭文中军记室,萧昭文即位,又做过很短时间的尚书殿中郎,旋即转为萧鸾的骠骑咨议,领记室,掌霸府文笔。这首诗即作于离开尚书殿中郎之职,转为萧鸾骠骑咨议时。诗中表现了复杂的心情:一方面觉得自己十载休明出入朝廷的盛事已经成为过去,从此只能老于渔樵、无所作为了,另一方面又极力歌颂萧鸾,企图在政治上寻求新的依靠。诗风凝重典雅,与其平秀清发的一般风格不同,颇受颜延之的影响。

【原文】

惟昔逢休明①，　十载朝云陛②。
既通金闺籍③，　复酌琼筵醴④。
宸景厌照临⑤，　昏风沦继体⑥。
纷虹乱朝日⑦，　浊河秽清济⑧。
防口犹宽政⑨，　餐荼更如荠⑩。
英衮畅人谋⑪，　文明固天启⑫。
青精翼紫轨⑬，　黄旗映朱邸⑭。
还睹司隶章⑮，　复见东都礼⑯。
中区咸已泰⑰，　轻生谅昭洒⑱。
趋事辞宫阙⑲，　载笔陪旌棨⑳。
邑里向疏芜㉑，　寒流自清泚㉒。
衰柳尚沉沉㉓，　凝露方泥泥㉔。
零落悲友朋㉕，　欢虞燕兄弟㉖。
既秉丹石心㉗，　宁流素丝涕㉘。
乘此终萧散㉙，　垂竿深涧底。

【注释】

①惟：思。休明：美善光明。指齐武帝萧赜（483～493年在位）。

②朝云陛：谓出入朝廷做官。陛，宫殿的台阶。云陛，言其高。

③通：通籍。汉制，将记有姓名、年龄、身份等的竹片挂在宫门外，经核对，合者才能进入宫内。记名于门籍即称通籍。《汉书·元帝纪》："令从官给事宫司马中者，得为大父母、父母、兄弟通籍。"　金闺：指金马门，汉官署名。当时被征召来的人，令待诏金马门。

④酌：斟酒喝。　琼筵：谓珍美的筵席。琼，美玉。李善注引袁宏《夜酣赋》："开金扉，坐琼筵。"　醴（lǐ 理）：甜酒。泛指美酒。

⑤宸：北极星所在为宸，借用为帝王所居，又引申为帝王的代称。 昃光。 厌照临：不愿再照耀大地。谓齐武帝萧赜死亡。《诗经·小雅·小明》："明明上天，照临下土。"

⑥昏风：乱风，喻坏风气。《尚书·伊训》："敢有侮圣言，逆忠直，远耆德，比顽童，时谓乱风。" 沦，没，灭。 继体：继位，指萧昭业在武帝死后继位。《公羊传·文公九年》："继文王之体，守文王之法度。"

⑦纷虹：乱虹。喻郁林王身边的宦官徐龙驹等人。 朝日：喻郁林王。李善注引《汉书》："息夫躬《绝命辞》曰：'虹霓耀兮日微。'张晏曰：'虹霓，邪阴之气也，而有照耀以蔽日月。方谗言流行，忠良浸微也。"

⑧河：黄河。 济：水名，源出河南济源县，汉代在今河南武陟县流入黄河，向南溢出，流向山东，与黄河平行入海。李善注："孔安国《尚书注》曰：'济水入河，并流十数里，清浊异色，混为一流。'亦喻谗邪之秽忠正也。"

⑨防口：防止人说话。何焯《义门读书记》："言昭业凶暴，防口尚为宽政。朝士惧祸者，餐荼亦如荠也。"

⑩餐：吃。 荼：菜名，味苦，又名苦菜。 荠(jì 寄)：菜名，味甜。《诗经·邶风·谷风》："谁谓荼苦？其甘如荠。"

⑪英衮(gǔn 滚)：指萧鸾。英，贤能杰出之意。衮，礼服名。古代上公服衮，后世因称三公为衮。时萧鸾总揽朝政，故称之。 畅：通。 人谋：众人的智慧、意见。

⑫固：本来。 天：喻萧鸾。 启：开导，开拓。

⑬青精：指苍龙。苍龙为二十八宿中东方七宿之合称。《史记·天官书》："东宫苍龙。"东方，五行属木，色为青。故李善注："'青'即'苍'也。齐，木德，故苍精翼之。" 翼：辅助。 紫轶(dài 代)：天子之车。代指天子。紫，天子之车以紫为盖。轶，车辂(绑在车辕上用来牵引车子的横木)。《方言》九："轮，韩楚之间谓之轶。"注："车辂也。"

⑭黄旗：天子之旗。李善注："司马德操《与刘恭嗣书》曰：'黄旗紫盖，恒见东南，终成天下者，扬州之君子。'" 朱邸：汉制，诸侯朝天子在京师立舍名邸，诸侯王以朱红漆门，故称朱邸。此代指萧鸾。其时萧鸾称帝已成必然之势，故有"黄旗'之说。

⑮司隶：官名。东汉时称司隶校尉，领七郡，治河南洛阳。 章：法规。王莽新朝末年，刘玄被绿林军拥立为帝，恢复汉的国号，以公元23年为更始元

年。《后汉书·光武帝纪》:“更始将北都洛阳,以光武行司隶校尉,使前整修宫府。于是置僚属,作文移,从事司察,一如旧章。”注引《续汉书》曰:“司隶从事史十二人,秩皆百石,主督促文书,察举非法。”这里以“司隶”喻指萧鸾,“司隶章”喻萧鸾重振法规制度。

⑯东都:指洛阳。东都礼,指齐武帝时期的礼仪。《后汉书·光武帝纪》:“时三辅吏士东迎更始,见诸将过,皆冠帻,而服妇人衣,诸于绣䩭,莫不笑之,或有畏而走者。及见司隶僚属,皆欢喜不自胜。老吏或垂涕曰:‘不图今日复见汉官威仪!’由是识者皆属心焉。”

⑰中区:中间,指天地间。 咸:都。 泰:安宁。

⑱轻生:轻贱的生命。谢朓自指。 谅:诚。 昭洒(xǐ 洗):犹言昭雪,谓洗清自己的耻辱冤屈。洒,通“洗”。

⑲“趋事”句:李善注:“谓出殿中而为记室也。”

⑳载笔:谓携带文具记录王事,即担任记室。《礼记·曲礼》上:“史载笔,士载言。” 旌、棨(qǐ 且):皆为高官出行时的仪仗,代指萧鸾。旌,旌旗。棨,有缯衣或油漆的木戟。

㉑邑里:乡里。 疏芜:空疏荒芜。

㉒清泚(cǐ 此):清澈。

㉓沉沉:繁盛貌。

㉔方:正。 泥泥:露湿貌。《诗经·小雅·蓼萧》:“蓼彼萧斯,零露泥泥。”

㉕零落:指死亡。孔融《论盛孝章书》:“海内知识,零落殆尽。”

㉖欢虞:欢娱。虞,通“娱”。 燕:通“宴”,用酒饭招待客人。

㉗秉:持。 丹石心:赤诚坚贞之心。李善注引《吕氏春秋》:“石可破而不可夺其坚,丹可磨而不可夺其赤。”

㉘宁:岂。 素丝:未经染色的丝。李善注:“《淮南子》曰:‘墨子见练丝而泣之,为其可以黄可以黑。’高诱曰:‘闵其化也。’”

㉙乘:因。 萧散:闲散。 乘此终:五臣本作“因此得”。

【译文】

想起以前欣逢美善光明,
十年之间得以出入朝廷。

既能够记名于金闺门籍，
又能够参加盛美的筵席。
北极星光不再照临大地，
风气混沌又使新帝沉沦。
乱虹浊光搅乱朝日光辉，
黄河浊水污秽济水清流。
比起来防人开口算宽政，
吃苦菜比起来也甜如荠。
所幸英衮能够通达人意，
人间文明本来靠天启迪。
苍龙之精辅翼天子之车，
黄色旌旗照映朱红官邸。
既见司隶所施旧章法规，
又得重见东都时期礼仪。
天地之间都已平和安宁，
我这轻贱之身诚当昭雪。
就任新命辞掉宫中旧职，
担任记室从此陪伴旌棨。
乡里逐渐变得空疏荒芜，
寒流望去总是清澈见底。
柳树枯衰但还十分茂盛，
颗颗露珠看去晶莹湿润。
朋友凋零心中无限悲哀，
欢娱异常设宴招待兄弟。
既已怀抱赤诚坚贞之心，
岂会再流素丝黄黑之泪。
因此得以成日悠闲自在，

垂放钓竿在那深涧之底。

（张亚新　译注）

直中书省一首

谢玄晖

【题解】

建武二年(495)春，谢朓转为中书郎，这首诗即作于在中书省值班时。由于政治风云变幻莫测，自魏晋以迄南朝在统治阶级中兴起了一股朝隐之风：一面当官求禄，一面却又向往着山林隐居的闲散生活。谢朓“既欢怀禄情，复协沧州趣”(《之宣城郡出新林浦向板桥》)，也是一个热衷朝隐者，这首诗便抒发了他既官居台省、又向往山泉游赏生活的思想情感。诗人在描写楼宇建筑的同时，写出了“红药当阶翻，苍苔依砌上”这样极清丽秀美的佳句，将对自然景物的欣赏同其官吏生活紧密地结合起来，显示出新的特色，这无疑是同其朝隐的人生态度密切相关着的。

【原文】

紫殿肃阴阴①，　彤庭赫弘敞②。
风动万年枝③，　日华承露掌④。
玲珑结绮钱⑤，　深沉映朱网⑥。

红药当阶翻⑦，　苍苔依砌上⑧。
兹言翔凤池⑨，　鸣佩多清响⑩。
信美非吾室⑪，　中园思偃仰⑫。
朋情以郁陶⑬，　春物方骀荡⑭。
安得凌风翰⑮，　聊恣山泉赏⑯。

【注释】

①紫殿：即皇宫。　肃阴阴：清幽深沉貌。《庄子·田子方》："至阴肃肃，至阳赫赫。"张衡《思玄赋》："出紫宫之肃肃兮，集大微之阗阗。"

②彤庭：即宫庭。彤，朱红色，宫庭所饰之色。　赫：明朗。　弘敞：广大。

③万年枝：即冬青树。一说，为杻树，又名檍树。《逸老堂诗话》："谢玄晖诗：'风动万年枝。'唐诗：'青松忽似万年枝。'《三谢诗注》以为冬青，非也。《草木疏》云：'檍木枝叶可爱，二月花白，子似杏，今在处官园种之，取亿万之义，改名万岁树。'即此也。"

④华：照。　承露掌：即承露盘。汉武帝时，于神明台上作承露盘，立铜仙人以手掌擎盘接甘露，以为饮之可以延年。

⑤玲珑：形容窗户样式的精美。　结绮钱：谓以绫绮结成连钱为饰。

⑥朱网：绮制的网状帘幕。朱，《初学记》十一作"珠"。

⑦红药：即芍药。

⑧砌：台阶。

⑨兹：此。　言：语助词。　翔凤池：即凤凰池，也即中书省。《晋书·荀勖传》载，荀勖由中书监改任尚书令，有人前去表示祝贺，他却气愤地说："夺我凤凰池，诸君贺我邪！"

⑩佩：官员身上的玉佩。　多清响：谓有不少达官要员。

⑪信：诚然。王粲《登楼赋》："虽信美而非吾土兮。"

⑫中园：园中。　偃仰：栖止，安居。

⑬朋情：友情。　郁陶：友情盛貌。

⑭骀(dài 代)荡：景物盛貌。

⑮凌风翰：凌风飞举的羽毛。

⑯恣：纵情，随意。　山泉：山林泉水。

【译文】

紫色宫殿幽深而又安静，
朱红宫庭明亮而又宽敞。
微风轻拂吹动着万年枝，
阳光明媚照耀着承露掌。
窗户玲珑饰以绮结连钱，
深沉颜色映衬悬垂朱网。
阶前芍药长得枝繁叶茂，
青苔沿着台阶蔓延生长。
这就是挺有名的翔凤池，
众多玉佩在这发出清响。
虽确美好却不适合我往，
我想到园林中安居静养。
朋友情谊那样温馨宜人，
春天景物也正蓬勃兴旺。
怎能长出凌风飞举之羽，
随心所欲去把山泉欣赏。

（张亚新　译注）

观朝雨一首

谢玄晖

【题解】

这是一首写景而兼抒怀的诗，很能代表谢朓诗在内容上多写隐仕思想矛盾、在表现上多为先写景后抒怀的创作特色。开头两句，气概不凡，足以笼罩全篇，但自“平明”句以下，便渐渐觉得气力不加。钟嵘《诗品》称谢朓“善自发诗端，而末篇多蹶，此意锐而才弱也。”即此之谓。不过，这倒不是意锐才弱所致，在很大程度上倒是跟意弱有关系。但诗篇情景分咏，既映衬分明，又通过中间“平明”四句的过渡、转换和衔接，浑为一体，结构、意境和情调还是完整、和谐的，仍不失为谢朓诗中的上乘之作。

【原文】

朔风吹飞雨①，　萧条江上来②。
既洒百常观③，　复集九成台④。
空濛如薄雾⑤，　散漫似轻埃。
平明振衣坐⑥，　重门犹未开⑦。
耳目暂无扰，　怀古信悠哉⑧。
戢翼希骧首⑨，　乘流畏曝鳃⑩。
动息无兼遂⑪，　歧路多徘徊⑫。

方同战胜者⑬， 去翦北山莱⑭。

【注释】

①朔风：北风。

②萧条：冷落貌。

③百常观：汉代台观名。李善注："《西京赋》曰：'通天眇以竦峙，颈百常而茎擢。'薛综曰：'台名也。'"这里泛指眼前所见的观。百常，十六尺为常，"百常"言其高。

④九成台：古台名。李善注："《吕氏春秋》曰：'有蛾氏有二佚女，为九成台，饮食必以鼓。'"这里泛指眼前所见的台。九成，九层，言其高。

⑤空濛：混沌迷茫貌。

⑥平明：清晨。 振衣：抖一抖衣，为穿衣时的习惯动作，即指穿衣。

⑦重门：指宫门。

⑧怀古：指对澹泊宁静的远古生活的怀念，实际指一种超乎现实、超然物外的旷达情绪。 信：实在。 悠哉：悠然自得貌。

⑨戢(jí 及)翼：即敛翅不飞，比喻退隐。李善注引成公绥《慰情赋》："惟潜龙之勿用，戢鳞翼以匿影。" 骧首：马首上举，比喻出仕。李善注引邹阳《上书》："鲛龙骧首奋翼，则浮云出流。"这句谓隐居时想要出仕。

⑩乘流：喻出仕。 曝(pù 铺)鳃：曝，晒。古代传说，黄河里的大鱼集于龙门(在今陕西韩城与山西河津县间)之下，得上者成龙，不得上者，只能曝鳃龙门。见《艺文类聚》九六《辛氏三秦记》。后因以"曝鳃"比喻遭受困顿、挫折。

⑪动息：动止进退，指做官和退隐。 遂：如意。

⑫歧路：岔路。李善注："言出处之情有疑，譬临歧路而多惑也。《淮南子》曰：'杨子见逵路而哭之，谓其可以南可以北。'"

⑬方：将。 战胜：指退隐的思想战胜了出仕的念头。李善注："《韩子》：子夏曰：'吾入见先王之义则荣之，出见富贵又荣之，二者战于胸臆，故臞(qú 渠，瘦的意思)也。今见先王之义战胜，故肥也。'"

⑭翦：同"剪"。 北山莱：《诗经·小雅·南山有台》："南山有台，北山有莱。"莱，草名，又名藜，嫩叶可煮食。这句谓到山中采野菜而食，即退隐山中之意。

【译文】

北风吹乱了纷飞的雨丝，
萧条冷落从江面飘过来。
既洒在高高的百常观上，
又淋湿了旁边的九成台。
混沌迷茫好像一层薄雾，
弥漫四散犹如轻轻尘埃。
清早整衣而坐准备上朝，
但宫门一时还没有打开。
耳目暂时避开世事烦扰，
怀想远古实在悠哉游哉。
敛翅不飞想着马首高举，
乘流而进又怕途中曝鳃。
出处进退不能两全其美，
遇上岔路颇多犹疑徘徊。
将要同胜利者站在一道，
到北山采摘嫩绿的藜菜。

（张亚新　译注）

郡内登望一首

谢玄晖

【题解】

诗题一作《宣城郡内登望》。宣城，即今安徽宣城县。建武二年(495)夏，谢朓由中书郎出为宣城太守。这次出任外官，并非谢朓本意，故认为这是政治上的又一个波折，今后的仕途将会很不平坦，因而产生了知难而退的想法。这首诗作于是年秋冬之季，表达了倦于行旅、不慕富贵的情感，同时表达了归隐田园的想法。诗篇围绕“登望”二字展开，有着清美的景物描写。“寒城”一联，浑健有力，堪称高格，曾得到朱熹等人的誉赏。“桑柘”、“寒烟”等语，隐含田园风味。山水与田园，宦情与隐思，浑融一体，颇能体现小谢诗歌的特色。

【原文】

借问下车日①，　匪直望舒圆②。
寒城一以眺，　平楚正苍然③。
山积陵阳阻④，　溪流春谷泉⑤。
威迁距遥甸⑥，　峰嵋带远天⑦。
切切阴风暮⑧，　桑柘起寒烟⑨。
怅望心已极⑩，　惝怳魂屡迁⑪。

结发倦为旅⑫， 平生早事边⑬。
谁规鼎食盛⑭， 宁要狐白鲜⑮。
方弃汝南诺⑯， 言税辽东田⑰。

【注释】

①下车：到任。

②匪直：非只，不只。望舒：神话传说中为月驾车的人，后用来代指月亮。张协《杂诗》："下车如昨日，望舒四五圆。"

③平楚：楚，丛木。登高望远，见树梢齐平，故称平楚，犹言"平林"。 苍然：谓一片深青色。

④陵阳：山名，相传为古仙人陵阳子明得仙之地。在安徽石埭县北，一说在宣城城内，此据后说。

⑤春谷：李善注："《汉书》曰：'丹阳郡有春谷县。'《水经注》曰：'江连春谷县，北又合春谷水。'"春谷，故治在今安徽繁昌县西北。

⑥威迂：迂回曲折。李善注："威夷迂余，流长之貌也。" 距：到。 甸：郊野。

⑦嶮嵒(yǎn 岩)：险峻的山岩。嵒，通"岩"。 带：连接。

⑧切切：风声。

⑨柘(zhè 这)：木名，桑属，叶可饲蚕。

⑩极：到极点。谓心中惆怅到极点。

⑪惝(chǎng 敞)怳(huǎng 恍)：失意貌。

⑫结发：古代男子二十束发加冠，谓之成年，称结发。谢朓建元四年(482)初入仕为豫章王萧嶷太尉行参军，时年十九，接近二十，故云。

⑬平生：一生，此生。 事边：到边郡任职。

⑭规：谋求。 鼎食：列鼎而食。指达官贵人的豪奢生活。

⑮宁：岂。 狐白：狐腋下的白毛。指精美的狐裘，为贵者所服。

⑯方：将。 汝南：汉置郡名，东汉治平舆(今河南平舆县北)。 诺：即画诺，指主管长官在文书上签字表示同意照办。东汉时，汝南太守宗资委任功曹范滂(字孟博)，郡人为之谣曰："汝南太守范孟博，南阳宗资主画诺。"事见《后汉书·党锢列传序》。这句谓将辞去官位，即弃官。

⑰言：语助词。 税(tuō 脱)：解，脱。谓卸职归隐。 辽东：秦置郡名，汉因之，治襄平县(今辽东辽阳市)。东汉末年，北海(今山东临朐东南)人管宁避乱辽东，庐于山谷，召众讲习《诗》、《书》，历三十余年方归故里。魏文帝、魏明帝征召，皆不就。

【译文】

试问已经到任多少时间，
月亮已经不只一次团圆。
登上寒凉城头一眼望去，
平林漠漠只见深青一片。
山峦积聚陵阳高峻险阻，
山溪中流淌着春谷清泉。
曲折迂回流向遥远郊野，
山岩险峻连接远处蓝天。
切切凉风吹来天已向暮，
桑柘林中升起缕缕寒烟。
怅然远望心中抑郁无限，
心魂不安于位屡屡飘迁。
结发至今宦游颇感厌倦，
一生早早地供职到边远。
谁希求列鼎而食的排场，
岂肯要狐白之裘的光鲜。
将放弃上司委命的允诺，
脱身前往辽东隐居种田。

(张亚新 译注)

和伏武昌登孙权故城一首

谢玄晖

【题解】

这是一首和诗(伏武昌原诗今不存)。伏武昌,即伏曼容。据《梁书》本传,永明初为太子率更令,侍皇太子讲。卫将军王俭深相交好,俭卒,迁中书侍郎、大司马咨议参军,出为武昌太守(郡治在今湖北鄂城县)。王俭卒于永明七年(489)五月,则伏为太守必在七年之后。谢朓于永明九年到荆州随王府,永明十一年离开荆州,从诗中"幽客滞江皋"、"芳池秋草遍"等语看,诗当作于永明十年秋。孙权称帝后,曾都武昌数月,旋迁都建业(后改称建康,今江苏南京市)。谢朓作为南朝诗人,遂站在孙氏立场,对孙氏功业作了热情赞颂,而对其一朝败亡则寄予了无限同情。全诗融登临怀古和应酬赠答于一体,叙事雍容不迫,感慨往复深沉,平直中迭见波澜,故方东树称之为"平叙之作,而葳蕤葱茜,俯仰英眄"(《昭昧詹言》卷七)。

【原文】

炎灵遗剑玺①,　当涂骇龙战②。
圣期缺中壤③,　霸功兴宇县④。
鹊起登吴山⑤,　凤翔陵楚甸⑥。
衿带穷岩险⑦,　帷帟尽谋选⑧。

北拒溺骖镳⑨，　西龛收组练⑩。
江海既无波⑪，　俯仰流英盼⑫。
裘冕类禋郊⑬，　卜揆崇离殿⑭。
钓台临讲阅⑮，　樊山开广燕⑯。
文物共葳蕤⑰。　声明且葱蒨⑱。
三光厌分景⑲，　书轨欲同荐⑳。
参差世祀忽㉑。　寂漠市朝变㉒。
舞馆识余基㉓，　歌梁想遗转㉔。
故林衰木平，　荒池秋草遍。
雄图怅若兹㉕，　茂宰深遐眷㉖。
幽客滞江皋㉗，　从赏乖缨弁㉘。
清卮阻献酬㉙，　良书限闻见㉚。
幸籍芳音多㉛，　承风采余绚㉜。
于役傥有期㉝，　鄂渚同游衍㉞。

【注释】

①炎灵：指汉朝。　遗剑玺：谓汉朝失去天下。相传汉高祖做亭长时曾剑斩白蛇，后遂发迹，其剑作为开国之宝代代相传。李善注："《汉礼仪志》曰：'皇太子即位，中黄门以斩蛇宝剑授。'《异苑》曰：'晋惠帝元康三年，武库火，烧汉高斩白蛇剑。'"玺，皇帝的印。中平六年(189)，汉灵帝死，皇子刘辨即位。大将军何进谋诛宦官，反被宦官诳杀。与何进同谋的士族豪强袁绍发兵攻杀宦官，宦官劫质皇帝出奔，将皇帝印投落井中。

②当涂：即"当涂高"，为汉代谶纬之词，指魏。涂，同"途"。《后汉书·袁术传》："又少见谶书，言'代汉者当涂高'，自云名字应之。"注："当涂高者，魏也。然术自以'术'及'路'(按：袁术字公路)皆是'涂'，故云应之。"　骇：起，发生。《文选》宋玉《风赋》："骇溷浊，扬腐余。"李善注："《广雅》曰：'骇，起也。'"　龙战：《周易·坤》："龙战于野，其血玄黄。"本指阴阳二气的交战，这里指群雄割据争战。

③圣期：出王者的时期，指五百年。王充《论衡·刺孟》："夫孟子言五百年有王者兴，何以见乎？……五百年者，以为天出圣期也。"这里即指汉朝，两汉共享国四百二十六年，接近五百年。 中壤：中土，指曹魏所占的中原地区。

④霸功：霸王的功业。宇县：犹言天下。《史记·秦始皇本纪》："大矣哉！宇县之中，顺承圣意。"《集解》："宇，宇宙；县，赤县。"这里指孙权所据的江南地区。

⑤鹊起：本谓见机远引，引申为乘势奋起。李善注："《庄子》曰：'鹊上城之垝，巢于高榆之颠。城坏巢折，陵风而起。故君子之居时也，得时则义行，失时则鹊起。'" 吴山：江东之地春秋时多属吴国，故称。李善注："孙氏初基武昌，后都建业，故云吴山楚甸也。"

⑥陵：升，登。 楚甸：武昌战国时在楚国境内，故称。甸，郊野。

⑦衿(jīn 襟)带：指地处险要的咽喉之地。《后汉书·杜笃传·论都赋》："关梁之险，多所衿带。"注："衿带，衣服之要，故以喻之。"张衡《西京赋》："岩险周固，衿带易守。" 穷：尽。

⑧帷帟(yì 义)：帷帐，帷幄。帟，帐篷中座上承尘的平幕。 谋选：沈德潜《古诗源》："言帷帐共事者皆善谋，而诸侯之选也。"

⑨北拒：谓北御曹操。溺骖镳(biāo 标)：淹没敌兵。骖，同驾一车的三匹马。镳，马嚼子。这里代指军马、军队。李善注："《春秋感精符》曰：'强杰并侵，战兵雷合，龙门溺骖。'宋均曰：'龙门，鲁地名也，时齐与宋郑，战败相杀，血溺骖马。'"

⑩西龛(kān 刊)：谓西败刘备。彝陵之战，孙权曾大败刘备。龛，通"戡"，平定。 收：收取，这里为俘获、歼灭的意思。 组练：组，组甲，以丝带连结皮革或铁片而成的铠甲；练，被练，以练(煮熟的生丝)连结皮革或铁片而成的铠甲。《左传·襄公三年》："使邓廖帅组甲三百、被练三千以侵吴。"借指精锐的部队。

⑪"江海"句：李善注："《礼斗威仪》曰：'其君乘木而王，其政象平，则江海不扬波。'"谓政治清明，境内无事。

⑫流英盼：谓英姿勃勃地瞻顾四方。盼，看。《诗纪》六十作"眄"。

⑬裘冕：帝王祭天时穿大裘戴冕冠，称裘冕。裘，皮衣。冕，古代帝王、诸侯、卿大夫所戴的礼帽。《周礼·夏官·节服氏》："郊祀裘冕，二人执戈。" 类：四类，古代祭祀的天神。《周礼·春官·小宗伯》："兆五帝于四郊，四望四

类亦如之。”郑众注以三皇、五帝、九皇、六十四民为四类，郑玄注以日、月、星、辰为四类。 禋(yīn 音)郊：即郊祀，古于郊外祭祀天地。禋，禋祀，即祭祀时将牲礼和玉帛置于柴上，烧柴升烟以祭天。《周礼·春官·大宗伯》：“以禋祀昊天上帝。”这句谓于登基称帝时祭天。

⑭卜：古人迷信，欲预知后事吉凶，即烧龟甲以取兆。《诗经·鄘风·定之方中》：“卜云其吉，终然允臧。”《毛传》：“建国必卜之。” 揆：度，测量。古人建筑房屋，方竿测度日影，以定方向。《定之方中》：“定之方中，作于楚宫。揆之以日，作于楚室。” 崇：立。 离殿：即离宫，古代帝王为便于游处在正式宫殿之外别筑的宫室。

⑮钓台：钓鱼台，在今湖北武昌西北，相传孙权曾驻兵于此。 讲阅：讲武阅兵。讲，讲习，训练。

⑯樊山：山名。又名袁山。《水经注》三十五《江水三》：“今武昌郡治，城南有袁山，即樊山也。……北背大江，江上有钓台，权常极饮其上。” 广燕：大宴。燕，通“宴”。

⑰文物：指礼乐典章制度。《左传·桓公二年》：“文物以纪之，声明以发之。” 葳(wēi 威)蕤(ruí 锐阳平)：本指草木盛貌，这里形容文物之盛。

⑱声明：《左传·桓公二年》：“锡、鸾、和、铃，昭其声也。三辰旂旗，昭其明也。”本指声音和色彩，这里指声教文明。 葱蒨(qiàn 欠)：本指草木青翠茂盛貌，这里形容声教文明之盛。

⑲三光：日、月、星。喻指魏、蜀、吴三分天下。 厌分景：讨厌光亮分散，不集中，谓孙氏有一统天下之意。景，光亮。李善注引《三国名臣颂》：“三光参分，宇宙暂隔。”

⑳书轨：书：文字。轨：车两轮间的距离。 欲同荐：即欲统一文字，划一车轨，亦即一统天下。 荐：献。《礼记·中庸》：“今天下车同轨，书同文。”

㉑参(cēn 岑阴平)差：不齐貌。谓享国有长有短，这里是短的意思。 世祀：世代所奉的祭祀。《国语·周上》：“夫祀，国之大节也。” 忽：谓忽忽然而去。指孙氏为晋所灭。

㉒寂漠：同“寂寞”。 市朝：市，买卖的场所；朝，官府办公的场所。借指朝代。李善注：“古《出夏北门行》曰：‘市朝易人，千载墓平。’”

㉓余基：遗留下来的基石。鲍照《芜城赋》：“歌堂舞阁之基。”

㉔歌梁：绕梁之歌。 转：婉转。

㉕若兹：如此。李善注："言孙氏雄图，怅然如此。"

㉖茂宰：贤能的县官。指伏曼容。 深遐：深远。 眷：反顾。

㉗幽客：隐居的人。谢朓自指。 江皋：江边。指荆州。

㉘从赏：跟着观赏。 乖：离，指未能与伏曼容一起观赏古迹。 缨：结冠的带子； 弁：冠名。"缨冠"代指官职，指伏曼容。

㉙卮(zhī 知)：酒器。 献：敬酒。 酬：劝酒。

㉚良书：好书。指伏曼容原诗。 限闻见：谓不能亲闻其言，亲见其面。

㉛籍：书籍，即"良书"。 芳音：指美好的诗句。

㉜承风：仰继风采。 绚：文采。

㉝于役：去服徭役。于，往。《诗经·王风·君子于役》："君子于役，不知其期。"这里是有机会去武昌的意思。

㉞鄂渚：地名，即指武昌。《楚辞》屈原《九章·涉江》："乘鄂沮而反顾兮。"洪兴祖补注："楚子熊渠，封中子红于鄂。鄂州，武昌县地是也。隋以鄂渚为名。" 游衍：游逛。《诗经·大雅·板》："昊天曰旦，及尔游衍。"

【译文】

汉朝灭亡遗落宝剑玉玺，
曹魏代立群雄割据争战。
五百年间江山缺失中土，
霸王功业兴起江东郡县。
如鹊劲飞登山吴地山峦，
似凤翱翔飞临楚地郊野。
所据尽皆山岩险要之地，
帐下全是多谋善断之才。
北拒曹操敌兵血流成河，
西御刘备把敌精兵全歼。
江海平静不再翻波卷浪，
英姿俯仰且把四方顾盼。
穿裘戴冠隆重郊祀天地，

卜占测度建起离宫别殿。
来到钓台训练检阅军马，
樊山上面摆起酒席盛宴。
礼乐典章样样设置周全，
声教文明也是不同一般。
天下三分心中大不乐意，
书轨齐同实为一大心愿。
不料国柄忽然一朝失落，
寂寞凄凉天地发生巨变。
还能识别舞馆所留基石，
尚能想象绕梁歌声婉转。
林木衰枯剩下一片平地，
池沼荒凉秋草四处蔓延。
可叹雄图变成如此景象，
贤能太守为之深深顾念。
隐居之人滞留在这江畔，
未能随从太守一起观赏。
端着酒杯不能劝菜敬酒，
捧读来诗无从闻言见面。
所幸来诗颇多佳词美句，
仰承风韵细细咀味文采。
有朝一日如能得到机会，
去到鄂渚一同纵情游观。

（张亚新　译注）

和王著作八公山一首

谢玄晖

【题解】

诗题或作《和王著作融八公山》，疑“融”字衍。《南齐书》及《南史》的《王融传》均不载融曾为著作。诗中“再远”、“两去”等语，表明诗最早作于任宣城太守时，而其时融已故去三年。八公山，在今安徽寿县东北，淝水之北，淮水之南，相传西汉淮南王刘安曾同八公（八个门客）登此山，因以为名。东晋太元八年（383），前秦苻坚以其弟苻融为前锋，率兵大举南侵。东晋以谢安为主帅，以谢石为征讨都督，谢玄为前锋都督，率八万北府兵前往迎战。勇将刘牢之先在洛涧打败秦军，以致苻坚登上寿阳城头，遥见“八公山上，草木皆兵”。继而谢玄在淝水大败秦军，杀死苻融，苻坚带着箭伤逃回洛阳，从此一蹶不振。谢朓其时，南北对峙局面依然，诗中赞颂谢氏功绩，不无以古鉴今、借古讽今之意。后半感叹自己仕途淹蹇，功业无成，又透出悼古伤今之感。诗风典重，有异常作。沈德潜评云：“小谢诗俱极流利，而此篇及《和伏武昌》作，典重质实，俱宗仰康乐。”（《古诗源》卷十二）

【原文】

二别阻汉坻①，　双崤望河澳②。
兹岭复巑岏③，　分区奠淮服④。

东限琅邪台⑤，西距孟诸陆⑥。
仟眠起杂树⑦，檩栾荫修竹⑧。
日隐涧凝空⑨，云聚岫如复⑩。
出没眺楼雉⑪，远近送春目⑫。
戎州昔乱华⑬，素景沦伊谷⑭。
阽危赖宗衮⑮，微管寄明牧⑯。
长蛇固能翦⑰，奔鲸自此曝⑱。
道峻芳尘流⑲，业遥年运倏⑳。
平生仰令图㉑，吁嗟命不淑㉒。
浩荡别亲知㉓，连翩戒征轴㉔。
再远馆娃宫㉕，两去河阳谷㉖。
风烟四时犯，霜雨朝夜沐㉗。
春秀良已凋㉘，秋场庶能筑㉙。

【注释】

①二别：指大别山和小别山。大别山即今安徽霍丘县西南的安阳山，小别山在今河南光山县与湖北黄冈县之间。　汉：汉水，源出陕西宁强县，东南流进湖北入长江。　坻(chí 迟)：水中小洲或高地。汉坻，即指汉水。《左传·定公四年》："冬，蔡侯、吴子、唐侯伐楚。……乃济汉而阵，自小别至于大别。"

②双崤(xiáo 淆)：崤山的两陵。崤山在今河南洛宁西北，地势极险。《左传·僖公三十二年》："晋人御师必于崤。崤有二陵焉：其南陵，夏后皋之墓也；其北陵，文王之所辟风雨也。"　望：面对。　河：黄河。　澳(yù 郁)：水曲处。

③兹岭：此岭，指八公山。　巑(cuán 攒)岏(wán 玩)：峻峭的山峰。

④奠：定。　淮服：指淮河流域地区。服，古称王畿以外的地区为服。服，谓臣服于君。

⑤琅邪(yé 耶)台：在今山东诸城市东南琅邪山上。秦始皇二十八年，南登琅邪，筑台以观东海，并建碑颂德。

⑥距：到。　孟诸：古泽名，在今河南商丘东北。　陆：指泽畔。

⑦仟(qiān 千)眠:草木丛生貌。

⑧檀栾:秀美貌。 修:长。枚乘《梁王兔园赋》:"修竹檩栾,夹池水。"

⑨凝空:谓与暮色浑融一片。凝,《谢宣城集》作"疑"。

⑩岫(xiù 秀):山洞。

⑪出没:指城楼在云雾缭绕中时隐时现。 楼雉:城楼,城墙。雉,计算城墙面积的单位,长三丈、高一丈为雉。

⑫春目:欣赏春色的目光。

⑬戎州:春秋戎人已氏聚居的州邑名,在卫国都城近郊。《左传·哀公十七年》:"初,公登城以望,见戎州。"这里指侵扰中原的氐、羌、鲜卑等少数民族贵族。

⑭素景:指东晋。素,白;景,日光。按古代关于朝代更替的"五德终始说",晋为金德,其色白,故称。 沦:陷落。 伊、谷:二水名,皆在今河南境内,代指以洛阳为中心的中原地区。东晋中期,桓温多次北伐,穆帝永和十二年(356)第二次北伐曾收复洛阳,并曾极力主张东晋还都洛阳。但因东晋政府不支持,洛阳等地又相继被前燕的鲜卑慕容氏所攻陷。后前秦苻坚统一北方,遂构成了对东晋政权的更大威胁。

⑮阽(diàn 店)危:面临危险。 宗衮(gǔn 滚):指谢安。衮,古代帝王或三公所穿的礼服。

⑯微管:《论语·宪问》:"子曰:'管仲相桓公,霸诸侯,一匡天下,民到于今受其赐。微管仲,吾其被发左衽矣。'"微,假如没有之意,谓假如没有管仲,我们就都会披散着头发,衣襟向左边开,沦为落后民族了。 明牧:指谢玄。明,聪明,此为尊称;牧,州官。谢玄在淝水战前任袞州刺史、领广陵相、监江北诸军事。

⑰长蛇:喻苻融。 固:本来。 翦:灭,消灭。

⑱奔鲸:喻苻坚。 曝(pù 铺):谓曝鳃。古时传说,大鱼集于龙门之下,得上者成龙,不得上者,仅得曝鳃龙门。因此比喻挫折。曝,晒。

⑲峻:陡峭,险阻。 芳尘:即尘。芳,美称。 流:播。李善注引陆机《大暮赋》:"播芳尘之馥馥。"

⑳年运:年华运转。 倏(shū 抒):疾速。

㉑平生:谢朓自谓。 仰:敬慕,谓敬慕谢安等。 令图:好主意,好谋略。《左传·昭公元年》:"臣闻君子能知其过,必有令图。令图,天所赞也。"

㉒吁嗟:叹词。 不淑:不好。

㉓浩荡:本为水大貌,这里形容心意不定。 亲知:亲友。

㉔连翩:连续不断。 戒:准备,出发。 征轴:即征车,远行的车。

㉕再远:两次远离。 馆娃宫:春秋时吴宫名。吴王夫差作宫于砚石山以馆西施,吴人称美女为娃,故曰馆娃。遗址在今江苏吴县西南灵岩山。这里代指南齐朝廷。谢朓由兼尚书殿中郎出为骠骑咨议,转中书郎后又出为郡守,故云"再远"。

㉖河阳:汉置县名,故地在今河南孟县。西晋时石崇在此建有别墅。其《思归引序》云:"晚节更乐放逸,笃好林薮,遂肥遁于河阳别业。"这里指放外任。谢朓先随子隆之荆州,后又由中书省出为宣城太守,两次离开京师,故云"两去"。

㉗雨:《谢宣城集》作"露"。 沐:本指洗发,这里谓饱经风霜、风雨。李善注引《魏书》:"公令曰:'沐浴霜露,二十余年。'"

㉘秀:花。 已凋:谓自己的青春年华已经消逝。

㉙秋场:秋天打粮食的场地。 庶:副词,表示可能或期望。这句隐含归隐田园之意。

【译文】

大别山小别山阻隔汉水,
崤山二陵面对黄河水弯。
这座八公山也异常险峻,
淮水地区由此分成两半。
东边以琅邪台作为界限,
往西延伸到了孟诸泽畔。
密密麻麻长满各种杂树,
长长秀竹荫蔽座座山峦。
太阳落山溪涧融进暮色,
云气积聚山洞宛如重叠。
眺望城楼云中时隐时现,

放眼来把远近春色浏览。
过去戎狄铁蹄侵扰中华，
伊谷流域相继败亡沦陷。
扶持危局完全仰仗宗衮，
管仲之功寄托州牧重建。
长蛇固能把它彻底消灭，
奔鲸从此也把凶焰收敛。
道路陡险尘埃不断播散，
功业遥遥年华疾速运转。
平生仰慕克敌制胜良图，
只是命运不济可堪惋叹。
心神不定告别亲人故友，
乘车远行总是接连不断。
两次从馆娃深宫中远离，
又两次离京到河阳谷涧。
一年四季冒着风烟侵袭，
从早到晚暴身霜露之间。
春花诚然已经衰败凋落，
尚望能把秋场夯筑完善。

（张亚新　译注）

和徐都曹一首

谢玄晖

【题解】

诗题一作《和徐都曹出新亭渚》。徐都曹，即徐勉，南朝梁文学家。《南史·徐勉传》："迁临海王西中郎田曹行参军，俄徙署都曹。"其作《昧旦出新亭渚诗》，今存。谢朓诗当作于任中书郎时，因与勉同在台省，故得结轸新亭(在今南京市南)青郊，联辔赋诗。对景物的刻画清新而细微，"日华川上动，风光草际浮"二句，敏锐地表现出景物的瞬间动态，出神入化，耐人寻味，尤为出色。

【原文】

宛洛佳遨游①，　春色满皇州②。
结轸青郊路③，　迥瞰苍江流④。
日华川上动⑤，　风光草际浮⑥。
桃李成蹊径⑦，　桑榆阴道周⑧。
东都已俶载⑨，　言归望绿畴⑩。

【注释】

①宛洛：代指东晋都城建康。宛，汉时南阳郡宛县，东汉时有南都之称，即今河南南阳市；洛，洛阳，东汉都城。古诗："驱车策驽马，游戏宛与洛。"　遨游：游乐。

②皇州：京城。

③结轸(zhěn 枕)：停车。

④迥瞰：远望。迥，《谢朓集》作“回”。 苍：深蓝色。《谢朓集》作“沧”。

⑤日华：太阳的光华。

⑥风光：风中草木的闪光。李周翰注：“风本无光，草上有光色，风吹动之，如风之有光也。” 草际：草间。

⑦蹊径：小路。《史记·李将军列传》：“谚曰：‘桃李不言，下自成蹊。’”

⑧阴：《谢宣城集》作“荫”。 道周：道旁。

⑨东都：洛阳。照应上“宛洛”。这里代指建康。 俶(chù 触)：开始。载：从事工作。《诗经·小雅·大田》：“以我覃耜，俶载南亩。”这里谓已开始农耕。

⑩言：犹“乃”。 归：谓归田园。《诗经·小雅·黄鸟》：“言旋言归。” 畴：已耕作的田地。

【译文】

在宛城洛阳尽情地游乐，
只见旖旎春色洒满皇州。
停车在郊野青色的路上，
远望蓝色大江浩莽奔流。
太阳的光华在江面晃悠，
风吹草动光色左飘右浮。
桃李下面走出一条小路，
道路两旁长满桑树榆树。
东都城外处处开始农耕，
归来纵情眺望碧绿田畴。

（张亚新 译注）

和王主簿怨情一首

谢玄晖

【题解】

诗题一作《和王主簿季哲怨情》。王季哲，谢朓岳父王敬则之子。《通鉴》卷一百四十一胡三省注："敬则为大司马，以其子（季哲）为记室参军。"据《南齐书·明帝纪》，敬则为大司马在建武元年（494）十月，诗可能作于次年春。写女子怨旷之情，既伤人，也有自伤之意。吴兆宜评云："比茂先《情诗》，态更妍，语更丽，但渐趋纤巧，古意稍渝矣。"（《玉台新咏》卷四）

【原文】

掖庭聘绝国①，　长门失欢宴②。
相逢咏《糜芜》③，辞宠悲《班扇》④。
花丛乱数蝶⑤，　风帘入双燕⑥。
徒使春带赊⑦，　坐惜红妆变⑧。
生平一顾重⑨，　宿昔千金贱⑩。
故人心尚尔⑪，　故人心不见⑫。

【注释】

①掖庭：《后汉书·班彪传》附班固《两都赋》："后宫则有掖庭、椒房，后妃

之室。”注引《汉官仪》:“婕妤以下皆居掖庭。”这里指王昭君。王昭君为汉元帝宫人,竟宁元年(前33),匈奴呼韩邪单于入朝,求美人为阏氏(匈奴王妻妾的称号),元帝遣昭君,以结和亲。 聘:旧时定亲、迎娶皆称聘。 绝国:极远的邦国,指匈奴。

②长门:汉宫名。武帝时,陈皇后失宠,别居长门宫。 失欢宴:谓不能再陪侍武帝。

③《糜芜》:靡芜,即蘼芜,香草名,其叶风干后可作香料。古诗有《上山采蘼芜》,其辞云:“上山采蘼芜,下山逢故夫。长跪问故夫:‘新人复何如?’‘新人虽言好,未若故人姝。颜色类相似,手爪不相如。’”

④辞宠:失宠。 《班扇》:指旧题班婕妤(汉成帝宫人)所作《怨歌行》。其辞云:“新裂齐纨素,鲜洁如霜雪。裁为合欢扇,团团似明月。出入君怀袖,动摇微风发。常恐秋节至,凉飙夺炎热。弃捐箧笥中,恩情中道绝。”班,《玉台新咏》四作“团”。

⑤乱数蝶:即数乱蝶,几只乱飞的蝴蝶。

⑥双:五臣作“飞”。

⑦春带:即衣带,春天所结,故云。 赊:缓,宽。带宽,谓人消瘦。古诗:“相去日已远,衣带日已缓。”

⑧坐:空。 红妆变:谓容颜日渐衰老。红妆,妇女的盛妆,以色尚红,故称。妆,《玉台新咏》四作“颜”。

⑨生平:《玉台新咏》四作“平生”。 一顾:一看,指看上新欢。李善注引《列女传》:“楚成郑子瞀者,楚成王之夫人也。初,成王登台,子瞀不顾,王曰:‘顾我,与汝千金。’子瞀遂行不顾。”又引曹植诗:“一顾千金重,何必珠玉贱。”(全诗今佚)

⑩宿昔:往日。宿,《玉台新咏》四作“夙”。 千金贱:谓过去的深情厚义不再值钱。

⑪尚尔:还是如此。古诗:“相去万余里,故人心尚尔。”尔,《玉台新咏》四作“永”。

⑫“故人”句:《玉台新咏》四作“故心人不见”,较有致。意谓故人虽“心尚尔”,但“人不见”,一切还是白搭,实际是说故人心也变了。

【译文】

掖庭王昭君远嫁到异国,

长门陈皇后不再陪欢宴。
偶然相逢不禁吟咏《糜芜》，
失去恩宠更悲班姬咏扇。
花丛之中几只蝴蝶飞舞，
风动帘子飞进一双轻燕。
徒然使衣带一天天宽松，
白可惜容颜一天天衰减。
平生看上一眼即以为重，
过去一千金也不再值钱。
故人心思还是这样没变，
心思没变但人就是不见。

（张亚新　译注）

和谢宣城一首

沈休文

【作者】

见卷二十《应诏乐游苑饯吕僧珍诗》作者介绍。

【题解】

沈约同谢朓俱为“竟陵八友”之一，一生交谊甚厚，颇多唱和。隆昌元年(494)，沈约由吏部郎出为宁朔将军、东阳太守，明帝即

位，进号辅国将军，征为五兵尚书。差不多同时(建武二年，495年)，谢朓由中书郎出为宣城太守，在宣城作了《在郡卧病呈沈尚书诗》(《文选》卷二十六载)，这首诗即其和作。诗篇叙写了自己虽在朝而若隐的生活，倾吐了对谢朓的思念和欲浮桴于海、一快平生的情愫。沈约为“永明体”的创始人之一，讲求平仄对仗，在这首诗中也有体现，但气质厚挚，语言朴茂，仍不乏古诗韵味，即沈德潜所谓“能存古诗一脉”(《古诗源》卷十二)者。

【原文】

王乔飞凫舄①，　东方金马门②。
从宦非宦侣③，　避世不避喧④。
揆余发皇鉴⑤，　短翮屡飞翻⑥。
晨趋朝建礼⑦，　晚沐卧郊园⑧。
宾至下尘榻⑨，　忧来命绿樽⑩。
昔贤侔时雨⑪，　今守馥兰荪⑫。
神交疲梦寐⑬，　路远隔思存⑭。
牵拙谬东汜⑮，　浮惰及西昆⑯。
顾循良菲薄⑰，　何以俪玙璠⑱。
将随渤澥去⑲，　刷羽泛清源⑳。

【注释】

①王乔：传说汉明帝时得道的方士。　凫(fú 扶)：野鸭。　舄(xì 细)：鞋。应劭《风俗通·正失篇》：“俗说孝明帝时，河东王乔为叶令，每月朔尝诣台朝。帝怪其数来而无车骑，密令太史候望。言其临至时，尝有双凫从东南飞来。因伏侍，见凫举罗，但得一双舄耳。使尚方识视，四年中所赐尚书官属履也。太史言，此令即仙人王乔者也。”《后汉书·方术传》有类似记载。

②东方：东方朔，汉武帝时人，曾待诏金马门，官至太中大夫。《史记·滑

稽列传》:“武帝时,齐人有东方生名朔,……时坐席中,酒酣,据地歌曰:‘陆沉于俗,避世金马门。宫殿中可以避世全身,何必深山之中,蒿庐之下。’金马门者,宦者署门也,门旁有铜马,故谓之曰‘金马门’。”

③从宦:做官。 宦侣:同僚。这句说王乔。

④喧:喧呼,繁闹。这句说东方朔。

⑤揆(kuí 葵):估量。 余:我。 皇:屈原《离骚》:“皇览揆余初度兮。”“皇”为“皇考”的省称,这里指君王。 鉴:观察,即“量才而用”之意。《诗纪》七十三云:“一作‘览’。”

⑥短翮(hé 何):短翅。自谦之辞。 屡飞翻:谓历任多种官职。

⑦建礼:汉宫门名。李善注引《汉书典职》:“尚书郎昼夜更直于建礼门内。”这里泛指宫门。

⑧沐:沐浴,休息。

⑨榻:低矮狭长的坐卧用具。李善注:“谢承《后汉书》曰:‘徐稚,字孺子,豫章人,屡辟公府不起。时陈蕃为太守,以礼请署功曹,稚不免之,既谒而退。蕃在郡不接宾,唯稚来特设一榻,去则悬之。’傅玄《杂诗》曰:‘机榻委尘埃。’”

⑩樽:酒器。李善注:“《汉书》:东方朔曰:‘臣闻销忧者莫若酒也。’”

⑪侔:等。 时雨:应时之雨。

⑫今守:指谢朓。 馥:香。 兰、荪(sūn 孙):皆香草名。李善注:“潘正叔《赠河阳诗》曰:‘流声馥秋兰’。”

⑬神交:谓梦中会面。 梦寐:睡梦。

⑭思存:想念。《诗经·郑风·出其东门》:“匪我思存。”

⑮牵拙:李善注:“牵率庸拙也。”牵率,也作“牵帅”,牵连之意。《左传·襄公十年》:“女既勤君而兴诸侯,牵帅老夫,以至于此。”“牵拙”谓自己才能庸拙而又被人为地牵连。 东汜(sì 似):李善注:“谓汤谷,日之所出也。”汤谷,也作“旸谷”,传说中的日出之处。

⑯浮惰:李善注:“浮名惰懈也。” 及:五臣作“反”。 西昆:李善注:“谓崦嵫,日之所入也。”李周翰注:“日入处,比衰老也。”沈约于隆昌元年(494)出为东阳太守,齐明帝即位,征为五兵尚书,这里遂以日之起落为比,以见时之早晚、人之少老。

⑰顾循:眷念之情。 菲薄:微薄。

⑱俪(lì 立):并列,比。 玙、璠:皆美玉名。

⑲渤澥(xiè 懈):即渤海。司马相如《子虚赋》:“浮渤澥,游孟诸。”

⑳刷羽:整理羽毛。 泛:漂浮。 清源:清水。刘桢《赠徐干》:“细柳夹道生,方塘含清源。”又《杂诗》:“方塘含白水,中有凫与雁。安得肃肃羽,从尔浮波澜。”

【译文】

王乔乘着一双凫舄飞行,
东方朔避世京都金马门。
做官却不同于一般僚属,
避世不害怕繁杂和喧闹。
君王考察估量我的情况,
我曾奋起短翅屡屡飞翔。
早晨奔赴建礼宫门上朝,
晚上沐浴躺卧郊外家园。
客至取下灰蒙蒙的坐榻,
忧来命人端上绿色酒樽。
往昔贤人就像应时之雨,
今日太守芳名有如兰荪。
梦中频频会面颇觉疲倦,
道路遥远阻隔彼此思念。
牵率庸拙谬从东汜腾升,
浮名惰懈旋从西昆下沉。
眷顾之情诚然十分微薄,
怎能够同玙璠相提并论。
将要随着渤海洪波而去,
整翅在清水中漂浮翻腾。

(张亚新 译注)

应王中丞思远咏月一首

沈休文

【题解】

《南齐书·王思远传》:“高宗辅政,不之任,仍迁御史中丞。建武中,迁吏部郎。”高宗(齐明帝萧鸾)辅政在永明十一年(493),诗当作于此后的两三年间,是对王思远《咏月》(其诗今不存)的和作。紧扣“月华”二字展开铺写,情景如画,清丽流转,对仗颇工,用词也很精美。何焯评云:“小庾(按指庾信)以降,必无此力量。一诗中户、隙、楼、园、轩、门、房七事可抵小赋。三、四一大一小。五、六一忧一乐。七、八一高一下。‘高楼”一联,自小庾至玉溪(按指李商隐)皆奉为使事之法。”(《义门读书记》卷四十七)

【原文】

月华临静夜①,　夜静灭氛埃②。
方晖竟户入③,　圆影隙中来④。
高楼切思妇⑤,　西园游上才⑥。
网轩映珠缀⑦,　应门照绿苔⑧。
洞房殊未晓⑨,　清光信悠哉⑩。

【注释】

①月华:月光。　静:《初学记》一作“净”。

②静:《玉台新咏》五作“靖”,《初学记》一作“净”。 氛埃:指漂浮的埃尘 李善注:“《楚辞》曰:‘辟氛埃而清凉。’”

③方晖:月亮光辉从门户照入,成方形,故称。 户入:《初学记》一作“入户”。

④圆影:月亮。《文选》曹植《赠徐干》:“圆景光未满,众星粲以繁。”李善注:“圆景,月也。”“景”、“影”字通。 隙:壁缝。

⑤切:贴近,谓贴近月光,即沐浴在月光之中的意思。曹植《七哀》:“明月照高楼,流光正徘徊。上有愁思妇,悲叹有余哀。”

⑥西园:东汉末年曹操在邺城建铜雀园,又称西园。曹丕《英蓉池作》:“乘辇夜行游,逍遥步西园。……丹霞夹明月,华星出云间。”这里泛指一般的园林。 上才:才能卓越的人

⑦网轩:指带有镂空花格的窗户,空格犹如网眼。网,《御览》四作“临”。 珠缀:指红色的花格密密连结。珠,《诗纪》七十三云:“一作‘朱’。”李善注:“下云‘绿苔’,此当为‘朱缀’,今并为‘珠’,疑传写之误。”屈原《招魂》:“网户朱缀,刻方连些。”

⑧应门:王宫的正门。李善注:“《汉书》曰:班婕妤《自伤赋》曰:‘潜玄宫兮幽以清,应门闭兮禁闼扃。华殿尘兮玉陛苔,中庭萋兮绿草生。’”

⑨洞房:幽深的卧房。 殊:很,非常。

⑩信:实在。 悠:远貌。

【译文】

月光在静静的夜晚降临,
静夜顿时扫净散漫尘埃。
辉光争相拥入方方门户,
光亮从壁缝中照射进来。
高楼上思妇沐浴着清辉,
月色中西园遨游着上才。
辉映着窗户上红色花格,
照耀着应门外绿色藓苔。
卧房幽深离天亮还很早,

清光满天实在悠远可爱。

（张亚新　译注）

冬节后至丞相第诣世子车中作一首

沈休文

【题解】

“丞相”，指南齐宗室大臣萧嶷。萧嶷字宣俨，萧道成次子，萧子显之父。刘宋末萧道成秉政，他任镇西将军、荆州刺史。道成称帝，迁侍中、尚书令、扬州刺史，封豫章郡王。道成死，明帝即位，进位太尉、大司马。死后，赠假黄钺、都督中外诸军事、丞相、扬州牧。“世子”，诸侯正妻所生之长子，指萧嶷长子子廉。萧嶷生前荣宠无比，死后，不免门庭冷落，沈约前往看望子廉，在车中有感于此，故作此诗。人情冷暖，世态炎凉，在当时具有普遍性，诗篇针砭时弊，有一定典型性。夹叙夹议，笔调冷峻，感慨深沉，气骨遒劲。末二句出人意表，何焯评云：“结有万钧力。”（《义门读书记》卷四十七）

【原文】

廉公失权势①，　门馆有虚盈②。
贵贱犹如此③，　况乃曲池平④。
高车尘未灭⑤，　珠履故余声⑥。

宾阶绿钱满⑦， 客位紫苔生。
谁当九原上⑧， 郁郁望佳城⑨。

【注释】

①廉公：指廉颇，战国赵将。《史记·廉颇列传》："廉颇之免长平归也，失势之时，故客尽去。乃复用为将，客又复至。廉颇曰：'客退矣！'客曰：'吁！君何见之晚也？夫天下以市道交，君有势，我则从君，君无势则去，此固其理也，有何怨乎？'"

②虚：谓宾客尽去，门馆虚空。 盈：谓宾客尽至，门馆充盈。李善注引王符《潜夫论》："昔魏其之客，流于武安，长平之利，移于冠军。廉颇翟公，再盈再虚。"

③贵贱：李善注引《汉书》："下邽翟公为廷尉，宾客亦填门。及废，门外可设雀罗。后为廷尉，客欲往，翟公大署其门曰：'一贵一贱，交情乃见。'"

④曲池平：谓衰败凋落。李善注引桓子《新论》："雍门周说孟尝君曰：'千秋万岁后，高台既已倾，曲池又以平。'"

⑤高车：《说文》："高车，其盖高，立载之车也。"为贵者所乘。

⑥珠履：有珠饰的鞋，为贵者所穿。 余声：谓着珠履踏地而行的声音尚未消散。余，五臣作"无"。

⑦宾阶：宾客所行的台阶。古礼，主客所行之道有一定规矩。李善注引《礼记》："主人就东阶，客就西阶。" 绿钱：指青苔。李善注引崔豹《古今注》："空室无人行，则生苔藓，或青或紫，一名绿钱。"

⑧谁：《艺文类聚》三十四作"唯"。 当：处在。 九原：山名。《礼记·檀弓下》："赵文子与叔誉观乎九原。"在今山西新绛县北。也作"九京"。《礼记·檀弓下》："是全要领以从先大夫于九京也。"注："晋卿大夫之墓地在九原，京盖字之误，当为原。"这里泛指墓地。

⑨郁郁：忧闷貌。 佳城：指墓地。张华《博物志·异闻》："汉滕公（夏侯婴）薨，求葬东都门外，公卿送丧，驷马不行，踣地悲鸣。跑蹄下地得石，有铭曰：'佳城郁郁，三千年见白日，吁嗟滕公居此室。'遂葬焉。"《西京杂记》四记作夏侯婴生前之事。

【译文】

大将廉颇一朝失去权势，
门庭顿由热闹变得冷清。
一贵一贱尚且如此局面，
何况曲池已经壅塞填平。
高车扬起之尘尚未消失，
珠履踏地之声尚有余音。
宾行台阶已经长满绿钱，
客位上面紫苔早已蔓生。
是谁来到郊外九原之上，
默默怅望父祖所在坟茔。

（张亚新　译注）

学省愁卧一首

沈休文

【题解】

诗题一作《直学省愁卧》。直，同“值”，值班；学省，指国子学，为封建时代的教育管理机构和最高学府。沈约于建武四年(497)迁国子祭酒，时年57岁。任祭酒期间，朝政昏乱，沈约深怀忧虑，故在诗中抒写了这一心情，属所谓“长于清怨”(钟嵘《诗品》中)之作。“网

虫垂户织，夕鸟傍檐飞”一联，音律谐协，圆美流转，又属所谓“诵咏成音”(同前)者。

【原文】

秋风吹广陌①，　萧瑟入南闱②。
愁人掩轩卧③，　高窗时动扉④。
虚馆清阴满⑤，　神宇暧微微⑥。
网虫垂户织⑦，　夕鸟傍檐飞。
缨佩空为忝⑧，　江海事多违⑨。
山中有桂树⑩，　岁暮可言归⑪。

【注释】

①广陌：大道。代指广阔的郊野。

②萧瑟：风声。　闱：宫中小门。代指国子学所在的宫室。

③愁人：诗人自指。　掩：关闭。　轩：李善注：“长廊也。”当指门窗。

④扉：门扇。这里指窗户。

⑤虚馆：虚空安静的宫室。

⑥神宇：本指供奉神灵的屋宇。《文选》潘岳《寡妇赋》：“仰神宇之寥寥兮，瞻灵衣之披披。”刘良注：“神宇，灵室也。”这里即指国子学所在宫室。　暧(ài爱)：昏暗貌。　微微：幽静貌。张衡《南都赋》：“章陵郁以青葱，清庙肃以微微。”

⑦网虫：指蜘蛛。张协《杂诗》：“蜘蛛网四屋。”

⑧缨佩：缨，结冠的带子；佩，佩于衣带上的饰物。缨佩，代指官职。　空为忝(tiǎn 腆)：谓自己白白地做着国子祭酒的官职，辱没了这一职务。忝，辱。

⑨江海：江河湖海，指隐居之地。李善注：“《庄子》曰：‘就薮泽，处闲旷，此江海之士，避世之人也。’”　违：违背。

⑩“山中”句：李善注：“山中有桂树，即攀桂枝而聊淹留也。”也即山中可归隐之意。淮南小山《招隐士》：“桂树丛生兮山之幽，……攀援桂枝兮聊淹留。”

⑪岁暮:既指一年将尽,也指年岁将老。 言:语助词。

【译文】

秋风吹遍寂寥广阔郊野,
萧瑟之气进入庭南小门。
忧愁之人关着门在躺卧,
高窗被风吹拂不时扇动。
宫庭虚空四处贮满清阴,
色调昏暗显得十分幽静。
蜘蛛在窗户上垂丝织网,
傍晚鸟儿贴着屋檐翩飞。
缨佩空有深感玷辱官职,
放情江海此事多有相违。
山中有芳香高雅的桂树,
年岁将尽不妨动身回归。

(张亚新 译注)

咏湖中雁一首

沈休文

【题解】

永明体诗人沈约、谢朓、王融等都写过不少咏物诗,尤以沈约

为多，但总体成就不高。这首《咏湖中雁》诗，意思比较平浅，但刻画尚称工致，大雁的种种情态跃然纸上，可堪回味。有一定美学价值。何焯对此诗颇为赞赏，认为："《园葵》(指陆机《园葵》诗)，《湖雁》，咏物之祖。"(《义门读书记》卷四十七)

【原文】

白水满春塘，　旅雁每回翔①。
唼流牵弱藻②，敛翮带余霜③。
群浮动轻浪，　单泛逐孤光④。
悬飞竟不下，　乱起未成行。
刷羽同摇漾⑤，一举还故乡⑥。

【注释】

①旅雁：群雁。李善注："《谷梁传》曰：'掩禽旅。'范宁曰：'众禽也。'"　回翔：回旋飞翔。刘桢《杂诗》："方塘含白水，中有凫与雁。"

②唼(shà 煞)：水鸟吃食。　弱藻：细藻。宋玉《九辩》："凫雁皆唼乎梁藻兮，凤愈飘翔而高举。"

③敛翮(hé 何)：收束翅膀。翮，羽毛中间的硬管。

④泛：漂游。

⑤刷羽：谓振翅飞翔。　摇漾：李善注："飞貌也。"

⑥举：飞起。李善注："《乌孙公主歌》曰：'愿为黄鹄兮归故乡。'"

【译文】

春天池塘蓄满一池清水，
群飞大雁每每回旋飞翔。
水中觅食牵动纤细绿藻，
收束翅膀沾带薄薄白霜。
一起浮游掀起轻轻波浪，

单独漂浮追逐水中孤光。
空中悬飞竟然不会落下，
散乱起飞暂未排列成行。
振翅飞翔一同摇曳荡漾，
穿云破雾飞回遥远故乡。

（张亚新　译注）

三月三日率尔成篇一首

沈休文

【题解】

“三月三日”，即农历的上巳日。古人于每年三月上旬的巳日临水祭祀，并用浸泡了香草的水沐浴，以为这样可以祓除不祥，叫做“禊”、“祓禊”或“修禊”。这种风俗起源于周代，汉魏以后相沿，魏以后，大概为了便于记忆，不再拘泥于“上巳”这个日子，而将节日固定为每年农历三月初三日。春天正是风和日丽、鸟语花香的季节，三月三日逐渐成为人们春日到水边郊游踏青、饮宴游玩的节日，宴饮时，人们把酒杯放到水中任其漂流，漂到谁面前就由谁取饮，这就是王羲之所说的“曲水流觞”。骚人墨客还免不了要吟诗作赋，这就产生了一系列以“上巳”和“三月三日”为题的作品。沈约的这首诗，虽以长安、洛阳为背景，实际描写的是江南的春禊活动，刻画了青年男女纵情游乐的情态，可以想见一时之盛。

【原文】

丽日属元巳①，　年芳具在斯②。
开花已匝树③，　流嘤复满枝④。
洛阳繁华子⑤，　长安轻薄儿⑥。
东出千金堰⑦，　西临雁鹜陂⑧。
游丝映空转⑨，　高杨拂地垂⑩。
绿帻文照耀⑪，　紫燕光陆离⑫。
清晨戏伊水⑬，　薄暮宿兰池⑭。
象筵鸣宝瑟⑮，　金瓶泛羽卮⑯。
宁忆春蚕起⑰，　日暮桑欲萎⑱。
长袂屡以拂⑲，　雕胡方自炊⑳。
爱而不可见，　宿昔减容仪㉑。
且当忘情去㉒，　叹息独何为㉓？

【注释】

①丽日：指美日，即良辰佳日。　元巳：即上巳，因属农历三月第一个巳日，故称。这里即指三月初三日。张衡《南都赋》："于是暮春之禊，元巳之辰。"

②年芳：一年中的美好日子。　具：同"俱"。　斯：此，指"元巳"。

③匝：周，满。

④流嘤：鸣声婉转的鸟。嘤，鸟鸣声。五臣作"莺"。

⑤繁华子：指青春少年。繁华，花盛开，以喻人之盛年。阮籍《咏怀》其十二："昔日繁华子，安陵与龙阳。"

⑥轻薄儿：轻浮放荡的青年。

⑦千金堰：古代水利工程名，又名千金堨，在洛阳城西。杨衒之《洛阳伽蓝记·城西》："长分桥西有千金堰，计其水利，日益千金，因以为名。"

⑧雁鹜陂（bēi 卑）：古代水利工程名。李善注引《汉宫殿疏》："长安有雁鹜陂，承昆明下流也。"陂，水塘。

⑨游丝：春天昆虫吐出来的细丝，随风飘荡在花草树木间。 映：《诗纪》七十三作“应”。

⑩杨：《初学记》四作“柳”。 地：作“池”。

⑪绿帻（zé 责）：古代仆役的服式。《汉书·东方朔传》：“董（偃）君绿帻傅韝，随主前，伏殿下。”注：“绿帻，贱人之服。”因董偃为武帝宠臣，这里转指贵门少年的冠服。 文：文彩。

⑫紫燕：燕的一种，其颔下紫。 陆离：光彩斑斓貌。

⑬伊水：在洛阳附近。

⑭薄暮：傍晚。薄，《初学记》四作“转”。 兰地：宫观名，在长安。《文选》潘岳《西征赋》：“北有清渭浊泾，兰池周曲。”李善注：“《三辅黄图》曰：‘兰池观在城外。’《长安图》曰：‘周氏曲，咸阳县东南三十里，今名周氏陂，陂南一里，汉有兰池宫。’”

⑮象筵：豪华的筵席。颜延之《皇太子释奠会作诗》：“堂设象筵，庭宿金悬。” 鸣：《御览》三十作“排”。

⑯金瓶：酒器。 泛：漂浮。 羽卮（zhī 知）：即羽觞，一种做成雀形、有羽翼的酒器。 羽：《初学记》四作“玉”。

⑰宁：岂。 起：谓起而觅食。枚乘《梁王兔园赋》：“桑萎蚕饥，中人望奈何。”

⑱萎：枯槁。

⑲长袂（mèi 妹）：长袖。 拂：谓拂面，即遮掩脸面，是一种娇羞的姿态。屈原《大招》：“长袂拂面，善留客只。”

⑳雕胡：菰米。菰俗称茭白，可作蔬菜。其实如米，可以做饭。 炊：烧火做饭。宋玉《讽赋》：“为臣炊雕胡之饭，烹露葵之羹，来劝臣食。” 方：正。

㉑宿昔：昨夜，一夜。 容仪：容貌与仪表。减容仪，谓消瘦。

㉒且：将。

㉓何为：干什么。曹植《赠白马王彪》：“太息将何为？”

【译文】

良辰佳日属于上巳节日，
一年芳华全集中在此时。

树上已开满了各色鲜花，
鸣声婉转的鸟站满树枝。
洛阳青春少年成群结队，
长安轻薄男儿前呼后应。
东边来到洛阳的千金堰，
西边来到长安的雁鹜陂。
游丝映着春光空中飘转，
杨柳高高枝条拂池而垂。
绿帻在阳光下文彩照耀，
紫燕在春风中光影陆离。
清晨在伊水边自在嬉戏，
傍晚在兰池边露营歇宿。
豪华筵席上鸣响着宝瑟，
水面上漂浮着金瓶羽卮。
哪里还想得起春蚕肚饥，
太阳落山桑叶将要枯萎。
不断地用长袖遮掩脸面，
雕胡之饭正在烧火烹炊。
心中喜爱但却不得见面，
一夜之间就改变了容仪。
还是应当忘却情缘而去，
独自叹息能有什么用呢？

（张亚新，译注）

诗庚

杂拟上

拟古诗十二首

陆士衡

【作者】

见卷十六《叹逝赋》作者介绍。

【题解】

“杂拟”一类，皆拟古人之诗。陆机所拟十二首，除《兰若生朝阳》(《玉台新咏》作“兰若生春阳”)一首外，余皆在《古诗十九首》之列。古人拟诗，大体有两种情况：一为学古的一种方法，力求形似，有时甚至到了与原诗亦步亦趋的地步；一以“拟古”为名，即境抒怀，自出机杼。陆机拟作，属于第一种，大约是吴亡后回到华亭故里闭门勤学时期的作品。由于目的在于学古，因此往往因袭原作意思，无甚发挥；词句也大抵从原诗变换而来，但刻画较为精工，形式较为整对。这些拟作曾名重当世，钟嵘《诗品·总论》将其与陈思《赠弟》、仲宣《七哀》等相提并论，认为“斯皆五言之警策者也。所以谓篇章之珠泽，文采之邓林”。但因感兴不深，缺少新意，语言风格又丧失了原诗淳朴自然的特色，也曾遭到一些古人的非议。如李重华云：“陆士衡《拟古诗》，名重当世，余每病其呆板。”(《贞一斋诗

说》)陈祚明云:“士衡诗束身奉古,亦步亦趋,……造情既浅,抒响不高。”(《采菽堂古诗选》卷十)总体看来,这些拟作与原诗相较,确实比较逊色。不过,其中也有几首清新可诵之作,如《拟明月何皎皎》等。

拟行行重行行

【原文】

悠悠行迈远①，　戚戚忧思深②。
此思亦何思③？　思君徽与音④。
音徽日夜离，　缅邈若飞沉⑤。
王鲔怀河岫⑥，　晨风思北林⑦。
游子眇天末⑧，　还期不可寻。
惊飙褰反信⑨，　归云难寄音⑩。
伫立想万里⑪，　沉忧萃我心⑫。
揽衣有余带⑬，　循形不盈衿⑭。
去去遗情累⑮，　安处抚清琴⑯。

【注释】

①悠悠:远貌。　行迈:行,走路;迈,也是“行”的意思。《诗经·王风·黍离》:“行迈靡靡,中心摇摇。”

②戚戚:忧貌。

③何思:思念什么。

④徽与音：即徽音。徽，美，善；音，音讯。徽音犹言嘉讯、佳音。

⑤缅邈：遥远貌。 飞沉：谓飞上高天，沉入水底。

⑥王鲔（wěi 委）：鲔，鱼名，即鲟鱼。王鲔，大鲔鱼。 河：黄河。 岫：山洞。传说王鲔穴居洞中。《文选》张衡《东京赋》："王鲔岫居。"李善注："山有穴曰岫也。王鲔，鱼名也，居山穴中。长老言，王鲔之鱼，由南方来，出此穴中，入河水。见日目眩，浮水上，流行七八十里。钓人见之，取之以献，天子用祭。其穴在河南小平山。"

⑦晨风：鸟名，即鹯鸟，属鹰鹞一类的猛禽。《诗经·秦风·晨风》："鴥彼晨风，郁彼北林。"谓其在北林有鸟窝。

⑧眇（miǎo 渺）：遥远。 天末：犹言天边，指极远的地方。张衡《东京赋》："眇天末以远期，规万世而大摹。"

⑨惊飙：急风。 褰（qiān 千）：提起，撩起。这里是飘卷、卷走的意思。反信：返回的音讯。

⑩归云：往家乡飘飞的云。李善注："《楚辞》曰：'愿寄言于浮云兮，遇丰隆而不将。'"

⑪伫立：久久站立。

⑫沉忧：深忧。 萃：聚集。

⑬揽衣：敛衣。古人衣长，须提敛而行。 有余带：指身体越来越消瘦。即"相去日已远，衣带日已缓"之意。

⑭衿：同"襟"，衣襟。不盈襟，意同"有余带"。

⑮遗情累：去掉感情上的牵累。

⑯抚：弹奏。

【译文】

走啊走君走得越来越远，
忧啊忧我忧思越来越深。
这忧思到底都思念什么？
思念君何时返回的佳音。
日日夜夜佳音与我背离，
迷迷茫茫好似高飞远沉。

王鲔怀念黄河边的洞穴，
晨风思念筑有巢的北林。
游子却呆在遥远的天边，
回家的日子还无法找寻。
急风卷走了返回的音讯，
归云难以托它带回佳音。
久久站立悬想万里之外，
深重忧虑一齐汇聚我心。
提敛衣衫衣带还有多余，
抚摩身形身体不满衣襟。
去吧去吧抛弃感情牵累，
安然处之弹起清越琴声。

拟今日良宴会

【原文】

闲夜命欢友①，　置酒迎风馆②。
齐僮《梁甫吟》③，秦娥《张女弹》④。
哀音绕栋宇⑤，　遗响入云汉⑥。
四坐咸同志⑦，　羽觞不可筭⑧。
高谈一何绮⑨，　蔚若朝霞烂⑩。
人生无几何，　为乐常苦晏⑪。
譬彼伺晨鸟⑫，　扬声当及旦⑬。

曷为恒忧苦⑭， 守此贫与贱。

【注释】

①闲夜：静夜。

②迎风：汉宫馆名。张衡《西京赋》："既新作于迎风，增露寒与储胥。"

③齐僮：齐国的歌童。僮，未成年的人。《梁甫吟》：即《梁甫行》，汉乐府曲调名。梁甫，泰山旁边的小山名。张衡《南都赋》："齐僮唱兮列赵女。"

④秦娥：秦国的歌女。娥，美女。《张女弹》：古曲名。潘岳《笙赋》："辍张女之哀弹，流广陵之名散。"

⑤栋宇：指屋梁。栋，屋中的正梁。

⑥遗响：余音。 云汉：银河。

⑦四坐：指四周在座的众人。也作"四座"。 咸：皆。 同志：志向相同的人。

⑧羽觞：做成雀形、两边有翼的酒器。 不可筭：言其多。筭，同"算"。

⑨绮：美妙。

⑩蔚：文采华美。 烂：灿烂，有光彩。

⑪晏：晚。秦嘉《赠妇诗》其一："忧艰常早至，欢会常苦晚。"

⑫伺晨鸟：指鸡。伺晨，等候天亮。伺，《艺文类聚》三十九作"司"。

⑬旦：天明。

⑭曷：为何，为什么。 恒：常。

【译文】

静夜召来一帮快乐朋友，
把酒席摆在那迎风之馆。
齐国歌童唱起了《梁甫吟》，
秦国歌女奏起了《张女弹》。
哀音婉转绕着屋梁不散，
余响高亢升入云空霄汉。
四座都是志同道合之人，

酒杯端起一时无法计算。
高谈阔论言辞何其美妙，
文采就如朝霞一般灿烂。
人的一生没有多少日子，
享受快乐常常只恨太晚。
譬如那等待天亮的雄鸡，
应趁天明赶紧扬声叫唤。
为何这样常常忧伤痛苦，
老是困守着贫穷和微贱。

拟迢迢牵牛星

【原文】

昭昭清汉晖①，　粲粲光天步②。
牵牛西北回③，　织女东南顾④。
华容一何冶⑤，　挥手如振素⑥。
怨彼河无梁⑦，　悲此年岁暮⑧。
跂彼无良缘⑨，　睆焉不得度⑩。
引领望大川⑪，　双涕如沾露⑫。

【注释】

①昭昭：明亮貌。　清汉：指银河。清，《玉台新咏》三作“天”。　晖：光辉。
②粲粲：鲜明貌。　光天步：李善注：“步，行也。言行止之盛，微步而光耀

于天。”即在天上略微迈开步履，即光彩四耀。

③西北回：谓朝着织女所在的西北方向注视。回，回顾。

④东南顾：谓朝着牵牛所在的东南方向注视。李善注：“《大戴礼·夏小正》曰：‘七月初昏，织女正东而向。’”

⑤华容：美丽的容貌。　冶：艳丽，多姿。

⑥振：摇动。　素：未经染色的绢，其色洁白。

⑦梁：桥。

⑧年岁暮：谓将衰老。

⑨跂(qí 其)：通“歧”，分歧。织女共有三星，联成等边三角形，三角分出，故以“跂”字来形容。这里即指织女星。《诗经·小雅·大东》：“跂彼织女，终日七襄。”

⑩睆(huǎn 缓)：星光明亮貌。指牵牛星。《诗经·小雅·大东》：“睆彼牵牛，不以服箱。”《玉台新咏》三：“一作‘睍’。”

⑪引领：伸颈。　大川：指银河。

⑫涕：泪。　沾：湿润。

【译文】

明明亮亮银河发出清辉，
粲粲光耀在天迈开细步。
牵牛朝着西北织女眺望，
织女朝着东南牵牛瞻顾。
织女容颜多么艳丽多姿，
挥动双手就像挥动白素。
怨那银河没有一座桥梁，
悲此一生渐渐走向衰暮。
三角形织女星没有良缘，
亮闪闪牵牛星不得涉度。
伸长脖子茫然望着大河，
双眼泪流就如滚落露珠。

拟涉江采芙蓉

【原文】

上山采琼蕊①，　穹谷饶芳兰②。
采采不盈掬③，　悠悠怀所欢④。
故乡一何旷⑤，　山川阻且难。
沉思钟万里⑥，　踯躅独吟叹⑦。

【注释】

①琼蕊：古代传说中琼树的花蕊，似玉屑。这里喻珍美的花。

②穹谷：深谷。　饶：多。

③采采：采而又采，不断地采。　不盈掬(jū 居)：不满一捧。掬，用两手捧起。《诗经·小雅·采绿》："终朝采绿，不盈一匊。"

④悠悠：深思貌。

⑤旷：远。

⑥沉思：深深的思念。　钟：积聚。

⑦踯躅：徘徊不前貌。

【译文】

上山去采摘珍美的琼蕊，
深谷中有不少芳香幽兰。
采来采去总是不满一捧，
心思悠悠怀念远方所欢。

故乡看去多么迷茫遥远，
山重水复险阻而且艰难。
思念深深情钟万里之外，
徘徊不前独自悲吟慨叹。

拟青青河畔草

【原文】

靡靡江离草①，　熠燿生河侧②。
皎皎彼姝女③，　阿那当轩织④。
粲粲妖容姿⑤，　灼灼美颜色⑥。
良人游不归⑦，　偏栖独只翼⑧。
空房来悲风，　中夜起叹息⑨。

【注释】

①靡靡：草伏相依貌。《文选》宋玉《高唐赋》："薄草靡靡，联延夭夭。"李善注："靡靡，相依倚貌。"　江离：香草名。

②熠(yì 义)燿：光明貌。《艺文类聚》三十二作"熠烁"。

③皎皎：洁白貌。　姝(shū 殊)女：美女。

④阿那：柔美貌。同"婀娜"。　轩：窗。

⑤粲粲：鲜明貌。　妖容：艳丽妩媚的姿容。

⑥灼灼：鲜艳貌。　美颜：《玉台新咏》三作"华美"。　颜色：容貌。

⑦良人：思妇对丈夫的称谓。

⑧偏栖：侧着身子睡眠。　独只翼：鸟儿偏栖，有一只翅膀压在身下，只剩

一只翅膀露在外面，故云。以此喻思妇独眠，颇嫌生造。

⑨中夜：半夜。曹植《美女篇》："盛年处房室，中夜起长叹。"

【译文】

绵密低伏相依的江离草，
光闪闪地长在河流两侧。
那个美女肌肤多么白皙，
身段柔美在窗边把布织。
姿容妖娆妩媚光彩照人，
艳丽夺目容颜俊美出色。
丈夫远游迟迟不把家回，
如鸟偏栖只露一只羽翼。
悲凄凉风吹进空房之中，
半夜不眠起身长声叹息。

拟明月何皎皎

【原文】

安寝北堂上①，　明月入我牖②。
照之有余晖③，　揽之不盈手④。
凉风绕曲房⑤，　寒蝉鸣高柳。
踟蹰感节物⑥，　我行永已久⑦。
游宦会无成⑧，　离思难常守⑨。

【注释】

①寝：卧。

②牖(yǒu 友)：窗户。

③照之：指月光照到窗户上。　晖：光辉。

④揽：用手去采握。　盈：满。

⑤曲房：有曲廊的屋子。

⑥踟蹰：徘徊不前貌。　节物：指凉风吹、寒蝉鸣等秋天景物。

⑦永：长。

⑧游宦：远游求仕。　会：当。

⑨离思：离别的愁思。　难常守：谓难以长期忍受。

【译文】

安静地躺卧在北堂之上，
明亮的月光照进我窗户。
照进窗户月光灼灼有余，
伸手采握却不能够盈手。
凉风绕着曲房呼呼吹拂，
寒蝉不断鸣叫在那高柳。
踟蹰徘徊感叹节物变化，
我离家出游时间已很久。
远游求仕终当一事无成，
离别忧思更难长期伴守。

拟兰若生朝阳

【原文】

嘉树生朝阳①，　凝霜封其条②。
执心守时信③，　岁寒终不凋④。
美人何其旷⑤，　灼灼在云霄⑥。
隆想弥年月⑦，　长啸入飞飙⑧。
引领望天末⑨，　譬彼向阳翘⑩。

【注释】

①嘉树：美树，指松柏。　朝阳：指山的东面，因其早晨为太阳所照，故称。《诗经·大雅·卷阿》："梧桐生矣，于彼朝阳。"

②条：树枝。

③执心：专心。　时信：一定的时节变化。信，讲信用。

④岁寒：一年的寒冬。　凋：枯败。《论语·子罕》："岁寒，然后知松柏之后凋也。"　终不：《玉台新咏》三作"不敢"。

⑤旷：遥远。

⑥灼灼：明艳貌。《艺文类聚》三十二作"的的"。李善注："枚乘《乐府诗》曰：'美人在云端，天路隔无期。'"

⑦隆想：犹言苦想。隆，盛，多。　弥：满。月，《玉台新咏》三作"时"。

⑧啸：撮口出声，是古人抒发抑郁感情的一种方式。　飞飙：暴风。《玉台新咏》三作"风飘"。

⑨引领：伸颈。　天末：犹言天边。

⑩向阳翘：指嘉树。嘉树迎着太阳伸展枝叶，形如翘首而望，故云。

【译文】

美好树木生在山的东面，
到了冬天严霜封住枝条。
专心一意固守时节变化，
寒冬季节枝条终不枯凋。
美人所住地方何其遥远，
明艳夺目在那九重云霄。
冥思苦想已是经年累月，
长啸一声啸声融入风暴。
伸长脖子朝着天边眺望，
就像嘉树向阳把枝条翘。

拟青青陵上柏

【原文】

冉冉高陵苹①，　习习随风翰②。
人生当几何③，　譬彼浊水澜④。
戚戚多滞念⑤，　置酒宴所欢。
方驾振飞辔⑥，　远游入长安。
名都一何绮⑦，　城阙郁盘桓⑧。
飞阁缨虹带⑨，　曾台冒云冠⑩。
高门罗北阙⑪，　甲第椒与兰⑫。

侠客控绝景⑬， 都人骖玉轩⑭。
遨游放情愿⑮， 慷慨为谁叹⑯！

【注释】

①冉冉：柔弱下垂貌。 高陵：高丘。 苹：草名，生浅水中，叶纹成十字形，可食。李善注："《山海经》曰：'昆仑之丘，有草名曰蓂，如葵。'《字书》曰：'蓂，亦'苹'字也。'"

②习习：频飞貌。 翰：高飞。

③当：能。

④澜：波。李善注："言浊水之波易竭也。"

⑤戚戚：忧思貌。 滞：郁塞不通。

⑥方驾：两车并行。即并驾齐驱之意。 振：提起。 辔：马缰。振飞辔，谓疾驰前行。

⑦名都：著名的都会。 绮：繁华。

⑧城阙：城楼。阙，宫门前两边的望楼。 郁：盛貌。 盘桓：广大貌。

⑨飞阁：凌空耸立的高阁。 缨：帽带。这里用作动词，谓以……为帽带。

⑩曾(céng 层)台：高台。曾，通"层"。 冒："帽"的本字。这里用作动词。

⑪高门：指达官贵人的宅第。下"甲第"同。 罗：列。张衡《西京赋》："北阙甲第，当道直启。"

⑫椒与兰：椒与兰都是芳香之物，用以喻贵戚所居。

⑬控：驾御。 绝景(yǐng 颖)：良马名。景，同"影"。

⑭都人：居住在京都的人(指有钱人)。《诗经·小雅·都人士》："彼都人士，狐裘黄黄。" 骖：三匹马驾一辆车。 玉轩：有玉饰的车。

⑮遨游：游乐。 放：放纵不使受拘束。

⑯慷慨：意气不平貌。

【译文】

高丘上柔弱下垂的苹草，
飞啊飞随着风不停翩翻。
人生的日子能够有多长，

就像那浊水坑中的波澜。
忧思不断心中郁塞难通，
摆下酒席请来朋友欢宴。
宴毕并驾齐驱纵马飞驰，
遨游远方来到名都长安。
名都的景象是多么繁华，
城楼巍峨高耸远近相连。
高阁凌空以彩虹为帽带，
高台矗立以白云为帽冠。
高门大宅罗列北阙前面，
王侯甲第美如芬芳椒兰。
侠客骑着绝景骏马飞奔，
都中权贵驾着玉车往返。
恣意游乐任我心中所愿，
慷慨不平去为何人感叹！

拟东城一何高

【原文】

西山何其峻①，　曾曲郁崔嵬②。
零露弥天坠③，　蕙叶凭林衰④。
寒暑相因袭⑤，　时逝忽如颓⑥。
三闾结飞辔⑦，　大耋嗟落晖⑧。

曷为牵世务⑨，　中心若有违⑩。
京洛多妖丽⑪，　玉颜侔琼蕤⑫。
闲夜抚鸣琴⑬，　惠音清且悲⑭。
长歌赴促节⑮，　哀响逐高徽⑯。
一唱万夫叹⑰，　再唱梁尘飞⑱。
思为河曲鸟⑲，　双游丰水湄⑳。

【注释】

①峻：高而陡峭。

②曾（céng 层）曲：重叠盘旋。曾，通“层”。　郁：盛貌。　崔嵬：高耸貌。

③零露：即露。　弥天：满天。

④蕙：香草名。　凭林：依林，即在林中。

⑤因袭：前后相承。

⑥忽：疾速貌　颓：落下。《玉台新咏》三作“遗”。

⑦三闾：指屈原。屈原曾任三闾大夫。　结飞辔：拴上马缰。谓不使前行。辔，马缰。屈原《离骚》：“吾令羲和弥节兮，望崦嵫而勿迫。”此隐用其意。

⑧大耋（dié 迭）：年高的人。耋，八十岁。一说指七十或六十岁。　嗟：叹。《玉台新咏》三作“悲”。　落晖：落日的余辉。《易·离》：“九三，日昃之离，不鼓缶而歌，则大耋之嗟，凶。”

⑨曷为：何为，为什么。　牵：牵累。　世务：时务，当世的事情。

⑩中心：即心中。　若：《玉台新咏》三作“帐”。　有违：指行动和心意相违背。《诗经·邶风·谷风》：“行道迟迟，中心有违。”

⑪京洛：指东汉都城洛阳。　妖丽：艳丽的女子。曹植《名都篇》：“名都多妖女，京洛出少年。”

⑫玉颜：美丽的容颜。　侔：等，齐。　琼蕤（ruí 瑞阳平）：玉花。

⑬闲夜：静夜。　抚：弹奏。

⑭惠音：和谐的声音。

⑮赴：犹“逐”，和着乐曲唱歌的意思。　促节：节奏急促的旋律。

⑯高徽：高亢的乐曲。徽，琴节，即琴上调宫商、定高低音的节。这里代指

乐曲。

⑰叹:《玉台新咏》三作“欢”。

⑱再:第二次。李善注引《七略》:“汉兴,鲁人虞公善雅歌,发声,尽动梁上尘。”

⑲河曲鸟:鸳鸯的别名。

⑳丰水:也作沣水,源出陕西秦岭,北流至西安西北,入渭水。西周丰京即建于此水西岸。 湄:水和草交接的地方,即岸边。

【译文】

西山看去多么高峻陡峭,
重叠盘旋气象蓊郁崔嵬。
露珠寒凉漫天遍野洒落,
蕙叶在林中悄悄地枯萎。
寒来暑往彼此前后相承,
时光流逝快如物体下垂。
三闾拴上马缰不使前行,
高年之人感叹落日余晖。
为何要被世人俗务牵累,
行动似与自己心意相违。
京都洛阳颇多俏丽女子,
容貌姣好可与玉花比美。
静谧的夜晚把琴弦拨响,
和谐的声音清越又凄悲。
放声歌唱随着急促旋律,
高亢乐声中有哀响伴随。
一唱就引起了万人感叹,
再唱振得梁上尘土纷飞。
想要变成恩爱的河曲鸟,

游乐丰水边彼此成双对。

拟西北有高楼

【原文】

高楼一何峻①，　苕苕峻而安②。
绮窗出尘冥③，　飞陛蹑云端④。
佳人抚琴瑟⑤，　纤手清且闲⑥。
芳气随风结⑦，　哀响馥若兰⑧。
玉容谁得顾⑨？　倾城在一弹⑩。
伫立望日昃⑪，　踯躅再三叹⑫。
不怨伫立久，　但愿歌者欢。
思驾归鸿羽，　比翼双飞翰⑬。

【注释】

①楼：《艺文类聚》六十二作“台”。　峻：陡直高耸。

②苕（tiáo 条）苕：高貌。《陆机集》作“迢迢”。　安：稳固。

③绮窗：雕画精美的窗户。　尘冥：指覆盖在大地上面的一层尘雾。冥，昏暗。

④飞陛：高耸的台阶。陛，《玉台新咏》三作“阶”。　蹑：登上。

⑤抚：弹。琴：《艺文类聚》六十二作“瑶”。

⑥闲：静。谓动作安闲，不疾不乱。

⑦芳气：香气。气，《玉台新咏》三作“草”。　结：聚。

⑧哀响：指哀婉的歌声。　馥若兰：谓随着歌声传来的香气犹如幽兰。馥，

香气。

⑨玉容：美好的容貌。　得：《玉台新咏》三作“能”。　顾：看。

⑩倾城：谓容貌出色。《汉书·外戚传》载李延年歌：“北方有佳人，绝世而独立；一顾倾人城，再顾倾人国。宁不知倾城与倾国，佳人难再得。”

⑪伫立：久久地站立。　日昃（zè 仄）：太阳西斜。

⑫踯躅：徘徊不前。

⑬翰：高飞。

【译文】

一座高楼何其陡直高耸，
高耸陡直但又稳如泰山。
精美窗户耸出尘雾之外，
高高台阶直上蓝天云端。
楼上美人独自拨动琴弦，
纤手挥舞清静而又悠闲。
芳香气息随着微风汇聚，
哀歌送来芬芳犹如幽兰。
美好容貌谁有机会瞻仰？
倾城美色全在一弹之间。
久久站立看到日头偏西，
来回徘徊不禁感叹再三。
不怨自己时间站得太久，
但愿歌者能够快乐喜欢。
愿能乘上一对归鸿翅膀，
与她比翼双飞直上云天。

拟庭中有奇树

【原文】

欢友兰时往①，　苕苕匿音徽②。
虞渊引绝景③，　四节逝若飞④。
芳草久已茂⑤，　佳人竟不归⑥。
踯躅遵林渚⑦，　惠风入我怀⑧。
感物恋所欢，　采此欲贻谁⑨？

【注释】

①欢友：犹言好友。　兰时：良时，指春日。

②苕（tiáo 条）苕：远貌。《玉台新咏》三作“迢迢”。　音徽：谓音声、音容。徽，琴上调宫商、定高低音的节。

③虞渊：神话传说中的日入之处。　绝景（yǐng 影）：指黄昏时分。其时日光消逝，故云。景，同“影”。《淮南子·天文》：“日至于虞渊，是谓黄昏。”

④四节：春夏秋冬四季。　逝：《玉台新咏》三作“游”。

⑤久：《艺文类聚》二十九作“忽”。

⑥佳人：指友人。

⑦踯躅：徘徊。　遵：沿。　林渚：山林及水边。

⑧惠风：和风。

⑨此：指芳草。　贻：赠给。

【译文】

好友在春时远离了家门，

路途遥遥音容已是久违。
虞渊吞噬最后一缕阳光，
四季消逝就如鸟儿疾飞。
香草早已长得十分繁茂，
美人竟然还是没有回归。
沿着山林水边徘徊观望，
和风习习吹进我的胸怀。
感念外物更加怀恋好友，
采来香草打算赠送给谁？

拟明月皎夜光

【原文】

岁暮凉风发， 昊天肃明明①。
招摇西北指②，天汉东南倾③。
朗月照闲房④，蟋蟀吟户庭⑤。
翻翻归雁集⑥，嘈嘈寒蝉鸣⑦。
畴昔同宴友⑧，翰飞戾高冥⑨。
服美改声听⑩，居愉遗旧情⑪。
织女无机杼⑫，大梁不架楹⑬。

【注释】

①昊(hào 浩)天：即天。昊，元气广布貌。 肃：清寒静寂之貌。

②招摇：星名。《礼记·曲礼上》："招徭在上，急缮其怒。"《释文》："北斗第七星。"也作摇光。《吕氏春秋》："季秋之月，招摇指戌。"

③天汉：银河。李善注："李陵诗曰：'招摇西北驰，天汉东南流。'"

④闲：静。

⑤吟：鸣； 户庭：门内院中。蟋蟀吟户庭，谓天已冷。

⑥翻翻：飞貌。

⑦嘒(huì 会)嘒：鸣声。

⑧畴昔：过去。

⑨翰飞：高飞。 戾：到达。 高冥：高空。《诗经·小雅·小宛》："宛彼鸣鸠，翰飞戾天。"

⑩声听：名声。犹"声闻"。改声听，谓名声与以前不同。

⑪居愉：谓生活舒适、愉快。 遗：忘。

⑫机：织机。 杼：梭子。无机杼，不能织布，空有织女之名，喻朋友空有朋友之名。《诗经·小雅·大东》："跂彼织女，终日七襄。虽则七襄，不成报章。"

⑬大梁：星名，即昴星。《尔雅·释天》："大梁，昴也。"为二十八星宿之一，有星五颗(一说七颗)。 楹：堂前直柱。不架楹，也谓其空有其名。

【译文】

一年将尽凉风四处吹拂，
寥廓星空静肃而又光明。
招摇星遥指着西北方向，
长长银河朝着东南斜倾。
明朗月光照进幽房静室，
蟋蟀爬进门内院中长吟。
大雁聚在一处朝南翩飞，
寒蝉在不住地嘒嘒哀鸣。
以前在一起欢宴的朋友，
展翅高飞直抵九天星云。
穿着华美名声今非昔比，

居处欢愉忘了朋友旧情。
织女并没有织机和梭子，
大梁不架楹也徒有虚名。

（张亚新　译注）

拟四愁诗一首

张孟阳

【作者】

见卷二十三《七哀诗》作者介绍。

【题解】

本篇拟张衡《四愁诗》(载《文选》卷二十九)，原共四首，此选第四首。情韵词藻，皆追步原诗，颇得神似。《晋书》本传云："载见世方乱，无复进仕意，遂称疾笃告归，卒于家。"诗或亦借怀人愁思的抒发表达自己的伤时忧世之情，不无寄寓之意。

【原文】

我所思兮在营州①，　欲往从之路阻修②。

登崖远望涕泗流③， 我之怀矣心伤忧④。
佳人遗我绿绮琴⑤， 何以赠之双南金⑥。
愿因流波超重深⑦， 终然莫致增永吟⑧。

【注释】

①营州：古十二州之一，辖地相当今河北、辽宁等地。

②阻修：险阻而又漫长。

③崖：岸边。 涕泗：眼泪和鼻涕。

④怀：怀念。

⑤遗：赠送。 绿绮：古琴名。傅玄《琴赋序》："楚庄王有鸣琴曰绕梁，司马相如有琴曰绿绮，蔡邕有琴曰焦尾，皆名器也。"这里泛指上好的琴。

⑥南金：南方出产的黄金。《诗经·鲁颂·泮水》："元龟象齿，大赂南金。"

⑦因：凭藉。 重深：指重山深谷。

⑧永吟：长汉。

【译文】

我所思念的人啊在北边营州，
想前去追随他道路险阻漫长。
登上岸边远望涕泪不住流淌，
深深的怀念使我内心多忧伤。
美人赠给了我一把绿绮宝琴，
以何还报呢一对南方产黄金。
希望随着流波越过重山深谷，
终于未能到达徒增长叹声声。

（张亚新 译注）

拟古诗一首

陶渊明

【作者】

见卷二十六《始作镇军参军经曲阿作》作者介绍。

【题解】

《拟古诗》共九首，多为感时伤世、追慕节义之作，约作于刘宋初年。这里所选的一首，以托喻手法，抒写了好景不长、盛年难再的感慨，是作者在晋、宋易代之际心境的反映。虽题作“拟古”，却毫无摹拟之迹，与陆机“拟古”相比，显示出迥异的特色。

【原文】

日暮天无云，　春风扇微和①。
佳人美清夜②，达曙酣且歌③。
歌竟长叹息④，持此感人多⑤。
明明云间月⑥，灼灼叶中花⑦。
岂无一时好⑧，不久当如何？

【注释】

①和：温和。

②美：喜爱。

③达曙：直到天明。　酣：饮酒。

④竟：毕。

⑤持此：凭此，因此。

⑥明明：《陶渊明集》或作“皎皎”。

⑦灼灼：灿烂貌。

⑧好：美。

【译文】

傍晚时分晴空万里无云，
春风吹拂送来轻温微和。
美人喜欢这清朗的夜晚，
通宵达旦边饮酒边唱歌。
歌儿唱罢一声长长叹息，
此情此景实在感人良多。
明明朗朗是云中的月亮，
妩媚灿烂是叶中的鲜花。
难道没有一时间的美好，
只是不久之后该会如何？

（张亚新　译注）

拟魏太子邺中集八首 并序

谢灵运

【作者】

见卷十九《述祖德诗》作者介绍。

【题解】

“魏太子”，指曹丕。曹丕为曹操次子，建安二十二年(217)被立为太子，延康元年(220)十月代汉称帝。建安年间，“曹公父子，笃好诗文”(钟嵘《诗品序》)，在其政治中心邺城(今河北临漳县西南)聚集了“盖将百计”的文学之士，形成了一个邺下文人集团。曹丕是这个集团的实际首领，具体组织了很多游宴唱和的文学活动，促进了建安诗歌的繁荣。王粲等文士相继故去后，曹丕表示了深沉悼念，并为之撰遗文、编文集。谢灵运的八首诗，分别拟曹丕、王粲、陈琳、徐干、刘桢、应玚、阮瑀、曹植的诗作，大体上能反映出其人其诗的特点。诗前有总序，以曹丕口吻概述了邺下文人聚首时的盛况及后来相继故去后的伤感。《王粲》等七首，诗前尚有小序，结合其人生平经历概述其创作特色，颇多深中肯綮之言。诗中也寄寓了灵运个人生不逢时的感慨，并非单纯拟古之作。方回即认为总序针砭了刘宋王朝的最高统治者：“序云‘其主不文’，又曰‘雄猜多忌’，使宋武帝、文帝见之，皆必切齿。盖‘不文’明讥刘裕，‘多忌’亦诛徐、傅、谢、檀者之所讳也。灵运坐诛，此序亦贾祸一端也。”(《颜鲍谢诗

评》)考之灵运生平,不为无见之言。

【原文】

建安末①,余时在邺宫,朝游夕宴,究欢愉之极②。天下良辰、美景、赏心、乐事③,四者难并④;今昆弟友朋⑤,二三诸彦⑥,共尽之矣⑦。古来此娱,书籍未见。何者?楚襄王时⑧,有宋玉、唐、景⑨;梁孝王时⑩,有邹、枚、严、马⑪。游者美矣⑫,而其主不文⑬。汉武帝徐乐诸才⑭,备应对之能⑮,而雄猜多忌⑯,岂获晤言之适⑰!不诬方将⑱,庶必贤于今日尔⑲。岁月如流⑳,零落将尽㉑,撰文怀人㉒,感往增怆㉓!其辞曰:

【注释】

①建安:东汉献帝年号(196～220年)。邺下文人活动的高潮时期在建安十六年至建安二十二年间,故何焯认为:"建安末,'末'当为'中'。"(《义门读书记》四十七)。

②究:穷

③良辰:美好的时辰。 赏心:心意愉悦。 乐事:称心如意之事。

④并:一起得到。

⑤昆弟:兄弟。指曹丕、曹植。

⑥二三:约数,或二或三。 彦:才学之士。

⑦共:全。五臣作"备"。 之:指良辰、美景、赏心、乐事。

⑧楚襄王:战国时楚国君主。一作楚顷襄王。前298～前263年在位。

⑨宋玉:战国楚著名辞赋家。详见卷十三《风赋》介绍。 唐:唐勒,战国楚辞赋家。有赋四篇,今佚。 景:景差,战国楚辞赋家,楚襄王时曾任大夫,作品已亡佚。《史记·屈原列传》:"屈原既死之后,楚有宋玉、唐勒、景差之徒者,皆好辞而以赋见称。然皆祖屈原之从容辞令,终莫敢直谏。"

⑩梁孝王:即刘武,汉文帝子,汉景帝同母弟。汉文帝二年(前178)封为

代王，十二年徙封梁王。吴楚七国之乱平定后，自恃有功，在国大造宫室，招延四方豪杰文士。被景帝疏远，卒于国。

⑪邹：邹阳，西汉文学家。详见卷三十九《上书吴王》介绍。 枚：枚乘，西汉著名辞赋家。详见卷三十四《七发》介绍。 严：严忌，西汉辞赋家。本姓庄，后人避汉明帝讳，改为严。与邹阳、枚乘俱仕吴，为门客，以文辩著名。后离吴，客游梁，颇得梁孝王厚遇。《汉书·艺文志》著录有赋二十四篇，今仅存《哀时命》。 马：司马相如，西汉著名辞赋家。详见卷七《子虚赋》介绍。

⑫美：谓其多才。

⑬文：指文学才能、文化修养。

⑭汉武帝：即刘彻，西汉皇帝，前141～前87年在位。汉景帝之子。《三谢诗》"帝"下有一"时"字。 徐乐：西汉政论家。武帝时为文学侍臣。今存《言世务书》一篇。 诸才：包括徐乐、主父偃、庄安等。武帝元光中，徐乐，主父偃，庄安俱上书言世务，武帝召见三人，恨相见太晚，皆任为郎中，并在武帝左右，为文学侍臣。

⑮备：具备。 应对：对答。指对答皇帝提问。

⑯雄猜：心雄而多猜忌。

⑰晤言：见面交谈。指应对皇帝。 适：满足，顺心。

⑱不诬：这里是不猜忌的意思。诬，诬蔑，诽谤。 方将：将要，正要。《诗经·邶风·简兮》："简兮简兮，方将万舞。"这里指才华正茂、正处在上升时期的众作家。

⑲庶：表示可能或期望的副词。 贤：胜过。

⑳流：流水。

㉑零落：指死亡。

㉒撰：编订，编集。指为死者编订文集。

㉓怆：悲伤。

【译文】

建安末年，其时我正在邺城王宫，常常早晨出游，晚上饮宴，真是欢愉到了极点。天底下良辰、美景、赏心、乐事，这四者很难同时兼有。而现在兄弟朋友，诸 位才学之士，都完全享受到了这些乐

趣。自古以来像这样的欢娱，书籍中尚未见到有关记载。为什么这么说呢？楚襄王时，有宋玉、唐勒、景差；梁孝王时，有邹阳、枚乘、严忌、司马相如。这些平时在一起游宴的人，才华是很出众的，但他们所追随的主人却不是具有文化修养的人。汉武帝时徐乐等才学之士，具备了应对皇帝的才能，但皇帝心雄而多猜忌，这样应对起来，岂能满意、顺心！如不猜忌这些才学之士，想必当时的盛况是会胜过现在的。岁月像流水一样逝去，转眼间一起游宴的人们不少已经作古。现在编订他们的文集，又一次勾起了对他们的怀念之情；想起过去那些在一欢快聚首的日子，内心更感到悲痛。特拟作数首，其辞云：

魏 太 子

【原文】

百川赴巨海，　众星环北辰①。
照灼烂霄汉②，遥裔起长津③。
天地中横溃④，家王拯生民⑤。
区宇既涤荡⑥，群英必来臻⑦。
忝此钦贤性⑧，由来常怀仁⑨。
况值众君子⑩，倾心隆日新⑪。
论物靡浮说⑫，析理实敷陈⑬。
罗缕岂阙辞⑭，窈窕究天人⑮。
澄觞满金罍⑯，连榻设华茵⑰。

急弦动飞听⑱，清歌拂梁尘⑲。
何言相遇易⑳，此欢信可珍㉑。

【注释】

①北辰：北极星。《论语·为政》："为政以德，譬如北辰，居其所而众星共(拱)之。"这两句写才人学士纷纷汇聚邺下。何焯《义门读书记》："起二句有盖世之气。"

②照灼：照亮，照耀。 烂：光明。《诗经·郑风·女曰鸡鸣》："子兴视夜，明星有烂。" 霄汉：霄，云；汉，银河。指天空。

③遥裔：远而长貌。 长津：指天汉，即银河。

④横溃：大水泛滥。李善注："以水喻乱也。"

⑤家王：指曹操。建安二十一年(216)五月，曹操进爵为魏王，都邺。 生民：人民。

⑥区宇：疆土境域。 涤荡：洗荡，清除。指扫平群雄，统一北方。

⑦臻：到，到达。

⑧忝(tiǎn 腆)：愧。谦词。 钦贤性：钦慕贤才的本性。

⑨由来：从来。

⑩值：碰上。

⑪隆：盛。指交情深厚。 日新：日日更新，指交情一天比一天深厚。

⑫靡：无，没有。 浮说：虚浮不实的言论。

⑬敷陈：铺叙。

⑭罗缕：委曲，详尽。 阙：缺。

⑮窈窕：深微貌。 究：研究，探求。 天人：天与人，自然与社会。司马迁《报任安书》："亦欲以究天人之际，通古今之变，成一家之言。"

⑯澄觞：指酒器。 金罍(léi 儡)：酒器名。形似酒罈，大肚小口。金，指青铜。

⑰榻：几案。 华：美丽。 茵：坐垫。

⑱急弦：节奏急速的弦乐。 动飞听：谓引得飞鸟都前来倾听。李善注："《抱朴子》曰：'瓠巴操琴，翔禽为之下听。'"

⑲清歌：清美的歌声。

⑳何：五臣作“莫”。

㉑信：的确，实在。

【译文】

百条江河一齐奔向大海，
满天繁星围绕着北极星。
天空被照耀得灿烂光明，
长长银河悬垂遥远天庭。
天地之中洪水横流四溢，
家王奋起拯救黎民百姓。
疆域之内既已荡尽扫平，
群英必然纷纷前来投奔。
我愧有钦慕贤才的本性，
从来常有怀念仁人之心。
何况碰到诸位贤能君子，
倾心交往交情越来越深。
评论事物没有虚浮言论，
分析道理讲究一一鋪陈。
详尽陈说岂会缺少言辞，
探幽索微研究老天与人。
清冽酒浆斟满酒杯金罍，
几案相连坐垫摆放齐整。
急骤弦乐引来鸟儿倾听，
清美歌声拂动梁上灰尘。
怎么能说我们相会容易，
如此欢乐实在值得珍惜。

王粲

【原文】

家本秦川①，贵公子孙②。遭乱流寓③，自伤情多。

幽厉昔崩乱④，　桓灵今板荡⑤。
伊洛既燎烟⑥，　函崤没无像⑦。
整装辞秦川，　秣马赴楚壤⑧。
沮漳自可美⑨，　客心非外奖⑩。
常叹诗人言⑪，　《式微》何由往⑫。
上宰奉皇灵⑬，　侯伯咸宗长⑭。
云骑乱汉南⑮，　纪郢皆扫荡⑯。
排雾属盛明⑰，　披云对清朗⑱。
庆泰欲重叠⑲，　公子特先赏⑳。
不谓息肩愿㉑，　一旦值明两㉒。
并载游邺京㉓，　方舟泛河广㉔。
绸缪清燕娱㉕，　寂寥梁栋响㉖。
既作长夜饮，　岂顾乘日养㉗

【注释】

①秦川：地名，约当今陕、甘两省之地。因地处渭河南北岸，沃野千里，又为秦故地，故称。按王粲祖籍山阳高平（今山东邹县西南），公元190年，董卓挟献帝西迁长安，王粲随之也迁徙长安，时年十四岁。

②“贵公”句：王粲曾祖父龚，有高名于天下，汉顺帝时为太尉；祖父畅，汉灵帝时为司空。太尉、司空皆三公之官，位极高，故称。

③流寓：寄居他乡。献帝初平三年(192)，董卓余党李傕、郭汜作乱长安，王粲南去荆州规避，一住十五年，始终未被重用，心情常悒郁不快。

④幽、厉：周幽王、周厉王，皆西周国王，都镐京(今陕西西安市西南)。崩乱：动荡纷乱。周厉王横征暴敛，又禁止“国人”言论自由，激起众怒，于公元前841年被逐出镐京。周幽王昏庸无道，偏听褒姒谗言，失信于诸侯，被犬戎攻杀于骊山下，致使西周灭亡。

⑤桓、灵：汉桓帝、汉灵帝，皆东汉末昏君。板荡：《诗经·大雅》有《板》、《荡》二篇，是哀伤周厉王无道、周室将亡的，后因以板荡指政局变乱或社会动荡不安。

⑥伊、洛：二水名，在今河南境内。借指洛阳及其附近地区。 燎烟：谓起火燃烧。燎，放火焚烧草木。董卓乱中，洛阳及其周围地区遭受极大破坏。李善注：“曹子建《送应氏诗》曰：‘洛阳何寂寞，宫室尽烧焚。’”

⑦函、崤(xiáo 淆)：函谷关和崤山。这里代指以长安为中心的关中地区。 没：沦没。 无像：无章法，无体统。指李傕、郭汜作乱关中。王粲《七哀诗》：“西京乱无像，豺狼方遘患。”

⑧秣(mò 末)马：喂饱马匹。 楚壤：指荆州。王粲《七哀诗》：“复弃中国去，委身适荆蛮。”

⑨沮(jù 巨)、漳：二水名。参见卷十一《登楼赋》注。 美：以之为美，即赞美，称赏。王粲《登楼赋》：“挟清漳之通浦兮，倚曲沮之长洲。”

⑩奖：劝勉。非外奖，谓不会因荆州“可美”而安心居留。王粲《登楼赋》：“虽信美而非吾土兮，曾何足以少留！”

⑪诗人：指《诗经》的作者。

⑫《式微》：《诗经·邶风》篇名。其首章云：“式微，式微，胡不归？微君之故，胡为乎中露？”《毛诗序》说是黎侯寄居在卫国，其臣属劝他回国而所作之诗。这里用其劝归之意。 何由往：何从往，即无从前往、无地可去。

⑬上宰：宰相，指曹操。 皇灵：指汉献帝。建安元年(196)，曹操奉献帝都许(今河南许昌)，从此挟天子以令诸侯。

⑭侯、伯：古代五等爵位的第二等和第三等。借此指各地的州牧郡守。宗长(zhǎng 涨)：尊崇归向。

⑮云骑(jì 计):骑兵如云。喻兵马之盛。 乱汉南:指建安十三年(208)曹操南征荆州刘表。乱,谓使刘表惊乱。汉南,汉水之南。

⑯纪郢(yǐng 影):纪,纪南城,在湖北江陵县北,战国时楚都,一名郢城。这里代指荆州。纪,《三谢诗》作"宛"。

⑰排雾:喻重见光明。李善注引王隐《晋书》:"乐广为尚书令,卫瓘见而奇之,命诸子造焉,曰:'每见此人,莹然若开云雾之睹青天。'" 属:归属,归向。 盛明:盛大光明,喻曹操。

⑱披:劈开,分开。 清朗:清亮明朗,指日光。以喻曹操。

⑲庆泰:幸福与安宁。 重叠:即双喜临门之意。

⑳公子:指曹植。

㉑息肩:卸去负担。《文选》张衡《东京赋》:"是用息肩于大汉,而欣戴高祖。"李善注:"言秦天下之民,若担重物,不得休息,今来归汉,得息肩膊。"此指摆脱心灵上的负担。

㉒值:碰上。 明两:《易·离》:"明两作离,大人以继明照于四方。"疏:"明两作离者,离为日,日为明。今有上下二体,故云明两作离也。"后以明两指帝王,颂扬其明照四方。这里指魏文帝曹丕。

㉓并载:同车。 邺京:邺城,三国魏时为五都(邺、长安、谯、许昌、洛阳)之一。曹丕《与吴质书》:"白日既匿,继以朗月。同乘并载,以游后园。"

㉔方舟:两船相并。 河:黄河。《庄子·山木》:"方舟而济于河。"

㉕绸缪(móu 谋):情意缠绵。 清燕:清雅的宴会。燕,同"宴"。

㉖寂寥:静寂。 梁栋响:谓歌声绕梁。

㉗乘日养:谓白昼游乐。乘日,《庄子·徐无鬼》:"有长者教予曰:'若乘日之车而游于襄城之野。"郭象注:"日出而游,日入而息。"养,李善注:"《广雅》曰:'乐也。'"

【译文】

家本来在秦川,是贵公的子孙。遭遇战乱而寄居他乡,诗中颇多自我伤悼之情。

以前幽王厉王动荡纷乱,
而今桓帝灵帝纷乱动荡。

伊洛地区已是一片火海，
函崤以西乱得不成个样。
备好行装赶紧离开秦川，
喂饱马匹奔赴楚国地方。
沮水漳水自然值得称美，
远客之心不会为之荡漾。
常常感叹诗人说过的话，
《式微》劝归却是无从前往。
幸得宰相奉迎献帝都许，
四方牧守尽皆尊崇归向。
千军万马奔袭汉水之南，
纪郢地区全都顷刻扫荡。
拨开迷雾投入美盛光明，
扫除乌云迎来清朗日光。
幸福安宁一齐降临头上，
公子多情特别率先称赏。
不想得遂摆托负担之愿，
全靠一朝得遇英明帝王。
同乘一车畅游邺城内外，
两船相并浮游黄河之上。
情意缠绵欢度清雅宴会，
静寂之时只闻歌声绕梁。
欢歌畅饮既已通宵达旦，
哪还顾得白天游乐何方。

陈琳

【原文】

袁本初书记之士[1]，故述丧乱事多。

皇汉逢屯邅[2]，天下遭氛慝[3]。
董氏沦关西[4]，袁家拥河北[5]。
单民易周章[6]，窘身就羁勒[7]。
岂意事乖己[8]，永怀恋故国[9]。
相公实勤王[10]，信能定蝥贼[11]。
复睹东都辉[12]，重见汉朝则[13]。
余生幸已多[14]，矧乃值明德[15]。
爱客不告疲[16]，饮燕遗景刻[17]。
夜听极星阑[18]，朝游穷曛黑[19]。
哀哇动梁埃[20]，急觞荡幽默[21]。
且尽一日娱，莫知古来惑[22]。

【注释】

①袁本初：袁绍，字本初。 书记：掌管文书工作的官员。陈琳原为何进主簿，何进欲召四方猛将进京诛宦官，陈琳曾予劝阻，何进不听，后果被杀。陈琳避难冀州，依袁绍，袁绍使典文章。曹丕《典论·论文》："琳、瑀之章表书记，今之隽也。"

②皇汉：汉朝。此指东汉。 屯(zhūn 谆)邅(zhān 沾)：难行不进貌。喻处

境艰难。《汉书·叙传》载班固《幽通赋》:“纷屯亶与蹇连兮,何艰多而智寡。”注:“(屯亶、蹇连)皆谓险难之时也。”

③氛慝(tè 特):邪恶之气。

④董氏:指董卓。 沦:陷。 关西:函谷关以西之地。指长安及其附近地区。献帝初平元年(190),关东州郡起兵讨董卓,董卓焚毁洛阳,挟持献帝西迁长安。

⑤袁家:指袁绍。 河北:黄河以北地区。何进谋诛宦官,召董卓入京。卓至,议废立,绍不从,出奔冀州。及卓死,绍据河北,破公孙瓒,拥四州之地。

⑥单民:只身。指陈琳。民,五臣作“人”。 周章:犹周流,周行各地。《文选》屈原《九歌·云中君》:“龙驾兮帝服,聊翱游兮周章。”李善注:“周章,犹周流也。言云神居无常处,动则翱翔,周流往来,且游且翱也。”这里指陈琳从洛阳避难冀州。

⑦窘身:困迫之身。 羁勒:羁、勒皆马笼头,有嚼口的叫勒,没有的叫羁。喻牵制束缚。谓到袁绍帐下做书纪,受袁绍驱使。

⑧乖己:违背自己意愿。谓袁绍不拥戴汉帝,图谋自立。

⑨永:长。 故国:犹言故都,指东汉都城洛阳。代指东汉王朝。

⑩相公:丞相,指曹操。王粲《从军诗》其一:“相公征关右,赫怒震天威。” 勤王:出兵救援王朝。指曹操迎献帝都许。

⑪信:确实。 螯(máo 毛)贼:螯是吃禾根的虫,贼是吃禾节的虫。此喻危害国家的人。《诗经·小雅·大田》:“去其螟螣,及其螯贼。”

⑫东都:东汉都城洛阳。代指东汉王朝,谢朓《始出尚书省诗》:“还睹司隶章,复见东都礼。”

⑬则:轨则。指朝纲制度。

⑭已多:谓年已长。据俞绍初辑校《建安七子集》(中华书局版)所附《建安七子年谱》,建安十年(205)陈琳归曹操时,年约四十九岁。操任为司空军谋祭酒,管记室。

⑮矧(shěn 审):又。 乃:才。 值:碰上。 明德:完美的德性。喻指曹操。

⑯不告疲:不知疲倦。指曹丕。曹植《公宴诗》:“公子敬爱客,终宴不知疲。”

⑰燕:同“宴”。 遗:弃。 景刻:时光,时间。刻,漏刻。

⑱听：指听乐。 极星阑：谓尽夜。阑，夜阑，即夜将尽。《诗纪》四十八作“烂”。

⑲穷曛(xūn 勋)黑：谓直到天黑。曛，日落时的余光，指黄昏。

⑳哀哇：哀婉的音乐。哇，靡曼的乐声。扬雄《法言·吾子》：“中正则《雅》，多哇则《郑》。”

㉑急觞：急饮，连饮。 觞：酒器。 幽默：静寂无声。

㉒莫知：没有谁知。实际上是没有谁理睬。 惑：迷惑，指酒色之类的迷惑。酒色之类的迷惑自古所戒，故云“古来惑”。李善注引范晔《后汉书》：“杨秉尝从容言曰：‘我有三不惑，酒色财也。’”

【译文】

为袁本初的书记之士，故诗中多述丧乱之事。

东汉王朝碰上危险艰难，
普天之下遭受邪恶侵袭。
董卓挟持献帝占据关西，
袁绍身拥强兵盘踞河北。
只身一人飘泊周行各地，
困迫之身就任受束之职。
哪里料到事情不合己意，
心中常常思念旧京故国。
相公实心实意救国勤王，
确实能够平定害民蝥贼。
重又看见东都辉光灿烂，
重又看见汉朝纲纪轨则。
我有幸在年近半百之时，
碰上相公感受美好道德。
公子爱客丝毫不知疲倦，
欢宴畅饮不计光阴时刻。
夜里听乐一直要到天亮，

早晨游览一直要到天黑。
哀婉乐声振动梁上尘埃，
喧呼连饮荡除无声静默。
姑且尽情享受一日欢娱，
没有谁知古来酒色之惑。

徐 幹

【原文】

少无宦情①，有箕颍之心事②，故仕世多素辞③。

伊昔家临淄④，　　提携弄齐瑟⑤。
置酒饮胶东⑥，　　淹留憩高密⑦。
此欢谓可终⑧。　　外物始难毕⑨。
摇荡箕濮情⑩，　　穷年迫忧慄⑪。
末涂幸休明⑫，　　栖集建薄质⑬。
已免负薪苦⑭，　　仍游椒兰室⑮。
清论事究万⑯，　　美话信非一⑰。
行觞奏悲歌⑱，　　永夜系白日⑲。
华屋非蓬居⑳，　　时髦岂余匹㉑。
中饮顾昔心㉒，　　怅焉若有失。

【注释】

①宦情：做官的欲望。《三国志·魏书·王粲传》注引《先贤行状》："（徐

幹)轻官忽禄,不耽世荣。”

②箕颍:箕山,在今河南登封县东南;颍水,一名颍河,源出河南登封县西南。皇甫谧《高士传·许由》:“由于是遁而耕于中岳,颍水之阳,箕山之下。”后遂谓隐者所居之地曰箕颍。

③仕世:在世为官。 素辞:清素纯朴的言辞。

④伊昔:从前。伊,语助词。 临淄:汉置县名,属青州,在今山东淄博市东。按徐干北海剧(今山东昌乐县东)人,旧居临淄。

⑤弄:弹奏。 齐瑟:齐地所产的瑟。齐,《三谢诗》作“秦”。

⑥胶东:汉郡国名,治胶东县(今山东平度县)。徐干《中论序》:“于时董卓作乱,幼主西迁,奸雄满野,天下无主。……君避地海表。”胶东、高密皆近海之地,《中论序》“海表”当指此。董卓胁迫幼主(献帝)西迁在初平元年(190)二月,徐干避地海表当也在这一年。

⑦淹留:停,滞留。 憩(qì气):休息。 高密:秦置县名,汉宣帝时更为高密国,治高密县(今山东高密县西南)。东汉建武中改属北海国。

⑧终:久长。

⑨外物:与“我”相对的他物。这里指天下纷乱。 始:方。谓方兴未艾。《三谢诗》作“叹”。 毕:结束。《庄子·外物》:“外物不可必。”

⑩箕濮情:谓隐居辟世之情。箕,箕山,已见上。濮,濮水,其源在今河南境内,东流入山东,注入古巨野泽。据说庄周曾垂钓于濮。

⑪穷年:终年。 忧慄:忧惧。

⑫末涂:末路。喻忧惧潦倒的境地。涂,同“途”。 幸:幸遇。 休明:美善光明。指曹操。徐干《中论序》:“以发疾疢,潜伏延年。会上公(曹操)拨乱,王路始避,遂力疾应命,从戍征行。”建安十二年(207),曹操曾入青州,徐干应命从征或在此时。

⑬栖集:谓安身。 树:建立。 薄质:菲薄的品德。为自谦之辞,实际是说要建立美好的品德。曹丕《与吴质书》:“伟长独怀文抱质,恬淡寡欲,有箕山之志,可谓彬彬君子者矣。”

⑭负薪:背柴草。喻贫困。

⑮仍:《三谢诗》作“乃”。 椒、兰:皆香草名,以喻贵戚,即曹丕、曹植等。陆机《拟青青陵上柏》:“高门罗北阙,甲第椒与兰。”

⑯清论:高雅的谈论。 究万:探求到一万件。言所谈话题之广、之多。李

善注："曹操四言诗曰：'高谈虚论，问彼道原。'"

⑰美话：精美的言辞。　信：实。

⑱行觞：行酒，即依次敬酒。　悲歌：哀婉动人的歌曲。

⑲永夜：长夜。　系：连接。《三谢诗》作"继"。

⑳华屋：华美的房屋。　蓬居：草房，为贫贱者、隐居者所居。

㉑时髦：谓一时杰出人物。　匹：匹偶，伴侣。

㉒中饮：饮酒之中。饮，《三谢诗》作"期"。　昔心：即"箕颖之心事"。

【译文】

年轻时没有做官的打算，有隐居箕颖的想法，所以做官后诗中颇多清素纯朴的言辞。

从前老家在那青州临淄，
提携弹奏齐地所产之瑟。
移居胶东摆下酒席畅饮，
滞留高密安闲自在歇息。
这种欢乐自谓可以久长，
天下纷乱却是方兴难息。
内心摇荡隐居箕濮之情，
终年都为忧虑惶惧所迫。
末路之时幸逢美善光明，
安身立命建树菲薄品德。
既已免除背负柴草之苦，
高高兴兴游览椒兰之室。
高谈阔论探求事情万千，
精美言辞岂只一句两句。
行酒之间奏起哀婉乐曲，
绵绵长夜连接皓皓白日。
华美房屋不是蓬门草房，

杰出之士岂是我的伴侣。
饮酒之中回顾往昔心事，
无限惆怅觉得如有所失。

刘　　桢

【原文】

卓荦偏人①，而文最有气②，所得颇经奇③。

贫居晏里闬④，　少小长东平⑤。
河兖当冲要⑥，　沦飘薄许京⑦。
广川无逆流⑧，　招纳厕群英⑨。
北渡黎阳津⑩，　南登纪郢城⑪。
既览古今事，　颇识治乱情⑫。
欢友相解达⑬，　敷奏究平生⑭。
矧荷明哲顾⑮，　知深觉命轻⑯。
朝游牛羊下⑰，　暮坐括揭鸣⑱。
终岁非一日，　传卮弄新声⑲。
辰事既难谐⑳，　欢愿如今并㉑。
唯羡肃肃翰㉒，　缤纷戾高冥㉓。

【注释】

①卓荦(luò 落)：卓异，指才能卓异。 偏人：才行特出、与众不同的人。李善注引潘勖《玄达赋》："匪偏人之自韪，诉诸衷于来哲。"

②气：魏晋时期文学批评的一个概念，指作家的气质、个性和才性，在作品中往往表现为一种气势。刘桢作品气盛，故云“最有气”。曹丕《与吴质书》：“公干有逸气，但未遒耳。”钟嵘《诗品》上：“仗气爱奇，动多振绝。真骨凌霜，高风跨俗。但气过其文，雕润恨少。”

③经奇：即尚奇、爱奇。

④晏：安逸。　里闬(hàn 汗)：里门，乡里之门。即指乡里。

⑤东平：地名。《世说新语·言语》注引《典略》：“刘桢字公干，东平宁阳人。”其地在今山东宁阳县南。

⑥河兖：指兖州，黄河从其北境流过。　当：处在。　冲要：在军事或交通方面有重要作用的地方。兖州处在司、冀、豫、徐诸州中间，为兵家必争之地。

⑦沦飘：流落飘泊。　薄：迫近。　许京：即许县，献帝迁都于此，故称。刘桢《遂志赋》：“幸遇明后(曹操)，因志东倾。披此丰草，乃命小生。生之小矣，何兹云当？牧马于路，役车低昂。怆恨恻切，我独西行。”叙写独自西行、投奔曹操之状，可与本句参读。

⑧广川：大河，指黄河。

⑨招纳：即《遂志赋》所谓“乃命小生”之意。　厕：置身，加入。

⑩黎阳：县名，在今河南浚县东北，紧靠黄河北岸，为当时军事重镇。津：渡口。这句写随曹操北击袁绍。

⑪纪郢：见《王粲》首注⑯。纪，五臣本作“宛”。这句写随曹操南平荆州。刘桢《赠五官中郎将》其一：“昔我从元后(曹操)，整驾至南乡。”

⑫识：知道，懂得。　治：政治清明安定。　乱：政局动乱不定。

⑬解达：李善注：“言相谈说而进达也。”即互相解说而通达其意之意。

⑭敷奏：《尚书·舜典》：“敷奏以言，明试以功。”传：“敷，陈也；奏，进也。诸侯四朝各使陈进治理之言。”这里是相互陈述进言的意思。　究：探求。　平生：一生，此生。这里是“人生”的意思。

⑮矧(shěn 审)：又。　荷：承受。　明哲：谓明智能洞察事理。指曹丕。顾：顾念，关心。

⑯命轻：谓士为知己者死，故产生不把命看得过重的想法。李善注引王逸《晋书》：“孔坦表曰：‘士死知遇，恩令命轻。’”

⑰牛羊下：牛羊从牧场回圈休息。《诗经·王风·君子于役》：“日之夕矣，羊牛下来。”谓直到傍晚。

⑱括：至。《君子于役》："日之夕矣，羊牛下括。" 揭：鸡栖止的木架。《君子于役》："鸡栖于桀。"李善注："'桀'与'揭'音义同。"括揭鸣，即直到鸡鸣，即直到次日天明。

⑲传卮(zhī 之)：行酒，依次敬酒。卮，酒器。 弄：弹奏。 新声：新作的乐曲。

⑳辰事：犹言王事，为帝王效劳的事。辰，代指帝王。《文选》颜延之《车驾幸京口三月三日侍游曲阿后湖作》诗："春方动辰驾，望幸倾五州。"李善注："《论语》(《为政》)：子曰：'为政以德，譬如北辰。'故谓天子为辰也。" 谐：和谐，融洽。刘桢因"独平视"甄氏，遭到曹操减死输作(被罚去做磨石的苦役)的处罚，故云"难谐"。

㉑欢愿：欢乐和愿望。 并：一起。谓一起得到。欢乐聚会，于愿已足，是政治上受挫的表现，此中也寄托了谢灵运自己的感慨。

㉒肃肃：鸟飞声。 翰：鸟羽。刘桢《杂诗》："安得肃肃羽，从尔浮波澜。"

㉓缤纷：多而疾貌。 戾：到达。 高冥：高空。《诗经·小雅·小宛》："宛彼鸣鸠，翰飞戾天。"

【译文】

才能卓异，与众不同，而为文也最具气势，所写出的东西颇多奇异不凡之辞。

居住乡里清贫而又安闲，
从小生长在那兖州东平。
兖州地处冲要战火不断，
流落漂泊逐渐靠近许京。
大河宽阔没有倒流之水，
招致接纳从此置身群英。
北渡黄河进军黎阳渡口，
南平荆州登上纪郢古城。
古今大事都已观览清楚，
颇能体察社会治乱之情。

朋友欢聚互相解词达意，
陈述进言探究变幻人生。
承蒙明哲公子关心顾念，
相知日深自觉生命微轻。
早晨出游直到牛羊回圈，
傍晚聚首直到晨鸡啼鸣。
终年如此并非一日偶为，
依次敬酒奏起新曲声声。
王事既然难于和合协调，
欢乐愿望如今一起来临。
只羡慕肃肃劲飞的鸟羽，
转瞬间就飞进九天云层。

应 场

【原文】

汝颍之士①，流离世故②，颇有飘薄之叹③。

嗷嗷云中雁④， 举翮自委羽⑤。
求凉弱水湄⑥， 违寒长沙渚⑦。
顾我梁川时⑧， 缓步集颍许⑨。
一旦逢世难⑩， 沦薄恒羁旅⑪。
天下昔未定， 托身早得所。
官渡厕一卒⑫， 乌林预艰阻⑬。

晚节值众贤⑭，　会同庇天宇⑮。
列坐荫华榱⑯，　金樽盈清醑⑰。
始奏《延露》曲⑱，继以阑夕语⑲。
调笑辄酬答⑳，　嘲谑无惭沮㉑。
倾躯无遗虑㉒，　在心良已叙㉓。

【注释】

①汝、颍：二水名，皆在今河南境内。应玚为汝南郡南顿县（在今河南项县西）人，其地在汝、颍之间。

②世故：世间的变故。指汉末动乱。

③飘薄：谓居无定所。同“飘泊”。

④嗷嗷：鸟哀鸣声。《诗经·小雅·鸿雁》：“鸿雁于飞，哀鸣嗷嗷。”

⑤举翮（hé 合）：展翅。翮，鸟羽中间的硬管。　委羽：北方山名。《淮南子·地形》：“北方曰积冰，曰委羽……烛龙在雁门北，蔽于委羽之山，不见日。”

⑥求凉：雁每年秋分后飞往南方，次年春分后北返，即“求凉”之意。　弱水：北方水名。　湄：水边。成公绥《鸿雁赋》：“起寒门之北垠兮，集玄塞以安处。宾弱水之阴岸兮，有沙漠之绝渚。”

⑦违寒：避寒。　长沙：郡名，治长沙县，其地在今湖南长沙市。　渚：水中小洲。李善注：“《列子》曰：‘禽兽之智，违寒就温。’”

⑧梁：战国七雄之一，即魏。魏惠王于公元前362年徙都大梁（今河南开封市东南），故称梁。这里指在故梁地飘泊。　川：平旷之地。

⑨颍许：即许都。颍，颍川，郡名，许都在颍川境内。

⑩一旦：一时。　世难：世乱。

⑪沦薄：流离飘泊。　恒：常。　羁旅：寄居为客。

⑫官渡：地名，在今河南中牟县东北。建安五年（200），曹操在此大破袁绍。　厕：置身。

⑬乌林：地名，在湖北嘉鱼县西，长江北岸，对岸为赤壁山。建安十三年（208）十二月，曹操在此被孙权大败。　预：参与。

⑭晚节：晚年。应场预邺下之游，年在四十上下，自称为“晚”。 值：遇。

⑮庇天宇：言为朝廷效力。庇，遮护。天宇，天空。

⑯荫：覆盖，庇护。 华榱（cuī 摧）：指华美的房屋。榱，椽子，屋顶架屋瓦的木条。李善注引马融《樗蒲赋》：“坐华榱之高殿，临激水之清流。”

⑰樽：酒器。 盈：满。 醑（xǔ 许）：美酒。

⑱《延露》：古代民间歌曲名。

⑲阑夕：尽夜。刘良注：“阑，闲也。谓继夜而语。”

⑳调笑：嘲戏取笑。 辄（zhé 折）：立即，就。 酬答：酬对应答。

㉑惭沮（jǔ 举）：因惭愧而罢休。沮，终止。

㉒倾躯：谓全身心投入。 遗虑：余虑，遗憾。

㉓良：的确。 叙：《释名·释典艺》：“叙，杼也，杼泄其实，宣见之也。”杼，同“抒”，抒发。

【译文】

汝颍人士，因遭遇动乱而流转他乡，故诗中颇多飘泊之叹。

云中大雁嗷嗷地哀鸣着，
从北方委羽山展翅飞升。
飞到弱水岸边寻求凉爽，
飞到长沙小洲躲避寒冷。
回顾我在梁国故地游荡，
慢慢地又来到颍许安身。
一时遭遇世间纷纭动乱，
流离漂泊常常身为客人。
天下动乱长期未能安定，
早得托身之地早得安宁。
官渡之战置身士兵之中，
乌林之役亲历艰难险阻。
老来有幸遇到诸位贤才，
聚到一处齐心庇护朝廷。

身居华美房屋列坐聚饮，
酒杯之中盛满美酒晶莹。
开始演奏民间《延露》之曲，
接着你谈我论直到天明。
嘲戏取笑立即应声对答，
不会因嘲谑而惭愧停声。
全身投入没有遗憾顾虑，
心中情愫确已抒发尽兴。

阮瑀

【原文】

管书记之任①，有优渥之言②。

河洲多沙尘③，风悲黄云起④。
金羁相驰逐⑤，联翩何穷已⑥。
庆云惠优渥⑦，微薄攀多士⑧。
念昔渤海时⑨，南皮戏清沚⑩。
今复河曲游⑪，鸣葭泛兰汜⑫。
屣步陵丹梯⑬，并坐侍君子⑭。
妍谈既愉心⑮，哀弄信睦耳⑯。
倾酤系芳醑⑰，酌言岂终始⑱。
自从食萍来⑲，唯见今日美。

【注释】

①书记：见《陈林》注①。阮瑀归附曹操后，与陈琳并为司军谋祭酒，管记室，当时军国书檄，多是他和陈琳所作。 任：职责。曹丕《与吴质书》："元瑜书记翩翩，致足乐也。"

②优渥（wò 握）：指雨水充足。优，充足；渥，湿。《诗经·小雅·信南山》："益之以霢霂，既优既渥，既沾既足，生我百谷。"后泛称丰厚优裕为优渥。这句谓恩宠深厚，因而有感恩之言。李密《陈情表》："过蒙拔擢，宠命优渥。"

③河洲：河中的小块陆地。繁钦《述行赋》："茫茫河滨，实多沙尘。"（全赋今佚）

④黄云：云因风沙而黄，故称。

⑤金羁：金饰的马笼头。代指马。曹植《白马篇》："白马饰金羁，连翩西北驰。"

⑥联翩：飞驰不已貌。同"连翩"。

⑦庆云：五色云，古以为祥瑞之气。比喻曹操。 惠：降下，赐予。

⑧微薄：阮瑀自谓。 多士：众多士子。《诗经·大雅·文王》："思皇多士，生此王国。"

⑨渤海：郡名，治南皮县，其地在今河北南皮县东北。建安十年（205）正月，曹操攻南皮，追杀袁谭，平定冀州。

⑩清泚（cǐ 此）：清澈，明净。指水。攻克南皮后，诸子曾在南皮游宴。曹丕《与吴质书》："每念昔日南皮之游，诚不可忘。"

⑪河曲：黄河弯曲之处。曹丕《与吴质书》："时驾而游，北遵河曲，从者鸣笳以启路，文学托乘于后车。"信写于黄河南岸的孟津。

⑫鸣葭（jiā 加）：吹笳。葭，通"笳"，古管乐器名。 泛：漂流，谓乘船漂流。兰汜（sì 似）：长有兰草的水边。

⑬屣（xǐ 洗）步：轻快的步伐。 陵：登上。 丹梯：即丹陛，宫殿前的台阶，因漆成红色，故称。

⑭君子：指曹丕。

⑮妍谈：美妙的言谈。

⑯哀弄：哀婉动人的音乐。弄，乐曲。五臣作"音"。 信：实在。睦耳：犹

言顺耳、悦耳。曹丕《与吴质书》:“高谈娱心,哀筝顺耳。”

⑰倾酤(gū 姑):倒酒。 芳醑(xǔ 许):芳香的美酒。

⑱酌:饮酒。言:语助词。《诗经·小雅·瓠叶》:“君子有酒,酌言尝之。”岂终始:岂有个完。终始,偏义复词,偏用“终”义。

⑲食萍:萍,艾蒿,通“苹”。《诗经·小雅·鹿鸣》:“呦呦鹿鸣,食野之苹。我有嘉宾,鼓瑟吹笙。”是一首贵族宴会宾客的诗。这里即参与宴饮之意。

【译文】

担负书记的职责,诗中有感激恩宠深厚的言辞。

河中的小洲有许多沙尘,
悲风吹来一阵黄云腾起。
金羁骏马交相奔驰追逐,
轻捷矫健真是马不停蹄。
五色祥云降下充足雨水,
微才薄德高攀众多贤士。
想起以前聚会在渤海郡,
在南皮清水中自在嬉戏。
今天又来到河湾处畅游,
漂浮兰草水边吹笳连声。
迈步登上这红色的殿阶,
围坐一起陪奉贤德君子。
美妙言谈令人心情愉快,
哀婉音乐听来实在动人。
倒出来的都是醇香美酒,
畅饮起來哪还有个完时。
自从参加聚会饮宴以来,
只有今日聚会最为完美。

平原侯植

【原文】

公子不及世事①，但美遨游②，然颇有忧生之嗟③。

朝游登凤阁④，　日暮集华沼⑤。
倾柯引弱枝⑥，　攀条摘蕙草⑦。
徙倚穷骋望⑧，　目极尽所讨⑨。
西顾太行山，　北眺邯郸道。
平衢修且直⑩，　白杨信袅袅⑪。
副君命饮宴⑫，　欢娱写怀抱⑬。
良游匪昼夜⑭，　岂云晚与早。
众宾悉精妙，　清辞洒兰藻⑮。
哀音下回鹄⑯，　余哇彻清昊⑰。
中山不知醉⑱，　饮德方觉饱⑲。
愿以黄发期⑳，　养生念将老。

【注释】

①不及世事：不过问世务。

②美：喜欢。　遨游：游乐。

③忧生；为生存而忧虑。曹操去世、曹丕即位后，曹植备受压抑，曾有生命之虞，诗中颇多忧愁怨叹，故云。　嗟；叹。

④凤阁：鲍照《凌烟楼铭》："冰台筑乎魏邑，凤阁起于汉京。"这里泛指城

中楼阁。

⑤华沼：华美的水池。曹操在邺城建有铜雀园，园中有池，是诸子经常游宴的地方。

⑥柯：树枝。指大的树枝。 引：拉，牵。 弱枝：细枝。

⑦条：枝条。 蕙：香草名。

⑧徙倚：留连徘徊。 穷：尽。 骋望：纵目远望。

⑨讨：寻求。

⑩衢：四通八达的道路。 修：长。

⑪信：实在。 袅袅：摇荡不定貌。

⑫副君：太子。指曹丕。

⑬写：抒发。

⑭匪：非。匪昼夜，谓不分昼夜。

⑮清辞：清美的言辞。 洒兰藻：《三谢诗》作"兰蒲藻"。

⑯哀音：指乐曲。 回鹄：回旋飞翔的天鹅。下回鹄，谓音乐之美，引得天鹅也飞下来倾听。《韩非子·十过》："师旷不得已，援琴而鼓。一奏之，有玄鹤二八，道南方来，集于郎门之垝。再奏之而列。三奏之，延颈而鸣，舒翼而舞。"

⑰余哇：余音。哇，靡曼的乐声。 彻：通，达。 清昊(hào 浩)：指天。昊，元气博大貌。《列子·汤问》："秦青弗止，饯于郊衢，抚节悲歌，声振林木，响遏行云。"

⑱中山：汉郡国名，其地在今河北唐县、定县一带。古出美酒。《文选》左思《魏都赋》："醇酎中山，流湎千日。"李善注"中山出好酎酒，其俗传云：昔有人曰玄石者，从中山酒家酤酒，酒家与之千日之酒，语其节度，比归数百里，可至于醉。如其言饮之，至家而醉。……其俗语曰："玄石饮酒，一醉千日。"

⑲饮德：谓领受恩惠。 饱：满足。《诗经·大雅·既醉》："既醉以酒，既饱以德。"朱熹《集传》："德，恩惠也。言享其饮食恩意之厚。"

⑳黄发期：指老年高寿。人老发黄，故称老人曰黄发。曹植《赠白马王彪》："王其爱玉体，俱享黄发期。"

【译文】

公子不过问世务，只喜欢游乐，但诗中颇有忧生虑存之叹。

早上出游登上城中楼阁，
傍晚时分聚集华美池沼。
倾斜树枝拉过细小枝条，
攀着枝条采摘芳香蕙草。
留连徘徊尽力纵目远望，
极目把想看的全都看到。
往西远看高高的太行山，
往北远眺去邯郸的大道。
大道四通八达长而平直，
白杨树在风中来回荡摇。
副君吩咐摆下酒宴欢饮，
欢娱之中写诗抒发怀抱。
美好游乐不分白天黑夜，
哪里还管天晚还是天早。
各位来宾文思都很精妙，
清美言辞洒向幽兰绿藻。
哀婉乐曲引来天鹅聆听，
余音袅袅直上碧空九霄。
中山美酒饮后也不知醉，
领受恩惠才觉酒酣饭饱。
但愿大家都能享受高寿，
好好养生想想都将要老。

（张亚新　译注）

文选全译卷第三十一

杂拟下

效曹子建乐府白马篇一首

袁阳源

【作者】

袁淑(407～453),南朝宋文学家,字阳源,陈郡阳夏(今河南太康县)人。彭城王义康命为司徒祭酒,后补衡阳王义季右军主簿。卫军临川王义庆请为咨议参军,顷之迁司徒左西属,出为宣城太守,入补中书侍郎。后迁至太子左卫率。元嘉三十年(453)太子刘劭弑文帝自立,淑以不附逆见杀。宋孝武帝立,赠淑侍中、太尉,谥号忠宪公。《宋书》卷七十有传。

袁淑以死节而名著,《宋书》本传论中盛赞曰:"投躯殉主,世罕其人。若无阳源之节,丹青何贵焉尔。"有《袁忠宪集》,存诗五首,《文选》采录二首。明张溥在《汉魏六朝百三家集题辞·袁宗宪集》中评论袁淑,曰:"御虏议世讥其诞,然文采遒艳,才辩鲜及,即不得为仪、秦纵横,方诸燕然勒铭,广成作颂,意似欲无多让。诗章虽寡,其摹古之篇,风气竟逼建安。此人不死,颜谢未必能出其上也。"

【题解】

《文选》体列“杂拟”，皆摹仿汉乐府、古诗或前代文人诗之作，其旨要大率于比古志以明今情。袁淑此诗，仍袭曹植《白马篇》从军任侠，许国立功之旨。《宋书》本传载：北魏南侵至瓜州，宋文帝使百官议防御之术，淑上议曰：“宜选敢悍数千，骛行谮掩，偃旗裹甲，钳马衔枚，桧稽而起，扫洗噍类，漂卤浮山。”虽为时人所讥嘲，然其依重侠勇以成大功之意甚明，抑即袁淑在这首诗里所明的今情。明胡应麟《诗薮》曰：“袁淑阳《白马》……大大有建安风骨。”清何焯《义门读书记》评此诗：“音节悲壮，近太冲。”清于光华《重订文选集评》引孙月峰评此诗语：“闳壮而腴密，兼有文质。”

【原文】

剑骑何翩翩①，　长安五陵间②。
秦地天下枢③，　八方凑才贤④。
荆魏多壮士⑤，　宛洛富少年⑥。
意气深自负，　肯事郡邑权⑦。
籍籍关外来⑧，　车徒倾国酈⑨。
五侯竞书币⑩，　群公亟为言⑪。
义分明於霜⑫，　信行直如弦⑬。
交欢池阳下⑭，　留宴汾阴西⑮。
一朝许人诺⑯，　何能坐相捐⑰。
彯节去函谷⑱，　投珮出甘泉⑲。
嗟此务远图⑳，　心为四海悬㉑。
但营身意遂，　岂校耳目前㉒
侠烈良有闻㉓，　古来共知然㉔

【注释】

①剑：仗剑。 骑：跨马。 翩翩：形容动作或形态轻疾生动。《诗·小雅·四牡》："翩翩者鵻，载飞载下。"

②五陵：汉朝皇帝每立陵墓，都把四方富家豪族和外戚迁至陵墓附近居住。最著名的有：高祖之长陵、惠帝之安陵、景帝之阳陵、武帝之茂陵、昭帝之平陵，合称五陵。后来诗文中常用五陵称豪门贵族聚居之地。

③秦地：为古秦国之地。亦称秦中、关中，今之陕西。天下枢：指国之重要或中心地域。《战国策·秦三》："今夫韩魏，而天下之枢也。"

④凑：聚合、会合、才贤：有才德之士。

⑤荆：古代楚国的别称，因其始建国于荆山一带，故名。魏：战国时之魏国，辖地为今山西、河南一带。

⑥宛(yuān 渊)：古县名，战国楚邑，治所在今河南南阳市。 洛：洛阳。李善注引王逸《荔枝赋》："宛洛少年，邯郸游士。""荆魏"与"宛洛"两句为互文。

⑦肯：岂愿。 事：侍奉。 郡邑：郡县。 权：权力，此指郡邑之长官。

⑧籍籍：形容名声甚盛。李善注："'籍籍关外来'，谓被徙关中也。"

⑨车徒：车骑与仆从。三国魏之李康《运国论》："故遂挈其衣服，矜其车徒，冒在货贿，淫其声色，脉脉然自以为得矣。" 国：城邑。 廛：同廛(chán 缠)，民居或集货贸易之所。《礼·王制》："市，廛而不税。"郑玄注："廛，市物邸舍，税舍不税其物。"国廛犹言城市，此指长安城。

⑩五侯：汉成帝河平三年悉封诸舅：王谭为平阿侯、王商为成都侯、王立为红阳侯、王根为曲阳侯、王逢时为高平侯，时人谓之五侯。事见《汉书·元后传》。后泛称权贵之家为五侯家。 书币：李善注："古人相遗币，必书之於刺(名片)，故曰书币。"此指馈赠之钱财。

⑪群公：犹言诸公，即世人之谓。公：对尊长或平辈的敬称。 亟(qì 汽)：屡次，一再。李善注此句引《汉书》："郭解，河内轵人，自喜为侠。及徙豪茂陵，卫将军为言家贫，不中徙。上曰，布衣权至使将军，此其家不贫。解徙，诸公送出者千余。"此句意为：世人皆赞誉此位被徙关中之游侠，为之辨解。

⑫义分：李善注："义分则分义也。孙卿子曰：礼乐则修，分义则明。"分义即明辨情义。 明於霜：比霜显明。

⑬信行：诚实之品行。直如弦：谓性行诚直如弓弦而无弯折。李善注引应劭《风俗通》："顺带之末，京师谣曰：'直如弦，死道边；曲如钩，反封侯。'"

⑭交欢：结交而取得对方欢心。 池阳：古县名。李善注："左冯翊有池阳县。"

⑮汾阴：古县名。李善注："河东郡有汾阴县。" 西：李善注："西音先，协韵也。"

⑯许：应允。诺：诺言，应承给别人办事之话。《史记》季布传："楚人谚曰：'得黄金百(斤)，不如得季布一诺。'"

⑰坐：无故。《文选》：张华《杂诗》："朱火青无光，蘭膏坐相凝。"李善注："无故自凝曰坐。" 捐：舍弃。

⑱彯(biāo 标)：李善注："《公羊传》曰：曹子摽剑而去之。刘兆曰："摽，辟也。彯与摽字同。" 辟：抛弃。 节：符节，古代使臣执以示信之物。《周礼·地官·掌节》："掌守帮节而辨其用，以辅王命。"函谷：即函谷关。函谷关秦汉所指有别：秦之函谷关在今河南灵宝县南，为秦之东关。汉之函谷关在今河南新安县东北，去秦函关三百里。此处为泛指，未分秦汉函关之别。

⑲投珮：扔掷玉珮。玉珮：佩带之玉制饰物。 甘泉：秦汉时之宫名。秦始皇二十七年作甘泉前殿，汉武帝建元中增广之，建通天、高光、迎风诸殿。甘泉宫一名云阳宫，在陕西淳化县西北甘泉山。

⑳务：致力。远图：长远之谋。《左传·襄》二十八年："荣成伯曰：'远图者忠也。'"

㉑心为句：李善注："庄子曰：心若悬于天地之间。郭象曰：所希企者高而阔也。"此句意为：为天下而悬心，犹言志在解天下之急事。 悬心：挂念。

㉒校(jiào 较)：计较。

㉓侠烈：刚烈之侠士。良有闻：真有所闻。

㉔"古来"句：意谓自古来皆知侠士之志向、作为、际遇皆是如此。

【译文】

仗剑跨马，多么轻捷潇洒，
来往尽都豪门家。
在这天下枢杻的秦中，汇集多少英才高雅，

荆魏壮士，宛洛年少，
谁个不恃才自负，意气风发，
怎愿去事奉那郡守县衙。
仰慕你显赫的声名，
京城里全都是跟从的人流、车马，
权贵们竞送钱财，世人们赞誉争夸，
明辨情义，如秋霜似白而不假，
秉性诚直，如弓弦似直而不斜。
池阳县，侠士们交欢喧哗，
汾阴西，又饯行别话。
为他人一旦许下承诺，
又怎能无故失言耍滑。
抛掷这符节，离去这函关，
急匆匆走出甘泉殿厦，再将这玉珮抛砸，
叹此忠心，作长远的谋划，
心系天下，志向高洁无瑕。
唯求得志酬意满，
又怎计较这眼前的屈辱荣华。
刚烈的壮士啊，听说过吗，
自古如此，才算得真正的英雄豪侠！

（熊竹沅　译注）

效古一首

袁阳源

【题解】

《从军行》为乐府旧题。《乐府诗集》列入"《相和歌辞》,为"平调曲"。唐吴兢《乐府古题要解》下:"《从军行》,皆述军旅苦辛之词也。"《文选》录有王粲、陆机五言《从军行》。王粲之作凡五首,列为"军戒";陆机之作一首,为乐府。李善于王诗下引《魏志》曰:"建安二十年三月,公(曹操)西征张鲁。鲁及五子降,十二月至自南郑。是行也,侍中王粲作五言诗以美其事。"故诗作多有赞美魏武之词;而陆机一首,全显军旅征战辛苦之状。袁淑此诗,其意与陆机《从军行》同,所效之本或即陆诗。清于光华《重订文选集评》引孙月峰论此诗语:"视前首(按:指《效曹子建《白马篇》)骨力稍遒劲,而典腴不及。前类士衡,此类太冲。"

【原文】

讯此倦游士①,　本家自辽东②。
昔隶李将军③,　十载事西戎④。
结车高阙下⑤,　极望见云中⑥。
四面各千里,　从横起严风⑦。
寒燠岂如节⑧,　霜雨多异同⑨。

夕寐北河阴⑩，　梦还甘泉宫。
勤役未云已⑪，　壮年徒为空⑫。
乃知古时人⑬，　所以悲转蓬⑭。

【注释】

①讯：问询。　倦游士：生活飘迫潦倒之人。《北史·毛遐附毛鸿宾》："羁寓倦游之辈。四座常满，鸿宾资给衣食，与已悉同。"

②本家：泛指同家同宗。此指原籍。　辽东：郡名。战国燕地。秦置，属幽州，汉因之，治襄平，辖有今辽东东南部辽河以东地。

③李将军：西汉名将李广，与匈奴前后七十余战，匈奴惧之，号曰："汉之飞将军"。《史记》、《汉书》有传。

④事：征讨。西戎：李善注："西戎，匈奴也。"

⑤结车：驾车结交、往来。李善注引《吕氏春秋》高诱注："结，交也。"交：结交往来。　高阙：塞名。故址在今内蒙古杭锦后旗白。《史记·匈奴传》谓战国赵武灵王自代旁阴山下，至高阙为塞。

⑥极望：犹言极目，尽眼力所及。　云中：郡名。战国赵地。秦置郡。汉分云中郡之东北部置定襄郡，西南部仍为云中郡，治云中县，即今内蒙古托克托县。东汉废。

⑦从横：即纵横，从通纵。南北曰纵，东西曰横。"纵横"与上句之"四方"意同。　严风：凛冽之塞风。

⑧燠（yù 预）：热，暖。《诗·唐风·无衣》："不如子之衣，安且燠兮。"寒燠即冷暖。　如：依照。　节：节令。

⑨异同：不一样。诸葛亮《出师表》："宫中府中，俱为一体，陟罚臧否，不宜异同。"此句谓四方征战布霜降雨都不一样。

⑩北河：河名。黄河由甘肃流向河套，至阴山南麓，分为南北二河，北边的称北河。《汉书·武帝纪》："北登单于台，至朔方，临北河。"阴：河之南岸为阴。

⑪勤役：辛劳地戍守边疆。

⑫壮年：古以三十岁为壮，称三四十岁壮盛时间为壮年。　徒：但，只。《孟子·离娄》："徒善不足以为政，徒法不能以自行。"　空：事无实效。

⑬蓬：蓬蒿，草名。秋枯根拔，风卷而飞，故又名飞蓬。蓬草随风飘转，以喻

身世飘零。《文选》：曹植《杂诗》之二："转蓬离本根，飘飘随长风。类此客游子，捐躯远从戎。"

【译文】

若问我，失意潦倒的军汉，
家在辽东路漫漫，
往昔尾随李将军，
与匈奴，苦苦地十年征战。
高阙要塞，我驾车往返，
云中城外，我极目远看，
转战千里，西北东南，
塞风凛冽，驰骋犹酣。
不合时令，那顾寒暑冷暖，
布霜降雨，四方又全不一般，
静夜里，躺卧在北河南岸，
睡梦中，再回到甘泉宫里游转。
辛劳的戍边，何时才是尽端，
年岁及壮，功名竟还是虚幻，
此时才知古代的征夫，几多磨难辛酸，
长年飘零的我啊，唯有暗中长吁短叹。

（熊竹沅　译注）

拟古二首

刘休玄

【作者】

刘铄，字休玄，刘宗文帝第四子，元嘉十六年(439年)封南平王，翌年都督湘州诸军事，不之镇，领石头城戍事。元嘉二十七年(450年)随文帝北伐，于寿阳败绩，翌年授散骑常侍、抚军将军、领兵戍石头城。元嘉三十年(453年)刘劭弑文帝自立，以休玄为开府仪同三司。宋武帝入统，休玄归之，进侍中、司空。休玄不推事孝武帝，且为刘劭所任，孝武衔之，下药于食中毒杀之，时年二十三，追赠侍中、司徒。今存诗十首，其中五言诗九首。钟嵘《诗品》列刘铄为下品，谓其希慕宋孝武帝"雕文织彩，过为精密"之诗。观刘铄诗，亦多为字俳句对，雕刻有过，且显轻巧，为宋孝武一途耳。

拟行行重行行

【题解】

《行行重行行》为《古诗十九首》之首篇。拟诗之主旨，评说有

异：张铣曰："此篇叙闺人思远之意。"逯钦立《先秦汉魏晋南北朝诗》引《宋书》本传曰："铄未弱冠，拟古诗三十余首，时人为亚迹陆机。"似谓此诗属闺思一类；而何焯《义门读书记》则曰："二诗（按：此诗及《拟明月何皎皎》）亦惧孝武之猜忌而作。"似另有寄托。若以刘铄附逆劭而孝武衔之的际遇看，以"有寄托"观此诗，则更有玩味之处。此诗运笔，清于光华《重订文选集评》引孙月峰语曰："姿态虽浓，要不失纤冶，有古诗为墙壁，驱运自易。"此亦合于钟嵘"雕文织彩"、"轻巧"之论。

【原文】

眇眇陵长道①，　遥遥行远之②。
回车背京里③，　挥手从此辞。
堂上流尘生④，　庭中绿草滋。
寒蝗翔中曲⑤，　秋兔依山基⑥。
芳年有华月⑦，　佳人无还期。
日夕凉风起，　对酒长相思。
悲发江南调⑧，　忧委子襟诗⑨。
卧觉明灯晦⑩，　坐见轻纨缁⑪。
泪容不可饰，　幽镜难复治⑫。
愿垂薄暮景⑬，　照妾桑榆时⑭

【注释】

①眇眇（miǎo 秒）：辽远。《楚辞》：屈原《九章·悲回风》："登石峦以远望兮，路眇眇之默默。"　陵：通凌，登，升高。　长道：远道。

②远之：黄侃《文选平点》："远之即远哉，改以合韵耳。"

③回车：回转车头。《史记·司马相如传·上林赋》："道尽途殚，回车而还。"背：转身，离开。京里：京城。

④流尘：浮尘。

⑤寒螿（螿 jiāng 姜）：李善注引《淮南子》曰："兔走归窟，寒螿翔水，各哀其所生。"高诱注："寒螿，水鸟。哀犹爱也。"水曲：岸随水势曲折，故称水畔为水曲。

⑥山基：山根，山脚。

⑦芳年：美好的年岁。指少年青春。　华月：美妙的日子。

⑧江南调：即《江南曲》，乐府相和曲名，一作《河南可采莲》。《乐府题解》："江南古辞，盖美芳晨丽景，嬉游得时。"

⑨委：委付，付与，亦即寄托于。　子襟：即子衿。《诗·郑风·子衿》："青青子衿，悠悠我心。纵我不往，子宁不嗣音。。"吕向曰："《子衿》诗，叹无音信也。"

⑩卧觉：睡醒。晦：暗淡。此谓夜久则灯暗。

⑪纨缁：黑色的绢帛。张铣曰："言昼夜坐卧，惟见此而已。"

⑫幽镜：李善注引曹植《七哀诗》："膏沐谁为容，明镜阁不治。"幽镜为明镜久不拂拭生尘而不明也。治：调治，此处作拂试解。

⑬重：将及。　景：日光。　薄暮：接近日落，傍晚。

⑭桑榆：桑树与榆树。李善注："日在桑榆，以喻人之将老。"

【译文】

登上离别之路，
远行啊，是一条多么漫长的旅途。
回转车头离京都，
哪容得挥手辞别再踯躅。
厅堂上，已尘埃满布，
庭院里，蔓草却滋润碧绿。
寒螿鸟，只在那水畔飞舞，
秋兔啊，依恋的是那山脚洞窟。
芳龄华年，该有几多美好时光欢度，
思恋的人啊，归期为何总是难卜。

黄昏后，秋风阵阵吹拂，
把酒独酌，长长的相思有多苦，
几多悲伤，全由这“江南”调中引出，
一腔忧愁，全寄托在《子衿》诗里倾诉。
醒来时，明亮的灯光已昏暗摇忽，
孤寂默坐，顿觉妾身轻贱，真如这黑黑的绢素。
不再去掩饰满脸的泪痕、凄楚，
不再去将镜面的灰尘扫除，
只愿那西斜的夕阳久久停住，
照照我，不要步入那晚年迟暮。

（熊竹沅　译注）

拟明月何皎皎

【题解】

此诗拟古诗十九首之《明月何皎皎》。刘良曰：“此篇为远人未还，中闺见月而叹。”视其为闺思之作。然依何焯“有寄托”读之，似可一窥刘铄“惧孝武之猜忌”而以闺思寓之的无奈心境。评家看重的是这首诗的首尾开合处，于光华《重订文选集评》引孙月峰语，谓此诗开头之“半”字：“半虚半实，正是唐律所祖”，而结尾处急速收笔，“只是如此便住，含味乃更长。”

【原文】

落宿半遥城①，　浮云蔼曾阙②。
玉宇来清风③，　罗帐延秋月④。
结思想伊人⑤，　沈忧怀明发⑥。
谁为客行久⑦，　屡见流芳歇⑧。
河广川无梁⑨，　山高路难越。

【注释】

①落宿(xiù 袖)：星落也。宿，列星，即天空中定时出现的恒星。此处以指星星。遥城：地处边远之城。

②蔼：暗淡貌。《文选》：司马相如《长门赋》："望中庭之蔼蔼兮，若季秋之降霜。"　曾阙：高大的城楼。曾：层也。李善注引郑玄《诗》笺曰："曾，重(chóng 崇)也。"

③玉宇：天空。

④延：引进。此处解为照进。

⑤结思：凝思，犹言思念到专注聚神的地步。伊人：这个人，即恋人。《诗·秦风·蒹葭》："所谓伊人，在水一方。"《诗》笺："伊当作繄，繄犹是也。"

⑥沈忧：深忧也。明发：黎明，平明。此句意谓怀忧于心，自夜至旦也。

⑦谁为：黄侃《文选平点》："谁为，犹为谁。"

⑧流芳：散布香气，指花气飘香。

⑨河广：河面宽阔。川：河流。　梁：桥梁。

【译文】

边城上已坠落半天星斗，
浮云遮暗了高高的城楼。
从天宇吹过来凉风悠悠，
秋夜的月儿又将罗帷照透。
恋人啊，想念你，我聚神凝眸，

总排不开一整夜深深的哀愁。
我为谁，远行得日子这么久，
在这里，花开花落，经历了几多时候。
怎奈何，宽阔的河面无桥可走，
又怎能攀越过，归程上的重重山头。

（熊竹沅　译注）

和琅邪王依古一首

王僧达

【作者】

见卷二十六《答颜延之》作者介绍。

【题解】

此诗所拟之本未详，《文选》评注家如李善、“五臣”、何焯于此题下都付阙如。此诗在评说“兴亡”事中，寄寓了守命无怨、苟且人生之意，这亦是刘宋王朝在经历了刘劭篡权被诛之后，士大夫的一种典型心态。王僧达之诗，钟嵘《诗品》列为中品，谓其诗与谢瞻等四人皆源于张华，因“才力苦弱，故务其清浅”，然亦“殊得风流媚趣”；而与谢瞻等四人相较，钟嵘以为王僧达成就最为突出，故有“征虏卓卓，殆欲度骅骝前”之评。于此诗，清于光华《重订文选集评》引孙月峰语曰：“风骨亦苍劲”，“景语甚浓”。

【原文】

少年好驰侠①，　旅宦游关源②。
既践终古迹③，　聊讯兴亡言④。
隆周成薮泽⑤，　皇汉成山樊⑥。
久没离宫地⑦。　安识寿陵园⑧。
仲秋边风起，　孤蓬卷霜根⑨。
白日无精景⑩，　黄沙千里昏。
显轨莫殊辙⑪，　幽涂岂异魂⑫。
圣贤良已矣⑬，　抱命复何怨⑭。

【注释】

①驰侠：驰马任侠。任侠，负气仗义，打抱不平。

②旅宦：宦游，即出游求仕。　关源：刘良曰："关源，谓关中、河源也。"此处泛指游迹无所不及。

③践：足迹所至，即游踪。　终古：远古。

④讯：通作谇。《诗·大雅·皇矣》："执讯连连。"《笺》："讯，言也，亦作谇。"谇：数说，评说。刘良谓开头四句："言少年好游侠，旅学关源，历远古之迹，问兴亡之事。"

⑤隆周：指周朝，誉其昌盛开平。　薮泽：大水泽，即今之湖泊。

⑥皇汉：大汉。对汉朝的美称。皇，大也。　山樊：于光华《重订文选集评》："山樊，山林也。""薮泽"与"山樊"为互文。吕向谓："言周汉之居尽成薮泽山樊。"

⑦离宫：古代帝王于正式宫殿之外别筑宫室，以便随时游处，谓之离宫，言与正式宫殿分离。

⑧寿陵：汉代的陵园名。李善引张晏《汉书》注曰："景帝作寿陵也。"

⑨孤蓬：孤单的蓬草。蓬草根为白色，故曰霜根。霜，喻白色。

⑩精景：此指灿烂的阳光。景，同影。

⑪显轨：犹言显达者人生之路。　辙：车迹印。此指人生必归于死之趋向。

⑫幽涂：人死之后到阴间所处之境。 异魂：犹言人之死，于阴间皆成鬼魂而无异也。

⑬圣贤：圣哲之士。 良：诚、确实。 已矣：此指如此渡过一生。

⑭抱命：持守性命。此处指维系生命。吕延济谓此句曰："我抱区区之命能为怨嗟乎？"

【译文】

年少翩翩，又喜好任侠扬鞭，
出游四方，旅宦之迹无处不见。
既然将天下的古迹览遍，
聊发这天下兴亡的评论之言。
兴隆的周朝早化成大泽湖堰，
辉煌的汉朝已变成山林一片。
座座离宫，苑没埋掩，
怎认得哪儿是皇家的寿陵园。
仲秋时节，边地风卷，
掀起这连根的蓬草，抛洒满天。
白日里，那阳光已失去灿烂美艳，
唯有这漫漫黄沙，把昏暗直延到天边。
盛极必衰，人生必死，纵是显贵亦不可改变，
幽涂阴界，那鬼魂岂有异别，还分贵贱。
确实如此，终了一生，
自古有多少哲人圣贤，
渺小的我啊，
就这般维系着生命，有何抱怨。

（熊竹沅 译注）

拟古三首

鲍明远

【作者】

见卷十一《芜城赋》作者介绍。

【题解】

鲍照存诗三百余首，其中以“代”、“拟”、“学”为题的仿拟之作近七十首，可谓刘宋一代的拟作大家。细观刘宋时的仿拟之作，已不能尽肖所拟之本，毕竟“文变染乎世情”，诚如严羽《沧浪诗话》所言：“虽谢康乐拟邺中诸子之诗，亦气象不类。至于刘休玄《拟行行重行行》等篇，鲍明远《代君子有所思》之作，仍是其自体耳。”钟嵘《诗品》谓鲍照“才秀人微，故取湮当代。”故其已成“自体”之拟作，多寓身世之叹。逯钦立《先秦汉魏晋南北朝诗》、《鲍氏集》(四部丛刊本)列“鲁客事楚王”一首为鲍照《拟古诗》一组八首的第一首，“十五讽诗书”在其次，“幽并重骑射”为第三。昭明所选这三首诗顺序有变，抑或是为了突出不为世用，怀才不遇的主旨，亦如刘良所言：“刺有德不仕，安于幽棲。”于光华《重订文选集评》引孙月峰语，评这三首诗，谓“幽并重骑射”一首“气劲而骨奇，调响而语峭，句含金石，字挟风霜。”谓“鲁客事楚王”一首特调比前篇稍平，然奇峭之气犹自跨俗。”谓“十五讽诗书”一首“典腴中神气自振。”可谓推崇有加矣。

【原文】

幽并重骑射①，　少年好驰逐。
毡带佩双鞬②，　象弧插彫服③。
兽肥春草短，　飞鞚越平陆④。
朝游雁门上⑤，　暮还楼烦宿⑥。
石梁有余劲⑦，　惊雀无全目⑧。
汉虏方未和，　边城屡翻复。
留我一白羽⑨，　将以分虎竹⑩。

【注释】

①幽并(bīng 冰)：幽州和并州。古代燕赵之地，居民以慷慨悲歌、尚气任侠著名，故多并称。骑射：骑马射箭。

②毡带：毡制的腰带。丁福保《文选类诂》："以毡为带身，谓之毡带。"带身：佩带、腰带。　鞬：盛弓的袋子。李善注引《魏志》曰："董卓有武力，双带两鞬，左右驰射。"

③象弧：张铣曰："象弧，象牙饰弓也。"即两头有象牙装饰的弓。彫服：张铣曰："服，盛箭器。彫：画。"即有彩绘的箭袋。服：通箙，盛箭之器。

④飞鞚：驾驶快马。平陆：平道。即平坦之路。

⑤雁门：郡名。战国赵地，秦置郡。今山西北部皆其辖地。

⑥楼烦：古县名，汉置，属雁门郡。

⑦石梁：山梁。李善注："阚子曰：'宋景公使工人为弓，九年乃成。公曰：何其迟也？工人对曰：臣不复见君矣，臣之精尽于此弓矣。献弓而归，三日而死。景公登虎圈之台，援弓东面而射之，矢逾于西霜之山，集于彭城之东，其余力逸劲犹饮羽于石。'"此句意谓挽弓劲射，箭设入山梁，犹有余劲。

⑧无全目：双目不全。李善注："帝王世纪曰：帝羿有穷氏与吴贺北游，贺使羿射雀。羿曰：生之乎？杀之乎：贺曰：射其左目。羿引弓射之，误中右目。羿抑首而愧，终身不忘。故羿之善射，至今称之。"此句意谓箭发能中惊雀之目，使之双目不全也。

⑨白羽：箭名。《史记·司马相如传》："弯繁弱，满白羽，射游枭。"《正义》："文颖云：引弓尽箭镝为满，以白羽羽箭，故云白羽也。"

⑩虎竹：虎符与竹使符，古代调兵遣将或给予郡国守相的信物。《史记·文帝纪》："初与郡国守相为铜虎符，竹使符。""注"引应劭曰："竹使符，皆以竹箭五枚，长五寸，镌刻篆书，第一至第五。"分虎竹：意谓能立功以得分符的显官之位。

【译文】

弯弓盘马，狩猎驰逐，
少年的喜好，幽并的习俗。
采绘的袋囊里满是利箭，
腰带上悬挂一对强弩。
野兽是这般膘肥，春草是这般嫩绿，
躍马驰骋，平川一路。
清晨，雁门关上信步，
傍晚，楼烦城里投宿。
挽弓劲射，箭入山梁劲力足，
一发中的，惊鸟休想保双目。
现今与胡虏正失和动武，
边城的形势，屡次地苍黄反复。
留给我吧，只需一枝白羽箭簇，
凭着它去撕杀，获得那分符的显位爵禄。

【原文】

鲁客事楚王①，　怀金袭丹素②。

既荷主人恩③，　又蒙令尹顾④。
日晏罢朝归⑤，　鞍马塞衢路。
宗党生光华⑥，　宾仆远倾慕⑦。
富贵人所欲，　道德亦何惧⑧。
南国有儒生⑨，　迷方独沦误⑩。
伐木清江湄⑪，　设置守鼋兔⑫。

【注释】

①鲁客：张铣曰："鲁客谓鲁人也。"李善注："鲁客，假言，盖言此为虚设之事，非有史所据。"

②怀金：怀揣金印。李善注："李轨曰：金，金印也。"　袭：穿衣。《史记·司马相如传》："袭朝衣，乘法驾。"司马彪注："袭，服也。"　丹素：《诗·唐风·扬之水》："素衣丹襮。"《笺》："襮，领也。诸侯绣黼丹朱衣。"后因称士大夫的衣服为丹素。

③主人：李善注："主人谓君也。"即指国君。　荷：承受，受恩感激。

④令尹：李善注引《汉书》注曰："诸侯之卿，唯楚称令尹，其余国称相也。"此指国相。

⑤日晏：日暮。　罢朝：散朝，即朝事完毕而返家。

⑥宗党：众多的亲族。丁福保《文选类诂》："宗，众也。"党：亲族。《礼·坊记》："子云：睦于父母之党，可谓孝矣。"　光华：光彩。

⑦宾仆：宾客与仆人。

⑧道德：六臣本"道德"为"道得"。李善曰："《论语》曰：富与贵是人之所欲也，不以其道得之，不处也。"

⑨儒生：鲍照之自称也。

⑩迷方：迷失求仕的方向。　沦误：自己沈沦而感到是错误的。刘良谓此句意为"感于所向而自沈沦为误也。"

⑪伐木：《诗·小雅·伐木》序曰："伐木，燕朋友故旧也。"后用以比喻友谊深挚。　湄：岸边。此句意谓结友交欢于清江之滨。

⑫设置：布置捕兔的猎网。　置：jū，音居，捕兔之网。　鼋兔：狡兔。鼋：

chán，音产。吕向曰："设网守兔喻怀德待禄。"

【译文】

鲁客事奉楚国的君主，
怀揣金印，穿的是白质红领的官服。
既沐浴君王的厚爱恩抚，
又蒙受相国的百般眷顾。
散朝返家，每日的薄暮，
跟从的车马拥塞了通衢大路。
一个个脸生光彩，亲戚们扬威耀武，
充满敬意，远远相迎，全都是宾客奴仆。
富贵荣华，世人谁个不思慕，
取之有道，有什么羞愧心怵。
唯有我，这南国的一介寒儒，
求仕无方，迷惑沈沦，竟将这前程耽误。
与挚友欢集在这清江岸渚，
秉持节操，等待出仕，如这般的张网待兔。

【原文】

十五讽诗书①，　篇翰靡不通②。
弱冠参多士③，　飞步游秦宫④。
侧睹君子论⑤，　预见古人风⑥。
两说穷舌端⑦，　五车摧笔锋⑧。
羞当白璧贶⑨，　耻受聊城功⑩。

晚节从世务⑪， 乘障远和戎⑫。
解佩袭犀渠⑬， 卷袤奉卢弓⑭。
始願力不及⑮， 安知今所终⑯。

【注释】

①讽：背诵，熟读。

②篇翰：犹篇章，文字著作，一般指诗文。

③弱冠：《礼·曲礼》上："二十曰弱，冠。"后沿称年少为弱冠。 参：拜谒。 多士：李周翰曰："多士，朝臣也。"

④飞步：健步如飞。秦宫：指西都长安之宫殿。

⑤侧睹：侧立而看。侧立即傍立，表示谦虚、尊敬。 君子论：才德之士的宏论。

⑥预见：犹谓早得目睹，与侧睹皆表尊敬之意。

⑦两说(shuì 税)：李善注：两说谓鲁连说新垣衍及下聊城。《史记》载：秦东围邯郸。魏王使新垣衍入邯郸，说平原君尊秦昭王为帝。(秦必罢兵去。鲁连闻之，乃责垣衍。新垣衍请出，不敢言帝秦。)秦将闻之，为却五十里。《史记》又载：田单攻聊城不下。鲁连乃为书，约之矢以射聊城中，燕将得书自杀。 穷舌端：使辩士的言辞尽竭。舌端：舌尖，此指言语，言辞。

⑧五车：《庄子·天下》："惠施多方，其书五车。"后以五车称人的博学。 摧：挫败。 笔锋：此指辩士辩辞的锋芒、气势。黄侃《文选平点》谓"两说"、"五车"两句："此言两说足以穷他人之舌端，五车足以摧他人之笔锋也。"

⑨羞当句：李善注：《韩诗外传》曰楚襄王遣使者持金千斤、白璧百双，聘庄子以为相，庄子不许。 贶(kuàng 况)：赐与、加惠之意。此句意谓以接收白璧之赐为羞。

⑩耻受句：李善注：《史记》曰鲁连助田单降聊城，田单入则屠城，归而言鲁连，欲爵之，鲁连不受而逃隐于海上，以受爵为耻。

⑪晚节：晚年。《史记·外戚世家》："(吕后)及晚节色衰爱弛，而戚夫人有宠。"世务：时务。从：参与其事之意。

⑫乘障：戍守过关。乘，守也。障：边境险要处戍守之堡寨，即亭障。 和戎：古代称汉族与少数民族结盟友好为和戎。

⑬解佩：脱去华美的衣服。李周翰曰："佩，文服也。"犀渠：甲胄。李周翰曰："犀渠，甲也。"

⑭卷袠：收卷书籍。袠：同帙，书套，书函，此指书籍。 奉：通捧。 卢弓：黑色之弓。《书·文侯之命》："卢弓一，卢矢百。"传："卢，黑也。"李周翰谓此二句意为"弃笔从戎也。"

⑮始愿：初衷，最初的心愿。

⑯今所终：今在何处终老。吕延济谓"始愿"、"安知"二句意为："始愿为文，力已不及，今为武士，未知其终竟。"

【译文】

年方十五，《诗》、《书》已能背诵，
诗文篇什，无不烂熟精通。
二十少年，已跻身在朝臣当中，
健步如飞，游遍了汉地秦宫。
若干次，傍立聆听过贤士们高论恢宏，
若干次，瞻仰了贤士们古人般的风度姿容。
辩才如鲁连，使多少辩士理屈辞穷，
博学如惠施，挫败多少辩士的气势机锋。
羞于接受那白璧百双的丰厚馈送，
耻于领受那破城屠敌的封爵军功。
到如今事务缠身，境遇竟这般悲痛，
已迫晚景去戍边，与外族和好结盟。
脱去华服披甲胄，违愿地投笔从戎，
掩藏熟读的诗书，违愿地捧上硬弩强弓。
作一名武士，这岂是初衷，
从今后，前途难十，无奈何啊，忧心忡忡。

（熊竹沅 译注）

学刘公干体一首

鲍明远

【题解】

此诗虽短，但其旨存有异说：五臣以为是以景喻人，刘良曰："此诗言正直被邪佞所损，虽行质素而衰盛相陵。"张铣曰："风雪比佞人也，桃李比忠直也。未遇至明之时，虽忠直之人为佞者所乱，不成其美。"而何焯《义门读书记》谓此诗"不过识时之意。"细玩此诗，似觉五臣之说过于穿凿，于全诗不可通解，故当以何说为是。诗之旨似言冬之景自有一番气象，若移之于艳阳之时，则不可成其美，此亦戒人当识时之意也。

【原文】

胡风吹朔雪①，　千里度龙山②。
集君瑶台里③，　飞舞两楹前④。
兹辰自为美⑤，　当避艳阳年⑥。
艳阳枕李节⑦，　皎洁不成妍⑧。

【注释】

①胡风：北风。吕向曰："胡在北。"　朔雪：黎明时所降之雪。朔：《释文》："朔，旦也。"夏以平旦为朔，殷以鸡鸣为朔，周夜半为朔。见班固《白虎通·三正》。

②龙山：山名。即逴(chuò 座)龙山。《楚辞·大招》："北有寒山，逴龙赦只。"王逸注："逴龙，山名也。……言北方有常寒之山，阴不见日，名逴龙。"

③君：此指朔雪也。瑶台：美玉砌成之台，《离骚》："望瑶台之偃蹇兮，见有娀之佚女。"

④两楹：殿堂的中间之地。楹：堂前直柱。

⑤兹辰：指风雪飞舞之晨也。辰，通晨。

⑥当避：当有别于。避：违背。艳阳年：指艳阳天。李善注："《神农本草》曰"春夏为阳。"盖春阳之时，阳光灿烂，景色佳美，故称艳阳天。逯钦立《先秦汉魏晋南北朝诗》此句作"艳阳天"。

⑦桃李节：桃李盛开的时节。

⑧皎洁：光白貌。此处指白雪也。妍：美好。

【译文】

劲猛的北风将雪片漫天抛撒，
一扫千里，直飘过逴龙山崖。
皑皑白雪，堆积在瑶台殿厦，
飞舞飘扬，又铺满了殿堂的地下。
自有一番美啊，这清晨的色洁景佳，
真不同阳光灿烂、色泽鲜美的春夏。
春夏时节，桃李正怒放着枝头的繁花，
皎洁的白雪，又岂能绘得出妍美的图画。

（熊竹沅　译注）

代君子有所思一首

鲍明远

【题解】

此诗所拟之本为陆机之《君子有所思行》(见《文选》第二十八卷)。鲍照之拟作之陆机之原诗,皆以讽喻警执事,一如何焯《义门读书记》谓陆诗为"此君子以戒有位者也。"陆诗运笔,如张铣所言:"言登山下见都邑,时俗奢泰,因思古之贤哲与前君子行有异也。"侧重讽劝;鲍照的这首拟作,以"满则欹"、"厚则没"之理启示昏昧,侧重警戒,故李周翰谓鲍照拟作"此言防渐忌满之戒",似得拟作之旨也。清于光华《重订文选集评》引孙月峰语,评此诗"着意雕琢,然笔力劲,音调自是振拔。"亦可谓得其大概。

【原文】

西出登雀台①,　东下望云阙②。
层阁肃天居③,　驰道直如发④。
绣甍结飞霞⑤,　琁题纳行月⑥。
筑山拟蓬壶⑦,　穿池类溟渤⑧。
选色遍齐代⑨,　征声币邛越⑩。
陈钟陪夕宴⑪,　笙歌待明发⑫。
年貌不可还⑬。　身意会盈歇⑭。

蚁壤漏山河⑮，　丝泪毁金骨⑯。
器恶含满欹⑰，　物忌厚生没⑱。
智哉众多士⑲，　服理辩昭昧⑳。

【注释】

①雀台：即铜雀台，曹操于建安十五年所造。李善注引《邺中记》曰："邺城西北立台，名铜雀台。"故址在今河北省临漳县西南。

②云阙：高入云霄的宫阙。吕延济曰："望云阙，言阙高至云。"

③层阁：重重迭迭的殿阁。层：重(chóng 虫)也。　天居：帝王的居所。李善注引蔡邕《述征赋》曰："皇家赫而天居。"

④驰道：帝王所行之御路。《礼·曲礼》："岁凶，年穀不登……驰道不除。"疏："驰道：正道，如今御路也。是君驰走车马之处，故曰驰道也。"

⑤绣甍(méng 门)：彩绘的屋梁。栋梁、屋脊。

⑥琁题：美玉装饰的出簷。琁，美玉，同璇。题：榱(cuī 吹)题，即屋簷的椽子头，今通称出簷。纳：吕向曰："纳，引其光也。"此即照映之意。

⑦拟：仿效。蓬壶：传说中的神山。《史记·秦始皇本纪》："齐人徐市等上书，言海中有三神山，名曰蓬莱、方丈、瀛洲，仙人居之。"方丈又名方壶，见旧题晋王嘉《拾遗记》。

⑧溟渤：溟海与渤海。

⑨选色：挑选美女。　齐代：地名。齐在今山东省内。代在今河北省内。

⑩征声：征招善歌者。　邛(qióng 穷)越：地名。邛在今四川省内，越在今浙江省内。币：周，遍。币同匝。张铣："邛，越，二国名，其中人善歌，故征之。"

⑪陈钟：此谓击钟奏乐，即钟鸣鼎食之意。　夕谯：晚宴。谯即宴。

⑫明发：平明，黎明也。

⑬年貌：年龄与容貌。吕延济谓此句："谓年容一谢不可重少。"

⑭身意：此处指欢乐之宴会。　盈歇：盈满与尽竭。此处举全取偏，为尽竭之意。

⑮蚁壤：蚁穴。《韩非子·说林》上："管仲、隰朋从桓公伐孤竹，春往冬返，迷惑失道……隰朋曰：'蚁冬居山之阳，夏尽山之阴，蚁壤寸而有水。'乃掘地，遂得水。"　漏山河：使山倾河漏。李善注引傅玄《口铭》曰："勿谓不然，变出无

闻，蚁孔溃河，溜穴倾山。”按：“山河”，《乐府诗集》亦作“山河”。“五臣注”本作“山阿”，逯钦立《先秦汉魏晋南北朝诗》亦作“山阿”。山阿：吕延济曰：“山阿，犹大隄也。”“五臣”本为是。

⑯丝泪：如丝之泪。谓泪小而不断。　金骨：骨之坚如铁也。李善注：“金骨之坚喻亲之笃者。言谗邪之人，但下如丝之泪，而金骨为之伤毁也。”吕延济曰：“金骨之销，亦在如丝之泪，言积微至著。”

⑰器：欹（qī 期）器，也叫宥（yòu 右）坐器。器注满则倒，空则侧，不多不少则正。饮酒时置于坐右，提醒饮者不要过与不及。《荀子·宥坐》：“此盖为宥坐之器。”注：“宥与右同，言可置于坐右认为戒也。”恶：憎恨。刘良谓此句意为“器，欹器也，满皆覆，是以恶满也。”

⑱厚生：生活充裕优厚。刘良谓此句之意为“言人养生恐其不厚，养既厚矣，生理灭焉。”生理谓养生之道。

⑲智哉：聪慧啊。众多士：指群臣。

⑳服理：研习世间“满欹”、“厚没”之物理。辩昭昧：刘良曰：“言习理可以辩物情之明暗。”按：“辩”，“五臣”本为“辨”。作“辨”为是也。

【译文】

西出邺城，把铜雀台登上，
折而东行，再将高入云端的宫阙眺望，
层层叠叠，皇宫的楼阁肃穆辉煌，
笔直如发，御路是这般大道康庄。
彩霞轻飞，连接着色彩斑斓的屋梁，
秦月慢踱，与玉饰的出簷相映生光，
垒土筑山，全似蓬莱、方壶的神岛模样，
挖地筑池，逼真得如大海般的宽阔汪洋。
宫女们，挑选的全是齐代的美女红妆，
歌伎们，征招的尽是邛越的玉喉金嗓，
陪伴着这狂欢的晚宴，钟鼓阵阵悠扬，
畅饮着直到天明，笙歌阵阵嘹亮。

恁美好的年容，终究会人老珠黄，
再欢乐的宴集，终究会席散终场，
小小的蚁穴，可使大堤坝泄漏水淌，
细细的泪水，可销毁铮铮汉子的铁骨钢肠。
坐右欹器，最厌恶盈满倾荡，
养尊处优，定会让人沉沦消亡，
聪慧的公卿们啊，将世间的事仔细思量，
防渐忌满，就能辨清这世理的昏暗、明亮。

（熊竹沅　译注）

效古一首

范彦龙

【作者】

见二十六卷《赠张徐州》作者介绍。

【题解】

张铣谓此诗之旨，曰："此言从征之义"；清于光华《重订文选集评》亦谓"此言征伐之意。"故此诗所拟亦《从军行》之类也。诗叙征战境地苦寒，战事频仍，从军日久，军令严峻，然幸有天子圣明，终未以罹祸而结局。层层曲折，有合于钟嵘《诗品》："范诗清便宛转，如流风回雪"之评也。

【原文】

寒沙四面平①，飞雪千里惊②。
风断阴山树③，雾失交河城④。
朝驰左贤阵⑤，夜薄休屠营⑥。
昔事前军幕⑦，今逐嫖姚兵⑧。
失道刑既重⑨，迟留法未轻⑩。
所赖今天子⑪，汉道日休明⑫。

【注释】

①寒沙句：意谓风吹寒沙，铺平四野。

②飞雪句：意谓如受惊骇的飞雪自远方落下。

③断：折也。阴山：今河套以北，大漠以南诸山的统称。《史记·秦始皇纪》："自榆中并河以东，属之阴山。"

④交河城：古城名，故址在今新疆吐鲁番西北约五公里处。《汉书·西域传》："车师前国王治交河城，河水分流绕城下，故号交河。" 失：迷也。此句意谓重雾遮掩交河城，仿佛迷失了一般。

⑤左贤阵：指匈奴左贤王之战阵。李善注引《汉书》载：'李将军广出右北平，击匈奴左贤王阵。

⑥薄：迫、近也。休屠：地名。《汉书·地理志》下："武威郡有休屠县。"唐颜师古注："屠音储。"休屠为古匈奴之王都，在今甘肃武威县北。

⑦前军幕：谓李广之军营也。李善注引《汉书》曰：大将军大击匈奴，李广数自请行，上以为老，不许。良久，乃许之，以为前将军。此处之前军即前将军。

⑧嫖姚兵：谓霍去病所率之师也。李善注引《汉书》曰：霍去病善骑射，再从大将军，受诏，予壮士，为嫖姚校尉。前句之"事"，此句之逐，皆从行之意也。

⑨失道：谓迷失行军之道。李善注引《汉书》曰：李广与右将军食其合军出东道。大将军问广失道状，广曰："校尉无罪，乃我者自失道。"引刀自刭。

⑩迟留：停留不前。李善注："迟或作逗。"何焯《义门读书记》："当作逗留为是。"张铣谓"失道"、"迟留"二句意为："言此刑法皆至死也。"故曰："刑既

重”、“法未轻”。

⑪赖：幸蒙。

⑫汉道：汉代仁义之政。道：丁福保《文选类诂》：“道，谓仁义也。”休明：美善旺盛。李周翰谓“所赖”、“汉道”二句意为：“言蒙我天子同汉王之道。日日休明也。”

【译文】

风夹寒沙，将辽阔的四野抚平，
从远方急骤落下，飞雪如受吓吃惊。
劲猛的风啊，折断了阴山的树茎，
茫茫的雾啊，遮掩了交河边城。
一早驱马，直闯入左贤王的战阵，
傍晚出击，又迫近休屠的军营。
过去，我跟随前将军的幕府出征，
如今，我又作了一名嫖姚校尉的士兵。
行军迷路，将是死罪的重刑，
逗留不前，惩罚又岂能得轻。
幸蒙当今皇上有慈爱的胸襟，
行的是汉代的仁义之政，一天天地美善昌明。

（熊竹沅　译注）

杂体诗三十首

江文通

【作者】

见卷十六《恨赋》作者介绍。

【题解】

江淹《杂体诗》三十首前有序(“李善注”本仅录片断,“六臣注”本全录),略谓云:夫楚谣汉风,既非一骨;魏制晋造,固亦二体。世之诸贤,各滞所迷,莫不论甘而忌辛,好丹而非素,岂谓通方广恕,好远兼爱者哉!又贵远贱近,人之常情,重耳轻目,俗之恒蔽。然五言之兴,谅非夏古,但关西邺下,既已罕同;河外江南,颇为异法。故玄黄经纬之辨,金碧浮沈之殊,仆以为亦各具美兼善而已。今作诗三十首,学其文体,虽不足品藻渊流,遮亦无乖商榷云尔。此序揭示江淹拟诗之旨,并非品藻前人五言制作,而在于显现其“各具美兼善而已”。这一点似为张溥所识见,他在《汉魏六朝百三家集题·江醴陵集》中说:“文通杂体三十首,体貌前哲,欲兼关西、邺下、河外、江南总制众善。”若从“史”的角度看,江淹所拟的三十人,可大概自汉至于刘宋明帝时五言诗的主要诗人,他意欲以拟诗的形式来再现这众多诗人的风格,从而显见五言诗体的代变特征,此亦如何焯《义门读书记》所言:“爰自椎轮汉京,讫乎大明泰始,五言之变,旁备无遗矣。”这在当时及文史上都应占一定位置而得到肯定。

然而，自钟嵘《诗品》："文通诗体总杂，善于摹拟"语出，后之论家唯缪绕"似"与"不似"以评江淹拟作，重要的论家如严羽。他在《沧浪诗话》中说"拟古惟江文通最长，拟渊明似渊明，拟康乐似康乐，拟左思似左思，拟郭璞似郭璞，独拟李都尉一首，不似西汉耳。"胡应麟《诗薮》曰："文通拟汉三诗俱远，独魏文、陈思、刘桢、王粲四作，置之魏风莫辨，真杰思也。"更有甚者如潘德舆《养一斋诗话》说"拟谢临川诗，只是状山水奇奥，此为神似，吾亦能之，何必五色笔也？""文通一世俊才，何不自抒怀抱，乃为赝古之作，借后人嗤点。"今人郭绍虞在《沧浪诗话·诗评》注中提出新解：盖因："拟古之作，并非诗家所贵"，故后之论家有贬损之辞。而如何看待拟古之作呢？"实则昔人拟古，乃古人用功之法，是入门途经，而非最后归宿。""自陆机拟古之后，或称'效'、或称'代'、或称'学'、或称'绍'，甚至称为拟某某拟古者。此种风气，在后世固视可笑，在当时亦有其需要。"

综观后世论家漫评江淹三十首拟作，若以"似"或"不似"作评，则难有定论，比如严羽谓"独拟李都尉一首，不似西汉耳"，而冯班《钝吟杂录》卷三云："江淹所拟从军一首最合，沧浪于处不解也。"而以"用功之法"释江淹拟作之旨，犹言以拟作为练笔之法，则轻觑江淹文才之盛。此皆有悖江淹拟诗之初衷，更未见到江淹拟作于文学史上的作用也。

虽然以"似"或"不似"来探江淹拟诗之旨，固不可取，然若论拟诗之成功与否，则需将拟诗与原诗相较，故"似"或"不似"又自成标准，此亦不可不知。后之论家于同一首拟诗，论评又有互忤之处，极难准择可当定论之说，若再出"题解"，则徒添纷杂，是以只将论家之评，择要列入每首拟诗注中，以备参考。

古 离 别[1]

【原文】

远与君别者， 乃至雁门关。
黄云蔽千里[2]，游子何时还。
送君如昨日， 簷前露已团[3]。
不惜蕙草晚[4]，所悲道里寒[5]。
君在天一涯， 妾身长别离。
愿一见颜色， 不异琼树枝[6]。
兔丝及水萍[7]，所寄终不移[8]。

【注释】

①古离别：五臣作《古别离》。《古别离》为乐府“杂曲歌辞”之旧题。《乐府诗集》七一：《杂曲歌辞·古别离》：“《楚辞》：‘悲莫悲兮生别离’。《古诗》曰：“行行重行行，与君生别离。”后苏武使匈奴，李陵与之诗曰：‘良时不可再，离别在须臾。’故后人拟之为《古别离》。”吴兆宜《玉台新咏笺注》卷四：吴迈远《长别离》按：“梁简文帝又有《生别离》，吴迈远有《长别离》，唐李白有《远别离》，亦皆类此。”“后又有《古离别》、《久别离》、《新别离》、《今别离》、《暗别离》、《别离曲》诸题，亦皆本此。”此类诗多写男女离别，具有极浓的感伤情调。于光华《重订文选集评》引孙月峰语，评此诗：“调最古，语最淡，而色最浓，味最厚，讽诵数十过，乃更觉意趣长。”

②黄云：刘良曰：“黄云谓埃尘与云相连而黄也。”

③露已团：露珠呈圆圆的状态，犹言露水很浓。《诗经·郑风·野有蔓草》：“野有蔓草，零露漙兮。”漙(tuán 团)，即团。高亨《诗经今注》：“漙，露珠圆圆的状态。”

④蕙草：即蕙菌，香草也。比喻思妇。 晚：本指年老。《史记·孔子世家》：“孔子晚而喜易。”此指色衰。

⑤道里：旅途。张铣曰：“悲岁暮行人道路寒也。”

⑥不异句：琼树即玉树，生在昆仑山，故极难得见。李周翰曰："言君行之远，思见之难，不异琼树枝也。"

⑦兔丝：草名，蔓生，常缠附于其他植物而生长。水萍：即浮萍。兔丝与水萍皆喻思妇也。

⑧寄：寄托、委身。吕延济曰："兔丝，草名，感茯苓而生，萍草依水而长。亦犹妇人之附于夫。言此心终不移易。"

【译文】

这一次离别啊，我的君夫，
将到那遥远的雁门关，你才停足。
遮蔽千里，是与浮云相连的黄沙尘土，
夫君啊，何时你才踏上漫漫的归途。
那送别时的情景，如昨日历历在目，
而今啊，屋簷前已布满浓浓的露珠。
思念你，我不惜容颜衰老，不再是往日的娇妩，
悲伤的是啊，你一路远行忍受的寒苦。
你远在那天边末路，
这难熬的久别，使我多么的身单影孤。
盼只盼见你一面啊，但有多少艰难险阻，
难得如象见到昆仑山的玉树。
兔丝攀缠松柏，绿萍只在水面漂浮，
委身于你啊，如兔丝绿萍，永远把你依附。

李都尉 从军[1] 陵

【原文】

樽酒送征人[2]，　踟蹰在亲宴[3]。
日暮浮云滋[4]，　渥手泪如霰[5]，
悠悠清川水，　嘉鲂得所荐[6]。
而我在万里，　结发不相见[7]。
袖中有短书[8]，　愿寄双飞燕[9]。

【注释】

①刘良曰："此拟'携手上河梁'。""携手上河梁"为李陵《与苏武诗》，《文选》录入第二十九卷"杂诗"上。于光华《重订文选集评》引孙月峰评语曰："清徹无尘，虽不甚似李，然诗却佳。"

②樽酒：怀酒。樽：酒器，形状似觚而中部较粗，口径较大，盛行于商代及西周。字别作"罇"、"尊"。

③踟蹰：来回走动，犹言徘徊。　亲宴：亲人饯行之宴会。

④滋：多，即浓厚之意。

⑤渥手：谓手为泪水沾湿。渥，沾润。"六臣本"作"握手"。当依"六臣本"为是。　霰：xiàn，音线。刘良曰："霰，细雨也。"

⑥嘉鲂（fáng 防）：美味的鳊鱼。鲂，即鳊鱼。　荐：献、进贡。《易·豫》："殷荐之上帝，以配祖考。"此句何焯《义门读书记》释为："河鲂以味美獲荐。"意为鲂鱼因依于清澈河流而味美，终可得作进献之物。

⑦结发：谓夫妻也。此句何焯《义门读书记》释为："结发以命舛远离。"意为因我命运多舛，远行万里，夫妻不能相见也。

⑧短书：简短的信札。

⑨双飞燕：雄雌并飞之燕。李周翰曰："燕，春，南飞就暖巢于人家，故愿以书寄之。"

【译文】

端怀酒，送到出征的军人面前，
来回徘徊，在这亲人的离别筵宴，
傍晚时，浓浓的暮运连成一片，
执手相看，离别的泪水如不断的雨霰。
长长的清澈河水，鲂鱼得自在其间，
方可成进贡的珍馐，是那么肉肥味鲜，
命运多舛的我啊，纵有绵绵的思恋，
远行万里，夫妻那能团聚相见。
袖中这一封短札小笺，
带给我的妻吧，拜托给这南行的双飞燕。

班婕妤 咏扇①

【原文】

纨扇如圆月②，出自机中素③。
画作秦王女④，乘鸾向烟雾⑤。
采色世所重⑥，虽新不代故⑦。
窃愁凉风至，吹我玉阶树⑧。
君子思未毕⑨，零落在中路⑩。

【注释】

①刘良曰："此拟'新裂齐纨素'。"原诗为班婕妤所作《怨歌行》、《文选》第二十七卷"乐府"上有录。《玉台新咏》卷一录班诗并序曰："昔汉成帝班婕妤失宠，供养于长信宫，乃作赋自伤，并为怨诗一首。"江淹拟诗，袭班诗之旨，言弃

妇之思也。于光华《重订文选集评》引孙月峰语，评此诗："比班稍着色相，然衬贴得好，亦不失古意。调和而语净，正是合作。"

②纨扇：细绢制成的团扇。

③机：织机。素：精致洁白的细绢。此二句与班婕妤《怨歌行》："新制齐纨素，鲜洁如霜雪。裁为合欢扇，团圆似明月。"意同也。

④秦王女：秦穆公之女弄玉也。

⑤乘鸾：李善注引《列仙传》曰：箫史，秦穆公时人，善吹箫，作凤鸣。穆公以女弄玉妻之，为作凤台以居。一夕吹箫引凤，与弄玉共升天，仙去。

⑥采色："六臣本"作"彩色"。此句意谓看重色彩，为世之常情。

⑦新：以指新制之扇。　故：此指画有弄玉乘鸾飞升之团扇。

⑧玉阶树：玉阶前之树也。刘良谓"窃愁"、"吹我"二句曰"凉风至谓秋也。言恐秋而轻弃不用也。"

⑨恩未毕：恩爱未终。毕：终止。

⑩零落：《离骚》："惟草木之零落兮，恐美人之迟暮。"草衰曰零，木叶坠曰落，衰败之意。　中路：半途。张铣曰："言君子所爱未毕，而时已凉，故零落于中路。"

【译文】

绢制的团扇，如一轮满月，
出自机杼，这制扇的细绢白净如雪。
团扇上再画出弄玉、箫史恩爱和谐，
乘鸾驾凤，双双飞向烟雾迷蒙的天界。
世人都如此啊，喜爱色彩的艳美浓烈，
世人也都如此啊，喜新而难将旧的抛却。
怕只怕秋凉乍至，秋风急切，
玉阶旁落叶满地，枯杖抖瑟。
犹如我啊，夫君对我虽恩爱不绝，
但时变景迁，这恩爱的情份将中途破裂。

魏文帝 游宴[1] 曹丕

【原文】

置酒坐飞阁[2]，逍遥临华池[3]。
神飙自远至[4]，左右芙蓉披[5]。
绿竹夹清水，秋蘭被幽崖[6]。
月出照园中，冠珮相追随[7]。
客众南楚来[8]，为我吹参差[9]。
渊鱼犹伏浦[10]，听者未云疲[11]。
高文一何绮[12]，小儒安足为[13]。
肃肃广殿阴[14]，雀声愁北林[15]。
从宾还城邑，何以慰吾心。

【注释】

①吕延济曰："此拟'芙蓉池作'。"即曹丕《芙蓉池作诗》。于光华《重订文选集评》引孙月峰语，评此诗："比《芙蓉池作》稍较浓，是以顾盼有恣(姿)态。然其淡处正不易及。"

②飞阁：凌空耸立的高阁。

③逍遥：安闲自在。　华池：传说在昆仑山的仙池。王充《论衡·谈天》："《禹本纪》言河出昆仑，其山有玉泉华池。"此借指似华池的水池也。

④神飙：即自远方吹来的风。吕向曰"言天子所处则起神灵之风。"故谓神飙。

⑤披：原为劈开之意。《史记·五帝纪》："披九山，通九泽。"此处意为吹开也。

⑥被：覆盖。　幽涯：幽深的水边。

⑦冠珮：帽子与珮玉。用以借指贵官近臣。

⑧南楚：《史记·货殖列传》："衡山、九江、豫章、长沙、是南楚也。"此处指

远方。

⑨参差：屈原《九歌·湘君》："望夫君兮未来，吹参差兮谁思。"注："参差，洞箫也。"

⑩渊鱼：深渊中之鱼。 浦：水滨。

⑪疲：疲惫。吕延济谓"渊鱼"、"听者"二句曰："言深渊之鱼闻吹箫之声，亦涌而出，况听者能疲殆乎？"

⑫高文：才高之士所撰的文章。 绮：绮靡，华丽。 一何：何其，多么。

⑬小儒：见识浅薄的读书人。刘良谓"高文"、"小儒"两句："高文绮靡，通达之才，非一经小儒之所为。"

⑭肃肃句：吕向曰："肃肃，静也。广殿阴谓日暮也。"

⑮愁：吕向曰："雀鸟之总名愁。"

【译文】

把酒宴，摆置在高阁之上，
安闲地，驾临这如仙境般的水池旁。
远方吹来的风，令人神怡心旷，
池旁的艳芙蓉，蕾绽花放。
穿过竹丛的流水，清澈荡漾，
覆盖水边的秋蘭，散发出阵阵幽香。
皎白的月光，照耀着庭院中央，
陪宴的群臣们，相随宴赏。
一位客人，来自遥远的南方，
他为我，把洞箫吹奏得韵味悠长。
涌出水面的深渊游鱼，好一副着迷模样，
听歌的群僚们，自然是无一丝疲惫情状。
陪宴的文士，谁个不是一手华丽辞章，
浅薄的书生，又岂可与之比量。
宽阔的殿厦静悄悄，已值日暮时光，
归巢的雀鸟，在北林争鸣闹嚷。

驾辕回城，宾客们都离席退场，
这时刻，可无法慰籍我心里的惆怅。

陈思王 赠友[1] 曹植

【原文】

君王礼英贤[2]， 不惜千金璧[3]。
双阙指驰道[4]， 朱宫罗第宅[5]。
从容冰井台[6]， 清池映华薄[7]。
凉风盈芳气， 碧树先秋落[8]。
朝与佳人期， 日夕望青阁[9]。
褰裳摘明珠[10]， 徙倚拾蕙若[11]。
眷我二三子， 辞义丽金膎[12]。
延陵轻宝剑[13]， 季布重然诺[14]。
处富不忘贫[15]， 有道在葵藿[16]。

【注释】

①李周翰曰："拟赠丁仪、王粲等诗。"何焯《义门读书记》谓此诗："拟陈王，亦自遒秀。"于光华《重订文选集评》引孙月峰语，评此诗："较陈思不甚似。彼气雄，此骨秀；彼质素，此铅华。"

②君王句：刘良曰："君王谓曹公也，英贤谓丁仪、王粲等。"

③惜：同吝、吝惜。 千金璧：谓珍贵之玉璧。

④双阙：宫阙，亦即宫殿。阙：古代宫、庙、墓门立双柱者谓之阙，其上连有飞簷罘罳者谓之连阙。古时帝王所居宫门双阙，故称宫殿为宫阙。 指：直立，竖立。此指笔直也。 驰道：《礼·曲礼》下："岁凶，年穀不登，……驰道不除。"疏："驰道，正道，如今御路也。是君驰走车马之处，故曰驰道也。"

⑤朱宫：朱楼。 第宅：王侯之宅。

⑥冰井台：晋陆翔《邺中记》："魏武于邺城西北立三台：中台名铜雀台，南名金兽台，北名冰井台。"故址在今河南临漳县西南。

⑦清池：张铣曰："魏有冰井台，下有清池。" 华薄：花木丛生。此指池中丛生的花。薄：草木丛生。

⑧碧树：绿树。 先秋：初秋也。

⑨望青阁：吕延济曰："朝夕望于青阁之上，思其来也。"青阁：青楼，指帝王之居。《南齐书·东昏侯纪》："世祖兴光楼上施青漆，世谓之青楼。"

⑩褰(qiān 千)裳：用手提起衣裳。

⑪徙倚：留流慢步。蕙若：蕙草与杜若，皆香草也。

⑫辞义：指辞章。 金：凡如黄金之色亦曰金。 雘(huò 贺)：赤石脂之类，为赤色。金雘皆为美丽之色。丽金雘，意为如金雘之色丽也。

⑬延陵句：延陵，春秋时吴公子，吴王寿梦之季子，欲传以位，辞不受，封于延陵，故称延陵季子。鲁襄公二十九年历聘鲁，齐、郑、衞、晋等国。张铣曰："延陵聘上国，过徐君。(延陵)心许徐君所佩剑。使还，徐君已死，乃挂剑于墓树而去。"

⑭季布：楚国人。《史记》有传。重然诺：以应允的诺言为重。楚人谚曰："得黄金百斤，不如得季布一诺。"张铣曰"延陵"、"季布"二句："言此二人义信，以廣二三子。"

⑮处富句：李周翰曰："言处富贵不可忘于贫者。"

⑯有道：有道德、才艺之士。葵藿：即葵。葵性向日，古人多用以比喻下对上赤心趋向之意。《三国志·魏·陈思王植传》："上疏请存问亲戚：'若葵藿之倾叶，太阳虽不为之回光，然终向之者，诚也。"此句意为如"二三子"之有道之士，不忘君王礼贤之恩，如葵藿之向日也。

【译文】

贤明的君王，礼遇世上的俊杰群英，
馈赐的白玉璧，哪惜价值连城。
殿前的御道，向远方笔直延伸，
道两旁，尽都是王侯的高宅朱门。

登上这冰井台，安闲消停，
台下的清池水，与丛生的花草色泽交映。
凉爽的轻风，荡漾着香气频频，
摇曳的绿树，初秋时叶落飘零。
与友朋相约时，还在清晨，
久盼在青阁上，不觉日近黄昏。
牵衣涉水，摘取珍珠亮晶晶，
留连漫步，俯拾芳草馨香醉人。
至交密友，这几位多么可近可亲，
精心雕饰的辞章，色彩是这般绚丽缤纷。
要象那延陵季子，守义然信，
更要象楚人季布，重诺轻金。
身处富贵，岂可忘贫贱的故人，
葵藿向日，道德之士，更应不忘君王的厚恩。

刘文学 感遇[1] 桢

【原文】

苍苍中山桂[2]，　团圆霜露色[3]。
霜露一何紧[4]，　桂枝生自直[5]。
桔柚在南国[6]，　因君为羽翼[7]。
谬蒙圣主私[8]，　托身文墨职[9]。
丹彩既已过[10]，　敢不自雕饰[11]。
华月照方池[12]，　列坐金殿侧[13]。

微臣固受赐⑭， 鸿恩良未测⑮。

【注释】

①感遇：吕延济曰："感思也，思其有幸遭遇。"诗中"君"、"圣主"指曹植、曹丕，故此首拟诗所述乃刘桢感遇曹氏兄弟之恩宠也。于光华《重订文选集评》引孙月峰语评此诗："刘以质率胜，此稍作意。"似较中肯。

②苍苍：茂盛貌。 中山桂："六臣注"本作"山中桂"。应依"六臣注"本。

③团圆："六臣注"本作"团团"。应依"六臣注"本。团团：凝聚貌。李善谓此句意为："桂霑霜露而色不渝，身经夷险而操不易也。"

④紧：《广雅》曰："紧，急也。"

⑤桂枝句：吕向曰："言霜露虽急，不能损桂枝劲直之性。"

⑥桔柚：张铣曰："大曰桔，小曰柚，皆果名。生于南国，此自喻。"

⑦君：张铣曰："君谓曹植也。" 羽翼：鸟类借羽翼而飞。羽翼在身侧左右，故常以喻左右之人。 "桔柚"、"因君"二句意为：自身虽如桔柚生于南国而珍，实乃作君之辅臣而得贵也。

⑧谬蒙：错蒙。 圣主：李周翰曰："圣主，谓文帝也。" 私：郑玄《礼记》注："私之犹言恩也。"

⑨文墨职：指文学待从一类的官员。《谢宣城集四·和宋记室省中》："请扬婉禁居，秘此文墨之职。"李周翰曰"谬蒙"、"圣主"二句意谓："言误蒙圣恩，私及于已。得为文墨之职，谓为平原侯遮子。"

⑩丹彩：浅红色彩。此处喻恩遇。 既已过：犹言受君恩遇已过。

⑪雕饰：刻镂、文饰。此处喻人的修饰。吕延济谓"丹彩"、"敢不"二句意谓："犹恩遇既过，敢不勉励自雕饰也。"

⑫华月：指朗月之夜。

⑬列坐：以次相坐。刘良"华月"、"列坐"二句意为："言良辰月夜，蒙提携坐于金殿之侧。"

⑭微臣：小臣。

⑮鸿恩：大恩。 良：真，确实。刘良曰："微臣"、"鸿恩"二句意谓："言我小臣受若大恩，不可测度。

【译文】

多么茂盛，这桂树生长在山中，
一层层地凝聚，露重霜浓。
任凭苍天布霜降露何其匆匆，
桂枝劲直的天性，总不改动。
我如这桔柚，生在南国土中，
只是侍侯贤王左右，才得声誉日隆。
错蒙圣明的君主厚待恩宠，
受官委职，作了文学侍从。
受恩遇，已然是如此殊荣，
怎能不自黾勉，辛勤雕琢，尽力效忠。
池塘上，一轮朗月辉耀天空，
蒙提携，陪末座，饮宴在这金殿皇宫。
官微身卑的我啊，真是诚惶诚恐，
真不可测啊，主上对我的宠幸恩宏。

王侍中 怀德[1] 粲

【原文】

伊昔值世乱[2]， 秣马辞帝京[3]。
既伤蔓草别[4]， 方知杕杜情[5]。
崤函复丘墟[6]， 翼翼缅纵横[7]。
倚棹泛泾渭[8]， 日暮山河清。
蟋蟀依桑野[9]， 严风吹若茎[10]。

鸛鹆在幽草[11]，　客子泪已零[12]。
去乡三十载，　幸遭天下平。
贤主降嘉赏[13]，　金貂服玄缨[14]。
侍宴出河曲[15]，　飞盖游邺城[16]。
朝露竟几何[17]，　忽如水上萍[18]。
君子笃惠义[19]，　柯叶终不倾[20]。
福履既所绥[21]，　千载垂令名[22]。

【注释】

①怀德：怀念恩德。张铣曰："怀德谓怀魏武帝之德。"于光华《重订文选集评》引孙月峰语，评此诗："有建安风骨，所少逊者，畦径太分耳。"此诗以"去乡三十载，幸遭天下平"为过渡，此前拟王粲《七哀诗》写罹乱之忧戚，此后写遇魏武之恩待而怀德，畛界过明。

②伊昔：往昔。值世乱：遭逢战乱之世。《文选》卷二十三：王粲《七哀诗》之一："西京乱无象，豺虎方遘患。复弃中国去，远身适荆蛮。"所谓为汉献帝初平元年（公元190年）董卓乱京事，即此句之所本。

③秣马：喂饱马匹，即备马。　辞帝京：辞别西京长安，避乱荆州也。

④蔓草：此指《诗·郑风·野有蔓草》。李善注：《毛诗小序》曰："野有蔓草，思遇时也。君之泽未流，民穷于兵革，男女失时，不期而合焉。"此句意谓感伤于世之兵乱而已失进仕之机也。

⑤杕（dì 弟）杜：此指《诗·唐风·杕杜》。《毛诗小序》曰："刺时也。君不能亲其宗族，骨肉离散，独居而无兄弟。"朱熹《集传》曰："此无兄弟者，自伤其孤特而求助于人之辞。"后多用以比喻骨肉情谊。此句意谓遭离乱而去乡，方知骨肉情深。

⑥崤函：崤谷、函谷二关也。　丘墟：废墟。

⑦冀阙：古时宫廷外公布法令的门阙。《史记·商君传》："作为筑冀阙宫庭于咸阳。"《索隐》："冀阙即魏阙也。冀，记也。出列教令，当记于此门阙。"缅：尽貌。《文选》：潘岳《西征赋》："窥秦墟于渭城，冀阙缅其堙尽。"　纵横：谓乱军恣肆横行，无所忌惮。

⑧倚棹(zhào 赵):独一人行船。 倚,jī(基),单独。 棹,划水行船。泛:丁福保《文选类诂》:"讯通为涵。《吴都赋》:'涵泳乎其中',《注》引扬雄《方言》曰:'南楚谓汛为涵。'则汛不作迅音也。"涵即涵泳,谓于水中潜行也。此处汛为渡河之意。泾渭:二水名,皆发源于甘肃,流经陕西,入黄河。

⑨桑野:植桑之田野。

⑩严风:凛冽之寒风。 若茎:老树之树茎。李善注引贾逵《国语》注:"若,木晚矣。"意为年久之树。"六臣注"本"若茎"为"枯茎",亦可解。

⑪鸛(guān 贯)鹣(yì 遇):皆水鸟也。 幽草:张铣曰:"幽草,深草也。"

⑫客子:旅居异地之人。此指王粲。零:即涕零,泪落也。

⑬贤主:李善注:"贤主,魏太祖也。"即指曹操。降:赐也。嘉赏:谓重赏也。

⑭金貂:胡广谓战国时赵武灵王始效胡服,以金珰饰首,前插貂尾,为贵职的冠饰。汉代则称武弁大冠,诸武官冠之。侍中、中常侍则加金珰,附蝉为文,貂尾为饰。李善注:"时粲为侍中,故云。" 玄纓:结冠的黑色带子。

⑮侍宴:陪宴。 河曲:河道曲折之处。

⑯飞盖:盖为车盖,遮阳御雨之具,用以代车。飞盖即飞驰之车。 邺城:建安十八年(公元213年)曹操为魏王,定都于此。

⑰朝露:刘良曰:"朝露日出则干,人命短促亦犹是焉。"

⑱忽:疾速也。水上萍:浮生于水面的萍草。萍浮水面,随风漂荡,因喻飘泊无依之身世。"朝露"、"忽如"二句意谓人生短促,更如浮萍飘泊不定。

⑲笃惠义:自知所受恩义之笃厚。笃:厚重。

⑳柯叶:指如竹、松柏之茎叶。 终不倾:此指竹、松柏之茎终不倾斜,其叶终不零落。"五臣注"张铣曰"君子"、"柯叶"二句意为:"言君子厚其恩义,履其礼度,则如松柏之有心,不改柯叶倾落。"亦即报魏武知遇之恩意也。

㉑福履:福禄。 绥:安也。《诗·周南·樛木》:"乐只君子,福履绥之。"此句意为得福禄而自安。

㉒千载:犹言后世也。 令名:美名。

【译文】

早年间,逢乱世,遍地甲兵,
饲马整装,辞别长安,远途南行。

仕途失进，我悲伤地把《野有蔓草》诗吟，
离乱时，也才知《杕杜》诗中的骨肉深情。
崤函关隘间，已然是废墟荒径，
昔日的宫门前，乱军恣肆横行。
孤独一人，我撑舟渡过渭泾，
夕阳下，山河是这般荒凉凄清。
蟋蟀在桑林田野，声声哀鸣，
寒风凛冽，阵阵吹打着老树的残枝枯茎。
鹳、鹚水鸟，深草中蹇翼翩翎，
漂泊无踪的我啊，早已是感慨涕零。
离乡远行，三十年整，
今有幸，遇上了天下升平。
贤明的魏王，给我的赏赐不轻，
金貂饰冠，再系上长长玄缨。
蒙幸陪宴，随魏王驾临河曲之饮，
驾车飞驰，遍游邺城，酣畅尽兴。
人生啊，寿命短促，真如这朝露一瞬，
更象这漂泊无依的水上浮萍。
应自知遇明主，恩宠笃殷，
一心向主，如松竹，不会叶落茎倾。
享福禄，我已是安心宁神，
在后世，将留下美好的名声。

嵇中散 言志[1] 康

【原文】

曰余不师训[2]，潜志去世尘[3]。
远想出宏域[4]，高步超常伦[5]。
灵凤振羽仪[6]，戢景西海滨[7]。
朝食琅玕实[8]，夕饮玉池津[9]。
处顺故无累[10]，养德乃入神[11]。
旷哉宇宙惠[12]，云罗更四陈[13]。
哲人贵识义[14]，大雅明庇身[15]。
庄生悟无为[16]，老氏守其真[17]。
天下皆得一[18]，名实久相宾[19]。
咸池飨爰居[20]，钟鼓或愁辛[21]。
柳惠善直道[22]，孙登遮知人[23]。
写怀良未远[24]，感赠以书绅[25]。

【注释】

①吕延济曰此首拟诗之意为："言志，本有高尚之志而横遭谗言。"逯钦立《先秦汉魏晋南北朝诗》引《晋书》曰：东平吕安，服（嵇）康高致，康友而善之。后安为兄所枉诉，以事系狱，辞相证引，遂复收康。康乃作《幽愤诗》。吕向谓嵇康《幽愤诗》意为"言幽怨者，人莫能见明也。"故知此诗所拟之本乃嵇康之《幽愤诗》也。"于光华《重订文选集评》引方伯海、孙月峰语，评此诗。方曰："无一字一句不肖嵇叔夜，性情、面目、声口、胸次直忘其为优孟衣冠，当为三十首之冠。"孙曰："虚处嫌太多。"《幽愤诗》以采薇散发于岩岫间，以颐养年寿为结，意在言不为冠冕所拘；而此诗则以嵇康幽愤未及真理，故写此诗以戒于人为收束，全不是嵇康声口，故知方伯海之评过矣。《幽愤诗》多由身世遭遇而发幽愤之概，多是实写；而此诗多是言志析理之辞，情味似不如原诗，故知孙月峰

之论近乎公允也。

②曰余：自白。 不师训：即不师不训，意为不服亲长教诲，不从师学习。嵇康《幽愤诗》："母兄鞠育，有慈无威；恃爱肆姐，不训不师。"

③潜志：暗立志向。 世尘：谓世间庸俗的生活。

④远想：久远地希望。 宏域：宽阔的地域。

⑤高步：阔步。 常伦：常辈，即一般世俗之人。

⑥灵凤：即凤鸟。《礼·礼运》："麟、凤、龟、龙，谓之四灵。"故称凤为灵凤。振：奋展。 羽仪：羽饰。《易·渐》："鸿渐于陆（逵），其羽可用为仪。"朱熹注："仪，羽旄旌纛之饰也……其羽毛可用以为仪饰。"此处指美丽的羽翼。

⑦戢景：即戢影，景通影。戢（jí 集）：隐匿。戢影即隐匿踪迹之意。

⑧琅玕（láng gān 郎肝）：珠树，其果实似珠玉。《荀子·正论》："琅玕龙兹华觐以为实。"注："琅玕似珠，昆仑山有琅玕树。"

⑨玉池津：昆仑山仙池之水。傅玄《拟楚篇》："登昆仑，漱玉池。"

⑩处顺：安于得失，哀乐无动于心。《庄子·大宗师》："且夫得者时也，失者顺也，安时而处顺，哀乐不能入也，此古之所谓悬解也。" 累：忧患、危难。《庄子·达生》："夫欲免为形者，莫如弃世，弃世则无累。"

⑪养德：涵养德性。 入神：《易·系辞》下："精义入神，以致用也。"疏："言圣人用精粹微妙之义，入于神化，寂然不动，乃能致其所用。"此指达到精妙的境界。

⑫宇宙：天地。 惠：恩惠、赐予。

⑬云罗：如云之罗列。 四陈：布于四方。

⑭哲人：智者。 贵识义：贵于了解顺乎自然之义理。

⑮大雅：此指《诗·大雅·烝民》其诗有句云："既明且哲，以保其身。"指明哲之人，能择安去危，以保全其身。

⑯庄生：庄子。 悟无为：《庄子·刻意》："夫恬淡寂寞，虚无无为，此天地之平，而道德之质也。"此谓庄子悟得顺应自然，不求作为之道。

⑰老氏：老子。 守其真：《老子》：'见素抱朴，少私寡欲。"此谓老子能保持人的天然本性，不为物欲所惑，使本性不污也。

⑱得一："一"为数之始，又为物之极。得一为纯正之意。《老子》："昔之得一者，天得一以清，地得一以宁……侯王得一以天下为正。"此句意谓天下皆存纯正之道。

⑲名实：名称与实际。 宾：宾从。《庄子·逍遥游》："尧浪许由以天下。许由曰：'而我犹代子，吾将为名乎？名者，实之宾也。吾将为宾乎？'"此句意谓名实久相为宾主。

⑳咸池：古乐曲名。《周礼·春官·大司乐》："舞咸池以祭地示。"传说为黄帝之乐，尧增修沿用。 飨：宴饷。 爰(yuán 园)居：海鸟名。李善注引《庄子》："海鸟止於鲁郊。鲁侯觞之于庙，奏九韶以为乐，具太牢以为膳。鸟眩视忧悲，不敢食一臠，不饮一杯，三日而死，此以已养养鸟也。"

㉑钟鼓：演奏钟鼓之乐。 愁辛：悲愁辛酸。"咸池"、"钟鼓"二句意谓虽奏咸池之乐，击钟鼓，备太牢之食以饷爰居鸟，然爰居鸟仍悲愁辛酸。张铣谓此句寓意为："言荣禄信美，而(嵇)康视之，亦犹鸟闻钟鼓之声。"

㉒柳惠：柳下蕙。 善：喜好。 直道：正直之道。《论语·微子》："柳下惠为士师，三黜。人曰：'子未可以去乎？'曰：'直道而事人，焉往而不三黜？枉道而事人，何必去父母之邦！'"

㉓孙登：曹魏时之隐士。《魏氏春秋》曰：初，嵇康采药于中山北，见隐者孙登。康欲与之言，登默然不对。逾年，将去。康曰：先生竟无言乎？登乃曰：子才多识寡，难乎免于今之世也。 知人：识别人的才智吉凶。 庶：相近，差不多。李周翰谓"柳惠"、"孙登"二句意为："言康以直道而被幽挚，故以登为知人也。"

㉔写怀：抒写胸臆。此指嵇康言志之《幽愤诗》。 良未远：吕延济曰："谓康写《幽愤》之怀未能远及真理。"

㉕感赠：有所感以铭记而劝勉别人。赠：以正言相勉励。 书绅：把要牢记的话写在绅带上。《论语·卫灵公》："子张问行。子曰：'言忠信，行笃敬，虽蛮貊之邦，行矣……。'子张书诸绅。"绅：大带子。

【译文】

我就是不从师，不听教训，
志向暗立，要离开这世俗凡尘。
早希冀，闯出这为畛域所困的大地，
昂首阔步，一般俗人岂可比伦。
这犹如灵凤奋展美丽的羽翼飞腾，

棲息在西海边，匿迹销声。
早吃琅玕果，如珠玉般晶莹圆润，
夕饮玉池水，洁净甘醇。
不计得失，无动于衷，就不再有危难愁闷，
涵养德性，精妙通达神明。
天地的恩赐，如此辽阔，不分远近，
犹如布满天空的密雾浓云。
贵在通晓世间义理，明达才智之人，
深明《大雅·烝民》的诗义，就能去危保身。
庄子悟道，顺应自然，不求作为而天成，
老子守道，不为世污，以保全人性的本真。
纯正之道在普天之下遍存，
循名责实，原来名、实相互为主宾。
名利虽美，于我却如爰居鸟栖于鲁国郊径，
那怕是奏乐击鼓设佳肴，仍解不了一腔悲辛。
对人生，我如柳下惠取直道而行，
不为世容，身陷囹圄，才知道善认人，只有孙登，
抒写胸臆，然未达理，这就是我的诗作《幽愤》，
感于此写此诗，权作劝勉后世为人的参证。

阮步兵 咏怀[1] 籍

【原文】

青鸟海上游[2]， 鸳斯蒿下飞[3]。
沈浮不相宜[4]， 羽翼各有归[5]。

飘飖可终年⑥，　沆漭安是非⑦。
朝云乘变化⑧，　光耀世所希⑨。
精卫衔木石⑩，　谁能测幽微⑪。

【注释】

①此诗所拟之本为阮籍之《咏怀》。阮籍的咏怀之作，现存五言八十二首，四言十三首。阮籍身处晋代魏祚之时，进退不能，自有一腔忧愤交织的情感，进而产生忧生之嗟，视人之浮沈显隐为难知之事。江淹这首拟诗，言青鸟、鹭斯各得其安，而朝云光耀于世，精卫衔石填海，又各有所企，此皆幽微难知之理，似近于阮籍《咏怀》之旨，故于光华《重订文选集评》引孙月峰语评此诗："言远意，仿佛近之。"何焯《义门读书记》谓此诗结尾两句为"阮公知已"，为确当之论也。

②青鸟：即阮籍《咏怀》四十四"海鸟运天池"之海鸟，亦鹄鹏之类。《庄子·逍遥游》："鹏之徙于南冥也，水击三千里，摶扶摇而上者九万里。"游：遨翔。

③鹭（yù（誉）斯：鸟名，鸦类。《诗·小雅·小弁》："弁彼鹭斯，归飞提提。"蒿上飞：于蓬蒿之上飞翔。《庄子·逍遥游》："斥鴳笑之曰：'彼且奚适也？我腾跃而上，不过数仞而下，翱翔蓬蒿之间，此亦飞之至也。"

④沈浮：沈谓鹭斯之飞于蒿上。　浮谓青鸟之游于海上。不相宜：不相同也。

⑤羽翼句：意为青鸟之遨翔海上，鹭斯之飞于蒿间，虽不相同，但能各得其所。

⑥飘飖：轻飞貌，此指鹭斯。　终年：终了一生。

⑦沆漭（hàng yàng 巷样）：水深广貌，此指青鸟遨翔于大海之上。　安是非：此言已知飘飖蒿下，或遨翔海上，其皆逍遥一也，故安于高翔低下，倒底孰乐的是非之争。

⑧朝云：高唐神女。　乘变化：乘云变化。

⑨光耀：此谓高唐神女乘云变化之光色。　希：同稀，稀少之意。

⑩精衛句：《山海经·北山经》曰：发鸠之山，有鸟名精衛，赤帝之女娃，女娃游于东海，溺而死。不反。化为精衛，常取西山木石，以填东海也。"

⑪谁能句：此谓有谁能探测"精衛填海"其中深微的道理呢？

【译文】

青鸟遨翔在海阔天空，
鸦雀飞舞在蒿枝草蓬，
高翔低飞，自不相同，
舒展羽翼，它们都乐在其中。
轻飞蒿间，鸦雀可把一生终了，
直搏云天，青鸟怎与鸦雀争讼？
高唐神女，乘云潇洒，早晚间变幻无穷，
为世间罕见，那异云奇彩布满苍穹。
精卫神鸟，衔石填海，那顾疲劳、往来匆匆，
如此劳顿，谁又能探究她深藏的初衷。

张司空 离情[1] 华

【原文】

秋月照簾笼[2]， 悬光入丹墀[3]。
佳人抚鸣琴， 清夜守空帷[4]。
蘭径少行迹[5]， 玉台生網丝[6]。
庭树发红彩[7]， 闺草含碧滋[8]。
延佇整绫绮[9]， 万里赠所思[10]。
愿垂湛露惠[11]， 信我皎日期[12]。

【注释】

①此诗所拟之本为张华之《情诗》。张华诗作，力事艳丽，长于儿女之柔

情，却少风骨之豪气，故钟嵘《诗品》评曰："务为妍冶"，"犹恨其儿女情多，风云气少。"观此诗，可谓儿女情多，然运笔却并非力事艳丽，而是写得明白晓畅。明乎此，方知于光华《重订文选集评》引孙月峰评语："借景阳（张协）语，思追茂先（张华），此为一巧。"确为的论。

②秋月句：所拟为张华《情诗》三："清风动帷簾，晨月烛幽房。"之句。 簾笼：竹簾。

③悬光：此指秋月之光。 丹墀：古代宫殿前的石阶，漆成红色，称为丹墀。此处指石阶也。墀：阶也。

④空帷：空房也。帷：指帷房，指妇女居住的内室。《文选》第四十三卷：赵景真《与嵇茂齐书》："翱翔伦党之间，弄姿帷房之里。"

⑤蘭径：蘭香充盈之小径。迳同径。

⑥玉台：何焯《义门读书记》："玉台似指镜台。"台丝：珠绸。

⑦红彩：红花。张铣曰："红彩，花也。"

⑧闺草：即小草，嫩草。 碧滋：碧绿鲜润。

⑨延伫：李周翰曰："延颈伫立"。延：伸也。延伫即伸颈久立远望。 绫绮：薄而有彩文的丝织物。此指丝质衣物。

⑩所思：所思之人，此指在万里之外之夫君。

⑪願：思念。《诗·卫风·伯兮》："願言思伯，甘心疾首。"笺："願，念也。" 垂惠：指夫君给我的恩惠。 湛露：浓重之露。《诗·小雅·湛露》："湛湛露斯，匪阳不晞。"吕延济谓此句意为："湛露能润于物，喻夫之恩惠。"

⑫皎日：白日。《诗·王风·大车》："谓予不信，有如皦日。"皦同皎。此句意为：我发誓：有白日作证，相信我，终日都在盼你回来。

【译文】

朗朗的秋月映照着竹簾，
皎洁的月光，洒满红色的阶沿，
心上的人啊，轻轻地拨响琴弦，
独守空房，在这清冷的夜间。
蘭香小径上，少却了莲步翩跹，
莹亮的镜台上，早已是蛛网高悬，

庭院中，一片春花色泽娇艳，
小草长，遍地是碧绿嫩鲜。
整理衣物，伸颈久立，望穿双眼，
寄给你啊，思念的人，行程万里有多艰，
你给我的恩爱如浓露，滋润心田，
无时无刻盼你归来，我发誓，对着苍天！

潘黄门 悼七[1] 岳

【原文】

青春速天机[2]， 素秋驰白日[3]。
美人归重泉[4]， 悽怆无终毕[5]。
殡宫已肃清[6]， 松柏转萧瑟[7]。
俯仰未能弭[8]， 寻念非但一[9]。
抚襟悼寂寞[10]， 怳然若有失[11]。
明月入倚窗， 仿佛想蕙质[12]。
消忧非萱草[13]， 永怀宁梦寐[14]。
梦寐复冥冥[15]， 何由觌尔形[16]。
我愧北海术[17]， 尔无帝女灵[18]。
驾言出远山[19]， 徘徊泣松铭[20]。
雨绝无还云[21]， 华落岂留英[22]。
日月方代序[23]， 寝兴何时平[24]。

【注释】

①“六臣注”本题作《述哀》。刘良曰：“谓悼妇诗。”故知此诗所拟乃潘岳之

《悼亡诗》。潘岳丧妻，作《悼亡诗》三首（载《文选》第二十三卷）、《悼亡赋》（载《艺文类聚》三十四）、《哀永逝文》（载《文选》第五十七卷），故《晋书·潘岳传》谓："岳美姿仪，辞藻绝丽，尤善为哀诔之文。"只是江淹的拟诗，非特只取《悼亡》为本，诚如于光华《重订文选集评》引孙月峰语谓此拟诗"兼摘'永逝'（按：即《哀永逝文》），此可知江淹所仿为潘岳哀婉风格，或者说，江淹以为潘岳诗作风格，主要是以述哀痛丧为主。"钟嵘《诗品》论潘、陆（机）之轩轾，以"潘才如江"为评，似着重于潘诗词藻华丽一面而言，与江淹之识见，似有不同也。

②天机：潘岳《悼亡诗》之三："曜灵运天机"句张铣曰："天机者，言天运动有机关也。"意即春、夏、秋、冬之天道运行，仿佛有机关控制。

③素秋：秋季，用以喻人之晚暮年衰。驰白日：时日急驰而逝。"青春"、"素秋"二句意谓：天道运行似有控制，所以春秋代序，时日驰逝，青春年少转眼已近人之迟暮。

④美人：此指潘岳之妻。　归重泉：即死去。重泉：犹黄泉、九泉。

⑤悽怆：悲伤。　无终毕：无终了之时。

⑥殡宫：古代临时停放灵柩的地方。此处指亡妻之坟墓。肃清：寂寞凄凉。

⑦松柏：李善注："仲长子昌言曰：古之葬者，松柏梧桐以识其坟。"此谓亡妻坟上之松柏。转萧瑟：回旋着秋风萧瑟之声。

⑧俯仰：借指片刻时间。　弭：（mǐ 米）：志也。

⑨寻念：长思哀念。　非但一：吕延济曰："非但一涂"。意即不仅只一个方面。

⑩抚襟：抚摸亡妻的衣物。　悼寂寞：哀伤自己孑然一身的寂寞。

⑪怳（huǎng 晃）然：怳怳忽忽，心神不定。

⑫仿佛：此指模糊的形影。潘岳《悼亡诗》之一："帏屏无仿佛，翰墨有余迹。"　蕙质：吕向曰："蕙质言体质芬芳如蘭蕙。"此指亡妻散发香气之体态。

⑬萱草：忘忧草。《诗·卫风·伯兮》："焉得谖草，言树之背。"传："谖草令人忘忧。"《释文》："谖、本又作萱。"

⑭永怀：永远的怀念。　宁梦寐：宁愿长入睡梦之中。"消忧"、"永怀"二句意谓：此等亡妻之忧，非萱草可消除，宁愿长入睡梦得见亡妻而解永思。

⑮冥冥：昏暗不明。

⑯觌（dí 敌）：见也。　尔形：此指亡妻之形貌也。

⑰北海术：李善注引《列异传》曰：北海营陵，有道士能使人与死人相见。

同郡人妇死已数年，闻而往见之曰：愿令我一见死人不恨。遂教其见之。于是与妇人相见，言语悲喜，恩情如生，良久乃闻鼓声，恨恨不能出户，掩门乃走，其裾为户所闭，掣绝而去。后岁余，此人死，家葬之，开见妇棺盖下有衣裾。”北海术谓与死者相见之术。

⑱帝女灵：指巫山神女梦与人会的灵术。帝女即巫山神女。

⑲驾言：驱车。言：语助词。　远山：坟墓。

⑳铭：墓碑。

㉑雨绝句：雨停后，雨云再也不回返了。

㉒花落句：花已坠落，枝上岂可再有花片。英：花片。“雨绝”、“花落”意谓妻死而不能再复生也。

㉓代序：岁月、季节顺次更替。此指时日不断流逝，岁月已久。

㉔寝兴：寝，卧。兴，起。寝兴即坐卧。何时平：指思忆亡妻之情何时可平。

【译文】

春秋代序，天道运行，真有机关暗藏，
才是少年，不觉迟暮，时日竟如此匆忙。
魂归九泉，爱妻舍我而亡，
无终无了，这份丧妻的悲怆。
亡妻的坟头寂寞凄凉，
墓旁的松柏间，萧瑟的秋风阵阵回荡。
无一刻可把你忘，
这长思哀念的事，非只一桩。
痛悼自己的孤寂，抚摸你昔日的衣裳，
若有所失，精神总是这般忽忽恍恍。
明月透入雕花饰彩的纱窗，
真想再见你，朦胧中如蘭蕙般的身影、模样。
纵然是忘忧草，也排遣不了这丧妻的郁怏，
再见亡妻，解我思念，宁愿长入梦乡，
睡梦中，却总是一片昏暗无光，

何由得见到你体态脸庞。
自愧啊，没有那与亡妻会见的法术，
爱妻啊，你也没有梦中与我相见的灵术，如神女在高唐。
就要驱车离开你的墓地坟岗，
又一次徘徊悲泣在松林间，你的墓碑旁。
你死而不还，真如这雨后，雨云再不会聚集回往，
你死而不还，真如花落后，枝头再不会有花朵开放，
一年四季，总这么顺次更替，时光就这么流淌，
何时才能平服，我悼念亡妻的情思绵长。

陆平原 囂宦[1] 机

【原文】

储后降嘉命[2]，　恩纪被微身[3]。
明发眷桑梓[4]，　永叹怀密亲[5]。
流念辞南澨[6]，　衔怨别西津[7]。
驰马遵淮泗[8]，　旦夕见梁陈[9]。
服义追上列[10]，　矫迹厕宫臣[11]。
朱黻咸髦士[12]，　长缨皆俊人[13]。
契阔承华内[14]，　绸缪逾岁年[15]。
日暮聊总驾[16]，　逍遥观洛川[17]。
徂没多拱木[18]，　宿草凌寒烟[19]。
游子易感忾[20]，　踯躅还自怜[21]。
愿言寄三鸟[22]，　离思非徒然[23]。

【注释】

①羁宦：旅居为官。羁为羁。据李善注，这首拟诗总含陆机《赴洛诗》二首、《赴洛道中作》二首、《吴王郎中时从梁陈作》及《答张士然》诸诗之意，故述陆机旅宦行迹之事多，而显“陆才如海”之貌则少也。

②储后：太子的别名。 储：副。 后：君。意谓太子为君主之副。嘉命：吉庆之令。

③恩纪：恩情。 被：及。 微身：微贱之身，自指谦词。张铣曰：“机为太子洗马，言太子之恩被于己。”

④明发：黎明。此处意为从傍晚直至黎明。 桑梓：故乡。《诗·小雅·小弁》：“惟桑与梓，必恭敬止。”桑与梓为古代住宅旁常栽之树木，东汉以来遂用以喻故乡。

⑤永叹：长叹。 密亲：密友近亲。

⑥流念：因思念而流连。 南滨：河流的南岸水滨。滨(shì 似)：水滨。

⑦西津：河流西面的渡口。津：渡口。

⑧驰马：策马而驰行。“五臣”作“驱马”，意同。 遵：沿着。 淮泗：淮河，泗水。

⑨旦夕：早晚，言时间短。 梁陈：二郡国名。吕良曰：“梁，汉景帝弟所封国；陈，曹植所封国。”辖地均在今河南境内。陆机《吴王郎中时从梁陈作》：“夙驾寻清轨，远游越梁陈。”

⑩服义：奉行仁义。《楚辞》：宋玉《招魂》：“朕幼清以廉洁兮，身服义而未沫。” 追：追随。 上列：大官。《后汉书·蔡邕传》：“臣季父质，连见拔擢，位在上列。”

⑪矫迹：矫正自己的足迹，意谓端正自己的行为、品德。 厕：厕迹，插足、置身之意。

⑫朱黻：朱绂黻衣。 朱绂：古代系佩玉或印章的红色丝带。 黻衣：古代的礼服。指显贵之官服。绂、黻皆音 fú(福)。 髦士：英俊之士。

⑬长缨：结冠的长带子。此处与“朱黻”对举，故为缨绥之意，即冠饰与冠带。亦为显贵之侍臣服饰。 俊人与髦士意同。

⑭契阔：勤苦。 承华：太子宫门。陆机《赴洛诗》：“羁旅远游宦，讬身承华

侧。”吕向曰:“承华,东宫门名。”

⑮绸缪:情意殷切。 岁年:岁月。

⑯总驾:系车。

⑰洛川:洛水,今之谓洛河。

⑱徂没:“没”,“五臣”作“役”。逯钦立《先秦魏晋南北朝诗》作“殂殁”。徂通殂,没通殁。殂殁为死亡之意,此指坟墓也。 拱木:本为可用两手围抱的树。《左传·僖》三十二年:“尔何知!中寿,尔墓之木拱矣。”后因称坟旁之树木为拱木。

⑲宿草:隔年之草。《礼·檀弓》:“朋友之墓,有宿草而不哭焉。”注:“宿草,谓陈根也。” 凌:凝聚。 寒烟:寒雾。

⑳感忾:“忾”,“五臣”作“慨”。应依“五臣”本改。

㉑踯躅:徘徊不前。 自怜:哀怜自己。

㉒愿言句:愿寄言于三鸟。三鸟:古代神话中西王母的使者。《山海经·大荒西经》:“有三青鸟,赤首黑目,一名曰大鹜,一名曰少鹜,一名曰青鸟。”郭璞注:“皆西王母所使也。”李善注引《楚辞》刘向《九叹·忧苦》:“三鸟飞以自南兮,览其志而欲北。愿寄言於三鸟兮,去飙疾而不可得。”张铣曰:“三鸟者,《楚辞》本属当时所见,无定名也。言我寄言此鸟。”张说为是,此句似谓寄言于天上之飞鸟。

㉓离思:离别之情思。 徒然:仅此而已。盖言旅宦于外,离乡别亲之情思,非只触景生情,徘徊自怜而已。

【译文】

皇太子降下这般吉庆的旨令,
官授太子洗马,微贱的我,身受隆恩,
一整霄,勾起我对故乡的眷恋深情,
长叹息,思念着密友亲人。
依恋不舍,思念不尽,辞别在这南岸水滨,
再行过西岸渡口,我暗衔离别的怨恨,
沿着淮河泗水,我驱马疾行,
转眼间,即看见梁、陈两城。

奉行仁义，我紧步高官显贵的后尘，
端正品德，我身居太子的侍臣，
朱绂黻衣，贤士能人尽都是朝廷的重镇，
冠系长缨，侍臣们尽都是时代精英。
在这承华宫内，我不辞辛劳，勤勤恳恳，
年逝月移，君臣交欢，意合情殷，
系车驾辕，在这日暮时分，
缓行于洛水，我逍遥览胜。
座座坟头的树，一片苍凉阴森，
丛丛枯草，凝聚着寒雾湿润，
旅宦的游子，易唤起深沉的感慨，
自怜自叹，我徘徊不进。
南飞的鸟啊，请带去我的问询，
苦恋着家乡，非只是触景生情。

左记室 咏史[1] 思

【原文】

韩公沦卖药[2]， 梅生隐市门[3]。
百年信荏苒[4]， 何用苦心魂[5]。
当学卫霍将[6]， 建功在河源[7]。
珪组贤君眄[8]， 青紫明主恩[9]。
终军才始达[10]， 贾谊位方尊[11]。
金张服貂冕[12]， 许史乘华轩[13]。
王侯贵片议[14]， 公卿重一言[15]。

太平多欢娱， 飞盖东都门。
顧念张仲蔚⑯， 蓬蒿满中园。

【注释】

①左思《咏史》，多有身世之慨，故何焯《义门读书记》曰："题为咏史，其实乃咏怀也。"江淹拟诗言士当求仕宦之显达，功成名遂而不忘蓬蒿之士，似未得太冲咏史之旨趣也。况此首拟诗用事多，却窘于布局，运笔匆忙，意不甚畅，此为论家所识见，如何焯《义门读书记》评此首拟诗曰："左之咏史，太抵宾主相形，此作既以衛、霍诸公形容仲蔚，乃复以韩、梅发端，不已赘乎？""太冲本诗虽用事错杂，而指趣了然；此则徒仿其体，不复能文从字顺矣。"于光华《重订文选集评》引孙月峰评语曰："第用事多，意觉不甚串。"由此观之，此首拟诗自是江淹三十首拟作中败笔之作。何焯《义门读书记》评左思《咏史·郁郁涧底松》曰："读太冲诗而论其世，可以为今之不病而呻者戒矣。"故知江淹此诗取败之由，盖在未能知人论事，追述原诗之旨。

②韩公：李善注引《后汉书》曰：韩康字伯休，一名恬休，京兆人也。常采名药卖于长安市，口不二价，三十余年。

③梅生：李善注："梅生，梅福也。"据《汉书》载：王莽擅权，梅福弃妻子去。其后，人见于会稽，变名姓，为吴市门卒。市门：市肆之门，即今集市中的商店。

④百年：指人之一生。 荏苒：吕延济曰："荏苒，少时也。"即不多时。

⑤苦心魂：使精神痛苦。

⑥卫霍将：卫青与霍去病，皆为扫荡匈奴之西汉名将。

⑦河源：本指黄河发源地。此指西域匈奴所居之地。

⑧珪组：珪为帝王诸侯所执的长形玉版，上圆或尖，下方，表示信符。组即组绶。古代帝王、诸侯、大夫皆佩玉为饰，系玉的丝带叫组绶。珪组指高官也。

贤君：与下句之明主皆指天子。 眄(miǎn 免)：眷顾，垂爱关注之意。

⑨青紫：汉制：丞相、太尉皆金印紫绶，御史大夫银印紫绶，三府官最崇贵。后称贵官之服为青紫。

⑩终军：西汉官吏。年十八选为博士弟子，后以奏对合宜，为武帝赏识。才始达：据《汉书》载：终军至长安上书，武帝异奇文，拜为谒者给事中。"达"与下句之"尊"，皆是被赏识任用之意。

⑪贾谊句：李善注引《汉书》曰："贾谊为博士，文帝悦之，超迁，岁中至太中大夫也。

⑫金张：汉代金日磾一家，自武帝至平帝，七世为内侍。汉代张汤的后代，自宣帝、元帝以来为侍中、中常侍者十余人，后因以金张为功臣世族的代称。

貂冕：左思《咏史》之二："金张藉旧业，七叶珥汉貂。"貂冕指貂珥。汉代宦官冠上插貂尾悬珥珰以为饰，后遂以貂珥喻显贵。

⑬许史：汉宣帝时两家外戚。许，宣帝许皇后家；史，宣帝母家，皆显贵。华轩：华丽之车，为显贵所乘。

⑭王侯句：意为以简短的一席话而封王侯。片议：即片言：简短的几句话，与下文之"一言"意同。

⑮公卿句：意为以一番话而取公卿之重位。吕延济曰："片议谓娄敬议都而封奉春君。一言谓田千秋一言而登卿相。"

⑯顧念：眷念。张仲蔚：李善注引赵岐《三辅决录》注曰：张仲蔚，扶风人也。少与同郡魏景卿隐身不仕，明天官，博学，好为诗赋，所居蓬蒿没人也。

【译文】

卖药谋生，韩康沉沦在长安，
弃妻抛子，梅福隐迹在货栈，
人生一世，光阴恁短，
何用这般隐忍，心神劳烦。
当学那卫、霍名将，率兵征战，
建功立业，在那西域边关，
手握朝笏，身系珮玉，君主格外垂着，
官居显位，衣着华丽，君主恩重如山。
终军上书，一忽儿壮志得展，
贾宜策对，一年间声名赫然，
金、张世家，常依君侧，世代都华服贵冠，
许、史外戚，备受恩宠，驰驶都是彩车玉鞍。
一席话，轻取王侯显位，

一席话，禄位到公卿高官，
世道升平，饮宴承欢，
飞车东门，都市遍览。
别忘了，有隐士如张仲蔚那般，
庭园中蓬蒿没人，日子忒是清寒。

张黄门 苦雨[1] 协

【原文】

丹霞蔽阳景[2]，绿泉涌阴渚[3]。
水鹳巢层甍[4]，山云润柱础[5]。
有弇兴春节[6]，愁霖贯秋序[7]。
燮燮凉叶夺[8]，戾戾飑风举[9]。
高谈玩四时[10]，索居慕畴侣[11]。
青苔日夜黄[12]，芳蕤成宿楚[13]。
岁暮百虑交[14]，无以慰延伫[15]。

【注释】

①钟嵘《诗品·序》有“景阳苦雨”句，并将其与“陈思赠弟”等同列，谓“斯皆五言之警策者也。”逯钦立《先秦汉魏晋南北朝诗》辑张协《杂诗》十首，其中二、三、四、九、十等五首皆写雨，且以第十首为最。就其句而言，如“飞雨洒朝兰”、“翳翳结繁云，森森散雨足”、“凄风起东谷，有渰兴南岑，虽无箕毕期，肤寸自成霖。”皆写雨景，可谓“苦雨”也矣。江淹所拟，正是张协之所长。

②丹霞：赤云。李善引《河图》注张协《杂诗》：“丹霞启阴期”曰：“仑崑山有五色水，赤水之气上蒸为霞，阴而赫然。”故丹霞为致雨之赤云，阳景：太阳。

③阴渚：阴湿的水边。

④水鸛(guàn 贯):水鸟名。 层甍(méng 门):极高的屋梁。张铣曰:"层,高也。"甍,屋子的栋梁。

⑤柱础:屋柱下的石礅。《淮南子·说林》:"山云蒸,柱础润。"注:"础,柱下石,碛也。"

⑥有弇:张协《杂诗》之九有"有弇兴南岑"句。有弇即有渰(yǎn 掩),为浓云密布貌。《诗·小雅·大田》:"有渰萋萋,兴雨祁祁。"《传》:"渰,云兴貌。"春节:古代以立春为春节。《后汉书·杨震传》:"又冬无宿雪,春节未雨。"

⑦愁霖:久雨。 贯:达,延续。 秋序:秋季。序:季节。吕向曰:"言雨春节而达秋不歇。"

⑧燮燮:渐渐。 凉叶:秋叶。 夺:落。

⑨戾戾:劲疾。 飓风:疾风。

⑩高谈:高雅而无拘束的谈论。 玩:即玩世,意为轻蔑世事。 四时:四季,此处作岁月解。

⑪索居:离群独居。 慕:思念。 畴侣:"六臣注"本作俦侣,同类之友。

⑫青苔:"五臣"作苕。逯钦立《先秦汉魏晋南北朝诗》于此诗后按:"《(艺文)类聚》八十二草部'苔'引'青苔日夜黄'句,似此原作苔字。查晋宋人多以苔为条。条可以由青而黄,而苔则不可。应以作苔者为是。《说文系传·草部》苔引此句作苔。"逯说为是。苔:刘良曰:"苔,草梢也。"即草之尖端。

⑬芳蕤:李善注引《说文》:"芳蕤,草木华盛貌。"即草木之花开得繁茂。宿楚:隔年之丛木。 楚:丛木。 宿:隔年也。

⑭百虑交:百般思虑交织于心。

⑮延伫:久立等待。

【译文】

一片雨云,遮蔽太阳,布满天宇,
绿泉淙淙,涌向水滨,升起阴气,
水鸛筑巢在高楼的屋脊,
山间乌云密漫,水气润湿了屋基。
立春时,黑云就已浓聚,
从春到秋,连续久雨,

渐渐地，树枝秋叶飘落坠地，
猛劲的秋风，又骤疾而起。
高谈排遣，就这样消磨四季，
离群独居，只思念情味相投的伴侣，
青青的草尖日日枯黄，已不是繁花盛开的畴昔。
岁时将尽，心中泛起百般思虑，
故人不来，何以慰我在这儿等侯久立。

刘太尉 伤乱[1] 琨

【原文】

皇晋遘阳九[2]，天下横雰雾[3]。
秦赵值薄蚀[4]，幽并逢虎据[5]。
伊余荷宠灵[6]，感激殉驰骛[7]。
虽无六奇术[8]，冀与张韩遇[9]。
宁戚扣角歌，桓公遭乃举[10]。
荀息冒险难，实以忠贞故[11]。
空令日月逝，愧无古人度[12]。
饮马出城濠[13]，北望沙漠路。
千里何萧条，白日隐寒树。
投袂既愤懑[14]，抚枕怀百虑。
功名惜未立，玄发已改素[15]。
时或苟有会[16]，治乱惟冥数[17]。

【注释】

①此诗所拟之本为刘琨《答卢谌诗》，起首言晋乱，再言当以忠贞报国，结

处发日暮途穷之慨。钟嵘《诗品》曰："琨既体良才，又罹厄运，故善叙丧乱，多感慨之词。"此诗合于钟嵘之论，似得刘琨诗作之味，故何焯高看此诗，于《义门读书记》中以"气味逼真"作评。

②皇晋：对晋朝的美称。皇：大，美。 遘：遭遇。 阳九：指灾荒年成和厄运。详见《文选》第二十五卷刘琨《答卢谌》："厄运初遘，阳爻在六"句注。

③横：充塞。 雰雾：谓尘土飞扬如雾，指战乱之烈。雰同氛。

④薄蚀：日月相掩食。《吕氏春秋·明理》："其月有薄蚀。"注："薄，迫也。日月激会相掩，名为薄食。"意即日月相侵也，以喻晋室君、王之相侵。何焯《义门读书记》曰："成都王颖据邺，河间王颙据关中，皆王室懿亲，故谓之薄蚀。"

⑤虎据：割据称强。《三国志·魏·常林传》："令主上幼冲，贼臣虎据，华夏震慓，雄才奋用之秋也。"李周翰曰："秦姚泓所据赵，石勒所据幽州，段匹磾所据并州。"

⑥伊余：即我。伊：语助词。《诗·邶风·谷风》："伊余来塈。" 荷：感蒙。 宠灵：恩宠、宠异。《左传·昭》七年："今君步玉趾，辱见寡君，宠灵楚国。"疏："言开其恩宠，赐以威灵。"

⑦感激：感动而激发。 殉：此指为报君恩而不惜身。 驰骛：此指奔走军务。骛 wù（务）：奔驰。

⑧六奇术：李善注引《汉书》曰："陈平自初从，至天下定后，常以护军中尉从击臧荼、陈豨、凡六出奇计，辄益邑封。奇计或颇秘，世莫得闻也。

⑨张韩：张良、韩信。

⑩"宁戚"、"桓公"句：宁戚于齐之国门击牛角而歌商声，齐桓公遇而举之以为田官。事见《淮南子》。

⑪"荀息"、"实以"两句：李善注引《左传》曰：初，献公使荀息傅奚齐。公疾：召之曰："其若之何？"稽首而对曰："臣竭其股肱之力，加之以忠贞。其济，君之灵也；不济，则以死继之。"公曰："何谓忠贞？"对曰："公家之利，知无不为，忠也；送往事居，耦俱无猜，贞也。"意为荀息受君嘱而冒触险难，实因忠贞的缘故。

⑫古人：此指宁戚、荀息。 度：胸怀。

⑬城濠：护城的濠沟。

⑭投袂（mèi 妹）：挥袖。古代衣袖统称为袪，折言也，袖口曰袂。愤懑（mèn 闷）：郁闷、怨恨。

⑮玄发：黑发。　素：白。此指白发。

⑯时：此指太平之时。　会：时机。

⑰治乱：治理乱世。　冥数：于光华《重订文选集评》："冥数，言不可知也。"

【译文】

大晋朝竟遭此灾祸，
遍天下燃起战火，
君主与群王同室操戈，
外戚、权臣把幽、并分割。
我承受君主的无限恩泽，
感激万分，不惜以身答报君主邦国，
纵不如陈平治国安邦，六出奇策，
倒希冀如张良、韩信常伴君侧。
齐国都门，宁戚扣击牛角而歌，
巧遇桓公，恩赐官爵，
冒触险难，苟息不负君托，
缘只为忠贞之故，堪为楷模。
无一极主，任这岁月蹉跎，
深深有愧啊，我没有苟息的胸怀气度，
感伤时乱，立志平叛，饮马跨过护城河，
举目北望，茫茫一片广漠。
千里之途，多么漫长萧瑟，
白日的阳光，被丛丛的寒树遮隔，
年龄徒长，挥袖长叹，心里郁闷难遏，
抚枕难眠，心里百感煎迫。
难扶君主，难匡国正，功名岂能轻得，
可叹少年黑发，竟已是一片白色，

天下太平，且应有机遇把握，
治理乱世，只待命数，这又如何寻索。

卢中郎 感交[1] 谌

【原文】

大厦须异材[2]，　廊庙非庸器[3]。
英俊著世功[4]，　多士济斯位[5]。
眷顾成绸缪[6]，　乃与时髦匹[7]。
姻媾久不虚[8]，　契阔岂但一[9]。
逢厄既已同[10]，　处危非所恤[11]。
常慕先达概[12]，　观古论得失。
马服为赵将[13]，　疆场得清谧[14]。
信陵佩魏印，　秦兵不敢出[15]。
慨无幄中策[16]，　徒惭素丝质[17]。
羁旅去旧乡[18]，　感遇喻琴瑟[19]。
自顾非杞梓[20]，　勉力在《无逸》[21]。
更以畏友朋[22]，　滥吹乖名实[23]。

【注释】

①感交：感激故交。故交指刘琨。此诗所拟之本为卢谌《赠刘琨》诗。卢诗避不涉刘琨幽愤，只以“感交”应付，故于刘琨“何意百炼钢，化为绕指柔”，以“百炼或致屈，绕指所以伸”对，实属虚以委蛇之词。江淹此首拟诗，以“更以畏友朋，滥吹乖名实”作结，全合卢诗之旨。于光华《重订文选集评》引方伯海评语曰：“文真能传得神似”。

②大厦:大屋子。 异材:粗大之材。

③廊庙:李周翰曰:"廊庙喻宰臣也。" 庸器:才能、器识平庸之人。此句言宰辅重臣不可以庸才为任。

④英俊:才智杰出的人物。于光华《重订文选集评》"言英俊"谓(刘)琨"也。 著:立。 世功:济世之功。

⑤济:成就。此为辅佐之意。 斯位:此指天子之位。吕延济谓此句之意为"众多之士共佐天子之位。"

⑥眷顾:垂爱关注。 绸缪:情意殷切,关系亲密。

⑦时髦:谓一时的杰出人物。 匹:匹敌、同列。刘良谓"眷顾"、"乃与"二句意为:"谌言蒙琨眷以成亲密,得与当时髦俊为匹偶。"

⑧姻媾:交互为婚姻,亲上结亲。于光华《重订文选集评》于卢子谅《赠刘琨》"申以婚姻,著以累世。"句注云:"婚姻,琨之妻谌之从母,谌之妹嫁琨之弟。" 虚:"五臣"作"亏"。亏:减损。

⑨契阔:聚散,离合,偏指离散。吕向曰:"契阔,谓同遭乱,杀其父母。" 但一:只一桩事也。

⑩逢厄:遭遇困苦、危难。

⑪非所恤:无所忧虑。

⑫先达概:前辈人的志向、节操。 概:风度,志向,节操。

⑬马服:战国时赵地,在今河北省邯郸市西北。赵将赵奢大破秦军,解阏兴围,赵王封奢为马服君于此,故称赵奢为马服君。事见《史记·赵世家》。

⑭清谧:清静,安宁。此谓疆界安宁,战事得息。

⑮"信陵"、"秦兵"二句:魏公子无忌为信陵君。秦昭王进兵围邯郸,公子进兵击秦军,遂解邯郸之围而存赵。公子留赵十年不归。秦闻公子在赵,日夜出兵东伐魏。魏王患之,便使请公子归救魏,魏王以上将军印授公子,公子遂将,破秦军于河外,乘胜逐秦王至函谷关,抑秦兵不敢出。事见《史记·信陵君列传》。

⑯慨:叹息。幄中策:决胜千里的密计。《汉书·高帝纪》:"夫运筹幄之中,决胜千里之外,吾不如子房。"幄:帷幄,军中营帐。

⑰素丝:白色的生绢。 质:性质。《淮南子·说林》:"墨子见练丝而泣之,为其可以黄,可以黑。"素丝的性质是随染而变,可以染成黄色,亦可染成黑色。吕向谓"慨无"、"徒惭"二句意为:"叹无帷幄之谋而能从善迁变,故云惭

也。”

⑱羁旅：此指卢谌寄居，依附并州段匹磾。

⑲感遇：感激恩遇。 喻：譬如。 琴瑟：琴瑟同时弹奏，其音和谐，故以比喻朋友的情谊融洽。此句意谓卢谌感激刘琨之恩遇，彼此情谊融洽，如琴瑟共奏之和谐。

⑳杞梓：杞、梓皆为优质木材。用以比喻优秀人才。

㉑《无逸》：《尚书·周书》篇名，为周公戒成王勿耽于享乐之辞。此指勿耽于享乐。

㉒畏：此处意为愧对。 友朋：此指刘琨。

㉓滥吹：虚在其位。过分吹嘘。 乖名实：名实不一致，即名不副实。

【译文】

栋梁之材，方建成大厦崔嵬，
宰辅重臣，岂可用平庸之辈，
才智杰出，要建济世之功，多么宏伟，
众多的良士，与您共辅君位。
您对我啊，情意殷切，垂爱增倍，
方使我与时贤同列匹对，
亲上联亲，我两家交谊久不衰退，
离乱中休戚与共，非只一回。
同遭困苦，我将您紧紧跟随，
跟随您处困境，我无所忧虑，无所伤悲，
先贤的风度节操，我常常思慕以钦佩，
纵观往事，论说其中的得失功亏。
赵奢作大将，统帅着全国的精锐，
败秦军，边境安静，熄灭烽燧，
佩将印，信陵君率魏军从赵返回，
逐秦兵至函谷，人人惧畏。
常喟叹，无古人帷幄决策，匡国济危，

如素丝般柔怯随染变化，我徒增惭愧，
寄旅并州，与故国长久睽违，
深谢您啊，对我恩情，如琴瑟齐奏，和谐完美。
自顾我，生就非如杞梓般优质珍贵，
唯有自勉奋力，决不耽于金迷纸醉，
真有愧与您见面相对，
承蒙夸誉，我感到徒占其位，名实相悖。

郭弘农　游仙[1]　璞

【原文】

崦山多灵草[2]，　海滨饶奇石[3]。
偃蹇寻青云[4]，　隐沦驻精魄[5]。
道人读《丹经》[6]，方士铄玉液[7]。
朱霞入窗牖[8]，　曜灵照空隙[9]。
傲睨摘木芝[10]，　凌波采水碧[11]。
眇然万里游[12]，　矫掌望烟客[13]。
永得安期术[14]，　岂愁蒙汜迫[15]。

【注释】

①钟嵘《诗品》谓郭璞《游仙》诗之特点有二：一是“词多慷慨，乖远玄宗”；另一是“乃是坎壈咏怀，非列仙之趣也。”江淹拟作，尽叙脱离尘俗，游心仙境之事。何焯《义门读书记》谓此首拟诗“亦失本趣”，于光华《重订文选集评》引孙月峰评语曰：“太浓太质，知不似景纯；景纯故慷慨。”都是见到了江淹拟作的不足处。

②崦山：崦嵫山，在甘肃天水县西。古代神话说是日入之处。屈原《离骚》：

“吾令羲和弭节兮，望崦嵫而勿迫。” 灵草：仙草。《文选》：班固《西都赋》：“于是灵草冬荣，神木丛生。”李善注：“神木、灵草，谓不死药也。”

③海滨：李善注：“海滨，海中三山也。”即蓬莱三仙岛。 奇石：何焯《义门读书记》：“奇石如丹砂，空青琉黄之属，可铸药者。”

④偃蹇：原意为高耸。此处谓攀延高处而飞升。 寻：依附。 青云：谓高空。

⑤隐沦：吕向曰：“隐沦，谓绝迹也。”即遗弃世事之意。 驻：保留住。 精魄：魂魄。李善注引《抱朴子》曰：人无贤愚，皆知身之有魂魄。魂魄分去则人病，尽去则人死。”此句谓遗弃世事，保住魂魄不散不尽，则长生不死。

⑥道人：有道术之人。与下句方士意同。《丹经》：张铣曰：“《丹经》，九转之法。”即谓九转金丹。道家谓炼烧金丹，以九转为贵。转，循环变化之意，如把丹砂烧成水银，将水银又炼成丹砂，烧炼时间愈久，则转数愈多，效能愈高。见《抱朴子·金丹》。故《丹经》为炼丹之书也。

⑦玉液：《楚辞·汉·王逸·九思·疾世》：“吮玉液琼蕊兮止渴”，注：“玉液，琼蕊之精华。”《汉书·司马相如传》：(《大人赋》)“咀噍芝兮叽琼华”，注引《三国·魏·张揖传》：“琼树……高万仞。华，蕊也。食之长生。”

⑧窗牖(yǒu 友)：窗户。

⑨曜灵：太阳。 隙：李周翰：“隙，穴也。言所居之处高。

⑩傲睨：放纵狂诞之貌。 木芝：即紫芝，又名灵芝。

⑪水碧：水晶，即水玉，亦为仙药。

⑫眇然：辽远。眇：miǎo(秒)。

⑬矫掌：吕延济曰：“矫掌，举手也。” 烟客：传说神仙托身云烟，因称仙人为烟客。

⑭安期术：吕延济曰：“安期，古仙人。术，仙方也。”此指安期生长生之术。

⑮濛汜：喻人之暮年。《晋书·索紞传》：“又少不习勤，老无吏干，濛汜之年，弗敢闻命。” 迫：逼近。

【译文】

崦嵫山上长满茂密的仙草，
炼丹的奇石，富藏在蓬莱三岛，

攀延登高，追寻青云，真上云霄，
遗世独立，守住精魂，不死不老。
得道之人将《丹经》仔细观瞧，
方术之士将琼树蕊炼成不死之药，
鲜红的霞光把窗棂映照，
和煦的太阳，把隐居的山洞照耀。
任性放浪，随意摘取紫芝，
脚踏波浪，采取水晶珍宝，
辽阔万里，云游逍遥，
远望之中忽见仙人，我把手招。
若将安期生长生之术永远学到，
又怎愁垂暮之年逼在眉梢。

张廷尉 杂述① 绰

【原文】

太素既已分②，吹万著形兆③。
寂动苟有源④，因谓殇子夭⑤。
道丧涉千载⑥，津梁谁能了⑦。
思乘扶摇翰⑧，卓然凌风矫⑨。
静观尺棰义⑩，理足未常少⑪。
冏冏秋月明⑫，憑轩咏尧老⑬。
浪迹无蚩妍⑭，然后君子道⑮。
领略归一致⑯，南山有绮皓⑰。
交臂久变化⑱，传火乃薪草⑲。

亹亹玄思清[20]， 胸中去机巧[21]。
物我俱忘怀[22]， 可以狎鸥鸟[23]。

【注释】

①张绰，“五臣”作孙绰，逯立钦《先秦汉魏晋南北朝诗》载江淹《杂体诗三十首》亦作孙绰。考晋之诗人无任廷朝尉之张绰，故以孙绰为是。于光华《重订文选集评》引方伯海评此诗语曰：“会一部《庄子》，以立言大意总归於清虚无为，顺其自然而已。其曰去机巧，俱忘怀，乃作诗之旨。”此正合于钟嵘《诗品》所谓“世称孙（绰）、许（询），弥善恬谈之词”之论。

②太素：古代指构成宇宙的物质。班固《白虎通·天地》：“始起之天，始起先有太初，后有太始，形兆既成，名曰太素。”万物形兆既成，乃为天地已分之后，故“太素既已分”意即宇宙由混沌的原始状态分为天地两域。

③吹万：风吹所至，及于万物。详见《文选》第二十卷：谢灵运《九日从宋公戏马台集送孔令诗》“在宥天下理，吹万群方悦”句注。 形兆：迹象、征兆。此处意为形态。此句意谓风吹所至，及于万物，使之得以生养而各具不同之形态。

④寂动：指万物各自的行动与止息。 苟：假如。 源：根源。

⑤殇子：未成年而死者。 夭：夭亡。“寂动”、“因谓”二句意为：万物或动或静，非同一源，故亦无寿夭之分；倘若认为万物动静同是一源，则可以说长命者为寿，未成年死者为夭了。

⑥道丧：万物以生，万物以成之道已丧。道：丁福保《文选类诂》：“万物以生，万物以成，命之曰道。” 涉：历。

⑦津梁：桥梁，或指起桥梁作用之事物。此指通晓道之途径。 了：明白。

⑧扶摇：盘旋而上之暴风。 翰：原意为鸟羽，此指大鹏。

⑨卓然：高飞貌。 矫：飞。

⑩尺棰义：李善注引《庄子》曰：一尺之棰，日取其半，万世不竭。吕延济曰：“棰，杖也。言一尺之杖，分五寸为夜，五寸为昼。昼，阳也。主生；夜，阴也，主死。昼复夜，死复生，虽一尺之杖，无有穷时。”此句以尺杖日取其半而万事不竭，喻世间时日，人生亦往复无穷。

⑪理足句：意谓尺杖日分，以理推知，将足以分析以至无穷而未曾减少。

此亦喻世间时日，生死往复足以无穷尽，而未有增减。

⑫冏冏：明亮，今通作炯炯。

⑬轩：栏杆。 咏：歌颂，赞美。 尧老：唐尧、老子。李善注："尧及老子，玄宗之太师。"

⑭浪迹：放浪不拘。 蚩 chī(痴)，丑。 妍：美。

⑮君子道：德才之士所循之道。

⑯领略：领会。 一致：相同。此句意为：须领会到世间之理虽多而殊涂，然其精要之处则是相同的。

⑰南山：指商洛山。绮皓：即商山四皓：东园公，绮里季、夏黄公、角里先生。

⑱交臂句：李善注："《庄子》仲尼谓颜回曰：吾终身与汝交一臂而失之，可不哀与！"郭象曰：夫变化不可执而留也，故虽交臂相守而不能令停。若哀死，则此亦可哀者也。今人未尝以此为哀，奚独哀死邪！"

⑲传火句：用柴草续火，在前的柴草烧完，火也传到后面的柴草上，火种于是可得传续不绝。《庄子·养生主》："指穷于为薪，火传也，不知其尽也。""交臂"、"传火"二句意为：世间万物瞬刻皆在变化，谁也不可固守而令停；而柴草相继，则火种可以不灭。此喻人强求不死则不可得，唯养心则命可续而不绝。

⑳亹亹(wěi 尾)：勤勉不倦貌。 玄思：深思。 清：清静无为之道。

㉑机心：机巧之心，即智巧变诈之心。李善注引《庄子》曰：有机械者必有机事，有机事者必有机心，机心存于胸中，则纯白不备，纯白不备则神生不定，神生不定者道之不载。

㉒狎：亵近，亵密。吕良曰："彼我忘怀，则禽兽不惧于已。"

【译文】

混沌的宇宙，已然分开了大地苍天，
风吹万物，万物才能将各自的形态呈现，
假如万物的行止同出一源，
才可说长命为寿，夭是死去的少年。
万物自然生存之道，丧失已千载久远，

此道之理，谁能明了，谁能分辨，
直想骑上大鹏，在暴风中盘旋，
卓然高飞，在云霄之间。
静静地思考这“天棰”含义，时光、人生往复，不尽连绵，
依理足证，这时光、这人生何曾损减，
多么明亮，秋月高悬，
凴依栏杆，礼赞唐尧、老子圣贤。
若做到放浪无拘，无丑无妍，
此后方可得君子所循之道不浅；
须领会天下之道虽殊途，但却有共同的至理真言，
悟此理，才会有商山四皓的鹤发童颜。
交臂相守，谁又可扼住世物的瞬刻万变，
以薪传火，养心顺变，方可使性命长延，
将这“无为”之道深思不倦，
除却这心中的智巧权变。
不介意物与我差别万千，
可与海鸥亲近，可与万物一然。

许徵君 自序① 询

【原文】

张子阖内机②， 单生蔽外像③。
一时排冥筌④， 冷然空中赏⑤。
遣此弱丧情⑥， 资神任独往⑦。
采药白云隈⑧， 聊以肆所养⑨。

丹葩耀芳蕤⑩，　绿竹荫闲敞⑪。
苕苕寄意胜⑫，　不觉陵虚上⑬。
曲棂激鲜飙⑭，　石室有幽响⑮。
去矣从所欲⑯，　得失非外奖⑰。
至哉操斤客⑱，　重明固已朗⑲。
五难既洒落⑳，　超迹绝尘网㉑。

【注释】

①自序：自述隐居之意。许询原有集八卷已亡佚。江淹拟诗未详所本，故后世之评，只能就江淹之作而论，无从与原作参照而见出拟诗之优劣，如何焯《义门读书记》谓"采药白云隈"至"石室有幽响"八句："有此即虚实相间，不复苦其平典，此似议之变化也。"于光华《重订文选集评》引孙月峰评语曰："飘然有尘外意趣。"皆仅就江淹之作而言也。

②张子：张毅，人名。闇：昏昧。　内机：体内危殆之病。机：通几，危殆。

③单生：单豹，人名。单：shàn(善)。　蔽：隐蔽。　外像：外貌。"张子"、"单生"二句，事见《庄子·达生》："田开谓周成公曰：鲁有单豹者，岩居而水饮，行年七十而犹婴儿之色，不幸遇饿虎，杀而食之。有张毅者，高门悬薄，无不趋义也，行年四十，而有内热之病以死。豹养其内而虎食其外；毅养其外病攻其内。"意谓张毅不明养内而病死，单豹不明隐蔽外貌而为虎食。此二人于养生之道，皆偏而不广。

④冥筌：设于暗处的捕鱼之器。李善注："筌，捕鱼之器。言鱼之在筌，犹人之处尘俗。"此句意谓一时排去尘俗羁绊。

⑤冷然：轻妙貌。《庄子·逍遥游》："夫子御风而行，冷然善也。"　空中赏：游于天空而心意欢乐。赏：赏心，即心意欢乐。

⑥遣：排遣。　弱丧：吕延济曰："弱丧谓少失居而安于他方，不知归故里也。人知好生恶死，亦同弱丧矣。"

⑦资神：凭靠精神。

⑧药：吕良曰："药，仙药，灵芝属也。"　白云隈：白云缭绕之深山弯曲处。隈：山之弯曲处。《管子·形势》："大山之隈，奚有于深。"注："隈，山曲也。"

⑨肆所養：放任本性地生活。

⑩丹葩：红花。葩：花。 曜：即耀，显示、炫耀。 芳蕤：芳香，鲜艳。

⑪阴：通荫，遮盖。 闲敞：宽广、轩豁之栅栏。

⑫苕苕：高远貌。 寄意：寄托自己的心意。 胜：吕向曰："胜，谓胜于俗情也。"

⑬陵：升，登上。 虚上：天空之上。虚：天空。

⑭曲棂：窗户上形状曲折的雕花木格子。激：急疾。鲜飙：新鲜之风。

⑮石室：指山中隐居之石穴。 幽响：吕向曰："幽响，山响也。"即山中的响声。

⑯从所欲：迫从人生之至道。

⑰得失：此谓人生得失全由心定。 非外奖：不是外物所能奖劝、影响的。

⑱操斤客：《庄子·徐无鬼》："郢人垩慢其鼻端，若蝇翼，使匠石斫之；匠石运斤成风，听而斫之，尽垩而鼻不伤，郢人立不失容。宋元君闻之，召匠石。曰：'尝试为寡人为之。'匠石曰：'臣则尝能斫之，虽然，臣之质死久矣，自夫子之死，吾无以为质矣。吾无与言之矣。'"操斤客即运斤成风之匠石。匠石所言其质死而不能为宋之君献技，是明得失之理，故以"至哉"赞之。至哉犹言妙极。

⑲重明：自己明理，又使他人明理。《荀子·致士》："衡听显幽重明退奸进良之术。"注：'重明，谓既明又使明也。" 固已朗：自身原本已明理也。

⑳五难：修养生性的五桩难事。李善注引向秀《难嵇康养生论》："养生有五难：名利不成，此一难；喜怒不除，此二难；声色不去，此三难；滋味不绝，此四难，神虑难消，此五难。" 洒落：散落。

㉑超迹：超离尘世。 绝：断绝。 尘网：人在世间有种种拘束，如鱼在网中，故以尘网喻世事的羁绊。

【译文】

张毅不明养内，中岁而亡，
单豹终被虎食，真不会将外貌伪装，
排除一时的世俗羁绊，
轻妙地若游太空，心情欢畅。

好生恶死，这仿佛是少年流离，易安于他乡，
除去这一俗念，凴借精神，任我独来独往，
采摘仙草，在白云缭绕的迂曲山岗，
放纵本性地生活，以此作为供养。
红花显示出它的鲜艳、芳香，
绿竹遮盖着这栅栏的宽敞，
寄托我胜乎俗情的高远志向，
不觉地升腾到天空之上。
急疾地透过窗棂，这山风新鲜、清爽，
隐居的岩洞内，有山中的声音回荡，
赶快去，追从人生的至道，
人生的得失全由心定，并非受外物的影响。
高妙啊，匠石深知得失有当，
要使他人明理，就须自身对世理了解、明朗，
抖落这修生养性的难事五桩，
自可以超离尘世，断绝人间的种种拘绊、罗网。

殷东阳 兴瞩[1] 仲文

【原文】

晨游任所萃[2]， 悠悠蕴真趣[3]。
云天亦辽亮[4]， 时与赏心遇[5]。
青松挺秀萼[6]， 惠色出乔树[7]。
极眺清波深[8]， 缅映石壁素[9]。
瑩情无余滓[10]， 拂衣释尘务[11]。

求仁既自我⑫， 玄风岂外慕⑬。
直置忘所宰⑭， 萧散得遗虑⑮。

【注释】

①兴瞩：因远眺而感怀赋诗。此诗所拟之本或为殷仲文《南州桓公九井作诗》，论家皆以此诗为成功之作。何焯《义门读书记》谓此诗："稍革孙、许之风余，有虚无之趣，推移方始，实之惟肖。"于光华《重订文选集评》引孙月峰评语曰："语浅而寄兴深，琢句入细，玩久趣愈出。"

②任所萃：任万物尽集于眼中。萃：聚集。

③悠悠：无穷尽。真趣：合于自然本性的旨趣。

④云天：天空。云，言天空之高远。 辽亮：辽阔明亮。

⑤赏心：心意欢乐。

⑥萼：原指环列花朵外部的叶状薄片。此处用以代花。

⑦惠色：柔媚怡目之色。惠：张铣曰："惠：媚。" 乔树：高树。

⑧极眺：即极目，尽目力远望。

⑨缅映：远映。缅：远也。 素：白色。

⑩莹情：磨炼情怀，使之明净、觉悟。莹：磨炼。 余滓：余存的鄙秽之念。

⑪拂衣：振衣。《后汉书·杨震传附杨彪》："（孔融曰）孔融，鲁国男子，明日便当拂衣而去，不复朝矣。"后因称隐居谓拂衣。释尘务：抛却尘俗之事。

⑫求仁句：意谓我已然适如己意，如愿以偿。求仁：《语论·述而》："求仁而得仁，又何怨？"后泛指适如其愿。《文选》：阮籍《咏怀》之六："求仁自得仁，岂复叹咨嗟。"

⑬玄风：谈论玄学的风气。此指谈玄论道。 外慕：追慕尘俗之事。

⑭直置：于光华《重订文选集评》："直置谓直置其心于不用。" 忘所宰：忘却受外物之主宰。此句为物我两忘之意。

⑮萧散：闲散。 得：能，可。《韩诗外传》："不能勤苦，焉得行此。" 遗虑：抛弃忧愁。谢灵运《越岭溪行》诗："观此遗物虑，一悟得所遣。"

【译文】

清晨出游，任万物荟于眼中，

大自然蕴藏的真趣，无尽无穷，
多么明亮辽阔，这高远的苍穹，
大自然于此时与我心欢乐与共。
繁茂的松花，绽开于郁郁的青松，
高树上显出悦目的色彩正浓，
极目远眺，清清的流水多么深泓，
映衬着远处的石壁，一片素白融融。
磨炼情怀，内心明净，再无鄙秽懵懂，
隐逸索居，抛却这尘俗迷蒙，
正如象求仁得仁，我已然夙愿得从，
谈玄论道，岂再将尘俗事迫慕播弄。
对待世事，忘却受外物主宰，将心置于不用，
闲散自在，即可摒除忧愁悲恸。

谢仆射 游览[1] 混

【原文】

信矣劳物化[2]，　忧襟未能整[3]。
薄言遵郊衢[4]，　总辔出台省[5]。
凄凄节序高[6]，　寥寥心悟永[7]。
时菊耀岩阿[8]，　云霞冠秋岭[9]。
眷然惜良辰[10]，　徘徊践落景[11]。
卷舒虽万绪[12]，　动复归有静[13]。
曾是迫桑榆[14]，　岁暮从所秉[15]。
丹壑不可攀[16]，　忘怀寄匠郢[17]。

【注释】

①此诗似拟谢混《游西池》诗。何焯《义门读书记》以“极似叔源”为评，于光华《重订文选集评》引孙月峰语，评曰：“调颇俊峭，意趣亦仿佛仆射。”皆是见到此诗仿得谢混绮丽之诗风。

②信矣：诚如此。 劳：辛劳。 物化：变化。《庄子·齐物论》：“昔者庄周梦为蝴蝶，栩栩然蝴蝶也……俄然觉，则蘧蘧然周也……此之谓物化。”此处指天地及万物之变化。

③忧襟：忧心。 整：齐，相等。此句意谓己之忧心未能与物之变化齐一也。

④薄言：发语词。 遵：沿着。 郊衢：郊野之路。衢：路。

⑤总辔：系马。结、系之意。 台省：汉代尚书治事之地为中台，在禁省中，故称台省。此指官衙。

⑥凄凄：寒风也。 节序高：谓节令深矣，即深秋也。节序：节令的顺序。

⑦寥寥：张铣曰：“寥寥，高净貌。”意指天高气清。心悟永：内心感悟亦长远也。

⑧时菊：应时而开之菊花。 岩阿：山崖边。

⑨冠(guàn 贯)：覆盖。

⑩眷然：留恋而回顾。 良辰：美好的时光。

⑪落景：日暮之时。

⑫卷舒：屈申。《淮南子·原道》：“与刚柔卷舒兮，与阴阳俛仰兮。”注：“卷舒，犹屈伸。”此指世间万物屈申、动静之变化。 万绪：万般情状。

⑬动复句：意为万物并动，然终皆归万静息，还复本性。李善注引《老子》曰：“夫物云云，复归其根，归根曰静，是谓复命。”王弼注曰：“凡有起于虚，动于静，故万物离并动作，卒复归于虚静，各反其始，归根则静也。” 复命：还复本性。

⑭曾是：则是这样。 迫：近。 桑榆：日落处。喻年老。

⑮岁暮：谓人之晚年。 任所秉：任随心所持之理(即万物由动归静，还复本性)而生活。秉：吕延济曰：“秉，谓心所执也。”

⑯舟壑：《庄子·大宗师》：“夫藏舟于壑，藏山于泽，谓之固矣，然而夜半

有力者负之而走，昧者不可知也。”藏舟于深谷中，安全稳当之意，后转指世运。又，后以壑舟喻事物变化，无可避免。陶渊明《杂诗》之五：“壑舟无须臾，引我不得住。”攀：刘良曰：“攀，止也。”此句意为：世运之变化不可避免，更不可留止也。

⑰忘怀：此指不介意得失。陶渊明《五柳先生传》：“尝著文章自娱，颇示己意，忘怀得失，以此自终。” 匠郢：匠石运斤成风之神技，得郢人为质而后显，郢人死而匠石不复献技，事见《庄子·徐无鬼》。后因以匠郢喻知交。

【译文】

万物瞬变，真是这般辛勤，
未能与万物变化相齐，我真忧心，
沿着郊野之路而行，
系马驾鞍，我走出官衙之门。
深秋时节，寒风阵阵，
天高气清，我的内心感悟良深，
山崖旁的秋菊，与秋阳映衬，
朵朵彩云，覆盖着秋天的山岭。
多么留恋，回顾这美景良辰，
来回徘徊，脚踏着这落日的光影，
虽有万般情状，这世物变化的屈申、动静，
由动归静，万物总要还复本性。
正如此，人总是由少年渐入老景，
持守着自然地生活，任意随心，
世运变化，岂可留止，岂可变更，
世间得失，决不介意，将此意寄予知交之人。

陶徵君 田居① 潜

【原文】

种苗在东皋②，　苗生满阡陌③。
虽有荷锄倦④，　浊酒聊自适⑤。
日暮巾柴车⑥，　路阔光已夕⑦。
归人望烟火⑧，　稚子侯檐隙⑨。
问君亦何为⑩，　百年会有役⑪。
但愿桑麻成⑫，　蚕月得纺绩⑬。
素心正如此⑭，　开径望三益⑮。

【注释】

①以诗所拟以陶潜之《归园田居》。何焯《义门读书记》评此诗："拟陶能得其自然。"于光华《重订文选集评》引李安溪语，评此诗："淹拟古人作甚多，此首可谓逼肖。"

②东皋：泛指水岸或田野高地。

③阡陌：田界。此指田土。

④荷锄倦：耕作的辛劳。

⑤自适：自乐自足。

⑥巾：遮盖车子的布，即车衣。　柴车：简陋粗糙的车子。巾柴车即有车衣的简陋车子。

⑦路阔：道路昏暗。　光已夕：时间已晚，阳光斜照。夕：斜。

⑧归：人归。　烟火：此指炊烟。

⑨檐隙：屋檐之下。

⑩何为：为何。指为何如此辛苦。

⑪百年：人之一生。　会有役：都会有操劳辛苦之事。

⑫成：成熟。

⑬蚕月：忙于蚕事之月，即指夏历三月。《诗·豳风·七月》："蚕月条桑，

取彼斧斨。”纺绩：纺织。古代纺多指纺丝，绩亦作缉，多指缉麻。

⑭素心：本心，素愿。

⑮开径：开辟门前小路。三益：原指三种交友之道。此指同好之友。《论语·季氏》：“益者三友，损者三友。友直、友谅、友多闻，益矣。友便辟，友善柔，有便佞，损矣。”

【译文】

东皋之地，栽种禾苗，
禾苗生长，布满田间小道，
虽然少不了耕作的辛劳，
浊酒一怀，自足自乐也逍遥。
黄昏时，驾上柴车缓行在荒郊，
路径昏暗，夕阳斜照，
归途中，远望得炊烟袅袅，
等待我的归来，小儿静侯在屋檐下远眺。
若问我为什么生活这般劳苦、单调，
人的一生，受役使总是不少，
惟愿这桑麻长势繁茂，
纺丝缉麻，繁忙的蚕月才不会百事萧条。
本心如此，归隐须早，
阔宽小径，盼望着知交来到。

谢临川　游山①　灵运

【原文】

江海经遭迴②，　山峤备盈缺③。

灵境信淹留④，　赏心非徒设⑤。
平明登云峰⑥，　杳与庐霍绝⑦。
碧鄣长周流⑧，　金潭恒澄澈⑨。
桐林带晨霞，　石壁映初晰⑩。
郛窦既滴沥⑪，　丹井复寥泬⑫。
嵒嶲转奇秀⑬，　岑崟还相蔽⑭。
赤玉隐瑶溪⑮，　云锦被沙汭⑯。
夜闻猩猩啼，　朝见鼯鼠逝⑰。
南中气候暖⑱，　朱华凌白雪⑲。
幸游建德乡⑳，　观奇经禹穴㉑。
身名竟谁辩㉒，　图史终磨灭㉓。
且汛桂水潮㉔，　映月游海澨㉕。
摄生贵处顺㉖，　将为智者说。

【注释】

①于光华《重订文选集评》曰："灵运为永嘉太守，故纪游诗于永嘉太守作居多，此诗亦拟其在永嘉时作。"何焯对此诗评价极高，其《义门读书记》曰："模范之巧，工细无敌；兼以一幽一显，更互成奇妙，是谢公展齿淹留，非复寻常登眺。"然细研此诗，知义门之论，倒不及《重订文选集评》引孙月峰评论：'语不甚袭，然却乃绝似，以时代相迹，有暗入处耳。"恰当。

②经：流经。　邅(zhān 沾)迴：即邅回，意为徘徊，此指婉曲盘转貌。

③山峤：尖峭的高山。　备盈缺：此谓高山具备山峰与山谷。张铣曰："盈亦山，缺谓谷。"

④灵境：美景。　淹留：滞留、停留。

⑤赏心：心意欢乐。　徒设：虚设。

⑥云峰：此指谢灵运所登之高山。

⑦杳：高远。　庐霍：庐山与霍山，皆景致极美之名山。霍山在今山西霍县东南，《尔雅·释地》："西方之美者，有霍山之多珠玉焉。"　绝：绝妙。

⑧碧障："五臣"作嶂。碧嶂：出碧玉之山。 周流：长远貌。

⑨金潭：底有金砂之潭。吕延济曰："金者，下有金砂，因名。"

⑩初晰：日出之光。

⑪乳窦：石钟乳丛生的洞穴。 滴沥：石钟乳上之水滴下落。

⑫丹井：朱砂井。 寥泬：深也。泬：xuè(穴)。

⑬嵒嵲(yán 岩 è 饿)：山崖。

⑭岑崟(yín 营)：山峻险貌。 蔽：相互遮挡。

⑮赤玉：红色的玉石。 瑶溪：洁净的溪流。

⑯云锦：彩云。 被：铺盖。 沙汭(ruì 锐)：沙岸。

⑰鼯(wú 无)鼠：俗称飞鼠，形似蝙蝠。 逝：飞过。

⑱南中：即南州。此处泛指南方。

⑲朱华：即朱花，红花也。此指木莲。 凌白雪：受白雪犯凌。此句意为木莲受雪侵而开花。

⑳建德乡：地名，即建德县。汉属富春县地，三国吴时分设建德县，属今之浙江省。李善注引《庄子》："市南宜仃谓鲁侯曰：南越有邑焉，名为建德之国，其民愚朴，少私寡欲，其生可乐，其死可葬。吾愿君去国捐俗，与道相辅而行。""建德乡"与下句之"禹穴"皆指游观奇异之地。

㉑禹穴：传为夏禹之葬地，在浙江绍兴之会稽山。

㉒身名：地位名誉。 竟谁辩：竟与谁辩说。

㉓图史：图册与史籍。

㉔汎：同泛，驶舟。 桂水：即桂江。在广西，漓江入临桂县名桂江。

㉕海澨：海滨。澨：shì(是)。

㉖摄生：养生。 处顺：顺乎自然而居处。

【译文】

江水流入大海，一路盘曲婉蜒，
巍峨的大山，具有深谷和尖峭的山巅，
这美景让人停步流涟，
让人欢悦的美景，真不是虚设装点。
高上云峰，在黎明时间，

佳美的景致，可与庐、霍并妍，
如碧玉之山，横亘连绵，
含金沙之深潭，清澈常年。
萦绕桐林，朝霞一片，
照映石壁，旭日光艳，
洞窟里的石钟乳，滴沥水溅，
洞窟旁的朱砂井，难测深浅。
转换山势，奇美的景致在山崖呈现，
盘转遮挡，险峻的山峰错杂相连，
洁净如玉的溪流，将红玉隐嵌，
绚丽如锦的云彩，将沙岸罩严。
深夜，听到猩猩啼叫声喧，
清晨，看见鼯鼠飞舞盘旋，
南方的气候，暖如春天，
洁莹的白雪，催开红花朵朵的木莲。
真有幸将建德乡游遍，
观奇景，又经过禹穴山岩，
名利之事，竟有谁能识辩，
览奇记胜的图册史籍，终归磨灭不见。
且泛舟，顺着桂水一线，
皎月朗照，直游到大海之边，
生活就得顺乎自然，这是养生的关键，
这道理，只能给智者陈言。

颜特进 侍宴[1] 延之

【原文】

太微凝帝宇[2]，瑶光正神县[3]。
揆日粲书史[4]，相都丽闻见[5]。
列汉构仙宫[6]，开天制宝殿[7]。
桂栋留夏飙[8]，蘭橑停冬霰[9]。
青林结冥蒙[10]，丹巘被葱蒨[11]。
山云备卿霭[12]，池卉具灵变[13]。
重阳集清气[14]，下辇降玄宴[15]。
鹜望分寰隧[16]，丽日尽都甸[17]。
气生川岳阴[18]，烟灭谁海见[19]。
中坐溢朱组[20]，步榻簉琼弁[21]。
礼登伫睿情[22]，乐阕延皇眄[23]。
测恩跻逾逸[24]，沿牒懵浮贱[25]。
荣重馈兼金[26]，巡华过盈瑱[27]。
敢饰舆人咏[28]，方惭《绿水》荐[29]。

【注释】

①颜延之“侍宴”、“侍游”诗有多首。钟嵘《诗品》谓颜诗好的一面是“体载绮密，情喻渊深”，不好的一面是“喜用古事，弥见拘束”，并特别指出“雅才减若人，则蹈于困踬矣。”江淹此诗严于布局，多典实，且重雕饰工丽，于颜诗之长短处，悉尽仿得，以追拟颜诗风格而论，似属成功之作。何焯《义门读书记》谓此诗“拟颜遂蹈因踬，然颜之诗体本尔。”或可反证这一点。

②太微：即太微垣，天区名。按《步天歌》所说，太微为太微、紫微、天市三垣之上垣。《淮南子》：“太微者，天一之廷。”《史记·天官书》张守节《正义》：

“泰一(即天一),天帝之别名。” 凝:构成。 帝宇:原指天帝之居所,此指京都。

③瑶光:北斗星之第七星名。《淮南子·本经》:“瑶光者,资粮万物者也。”注:“瑶光谓北斗杓之第七星也。” 正:考定。 神县:神州赤县,指中国。李善注引《周礼》曰:“匠人建国,昼参诸日中之景,夜考之极星以正朝夕。”吕延济谓“太微”“瑶光”二句意为“言匠人上法太微宫以成帝宇,观斗柄以定神州县南北之正。”亦即是说建筑工匠仿效太微天区的布局而建成京城,观察北斗之柄判定四周方位。

④揆日:测度时日。 粲:粲烂。谓辞藻华丽。 书史:典籍,指经史一类书籍。

⑤相都:占视,谓占兆测视京都。丽闻见:《重订文选集评》:“美其闻见也。”“揆日”、“相都”二句意谓测度时日以丽辞将此写入典籍,赞美占兆测视京都之所闻所见。

⑥列汉:与天河并列。仙宫与下句之宝殿皆指于京都所建之宫殿。

⑦开天:开辟天界。“列汉”、“开天”,二句皆言于京都所建宫殿之高。

⑧桂栋:指宫殿中桂木所做之正梁。夏飙:夏季之风。

⑨蘭橑:木蘭作的屋椽。屈原《九歌·湘夫人》:“桂栋兮蘭橑,辛夷楣兮药房。”注:“以木蘭为榱也。” 榱:屋椽。 冬霰:冬雪。“桂栋”、“蘭橑”二句进一层言宫殿之高。

⑩青林:宫苑内茂密之树林。 冥濛:幽暗不明。

⑪丹巘:宫苑内红色之小山。 葱蒨:草木青翠而茂盛。

⑫卿霭:即卿云,亦谓庆云、景云。古人认为是祥瑞的云气。 霭:云气。

⑬池卉:宫苑池里的花卉。 灵变:灵草奇花。李善注引曹植《灵芝篇》曰:“灵芝生玉池。”

⑭重阳:指天。《楚辞》:屈原《远游》:“集重阳入帝宫兮,造旬始而观清都。”注:“上为阳,清又为阳,故曰重阳。”重:chóng(虫)。此指高入天际之宫殿。 清气:澄澈之气。

⑮玄宴:李善注:“《尚书》:‘玄德升闻。’玄,犹圣圣也。”玄宴即圣宴。

⑯鹜(wù 务)望:急望。急,速。 寰:寰内。《释文》:“寰内,圻内也。” 圻内:王畿,即京都。 隧:通遂,郊外之地。

⑰睎(xī 喜)目:即睎旷,远望之意。 都甸:古代行政区划名。《周礼·地

官·小司徒》:“乃经土地而井牧其田野,九夫为井,四井为邑,四邑为丘,四丘为甸,四甸为县,四县为都,以任地事而令贡献。”此处都甸指君主之皇土,即“率土之滨,莫非王土”之意。

⑱气:雾气。川岳:山河。

⑲烟:亦为雾气。淮海:淮河下游源流经淮阴涟山入海。此处以淮海泛指海疆。 见:现。

⑳中坐:坐中,指筵宴中入座之人。 朱组:代称高官贵宦。朱:红色。组:组绶。古代王侯、士大夫佩玉之饰,系玉的丝带称组绶。《礼记》:“诸侯佩山玄玉,而朱组绶。”

㉑步櫋(yán 簷):长廊。 簉(chòu 臭):荟萃。 琼弁:玉饰之冠。“琼弁”与“朱组”代称意同。

㉒礼登:礼成。此指宴礼已毕。 停:久留。 睿情:皇恩。《书·洪范》:“思曰睿……睿作圣。”

㉓乐阕:乐终。 延:引颈。 皇眄(miǎn 免):犹眄皇。回头尊视君王。原为斜视。此处为顾看。

㉔测恩:深恩。《尔雅》:“测,深也。” 跻:登,升。 逾逸:耽乐纵逸。此指此次极度欢乐之圣宴。

㉕沿牒:随牒而为官上任。《汉书·匡衡传》:“平原文学匡衡材智有余,经学绝伦。但以无阶朝廷,故随牒在远方。” 牒:授官之簿录。” 懵:惭愧。 浮贱:浮浅微贱。

㉖荣重:所受之荣禄极重。 馈:此指君王之赏赐。兼金:价值倍于平常之金银。

㉗巡华:未详所出。黄侃《文选平点》解为:“巡与循通。循谈循省之循。犹言巡省荣华之遇。六朝造语多未必合本训,当以意求之。”依黄侃说,循即巡视,此句意为巡视侍宴诸臣所得之赏赐,皆如盈瑱之重也。 盈瑱:盈尺之玉也。

㉘敢:意为冒昧作此诗。 饰:即饬,告诫。 舆人咏:众人之诵。《左传·僖》二十八年:“听舆人之诵曰:‘原田每每,舍其旧而新是谋。’”此句意谓冒昧作诗,以舆人“弃旧图新”之诵来告诫自己。

㉙绿水:《文选》第五卷:左思《吴都赋》:“或超延露而驾辩,或逾绿水而采菱。”李善注:“《淮南子》曰:互会《绿水》之趣。高诱曰:绿水,古诗也。趣,节

也。” 荐:频,一再。此指奏《绿水》一类歌乐数遍。

【译文】

构建都城,全仿效天区的太微,
观察瑶光,判定都城四周的方位,
测度时日,用丽辞将此写入史书之内,
尽情赞颂,占视都城见闻的种种祥瑞。
与天河并列,修建的殿阁如仙宫般崔嵬,
如开辟天界,修建的殿阁如仙宫殿华美,
桂树的栋梁,久经着夏季的风吹,
木兰的屋椽,久留着冬季的雪粒。
宫苑内茂密的树林,一片浓集幽晦,
宫苑内的红色小山,长满草木,一片青翠,
高山上吉祥的庆云聚汇,
池子里,尽都是灵异的花卉。
清澄之气,弥漫在高耸的宫殿,
下车趋步,恭敬地陪侍皇家的圣宴,
急速一瞥,都城、郊野严有界限,
注目眺望,君主的国土辽阔广远。
雾气腾升,山河阴晦不辨,
云烟散尽,苍茫的淮水与大海呈现,
入宴的,全是达官贵显,
长廊上,荟萃着尊爵时贤。
宴礼已毕,久久伫立,把皇恩思念,
宴乐终结,引颈尊视君主的气宇威严,
擢拔得赴圣宴,君主的施恩不浅,
随牒为官,有愧于自己的浮薄微贱。
蒙赐的荣禄极重,得赏的金银倍添,

巡视侍宴的同僚，得赏的美玉尺径空前，
冒昧地陈述此诗，以弃旧图新当作诫鉴，
正自愧，又听到《绿水》之乐演奏数遍。

谢法曹 赠别[1] 惠连

【原文】

昨发赤亭渚[2]， 今宿浦阳汭[3]。
方作云峰异[4]， 岂伊《千里别》[5]。
芳尘未歇席[6]， 涔泪犹在袂[7]。
停舻望极浦[8]， 弭棹阻风雪[9]。
风雪既经时， 夜永起怀思[10]。
泛滥北湖游[11]， 岩亭南楼期[12]。
点翰咏新赏[13]， 开表莹所疑[14]。
擿芳爱气馥[15]， 拾蘂怜色滋[16]。
色滋畏沃若[17]， 人事亦销铄[18]。
子衿怨勿往[19]， 谷风诮轻薄[20]。
共秉延州信[21]， 无惭仲路诺[22]。
灵芝望三秀[23]， 弧筠情所托[24]。
所托已殷勤[25]， 祗是揽怀人[26]。
今行嶙峋外[27]， 衔思至海滨[28]。
觌子杳未儵[29]， 款睇在何辰[30]。
杂珮虽可赠[31]， 疏华竟无陈[32]。
无陈心悁劳[33]， 旅人岂游遨[34]。

幸及风雪霁[35]，　青春满江皋[36]。
解缆候前侣[37]，　还望方郁陶[38]。
烟景若离远[39]，　末响寄琼瑶[40]。

【注释】

①于光华《重订文选集评》曰："惠连有《西陵遇风献灵运》五首，此诗即拟之也。"并引方伯海语曰："篇中摹拟之过，不无损才；然其一片缠绵往复，亦可谓善于言情。"此评大体不差。

②赤亭：亭名。谢灵运《富春渚》诗："定山缅云雾，赤亭无淹薄。"　渚：水边。

③浦阳：地名。　汭：河流弯曲处。

④云峰：高入云之山。　异：分开。

⑤岂伊：岂惟。伊：助词。　千里别：刘良曰："千里别，古曲名。"

⑥芳尘：吕向曰："芳尘，谓灵运所行处。"　未歇席：未得于席上歇息。席：坐垫等用具。

⑦涔(cén 岑)汪：泪下流。

⑧舻：船。　极浦：遥远的水边。

⑨弭棹：犹言停船。　阻风雪：为风雪所阻。

⑩夜永：即永夜，长夜也。

⑪泛滥：此谓漫游。

⑫岩亭：楼高貌。　期：邀约同游。张铣曰："'北湖游'、'南楼期'，谓却叙前事也。"

⑬点翰：挥笔。　咏：写。新赏：赏心之新景。

⑭开袠：即读书之意。袠(zhì 至)：即帙，书套。打开书套意含阅读之意。莹所疑：使所疑之处得以明白。莹：使明白、觉悟。

⑮摘芳：采摘花朵。摘通摘。气馥：花之香气。

⑯拾蘂：拾起花瓣。蘂：即蕊，花蕊。此指花瓣。滋：润泽。

⑰沃若：即沃然，茂盛。

⑱销铄：销熔，此处意为衰散。吕延济谓"色滋"、"人事"两句意为："草木滋繁则反枯槁，人事至盛亦畏销铄，谓衰散也。"

⑲子衿：《诗经·郑风》篇名。《子衿》第一章："青青子衿，悠悠我心，纵我不往，子宁不嗣音。" 怨勿往：因友朋间不复来往而生怨。

⑳谷风：《诗经·邶风》篇名。李善注引《诗·序》曰："《谷风》刺幽王也。天下俗薄，朋友道绝焉。" 诮轻薄：责备世俗交友的轻浮刻薄。刘良曰："《子衿》、《谷风》皆诗篇名。刺风俗轻薄而朋友道绝不相往来。"

㉑共秉句：共同持守如吴季扎对徐君那样的信用。详见江淹所拟《陈思王·赠友》注(13)。

㉒仲路诺：仲路：仲由，字子路，孔子弟子。《论语·颜渊》："子路无宿诺。"清、刘宝楠《正义》："《说文》：宿，止也。引申之有久义……子路有闻即行，故无留诺。"吕向谓"共秉"、"不惭"二句意为"言执信不惭此二人。"

㉓三秀：灵芝草的别名。灵芝一年开花三次，故又称三秀。屈原《九歌·山鬼》："采三秀兮於山间。"此句意为如灵芝之盼同类，我亦期盼与至亲至友相处。

㉔孤筠：孤单的箭竹。箭竹性坚韧质美。此句意为我孤单地生活，只有向箭竹寄托坚贞高洁之情。

㉕所托句：意为我所寄托的思念之情，可谓诚挚恳切。

㉖祗足：只可。 搅怀人：搅乱所思之人的心情。

㉗嶀嵊(tū 吐 shèng 盛)：二山名。嶀山在浙江嵊县北，嵊山在嵊县东，二山相对。

㉘衔思：心积思念之情。

㉙觌(dí 敌)：见。 杳：犹渺茫。未僝(zhuàn 专)：此指未有相见之时。相见。

㉚欵：俗作款。《字林》："欵，诚也，意有所欲也。" 睇：《广雅》："睇，见也。"款睇犹言极欲相见。 何辰：何时。

㉛杂珮：吕向曰："杂，结也。言结芳草为珮。"

㉜疏华句：吕向曰："折疏麻之华以赠离居。竟无陈谓无所寄。"屈原《九歌》："折疏麻兮瑶华，将以遗兮离居。"洪兴祖《补注》："瑶华，麻花也。其色白，故比于瑶。此花香，服食可致长寿。"

㉝悁劳：急躁愁苦。

㉞旅人：此指谢灵运。 岂游遨：难道是为了游乐。

㉟霁：风雪停息而天空放晴。

㊱青春：春色。　江皋：江岸。

㊲解缆：解开系船之绳索，犹言乘船。　前侣：李周翰曰："解缆望前行之徒。"即谓先于我乘船之人。

㊳还望：意为回望又忆及思念之人。　郁陶：忧思积聚貌。

㊴烟景：云烟缭绕的景致。

㊵末响：犹言在此后之音讯。响：音讯。　琼瑶：《诗经·卫风·木瓜》："投我以木桃，报之以琼瑶。"后以琼瑶指别人酬答的礼品或投赠诗文、书信。此句意为：此后将以书信投寄以报知音讯也。

【译文】

昨日出发在赤亭水畔，
今日已泊宿在浦阳水弯，
我俩啊，已然分隔着这入云的高山，
岂能再听您把《千里别》的古典拨弹。
您行经之处，身不暖席，频频变换，
涔涔泪下，打湿我袖口、衣衫，
了望遥远的水边，我就此停船，
就此停船，还因前途被风雪阻拦。
漫天风雪历久不断，
漫漫长夜，勾起我的思绪缠绵，
还记得在北湖遍游观览
高峻的南楼上，相约游玩，
挥笔作诗，写下这新的赏心景观。
开卷阅读，一同解释种种困惑疑团，
采摘鲜花，我们都爱它郁香飘散，
更爱它色泽鲜润，才拾起零落的花瓣。
娇鲜至极则会枯槁，花儿也怕茂盛滋繁，
兴隆之后必是衰败，人间事也是如然，
《子衿》诗怨忿那朋友间不再往还，

《谷风》诗责备那交友的轻薄、冷淡。
我俩啊，要学那吴季扎执信无憾，
我俩啊，要无惭于子路那样的重诺儿男，
如灵芝盼同类，我渴望与亲朋朝夕相伴，
唯将这坚贞的情愫，向孤单的箭竹倾谈。
寄托之情是一片诚挚肝胆，
却只能把您的心情搅乱，
如今我已越过嶀、嵊两山，
心里积淀的这份思念，已到海岸。
想见您，却渺茫无路，相见实难，
这渴望着的相见，竟在何时、早晚，
用芳草结成腰珮，虽想赠您，
路途遥遥，连折下的麻花也无可寄传。
无可远寄啊，我心急躁愁烦，
远行的您啊，难道是为了游玩，
所幸啊，风雪骤停，天空放晴转暖，
江岸上一派春色布满。
望着远行的人，我驶船解缆，
总忆念着您啊，回头望，忧思积纂，
这一路云烟缭绕的山水，将我们远远隔断，
此后的音讯，只有靠寄远的信函。

王徵君 养疾[1] 微

【原文】

窈蔼潇湘空[2]， 翠硐澹无滋[3]。

寂历百草晦④，　欻吸鶡鸡悲⑤。
清阴往来远⑥，　月华散前墀⑦。
铼药瞩虚幌⑧，　汛瑟卧遥帷⑨。
水碧验未黩⑩，　金膏灵讵缁⑪。
北渚有帝子⑫，　荡漾不可期⑬。
怅然山中暮，　怀痾属此诗⑭。

【注释】

①王微现仅存诗五首，《杂诗》二首咏思妇，其余《四气诗》、《咏愁诗》、《七襄怨诗》(只存五言两句)，都与江淹拟诗之意不合，故未可知其所本。张铣曰："此诗被征不应，隐于潇湘之间。"亦只以拟诗之意反推之也。于光华《重订文选集评》引孙月峰语曰："以景元(元即玄)前《杂诗》(即《文选》第三十卷：王微《杂诗》一首)较之，则此犹觉稍涉板。"则是就布局运笔与王微诗相较而言之。

②窈蔼：幽静、深远貌。　潇湘：犹言清深之湘水。潇：清深貌。诗文中多称湘水为潇湘。湘水即湘江。　空：空阔。

③翠硐：翠绿的溪涧。　硐：水涧。　澹：即谈。　无滋：无滋味。

④寂历：空旷。　晦：败谢、凋零。

⑤欻(xū需)吸：呼吸之间，用以形容迅疾。亦作欻。　鶡鸡：鸟名。宋玉《九辩》："雁廱廱而南游兮，鶡鸟啁哳而悲鸣。"洪兴祖《补注》："鶡鸡，似鹤，黄白色。"

⑥清阴：张铣曰："清阴，日也。"　往来远：犹言日之出没离养疾的居处甚远。

⑦月华：月光。墀：庭前的台阶。

⑧铼药：炼丹。　瞩：对着。　虚幌：窗户。

⑨汛瑟：张铣曰："汛瑟谓抚瑟也。"瑟：弹拨乐器。　卧遥帷：养疾起卧于远山之居所。帷：张铣曰："帷，谓山中。"

⑩水碧：水晶。　验：与下句之："灵"皆为灵验之意。　未黩：未可玷污。

⑪金膏：李善注引《穆天子传》曰："示汝黄金之膏。"即以黄金炼成之膏。"讵：岂。　缁：染黑。《周礼·考工记·钟氏》："三入为纁，五入为缬，七入为

缁。”注：“染纁者，三入而成……又复再染以黑，乃成缁。”此亦为玷污之意。“水碧”、“金膏”二句意为：灵验如水碧、金膏之仙药，岂可轻易受到玷污，亦即人世间实未可得此种仙药之意。

⑫北渚：沙洲。吕延济曰：“北渚谓所居之北。”帝子：娥皇、女英。此指仙女也。

⑬荡漾：即荡漾。　期：会合。此句谓仙女随水荡漾，不可与之相会。

⑭怀痾（ē阿）：抱病。痾，病。　属：连缀。属诗即作诗。

【译文】

这广阔的湘水，一派清幽，
淡然无味的苍翠溪涧，涓涓流走，
空旷的山野，百草临秋凋残，
倏然间，鹍鸡声声悲哀地啁啾。
隔了多远，日出日落，仿佛在天的另一端，
离得多近，月光泼洒在屋前的台阶上头，
熬炼丹药，对着窗口，
轻抚琴瑟，养病起居度过这山里的黑夜白昼。
治病神效的水晶，不可让凡人沾上污垢，
治病灵验的金膏，又岂是凡人可以消受，
仙女降临，在北面的沙洲，
随波荡漾，我岂可与她们相会结友。
怅然若失，这山里的迟暮时候，
我且抱病将此诗写就。

袁太尉 从驾[1] 淑

【原文】

宫庙礼哀敬[2]，　枌邑道严玄[3]。
恭洁由明祀[4]，　肃驾在祈年[5]。
诏徒登季月[6]，　戒凤藻行川[7]。
云旆象汉徙[8]，　宸網拟星悬[9]。
朱櫂丽寒渚[10]，　金镂映秋山[11]。
羽卫蔼流景[12]，　彩吹震沈渊[13]。
辩诗测京国[14]，　履籍鑑都廛[15]。
甿谣响玉律[16]，　邑颂被丹弦[17]。
交轸薄桂海[18]，　声教烛冰天[19]。
和惠颁上笏[20]，　恩渥浹下筵[21]。
幸侍观洛后[22]，　岂慕巡河前[23]。
服义方无沫[24]，　展歌殊未宣[25]。

【注释】

①于光华《重订文选集评》引孙月峰语曰："太尉原诗不传。此作点景严密，似颜光禄，若袁《白马》等，固犹有跌宕气。"吕向曰："为御史中丞时，从宋高祖拜庙并祭南郊之作。"盖亦释"从驾"之本事也。

②宫庙：祖庙，天子、诸侯祭祀祖先的处所。礼：按礼法祭祀。　哀敬：尽哀致敬。

③枌(fén 汾)邑：汉高祖为丰之枌榆乡人，初起兵时祷于枌榆社。事见《史记·封禅书》。张铣曰："汉丰邑有枌社，宋汉之子孙故祭。"故知刘宋之君亦以枌榆为祖庙而祭。　道：神道，即墓道。严玄：肃穆而幽远。《说文》："玄，幽远也。"

④恭洁：恭：肃敬。指祭祀时的态度。洁：洁净。指祭祀所用的祭物。　由：

经历。 明祀：神明之祀。此处神明指天地之神。此句意为：肃敬、洁净地经历了对神明的祭祀。

⑤肃驾：君主恭敬地驾临。 肃：恭敬。驾：总称帝王车乘。《后汉书·郭宪传》："从驾南郊。" 祈年：祈祷丰年。

⑥诏徒：下诏告示众官。徒：徒众。 登：登程。 季月：春夏秋冬四季的末一月都称季月。此指秋九月。

⑦戒凤：戒备森严之凤凰宫车。凤：凤凰车，为帝王所乘之车。应劭《汉官仪》下："乘舆，大驾则御凤凰车，以金银为副。" 藻：文采。行川：所行之平野。川：平野。

⑧云旆(pèi 沛)：侍从队伍之旗帜多如云。旗帜的总称。 汉：云汉，天河。徙：移动。

⑨宸綱：天子车盖上珠玉连缀如綱。 宸：北极星所在为宸，后借用为帝王所居，又引申为王位、帝王的代称。 拟：如象。 星悬：天星悬空。

⑩櫂(zhāo 兆)：也作棹。划船拨水之具，状如桨，以红漆涂之，故称朱楫。丽：与下句之"映"相对，皆为映照之意。

⑪金镂(zōng 宗)：金饰之马冠。秋山与上句之寒渚，皆为所游之处。

⑫羽卫：负羽侍卫，即仪仗队。 霭：张铣曰："霭，映也。" 流景：流动的日光。

⑬彩吹：穿彩衣的乐工吹奏笙、箫类乐器。吕向曰："彩衣人吹箫管。"沈渊：深渊。

⑭辩诗：分辨解析所陈之诗。李善注引《礼记》曰："天子五年一巡狩，命太师陈诗以观民风。" 测京国：考察国都之民风。

⑮履籍：君主履行耕籍之礼。籍：籍田，帝王亲耕之田。历代至孟春皆有耕籍之礼，以示重农。其礼先由皇帝亲耕，按犁三推三反，群臣以次耕，王公五等诸侯五推五反，孤卿大夫七推七反，士九推九反，末由籍田令率其属耕毕。详见《礼·月令》之"孟春之月"，《宋书·礼志》一。 鑑：明断。 都廛：京城中之集市。廛：(chán 残)：市集。

⑯甿谣：乡村民谣。甿同氓，古指村民。 响：声调。 玉律：玉制的标准定音器。此句意为：加工收集来的民谣，使之符合玉律的声调。

⑰邑颂：都市的颂歌。 被丹弦：用琴瑟来演奏。丹弦：朱色的琴瑟。

⑱文轸：此指书同文，车同轨，国家统一。 薄：近。 桂海：南海。《尚

书》:“外薄四海。”孔安国曰:“薄,迫也。言至海也。南海有桂,故之桂海。”

⑲声教:声威与教化。 烛:照,此处作影响及于。 冰天:严寒的地方,此指北方。

⑳和惠:君主宽和的恩惠。 颁:分赏。 上笏:“五臣注”刘良曰:“上笏谓大夫之爵。”

㉑恩渥(wò 卧):君主恩赐优厚。 浃:滋润。 下筵:《重订文选集评》:“下筵,小臣也。”

㉒幸:有幸。 侍:侍奉君主,即从驾。 观洛:游览洛水。洛水即洛河。

㉓巡河前:前代君王巡视河洛。前代君王指天乙(即成汤,殷王朝的立国者)、虞舜。李善注引《尚书》:“中候曰:天乙在亳,东观乎雒,黄鱼双跃,出跻于坛,化为黑玉。”又引《孝经》钩命决曰:“舜即位,巡省中河,录图授之。”

㉔服义:奉行君主之仁义。 无沫:不尽不止。沫:竭,终止。

㉕展歌:即作诗。 展:陈述。 殊未宣:还不能显示出君王的仁德仁政。宣:显示。

【译文】

祖庙的祭祀,至敬至哀,尽合祭典,
枌榆的墓道肃穆幽远,
祭祀神明,始终肃敬净洁,
君王恭敬地降临,为的是祈祷丰年。
秋九月下诏登程,跟从的是众官群贤,
彩色散满平野,君王的凤凰车戒备森严,
旗帜多如浮云,仿佛是银河移动,
君王的车盖上珠玉连缀如网,仿佛长夜星悬。
红漆的划桨与清寒的沙洲映衬,色泽更艳,
金饰马冠与秋山相衬,黄白相间,
流动的日光照耀着负羽的侍卫,
彩衣的乐工吹奏笙箫,震动深渊。
君王巡幸,考察民风,把陈诗析辨,

履行耕藉之礼，君王将市集的民情调研，
收集民谣，使之符合玉律的声调，
都市的颂歌，用红色的琴瑟奏演。
书同文，车同轨，国度已达南海之边，
声威教化，影响于北方的雪地冰天，
君主宽和的恩惠，分赏于达官贵胄，
君主优厚的恩赐，给小臣滋润非浅。
有幸从驾，随君王将洛水游遍，
难道对前代君王的巡河，还会生羡，
奉行君王的仁义之道，不尽不止，
咏写此诗，君王的仁德善政乃未尽显。

谢光禄 郊游[1] 庄

【原文】

肃舲出郊际[2]， 徙乐逗江阴[3]。
翠山方蔼蔼[4]， 青浦正沈沈[5]。
凉叶照沙屿[6]， 秋荣冒水浔[7]。
风散松架险[8]， 云郁石道深[9]。
静默镜䴊野[10]， 四睇乱曾岑[11]。
气清知雁引[12]， 露华识猿音[13]。
云装信解黻[14]， 烟驾可辞金[15]。
始整丹泉术[16]， 终觌紫芳心[17]。
行光自容裔[18]， 无使弱思侵[19]。

【注释】

①此诗所拟为谢庄《自浔阳至都，集道里名为诗》、《游豫章西观洪崖井诗》诸诗。于光华《重订文选集评》引孙月峰语曰："属对精工，全似唐。此正希逸体，与"集道里"名诗绝相类。"且此诗清雅，"良无鄙促"，诚为江淹拟诗中成功之作。

②肃舲(líng 零)：疾驶小船。肃：即肃肃，疾速也。《诗经·召南·小星》："肃肃宵征，夙夜在公。"舲：有窗的小船。

③徙乐：行乐。　逗：停留。　江阴：江之南岸。

④蔼蔼：草木茂盛。

⑤青浦：浦，水滨。其水色青，故称。沈沈：深沉貌。

⑥凉叶：秋叶。　照：映照。　沙屿：沙洲。

⑦秋荣：秋花。荣，花之通称。　冒：复盖。　水浔：水畔。

⑧风散：犹言风吹。　松架：吕延济曰："松横生曰架。"犹言松枝横生。险：危也。

⑨云郁：犹言云之繁集。　深：幽。

⑩静默：沈静缄默。　镜：观看。绵野：绵邈之野地。

⑪四睇：四望。　乱：杂乱。　曾(zēng 真)：高。　岑：cén，峰。

⑫气清：空气清澈。　知：犹言见到。雁引：长长的雁阵。

⑬露华：露水晶莹。　识：犹言听到。

⑭云裝：云衣。仙人以云霓为衣，故称。　黻(fú 伏)：通绂，系印的丝带。

⑮烟驾：云车。仙人以云为车，故称。　金：金印。"解黻"、"辞金"皆谓辞官之意。"云裝"、"烟驾"二句意为见到云霞，即想到神仙之道，真可辞官而从游。

⑯整：吕良曰："整，信也。"丹泉术：长生不死之术。李善注引《外国图》云："负丘有赤泉，饮之不死。"

⑰觌(dí 敌)：相见也。此处意为了解。　紫芳：灵芝。"紫芝心"与"丹泉术"意同。

⑱行光：张铣曰："神不灭曰行光。"容裔：即容与，从容自在。此句意为超尘隐遁之心不灭。

⑲弱思：猥琐杂念，引申为生活琐事。

【译文】

一叶小舟，驶出郊外，疾速行进，
逗留在这江之北岸，寻乐解闷，
苍翠的山峦，草木茂盛，
水边的青色，一片深沉。
秋叶与沙洲映衬
秋花笼罩着江滨，
风乍起，旁逸的松枝迭现险景，
云繁集，迷漫的山道更显幽深。
细观这绵邈的旷野，我缄默沈静，
四面远眺，高高的山峰，一片嶙峋，
空气清澈，仰望那有序的长长雁阵，
露水晶莹，犹听得悲鸣的猿声。
那天上的彩虹，定是仙人降临，见此真该归隐，
那天上的烟云，定是仙人车行，见此真该抛却金印，
饮啜丹泉而不死，此时方信，
食啖灵芝花蕊，定可长生。
终不灭这超尘隐遁之心，
绝不让尘俗事频频相侵。

鲍参军 戎行[1] 照

【原文】

豪士枉尺璧[2]， 宵人重恩光[3]。

殉义非为利，　执羁轻去乡④。
孟冬郊祀月⑤，　杀气起严霜。
戎马粟不煖，　军士冰为浆。
晨上成皋坂⑥，　碛砾皆羊肠⑦。
寒阴笼白日⑧，　太谷晦苍苍⑨。
息徒税征驾⑩，　倚剑临八荒⑪。
鹪鹏不能飞⑫，　玄武伏川梁⑬。
鎩翮由时至⑭，　感物聊自伤。
竖儒守一经⑮，　未足识行藏⑯。

【注释】

①此诗所拟为鲍照《代出自蓟北门行》，皆言军旅之劳。然鲍诗以“时危见臣节，世乱识忠良。投躯报明主，身死为国殇。”收束全诗，慷慨悲壮；江淹拟作却以“鎩翮由时至，感物聊自伤。竖儒家一经，未足识行藏。”作结，感伤无奈，意趣不合。至于风格，何焯《义门读书记》曰：“明远之奇丽，是其天才绝伦，固非文通所能到也。”可知此拟诗非为成功之作。

②豪士：权势之人。　枉：枉受。　尺璧：盈尺的璧玉。

③宵人：小人。　恩光：犹言恩宠。

④执羁：执羁靮而从军。　羁靮：马络头与马缰。靮(dí 敌)：执羁犹言策马。　轻：看轻。

⑤孟冬：冬季第一个月，即农历十月。　郊祀月：郊外祭祀天地之月。

⑥成皋坂：李善引薛综《东京赋》注曰：“旋门坂在成皋。”成皋坂即成皋之旋门坂。坂，山坡，斜坡。

⑦碛(qì 记)砾：碎石。

⑧寒阴：寒云。

⑨太谷：谷名。　晦：李善注引《尔雅》：“雾，谓之晦。”　苍苍：苍茫。

⑩息徒：停步。徒：步行。　税：释放、解脱。此为解开。　征驾：即征车。

⑪临：远视。　八荒：此指四周荒远之地。

⑫鹪鹏：亦作鹪明、焦明，神鸟，似凤凰之类。

⑬玄武：神龟。　川梁：即桥。

⑭鎩翮：即鎩羽。羽毛摧落，喻失意。翮(hé 河)：鸟羽或鸟之翅膀。

⑮竖儒：小儒。对儒生的鄙称。　守一经：奉行一卷经书，犹谓只死啃经书。

⑯行藏：谓出仕即行所学之道，否则退隐藏道以待时机。后因指出处或行止。《论语·述而》："子谓颜渊曰：'用之则行，舍之则藏，唯吾与尔有是夫。'"

【译文】

权贵镇枉受尺璧之赏，
群小们看重恩宠荣光，
不营私利，为正义宁可命丧，
策马从军，义无返顾离开故乡。
祭祀天地的十月，寒冬始降，
肃杀的寒气凝成浓霜，
战马的饲料，生冷冰凉，
士兵们解渴，权以冰块作琼浆。
清晨将成皋坂登上，
一路碎石，小道盘曲似羊肠，
寒云遮蔽了太阳，
太谷中雾笼烟锁，一片苍茫。
卸下征车，停足车旁，
手按佩剑，远眺八方，
鹪鹏神鸟，展翅却不能飞翔，
神龟蛰伏桥下，默无声响。
如鸟羽的摧落，霜雪时节引出的失意惆怅，
触景生情，暗自神伤，
短见的小儒，只会死啃经书不放，
真不明了人生或进或退的道理深长。

休上人 别怨[1]

【原文】

西北秋风至[2]，　楚客心悠哉[3]。
日暮碧云合，　佳人殊未来[4]。
露采方泛艳[5]，　月华始徘徊。
宝书为君掩[6]，　瑶琴讵能开[7]。
相思巫山渚[8]，　怅望阳云台[9]。
膏炉绝沈燎[10]，　绮席坐浮埃[11]。
桂水日千里，　因之平生怀[12]。

【注释】

①休上人即惠休，本姓汤，字茂远。善属文，齐世祖萧颐命使还俗，位至扬州刺吏。钟嵘《诗品》谓“惠休淫靡，情过其才”，其《怨诗行》、《杨花曲》、《白纻歌》皆缠绵柔弱，思涉尘俗，亦为江淹所拟之本。

②西北秋风：肃杀的秋风。张铣曰：“西北曰不周风。”《史记·律书》：“不周风居西北，主杀生。”

③楚客：旅居之楚人。此处作者自喻。　悠哉：忧思长远。

④佳人：张铣曰：“佳人，谓所思友人。”　殊：断绝。

⑤露采：即露彩，露珠也。　汎艳：李周翰曰：“汎艳，浮光貌。”

⑥宝书：旧称官修的史书。此指释门之经籍。

⑦瑶琴：有玉饰之琴。

⑧巫山渚：巫山之渚宫，为春秋时楚之别宫。

⑨阳云台：何焯《义门读书记》：“阳云当作云阳，在云泽之阳也。”“巫山渚”、“云阳台”皆在楚地，意皆为思念楚地之友朋。

⑩膏炉：李善注：“炉，熏炉也。取其芬香，故加之膏。”即烧香膏之熏炉。

绝：尽。 沈燎：炉中有烟无焰。

⑪绮席：装饰华丽之床。邹阳《酒赋》："绡绮为席，犀璩为镇。"

⑫因之：顺着桂水。 平生：平素。 怀：怀念。

【译文】

秋风劲吹，一片肃杀阴霾，
我的忧思绵长悲哀，
傍晚时分，扰聚的暮云将四野覆盖，
日日思念的故人，音讯断绝，何时再来，
晚霞泛着光彩，
秋月初升，月光游移徘徊，
经书懒去翻阅，全为了思念之情难耐，
思念之情难耐，又怎愿将琴盒打开。
终日思念南方的渚宫一带，
终日怅望南方的云阳台，
香烟灭绝，不再袅袅飘于熏炉之外，
华丽的卧床满布尘埃。
一日千里的桂水终年不竭，
顺着这桂水的流向，寄去我平素的思怀。

（熊竹沅 译注）

文选全译卷第三十二

骚上

离骚一首

屈　原

【作者】

屈原(约前339～约前278),名平,字原。战国时期的楚国诗人、政治家,“楚辞”的创立者和代表作者。本世纪中,曾被推举为世界文化名人。屈原曾为楚怀王左徒,还曾担任过“三闾大夫”。他辅佐楚怀王,推行变法之事,遭到旧贵族们的中伤打击,被疏远后,逐出朝廷,流放到汉北地区。顷襄王继位后,屈原被流放到江南地区,他回楚都既不可能,远游、求贤又不成,最后,在无可奈何之际,自沉于汨罗江中,以明其忠贞爱国之志。

屈原作品,据王逸《章句》认为有25篇,即《离骚》1篇,《天问》1篇,《九歌》11篇,《九章》9篇,《远游》、《卜居》、《渔父》各1篇。屈原作品反映了现实社会中的种种矛盾,尤以揭露楚国的黑暗政治最为深刻。在表现手法上,屈原把赋、比、兴巧妙的糅合成一体,大量运用“香草美人”的比兴手法,把抽象的品德、意识和复杂的现实关系生动形象地表现出来。在语言形式上,屈原作品突破了《诗经》以四字句为主的格局,句法参差错落,灵活多变;句中句尾多用

“兮”字来协调音节，造成起伏回宕、一唱三叹的韵致。总之，他的作品从内容到形式都有巨大的创造性。鲁迅称屈原作品“逸响伟辞，卓绝一世”，“其影响于后来之文章，乃甚或在‘三百篇’以上”(《汉文学史纲要》)。

【题解】

“骚”，这里指楚辞。萧统为了区分楚辞与汉赋，把屈原楚辞中的代表作《离骚》突出出来，立一个“骚”类，作为楚辞体文学的代称，从此，在文体分类上人们习惯于称楚辞为“骚”或“骚体”。其实，把楚辞称为“骚”，这是不恰当的，因为《离骚》有其特定的含义，并非一种文学体裁的名称。

《离骚》是屈原的代表作品，是我国古典文学中最长的抒情诗。它的基本内容表现了诗人对崇高的政治理想的热烈追求和对邪恶势力的不懈斗争。诗中一面尖锐地抨击了当时贵族政治的投机取巧、苟且偷安；一面热烈地渴望着光明，表达了自己对祖国和人民的无限忠贞。这篇长诗大约写成于楚怀王十六年(前313年)，是屈原被上官大夫谗毁而离开郢都时所作。《离骚》是屈原以自己的理想、遭遇、痛苦、热情以至整个生命所熔铸而成的宏伟诗篇，其中闪耀着鲜明的个性光辉，是屈原全部创作的重点。

本篇篇名的意义，司马迁引淮南王说：“离骚者，犹离忧也。”王逸解为别愁。

【原文】

帝高阳之苗裔兮①，朕皇考曰伯庸②。
摄提贞于孟陬兮③，惟庚寅吾以降④。
皇览揆余初度兮⑤，肇锡余以嘉名⑥。
名余曰正则兮⑦，字余曰灵均⑧。

纷吾既有此内美兮⑨，又重之以修能⑩。
扈江离与辟芷兮⑪，纫秋兰以为佩⑫。
汩余若将不及兮⑬，恐年岁之不吾与⑭。
朝搴阰之木兰兮⑮，夕揽洲之宿莽⑯。
日月忽其不淹兮⑰，春与秋其代序⑱。
惟草木之零落兮⑲，恐美人之迟暮⑳。
不抚壮而弃秽兮㉑，何不改此度也㉒？
乘骐骥以驰骋兮㉓，来吾导夫先路㉔！

【注释】

①帝：当王的人死后又有庙主的称呼。《礼记·曲礼》："天王崩，告丧，曰：天王登假，措之庙，立之主曰帝。" 高阳：远古帝王颛顼有天下时的称号。王逸《楚辞章句》(以下简称《章句》)："颛顼有天下之号也。" 苗裔：后代子孙。《史记·楚世家》："楚之先出自帝颛顼高阳。"朱熹《楚辞集注》(以下简称《集注》)："苗裔，远孙也。苗者，草之茎叶，根所生也。裔者，衣裙之末，衣之余也。故以为远末子孙之称也。"

②朕：第一人称指示代词。《章句》："我也。"先秦的人不论上下都可以称朕。至秦始皇，才是"朕"为帝王自称的专用词。 皇：《章句》："美也。"即光明、伟大的意思。这是古代习用的称颂赞美的定语。 皇考：亡父的尊称。《章句》："父死称考。"一说皇考指远祖。闻一多《离骚解诂》用刘向《九叹》及近人王闿运《楚辞释》之说。另一说皇考指曾祖。近人魏炯若《离骚发微》，陈直《楚辞拾遗》均主此说。按，从下文"皇览揆"句看来，皇考当指屈原父无疑。 伯庸：王夫之《楚辞通释》(以下简称《通释》)："伯庸其字，古者讳名不讳字。"

③摄提：《章句》："太岁在寅曰摄提格。"即指寅年。 贞：正，正指着。 孟陬：《章句》："孟，始也。正月为陬。"即孟春正月，也是寅月。

④庚寅：《章句》："日也。"正月里的一天，是寅日。按，以上两句根据王逸说屈原生于寅年寅月寅日。后人据此考据后，推算出屈原生日：1)邹汉勋认为在周显王二十六年正月二十一日，即前 343 年；2)认为在楚威王五年正月初七日，即前 335 年；3)郭沫若认为在楚宣王三十年正月七日。即前 340 年；4)

浦江清认为在楚威王元年正月十四日，即前339年。浦江清之说较为精密。

⑤皇：皇考的省称。 览：观察。 揆：《章句》："度也。"衡量；揣测。 度：《集注》："初度之初，犹言时节也。"初度，初生的时节。

⑥肇：《章句》："始也。"一说肇是"兆"的假借字。（见陈直《楚辞拾遗》）

⑦正则：《章句》："正，平也。则，法也。"公正的法则。

⑧灵均：《章句》："灵，神也。"均，即均匀、公平的意思。灵均，实为一带有神灵身份，神性色彩的名字。洪兴祖《楚辞补注》（以下简称《补注》）："正则以释名平之义，灵均以释字原之义。"按，正则，灵均，是辞赋里用的假名。

⑨纷：多的样子。在句子中作定语，修饰"内美"。现提到主语之前，这是楚辞中常见的特殊用法。 此：指上文的"三寅"、出身和嘉名。 内美：指先天具有的良好素质。

⑩修能：闻一多《楚辞校补》："能，态古字通。下文'扈江离与辟芷兮，纫秋兰以为佩'。即承此言之。"修能，即修态。修饰的美态。是与内美相对的后天的修饰，指人对道德品质和学术的修养。

⑪扈：披。《章句》："扈，被也。楚人名被为扈。" 江离：香草名。即川芎。 辟：同"僻"。幽僻。 芷：香草名。即白芷。辟芷，生长在幽僻处的芷草。

⑫纫：蒋骥《山带阁注楚辞》（以下简称《山带阁注》）："结也。"动词，把香草结成索。 兰：香草名。秋兰，秋天开花的兰草。

⑬汩（yù 吁）：《章句》："汩，去貌。疾若水流也。"比喻时光如逝水。

⑭与：待。不吾与，不等待我。

⑮搴（qiān 千）：拔取。 阰（pí 皮）：土坡。王闿运《楚辞释》："阰，毗也。山坡相连处也。" 木兰：香木名。又名辛夷。

⑯揽：采。 宿莽：《章句》："草冬生不死者，楚人名曰宿莽。" 洲：一本作中洲。

⑰日月：指时光。 忽：形容时光迅速。 淹：久留。

⑱代序：代谢。《章句》："春往秋来，以次相代。"

⑲惟：想到。

⑳美人：钱澄之《居诂》："美人自况为是。"一说指楚怀王。一说指贤士。 迟暮：年老。

㉑不："何不"的省文。 抚：徐焕龙《屈辞洗髓》："抚，凭也。" 壮：朱冀《离骚辩》："壮者，强也；盛也。以国势而言。"抚壮，应理解为凭藉楚国的民心

士气及其优越条件。 秽:秽政。朱冀《离骚辩》:“秽者,政事之杂乱,如草之荒秽而不治。”

㉒此度:指理行的政治法度。

㉓騏骥:骏马。比喻贤臣。

㉔来:钱杲之《离骚集传》:“来,引导之辞。” 先路:前驱。《章句》:“言己如得任用,将驱先行,愿来随我,遂为君导入圣王之道也。”

按:全文共分三大段。以上是第一大段的第一层,诗人叙述家世出身,生辰名字,以及自己如何积极自修,锻炼品质和才能,并决心辅助楚王进行政治改革,使国家富强起来。

【译文】

我是古帝高阳氏的后代子孙,
我已逝世的父亲字伯庸。
岁星在寅的那年孟春正月,
正当庚寅日那天我降生。
父亲仔细揣测我的生辰时节,
于是赐给我相应的美名:
父亲把我的名取为正则,
同时把我的字叫作灵均。
上天赋予我很多良好素质,
我还不断加强自己的修养。
我把江离芷草披在肩上,
把秋兰连结成索佩挂身旁。
我好像跟不上快如逝水的时光,
岁月不等待人使我心慌。
早晨我在山坡上采集木兰,
傍晚在小洲中摘取宿莽。
时光迅速逝去不会久留,
四季相互代谢变化有常。

想到草木已经由盛到衰，
担心自己也一天天衰老。
何不利用强盛时扬弃秽政，
为什么还不改变这些法度？
乘上千里马纵横驰骋吧，
来呀，让我在前面引导开路！

【原文】

昔三后之纯粹兮①，固众芳之所在②。
杂申椒与菌桂兮③，岂维纫夫蕙茝④。
彼尧舜之耿介兮⑤，既遵道而得路⑥。
何桀纣之猖披兮⑦，夫唯捷径以窘步⑧。
惟党人之偷乐兮⑨，路幽昧以险隘⑩。
岂余身之憚殃兮⑪，恐皇舆之败绩⑫！
忽奔走以先后兮⑬，及前王之踵武⑭。
荃不察余之中情兮⑮，反信谗而炻怒⑯。
余固知謇謇之为患兮⑰，忍而不能舍也⑱。
指九天以为正兮⑲，夫唯灵修之故也⑳！
初既与余成言兮㉑，后悔遁而有他㉒。
余既不难离别兮㉓，伤灵修之数化㉔。

【注释】

①三后：后，君。《章句》："谓禹、汤、文王也。"朱熹在《集注》中同此说，但在《辩证》中又说："疑谓三皇，或少昊、颛顼、高辛也。"戴震及近人马其昶均认为三后为楚先君熊绎、若敖、蚡冒三人。此说较妥。 纯粹：没有杂质。指德行完美，公正无私。

②众芳：指下文的椒、桂、蕙、茝等香草。比喻群贤。

③杂:动词。杂用;兼有。 申椒:申地的椒。椒,落叶灌木,所结的子即称为花椒,是一种香料。 菌桂:肉桂。桂树的一种,树干正圆如竹,皮薄可卷,也是一种香料。按,椒桂都带刺激味,比喻直言急谏之臣。林云铭《楚辞灯》:"椒桂带辣气,以其香犹用之,不但用纯香之蕙茝而已。"

④维:通"唯"。只;仅仅。 夫:彼。按,以上两句比喻三后求贤的普遍和贤才的众多。

⑤耿介:光明正大。

⑥道:正道,正确的道理。 路:比喻治国的正确途径。

⑦何:何等。是"猖披"的状语,现提到主语之前,这也是《楚辞》中常见的特殊句型。 猖披:游国恩《离骚纂义》:"猖披本当作裮被……盖裮二字以比肆行不谨。"

⑧捷径:《补注》:"捷,邪出也。《论语》曰:'行不由径。'径,步道也。"

⑨党人:钱杲人《离骚集传》:"谓时小人相为朋党者。"即指当时结党营私的腐朽贵族集团。 偷乐:苟安享乐。

⑩路:比喻国家以及他们的前途。 幽昧:昏暗不明。

⑪惮殃:畏惧灾难。

⑫皇舆:《章句》:"皇,君也。舆,君之所乘,以喻国也。" 败绩:戴震《屈原赋注》:"车覆曰败绩。"这里指国家颠覆。

⑬忽:匆匆忙忙的样子。 先后:动词。跑前跑后。

⑭踵武:《集注》:"踵,足跟也。武,迹也。"

⑮荃:音义同"荪(quán)"。香草名。《章句》:"以喻君也。"这里指楚怀王。中情:内心。

⑯炙(jì 记):本义是用急火煮饭的意思。炙怒,盛怒。形容怒火很大。

⑰謇謇(jiǎn 茧):朱冀《离骚辩》:"直言貌。"

⑱舍:控制、止。

⑲正:通"证"。

⑳灵修:《集注》:"言其有明智而善修饰,盖妇悦其夫之称,亦托词以寓意于君也。"这里指楚怀王。

㉑成言:约定。

㉒遁:变心。 有他:有了另外的打算。

㉓离别:指离开楚怀王。

㉔数化:《章句》:“志数变易,无常操也。”

按,这是第一大段的第二层。诗人用一系列比喻,说明治乱成败的道理,并且阐明自己的政治观点和立场,揭示了与楚王的矛盾。

【译文】

从前三君公正无私德行完美,
因此天下贤臣聚集他们周围。
杂聚着申椒菌桂似的人物,
岂止接纳优秀的茝与蕙。
唐尧虞舜多么光明正直啊,
他们沿着正道登上坦途。
夏桀殷纣多么狂妄邪恶啊,
贪图捷径最终走投无路。
结党营私的人苟安享乐,
他们的前途黑暗充满险阻。
难道我是害怕招灾惹祸吗,
我只担心祖国为此覆没。
跑前跑后我奔走照料啊,
希望君王能赶上先王的脚步。
君王不深入了解我的忠心,
反而听信谗言对我发怒。
我早就知道忠言直谏有祸,
原想忍耐却又控制不住。
上指苍天请它给我作证,
一切都是为了君王的缘故。
你以前既然与我有过成约,
现在另有打算又追悔当初。
我并不难于与你别离啊,

我只是伤心你的反反复复。

【原文】

余既滋兰之九畹兮①，又树蕙之百亩②。
畦留夷与揭车兮③，杂杜衡与芳芷④。
冀枝叶之峻茂兮⑤，愿竢时乎吾将刈⑥。
虽萎绝其亦何伤兮⑦，哀众芳之芜秽⑧。
众皆竞进以贪婪兮⑨，凭不厌乎求索⑩。
羌内怒已以量人兮⑪，各兴心而嫉妒⑫。
忽驰骛以追逐兮⑬，非余心之所急⑭。
老冉冉其将至兮⑮，恐修名之不立⑯。
朝饮木兰之坠露兮，夕歿秋菊之落英⑰。
苟余情其信姱以练要兮⑱，长顑颔亦何伤⑲。
揽木根以结茝兮⑳，贯薜荔之落蕊㉑。
矫菌桂以纫蕙兮㉒，索胡绳之缅缅㉓。
謇吾法夫前修兮㉔，非时俗之所服㉕。
虽不周于今之人兮㉖，愿依彭咸之遗则㉗！

【注释】

①滋：栽种。　畹（wǎn 宛）：《章句》："十二亩曰畹。"《说文》说，一畹三十亩。九畹，表示栽种得多。九是虚数。

②树：种。　百亩：也是种得很多的意思。

③畦：田垄。用作动词。指一垄一垄地种植。　留夷：香草名。即芍药。揭车：香草名。

④杂：动词。套种。　杜衡：香草名。俗称马蹄香。　芳芷：即白芷。按，以上四句用种植香草比喻培养人才。

⑤冀：希望。　峻茂：高大茂盛。

⑥竢:同“俟”。等待。

⑦萎绝:枯萎凋落。《章句》:“萎,病也。绝,落也。”

⑧芜秽:原指长满荒草,这里比喻人才变质。

⑨竞进:争先恐后地向上爬。

⑩凭:《章句》:“楚人名满曰凭。”形容求索之甚。

⑪羌:《章句》:“楚人语词也。” 恕己:对待自己宽容。 量:估量;揣度。

⑫兴心:起意。

⑬驰骛:汪瑗《楚辞集解》:“乱走也。”即狂奔乱跑。 追逐:指追求权势与财富。

⑭所急:急迫的事。

⑮冉冉:渐渐。

⑯修名:游国恩《离骚纂义》:“修名者,美名也。”

⑰落英:零落的花。落,一作“始”解。

⑱姱(kuā 夸):美好。 练要:游国恩《离骚纂义》:“练要为简练于要道也。”意思是思想感情精练明确,集中于主要的东西。

⑲颇颔(kǎn hàn 坎汗):《补注》:“食不饱,面黄貌。”

⑳木根:香木的根。

㉑薜荔:香木名。常绿灌木,蔓生,亦名木莲。

㉒矫:举;拿。

㉓索:动词。搓绳。 胡绳:一种蔓生香草。 缅缅(xǐ 洗):又长又好的样子。

㉔謇:楚方言,发语词。 前修:汪瑗《楚辞集解》:“前代修习道德之圣贤也。”

㉕服:做;从事。

㉖周:相容;合。

㉗彭咸:《章句》:“彭咸,殷贤大夫,谏其君不听,自投水而死。” 遗则:留下的榜样;遗留的教诲。

按,这是第一大段的第三层。写自己为国家培养人才,但在“众皆竞进以贪婪”的环境中,群芳芜秽了。自己却要积极自修,依照彭咸的遗教去做。

【译文】

我已经栽培了很多春兰,

又种植香草秋蕙一大片。
分垄培植了留夷和揭车，
还把杜衡芳芷套种其间。
我希望它们枝叶茂盛，
等待着我收割的那一天。
如果它们枯萎死绝没什么伤害，
令人痛心的是它们质变。
群小都拼命争着向上爬，
利欲薰心而又贪得无厌。
他们猜疑别人宽恕自己，
勾心斗角而且相互妒忌。
急于奔走钻营争权夺利，
这一切不是我追求的东西。
只觉得老年在渐渐来临，
我担心美好的名声不能树立。
早晨我饮木兰上的露水，
傍晚我用菊花残瓣充饥。
只要我的感情贤贞不易，
形清骨立又有什么关系。
我用香木的根编结茝草，
再把薜荔花蕊穿在一起。
我拿菌桂枝条联结蕙草，
胡绳搓成绳索又长又好。
我效法的是古代圣贤，
这不是世间俗人能够做到。
我与现在的人虽不相容，
我却愿依照彭咸的遗教。

【原文】

长太息以掩涕兮，哀人生之多艰[1]。
余虽好修姱以鞿羁兮[2]，謇朝谇而夕替[3]。
既替余以蕙纕兮[4]，又申之以揽茝[5]。
亦余心之所善兮，虽九死其犹未悔[6]！
怨灵修之浩荡兮[7]，终不察失人心[8]。
众女嫉余之蛾眉兮[9]；谣诼谓余以善淫[10]。
固时俗之工巧兮，偃规矩而改错[11]。
背绳墨以追曲兮[12]，竞周容以为度[13]。
忳郁邑余侘傺兮[14]，吾独穷固乎此时也。
宁溘死以流亡兮[15]，余不忍为此态也！
鸷鸟之不群兮[16]，自前代而固然。
何方圆之能周兮，夫孰异道而相安[17]！
屈心而抑志兮[18]，忍尤而攘诟[19]。
伏清白以死直兮[20]，固前圣之所厚[21]！

【注释】

①人生：或作“民生”。盖原为“民”字。李善唐人，避太宗讳，改民为人。

②鞿羁（jī jī 基）：《集注》：“言自绳束，不放纵也。” 修姱：《补注》：“谓修洁而姱美也。”

③谇（suì 岁）：辱骂。 替：废弃。

④替：潛。即捏造事实，背后说人坏话。（游国恩主此说） 纕：《章句》：“佩带也。”

⑤申：加上。

⑥九死：死亡多次。

⑦浩荡：《章句》：“无思虑貌。”原指水很大，泛滥横流，这里指楚王行为放

纵，变化无常，毫无思虑。有糊涂的意思。

⑧人心：或作“民”。

⑨蛾眉：指蚕蛾的触角，细长而弯曲。这里比喻女子的秀丽，她的眉毛就像蚕蛾的触角一样。蛾眉是古代美貌的象征。

⑩谣诼（—zhuó 浊）：游国恩《离骚纂义》：“谣诼即造谣中伤之意。”

⑪偭（miǎn 勉）：违背。　规矩：指法度。　错：同“措”。措施。

⑫绳墨：木工用的墨斗墨线，是定直线的工具。引伸为判断是非的标准。

⑬周容：苟合取悦于人。　度：法则。

⑭忳（tún 屯）：忧愁很深的样子。　郁邑：烦恼苦闷。　侘傺（chà chì 岔赤）：《章句》：“失志貌。”

⑮流亡：姜亮夫《屈原赋校注》：“淹忽而死，随水以去。”不作“注放”；“放逐”解。

⑯鸷鸟：《章句》：“鸷，执也。谓能执伏众鸟，鹰鹯之类也，以喻忠正。”

⑰异道：志向不同。

⑱屈心：委曲心志。　抑志：抑制感情。

⑲尤：责怪。　攘：容忍退让的意思。

⑳伏：同“服”。保持。　死直：为直道而死。

㉑厚：嘉许；称赞。

按，这是第一大段的第四层。诗人写自己因直言劝谏遭到废弃的命运，表示要坚持美与善的理想，至死不变。

【译文】

我揩着眼泪啊声声长叹，
可怜人生的道路多么艰难。
我虽爱好修洁严于责已，
早晨被辱骂晚上又被罢官。
他们攻击我佩带蕙草啊，
又指责我爱好采集茝和兰。
这是我心中追求的东西，
就是多次死亡也不后悔。

怨只怨君王糊里糊涂啊，
他始终不体察别人的心情。
那些女人妒忌我的丰姿，
造谣诬蔑说我妖艳好淫。
庸人本来善于投机取巧，
背弃规矩而又改变政策。
违背是非标准追求邪曲，
争着苟合取悦作为法则。
忧愁烦闷啊我失意不安，
现在孤独穷困多么艰难。
宁可马上死去魂魄离散，
媚俗取巧啊我坚决不干。
雄鹰不与那些燕雀同群，
自古以来就是这般。
方圆怎么能够互相配合，
志向不同何能彼此相安。
宁愿委曲心志压抑感情，
把斥责和咒骂统统承担。
保持清白节操死于直道，
这本为古代圣贤所称赞！

【原文】

悔相道之不察兮①，延伫乎吾将反②。
回朕车以复路兮③，及行速之未远④。
步余马于兰皋兮⑤，驰椒丘且焉止息⑥。
进不入以离尤兮⑦，退将复修吾初服⑧。
制芰荷以为衣兮⑨，集芙蓉以为裳⑩。

不吾知其亦已兮⑪，苟余情其信芳⑫。
高余冠之岌岌兮⑬，长余佩之陆离⑭。
芳与泽其杂糅兮⑮，唯昭质其犹未亏⑯。
忽反顾以游目兮⑰，将往面乎四荒⑱。
佩缤纷其繁饰兮⑲，芳菲菲其弥章⑳。
人生各有所乐兮㉑，余独好修以为常㉒。
虽体解吾犹未变兮㉓，岂余心之可惩㉔！

【注释】

①相道：看路。

②延伫：长时间的站立。这里是迟疑不决的意思。

③复路：走回原路。

④行迷：迷路。

⑤皋（gāo 高）：水边的陆地。兰皋，长有兰草的水边。

⑥椒丘：长有椒木的小山。

⑦进不入：意思是虽然进仕于朝廷，却未被楚王真正信任和接纳。游国恩《离骚纂义》："谓进仕而未合于君。"　离：通"罹"。遭到。

⑧初服：即篇首的扈离纫兰。在篇首为朝搴夕揽，这里指荷衣蓉裳。比喻继续进修原来的品德。

⑨制：剪裁。　芰荷（jì一）：菱。

⑩芙蓉：荷花。

⑪不吾知：即"不知吾"。

⑫信芳：真正芳洁。

⑬岌岌（jí 及）：高耸的样子。

⑭陆离：王念孙《读书杂志》："陆离有二义，一为参差貌；一为长貌。下文云'纷总总其离合兮，斑陆离其上下'……皆参差之貌也。此云'高余冠之岌岌兮，长余佩之陆离'，岌岌为高貌，则陆离为长貌，非谓参差也。"

⑮芳：指香洁的东西。　泽：汉刘熙《释名·释衣服》："汗衣，近身受汗垢之衣也。《诗》谓之泽（见《秦风无衣》），受汗泽也。"这里引伸为污垢的意思（本

郭沫若说)。 糅(rǒu):掺合。 按,芳泽杂糅,是比喻贤臣与奸佞同处朝廷。

⑯昭质:光辉纯洁的品质。

⑰游目:纵目远眺。

⑱四荒:《章句》:"荒,远也。"四荒,指四面遥远的地方。 按,这两句是下文"上下求索"的伏笔。

⑲缤纷:《章句》:"盛貌。"

⑳菲菲:《章句》:"犹勃勃。"即香气浓烈。 章:同"彰"。弥章,更加显著。

㉑人生:一说人性。

㉒好修:爱好修饰。即比喻加强自己道德品质和学术的修养。

㉓体解:即肢解。

㉔惩:警戒。刘梦鹏《屈子章句》:"惩,犹戒也。"

按:这是第一次大段的第五层。理想既然不能实现,就回来加强自修,在任何情况下也不放弃自己的理想。

从开头至此是全篇的第一大段。在这一大段中,诗人自叙身世、德才和理想,以及辅助楚王进行政治改革的斗争。但因贵族群小的围攻迫害,楚王听信谗言而理想不能实现。诗人并没有屈服,他向腐朽的反动势力进行了猛烈的抨击,并且仍决心坚持自己的道德情操和政治理想。

【译文】

后悔当初不曾看清前途,
迟疑了一阵我又将回头。
调转我的车马走回原路,
趁着迷途未远赶快罢休。
我骑马在兰草水边行走,
奔上椒木小山暂且停留。
既然进取不成反而获罪,
那就回来把我旧服重修。
我要把菱叶裁剪成上衣,
我还用荷花把下裳织就。

没有人了解我也就算了，
只要内心真正馥郁芳柔。
把我的帽子加得高高的，
把我的佩带增得长悠悠。
虽然芳洁污垢混杂一起，
纯洁品质不会亏损腐朽。
我忽然回头啊纵目远望，
我将游观四面遥远地方。
佩着五彩缤纷华丽服饰，
散发出一阵阵浓郁清香。
人们各有自己的爱好啊，
我独爱好修饰习以为常。
即使粉身碎骨也不改变，
难道我能受警戒改变志向！

【原文】

女嬃之嬋媛兮①，申申其詈予②。
曰："鲧婞直以亡身兮③，终然夭乎羽之野④。
汝何博謇而好修兮⑤，纷独有此姱节⑥。
薋菉葹以盈室兮⑦，判独离而不服⑧。
众不可户说兮⑨，孰云察余之中情⑩？
世并举而好朋兮⑪，夫何茕独而不予听⑫？"
依前圣而节中兮⑬，喟凭心而历兹⑭。
济沅湘以南征兮，就重华而陈词⑮：
"启九辩与九歌兮⑯，夏康娱以自纵⑰。
不顾难以图后兮⑱，五子用失乎家巷⑲。
羿淫游以佚田兮⑳，又好射夫封狐㉑。

固乱流其鲜终兮[22]，浞又贪夫厥家[23]。
浇身被服强圉兮[24]，纵欲而不忍。
日康娱以自忘兮，厥首用夫颠陨[25]。
夏桀之常违兮[26]，乃遂焉而逢殃[27]。
后辛之菹醢兮[28]，殷宗用而不长[29]。
汤禹俨而祗敬兮[30]，周论道而莫差[31]。
举贤而授能兮[32]，修绳墨而不陂[33]。
皇天无私阿兮[34]，览人德焉错辅[35]。
夫维圣哲以茂行兮[36]，苟得用此下土[37]。
瞻前而顾后兮，相观人之计极[38]。
夫孰非义而可作兮，孰非善而可服？
阽余身而危死兮[39]，览余初其犹未悔。
不量凿而正枘兮[40]，固前修以菹醢。”
曾歔欷余郁邑兮[41]，哀朕时之不当[42]。
揽如蕙以掩涕兮[43]，沾余襟之浪浪[44]。

【注释】

①女嬃：《章句》：“女嬃，屈原姊也。”《说文》引贾逵说：“楚人谓姊为嬃。”一说是侍妾。汪瑗《楚辞集解》：“嬃者，贱妾之称。”郭沫若《屈原赋今译》引申为“女伴”，并疑女嬃是屈原的侍女。按，从《离骚》文例来看，女嬃应是屈原虚构的一个“老大姐”式的人物，并不是实指。 婵媛：《集注》：“婵媛，眷恋牵持之貌。”是多情，关切的意思。一说是因说话愤急而喘息的样子。

②申申：陆时雍《楚辞疏》：“申申，繁絮貌。”即一再地。 詈(lì 利)：责备。引申为劝戒。

③鲧(gǔn 滚)：禹的父亲。颛顼的后代。相传鲧偷了天帝的息壤来治洪水，被天帝杀死在羽山的郊野。 婞直：婞(xìng 姓)，同“悻”。周拱辰《离骚草木史》：“婞直，刚愎倔强。” 亡身：王闿运《楚辞释》：“亡身当作忘身。”意思是

不顾自身的安危。

④夭(yāo 妖):早死。 羽:羽山。神话中的地名,传说在东海之滨。

⑤博謇:钱澄之《屈诂》:"謇,难于言而必欲言之。博謇,知无不言。"意思是在各种事情上都实话实说。博,广泛;多方面。謇,直言。

⑥姱节:美好的节操。

⑦薋(zī 资):《说文》:"草多貌。" 菉(lù 录):草名。亦名王刍;淡竹叶。葹(shī 诗):草名。即苍耳。菉、葹都是普通的草。戴震《屈原赋注》:"喻众之所尚,原独判然舍弃之。"

⑧判:与众不同的样子。 服:佩用。

⑨户说:一家一户地去解释。

⑩余:我们。这是女嬃站在屈原一边说话的口气。

⑪世并举:世俗的人彼此标榜。 好朋:朋,朋党。好朋,爱好成群结伙。

⑫茕(qiǒng 穷):《章句》:"孤也。" 按,女嬃的话到此为止。

⑬节中:节,节度;节制。中,中和,一说折中,不偏不倚。《章句》:"言己所言,皆依前圣之法,节其中和。"一说节制内心。

⑭喟(kuì 溃):叹息。 凭:满。指愤懑。 历兹:至今。

⑮重华:虞舜的名。《淮南子》:"舜二瞳子,是谓重明。"明,即华。是说舜的双目有异于常人的光彩。相传虞舜葬在九疑山,即今湖南南部宁远县境内,在沅水、湘水之南,所以向重华陈词要渡过沅湘南行。

⑯启:指夏启,禹的儿子,继禹为君。 九辩九歌:乐曲名。《补注》:"《山海经》云,夏后上嫔于天,得《九辩》《九歌》以下。注云,皆天帝乐名,启登天而窃之以下,用之。" 按,从这句起,即向重华所陈之词。

⑰夏:指夏启。 康娱:寻欢作乐。按,《章句》误以夏康连读,解为太康(启的儿子),在《离骚》中康娱二字连用有三处。知实出于误解。 自纵:放纵自己。

⑱图后:考虑将来。

⑲五子:游国恩《离骚纂义》:"五子者,即五观。亦即武观。启之奸子。"一说夏启的五个儿子。 用:因此。 失:王引之说:"五子用失乎家巷,失字因王注而衍。"(见王念孙《读书杂志》) 家巷(一hòng 哄):王引之说:"巷,读《孟子》邹与鲁哄之哄。刘熙曰,哄,构也。构兵以斗也。五子作乱,故云家哄。"(见《读书杂志》) 按,根据《竹书纪年》载,夏启十年至十一年间,他的第五个儿

子武观被放逐到西河。十五年，武观在西河发动叛乱。

⑳羿(yì 艺)：善射的后羿。相传是夏代有穷国的君主，曾起兵推翻夏启之子太康。 田：同“畋”(tián 田)，打猎。

㉑封狐：大狐狸。

㉒乱流：淫乱之徒。

㉓浞(zhuó 浊)：人名。即寒浞，羿的相。 按，据《左传襄公四年》《路史后纪》《淮南子》等书记载，寒浞因贪恋羿的妻子，勾结羿的家臣逢蒙等人把羿杀死。 家：《章句》：“妇谓之家。”

㉔浇(ào 傲)：寒浞的儿子。 被服：即披服。引申为身上具有的意思。强圉：《章句》：“多力也。”传说浇勇猛有力，曾起兵灭了斟灌、斟寻二族，杀死逃在那里的夏相(太康之侄，仲康之子)。后来又被夏相的儿子少康杀死。

㉕厥：指浇。 颠陨：坠落。

㉖常违：“违常”的倒文。违背常规。

㉗遂焉：于是就这样。一说遂是地名。 逢殃：据《史记·夏本纪》夏桀被汤放逐于南巢(今安徽巢县附近)，因而亡国。

㉘后辛：即殷纣王。 菹醢(jū hǎi 居海)：古代酷刑，把人剁碎做成肉酱。据《史记·殷本纪》载：纣王杀比干，醢梅伯，终致亡国。

㉙宗：宗祀。殷宗，殷朝的天下。

㉚俨(yán 沿)：严肃。 祗(zhī 之)：与“敬”同义。

㉛周：指周初的文王、武王。

㉜授能：把政事交给有才能的人。

㉝陂：倾也。

㉞阿：偏袒。

㉟错：同“措”。安排。

㊱圣哲：指古代有德行才智的帝王。 茂行：德行的多和好。

㊲苟得：才能够。 用：享用。 下土：即天下。相对上天而言。

㊳相观：观察。 计极：游国恩《离骚纂义》“盖计极者，即极计……极计云者，犹言极则。”即最终的，最根本的打算。

㊴阽(diàn 电)：面临危险。阽余身，即余身阽。 危死：濒于死亡。

㊵凿：器物的孔眼，安放榫头的地方。 枘(ruì 瑞)：榫头。

㊶曾：通“增”。愈加。 歔欷(xū xī 虚希)：悲泣的声音。

㊷时之不当：等于说生不逢时。

㊸茹：柔软。

㊹浪浪：泪流不止的样子。

按：这是第二大段的第一层。因女婴的劝戒，不得已去向重华陈述自己意见，诗人引用了前朝一系列史实来阐明自己的政治思想。

从这一层起，以下描写的都是诗人对未来道路的探索。是诗人内心深处一层又一层展开的矛盾、彷徨、苦闷与追求，以及思想斗争过程。写的都只是一种思想意识的反映，并非叙述事实。

【译文】

女婴对我的遭遇十分关切，
她曾经一再向我劝诫。
她说："鲧太刚直不顾性命，
结果被杀死在羽山荒野。
你为何忠言无忌爱好修饰，
还独有很多美好的品德。
满屋堆的都是普通花草，
你却与众不同不肯佩用。
无法挨家挨户向众人说明，
谁会来详察我们的本心。
世上的人都爱成群结伙，
你为何对我的话总是不听？"
我以先圣行为节制性情，
愤懑心情至今不能平静。
渡过沅水湘水向南走去，
我要对虞舜把道理讲清：
"夏启偷得《九辩》和《九歌》啊，
他寻欢作乐而放纵忘情。
不考虑将来也看不到危难。

因此武观得以酿成内乱。
后羿爱好田猎溺于游乐，
对射杀大狐狸特别喜欢。
本来淫乱之徒无好结果，
寒浞杀羿把他妻子霸占。
寒浞自恃有强大的力气，
放纵欲望不肯节制自己。
天天寻欢作乐忘掉自身，
因此他的脑袋终于落地。
夏桀行为总是违背常理，
结果灾殃也就难以躲避。
殷纣王把忠良剁成肉酱，
殷朝天下因此不能久长。
商汤夏禹态度严肃恭敬。
正确讲究道理还有文王。
他们都能选拔贤者能人，
遵循一定准则不会走样。
上天对一切都公正无私，
见有德的人就给予扶抒。
只有古代圣王德行高尚，
才能够享有天下的土地。
回顾过去啊把将来瞻望，
观察做人的根本究竟怎样。
哪有不义的事可以去干，
哪有不善的事应该担当。
我虽然面临死亡的危险，
毫不后悔自己当初志向。
不度量凿眼就削正榫头，

前代的贤人正因此遭殃。”
我泣声不绝啊烦恼悲伤，
哀叹自己未逢美好时光。
拿着柔软蕙草揩抹眼泪，
热泪滚滚沾湿我的衣裳。

【原文】

跪敷衽以陈辞兮①，耿吾既得此中正②。
驷玉虬以乘鹥兮③，溘埃风余上征④。
朝发轫于苍梧兮⑤，夕余至乎县圃⑥。
欲少留此灵琐兮⑦，日忽忽其将暮⑧。
吾令羲和弭节兮⑨，望崦嵫而勿迫⑩。
路曼曼其修远兮⑪，吾将上下而求索⑫。
饮余马于咸池兮⑬，总余辔乎扶桑⑭。
折若木以拂日兮⑮，聊须臾以相羊⑯。
前望舒使先驱兮⑰，后飞廉使奔属⑱。
鸾皇为余先戒兮⑲，雷师告余以未具⑳。
吾令凤皇飞腾兮，又继之以日夜⑲。
飘风屯其相离兮㉑，帅云霓而来御㉒。
纷总总其离合兮㉓，斑陆离其上下㉔。
吾令帝阍开关兮㉕，倚阊阖而望予㉖。
时暧暧其将罢兮㉗，结幽兰而延伫㉘。
世混浊而不分兮，好蔽美而嫉妒。

【注释】

①衽：衣服的前襟。

②耿:《章句》:"耿,明也。"明亮的样子。 中正:汪瑗《楚辞集解》:"中者无过不及之谓,正者不偏不倚之谓,指己所陈之词得圣人中正之道也。"

③驷:古代用四匹马驾车,这四匹马叫驷。这里作动词,驾乘四马。 虬(qiú 求):传说中无角的龙。 鷖(yī 衣):《章句》:"凤凰别名也。"

④溘(kè 客):有两解:一、《章句》:"溘,犹掩也。"掩埃风,即乘着有尘埃的大风。二、《集注》:"奄忽也。"迅速的样子。溘埃风,即迅速地乘着尘风向天上飞行。

⑤轫(rèn 刃):"停车时用来阻止车轮转动的一块木头,行车时先把轫移开,这叫发轫。发轫又引申为动身、启程的意思。 苍梧:即九疑山。

⑥县圃:《章句》:"县圃,神山。在昆仑之上。"

⑦灵琐:琐,本指宫殿门上雕刻的花纹。这里指门。因县圃是神仙所居,所以称它的门为灵琐。《章句》:"琐,门镂也。……一云灵,神之所在也。"

⑧忽忽:很快地。

⑨羲和:神话中的人物。传说是给太阳驾车的。《章句》:"羲和,日御也。" 弭节:停鞭徐行。

⑩崦嵫(yān zhī 咽至):《章句》:"崦嵫,日所入山也。"

⑪曼曼:同"漫漫"。形容路远。

⑫求索:寻求。 按,求索的对象是什么?一、《章句》:"以求索贤人,与己合志者也。"二、《集注》:"求索,求贤君也。"三、王邦采《离骚汇订》:"求天帝之所在也。"四、林庚《中国历代诗歌选》:"指寻求理想中的人。"五、魏炯若《离骚发微》:上,天上。喻求楚王。下,人间。下索能理解他的政治思想的贵族。"第五说较妥。

⑬咸池:《章句》:"咸池,日浴处也。"这是神话中的地名。

⑭扶桑:神话中的树名。据说是太阳升起的地方。《说文》:"榑(即扶)桑,神木,日所出。"

⑮若木:神话中的树名。即扶桑。 拂日:钱澄之《屈诂》:"折若木以拂日,犹挥戈以返日也。吾既至西,犹当拂日,使不遽沉,得以逍遥相羊,庶可从容以求索耳。"拂,逆。拂日,意思是挡住太阳,不让它下落。

⑯须臾:《章句》作逍遥。逍遥,优游自得的样子。 相羊:通"倘徉"。徘徊逗留。

⑰望舒:神话中给月亮驾车的人。《章句》:"望舒,月御也。"

⑱飞廉：神话中的人物。风神。　奔属：在后面跟随。

⑲鸾：凤一类的鸟。　先戒：在前警戒。

⑳雷师：神话中的雷神。　未具：行装没有准备好。

㉑飘风：旋风。　离：《通释》："离，丽也。附也。"附拢。

㉒云霓：泛指云霞。　御：通"迓(yà)"。迎接。朱冀《离骚辩》："言轻风阵阵，若断若属，云霓随风来往与我相遭，若帅之而迓我云尔。"

㉓纷总总：三字联绵词。聚集很多的样子。　离合：指云霓在飘风中忽散忽聚，变化不定。

㉔斑：五光十色。　陆离：参差错杂。指云霓的色彩变化多端。

㉕阍(hun 昏)：守门人。

㉖阊阖(chāng hè 昌贺)：传说中的天门。

㉗暧暧(ài 爱)：昏暗不明的样子。《补注》："日不明也。"指天色渐晚。　罢：《章句》："罢，极也。"将罢，即将尽。一说罢同"疲"。说这句是：时已将晚，人也感到疲乏了。

㉘延伫：汪瑗《楚辞集解》："延，迟缓也。伫，久立也。"

按，这是第二大段的第二层。在阐述了"举贤授能"的政治主张后，引出神游天地，"上下求索"的幻想境界，表现出对理想的追求。这一层主要写自己上求失败的情况。

【译文】

铺开衣襟跪着慢慢细讲，
我已获得中正之道心里亮堂。
驾驭着玉虬啊乘着凤车，
迅速乘着尘风飞到天上。
早晨从南方的苍梧出发，
傍晚就到达了昆仑山上。
我本想在灵琐稍事逗留，
夕阳西下已经暮色苍茫。
我命令羲和停鞭慢行啊，
莫让太阳迫近崦嵫山旁。

前面的道路啊又远又长，
我将上上下下追求理想。
让我的马在咸池里饮水，
把马缰绳拴在扶桑树上。
折下若木枝来挡住太阳，
我可以暂且从容地徜徉。
叫前面的望舒作为先驱，
让后面的飞廉紧紧跟上。
鸾鸟凤凰为我在前面戒备，
雷师却说还没有安排停当。
我命令凤凰展翅飞腾啊，
要日以继夜地不停飞翔。
旋风结聚起来互相靠拢，
它率领着云霓向我迎上。
云霓越聚越多忽离忽合，
五光十色上下飘浮荡漾。
我叫天门守卫把门打开，
他却倚靠天门把我呆望。
日色渐暗时间已经晚了，
我纽结着幽兰久久徜徉。
这个世道混浊善恶不分，
喜欢嫉妒别人抹煞所长。

【原文】

朝吾将济于白水兮①，登阆风而緤马②。
忽反顾以流涕兮，哀高丘之无女③。
溘吾游此春宫兮④，折琼枝以继佩⑤。

及荣华之未落兮⑥，相下女之可贻⑦。
吾令丰隆乘云兮⑧，求宓妃之所在⑨。
解佩纕以结言兮⑩，吾令蹇修以为理⑪。
纷总总其离合兮，忽纬缅其难迁⑫。
夕归次于穷石兮⑬，朝濯发乎洧盘⑭。
保厥美以骄傲兮⑮，日康娱以淫游。
虽信美而无礼兮，来违弃而改求⑯。
览相观于四极兮⑰，周流乎天余乃下⑱。
望瑶台之偃蹇兮⑲，见有娀之佚女⑳。
吾令鸠为媒兮㉑，鸠告余以不好。
雄鸠之鸣逝兮，余犹恶其佻巧㉒。
心犹豫而狐疑兮，欲自适而不可㉓。
凤皇既受诒兮㉔，恐高辛之先我㉕。
欲远集而无所止兮㉖。聊浮游以逍遥㉗。
及少康之未家兮㉘，留有虞之二姚㉙。
理弱而媒拙兮㉚，恐导言之不固㉛。
时混浊而嫉贤兮㉜，好蔽美而称恶。
闺中既邃远兮㉝，哲王又不寤㉞。
怀朕情而不发兮，余焉能忍与此终古！

【注释】

①白水：神话中的水名。《章句》："《淮南子》言，白水出昆仑之山，饮之不死。"

②阆风(làng 浪)：神话中的地名。《章句》："阆风，山名。在昆仑之上。"缷(xiè 谢)：系；栓。

③高丘：一说阆风山。一说楚山名，在巫山附近。 按，此处非确指某处，

应指上文天帝所居的地方，比喻楚宫。帝阍不开关欲行反顾，自然反顾的是帝居之处。 女：比喻能了解屈原理想的贤人。

④溘：漂忽。 春宫：《章句》："东方青帝舍也。"

⑤琼枝：玉树的枝条。 继佩：补充佩饰。

⑥荣华：指玉树上的花。

⑦下女：相对高丘而言，指下文的宓妃等人。 贻：赠送。

⑧丰隆：神话中的人物。云神。《章句》："丰隆，云师。一曰雷师。"

⑨宓妃：宓同"伏"。神话中的人物。据说是古帝伏羲氏的女儿，溺死于洛水，遂为洛水之神。一说是伏羲氏之妃。屈复《楚辞新注》："下文佚女为高辛妃，二姚为少康妃，若以此意例之，则宓妃当是伏羲之妃，非女也。"

⑩佩缤：佩带。 言：指书信。佩缤结言，古代书信是卷成卷子，外面用小带束住，在打结处加封泥。这就是说用佩带来束住给宓妃的书信。

⑪蹇修：人名。诗中虚构的人物。 理：媒人。《集注》："理，为媒以通词理也。"

⑫纬缅（wěi huà 伟画）：乖戾，不和合。《章句》："乖戾也。"难迁：难以改变。

⑬穷石：神话中的地名。相传羿的国土在这里。这句暗指宓妃与羿有爱情关系。

⑭洧盘（洧 wěi）：神话中的水名。《章句》："《禹大传》曰，洧盘之水，出崦嵫之山。"

⑮保：恃；仗着。

⑯来：招呼从者之词，汪瑗《楚辞集解》："来者，呼其仗卫服役之词也。"

⑰览相观：三字同义而连用。 四极：指天上四方的心头。

⑱周流：周游。

⑲瑶台：瑶，美玉。瑶台，指以美玉砌成的台。 偃蹇：《章句》："高貌。"形容台高耸的样子。

⑳有娀（一sōng 松）：传说中的古代国名。佚女：美女。据《淮南子》、《吕氏春秋》说，有娀有两个美女，年长的叫简狄，她们都住在高台上。后来简狄嫁给帝喾，生商代的祖先契。

㉑鸩（zhèn 振）：鸟名，传说它的羽毛有毒，浸入酒中可以致人死命。

㉒佻巧：指口吻轻薄，言词不实。

㉓适：往。

㉔凤皇：即给帝喾做媒的神鸟。《诗经·商颂·玄鸟》：简狄吞玄鸟（燕子）的卵而生契。 受诒：是说凤凰接受了帝喾托付它送给简狄的聘礼。据说简狄因凤凰的媒介嫁给了帝喾。

㉕高辛：即帝喾。

㉖集：本义是鸟栖树上，和“止”同义。停留；居住的意思。

㉗浮游：飘荡。

㉘少康：《章句》：“夏后相之子也。……昔寒浞使浇杀夏后相，少康逃奔有虞，虞因妻以二女。”

㉙有虞：《章句》：“有虞，国名。姚姓，舜后也。” 二姚：有虞国的两位公主。

㉚理媒：都指媒人。

㉛导言：媒人传达双方意见的话，不固：没有成效。

㉜时混浊：这两句是下索失败后得出的结论。

㉝邃远：深远。比喻不可接近。

㉞哲王：贤智的君王。这里指楚王。 寤：同“悟”。觉悟，醒悟。 按，“闺中邃远”，所以下索失败；“哲王不寤”，因此上求不成，这是上下求索失败的最主要的原因，是对“吾将上下而求索”的总结。

按：以上是第二大段的第三层，写下索失败的情况。以上三层是全篇的第二大段。从女婆的劝诫，引入向重华陈辞，进而上下求索，充分表达了诗人不见容于君，不受知于世的感情。

【译文】

清晨我将要渡过白水河，
登上阆风山把马儿系着。
忽然回头眺望涕泪淋漓，
叹息高丘竟然没有美女。
飘飘忽忽我到春宫一游，
折下玉树枝条增添佩饰。
趁琼枝上花朵还未凋零，

把能受馈赠的美女找寻。
我命令云师把云车驾起，
我要去寻找宓妃的住地。
解下佩带束好给她的书信，
我请蹇修前去给我做媒。
云霓纷纷簇集忽离忽合，
很快知道事情乖戾难成。
晚上宓妃回到穷石住宿，
清晨到洧盘把头发洗濯。
宓妃仗着貌美骄傲自大，
成天放荡不羁寻欢作乐。
她虽然美丽但不守礼法，
算了吧放弃她另外求索。
我在天上观察四面八方，
周游一遍后我从天而降。
遥望华丽巍峨的玉台啊，
见有娀氏美人住在台上。
我叫鸩鸟快去给我介绍，
鸩鸟却说那个美人不好。
雄鸠叫唤着争取前往啊，
我又嫌它过分诡诈轻佻。
我心中犹豫而疑惑不定，
想自己去吧又觉得不妙。
凤凰已接受托付的聘礼，
恐怕高辛赶在我前面了。
想到远方去又无处安居，
只好四处游荡流浪逍遥。
趁少康还未结婚的时节，

还留着有虞国两位阿娇。
媒人无能啊口才又笨掘，
恐怕能说合的希望很小。
世间混乱污浊嫉贤妒能，
爱障蔽美德把恶事称道。
闺中美女既然难以接近，
贤智君王始终又不醒觉。
满腔忠贞激情无处倾诉，
我怎么能永远忍耐得了！

【原文】

索蔓茅以筳莗兮①，命灵氛为余占之②。
曰："两美其必合兮③，孰信修而慕之④？
思九州之博大兮岂唯是其有女⑤？"
曰"勉远逝而无疑兮⑥，孰求美而释女？
何所独无芳草兮，尔何怀乎故宇？
时幽昧以眩曜兮⑦，孰云察余之善恶？
人好恶其不同兮，惟此党人其独异。
户服艾以盈要兮⑧，谓幽兰其不可佩。
览察草木其独未得兮⑨，岂珵美之能当⑩？
苏粪壤以充帏兮⑪，谓申椒其不芳。"

【注释】

①蔓茅(qiǒng 穷一)：传说中的一种灵草，可以用占卜。 筳(tíng 廷)：占卦用的小竹片。 莗(zhuān 专)：楚方言。《章句》："楚人名结草折竹以卜曰莗。"

②灵氛：传说中的神巫，是个善于占卜吉凶的人。 按，向灵氛求卜，也是

诗人虚构的情节。

③两美：双方美好。比喻明君与贤臣。

④信修：真正好修。 慕：爱慕；追求。一说是“莫念”二字的笔误。

⑤是：此，此地。指楚国。

⑥曰：主语是灵氛。以下至段末是灵氛的答词。 勉：自勉，努力的意思。

⑦幽昧：昏暗；黑暗。《通释》：“是非不察曰幽昧。” 眩曜：本指阳光强烈，令人眼花。引伸为眼光迷乱。

⑧户：家家户户：人人。 要：同“腰”。

⑨未得：指没有正确理解和认识。

⑩珵(chéng 呈)：玉器。戴震《屈原赋注》：“珵，玉笏之首。” 当：指对美玉有恰当的认识和评价。

⑪苏：《章句》：“苏，取也。” 帏：《章句》：“帏，谓之膳。膳(téng 滕)，香囊也。

按，这是第三大段的第一层。屈原在去留问题上犹豫不决，于是请灵氛占卜前途，灵氛劝他走，并告诉他很多应该走的理由。

【译文】

我找来了灵草和细竹片，
请求神巫灵氛为我占卜。
“听说双方美好必将结合，
看谁真正好修必然爱慕。
想到天下多么辽阔广大，
难道只在这里才有娇女？”
“劝你远走高飞不要迟疑，
谁寻求美人会把你放弃？
世间什么地方没有芳草，
你又何必苦苦留恋故地？
世道黑暗使人眼光迷乱，
谁又能够了解我们底细？

人们的好恶本来不相同，
只是这邦小人更加怪异。
人人都把艾草挂满腰间，
说幽兰是不可佩的东西。
对草木好坏还分辨不清，
怎么能够正确评价玉器？
用粪土塞满自己的香袋，
反说佩带申椒没有香气。”

【原文】

欲从灵氛之吉兮，心犹豫而狐疑。
巫咸将夕降兮①，怀椒糈而要之②。
百神翳其备降兮③，九疑缤其并迎④。
皇剡剡其扬灵兮⑤，告余以吉故⑥。
曰：“勉升降以上下兮，求矩矱之所同⑦。
汤禹儼而求合兮⑧，挚皋繇而能调⑨。
苟中情其好修兮，又何必用夫行媒⑩。
说操筑于傅岩兮⑪，武丁用而不疑⑫。
吕望之鼓刀兮⑬，遭周文而得举⑭。
宁戚之讴歌兮⑮，齐桓闻以该辅⑯。
及年岁之未晏兮⑰，时亦犹其未央⑱。
恐鹈鴂之先鸣兮⑲，使百草为之不芳。”
何琼佩之偃蹇兮⑳，众薆然而蔽之㉑。
惟此党人之不亮兮㉒。恐嫉妒而折之㉓。
时缤纷其变易兮，又何可以淹留。
兰芷变而不芳兮，荃蕙化而为茅。

何昔日之芳草兮，今直为此萧艾也㉔？
岂其有他故兮，莫好修之害也。
余以兰为可恃兮，羌无实而容长㉕。
委厥美以从俗兮㉖，苟得引乎众芳㉗。
椒专佞以慢谄兮㉘，椒又欲充其佩帏㉙。
既干进而务入兮㉚，又何芳之能祗㉛。
固时俗之从流兮，又孰能无变化？
览椒兰其若兹兮，又况揭车与江蓠。
惟兹佩之可贵兮，委厥美而历兹㉜。
芳菲菲而难亏兮㉝，芬至今犹未沫㉞！
和调度以自娱兮㉟，聊浮游而求女。
及余饰之方壮兮㊱，周流观乎上下。

【注释】

①巫咸：传说中的古代神巫。　降：请巫咸降神。这是古代一种巫术宗教仪式。由巫者请天神下降，附在他的身上，他就代表神说话。这种活动多在晚间，所以说“夕降”。

②椒：是用以焚香敬神，类似后世的烧香。糈（xǔ 胥）：《章句》：“椒，香物。所以降神。糈，精米。所以享神。”　要：通“邀”。迎接祈求。

③百神：泛指天上诸神。　翳：《章句》：“蔽也。”指遮天蔽日而来。

④九疑：九疑山众神的省称。

⑤皇：同“煌”。光。皇剡剡，光闪闪。张诗《屈子贯》：“皇，犹煌也。”游国恩《离骚纂义》：“盖剡剡即闪闪也。”　扬灵：显示灵验。王树枏《离骚注》：“扬灵犹显其神也。”

⑥吉故：吉利的故事。指下文所述君臣遇合的事例。　曰：主语是巫咸。以下是巫咸代表神说的话。

⑦矩：画方形的工具。　矱（huò 货）：量长短的工具。矩矱，引伸为法度；准则。

⑧俨:敬也。指律已严正。 求合:访求志同道合的人。

⑨挚、皋繇:《章句》:“挚,伊尹名,汤臣也。” 皋陶:禹臣。调:协调,指君臣和睦。

⑩用:因;借助。

⑪说(yuè 悦):即傅说。 操筑:汪瑗《楚辞集解》:“操,持也。筑,杵也。谓操杵筑土而为贱役也。” 傅岩:地名。在今山西省平陆县附近。傅说就是从这个地名为姓的。

⑫武丁:殷高宗的名字。 用而不疑:根据《孟子》、《帝王世纪》等书说,武丁梦得贤臣,后来发现傅说与梦中所遇的人形貌相同,就用他为相。

⑬吕望:即姜太公。姓吕,名尚,曾被称为太公望,所以又叫吕望。 鼓刀:摆弄屠刀发出响声。《章句》:“或言吕望太公,姜姓也。未遇之时,鼓刀屠于朝歌也。……文王梦得圣人,于是出猎而遇之,遂载以归,用以为师。”《补注》:“《史记》云,太公望,吕尚者,东海上人。本姓姜氏,从其封姓,故曰吕尚。”

⑭周文:周文王。

⑮宁戚:《章句》说,宁戚是春秋时卫国人。他经商到齐国,有一天晚上住宿在东门外,夜间喂牛,看见齐桓公夜出,就敲着牛角唱歌,慨叹怀才不遇。桓公听到后找他谈话,用他作客卿。一说作大夫。

⑯齐桓:齐桓公。春秋时齐国的君主,春秋五霸之一。 该辅:居于辅佐大臣的位置。

⑰晏:晚。

⑱央:尽。 犹其:是“其犹”的倒文;它还……。

⑲鹈鴂:即鹈鴂(tí jué 弟决)。鸟名。即杜鹃。鸣于夏初之时,正时落花时节。

⑳偃蹇:胡文英《屈骚指掌》:“偃蹇,杰出貌。”

㉑蔓然:掩蔽的样子。

㉒亮:通谅;诚信。

㉓折:摧残。

㉔萧:李时珍《本草纲目》认为,这是到秋天就变老的百蒿。

㉕羌:楚方言,发语词。 容长:《集注》:“谓徒有外好也。”

㉖委:弃。

㉗苟得:苟且地得到。指自身的才德与所取得的地位不相称。

㉘专：专横。 佞：谄媚。 慢谄：傲慢放肆。

㉙檄（shá 杀）：《说文》："檄，似茱萸，出淮南。"是一种木本植物，屈原心目中的恶草。

㉚干进：与"务入"都是钻营，向上爬的意思。

㉛祗（zhī 知）：王引之认为："祗之言振也，言干进务入之人，委蛇从俗，必不能自振其芬芳，非不能敬贤之谓也。"（见王念孙《读书杂志》）

㉜委：鲁笔《楚辞达》："委，积也。"引伸为保持。

㉝亏：亏损。

㉞沫：泯灭，消失。

㉟和调度：钱澄之《居诂》："调度，指玉音之璆然，有调有度也。古者佩玉，进则抑之，退则扬之，然后玉声锵鸣。和者，鸣之中节也。"即是说，和，指节奏和谐。调度，指行走时玉佩铿锵声和步伐搭配。

㊱方壮：正在美盛的时候。

按：这是第三大段的第二层。屈原听了巫咸的话后，对照楚国的形势，他往观四荒的决心，离开楚国的意志才最后定下来。

【译文】

想听从灵氛占卜的好卦，
心里犹豫迟疑决定不下。
听说巫咸今晚将要降神，
我带着花椒精米去接他。
天上诸神遮天蔽日齐降，
九疑山的众神纷纷迎迓。
他们灵光闪闪显示神灵，
巫咸又告诉我不少佳话。
他说："应该努力上天下地，
去寻求意气相投的同道。
汤禹为人严正虚心求贤，
得到伊尹皋陶君臣协调。

只要内心善良爱好修洁，
又何必一定要媒人介绍。
傅说持梼杵在傅岩筑墙，
武丁毫不犹豫用他为相。
姜太公曾经摆弄过屠刀，
他被任用是遇到周文王。
宁戚喂牛敲着牛角唱歌，
齐桓公听见后任为大夫。
趁现在年轻大有作为啊，
施展才能还有大好时光。
只怕杜鹃它叫得太早啊，
使得百草因此不再芳香。”
为什么这样美好的琼佩，
人们却要掩盖它的光辉。
想到这邦小人不讲信义，
恐怕出于嫉妒把它摧残。
时世纷乱而变化无常啊，
我怎么可以在这里久留。
兰草和芷草失掉了芬芳，
荃草和蕙草也变成茅莠。
为什么从前的这些香草，
今天全都成为荒蒿野艾。
难道还有什么别的理由，
不爱好修洁造成的祸害。
我原以为兰草最可依靠，
谁知华而不实虚有其表。
兰草抛弃美质追随世俗，
勉强列入众芳辱没香草。

花椒专横谄媚十分傲慢，
茱萸想进香袋充当香草。
它们既然这么热心钻营，
又有什么香草重吐芳馨。
本来世俗习气随波逐流，
又还有谁能够意志坚定？
看到香椒兰草变成这样，
何况揭车江离能不变心。
只有我的佩饰最可贵啊，
保持它的美德直到如今。
浓郁的香气难以消散啊，
到今天还在散发出芳馨。
我调度和谐地自我欢娱，
姑且飘游四方寻求美女。
趁着我的佩饰还很盛美，
我要周游观访上天下地。

【原文】

灵氛既告余以吉占兮，历吉日乎吾将行①。
折琼枝以为羞兮②，精琼麋以为粮③。
为余驾飞龙兮，杂瑶象以为车④。
何离心之可同兮，吾将远逝以自疏。
遭吾道夫昆仑兮⑤，路修远以周流。
扬云霓之晻蔼兮⑥，鸣玉鸾之啾啾⑦。
朝发轫于天津兮⑧，夕余至乎西极⑨。
凤皇翼其承旗兮⑩，高翱翔之翼翼⑪。
忽吾行此流沙兮⑫，遵赤水而容与⑬。

麾蛟龙使梁津兮⑭，诏西皇使涉予⑮。
路修远以多艰兮，腾众车使径待⑯。
路不周以左转兮⑰，指西海以为期⑱。
屯余车其千乘兮，齐玉轪而并驰⑲。
驾八龙之婉蜿兮⑳，载云旗之委移。
抑志而弭节兮㉒，神高驰之邈邈㉓。
奏《九歌》而舞《韶》兮㉔，聊假日以娱乐㉕。
陟升皇之赫戏兮，忽临睨夫旧乡㉗。
仆夫悲余马怀兮，蹇局顾而不行㉘。
乱曰："已矣哉㉙！国无人莫我知兮㉚。
又何怀乎故都？既莫足与为美政兮㉛，
吾将从彭咸之所居㉜？

【注释】

①历：选择。

②羞：脯。干肉。

③精：《章句》："凿也。"舀碎。　麋：同"糜"。细屑。

④杂：兼用。　瑶象：指美玉和象牙。

⑤遭（zhān 沾）：《章句》："转也。楚人名转曰遭。"

⑥晻蔼：云彩蔽天的样子。李周翰《文选五臣注》："晻蔼，旌旗蔽日貌。"这里的旌旗指云霞。

⑦玉鸾：玉铃。指挂在瑶车上的铃铛。

⑧天津：天河的渡口。

⑨西极：西边的尽头。

⑩翼：作动词用。指张开双翼。　承旗：用两翼承负云霞。

⑪翼翼：指飞得整齐而有节奏。

⑫流沙：神话中的沙漠地带。

⑬遵：沿着。　赤水：神话中的水名。相传源出昆仑山。　容与：游国恩

《离骚纂义》:“容与即犹豫,亦即夷犹,踌躇不前之意。”

⑭麾:指挥。 梁:作动词用。架桥。

⑮诏:命令。 西皇:《章句》:“帝少皞(hào)也。”指神话中的西方之神。

⑯腾:林仲懿《离骚中正》:“腾,传也。”闻一多《离骚解诂》也认为“腾”当为“传”。为传言之意。 径待:陈本礼《屈辞精义》:径待者,恐流沙不能涉,故使众车待于赤水之径。”即在路旁等待。

⑰不周:即不周山,神话中的山名。《章句》:“不周,山名,在昆仑西北。”路:动词,经过。

⑱西海:神话中西方的海。 期:指约会的地点,即目的地。

⑲齐:排列整齐。 轪(dài 代):玉轪,玉饰的车轴、车轮。

⑳婉婉(wān 宛):同“蜿蜿”。有蜿蜒的意思。形容龙的形体摆动的姿态。

㉑委移:即委蛇(wēi yí 伟一),形容旌旗随风招展。

㉒抑志:控制自己的感情,定下心来。

㉓神:思绪。神高驰,指思绪飞得很远很远。 邈邈(miǎo 秒):遥远无际的样子。

㉔韶:《章句》:“韶,九韶,舜乐也。《尚书》箫韶九成是也。”

㉕假:借。 媮:通“愉”,与乐同义。

㉖陟(zhì 至):上升。 升皇:朱冀《离骚辩》:“皇,君也。日,君像也。升皇者,初日出之名也。”初升的太阳。 赫戏:戏同“曦”。形容太阳光明地照耀着。朱冀《离骚辩》:“赫者,言其赫赫然也。曦,日之光明也。”

㉗临:居高临下的临。 睨(nì 尼):看见。

㉘蜷局:钱澄之《屈诂》:“蜷局,马蝟缩不行也。”即卷曲,弯缩着身体,形容从上看下的姿势。

按,这是第三大段的第三层。屈原接受了灵氛、巫咸的劝告,决定去国远游,最后终不忍离开的经过。这是他在迷离恍惚的心情中展开的最后一次幻想。

㉙乱:古代乐曲的最后一章,结尾的齐奏合唱。从诗的结构看,这是全篇的尾声,是篇末概括全篇要旨的话。

㉚莫我知:即莫知我。

㉛美政:屈原心中的理想政治。

㉜从彭咸之所居:旧注:追随彭咸,投水死去。从全篇文意来看屈原当时

还没有这样消极的思想，还在恋君、怀乡，如何立即就宣布要投水死去呢？这句是否可以这样理解：依照彭咸一生的行止来安排自己的生活道路。

按：以上三层及乱辞是全篇的第三大段。写屈原在去留问题上的矛盾心情。

【译文】

灵氛已告诉我占得吉卦，
选个好日子我准备出发。
折下玉树枝叶作为肉脯，
我舀碎美玉把干糖备下。
给我驾车啊用飞龙为马，
车上装饰着美玉和象牙。
彼此不同心怎么配合啊，
我将要远去主动离开他。
我把目标转向昆仑山下，
路途遥远继续周游观察。
云霞虹霓飞扬遮住阳光，
车上玉铃叮珰响声错杂。
清晨从天河的渡口出发，
最远的西边我傍晚到达。
凤凰展翅承托着旌旗啊，
长空翱翔有节奏地上下。
忽然我来到这流沙地带，
只得沿着赤水缓行踌躇。
指挥蛟龙在渡口上架桥，
要渡赤水命令西皇引路。
路途多么遥远多么艰险，
我传令众车在路旁等待。

经过不周山向左转去啊，
我的目的地已指定西海。
我再把成千辆车子聚集，
把玉轮对齐了并驾齐驱。
架车的八龙蜿蜒地前进，
载着云霓旗帜随风卷曲。
定下心来啊慢慢地前行，
难控制飞得远远的思绪。
演奏着《九歌》跳起《韶》舞啊，
且借大好时光寻求欢娱。
太阳冉冉升起光芒万丈，
忽然我看见自己的故乡。
我的仆从悲伤马也怀念，
退缩回头不肯走向前方。
[尾声]："算了吧！
国内既然没有人了解我，
我又何必怀念故国旧居。
既然不能实现理想政治，
我将追随彭咸安排自己。"

（梅桐生　译注）

九歌四首

屈 原

【题解】

《九歌》原是楚国流传很久的古代乐曲。相传是夏启从天上偷下来的。屈原这组诗是借用这一曲名。

《九歌》的创作与楚国原始巫术宗教有关。王逸说，楚国南方沅湘一带地方民间风俗相信鬼神，喜欢祭祀，祭祀时必定奏乐歌舞来娱乐鬼神。屈原流放在这一带，模仿这种祭歌形式，创作了《九歌》之曲。《九歌》中屈原塑造的一系列鬼神形象，就是这种巫术宗教的反映。

《九歌》共分十一章，可分三类：1、祭歌：《东皇太一》和《礼魂》；2、恋歌：《东君》与《云中君》，《大司命》与《少司命》，《湘君》与《湘夫人》，《河伯》与《山鬼》；3、挽歌：《国殇》。

从《九歌》的内容和形式看，似已具赛神歌舞剧的雏形。《九歌》中扮神的巫觋，在宗教仪式、人神关系的纱幕下，表演着人世间男女恋爱的活剧，形象是很美的，有强烈的艺术魅力。作品充满了浪漫主义的气息，优美丰富的想象，庄严富丽的情调，五彩缤纷的画面，活泼流畅的节奏，语言精美，韵味隽永，有一种深切感人的力量。

《文选》选了六篇。

【原文】

东皇太一[1]

吉日兮辰良[2]，穆将愉兮上皇[3]。
抚长剑兮玉珥[4]，璆锵鸣兮琳琅[5]。
瑶席兮玉瑱[6]，盍将把兮琼芳[7]。
蕙肴蒸兮兰藉[8]，奠桂酒兮椒浆[9]。
扬枹兮拊鼓[10]，疏缓节兮安歌[11]，
陈竽瑟兮浩倡[12]。灵偃蹇兮姣服[13]，
芳菲菲兮满堂[14]，五音纷兮繁会[15]，
君欣欣兮乐康[16]。

【注释】

①东皇太一：《章句》："太一，星名。天之尊神，祠在楚东，以配东帝，故云东皇。"《汉书·郊祀志》："天神贵者太一，太一佐曰五帝。古者天子以春秋祭太一东南郊。"据闻一多考证，东皇太一即伏羲，伏羲是苗族传说中的人类始祖，也是最尊贵的天神。（见《文学遗产》1980年第一期）

②辰良：即良辰，好的时辰。

③穆：虔诚；恭敬。　将：愿；请。　愉：这里是使动用法。使……快乐。上皇：《章句》："谓东皇太一也。"

④珥（ěr 耳）：剑把。玉珥，镶玉的剑把。

⑤璆（qiú 求）：璆锵，佩玉的撞击声。　琳琅：美玉。

⑥瑶：蓠的假借字。蓠是香草，蓠席，用蓠草编成的坐席，放在神座前。瑱：同"镇"。玉镇，用玉制的镇压坐席的器具。

⑦将：拿着。　与"把"同义。　琼芳：玉色的花。

⑧蕙肴：《章句》："以蕙草蒸肉也。"　蒸：进献。《补充》："蒸，进也。"　藉：指垫底用的东西。兰藉，用兰草垫底。这句说：献上兰草垫着的用蕙草色着蒸

的祭肉。

⑨奠:放置。《说文》:“奠,置祭也。” 浆:一指薄酒。一指饮用的汤。椒浆,椒子做的汤。

⑩枹(rú 扶):鼓槌。 搠:击。

⑪疏缓节:指音乐的节拍稀疏缓慢。 安歌:指歌声随着节奏的疏缓而平稳。

⑫竽:古代乐器。笙类,三十六簧。 瑟:古代乐器。琴类,二十五弦。 倡:同“唱”。浩倡,高声歌唱。

⑬灵:《章句》:“谓巫也。”指祭神的巫女。《通释》:“灵,东皇太一之神。”两说皆通。现取前说。 偃蹇:翩跹起舞的样子。《章句》:“偃蹇,舞貌。” 姣:美好的。

⑭芳菲菲:指蕙、兰、椒和起舞的巫女们散发的香气。

⑮五音:指宫、商、角、徵、羽。 繁会:错杂;交响。

⑯君:指东皇太一。《补注》:“五臣云,君,谓东皇也。”

⑰按:《东皇太一》这篇是《九歌》这组祭神乐歌中的迎神曲。

【译文】

吉祥日子好时光， 恭恭敬敬祭上皇。
玉镶宝剑手按抚， 全身佩玉响丁当。
玉镇压在瑶席上 琼花供在神座旁。
献上祭肉兰蕙垫， 置上桂酒椒子汤。
高举鼓槌频击鼓， 轻歌曼舞节拍疏，
竽瑟齐奏歌声扬。 华服巫女翩跹舞，
芳香馥郁满殿堂。 各种音调成交响，
东皇太一喜洋洋。

【原文】

云 中 君

浴兰汤兮沐芳①,华采衣兮若英②。

灵连蜷兮既留③，烂昭昭兮未央④。
謇将憺兮寿宫⑤，与日月兮齐光。
龙驾兮帝服⑥，聊翱游兮周章⑦。
灵皇皇兮既降⑧，猋远举兮云中⑨。
览冀川兮有余⑩，横四海兮焉穷。
思失君兮太息，极劳心兮忡忡。

【注释】

①沐：洗头。　芳：指香水。

②英：花朵。《通释》："英，花也。"

③灵：指月神。《集注》："灵，谓神也。"　连蜷：《通释》："回环貌。"　留：指降神。神留在巫的身上。《集注》："既留，则以其服饰洁清，故神悦之，而降依其身，留连之久也。"

④烂：《集注》："光貌。"　昭昭：光明。烂昭昭，指月神降临时显现出的灿烂光辉。　未央：无穷无尽。《章句》："无极也。"

⑤謇：发语词。　憺（dàn 担）：安定。　寿宫：神堂。《集注》："寿宫，供神之处。"

⑥龙驾：《集注》："以龙引车也。"龙驾的车。　帝服：天帝五彩的衣服。郭沫若《屈原赋今译》："原作'帝服'，案指五方帝之服。言服有青黄赤白黑之五彩。"

⑦翱游：意是"翱翔"。　周章：周流。

⑧皇皇：犹"煌煌"。光明的样子。

⑨猋（biāo 标）：很快地。

⑩冀州：中国的代称。据《尚书禹贡》，古代中国划分为冀、兖、青、徐、扬、荆、豫、梁、雍九州。冀州为九州之首，所以代表全中国。

按：关于这首诗祭祀的对象，有多种说法，王逸认为祭云神；姜亮夫《屈原赋校注》认为祭月神；清徐文靖《管城琐记》认为祭云梦泽水神；闻一多《什么是九歌》认为祭云中郡地方神。现取第二说。

【译文】

沐浴着芳香四溢的兰汤，
穿上那鲜艳华丽的衣裳。
神灵啊回环降临我身上，
闪耀无穷无尽灿烂光芒。
享受祭祀你将降临神堂，
璀璨的光辉与太阳争光。
乘驾龙车穿着天帝服装，
你在天上翱翔周游四方。
神灵啊光灿灿已经降临，
忽然间远远地飞回天上。
你的光芒遍及九州有余，
你的踪迹纵横四海无穷。
思念你啊令人声声叹息，
盼望你啊使人忧心忡忡。

【原文】

湘　君

君不行兮夷犹①，蹇谁留兮中洲②。
美要眇兮宜修③，沛吾乘兮桂舟④。
令沅湘兮无波⑤，使江水兮安流⑥。
望夫君兮归来⑦，吹参差兮谁思⑧。
驾飞龙兮北征⑨，遭吾道兮洞庭⑩。
薜荔柏兮蕙绸⑪，承荃桡兮兰旌⑫。
望涔阳兮极浦⑬，横大江兮扬灵⑭。

扬灵兮未极，女婵媛兮为余太息[15]。
横流涕兮潺湲[16]，隐思君兮陫侧[17]。
桂櫂兮兰枻[18]，斫冰兮积雪[19]。
采薜荔兮水中[20]，搴芙蓉兮木末[21]！
心不同兮媒劳[22]，恩不甚兮轻绝[23]！
石濑兮浅浅[24]，飞龙兮翩翩[25]。
交不忠兮怨长[26]，期不信兮告余以不闲[27]。
朝骋骛兮江皋[28]，夕弭节兮北渚[29]。
鸟次兮屋上[30]，水周兮堂下[31]。
捐余玦兮江中[32]，遗余佩兮醴浦[33]。
采芳洲兮杜若[34]，将以遗兮下女[35]。
时不可兮再得[36]，聊逍遥兮容与[37]。

【注释】

①君：《章句》："君，谓湘君也。"下同。　夷犹：《章句》："犹豫也。"

②蹇：发语词。　中洲：《章句》："洲中也。水中可居者曰洲。"

③要眇：《章句》："好貌修饰也。"闻一多《怎样读九歌》："瞇目媚视貌。"也可通。　宜修：善于修饰。　按，这句应理解为湘夫人为了迎接湘君把自己打扮得很漂亮。

④沛：船走得快的样子。　桂舟：用桂木做的船，取其芳香。下文的荃桡、兰旌、桂櫂、兰枻都与此同义。《山带阁注》："待神不来，故以舟往迎。"

⑤沅、湘：两条水名。从洞庭湖的南面流入湖中。

⑥江：长江。

⑦夫：语助词。

⑧参差：古乐器名。是用竹管排成的乐器，又叫排箫。因为形状象凤翅参差不齐，所以叫参差。　谁思：等于说想念谁。

⑨飞龙：指龙舟。

⑩邅（zhān 沾）：回转。

⑪薜荔：香草。　柏、绸：闻一多《楚辞校补》："柏，帕的假借字。旌旗的总名。绸，是缠旗杆用的。一说柏是船舱的壁。"朱季海《楚辞解故》："绸，当读为帱。(《释训》：'帱谓之帐'《释文》：'帱，又作幬'……)楚亦谓帐为帱，与汉人语同耳。"此说认为绸是幬的假借字，是帐幕。较妥。柏，一本作拍。

⑫桡：船桨。　旌：用羽毛装饰的旗子。

⑬涔(cén 岑)：水名。涔阳：涔水北岸，今湖南丰县有涔阳浦，在洞庭湖和长江之间。极浦：遥远的对岸。

⑭扬灵：神驰远眺。

⑮女：设想为湘夫人身边的侍女。

⑯潺湲：形容泪流不止。

⑰陫侧：内心忧痛，同悱侧。《补注》："隐痛也。"

⑱櫂(zhào 召)：同"棹"。长的船桨。　枻(yì 衣)：短的船桨。

⑲积：击的假借字。　冰雪：比喻水光空明澄澈，像冰雪一样。

⑳薜荔：长在陆上的香草。

㉑搴：摘取。

㉒媒劳：媒人只是徒劳。

㉓恩不甚：意思是恩爱不深。按，这两句是湘夫人久候不至，对湘君的怨望。

㉔石濑：石间的急流。《补注》："石濑，水激石间，则怒成湍。"

㉕翩翩：形容船行驰轻快的样子。

㉖怨长：怨恨深长。

㉗不信：不践约。

㉘骋鹜：奔走。

㉙北渚：洞庭湖北岸的小洲。

㉚次：栖止。

㉛周：环流。

㉜玦(jué 决)：一种玉制的饰物。

㉝佩：指琼琚等身上的佩玉。玦、佩可能都是湘君的赠物。　醴：同"澧"，水名。由湖南澧县纳涔水而入洞庭湖。澧浦，澧水的岸边。此句一本无"遗"字。

㉞杜若：香草。

㉟下女：身边的侍女。

㊱时：指从前和湘君在一起的美好时光。

㊲容与：《章句》："游戏貌。"这里是从容宽缓的意思。　按，本篇和《湘夫人》写的是湘水配偶神。这篇是女巫扮女神湘夫人的独唱。

【译文】

湘君你犹豫不前为哪桩？
谁把你留在洲中使我想？
我修饰好容貌前来接你，
乘上桂木龙舟飞快启航。
我令沅江湘江波涛平息，
让千里江水平静向前淌。
盼望你哟为何迟迟不来，
吹奏排箫为谁思绪悠长？
驾着龙舟哟我顺江北行，
为驶向洞庭湖扭转航向。
薜荔饰船舱蕙草饰幕帐，
兰草饰旌旗荪草饰船桨。
眺望涔阳浦口遥远地方，
飞舟横渡大江神采飞扬。
神驰远眺思绪无穷无尽，
侍女声声叹息为我悲伤。
滚滚热泪腮边不断流淌，
暗暗思念你啊痛断愁肠。
桂木的棹啊木兰做的桨，
划破像层冰积雪的水光。
迎湘君好像水中采薜荔，
又像摘取荷花在树梢上。
两人心儿不同请媒徒劳，

彼此恩爱不深容易轻抛！
流啊水在石间急速地流，
摇啊船在江上飞快地摇。
相交不忠贞怨恨必然深，
说话不算数还说没空闲。
清晨我在江岸纵马驰骋，
傍晚停鞭留宿江北小洲。
一群小鸟栖息堂屋之上，
淙淙泉水在堂屋下环流。
我要把玉佩都抛进大江，
我要将琼琚丢在澧水旁。
摘取香岛上的香花香草，
要送给我身旁美丽姑娘。
美好的时辰一去不复返，
暂且自由自在消磨时光。

【原文】

湘 夫 人

帝子降兮北渚①，目眇眇兮愁予②。
嫋嫋兮秋风③，洞庭波兮木叶下④。
登白薠兮骋望⑤，与佳期兮夕张⑥。
鸟何萃兮蘋中⑦？罾何为兮木上⑧？
沅有芷兮醴有兰⑨，思公子兮未敢言⑩。
荒忽兮远望⑪，观流水兮潺湲⑫。
麋何为兮庭中⑬？蛟何为兮水裔⑭？
朝驰余马兮江皋⑮，夕济兮西澨⑯。

闻佳人兮如予⑰，将腾驾兮偕逝⑱。
筑室兮水中⑲，葺之兮荷盖⑳。
荃壁兮紫坛㉑，播芳椒兮成堂㉒。
桂栋兮兰橑㉓，辛夷楣兮药房㉔。
罔薜荔兮为帷㉕，擗蕙櫋兮既张㉖。
白玉兮为镇㉗，疏石兰兮为芳㉘。
芷葺兮荷屋㉙，缭之兮杜衡㉚。
合百草兮实庭，建芳馨兮庑门㉛。
九嶷缤兮并迎㉜，灵之来兮如云㉝。
捐余袂兮江中㉞，遗余褋兮醴浦㉟。
搴汀洲兮杜若㊱，将以遗兮远者。
时不可兮骤得，聊逍遥兮容与。

【注释】

①帝子：《集注》："帝子，谓湘夫人。"

②眇眇（miǎo 秒）：形容极目远望，望眼欲穿的样子。　愁予：使我痛苦、忧愁。

③嫋嫋（niǎo 鸟）：微风吹动的样子。

④木叶：树叶。

⑤蘋：秋天长的草。一作"蘋"。登白蘋，指站在长满白萍草的小洲上。骋望：纵目远望。

⑥佳：《集注》："佳，佳人也。谓夫人也。"　期：约会。　张（zhàng 丈）：铺张陈设。夕张，是说将要在晚上陈设起来。

⑦萃：聚集。　蘋：水草的一种。　此句一本无何字。

⑧罾（zēng 曾）：捕鱼的网。

⑨芷（zhǐ 只）：即白芷。

⑩公子：《集注》："公子，谓湘夫人也。帝子而又曰公子，犹秦已称皇帝，而其男女犹曰公子、公主，古人质也。"

⑪荒忽:同“恍惚”。形容神思迷惘。《山带阁注》:“荒忽,思极而神迷也。”

⑫潺湲:指水缓慢流动。

⑬麋(mí 迷):一种像鹿,比鹿大点的动物。

⑭水裔:水边。

⑮江皋:江边高地。

⑯澨(shì 四):《山带阁注》:“澨,水涯。”

⑰佳人:湘夫人。 予:指湘君。

⑱腾驾:驾着车奔腾,形容车行极快。 偕逝:指湘君想与湘夫人一同前往。

⑲从这句至“灵之来兮如云”,都是湘君设想的与湘夫人会面后共同生活的情境。

⑳葺:用草盖房子。 荷盖:用荷叶盖在屋顶上。

㉑荃:一作“荪”。荃壁:用荃草做的墙壁。 紫坛:用紫贝铺砌的庭院。《集注》:“紫,紫贝也。紫质黑点。坛,中庭也。”

㉒播:《集注》:“播,布也。” 成:同“盛”。涂饰的意思。成堂:指用椒涂饰室内墙壁。这是古代习俗,取其温暖、芳香而多子。

㉓栋:屋梁。 橑(lǎo 老):屋椽。

㉔辛夷:香草名。 楣:门上的横木。这里代门框。 药:香草名。即白芷。房:指卧房。

㉕罔:同“网”。编织。《集注》:“罔,结也。结以为帷帐也。”

㉖擗(pì 辟):分散。 檐(mián 棉):室中隔板,相当于现在屏风,古代称屋联。蕙檐,用蕙草编织成的屋联。《章句》:“擗析以为屋联尽张设于中也。”

㉗镇:压座席的器具。

㉘疏:分散陈列。 石兰:香草名。

㉙芷葺:用芷草加盖在荷叶屋顶上。

㉚缭之:指房屋四周香草绕屋生长。

㉛庑(wǔ 五):《集注》:“庑,堂下周屋也。”即走廊。《山带阁注》:“药房以下,言筑室之具;罔薜荔四句,言室中所陈;芷葺以下,又言室上下内外装束也。”

㉜九嶷:指九嶷山的众神。

㉝灵:指众神。 按,以上是湘君一种美好的幻想。湘夫人并没有来,幻想

消失了，怨望的心情产生了。

㉞袂(mèi 妹)：一指衣袖，二指外衣。这里指有里子的外衣。《字林》："袂，复襦也。"复襦有里子。

㉟褋(dié 迭)：没有里子的内衣。《方言》："禅衣，江淮南楚之间谓之褋。"《说文》："衣不重曰禅。"这里"袂""褋"对举成文。褋即无里子的内衣，指帖身汗衫之类。袂褋可能是湘夫人赠给湘君的爱情信物。把自己的衣服送给情人，是古代女子爱情生活中的习惯。如《左传·宣公九年》："陈灵公与孔宁、仪行父通于夏姬，皆衷其衵服以戏于朝。"衵服即禅衣。《红楼梦》中晴雯赠汗衫给宝玉也是一例。

㊱汀洲：水中平地。

按：这是祭祀湘水女神的诗。本篇由巫扮男神湘君独唱。

关于这两篇写的神，有几种说法：第一，顾炎武《日知录》认为湘水二神是配偶神，与神话传说无关。第二，朱熹《集注》本韩愈说，湘君为娥皇，湘夫人为女英。"娥皇正妃，故称君。女英自宜降称夫人也。"第三，有人认为湘君即舜，湘夫人即舜妃，尧之二女娥皇女英。如《礼记檀弓》："舜崩于苍梧。"

【译文】

湘夫人已经来到北洲上，
我望穿秋水心中忧伤。
秋风轻轻吹拂天气初凉，
树叶凋零洞庭微波荡漾。
站在白蘋草坡纵目远望，
与夫人约会在今天晚上。
为什么山鸟聚集水草中？
为什么鱼网撤在树梢上？
沅水有芷草澧水有兰花，
思念湘夫人啊向谁去讲。
盼啊神思迷惘极目远望，
只见沅水澧水静静流淌。

为什么麋鹿会寻食庭院？
为什么蛟龙游戏河岸上？
清晨我在江畔纵马驰骋，
晚上我渡到大江西岸旁。
听说湘夫人啊召我前去，
我将驾着飞车同她前往。
我们把房屋建在湘水中，
还要用荷叶盖在屋顶上。
荃草做墙壁紫贝铺庭院，
四壁涂饰香椒作为厅堂。
木兰做屋椽桂木做屋梁，
辛夷做门框白芷做卧房。
薜荔香草编成巨大帐幔，
蕙草做的隔扇安置中央。
用雪白的美玉作为席镇，
各处陈设石兰一片芳香。
荷叶屋顶上面加盖香芷，
芬芳杜衡围绕房屋四方。
汇集各种香草充实庭院，
各色香花陈列门前走廊。
九嶷山的众神纷纷降临，
接走了湘夫人神灵如云。
算了，我把外衣抛江中，
我要把内衣扔在澧水滨。
我在小洲采摘香花香草，
将花草送给那远方的人。
美好时光不可立即得到，

暂且自由自在打发时辰。

（梅桐生　译注）

文选全译卷第三十三

骚下

九歌二首

屈　原

【作者】

见卷三十二《离骚》作者介绍。

【题解】

见卷三十二《九歌》介绍。

【原文】

少司命

秋兰兮麋芜①，罗生兮堂下②。
绿叶兮素华③，芳菲菲兮袭予④。
夫人兮自有美子⑤，荪何以兮愁苦⑥？
秋兰兮青青⑦，绿叶兮紫茎⑧。
满堂兮美人⑨，忽独与余兮目成⑩。

入不言兮出不辞，乘回风兮载云旗[11]。
悲莫悲兮生别离[12]，乐莫乐兮新相知[13]。
荷衣兮蕙带[14]，倏而来兮忽而逝[15]。
夕宿兮帝郊[16]，君谁须兮云之际[17]？
与汝游兮九河，冲风至兮水扬波。
与汝沐兮咸池[18]，晞女发兮阳之阿[19]。
望美人兮未来[20]，临风怳兮浩歌[21]。
孔盖兮翠旌[22]，登九天兮抚彗星[23]。
竦长剑兮拥幼艾[24]，荪独宜兮为民正[25]。

【注释】

①麋芜：香草名。《集注》："芎藭叶名，似蛇床而香。"

②罗生：罗列着生长。

③素华：雪白的花。一本作"素枝"。

④菲菲：形容香气浓重。

⑤美子：美好的子女。一本"兮"在"自有"下。

⑥荪：《章句》："谓司命民。"这是对少司命的尊称。

⑦青青：同"菁菁"。形容草木茂盛。

⑧紫茎：指秋兰。

⑨美人：指参加祭祀的人。

⑩目成：《集注》："睨而相视，以成亲好。"指两心相悦，眉目传情。

⑪载云旗：乘云。

⑫悲莫悲：等于说悲没有比……更悲。

⑬乐莫乐：乐没有比……更乐。

⑭荷衣、蕙带：这都是指少司命的服饰。

⑮倏（shù 速）：极快。

⑯帝郊：《章句》："帝谓天帝。""言司命之去，暮宿于天帝之郊。"

⑰君：指少司命。这句后的"与汝游兮九河，冲风至兮水扬波"两句，五臣注：汝，谓司命。九河，天河也。冲风，暴风也。但古本无此二句。《楚辞章句》

无注。洪兴祖《补注》曰:“此二句,《河伯》章中语也。”据此删去。

⑱咸池:神话中的水名。又称天池。据说是太阳沐浴的地方。《淮南子》:“日出于旸谷,浴于咸池。”

⑲晞:《章句》:“干也。”晞女发,把你的头发晒干。 阿:丘陵。阳之河,可能指神话中日出的旸谷。

⑳美人:指少司命。

㉑怳:《山带阁注》:“失意貌。”

㉒孔盖:孔雀羽毛装饰的车盖。 翠旌:用翠鸟的羽毛做旗上的饰物。

㉓九天:九重天,指天的最高处。 抚:用手挥动。 彗星:俗称扫帚星。古人认为彗星出现,是扫除邪秽的象征。《章句》:“言司命乃升九天之上,抚持彗星欲扫除邪恶辅仁贤也。”

㉔竦(sǒng 耸):高高举起。 拥:保护的意思。 幼艾:泛指人间年轻幼小的一代。

㉕正:《山带阁注》:“长也。”本指官长。这里是主宰的意思。 为民正,做人们命运的主宰。

按:少司命是主持人间生儿育女的女神,与大司命是一对。本篇是巫独唱。

【译文】

秋天的兰花芳香的麋芜,
在祭堂四周并列着生长。
绿色的叶片雪白的花朵,
散发出阵阵袭人的清香。
世人自有他们的好儿女,
你为何还要为他们忧伤?
堂下秋兰正在繁茂开放,
嫩绿叶片长在紫色茎上。
满堂啊都是祭祀的美人,
你却忽然对我眉目传情。

你来去没有对我说句话，
离别时乘着旋风载云旗。
悲啊最悲的是生的别离，
乐啊最乐的是新的相知。
穿着荷花衣裳蕙草衣带，
忽然来临你转眼又不在。
晚上你投宿在天国郊外，
你啊在云端里把谁等待？
我真想和你在咸池沐浴，
你的香发应到旸谷去晒。
盼望你啊你却总是不来，
临风高歌我的愁情难解。
翠色旌旗孔雀毛的车盖，
你乘着上九天为民除害。
高举长剑保护下一代啊，
只有你才是人命的主宰！

【原文】

山　鬼

若有人兮山之阿①，被薜荔兮带女罗②。
既含睇兮又宜笑③，子慕予兮善窈窕④。
乘赤豹兮从文狸⑤，辛夷车兮结桂旗⑥。
被石兰兮带杜衡⑦，折芳馨兮遗所思⑧。
余处幽篁兮终不见天⑨，路险难兮独后来⑩。
表独立兮山之上⑪，云容容兮而在下⑫。
杳冥冥兮羌昼晦⑬，东风飘兮神灵雨⑭。

留灵修兮憺忘归[15]，岁既晏兮孰华予[16]！
采三秀兮於山间[17]，石磊磊兮葛蔓蔓[18]。
怨公子兮怅忘归[19]，君思我兮不得闲[20]。
山中人兮芳杜若[21]，饮石泉兮阴松柏[22]，
君思我兮然疑作[23]。雷填填兮雨冥冥[24]。
猿啾啾兮狖夜鸣[25]。风飒飒兮木萧萧，
思公子兮徒离忧[26]。

【注释】

①阿：《集注》："曲隅也。"山之阿，山中深曲的地方。

②女罗：即女萝，蔓生植物。《集注》："兔丝也。" 带：以女萝为佩带。

③睇(dí 弟)：《集注》："微眄貌，美目盼然…。"含睇，两眼含情而视。 宜笑：笑得很美。

④子：与下文的"公子"、"灵修"、"君"都是指山鬼所思念的人。 窈窕(yǎo tiǎo 咬挑)：马瑞辰《毛诗传笺通释》："《方言》：'秦晋之间，美心为窈，美状为窕。'"一说"善心为窈，善容为窕。"

⑤赤豹：皮毛呈赤褐色的豹。 文狸：《山带阁注》：狸毛黄黑相杂也。"狸一作貍。

⑥辛夷车：用辛夷木做的车。 桂旗：桂枝为旗。

⑦石兰：香草名。

⑧所思：即"公子"、"灵修"等。

⑨篁：竹丛。幽篁：竹林深处。

⑩险难：形容处境的恶劣，说明独后来的原因。

⑪表：《山带阁注》："表，特也。升高特立，如植标然。"表，突出的意思。

⑫容容：同"溶溶"。形容云像流水似的慢慢浮动。

⑬杳：《章句》："浑也，晦暗也。" 冥冥：幽暗。

⑭飘：急风回旋地吹。 神灵雨：指雨神指挥着下雨。这句是说山中风雨无常，变幻多端。

⑮憺：安定。

⑯晏：晚。岁既晏。《山带阁注》："言老之将至也。" 华予：以我为美。

⑰三秀：《章句》："谓芝草也。"即灵芝草。秀，是开花的意思。传说灵芝草一年开三次花，所以叫三秀（据蒋骥说）。 於山：於，通"巫"。巫山。

⑱磊磊：形容乱石攒聚。

⑲怅忘归：主语是山鬼。

⑳君思我：这句是山鬼因怨恨而产生的怀疑。

㉑山中人：山鬼自称。 芳杜若：《山带阁注》："芳洁若此。"即说自己像杜若那样芳洁。

㉒饮石泉：这句比喻品质贤贞，饮食居处都十分高洁。

㉓然疑作：《集注》："然，信也；疑，不信也。"即疑信交加，半信半疑。

㉔填填：雷声。

㉕狖（yòu 又）：即长尾猿。

㉖离忧：遭受忧愁。

按，山鬼，即山林女神，与河伯是一对，可能不是正神，所以称鬼。本篇歌辞全由女巫扮山鬼独唱。

【译文】

有一个人啊仿佛在深山间，
身披薜荔草女萝系腰前。
眉目含情甜甜笑容满面，
你爱慕我说我美好幽娴。
我乘坐着赤豹带着文狸，
辛夷车上桂枝飘动在前。
披戴石兰花杜衡挂腰间，
采香花送恋人了我心愿。
我住竹林深处终不见天，
独自来迟了路途太艰险。
我孤独地站在高高山巅，
飘浮的云彩在脚下连绵。

深山老林白日非常幽暗，
飘风骤雨不定变幻多端。
我要让你留下乐而忘返，
人老了谁还认为我美啊！
采摘灵芝我已走遍巫山，
山上乱石攒聚葛蔓纠缠。
怨恨你啊使我惆怅忘归，
既然思念我为何不得闲？
我这山中人芳洁像杜若，
住在松柏下饮用山中泉，
你想念我却又信疑参半！
山中雷声隆隆阴雨绵绵，
夜里猿猴悲啼声声不断。
山里阴风阵阵叶落萧萧，
思念您啊徒然忧愁无限。

（梅桐生　译注）

九章一首

屈　原

【题解】

九章包括屈原所作的九篇诗歌。这些诗歌不是一时一地的作

品，是由后人辑录在一起的。至于这些作品从什么时候编在一起，现已不可考。

九章的思想内容与《离骚》接近，反复地抒写诗人的理想，揭露批判楚国的黑暗政治，描写被疏远或流放在外的经历、处境和苦闷悲愤的心情。这些诗歌多直抒胸臆，感情激烈，文笔比较朴素，浪漫主义成分较少。诗篇运用白描的手法，描写了大量的自然景物，语言富有表现力，形式散而不乱，跌宕有致，语气随感情的起伏而变化。强烈的爱国主义精神和浓厚的抒情成分的完美结合是九章的主要特色。

本文所选的这篇《涉江》，意思是渡江南行。大约作于楚顷襄王三年(前296)初春。《山带阁注》："《涉江》《哀郢》皆顷襄时放于江南所作。"这时屈原从鄂渚又被放逐到溆浦，从篇中的语气看，可能是到溆浦后写的。

【原文】

涉　　江

余幼好此奇服兮①，年既老而不衰②。
带长铗之陆离兮③，冠切云之崔巍④，
被明月兮佩宝璐⑤。世混浊而莫余知兮，
吾方高驰而不顾⑥。驾青虬兮骖白螭⑦，
吾与重华游兮瑶之圃⑧，登昆仑兮食玉英⑨，
与天地兮比寿⑩，与日月兮齐光⑪。
哀南夷之莫吾知兮⑫，旦余济兮江湘⑬。
乘鄂渚而反顾兮⑭，欸秋冬之绪风⑮。
步余马兮山皋⑯，邸余车兮方林⑰。
乘舲船余上沅兮⑱，齐吴榜以击汰⑲。

船容与而不进兮[20]，淹回水而疑滞[21]。
朝发枉渚兮[22]，夕宿辰阳[23]。
苟余心其端直兮[24]，虽僻远之何伤[25]。
入溆浦余儃佪兮[26]，迷不知吾之所如，
深林杳以冥冥兮[27]，乃猿狖之所居[28]。
山峻高以蔽日兮，下幽晦以多雨。
霰雪纷其无垠兮[29]，云霏霏而承宇[30]。
哀吾生之无乐兮，幽独处乎山中。
吾不能变心而从俗兮，固将愁苦而终穷[31]。
接舆髡首兮[32]，桑扈臝行[33]。
忠不必用兮，贤不必以。
伍子逢殃兮[34]，比干菹醢[35]。
与前世而皆然兮，吾又何怨乎今之人！
余将董道而不豫兮[36]，固将重昏而终身[37]！

（按：胡克家《文选》无以下“乱曰”，现据王逸《章句》增补。）

乱曰：鸾鸟凤皇[38]，日以远兮。
燕雀乌鹊，巢堂坛兮[39]。露申辛夷，死林薄兮[40]。
腥臊并御[41]，芳不得薄兮[42]。
阴阳易位[43]，时不当兮。
怀信侘傺，忽乎吾将行兮[44]。

【注释】

①奇服：不平凡的服饰。指下文“长铗”、“切云冠”等。比喻好的道德品质和学术修养。

②不衰：不衰减，引伸为不改变。

③铗(jiá 夹):剑柄。举偏概全,这里指剑。 陆离:很长的样子。

④冠:这里作动词用,戴帽。 切云:形容冠很高,夸张上触云霄。也可以理解为一种高冠的名称。 崔巍:高耸的样子。

⑤明月:珍珠名,即夜明珠。 璐:美玉。

⑥高驰:远远地离去。

⑦虬(qiǔ 求)螭(chī 迟):都是传说中的无角龙。

⑧瑶:美玉。瑶之囿,古代传说昆仑山产美玉,是上帝的花园。

⑨玉英:美玉的花朵。

⑩比寿:一本冠有"吾"。

⑪齐光:一本作"同光"。

⑫南夷:可能指南方没有开化的少数民族。

⑬此句一本"余"字下有"将"字。

⑭乘:登上。 鄂渚:地名。今湖北武昌县西。

⑮欸(āi 哀):悲叹。 绪风:余风。《山带阁注》:"绪,余也。谓初春而秋冬余寒未尽。"

⑯山皋:山湾。

⑰邸:通"抵"。抵达,停止的意思。 方林:地名。一说方同"傍"。一说方是大。

⑱舲船:《集注》:"舲船,船有窗牖者。或曰小船也。"

⑲榜:船桨。 汰:水波。

⑳容与:这里是徘徊不前的意思。

㉑淹:停留。 回水:指漩涡。 疑:同"凝",凝滞,停滞不前。

㉒枉渚:地名。旧属湖南常德。

㉓辰阳:地名。故城在今湖南辰溪县西。

㉔端直:正直。 其,一本作"之"。

㉕僻:荒僻。 其,一本作"之"。

㉖溆浦:溆水之滨。在湖南境内。

㉗杳:幽暗。 冥冥:阴深晦暗的样子。

㉘一本无"乃"字。

㉙垠:边际。

㉚承宇:弥漫天空。"而",一本作"其"。

㉛固：来来。这里有宁肯的意思。

㉜接舆：春秋时楚国的隐士。时称“狂者”。 髡(kūn 昆)：剃发。髡首，古代的一种刑法，剃掉头发。《集注》：“接舆，楚狂也，被发佯狂，后乃自髡。”

㉝桑扈：古代隐士。 臝：同“裸”。

㉞伍子：即伍员。楚人，因报父仇投吴，为吴王阖庐所信用，后因谏吴王夫差被杀。

㉟比干：殷朝贤臣，被纣王杀害。

㊱董：《集注》：“董，正也。”这里是动词，守正的意思。

㊲重昏：《集注》：“重昏，重复暗昧，终不复见光明也。”

㊳鸾：传说中凤凰一类的鸟。比喻忠臣贤士。

㊴比喻无能的小人。 堂坛：代朝廷。

㊵露申：一种芳香植物。露申辛夷，比喻清廉的贤人。 林薄：《集注》：“丛木曰林，草木交错曰薄。”

㊶御：《集注》：“御，用也。”

㊷芳：芳香的东西。比喻贤人。

㊸阴阳：古代哲学概念。指矛盾中对立着的两个面。

㊹忽：飘飘忽忽。形容心里没有着落的样子。

【译文】

我从小爱好奇丽的服饰，
到老来这爱好仍然不变。
我身上悬挂着长长宝剑，
头上戴的高冠直冲云天。
佩着美玉身披明月宝珠。
举世污浊没有人了解我，
我要奔向远方不再回顾。
乘上青龙白龙驾的飞车，
和舜一起游览美玉园圃。
登上昆仑山玉花做食粮，

我的寿命和天地一样久，
我的光辉与日月一样亮。
悲叹南方蛮夷无人知我，
清晨我将渡过湘水长江。
我登上鄂渚后回头眺望，
叹息秋冬余风使人凄凉。
让我的马在山湾上徐行，
把我的车在方林中停放。
登上小船逆着沅水而上，
船桨齐划啊拍击着波浪。
船在江中渐渐不肯前进，
在湍急漩涡中徘徊荡漾。
清早我乘船从枉渚出发，
晚上就只好留宿在辰阳。
只要我的心地是正直的，
放逐僻远之地于我何伤。
进入溆浦后我踌躇不前，
心里迷茫不知该往哪方。
茂密的山林幽暗又阴深，
这里是猿猴居住的地方。
高峻的山岭遮住了太阳，
山下幽深晦暗阴雨茫茫。
大雪纷纷扬扬无边无际，
乌云密密层层布满天上。
可怜我的生活毫无乐趣，
一人孤零零地住在山里。
我不改变心志随波逐流，
宁肯忧愁因苦贫穷到底。

从前接舆装疯剃光头发，
隐士桑扈出行总是裸体。
忠诚的不一定被人重用，
贤能的也难以被人推举。
伍员直言敢谏遭遇祸殃，
比干忠心耿耿剁成肉泥。
自古以来情况就是这样，
我何必怨恨现在的人呢！
我要坚持正道毫不犹豫，
宁愿终身处在黑暗境地！
[尾声]高贵的鸾鸟和凤皇，
一天比一天地越飞越远。
燕雀和乌鹊筑巢在堂前，
露申和辛夷枯死在林间。
臭恶的东西都一齐进用，
芳洁的事物却不能靠前。
昼夜颠倒错乱明暗失调，
时节反常一切都在改变。
我怀抱忠信却失意彷徨，
飘飘忽忽我将越走越远。

（梅桐生　译注）

卜居一首

屈原

【题解】

这是一首叙事诗。卜，就是占卜，问卦，以卜决疑。居，处世的方法和态度。卜居的意思是，通过问卦来决定自己在现实生活中的态度。

王逸在《楚辞章句》中指出："《卜居》者，屈原之所作也。屈原体忠贞之性，而见嫉妒，……乃往太卜之家，卜己居世，何所宜行。"但篇中有"屈原既放"，"屈原曰"等句，好像出自第三者的记述。因此不少研究者怀疑这不是屈原的作品。郭沫若《屈原赋今译》："可能是深知屈原生活和思想的楚人作品。"但也还不能作定论。

【原文】

屈原既放，
三年不得复见①。
竭智尽忠，蔽障于谗②。
心烦意乱不知所从③，
乃往见太卜郑詹尹④。
曰："余有所疑，
愿因先生决之⑤。"

詹尹乃端策拂龟[6]，
曰："君将何以教之[7]？"
屈原曰："吾宁悃悃款款朴以忠乎[8]，
将送往劳来斯无穷乎[9]？
宁诛锄草茅以力耕乎[10]，
将游大人以成名乎[11]？
宁正言不讳以危身乎[12]？
将从俗富贵以偷生乎？
宁超然高举以保真乎[13]，
将呢訾慄斯喔咿嚅唲以事妇人乎[15]？
宁廉洁正直以自清乎，
将实梯滑稽如脂如韦以凛楹乎[16]？
宁昂昂若千里之驹乎[17]？
将汩汩若水中之凫[18]，
与波上下偷以全吾躯乎？
宁与骐骥亢轭乎[19]？
将随驾马之迹乎[20]？
宁与黄鹄比翼乎[21]？
将与鸡鹜争食乎？
此孰吉孰凶何去何从？
世混浊而不表。
蝉翼的重千钧为轻[22]，
黄钟毁弃[23]，
瓦釜雷鸣[24]，
谗人高张贤士无名[25]。

吁嗟默默兮，
谁知吾之廉贞？”
詹尹乃释策而谢，
曰：“夫尺有所短寸有所长㉖，
物有所不足，
智有所不明，
数有所不逮，
神有所不通。
用君之心行君之意，
龟策诚不能知此事㉗。”

【注释】

①复见：指再见到楚王。

②蔽障：阻挠。

③意：一本作“虑”。

④太卜：替国家掌管卜筮的官。郑詹尹：太卜的姓名。一本无“乃”字。

⑤因：依靠。

⑥端策：《章名》：“章，蓍也。立蓍拂龟以展敬也。”蓍，蓍草，筮要用蓍草作工具。端策，把蓍草放端正。 龟：龟壳，卜要用龟壳，灼龟观兆。拂龟，拂去龟壳上的灰尘。

⑦何以：以何，有什么。

⑧宁：应该。 悃悃款款：诚实而勤恳的样子。《山带阁注》：“悃款，诚实倾尽之貌。”

⑨送往劳来：指社会上的周旋应酬。《章句》：“追俗人也。”

⑩力耕：《山带阁注》：“力耕，所以隐退也。”

⑪游大人：游说诸侯。

⑫讳：避讳。正言不讳，实是求是地大胆讲话。

⑬高举：远走高飞。 保真：保全自己真实的本性。一本作“保贞”。

⑭哫訾(zú zǐ 促子):《章句》:"以言求媚也。"即阿谀逢迎。 慓斯:与"哫訾"同义。

⑮喔咿:即嗫嚅,想说又不想说的神态,用来形容一种屈己从人的态度。嚅唲(rú ér 儒儿):强笑嘘也。一作儒儿。《章句》:"喔咿、儒儿……皆强笑之貌。" 妇人:《山带阁注》:"指郑袖言。"郑袖是楚怀王的宠姬。

⑯实梯、滑稽:形容圆滑处世,应付无穷,善于迎合别人。《章句》:"委曲顺俗也。" 如脂如韦:指像油脂那样光滑,像牛皮那样柔软,形容人没有骨气。 凿楹:《山带阁注》:"如工人之絜度其柱,而使之圆也。"意思是测量屋柱,顺圆而能,这里用来比喻顺圆随俗的处世作风。

⑰昂昂:昂首挺胸,堂堂正正的样子。

⑱汜汜:即泛泛。浮游不定的样子。 凫(fú 伏):水鸟。

⑲亢轭:并驾齐驱。

⑳驽马:劣马。

㉑鹄(hú 胡):天鹅。

㉒钧:古代度量单位,三十斤为一钧。

㉓黄钟:古代的一种乐器。

㉔瓦釜:陶器,用普通粘土烧制的锅子。

㉕高张:大大的夸张。引伸为得势。

㉖尺有所短:意思是说,尺寸也不很标准,一尺可能会短一点,一寸可能会长一些。以下四句是比喻卜筮虽然可以替人决疑,但不是所有的疑都能决。

㉗一本无"此"字。

【译文】

屈原啊他已经遭到放逐,
三年不能与楚王再见。
他为了君国用尽了心力,
但他的进取却遭到谗言。
他心烦意乱不知怎么办,
就去见管卜筮的郑詹尹。
屈原说:"有些问题想不通,

特来请教先生帮我决断。”
詹尹忙把卜筮工具备好，
说道：“不知您有什么见教？”
屈原十分激动地对他说：
“应该诚实勤恳朴质忠厚，
还是周旋应酬媚世取巧？
应该努力耕作除草助苗，
还是游说诸侯求取名爵？
应该不惜性命大胆直言，
还是贪图富贵可耻活着？
应该远走高飞保性全真，
还是阿谀迎逢屈己众俗？
奴颜婢膝般去取媚妇人？
应该廉洁正直清清白白，
还是圆滑随俗没有骨气，
像那油脂光滑牛皮柔软？
应该昂首挺胸像千里驹？
还是像水中鸟浮游不定，
随波逐流苟且保全身躯？
我应该与骏马并驾齐驱？
还是追随那劣马的足迹？
我应该与天鹅长空比翼？
还是去与鸡鸭争食斗气？
这到底哪样好哪样不好，
我应该如何做又如何行？
这个世道真是浑浊不清。
有人说千钧比蝉翼还轻，
精致的黄钟被消毁抛弃，

瓦锅作为乐器响如雷鸣，
坏人得势好人埋没无名。
啊！我不说了、再也不说了！
谁了解我廉洁正直品行？”
詹尹放下蓍草起身道歉：
“衡量事物长短并无绝对，
万事万物都有不足之处，
聪明的人也有不明之理，
数量也有达不到的高度，
神灵有时也会变得糊涂。
你想怎么做那就怎么做，
龟壳蓍草实在对此无补。”

（梅桐生 译注）

渔父一首

屈 原

【题解】

这是一首散文诗。它通过渔父和屈原的对话，表现了屈原坚持真理，不同流合污、随波逐俗的人生态度。

本篇的作者难以确定。王逸《楚辞章句》说：“渔父者，屈原之所作也。”又说：“楚人思念屈原，因叙其辞以相传焉。”王逸的说法是

矛盾的，既判定本篇是屈原作的，又认为不是屈原自己写的。篇中又有“屈原既放”“屈原曰”，也好像也于第三者的记述。因此，不少研究者认为，《渔父》与《卜居》一样，也可能是楚人所作。但也还不能作为定论。

【原文】

屈原既放，游于江潭①，
行吟泽畔，颜色憔悴，
形容枯槁②，渔父见而问之曰：③
“子非三闾大夫欤④？何故至于斯⑤？”
屈原曰：“举世皆浊我独清⑥，
众人皆醉我独醒⑦，是以见放。”
渔父曰：“圣人不凝滞于物⑧，
而能与世推移。世皆浊，
何不淈其泥而扬其波⑨？众人皆醉，
何不铺其糟而歠其醨⑩？何故深思高举⑪，
自令放为？”屈原曰：“吾闻之：
新沐者必弹冠，新浴者必振衣。
安能以身之察察⑫，受物之汶汶者乎⑬？
宁赴湘流，葬于江鱼腹中。
安能以皓皓之白，蒙世俗之尘埃乎⑭！”
渔父莞尔而笑⑮，鼓枻而去。乃歌曰⑯：
“沧浪之水清兮，可以濯吾缨。
沧浪之水浊兮，可以濯吾足。”
遂去，不复与言。

【注释】

①江：指沅江。《山带阁注》："谓沅江。"一说指沧浪江。 潭：作"滨"。

②形容：形体容貌。 槁：与"枯"同义。枯槁：枯瘦。

③渔父：渔翁。父，古代对老年男子的尊称。

④子：古代对男子的尊称。 三闾大夫：楚官职。据说是掌管楚国王族屈、景、昭三姓事务的官。

⑤至于斯：到这个地步。

⑥浊、清：指行为品质而言。

⑦醉、醒：指对现实环境的认识而言。

⑧凝滞：冻结不解叫凝；停留不前叫滞。凝滞，这里引伸为拘泥、执着的意思。

⑨淈(gǔ 古)：搅混。

⑩餔(bǔ 普)：吃。 歠(chuò 啜)：饮。醨(lí 梨)：薄酒。

⑪高举：指行为高出世俗。

⑫察察：《山带阁注》："皎洁。"

⑬汶汶：《山带阁注》："玷辱也"

⑭一本无"俗"字。

⑮莞尔：微笑的样子。

⑯鼓：动词。敲打。一本无"乃"字。

⑰沧浪：水名。汉水的支流，在湖北境内。

⑱濯：洗。 缨：系帽的带子。

按，这首《沧浪歌》是楚地流传的古歌谣，意思是比喻人的行为要适应客观实际。渔父唱这首歌，是劝屈原"不凝滞于物，而能与世推移"。顺时变化，世清则仕，世混则隐。

【译文】

屈原啊已经遭到放逐，
他来到了沅江边上游荡，
在江边一边走一边吟唱，

他衰弱不振啊面色发黄，
他形消骨立啊枯瘦模样。
渔翁看到屈原向他问道：
“您不就是三闾大夫吗？
为什么会落到这种景况？”
屈原回答说：
“人人都肮脏只有我干净，
个个都醉了只有我清醒，
所以我怎么能不被流放。”
渔翁听他说完就劝他道：
“圣人不拘泥于任何事物，
并能够随顺世道而变化。
如果世间上人人都混浊，
何不搅混泥水助澜推波？
如果世间上个个都醉了，
为何不吃酒糟把酒大喝？
为什么遇事深思又超脱，
以至于使自己被人放逐？”
屈原回答道：“我听说：
洗完头要弹去帽上灰尘，
洗完澡要抖净身上衣服。
怎能让干干净净的身体，
去沾染污污浊浊的外物？
我宁愿投入那湘江水中，
让自己葬身在江中鱼腹。
怎能让洁白纯净的东西，
蒙受那世俗尘埃的玷污！”
渔翁听完后就微笑起来，

拍着他的船桨边走边唱：
“沧浪江的水哟清又清啊，
可以用来洗洗我的头巾。
沧浪江的水哟浊又浊啊，
可以洗一洗哟我的脏脚。”
他走了，不再和屈原说话。

（梅桐生　译注）

九辩五首

宋　玉

【作者】

见卷十三《风赋》作者介绍。

【题解】

《九辩》原是古代传下来的乐章名。本篇是宋玉借古乐章名为题抒写自己的感慨和愁思，是一篇自叙性的长篇抒情诗。

在作品中，宋玉抒发了“贫士失职而志不平”的悲叹，也透露了他对祖国命运的关心，诗中揭露楚国统治集团的腐朽黑暗，和战乱带给人民的苦难，是有现实意义的。特别是他抒发个人失意的悲哀痛苦，在封建社会里，引起了无数受压抑的知识分子的强烈共鸣，受到很高的评价。“宋玉悲秋”已成为中国文学上的熟语。

《九辩》的主要成就是在艺术上具有独创性。作为抒情诗，它不是以直接倾泻诗人内心的感情来感染读者，而是通过自然景物的描写，来抒发自己浓厚的感情，造成一种情景交融的境界，使诗人的感情和自然景物互相衬托而融合为一。对后世文学产生了不小的影响。

【原文】

悲哉，秋之为气也[1]！
萧瑟兮草木摇落而变衰。
憭慓兮若在远行[2]；
登山临水兮送将归。
泬寥兮天高而气清[3]；
寂寥兮收潦而水清[4]。
憯凄增欷兮薄寒之中人[5]。
怆怳忙恨兮去故而就新[6]；
坎廪兮贫士失职而志不平[7]。
廓落兮羁旅而无友生[8]；
惆怅兮而私自怜。
燕翩翩其辞归兮，
蝉寂寞而无声；
雁廱廱而南游兮[9]。
鹍鸡啁哳而悲鸣[10]。
独申旦而不寐兮，
哀蟋蟀之宵征。
时亹亹而过中兮[11]，
蹇淹留而无成。

【注释】

①气：气氛。

②憭慄(liǎo lì 了力)：凄凉的样子。 若：句中语助词。一说是“若在”的意思。

③狖寥(xuè 穴—)：旷荡空虚的样子。

④寂廖(liǎo 了)：清澄平静的状态。 潦(liǎo 老)：积蓄的雨水。收潦，雨水退尽。 水清：屈复《楚辞新注》：“清，当作‘澄’，断未有连句重韵理。”

⑤憯凄(cǎn 惨—)：《集注》：“悲痛貌。” 欷：叹息声。增欷，悲叹不止。中人：侵袭人。

⑥怆怳(chuàng huǎng 创恍)：失意的样子。 忷悢(kuàng lǎng 矿朗)：失意怅惘。 去故犹新：指离乡背井。

⑦坎廪：《通释》：“坎，洼下也。廪，积高也。高下不平貌。”这里指生活道路坎坷，挫折很多。 贫士：宋玉自称。

⑧廓落：孤独空虚。 友生：知心朋友。

⑨噰噰：像声词，雁鸣声。

⑩鵾鸡：鸟名，似鹤，黄白色。 啁哳(zhāo zhā 招渣)：大小相间，杂碎而急促的叫声。

⑪亹亹(wěi 伟)：前进不停的样子。 过中：已过中年。

按：以上是全诗第一段。诗人通过对秋景的描绘，对秋天季节的感受，抒发了自己对时序迁移，遭迁坎坷，事业无成的感慨。

【译文】

悲伤啊秋天肃杀的气氛！
草木在秋风中枯黄凋零。
心情凄凉好像离乡背井，
又如登山临水送别故人。
碧空万里无云秋高气爽，
雨停水退秋水清澄平静。
微寒袭人使人倍增伤情。

离家远行心中怅然失意，
贫士受挫失位内心不平。
留滞异乡孤独难寻知音，
多么失望啊我暗自哀怜。
燕子翩翩现又飞回南方，
秋蝉默默终日寂寞无声。
群雁嗈嗈和鸣向南飞去，
鹍鸡急促悲啼令人伤心。
我啊孤独一人通宵难寐，
怎堪听那蟋蟀彻夜哀鸣。
时光荏苒转眼人过中年，
我还久留异乡一事无成。

【原文】

悲忧穷蹙兮独处廓①，有美一人兮心不绎②。
去乡离家来远客③，超逍遥兮今焉薄④？
专思君兮不可化⑤，君不知兮可奈何！
蓄怨兮积思，心烦憺兮忘食事⑥。
愿一见兮道余意，君之心兮与余异。
车既驾兮朅而归⑦，不得见兮心伤悲。
倚结轸兮长太息⑧，涕潺湲兮下沾轼⑨。
慷慨绝兮不得⑩，中瞀乱兮迷惑⑪。
私自怜兮何极，心怦怦兮谅直⑫。

【注释】

①穷蹙（—cù 卒）：处境穷困。　廓：《章句》："空也。"这里指空旷荒野。
②美人：仆者自称。　绎：怿的假借字。愉快的意思。

③来远客：来为远客。

④超逍遥：远远游荡无着落的样子。 薄：停止。

⑤君：《集注》："此君字乃指楚王而言。"这晨指顷襄王。

⑥烦惔：烦闷；忧愁。

⑦揭(qié 茄)：离去。

⑧结轝：古代车的前面和左右都有箱，用木条交错结成，所以叫结轝。结轝，车箱。

⑨轼：车前横木。

⑩绝：与楚王绝决。

⑪瞀乱(mào 冒一)：烦乱。

⑫怦怦(pēng 烹)：忠谨的样子。 谅直：忠诚正直。

按：这是第二段。诗人叙述自己有乡不能归，思君不能见的痛苦心情。

【译文】

悲伤穷困独处空旷境地，
痛苦充满一个美人心里。
他离乡背井啊客居异地，
到处漂泊如今留在哪里？
一心思念君王忠贞不渝，
君王不知道有啥办法呢？
怨恨忧愁在他胸中蓄积，
寝食俱废总是烦闷焦虑。
希望见见君王陈述心意，
但君王的心和我的相异。
车已驾出来了还得回去，
我见不到君王心中悲戚。
只好依靠车箱长长叹息，
沾湿车板的是滚滚泪涕。
实难做到啊与君王断绝，

心中烦乱难解纷繁思绪。
暗暗自怜此情何时终结，
内心忠诚正直坚定不移。

【原文】

皇天平分四时兮，窃独悲此凛秋①。
白露既下降百草兮，奄离披此梧楸②。
去白日之昭昭兮，袭长夜之悠悠③。
离芳蔼之方壮兮④，余萎约而悲愁⑤。
秋既先戒以白露兮，冬又申之以严霜。
收恢台之孟夏兮⑥，然坎傺而沈藏⑦。
叶菸邑而无色兮⑧，枝烦挐而交横⑨。
颜淫溢而将罢兮⑩，柯仿彿而萎黄⑪。
萷蘋槮之可哀兮⑫，形销铄而瘀伤⑬。
惟其纷糅而将落兮⑭，恨其失时而无当。
揽騑辔而下节兮⑮，聊逍遥以相羊⑯。
岁忽忽而遒尽兮⑰恐余寿之弗将⑱。
悼余生之不时兮，逢此世之俇攘⑲。
澹容与而独倚兮⑳，蟋蟀鸣此西堂。
心怵惕而震荡兮，何所忧之多方！
仰明月而太息兮㉒，步列星而极明㉓。

【注释】

①凛：(lín)：寒冷。

②奄：忽。很快地。　离披：《补注》："分散貌。"这里指草木叶萎不振的样子。　梧楸：梧桐和楸树，都是早凋的树木。

③袭：沿袭、进入。

④芳蔼:芳菲则繁盛。

⑤萎约:《集注》:"萎,草木枯也。约,穷也。"这里用草木枯萎衰败形容人贫病交加的样子。

⑥恢台:《集注》:"广大貌。"即广大而繁盛的样子。

⑦然:义同"乃"。 坎傺:《章句》作:"欿傺。"《集注》:"欿,陷。傺,止也。言收敛长养之气,使陷止而沈藏也。"

⑧菸邑(yū yú 迂于):黯淡的样子。 "邑",一本作"邑"。

⑨烦挐(一rú 如):纷乱。

⑩淫溢:过甚。 罢(pí 皮):指凋零。

⑪柯:树枝的别名。 仿佛:指颜色不鲜明。

⑫蔸:《通释》:"与'梢'同。树梢也。" 蔹槮(xiāo sēn 肖森):《通释》:"无叶孤存而划空貌。"即光秃秃的样子。

⑬销铄:《通释》:"严霜迫之使耗也。" 瘀伤:指严霜下植物内部的损伤"。

⑭纷糅:《通释》:"败叶衰草相杂委也。"

⑮騑(fēi 非):边马。 下节:停鞭。

⑯相羊:同"徜徉"。

⑰遒(qiú 求):迫近。

⑱将:长。

⑲怪攘(kuāng ráng 狂瓤):纷扰不安。

⑳澹:水流徐缓的样子。这里指百无聊奈的心情。

㉑怵惕:戒惧;惊惧。

㉒仰:一本作"卯"。

㉓步列星:这句是说,因忧愁而彻底不眠,在星光下一直徘徊到天明。

按:这是第三段。诗人以凄艳的笔调,从不同的角度描写秋景、秋色、秋物、秋声,诗中一片衰败、萧条的暮秋景色,满含着诗人幽怨哀悼的感情,带着浓厚的主观色彩,诗人痛心疾首的神情和贫困凄凉的境况,在冷落的秋景中宛然可见。

【译文】

上天把一年平分为四季,

我只对凄凉的秋季悲伤。
白露已经降临百草之上，
梧桐楸树很快枝枯叶光。
离开了阳光灿烂的夏日，
进入茫茫秋夜无尽漫长。
百花盛开时节已经逝去，
草木枯萎衰败令人悲伤。
白露下降警戒秋天来临，
严霜又来告诫寒冬将降。
秋天一扫盛夏繁茂景象，
旺盛生机不知哪里躲藏。
这时草木显得黯淡失色，
枝条纷乱交横错杂无章。
树叶凋敝零落即将萎谢，
树木枝干衰败颜色枯黄。
树杪光秃萧疏令人悲痛，
枝丫形销骨立内受损伤。
想到败叶衰草即将凋零，
怅恨命乖运蹇失去时光。
抓住边马缰绳缓缓而行，
姑且漫无边际徘徊游荡。
日月易逝眼看时近岁暮，
我担心自己的寿命不长。
自己生不逢时实堪悲伤，
遭逢混乱世道令人沮丧。
心中百无聊奈独倚栏杆，
愁听蟋蟀声声鸣叫西堂。
我的内心时时惊惧震动，

为何百感交集时牵愁肠。
夜里仰望明月长长叹息，
在星光下徘徊直到天亮。

【原文】

窃悲夫蕙华之曾敷兮①，纷旖旎乎都房②；
何曾华之无实兮③，从风雨而飞扬？
以为君独服此蕙兮，羌无以异于众芳。
闵奇思之不通兮④，将去君则高翔。
心闵怜之惨凄兮，愿一见而有明⑤。
重无怨而生离兮⑥，中结轸而增伤⑦。
岂不郁陶而思君兮⑧？君之门以九重⑨。
猛犬狺狺而迎吠兮⑩，关梁闭而不通⑪。
皇天淫溢而秋霖兮，后土何时而得干！
块独守此无泽兮⑫，仰浮云而永叹。

【注释】

①敷：《集注》："布也。"引申为开放。曾敷，曾经开放。

②旖旎（yǐ ní 以尼）：繁茂的样子。　都房：《集注》："房，北堂也。《诗》所谓背。盖古人植花草之处也。"《通释》："都，美也。都房，犹言华屋。"

③曾华：曾同"层"。曾华，一层层花朵。

④奇思：《通释》："曲尽事变之思。"这里指自己委宛曲折的思虑。　不通：不能达到君王那里。

⑤一见：指见到楚王。　有明：《集注》："有以自明也。"即自己表白。

⑥无怨：无罪的意思。《通释》："无取怨于君之道也。"

⑦结轸（—zhěn 诊）：忧思郁结而心情沉痛。

⑧郁陶：忧思郁结。

⑨九重：《章句》："君门深邃，不可至也。"这里指国君的门很深，难以接

近。

⑩狺狺(yín 银):像声词。犬吠声。

⑪关:门关。 梁:桥梁。

⑫块:孤独的样子。 无泽:《章句》:“不蒙恩施。独枯槁也。”

按:这是第四段。诗人以蕙花的遭遇自比,因无法得到楚王的了解,处境又极为恶劣,心中充满了失意的愁闷。

【译文】

可悲啊那蕙花美丽芳香,
在宫中枝繁叶茂地开放。
为何层层花朵没有结果,
花瓣顺着风雨到处飞扬?
我还以为君王独爱蕙花,
哪知蕙花也与众花一样。
可怜曲折心思无人理解,
我将离开君王远走他方。
我的心啊多么忧愁凄凉,
希望一见君王倾诉衷肠。
并无怨恨却要生生离别,
心中郁结痛苦更加悲伤。
哪会不思君而则忧思郁结,
只是君门幽深重重关防。
猛犬守门迎着来人狂叫,
门关和桥梁都闭塞不畅。
老天爷降下了绵绵秋雨,
大地何时才有干燥地方?
众人都蒙君泽独我不沾,
仰望蔽日阴云喟叹深长。

【原文】

何时俗之工巧兮，背绳墨而改错！
却骐骥而不乘兮，策驽骀而取路①。
当世岂无骐骥兮？诚莫之能善御。
见执辔者非其人兮，故骄跳而远去②。
凫雁皆唼夫粱藻兮③，凤愈飘翔而高举。
圆凿而方枘兮吾固知其钮锯而难入④。
众鸟皆有所登栖兮，凤独遑遑而无所集⑤。
愿衔枚而无言兮⑥，尝被君之渥洽⑦。
太公九十乃显荣兮⑧，诚未遇其匹合⑨。
谓骐骥兮安归？谓凤凰兮安栖？
变古易俗兮世衰，今之相者兮举肥⑩。
骐骥伏匿而不见兮，凤凰高飞而不下；
鸟兽犹知怀德兮⑪，何云贤士之不处⑫？
骥不骤进而求服兮⑬，凤亦不贪喂而妄食。
君弃远而不察兮，虽愿忠其焉得。
欲寂漠而绝端兮⑭，窃不敢忘初之厚德。
独悲愁其伤人兮，冯郁郁其何极！

【注释】

①策：马鞭。这里作动词，用鞭赶马。　驽骀（nú tái 奴台）：劣马。比喻无能的人。　取路：上路。

②骄跳（jú 局一）：跳跃。这里比喻贤者离开昏庸的君王。

③凫：野鸭。　唼（shà 杀）：水鸟或鱼吃食。

④钮锯（jú yǔ 局与）：《集注》："相距貌。"即彼此不相合。

⑤遑遑：匆匆忙忙。

⑥衔枚：古代行军时为了防止士兵说话，常令士兵口中衔一根木制短筷似的东西，这叫衔枚。这里指闭口不言的意思。

⑦渥洽（wò qià 沃恰）：《集注》："渥，厚也。洽，泽也。"即深厚的恩泽。

⑧太公：指姜尚。

⑨匹合：配合。

⑩相者：指相马的人。

⑪怀德：恋慕有德的人。

⑫何云：一作"云何"。　不处：指遁世隐居，不在朝廷做官。

⑬服：用。

⑭端：头绪。绝端，指与君王断绝感情。

按：以上是第五段。诗人诉说世道的昏暗，慨叹贤臣与明主遇合之难。

【译文】

为何社会风气善于取巧，
改变良好措施背离正道。
放着日行千里骏马不用，
却要赶着劣马慢慢上路。
难道当今世上没有良马，
实在没有人善于驾驭它。
它看见驾驭的人不适当，
就会连蹦带跳远远逃跑。
野鸭大雁争着吞食米草，
凤凰远远离去越飞越高。
圆的凿孔配上方的榫头，
不相合难容纳我早知道。
群鸟都有自己歇宿地方，
只有凤凰安身之处难找。
我情愿遇事情闭口不言，
曾受君王恩泽难以做到。

姜太公九十岁才显荣耀，
贤臣明主配合未曾遇到。
千里马的归宿究竟在哪？
凤凰又应该在何处栖息？
如今风俗变异世道衰败，
相马的人只选肥的马匹。
骏马只好隐藏不肯露面，
凤凰高飞不愿下来停息。
鸟兽都知恋慕有德的人，
为何责怪贤士遁世隐居。
骏马不图急进求人使用，
凤凰不贪饲养乱吃东西。
君王不辨是非远弃贤士，
他虽愿效忠又怎能如意。
想与君王断绝寂寞隐退，
当初的深恩又怎敢忘记。
独自悲愁令人肝肠可断，
满腔忧愤何时才是终极。

【原文】

霜露惨凄而交下兮①，心尚幸其弗济②；
霰雪雰糅其增加兮③，乃知遭命之将至④。
愿徼幸而有待兮⑤，泊莽莽与野草同死⑥。
愿自直而径往兮⑦，路壅绝不通；
欲循道而平驱兮，又未知其所以。
然中路而迷惑兮，自压按而学诵⑧。
性愚陋以褊浅兮⑨，信未达乎从容。

（按：胡克家《文选》无以下辞句，现据王逸《章句》增补。）

窃美申包胥之气盛兮[10]，恐时世之不固[11]。

何时俗之工巧兮，灭规矩而改凿[12]。

独耿介而不随兮，愿慕先圣之遗教。

处浊世而显荣兮，非余心之所乐。

与其无义而有名兮，宁处穷而守高[13]。

食不偷而为饱兮，衣不苟而为温。

窃慕诗人之遗风兮，愿托志乎“素餐”[14]。

蹇充倔而无端兮[15]，泊莽莽而无垠。

无衣裘以御冬兮，恐溘死不得见乎阳春。

【注释】

①霜露：比喻小人的诬陷、迫害。

②幸：希望。　济：成功。

③霰（xiàn 线）：雪米。霰雪，比喻比霜露更大的迫害。　雰：同“氛”。雪很大的样子。

④遭命：所要遭遇的命运。

⑤徼幸：同“侥幸”。

⑥泊：《集注》：“止也。”一说忽然。闻一多《楚辞校补》：“泊疑当从一本作汨，汨犹忽也。语助词，有出其不意之意。”现取前说。　莽莽：草盛的样子。这里指荒野。

⑦自直：自己辩明曲直。

⑧压按：压抑。　学诵：即学《诗》（专指《诗经》）。

⑨褊浅（biǎn 扁一）：狭隘浅薄。

⑩申包胥：春秋时楚国大夫。为救楚国，曾在秦廷上哭了七天七夜，终于感动秦哀公出兵救楚。

⑪固：《集注》：“固，当作“同”。叶通、从、诵、容韵。”

⑫凿：当为“错”。措施。闻一多《楚辞校补》：“凿当为“错”，声之误也。”

⑬守高：保持高节。　处穷：一本作“穷此”。

⑭素餐：《集注》：“素餐，谓无功德而空食其禄也。”《通释》：“托志素餐，以素餐为耻。”素餐，本于《诗经·魏风·伐檀》：“彼君子兮，不素餐兮。”

⑮充倔：充，充塞；充满。倔，通“屈”。委曲。一说谓喜失节貌；另一说，充倔义犹“莽莽”，无边缘的样子。现取第一说。

按：以上是第六段。诗人抒写自己的不幸遭遇和穷困处境，并有感于楚国命运的倾危。

【译文】

凛冽的霜露啊一齐袭来，
我曾盼望它们不能逞凶。
大雪纷纷扬扬越下越大，
才知悲惨命运即将降临。
希望侥幸避难有所期待，
我难免与野草同归于尽。
我想面见君王辩明曲直，
可是道路阻绝难以通行。
想要遵循正道平稳前进，
但又不知应该何去何从。
行至中途就觉迷惑不解，
只好压抑感情把《诗》朗诵。
本性愚昧无知狭隘浅薄，
阿谀奉迎实在一窍不通。
我赞美申包胥志气壮盛，
又怕时代相异实难求同。
为何世俗小人善于投机，
毁坏法度改变正常措施。
我光明正大不随波逐流，

愿把前代圣贤教诲遵崇。
处身混浊社会显名荣耀，
这些决非我心所愿乐从。
与其没有道义搏得虚名，
宁可保持气节安于贫穷。
不能苟且求食而得饱腹，
不能苟且求衣以求温暖。
我衷心仰慕诗人的风格，
不愿过无功食禄的生活。
我的心里充满无穷委曲，
漂泊荒郊野外无边无际。
没有棉衣皮袄抵御寒冬，
恐怕不见春天突然死去。

（梅桐生　译注）

招魂一首

宋　玉

【题解】

关于本文作者，历来有两种说法。司马迁认为是屈原的作品，王逸认为是宋玉作。现在大多数研究者都采用前一种说法，认为本篇的作者是屈原，招的是楚怀王的魂。题标“宋玉”，以存原貌。

招魂是古代一种巫术活动。当时楚国很盛行，楚怀王被骗入秦，三年后死在秦国，这件事给楚国人民极大的震动。屈原用民间招魂的形式，来表达自己对楚怀王的悼念和热爱楚国的感情。因此，《招魂》含有较丰富的思想内容，有一定的积极意义。

《招魂》在艺术上也很有特色：诗篇的内容与形式结合很完美。作者描写上下四方的险恶，是用神话传说和浪漫主义的幻想来构成；宫廷生活和豪华的享受，用极大胆的夸张和层层的铺叙展开；游猎的盛况和江南的春景，用细腻的笔触和丰富的感情来表达。所以在文学史上，《招魂》占有一定的地位，它的结构和写法开了汉赋的先河，对后来汉赋的创作产生了直接的影响。

【原文】

朕幼清以廉洁兮①，身服义而未沫②。
主此盛德兮③，牵于俗而芜秽④。
上无所考此盛德兮⑤，长离殃而愁苦⑥。
帝告巫阳曰⑦："有人在下⑧，
我欲辅之⑨，魂魄离散，
汝筮予之⑩。"巫阳对曰：
"掌梦！上帝⑪：其命难从；
若必筮予之，恐后之谢⑫，
不能复用巫阳焉。"

【注释】

①朕(zhèn 振)：我。

②服：实行。　沫：《集注》："沫，与昧同。"暗淡，引申为含糊不清。

③主：保持。《补注》："五臣云：主，守也。言已主执仁义忠信之德。"

④芜秽：草荒。比喻自身受世俗牵累而有缺点。

⑤考:《补注》:“考,察也。”

⑥离:同“罹”。遭到。

⑦巫阳:神话中的巫师。

⑧有人:指楚怀王。

⑨辅:保祐。

⑩筮(shì 四):古代用蓍草卜吉凶的方法。

⑪掌梦:掌管占梦的官。一说梦指梦泽。代楚国。掌梦,是掌管楚国的人,指楚王。

⑫谢:衰败。这里指躯体已坏。

按:这是全文的序。是用幻想的形式叙述招魂的原因。

【译文】

我从年轻时就清白廉洁,
亲身实行仁义毫不含糊。
我一直保持着这些美德,
但受世俗牵累身受秽污。
上天无法考察这些美德,
我长期受难啊忧愁痛苦。
上帝唤来巫阳并对他讲,
“现在有一个人他在下方,
我正想要辅助他保祐他。
他的魂魄已经离身散亡。
你快占个卦给他帮帮忙。”
巫阳很为难地回答上帝:
“上帝啊,我的职务是掌梦,
你的指示实在难于服从;
如果定要占卦给他招魂,
恐怕时期过了身躯已坏,
给他的灵魂也不再有用。”

【原文】

巫阳焉乃下招曰："魂兮归来！
去君之恒干[1]，何为兮四方些[2]？
舍君之乐处，而离彼不祥些。
魂兮归来！东方不可以托些。
长人千仞[3]，惟魂是索些。
十日代出[4]，流金铄石些[5]。
彼皆习之[6]，魂往必释些[7]。
归来归来，不可以托些[8]。魂兮归来！
南方不可以止些。雕题黑齿[9]，
得人肉而祀，以其骨为醢些。
蝮蛇蓁蓁[10]，封狐千里些[11]。
雄虺九首[12]，往秋倏忽[13]，
吞人以益其心些。归来归来！不可久淫些[14]。
魂兮归来！西方之害，
流沙千里些[15]。旋入雷渊[16]，
糜散而不可止些[17]。幸而得脱，
其外旷宇些[18]。赤蚁若象[19]，
玄蜂若壶些[20]。五谷不生，
丛菅是食些[21]。其土烂人，
求水无所得些。彷徉无所倚[22]，
广大无所极些。归来归来！恐自遗贼些[23]。
魂兮归来！北方不可以止些。
增冰峨峨[24]，飞雪千里些。
归来归来！不可以久些。魂兮归来！

君无上天些。虎豹九关㉕，
啄害下人些㉖。一夫九首，
拔木九千些。豺狼从目㉗，
往来侁侁些㉘。悬人以嬉㉙，
投之深渊些。致命于帝㉚，
然后得瞑些㉛。归来归来！往恐危身些。
魂兮归来！君无下此幽都些㉜。
土伯九约㉝，其角觺觺些㉞。
敦脄血拇㉟，逐人胚胚些㊱。
参目虎首㊲，其身若牛些。
此皆甘人㊳，归来归来！恐自遗灾些。
魂兮归来！入修门些。
工祝招君㊴，背行先些㊵。
秦箏齐缕㊶，郑绵络些㊷。
招具该备㊸，永啸呼些㊹。
魂兮归来！反故居些。

【注释】

①恒：常。干：躯体。恒干，指灵魂经常寄托的人的形体。

②些(suǒ 所)：句尾语助词。《说文》："语词也。"楚方言，与"兮"字义同。宋沈括《梦溪笔谈》："今夔、峡、湖、湘及南北江獠人，凡禁呪句尾皆称'些'，乃楚人旧俗。""何为"之下，一本有"乎"字。

③长人：《补注》："《山海经》：'东海之外，大荒之中，有大人之国。'"《山海经·大荒经》："有神名赤郭，好食鬼。" 仞：古代长度单位，一仞周制为八尺，汉制为七尺。

④十日：神话说东方的扶桑树上有十个太阳，它们轮流升起。

⑤流金：金属都熔为流动的液体。 铄石：销熔石头。

⑥彼：指长人。

⑦释：熔解。

⑧托：一本作“托”。

⑨题：《集注》：“额也。”雕题，在额上刻刺花纹。　黑齿：把牙齿染黑。

⑩蓁蓁(zhēn 真)：积聚的样子。

⑪封：大。

⑫虺(huǐ 悔)：毒蛇。

⑬倏忽：极快的样子。

⑭不可：一本作“不可以。”

⑮流沙：神话说西方是一片沙漠，沙不停地流动。

⑯雷渊：神话中的深渊。

⑰糜：同“靡”。粉碎

⑱旷宇：荒野。

⑲赤蚁：《山带阁注》：“《八纮译史》：‘蚁国在极西，其色赤，大如象，其聚千里。’”

⑳玄蜂：《山带阁注》：“《五侯鲭》：‘大蜂出昆仑，长一丈，其毒杀象。’”玄；黑。　壶，通“瓠”。葫芦。

㉑菅(jiān 坚)：茅草。

㉒彷徉(páng yáng 旁羊)：徘徊不定。

㉓贼：害。

㉔增：通“层”。增冰，层冰。　峨峨：高高耸立的样子。

㉕九关：九重天门。《山带阁注》：“言天有九门，有虎豹守之也。”

㉖啄：用口咬人。

㉗从：同“纵”。从目，瞪大眼睛。

㉘侁侁(shēn 申)：众多的样子。

㉙嬉，一本作“娭”。

㉚致命：回报。

㉛瞑：闭上眼睛，指人死去。

㉜幽都：《章句》：“幽都，地下后土所治也。地下幽冥故称幽都。”

㉝土伯：《章句》：“土伯，后土之侯伯也。约，屈也。”地府的君主。　九约：九屈，可能指土伯的身体弯弯曲曲。

㉞鬵(yí 夷):形容角很锐利。

㉟敦脄:《章句》:"敦,厚也。脄,背也。"脄(méi 枚),指背上的肉。

㊱胚胚(péi 陪):跑得快的样子。

㊲参:同"三"。

㊳甘人:《集注》:"甘,美也。言此物食人以为甘美也。"

㊴工祝:工,巧。祝,男巫。工祝,有本领的巫师。

㊵背行:《山带阁注》:"却行而向魂,为之先导也。"即后退着走,面向魂,一步步引入修门。

㊶篝(gōu 勾):《山带阁注》:"竹笼,以栖魂者。"据说古代招魂把被招者的衣物放在竹笼中,象征他的魂就在笼里。篝,也叫薰笼,可以用来薰衣。秦篝,秦国出产的竹笼。 缕:线。齐缕,产于齐的线。

㊷绵络:织物。指盖在竹笼上的笼衣。郑绵络,产于郑国的笼衣。

㊸招具:招魂用的器具,指上文的秦篝,齐缕,郑绵络。

㊹永:长。按:以上是全文的第一部分,从上下四方招唤灵魂。

【译文】

于是巫阳降临人间招唤:
"魂魄啊!快回到你的身上!
你离开了你常在的身体,
为何要流散到四面八方?
你抛弃了你安乐的处所,
就会遇到不吉利的情况。
魂魄啊!快回到你的身上!
东方不是要可安身的地方。
那里的巨人啊身长千丈,
专门搜寻人的灵魂品尝,
那里十个太阳轮流出来,
晒得石头消毁金属流淌。
那种炎热巨人已经习惯,

如果你去了一定要遭殃。
回来吧！那不是安身地方。
魂魄啊！快回到你的身体，
南方啊也不可以去安居，
额头刺花黑牙齿的野人，
他们祭神要用人肉来祭，
还要把人骨也剁成烂泥。
那里蝮蛇很多盘绕聚集，
大狐狸也遍布千里之地。
还有那九个头的大毒蛇，
它们穿梭似地窜来窜去，
以吞吃活人来满足心意。
回来吧！南方不可以久居。
魂魄啊！还是快快回来吧！
西方对你的危害会更大，
那里是一望无际的流沙。
风沙飞卷把你埋进雷渊，
就要粉身碎骨十分可怕。
即使能够有幸逃出深渊，
外面荒野茫茫充满危险。
那里的红蚁有象那么大，
黑蜂也长得像只葫芦瓜。
在那里五谷不能够生长，
一丛丛野茅草便是食粮。
西方的土使人皮肉腐烂，
要找一滴水也非常困难。
在那游荡徘徊无处安居，
四周辽阔广大无边无际。

回来吧！别招灾难害自己。
魂魄啊！快回到你的身体！
北方也不是那停留之地。
一层层的坚冰如山堆积，
一团团的大雪纷飞千里，
回来吧！北方不可以久居。
魂魄啊！快快回到你的身体！
你千万不能够跑上天去。
虎豹守着上面九重天门，
它们咬得人们有来无去。
那里有个怪人九个脑袋。
一天能把九千大树拔起。
成群的豺狼把眼睛瞪着，
它们恶狠狠地跑来跑去。
九头怪物把人吊起游戏，
然后把人丢进深水潭里。
掉进深渊只有报告上帝，
死了才能够把双眼闭起。
回来吧！怕去了危害自己。
魂魄啊！快回到你的故都，
你千万不能到地下城府。
地下魔王身体弯弯曲曲，
双角尖锐锋利难以接触。
满爪的鲜血鼓起的背肉，
它们飞快来往把人追逐。
长着虎的脑袋三只眼睛，
它们身体像牛又壮又粗。
这些土伯吃人才能满足，

回来吧！不要去受害受辱。
魂魄啊！快回到你的身体！
你快走进这高高的门里。
请你的是有本领的巫师，
他一步步倒退着引导你。
秦国薰笼系着齐国丝绳，
上面还盖着郑国的笼衣。
招魂的器具都已经备齐，
大家都拉长声调呼唤你。
魂魄啊！请你快快回来吧！
从四方上下返回你的故居。

【原文】

天地四方，多贼奸些①。
像设君室②，静闲安些③。
高堂邃宇④，槛层轩些⑤。
层台累榭⑥，临高山些。
网户朱缀⑦，刻方连些⑧。
冬有突厦⑨，夏室寒些。
川谷径复⑩，流潺湲些。
光风转蕙⑪，氾崇兰些⑫。
经堂入奥⑬，朱尘筵些⑭。
砥室翠翘⑮，挂曲琼些⑯。
翡翠珠被⑰，烂齐光些⑱。
蒻阿拂壁⑲，罗帷张些⑳。
纂组绮缟㉑，结琦璜些㉒。

室中之观㉓，多珍怪些㉔。
兰膏明烛㉕，华容备些㉖。
二八侍宿㉗，射递代些㉘。
九侯淑女㉙，多迅众些㉚。
盛鬋不同制㉛，实满宫些。
容态好比㉜，顺弥代些㉝。
弱颜固植㉞，謇其有意些㉟。
姱容修态，绝洞房些㊱。
蛾眉曼睩㊲，目腾光些。
靡颜腻理㊳，遗视矊些㊴。
离榭修幕㊵，侍君之闲些。

【注释】

①贼：害。贼奸，指凶恶害人的东西。

②像：仿照。　设：设置。一说你的遗像陈设在房间里。

③闲：宽舒。

④邃：深。　宇：庭院。

⑤槛（jiàn 见）：栏杆。这里是动词，用栏杆围着。　轩：长廊的厅堂。

⑥累：重叠。　榭（xiè 谢）：建在台上的屋子。

⑦网户：指门上镂空格，像网眼一样。朱缀：连结的地方是红色的。

⑧方连：方格图案。

⑨突（yào 要）：深密的意思。突厦，结构重深，寒气不易侵入的暖房。按，以上写房屋的结构。

⑩川谷：指园中的小溪流。　径复：往来环绕。

⑪转：摇动；吹动的意思。

⑫氾：同“泛”。洋溢。　崇：聚。指丛生。按，以上描写室外景色。

⑬奥：房屋的角落。这里指内室。

⑭尘筵：即天花板；顶棚。

⑮砥:磨刀石。这里是动词,磨平,磨光的决思。砥室,指四壁磨得光亮的房间。 翠翘:翠鸟尾上的长毛。这里指用翠鸟尾羽做的拂尘用器,好比今天的羽毛掸子。

⑯曲琼:《山带阁注》:"玉钩也。"

⑰翡翠:鸟名。雄的毛色绯红叫翡;雌的毛色青翠,叫翠。这里形容锦被的色彩红红绿绿,鲜艳美丽。 珠被:缀有细珠的锦被。

⑱齐光:指被色和珠光交相辉映。

⑲蒻:《通释》:"蒻,当作'弱',纤也。"柔软的意思。 阿:即缯。古代一种轻细的丝织品(用林庚说)。 拂壁:挂在壁上。

⑳帱(chóu 绸):《集注》:"禅帐也。"

㉑纂组绮缟:各种颜色的丝带。《山带阁注》:"缕带纯赤白纂;五色曰组;绮,文缯;缟,白缯也。"

㉒琦(qí 奇):美玉。 璜(huáng 黄):半圆形的玉器。

㉓观:名词。指室中所见之物。

㉔珍:贵重。按,以上12句描写室中装饰与布置。

㉕兰膏:加了香料的油脂,用来制烛,燃时有香气。

㉖华容:美丽的容貌。指美女。

㉗二八:两列。古代宫中女乐或值宿以八人为一列。

㉘射递代:《集注》:"射,厌也。递,更也。意有厌倦,便使更相代也。"递代,轮流值班。

㉙九侯:列侯。指楚国境内封的列侯。一说指各国诸侯。

㉚迅:通"洵",真正。多迅众,真是众多。

㉛鬋(jiǎn 茧):鬓发。 制:样式。

㉜好比:足可以比美。

㉝顺:通"洵",真正。 弥代:《山带阁注》:"犹云盖世。"

㉞弱:柔嫩的意思。 固:健壮的意思。植:指身体

㉟有意:有情意。

㊱纼(gèng 更):绵延。这里指往来不绝。洞房:幽深的内室。

㊲蛾眉:比喻女子眉毛如蚕蛾的触角一样,又细又弯。 曼:柔婉。 睩(lù 绿):眼珠的转动。

㊳靡:细腻的意思。 理:肌理。指皮肤。

㊴遗视：含情的一视。瞴(mián 绵)：《通释》："从容有意貌。"

㊵离榭：即别墅。 修幕：游猎时所设的大营帐。按，以上二十句描写宫中美女。

【译文】

天上地下东南西北的四方，
凶恶害人的东西非常多。
依照你生前布置的居屋，
就比在外面要宁静安乐。
高大的房屋深深的庭院，
一层层厅堂有栏杆围着。
那重重叠叠的楼台亭榭，
面临着高山一座又一座。
朱红的大门上镂着花格，
上面又雕刻着方格网络。
冬天这里有温暖的大厦，
夏天凉爽的屋子很适合。
园中的小溪流纵横曲折，
溪水清澈透明潺潺流着。
阳光下微风吹拂着蕙草，
一丛丛兰花散发出幽香。
穿过层层厅堂走进内房，
红色顶棚竹席铺在地上。
房间四壁磨得光洁明亮，
翠色羽毛掸子挂玉钩上。
锦被色如翡翠缀饰珍珠，
那一粒粒珍珠闪闪发光。
墙壁上蒙着轻软的丝绸，

大床上挂着美丽的罗帐，
五彩的丝绸带各种各样，
连接块块美玉挂满帐旁。
室中所见之物真说不完，
多么珍贵奇异非同一般。
灯烛明亮散发兰草芳香，
侍宿的美女们前来值班。
十六位姑娘已分成两组，
她们侍侯过夜轮流替换。
各国来的公主美丽娇艳，
这么多的美女都做丫环。
她们梳着各式各样发型，
已充满了你的深宫后院。
容貌姿态一个胜似一个，
这些佳人真是美妙盖世。
鲜嫩的脸色健壮的体魄，
一个个心儿好更有情意。
漂亮的脸蛋苗条的身材，
往来不绝在你卧房里边。
她们眉似蚕蛾又细又弯，
眼睛轻柔一瞥光芒闪现。
她们颜色如玉肌肤如脂，
常常脉脉含情瞟你一眼。
在你的别墅和大营帐里，
你闲暇时侍侯在你身边。

【原文】

翡帷翠帐①，帱饰高堂些。

红壁沙版[2]，玄玉之梁些[3]。
仰观刻桷[4]，画龙蛇些。
坐堂伏槛，临曲池些。
芙蓉始发[5]，杂芰荷些[6]。
紫茎屏风[7]，文缘波些[8]。
文异豹饰[9]，侍陂陀些[10]。
轩辌既低[11]，步骑罗些[12]。
兰簿户树[13]，琼木篱些[14]。
魂兮归来！何远为些。
室家遂宗[15]，食多方些[16]。
稻粢穱麦[17]，挈黄粱些[18]。
大苦咸酸，辛甘行些。
肥牛之腱[19]，臑若芳些[20]。
和酸若苦，陈吴羹些。
濡鳖炮羔[21]，有柘浆些[22]。
鹄酸臇凫[23]，煎鸿鸧些[24]。
露鸡臛蠵[25]，厉而不爽些[26]。
粔籹蜜饵[27]，有饴餳些[28]。
瑶浆蜜勺[29]，实羽觞些[30]。
挫糟冻饮[31]，酎清凉些[32]。
华酌既陈[33]，有琼浆些。
归来反故室，敬而无妨些。

【注释】

①翡、翠：指翡翠鸟的颜色，有红有绿。　帷、帐：都是指挂在厅堂里的帐幕。

②沙:《集注》:“沙,丹沙也。” 版:指室中镶的木板。

③玄玉之梁:用黑漆漆成的屋梁,光泽如玉。

④桷(jué 决):椽(chuán 传)子。刻桷,指整整齐齐的方形椽子。

⑤芙荷:荷花。

⑥芰(jì 计):指菱叶。

⑦屏风:《集注》:“屏风,水葵也。又名凫葵,又名防风,即荇菜也。”这种植物是紫叶白茎,这里的紫茎是泛说。

⑧文:同“纹”。 绿:一作“绿”。

⑨文异:指服装文彩奇异。 豹饰:这里指用的豹皮为衣饰的卫士服装。

⑩陂陀(pō tuó 波驮):高低不平的山坡。

⑪轩:有蓬的车。 低:通“抵”。到达。一说通“邸”。舍,指车停下来。

⑫步骑:指步行和骑马的随从。

⑬薄:《集注》:“草木丛生曰薄。”

⑭琼木:《集注》:“嘉木之美名也。”

⑮室家:宗族。宗:《山带阁注》:“尊也。言室家之人,欲尽其宗尊之意也。”这里指聚集一起祭祀。

⑯多方:多样。

⑰粢(zī 姿):粟米,小米。 穱(zhuō 捉):早熟的麦子。

⑱挐(rú 如):参杂。

⑲腱:蹄筋。

⑳臑(ér 儿):通“胹”。炖烂。

㉑濡鳖:炖甲鱼。 炮:一种烹调方法。《集注》:“合毛裹物而烧之也。”

㉒柘(zhè 这):落叶灌木,叶厚而尖,可喂蚕,实像桑葚而圆。

㉓鹄:天鹅。鹄酸,即酸鹄,加了醋烹制的天鹅肉。 臐(juàn 卷):少汁的羹。

㉔鸿、鸧(cāng 仓):都是雁类。

㉕露鸡:郭沫若《屈原赋今译》:“卤鸡。” 臛(huò 和):红烧。 蠵(xī 西):大龟。

㉖厉:《通释》:“香酷烈也。” 爽:《广雅·释诂》:“爽,猛也。”不爽,不伤胃口。

㉗粔籹(jùn ǔ 巨女):《集注》:“环饼也……以蜜和米面煎熬作之。” 餦:

糕饼。

㉘饵饵(zhāng huáng 张皇):《章句》:“沕也。……注云:‘即干饴也。一曰饼也,一曰饵也。’”《通雅·饮食》:“饵饵、环饼……皆寒具,糊子也。”按,如今糖麻花儿之类。

㉙瑶浆:像玉一样透明的美酒。 勺:通“酌”。饮酒。蜜勺,饮酒时加蜜。

㉚实:动词,斟满。 羽觞(shāng 伤):酒杯。形状像雀,有羽翼,所以叫羽觞。

㉛挫糟:指除去酒糟的清酒。

㉜酎(zhòu 宙):酒味很醇。

㉝酌:酒斗。这里指酒宴。华酌,豪华的酒宴。按,以上二十六句描写饮食肴馔之盛。

【译文】

那红红绿绿鲜艳的幕帐,
已经装饰着高高的厅堂。
四壁墙板涂着朱红颜色,
顶上是漆黑如玉的房梁。
抬头可见方椽整整齐齐,
上面刻画着龙蛇的形象。
坐进厅堂中手伏栏杆上,
对面是曲曲折折的池塘。
池中荷花朵朵刚刚开放,
菱叶和荷叶映衬在中央。
荇菜紫叶白茎露出水面,
水上映显出绿色的波光。
卫士豹皮衣饰文彩奇异,
一个个守卫在四周山上。
外出就乘坐舒适的蓬车,
很多步骑随从侍候身旁。

门前种着一丛丛的兰花，
四周的玉树一行又一行。
灵魂啊！快回到你的身上。
为什么你还要跑向远方。
宗族举行祭礼祀飨亡魂，
摆出的供品有多种多样。
供品中有各色精细粮食，
大米小米新麦参杂黄粱。
食品中有苦的咸的酸的，
辣和甜这些味道也用上。
供上一碗碗肥牛的蹄筋。
蹄筋炖得烂熟散发清香。
用酸味和苦味调配食物，
陈列着吴国厨师的羹汤。
还有清炖甲鱼火炮羔羊，
烧菜调味的还有柘甜浆。
醋溜天鹅肉野鸭煨浓汤，
油煎鸿肉鸽肉又脆又香。
红烧大鱼肉配上卤味鸡，
味道真是鲜美十分清爽。
各色各样点心又甜又脆，
一盘盘蜜制糕饼麻花糖。
美酒颜色如玉勾兑蜂蜜，
已经斟满了华贵的酒具。
逼开酒糟的美酒已冰冻，
冷饮时滋味又醇又清凉。
豪华的筵席早就摆好了，
等你回来品尝如玉酒浆。

回来吧，快返回你的故居，
人们都尊敬你对你无妨。

【原文】

肴羞未通①，女乐罗些②。
陈钟按鼓③，造新歌些④。
涉江采菱⑤，发扬荷些⑥。
美人既醉，朱颜酡些⑦。
娭光眇视⑧，目曾波些⑨。
被文服纤⑩，丽而不奇些。
长发曼鬋⑪，艳陆离些⑫。
二八齐容⑬，起郑舞些。
衽若交竿⑭，抚案下些⑮。
竽瑟狂会⑯，搷鸣鼓些⑰。
宫庭震惊⑱，发《激楚》些⑲。
吴歈蔡讴⑳，奏大吕些㉑。
士女杂坐，乱而不分些。
放陈组缨㉒，班其相纷些㉓。
郑卫妖玩㉔，来杂陈些㉕。
激楚之结，独秀先些㉖。
菎蔽象棋㉗，有六簙些㉘。
分曹并进㉙，遒相迫些㉚。
成枭而牟㉛，呼五白些㉜。
晋制犀比㉝，费白日些。
铿钟摇虡㉞，揳梓瑟些㉟。
娱酒不废㊱，沈日夜些㊲。

兰膏明烛，华镫错些[38]。
结撰至思[39]，兰芳假些[40]。
人有所极，同心赋些[41]。
酎饮尽欢，乐先故些[42]。
魂兮归来！反故居些。

【注释】

①肴：肉菜。　羞：指美味的食品。　通：遍。

②女乐：这里是女子歌舞乐队。

③陈钟：陈设乐钟。　按鼓：安放乐鼓。

④造：制作。

⑤涉江采菱：《山带阁注》："涉江，采菱，扬荷，皆楚歌名。"

⑥扬荷：荷，当作"阿"。即阳阿，楚歌曲名。这大约是一种合唱曲。

⑦酡(tuó 驼)：指喝了酒脸上发红。

⑧娭光：欢乐逗人的目光。娭，一作"嬉"。　眇视：含情而视。

⑨曾：通"层"。目曾波，指两眼水汪汪的。

⑩文：通"纹"。指绣花衣服。　纤：轻软的丝织衣服。

⑪曼鬋：曼，长。鬋：鬓发。

⑫陆离：形容女子打扮得五光十色，十分艳丽。

⑬二八：女乐两列，八人一列。　齐容：一样的装束。

⑭衽：衣襟。　交竿：《山带阁注》："言舞人回转衣襟，相交如竿也。"一说"竿"当为"干"的借字，为盾牌。以干盾的形状，形容舞衽之状如凤翼双展。(见汤炳正《楚辞类稿》)。

⑮案：同"按"。抚案，舞袖低抚，合着节奏。

⑯竽：古管乐器。笙类，三十六簧。　瑟：古弦乐器。二十五弦。　狂会：急管繁弦地合奏。

⑰填(tián 填)：急击。

⑱震惊：这里是震动的意思。

⑲激楚：激昂的楚歌。一说是楚国歌舞名。

⑳歈(yú于)讴:《山带阁注》:“歈、讴,皆歌也。”

㉑大吕:古乐调名。十二律之一。

㉒组:用来系玉或印的丝带。 缨:帽带。这里代冠。

㉓班:座位的秩序。 相纷:纷乱不定。

㉔妖玩:《章句》:“妖玩,好女也。”

㉕杂陈:参加在一起娱乐。

㉖秀先:比前面演奏的音乐更优美动听。按,以上写歌舞娱乐场面。

㉗崑蔽(kūn bì昆比):《章句》:“崑,玉也。蔽,簙箸以玉饰之也。”即饰玉的赌博用的筹码。象棋:象牙做的棋子。

㉘六簙:这是古代的一种棋戏。《章句》:“投六箸行六棋,故为六簙。”

㉙曹:偶。相对的双方。

㉚遵(qiú求):使劲,紧张。

㉛枭、牟:都是博戏的专门术语。《补注》:“《古博经》云:‘博法,二人相对,坐向局,局分为十二道,两头当中名为水。用棋十二枚,六白六黑,又用鱼二枚置于水中,其掷彩以琼为之,……二人互掷彩行棋,棋行到处即竖之,名为骁棋(即枭棋)。即入水食鱼,亦名牵鱼。每牵一鱼获二筹。’”成枭,可能是力争使棋子成为枭棋。牟,取的意思。指得鱼多而获胜。

㉜五白:指五颗骰子组成的一种特彩,走棋时双方掷骰子都希望出现五白求胜,所以大呼五白。

㉝犀比:不详。马茂元说可能是用犀角制成的一种赌具。

㉞镫:像声词。这里指撞钟。 虡(jù巨):钟架。

㉟ 揳(jiá夹):弹奏。 梓瑟:梓木做的瑟。

㊱娱酒:饮酒取乐。 不废:不停止。

㊲沈:同“沉”。沉湎。

㊳鏗:同“灯”。华镫,华丽的灯。 错:《说文解字》:“金涂也。”

㊴结撰:构思写诗。 至思:尽心思考。

㊵兰芳:指优美的词藻。 假:借助。《通释》:“藻思中发,若兰蕙之芳相假借也。”

㊶赋:《集注》:“不歌而诵其所撰之词也。”

㊷先故:死去的先辈。按,以上描写游戏情况和赋诗唱和的酒后余兴。

按:以上是招魂的正文。作者用巫阳的口气极力描写上下四方的险恶,以

及故乡居室、饮食、音乐、娱乐之美，招唤灵魂返回故乡。

【译文】

丰盛的酒菜还没有吃遍，
女乐队就开始列队表演。
陈设好乐钟安放好乐鼓，
将要表演新创作的歌舞。
先唱《涉江》曲后唱《采菱》歌。
最后大家都齐声唱《阳阿》。
筵席上美女们喝醉了酒，
一个个红光满面乐呵呵。
她们目光逗人含情脉脉，
两眼水汪汪频频送秋波。
她们身穿绣花丝绸衣裳，
色彩十分华丽款式大方。
长长的头发柔美的鬓脚。
个个打扮成娇艳的模样。
两列女乐一样服饰装扮，
跳起了郑国的舞蹈出场。
舞袖翩翩彼此交错回旋，
抚手合折徐徐走下场来。
笙竽琴瑟急管繁弦合奏，
响亮的大鼓不停地敲响。
整个宫庭在音乐中振荡，
奏出的楚歌紧凑又激昂。
那吴国的民歌蔡国的曲。
这些都用那大吕调来唱。
男男女女交错坐在一起，

乱纷纷地彼此相依相傍。
脱下衣带冠帽随便乱放，
座位次序变得杂乱无章。
郑国卫国来的妖娆美女，
一起玩乐姿态各式各样。
作尾声的楚歌慷慨激昂，
最出色只有这首大合唱。
酒后余兴有菎蔽和象棋，
逍遣的还有六簙的游戏。
对手分成两边运子进攻，
双方各不相让紧紧相逼。
个个都争取“成梟”而获胜，
大声呼唤“五白”十分着急。
要度闲日有晋国的犀比，
玩玩消磨一天不算希奇。
用力撞击乐钟钟架震动，
梓木琴瑟也拼命地弹起。
饮酒取乐一刻也不停止，
日日夜夜都会这样欢娱。
芳香的灯烛明亮地照耀，
涂饰金的宫灯十分华丽。
宴会上作诗都精心思考，
写出佳作要用华丽词藻。
这时人们欢乐到了极点，
共同朗诵诗作互相唱和。
人们痛饮美酒尽情欢娱，
使先辈灵魂也得到安乐。
魂魄啊请你快快回来吧，

快回到你的故乡安乐窝。

【原文】

乱曰："献岁发春兮①，汩吾南征些②。
菉蘋齐叶兮③，白芷生些。
路贯庐江兮④，左长薄⑤。
倚沼畦瀛兮⑥，遥望博⑦。
青骊结驷兮⑧，齐千乘。
悬火延起兮⑨，玄颜烝⑩。
步及骤处兮⑪，诱骋先⑫。
抑鶩若通兮⑬，引车右还。
与王趋梦兮⑭，课后先⑮。
君王亲发兮，惮青兕⑯。
朱明承夜兮⑰，时不见淹。
皋兰被径兮⑱，斯路渐⑲。
湛湛江水兮，上有枫。
目极千里兮，伤春心⑳。
魂兮归来，哀江南㉑！

【注释】

①献岁：献，进。进入了新的一年。　发春：春天开始了。

②汩（yù 芋）：水流很快的样子。这里是行走匆匆的意思。　吾：作者自称。　南征：南行。可能指向南流放。《章句》："自伤放逐，独南行也。"

③菉：通"绿"。　蘋：一种水草，也叫四叶菜。

④贯：直通。　庐江：地名。一说即今青弋江，在安徽省东南一带。又一说指长满庐丛的大江。

⑤长薄：连绵不断的丛林。

⑥倚：沿着。 畦：动词，区划。 瀛（yíng 迎）：大泽。

⑦博：指荒野广阔。

⑧青骊：指青黑色的马。 驷：指一辆车所用的四匹马。

⑨悬火：焚林驱兽的火把。 延起：火势蔓延。

⑩玄颜：指天色被火光映照得黑里透红的样子。 烝：火光冲天。

⑪步：指徒步的从猎者。 骤处：指车马驰到的地方。

⑫诱：引导。这里指打猎中的向导。

⑬抑：勒住马。 骛：奔驰。 若：顺。 通：通“畅”。指猎车不混乱堵塞，进退自如。

⑭梦：古代湖名。在长江之南，与江北的云泽合称云梦泽。《集注》：“梦，泽名。楚有云梦泽。方八九百里，跨江两岸，云在江北，今玉沙，监利，景陵等县是也。梦在江南，今公安、石首、建宁等县是也。”

⑮课：比试。

⑯惮：郭沫若《屈原赋今译》认为：“惮当是殚字之误”。尽的意思。 兕（sì 四）：类似犀牛的一种野兽。

⑰朱明：又红又亮，指太阳。

⑱皋：水边陆地。

⑲渐：没。指被野草遮盖。

⑳伤春心：《集注》：“目极千里，言湖泽博平，春时草短，望见千里，令人愁思也。”又《章句》：“或曰荡春心。荡，涤也。言春时泽平望远，可以涤荡愁思之心也。”

㉑哀：旧注均作“可哀”解。惟郭沫若《屈原赋今译》认为：“哀与爱通，亦非悲哀之意。”现取后说。

【译文】

尾声：新的一年春天来临，
我被流放向南匆匆而行。
绿色的水草长齐了叶片。
路上的白芷也开始萌生。
南行道路一直通往庐江，

江的左岸是连绵的丛林。
我沿着片片沼泽地前行，
那辽阔的荒野一望无垠。
当年猎车驾着四匹青马，
千辆车子出猎整整齐齐。
火把点燃树林火势蔓延，
天空黑里透红火光冲天。
步行的赶到车马聚集处，
狩猎的向导已一马当先。
猎车指挥顺当进退自如，
车队向右转弯继续向前。
跟随着君王向梦泽驰去，
大家比赛看看谁后谁先。
君王弯弓搭箭亲自发射，
围猎把青色的犀牛射完。
红亮的太阳承接着黑夜，
时光流逝不会停止不前。
河岸上长满芳香的兰草，
道路已被青青春草遮掩。
春江水清清地向前流淌，
江岸上还有着枫林一片，
站在这里纵目遥望千里，
满目春色使人愁思顿起。
魂魄啊！快回到你的身体，
快回到可爱的江南故居！

（梅桐生　译注）

招隐士一首

刘安

【作者】

《文选》题本篇作者为刘安。王逸《楚辞章句》则认为本篇是“淮南小山之所作也”。又乐府《淮南王辞》，晋崔豹《古今注》，唐吴兢《乐府古题要解》也都说本篇是淮南小山所作。

淮南小山西汉淮南王刘安一部分门客的共称。王逸说，汉初淮南王刘安，爱好文艺，广招天下文士，著作辞赋，这些作品，以类相从，有的称《小山》，有的称《大山》。这样看来，淮南小山也可能是文艺作品的体制名称，或文学团体的称号。

【题解】

王逸认为本篇是“闵伤屈原之作”。王夫之《楚辞通释》认为：“义尽于招隐，为淮南王招致山谷潜伏之士，绝无闵屈子而章之之意。”近人金秬香《汉代词赋之发达》一文认为：“小山招隐，何为而作也？详其词意，当是武帝猜忌骨肉，适淮南王安入朝，小山之徒知谗衅已深，祸变将及，乃作此以劝王亟谋返国之作。”最后一说较为稳妥。

在《楚辞》中，本篇较有特色，篇中很少直接抒情，而刻意描绘形象和极力渲染气氛，来曲折地表达深沉的思绪和情感，是一篇有深远意境的抒情诗。王夫之认为：其可以类附《离骚》之后者，以音

节局度，浏亮昂激，绍楚辞之余韵，非他词赋之比。”

【原文】

桂树丛生兮山之幽，
偃蹇连卷兮枝相缭①。
山气嵬岿兮石嵯峨②，
溪谷嵚岩兮水曾波③。
猿狖群啸兮虎豹嗥，
攀援桂枝兮聊淹留。
王孙游兮不归④，
春草生兮萋萋。
岁暮兮不自聊⑤，
蟪蛄鸣兮啾啾⑥。
坱兮轧，山曲岪⑦，
心淹留兮恫荒忽⑧。
罔兮沕，憭兮栗，虎豹㟧⑨，
丛薄深林兮人上栗。
嵚崟碕礒兮，硱磈磳硊⑩。
树轮相纠兮，林木茷骫⑪。
青莎杂树兮，蕳草靃靡⑫。
白鹿麏麚兮，或腾或倚⑬。
状貌崟崟兮峨峨⑭，
凄凄兮漉漉⑮。
猕猴兮熊罴⑯，
慕类兮以悲。
攀援桂枝兮聊淹留。

虎豹斗兮熊罴咆，
禽兽骇兮亡其曹⑰。
王孙兮归来，
山中兮不可以久留！

【注释】

①偃蹇、连卷：都是屈曲的样子。缭：纠缠。

②岦岭(lóng sǒng 龙耸)：《集注》："云气貌。"云气四起的样子。 嵯峨：高峻的样子。

③崭(chán 蝉)：通"巉"。巉岩。险峻的样子。 曾：通"层"。

④王孙：古代贵族子弟的通称。

⑤不自聊：《通释》："不自聊赖。"指生活或情感上没有依托，心情空虚。

⑥蟪蛄：昆虫名。蝉的一种，夏秋时鸣。

⑦坱、轧：《通释》："山气郁蒸之貌。"形容云气浓厚。 曲岪(fú 弗)：形容山势曲折。

⑧恫：恐惧。

⑨罔、沕：《通释》："疑也。"忧愁疑惑。憭、栗：恐惧战栗。

⑩嶔崟(qīn yīn 亲音)、碕礒(qí yí 齐乙)、硱磈(jūn kuǐ 均傀)、磳硊(zēng wěi 曾委)：都是形容石头各种各样的形状。

⑪树轮：《太平御览》卷九百五十三引作"树轮囷以相纠兮。" 茷骫(fá wěi 伐委)：《集注》："茷木，枝叶盘纡貌。骫，屈曲也。"

⑫虽靡(suǐ 虽一)：《通释》："草卉弥漫，径路绝也。"

⑬麏(jūn 均)：兽名。即獐子。 麚(jiā 夹)：雄鹿。旧注说是雌鹿。

⑭嶮嶮(yìn 音)、峨峨：都是形容鹿角高耸。

⑮凄凄、漇漇(xǐ 洗)：《通释》："毛色濡泽貌。"

⑯罴：马熊。熊的一种。

⑰曹：同类。亡曹，离群。

【译文】

桂树丛生在那深山幽谷，

枝条纠缠树干盘绕弯曲。
山中云气弥漫岩石巍峨，
岩下溪谷泛起层层水波。
猿群声声悲啼虎豹吼叫，
桂树枝上栖息猿猴斑豹。
王孙遨游深山乐而忘归，
春天来了青草生成茂盛。
年齿已老心情空虚无凭，
蟪蛄也一声声啾啾聚鸣。
山势盘旋曲折云蒸雾迷，
心想留下却又惊慌不定。
行经虎豹巢穴忧疑恐惧，
山中草茂林深令人心惊。
山石奇形怪状突兀险峻，
树木盘根错节枝叶茂盛。
林间杂草丛生掩盖路径。
山里白鹿獐子或立或腾。
白鹿头上双角高耸兀立，
它们身上皮毛光滑湿润。
猕猴马熊来往深山老林，
它们思慕同类声声悲鸣。
攀援桂树就在树上安身。
虎豹恶斗马熊横行咆哮，
禽兽闻风丧胆惊惧离群。
王孙啊你还是快快回来，
深山中不可以久久留停！

（梅桐生　译注）

文选全译卷第三十四

七上

七发八首

枚　叔

【作者】

枚乘(？～前140)，字叔，西汉淮阴人。先为吴王濞郎中；吴王反，乘谏不从，乃事梁孝武王武。景帝平七国，召拜弘农都尉，以疾去官，复游梁，后归淮阴。武帝即位，以安车蒲轮征，卒于道，其时为武帝建元元年(前140)。《汉书》有传。乘有集二卷，今仅存辞赋三篇，散文二篇，其中以《七发》及《上书谏吴王》最为著名。《玉台新咏》卷一辑枚乘《杂诗》九首，实乃伪托。枚乘在文学史上以辞赋名，刘勰《文心雕龙·诠赋》："汉初辞人，顺流而作，陆贾扣其端，贾谊振其绪，枚马同其风，王杨骋其势。"枚乘在汉赋的发展上是起了作用的。但若与司马相如同列并论，则嫌褒誉失准。

【题解】

李善曰："七发者，说七事以起发太子也。"它的结构是以"八首"即八段构成，开首一段以吴客探望楚太子疾的叙述为缘起，以下七段用赋体"铺采摛文，体物写志"的笔法，分写音乐、饮食、车

马、游览、田猎、曲江观涛，最后归结到“要言妙道”以启发太子，使之“霍然病已”。嗣后，仿效枚乘《七发》，傅毅作《七激》、崔骃作《七依》、张衡作《七辩》、崔瑗作《七苏》、曹植作《七启》、王粲作《七释》、张协作《七命》、陆机作《七微》，遂形成“七”这样一种文体。刘勰《文心雕龙·杂文》论及“七”体的文体风格曰：“观其大抵所归，莫不高谈宫馆，壮语畋猎、穷环奇之服馔，极蛊媚之声色；甘意摇骨髓，艳词动魂识。虽始之以淫侈，而终之以居正。然讽一劝百，势不自反。”近之论者认为《七发》首尾两段，对贵族公子骄奢淫佚的生活作了深刻的批判，从而很推崇《七发》。其实，把文学朗诵作为一种娱乐方式，当是汉代贵族生活的一方面，《汉书·王褒传》载：“太子体不安，忽忽善忘不乐，诏使褒等皆至太子宫虞侍太子，朝夕诵读奇文及所自造作，疾平复，乃归。”枚乘曾作吴王濞的郎中，《七发》或作于此时，其创作目的，娱悦吴王濞的成份是最主要的。

【原文】

楚太子有疾，而吴客往问之①，曰：“伏闻太子玉体不安，亦少间乎②？”太子曰：“惫，谨谢客③。”客因称曰④：“今时天下安宁，四宇和平；太子方富于年⑤，意者久耽安乐，日夜无极⑥；邪气袭逆，中若结辐⑦。纷屯澹淡，嘘唏烦酲⑧；惕惕怵怵，卧不得瞑⑨；虚中重听。恶闻人声⑩；精神越渫，百病咸生⑪。聪明眩曜，悦怒不平⑫；久执不废，大命乃倾⑬。太子岂有是乎？”太子曰：“谨谢客。赖君之力，时时有之，然未至于是也⑭。”

【注释】

①楚太子：虚拟人物。　吴客：当为枚乘自称。

②伏闻：俯伏听说，为下对上之敬语。　少间：疾病稍微好些。

③惫:困乏之极。 谨:恭敬。表示楚太子对吴客的礼貌。

④因称:乘机进言。

⑤方富于年:李善注:“凡人之幼者,将来之岁尚多,故曰富也。”意指太子年岁正轻。

⑥意者:料想。 耽(dān 丹):迷恋。无极:没有限度。

⑦袭逆:侵犯。 中若结辐(sè 色):中,指胸中。辐,本指车箱间横木交错之处,此处则为“塞”之假借字。 结塞,郁结堵塞。

⑧纷屯澹淡:李善注:“愦耄烦闷之貌。”愦耄,犹言昏愦胡涂。 嘘唏烦酲:同歔欷,叹息声。 烦酲(chéng 呈):内心烦躁,似酒醉未解。酲,饮酒过量而不适。

⑨惕惕怵怵:心神不安貌。 卧不得瞑:犹言惊恐而不能入睡。

⑩虚中:中气虚竭。 重听:听觉不灵。

⑪越渫(xiè 谢):越,散。渫,发。越渫犹言涣散。

⑫聪:听觉。 明:视觉。 眩曜:迷惑昏乱。 悦怒不平:喜怒失常。

⑬久执不废:犹言久病不癒。废:止,去。不废即不止,于病则为不愈之意。

⑭赖君三句:明张凤翼《文选纂注》:“言赖我君之力,使我安乐;如客言者,虽时有之,未至此之甚也。” 君:指国君。

【译文】

楚太子染病,吴客去问候他,说:“听说太子身体欠安,现在稍微好些了吗?”太子说:“还是困乏之极!很感谢你的关心。”吴客乘机进言说:“现时天下安宁,四海和平,太子年岁正轻。我料想太子恐怕是长期迷恋安乐,日夜没有节制;邪气侵袭掠扰,心中郁结堵塞。昏愦烦闷,如病酒呻吟;心神不得安稳,夜卧不得入睡;中气虚竭、听觉失灵,厌恶人声;精神涣散,好象百病齐生。听觉、视觉昏乱,或喜或怒控制极难;长此久病不癒,只恐性命危在旦夕。太子你是否有这样的病呢?”太子说:“谢谢你的关心。托国君的福,我虽然时有不适,但还没有达到你说的这种程度。”

【原文】

客曰："今夫贵人之子，必宫居而闺处①，内有保母，外有傅父②，欲交无所③。饮食则温淳甘脆，腥酸肥厚④。衣裳则杂遝曼煖，燂烁热暑⑤。虽有金石之坚，犹将销铄而挺解也⑥，况其在筋骨之间乎哉⑦？故曰：纵耳目之欲，恣支体之安者，伤血脉之和⑧。且夫出舆入辇，命曰蹶痿之机⑨；洞房清宫，命曰寒热之媒⑩；皓齿娥眉，命曰伐性之斧⑪；甘脆肥脓，命曰腐肠之药⑫。今太子肤色靡曼，四去委随⑬，筋骨挺解，血脉淫濯⑭，手足堕窳⑮。越女侍前，齐姬奉后，往来游宴，纵恣于曲房隐间之中⑯。此甘乎毒药，戏猛兽之爪牙也⑰。所从来者至深远，淹滞永久而不废⑱，虽令扁鹊治内，巫咸治外⑲，尚何及哉！今如太子之病者，独宜世之君子，博见强识，承间语事⑳，变度易意，常无离侧，以为羽翼㉑。淹沉之乐，浩唐之心㉒，遁佚之志，其奚由至哉㉓！"太子曰："诺。病已，请事此言㉔。"

【注释】

①宫居而闺处：居于宫室，处于内院。　闺，宫中小门，此处泛指深宫内院。

②内：指宫内。　保母，即媒姆。　外：指朝廷之上。　傅父，指教育太子的师傅。

③欲交无所：想结交朋友，也无办法。

④温淳甘脆(cùi 脆)：味浓的饮料与甘香可口的食物。　淳：味浓。　脆：同脆。　腥酸肥厚：犹言腥肥酸厚，意为肥肉烈酒。腥(chéng 呈)：肥肉。酸(nóng 浓)：浓烈的酒。

⑤杂遝(tá 踏)。众多。　曼煖；轻柔暖和。　燂烁(xún shuò 旬朔)：炽热。

⑥销铄：熔化。 挺解：分解。

⑦在筋骨之间：指人之身体。

⑧纵：放纵。 欲：享受。 恣：与“纵”同义，放任。 支体：肢体，支同肢。

⑨命曰：名叫。蹶痿(jué 决 wěi 委)：瘫痪。 机：征兆。《吕氏春秋·本生》：“出则以车，入则以辇，务以自佚，命曰伧蹶之机。”

⑩洞房：幽深的房屋。 清宫：阴凉的宫殿。 寒热之媒：引发寒热之病。媒：媒介。张凤翼《文选纂注》：“媒，犹媒妁之媒，言引之即合也。”

⑪皓齿娥眉：美女的代称。 伐性之斧：伤害人的性命的利斧。

⑫甘脆肥脓：指各种美味饮食。 脓：同酗， 腐肠之药：使肚肠腐烂的毒药。

⑬靡曼：细嫩。四支：四肢。委(wěi 威)随：疲弱，不灵活。随：同惰。

⑭淫濯：吕延济曰：“淫濯，不通也。”

⑮堕窳(yǔ 雨)：萎弱无力。

⑯纵恣：放肆。 曲房：即上文之洞房。 隐间：密室。

⑰甘步：甘心去吃。

⑱所从来者深远：身体亏损由来极久。 淹滞：拖延时日。

⑲扁鹊：古代名医，《史记》有传。 内：体内之病。 巫咸：传说中古代的神巫。 外：在体外。治外，即在体外，以祈神之法来祛病。

⑳强识：记忆力强。 承间语事：乘机会贡献意见。

㉑变度易意：改变(太子心中的)念头和意愿。 羽翼：辅佐，助手。

㉒淹沉：沉溺。浩唐：放纵散漫无约束。唐通荡。

㉓放佚之志：放纵的意志。 其奚由至哉：这些又哪里会发生呢！

㉔病已：病愈。 请事此言：照你的话行事。

【译文】

吴客说：“现在贵族的子弟，一定居于宫室，处于内院，内有照料生活的媒姆，外有教习礼仪的师傅，想结交朋友，也无门路。饮食是味浓香甜，肉肥酒烈。衣裳是量多轻柔，炽热得像过夏天。虽有金属、石头般的坚硬，也是要熔化而分解的，何况血肉之躯呢？所以说：放纵眼、耳的享受，放任身体的享乐，势必有伤血脉的调和。况

且出入都乘车轿，这就叫瘫痪的征兆；起居都在深宫，这就会引发寒热病痛；妖艳的美女，这可说是伤害性命的斧钺；美味的酒肉，这可叫腐烂肚肠的毒药。现今太子的皮肤细嫩，四肢不灵，筋骨松弛，血管堵塞不通，手足萎弱无力；越国的美女扶侍在前，齐国的娇娃事奉在后，往来游乐宴饮，放纵情欲在深宫之中。这有如甘心去吃毒药，戏弄猛兽的爪牙。身体的亏损由来已久，拖延时久而不改过，既使让扁鹊来医治，让巫咸来祈祷，又怎么来得及呢？现在象太子这样的病，大概只有请世上的君子，有广博的见识、极强的记忆，乘机贡献意见，改变你心中的主意，而且要经常在你身旁，成为你的辅佐；这样，沉缅享乐，意志涣散，恣意放纵，又怎么会发生呢？"太子说："好。病愈后就照你的话行事。"

【原文】

客曰："今太子之病，可无药石针刺灸疗而已①，可以要言妙道说而去也②，不欲闻之乎？"太子曰："仆愿闻之③。"客曰："龙门之桐，高百尺而无枝，中郁结之轮菌，根扶疏以分离④。上有千仞之峰，下临百丈之溪；湍流溯波，又澹淡之⑤。其根半死半生，冬则烈风漂霰飞雪之所激也⑥，夏则雷霆霹雳之所感也⑦，朝则鹂黄鸱鸱鸣焉⑧，暮则羁雌迷鸟宿焉⑨。独鹄晨号乎其上，鹍鸡哀鸣翔乎其下⑩。于是背秋涉冬，使琴挚斫斩以为琴⑪。野茧之丝以为弦，孤子之钩以为隐⑫，九寡之耳以为约⑬。使师堂操《畅》，伯子牙为之歌⑭。歌曰：'麦秀蔪兮雉朝飞⑮，向虚壑兮背槁槐⑯，依绝区兮临回溪⑰。'飞鸟闻之，翕翼而不能去⑱；野兽闻之，垂耳而不能行⑲；蚊蛎蝼蚁闻之，拄喙而不能前⑳。此亦天下之至悲也，太子能强起听之乎㉑？"太子曰："仆病，

未能也。”

【注释】

①药石：治病的药物。针刺：扎针治疗。 灸疗：烧艾治病。

②要言妙道：中肯而精妙的道理。说(shuì 税)：说服。去：除去疾病。

③仆：自谦之称。

④龙门之桐：龙门山出产的桐树，其质坚细而轻，宜于制琴。龙门山在山西河津县与陕西韩城县之间。 无枝：无分杈。 郁结：积聚。 轮菌：形容树干上之纹理盘曲。 根扶疏以分离：树根在土中向四周伸展而向外扩散。

⑤湍流：急流。遡(sù 素)波：逆流。 澹淡：冲击摇荡。

⑥漂霰：飘洒的雪珠。漂同飘。

⑦感：李善注：“感，触也。”

⑧鹖黄：鸟名，即黄鹖。 鸡鸟(hān 汗 dàn 旦)鸟名。李善注引郭璞《方言注》：“鸟似鸡，冬无毛，昼夜鸣。”

⑨羁雌：失偶的雌鸟： 迷鸟：迷失方向的鸟。

⑩独鹄(hú 胡)：孤独的黄鹄。 鹍鸡：鸟名，像鹤。

⑪背秋涉冬：犹言经历了不知多少岁月。琴挚：人名，以其工于鼓琴，故谓之琴挚。李善注：“《论语》曰：‘师挚之始，《关雎》之乱，洋洋乎哉！’郑玄曰：‘师挚，鲁太师也，以其工琴谓之琴挚。’” 斫斩：指砍伐桐树。

⑫野茧：野蚕之茧。 孤子之钩：孤儿衣带之挂钩。 隐：琴上的装饰。

⑬九寡：春秋时国有九个儿子的寡妇。李善注引《列女传》：“鲁之母师，九子之寡妇也。不幸早失夫，独与九子居。” 珥：耳环。 约：琴徽，琴上指示音阶的标志。张铣曰：“取孤子寡妇之宝而用之，欲其多悲声也。”

⑭师堂：古之乐师，一名师襄，字子京。据《韩诗外传》载，孔子首向此人学琴。 操：奏。 畅：相传是帝尧时的一种琴曲。伯子牙：即伯牙，春秋时以善于鼓琴而著名。

⑮麦秀蒨：麦子抽穗时麦芒尖尖的。 蒨：jiān(夹)，麦芒尖尖状。

⑯向虚壑：(野鸡)飞向空谷。 虚壑：空谷。 背槁槐：离开柘槁的槐树。

⑰绝区：李周翰曰：“绝区，谓危绝之地。”犹言悬崖。 回溪：曲折的溪流。

⑱翕翼：合拢翅膀。

⑲野兽垂耳：野兽耷拉耳朵。此为野兽悲戚之状。

⑳蚑蟜(qí 歧 jiǎo 矫)：爬虫。 蝼蚁：蝼蛄与蚂蚁。拄喙(huì 慧)：张开嘴巴。

㉑至悲：最感动人的悲伤的音乐。 强：勉强。

【译文】

吴客说："现在太子的病，可不用药物、扎针、烧艾来治疗，而可以用中肯精深的道理给您除去疾病，您不想听听吗？"太子说："我愿意听听这些道理。"吴客说："龙门山上的桐树，高达百尺而不分杈，树干中积聚很多盘曲的纹路，树根在土壤中向四周延伸而扩展。上有千仞的高峰，下临百丈的深涧；湍急的逆流冲击摇荡着它。它的根一半已死一半仍活着。冬天寒风、雪珠、飞雪侵凌它，夏天闪电霹雳触击它，早上则有黄鹂鸬鹚在它上面鸣叫，傍晚则有失偶的雌鸟、迷失方向的鸟雀在它上面棲息。孤独的黄鹄清晨在桐树上啼号，鹍鸡在桐树下遨翔悲鸣。就这样经历了不知多少岁月，让琴挚砍伐桐树来制成琴。用野蚕的丝来作琴弦，用孤儿的带钩来作琴的装饰，用养了九个孩子的寡妇的耳环来作琴的琴徽。让师堂弹奏《畅》的琴曲，让伯子牙为他配歌。歌词是："当麦子长出麦芒时，野鸡在早晨飞翔；它飞向空谷，离开枯槁的槐树；它依傍在悬崖上，下临曲折的山涧。"飞鸟听到这歌声，合拢翅膀而不能离开；野兽听到这歌声，耷拉耳朵而不能行走；蚑蟜、蝼蛄、蚂蚁之类的爬虫听到这歌声，张开嘴而不能向前。这是天底下最感人的悲伤音乐。太子能勉强起身来听听吗？"太子说："我有病，不能起身来听啊。"

【原文】

客曰："犦牛之腴①，莱以笋蒲②，肥狗之和③，冒以山肤④。楚苗之食⑤，安胡之饭⑥，摶之不解⑦，一啜而散⑧。于是使伊尹煎熬，易牙调和⑨，熊蹯之臑⑩，勺药之酱⑪，薄耆

之炙[12]，鲜鲤之鲙[13]，秋黄之苏[14]，白露之茹[15]。兰英之酒，酌以涤口[16]；山梁之乡，豢豹之胎[17]；小饭大歠，如汤沃雪[18]。此亦天下之至美也[19]，太子能强起尝之乎？"太子曰："仆病，未能也。"

【注释】

①犊牛：胡绍煐《文选笺证》："牛之少者谓之犊，犹鸟之少者谓之雏。"犊牛即小牛。腴：《说文》："腹下肥者。"此指小牛腹部的肥肉。

②菜：用菜拌和。　蒲：香蒲，嫩叶可食。

③和：调制羹汤。

④冒：铺上、盖上。　山肤：石耳菜。

⑤楚苗之食；李善注："楚苗山出禾，可以为食。""食"与下句之"饭"对称同义。

⑥安胡：一名雕胡，即菰米。

⑦摶（tuǎn 团）之不解：用手团紧，不会散开。此言饭的粘性重。李周翰曰："摶之不解，言粘也。"

⑧一啜（chuò 绰）而散：一吃到口里就化了。此言饭之润滑。李周翰曰："一尝而散，言滑也。"

⑨伊尹：商朝宰相，相传善于烹调。　易牙：春秋时人，以善辩五味而得宠于齐桓公。　煎熬：指烹饪。　调和：调和五味。

⑩熊蹯（fán 凡）：熊掌。　臑（nào 闹）：通胹（ér 儿），烂熟。

⑪勺药之酱：五味调和的酱。勺药：作调和解。

⑫薄耆：把兽类脊上的瘦肉切成薄片。　炙：烧烤。此处作烤肉解。

⑬鲙（huài 快）：鱼片。

⑭秋黄之苏：秋天变成黄色的紫苏。　苏：即紫苏，草药名，可食。

⑮白露之茹：经过秋露的蔬菜。　茹：蔬菜。

⑯兰英之酒：用兰花泡的酒。　酌以涤口：喝一点来漱口。

⑰山梁：《语语·乡党》："山梁雌雉，时哉、时哉！"这时的"山梁"即"雌雉"的代称。　乡：食物。"山梁之乡"犹言野鸡这样鲜美的食物。　豢豹之胎：豢养的豹子肚内的胎仔这样珍贵的食物。

⑱小饭大歠(chuò 绰):少吃饭,多喝粥。饮、喝。 如汤沃雪:如沸水浇在雪上一样。此言极容易吞咽消化。

⑲至美:最美味的饮食。

【译文】

楚客说:“煮熟小牛腹部的肥肉,用笋子和香蒲来拌和;用肥狗肉熬的汤来调和,再铺上石耳菜。用楚苗山的稻米做饭,或是用菰米做饭,这样的饭粘性极好,团紧就不会分开,但一入口即化。于是让伊尹掌杓烹饪,让易牙调和五味,熊掌煮得烂熟,再拌以五味调和的酱,把兽脊上的肉切成薄片制成烤肉,鲜活的鲤鱼切成鱼片,佐以秋天变黄了的紫苏,经秋露的蔬菜。用兰花泡的酒,喝一口来嗽口。再后就吃野鸡这样鲜美的食物,和家养的豹子的胎仔这样的珍馐。少吃些饭,多喝些粥,这犹如沸水浇在雪上一样,是极容易消化的。这也是天底下最美味的饮食了,太子能勉强起身来尝尝吗?”太子说:“我有病,不能啊。”

【原文】

客曰:“钟岱之牡①,齿至之车②。前似飞鸟,后类距虚③。穊麦服处,躁中烦外④。羁坚辔,附易路⑤。于是伯乐相其前后⑥,王良、造父为之御⑦,秦缺、楼季为之右⑧。此两人者,马佚能止之,车覆能起之⑨。于是使射千镒之重⑩,争千里之逐⑪。此亦天下之至骏也⑫。太子能强起乘之乎?”太子曰:“仆病,未能也。”

【注释】

①钟岱:春秋时赵国之地,以产马著名。“岱”应作“代”。牡:雄性,此指雄马。

②齿至之车:此言用年齿适中的马驾车。 齿至:指马之年齿适中。

③“前似”两句：此言驾车之马，跑在前头的象飞鸟，跑在后面的象距虚。飞鸟：骏马名。李善注引黄子曰：“骏马有晨风、黄鹄，皆取鸟名马，言走疾若飞也。” 距虚：兽名。《急就篇》：“豹狐距虚豺犀兕。”注“距虚，即蛩蛩也，似马而有青色。”

④穱(zhuō 捉)麦服处：李善注：“以穱麦分剂而食马。”穱麦：早熟的麦子。 躁中烦外：此言马喂肥后，性子急躁，亟欲奔驰。

⑤羁坚辔：套上坚牢的辔头。 附易路：沿着平坦的道路(奔跑)。 附：遵循、沿着。 易路：平坦之道。

⑥相其前后：观察，评品此马的头，尾部。

⑦王良：春秋时晋国大夫，为赵简子御马，亦称师良。 造父：周穆王的御者，首驾八骏载周穆王西游。事见《穆天子传》。

⑧秦缺、楼季：皆为古代勇士。为之右：做车右的侍卫。

⑨马佚句：马如惊狂时，能把马止住。佚，同逸，马受惊而发狂。 车覆句：车翻了，可以把车扶起。

⑩射：打赌。 镒：银二十四两为一镒。此句意为马行极快，可用此马同别人打赌，虽下千镒的赌注也能获胜。

⑪争：竞赛。 逐：奔跑。此句意为用此马同别人竞赛，虽千里的长途，也能占先。

⑫至骏：最好的骏马。

【译文】

楚客说：“钟代一带出产的雄马，年齿适当时用来驾车。跑在前头的象飞鸟，跑在后面的象距虚。用早熟的麦子按量喂它，使它的性子急躁起来，就急想奔驰。这时给它系上坚牢的辔头，沿着平坦之路奔跑。于是让伯乐前后仔细地察观，让王良，造父来作车夫，让秦缺、楼季这样的勇士做车右的侍卫。秦缺、楼季这两个人，在马受惊而发狂时能把马制伏，车翻了，能把车扶起。用此马去同别人打赌，虽然下了千镒重的赌注，也能获胜；用此马同别人竞赛，虽然在千里的长途上奔跑，也能占先。这就是天底下最好的骏马了。太子能勉强起身去骑它吗？”太子说：“我有病，不能啊。”

【原文】

客曰："既登景夷之台①，南望荆山②，北望汝海③，左江右湖④，其乐无有⑤。于是使博辩之士，原本山川，极命草木⑥，比物属事，离辞连类⑦。浮游览观⑧，乃下置酒于虞怀之宫⑨。连廊四注⑩，台城层构，纷纭玄绿⑪，辇道邪交⑫，黄池纡曲⑬。溷章白鹭，孔鸟鹍鹄，鹓鸹鸡鹊⑭，翠鬣紫缨⑮。螭龙德牧⑯，邕邕群鸣⑰。阳鱼腾跃⑱，奋翼振鳞⑲。滱漻莠蓼，蔓草芳苓⑳。女桑河柳，素叶紫茎㉑。苗松豫章，条上造天㉒；梧桐并闾，极望成林㉓；众芳芬郁，乱于五风㉔；从容猗靡，消息阳阴㉕。列坐纵酒，荡乐娱心㉖。景春佐酒，杜连理音㉗。滋味杂陈，肴糅错该㉘。练色娱目，流声悦耳㉙。于是乃发《激楚》之结风，扬郑卫之皓乐㉚。使先施、征舒、阳文、段干、吴娃、闾娵、傅予之徒㉛，杂裾垂髾㉜，目窕心与㉝。揄流波，杂杜若㉞，蒙清尘，被兰泽，嫵服而御㉟。此亦天下之靡丽，皓侈广博之乐也㊱。太子能强起游乎？"太子曰："仆病，未能也。"

【注释】

①景夷之台：即景夷台。近人考得此台在今湖北省监利县北。见王文濡《〈古文辞类纂〉音注》。

②荆山：王文濡《〈古文辞类纂〉音注》曰："疑即猎山，当在湖南华容县境，若荆山，则在湖北漳县西，不得云南望也。"

③汝海：即汝水，源出河南嵩县，东南流入淮河。李善注："汝称海，大言之也。"

④江：长江。　湖：洞庭湖。

⑤无有：张凤翼《文选纂注》："无有者，言无有过之者。"

⑥博辩之士：博学而善辩之人。 “原本”、“极命”两句：“李周翰曰：“言使博学辩辞之士，陈说山川之原本，尽名草木之所出。”意谓考订山川的本原和草木的名称。

⑦比物属事：将事物排列归纳起来。比：排列。属：归纳。 离辞连类：（将排列归纳的事物）编成文辞，按类相连。离：同丽，连缀。

⑧浮游览观：往还来回地观赏。 浮游：吕延济曰：“浮游，犹徘徊。”

⑨虞怀之宫：宫名，所在未详。

⑩连廊四注：宫殿前的回廊四面相连。注：连、通。

⑪台城：城楼上筑有台称为台城。 层构：重迭。 纷纭：多而盛貌。此处作缤纷解。 玄绿：深绿，用以形容台城的颜色。

⑫辇道：行驶车辇的大道。 邪交：纵横交错。邪通斜。

⑬黄池：黄即潢的省文。潢池：围绕城墙的积水池，今名护城河。 纡曲：曲折。

⑭溷章：溷通混。混章：李善注：“鸟名，未详。”翟蜕园《汉魏六朝赋选》注为“水边的翠鸟。” 孔鸟：孔雀。“五臣本”作“孔雀”。 鹍皓（kūn hú 昆胡）：鸟名。一说：“鹍”为“鹍鸡”，“皓”为“鸿”，非也。此处六鸟并列，断不会将“鹍皓”剖为二鸟。 鵷鸠（yuān chú 鸳除）：一种高冠彩羽的珍禽。 鸡鹊（jiāo jīng 交京）：赤头鹭。

⑮翠鬣紫缨：绿色的头毛，紫色的颈毛。鬣（liè 劣）、缨：李善注：“鬣，首毛也。缨，颈毛也。”

⑯螭（chī 吃）龙：螭为雌龙，龙为雄龙。这里借指鸟之雌雄。 德：背上的花纹。 牧：腹部的花纹。

⑰邕邕：众鸟合鸣之声。

⑱阳色：李善注：“曾子曰‘鸟鱼皆生于阴，而属于阳。’”

⑲奋翼振鳞：北京大学中文系《西汉文学史参考资料》：“‘翼’疑指鱼鳍。此写鱼在水中游走之状。”

⑳滚谬（jī liáo 寂辽）：清净的水。 荐（chóu 仇）：藉草。 蓼（liǎo 料）：水草。李善谓此句意为：“言水清净之处生荐蓼二草。” 芳苓：莲花。李善注：“苓，古莲字也。”

㉑女桑：柔嫩的小桑树。 河柳：河边的小杨树。 素叶：叶色单纯。此指女桑。紫茎指河柳之茎为紫色。

㉒苗松：苗山之松。 豫章：樟树。 条：树枝。 造：至、达到。

㉓并闾：亦作栟榈，即棕榈树。

㉔众芳：指上述草木之香气。 芬郁：浓郁。 五风：有三解：一、李善注："异色也。"二张凤翼《文选纂注》："宫、商、角、徵、羽之风也。"意为五方之风。三、胡绍瑛《文选笺证》用王引之说，以为五风即五音。此句意为众芳之香气为五风所乱，则不宜颜 色、声音解之，故张说为是。

㉕从容：指树木在风中呈现的从容姿态。 猗靡：指树木在风中飘摇不定。 消息：消，灭；息，生。消息因而引申为隐现。 阳阴：指叶的正反两面。

㉖荡乐：恣意作乐。 娱心：使心欢悦。

㉗景春：战国时的纵横家。此言用善于辞令之人来侍宴。 杜连：一名田连，古之善弹琴者。 理音：犹言奏乐。

㉘滋味：犹言各种美味。《说文》："滋，益也。" 益，犹今之多也。 肴糅：各种肉肴。"杂陈"与"错该"义同，犹言非常齐备地错杂摆列。

㉙练色：经过精选的美色。 流声：流利的声音。李善注："埤苍曰：'练，择也。'"

㉚《激楚》：歌曲名。 结风：迅急之风。这里形容《激楚》的迅急音调。郑卫：李善注："许慎曰：'郑卫，新声之所出国也。'" 皓乐：李善注："善倡也。"倡同唱。善唱即悦耳动听的音乐。

㉛先施句：李善注："皆美女也。"疑非。张云璈《选学胶言》："窃谓此七人中，必是杂举男女之美者，以侈陈游宴之乐，淳于髡所云'男女杂坐'是也。"张说近是。

㉜杂裾：各种色彩的衣裙。垂髾（shāo 烧）：发髾后垂，呈燕尾形。

㉝目窕：用眼色挑逗。 心与：以心相许。

㉞揄流波二句：有二解。李善注："言引流波以自洁，杂杜若以为芳。"张铣曰："谓目之光若引水之波；杜若，香草也，其衣之香与此相杂。"李说近是。

㉟蒙清尘：身上如披上一丑薄雾。 被兰泽：擦上芳香的兰膏。嫌服：嫌同燕。燕服则燕居（闲居）之服，犹今言便服。 御：侍奉。

㊱靡丽：奢侈华丽。 皓侈：豪华。 博广：盛大。 乐：宴乐。

【译文】

吴客说："登上景夷台，向南远眺荆山，向北远眺宽阔的汝水，

左面是长江，右面是洞庭湖，这种登临之乐，真是没有可比的了。于是让博学的辩士，考订山川的本原，尽数草木的名称，并把它们排列归纳，连缀成文，按类相连。往还观赏之后，下台到虞怀宫摆设酒宴。这里，宫殿前的迴廊四面相连，台城重迭，色泽深绿，一片缤纷，车道纵横交错，护城河迂回曲折。养的混章、白鹭、孔雀、鹞胡、鹅鸹、鸡鹊之类的鸟，或冠毛翠绿、颈毛姹紫，或雌雄并棲、腹背皆有美丽的花纹，众鸟合鸣，发出邕邕之声。清净的水里，鱼儿翻腾跳跃，张开背鳍，抖动鳞片。清净的水里，或水边，长满藉草、水蓼、蔓草、莲花。柔嫩的小桑树与河边的小杨树，或叶色单一，或茎杆赤紫。松树、樟树，枝条高达天际；梧桐、棕榈，远远望去，蔚成森林；草木香气浓郁，被五方之风吹散而飘远；树木在风中，或从容、或摇曳，树叶正反两面，在风中或隐或现。宾客们依次入宴，纵情饮酒，恣意作乐，心情何等欢悦。让景春那样善于辞令之人来劝酒，让杜连那样善于弹琴的人来奏乐。宴席上，各种美味交替陈列，各种肉肴错杂齐全。精选的美色多么悦目，流利的声音多么悦耳。然后引发《激楚》迅急音调，高唱郑卫一带所作的悦耳动听的乐歌。再让先施、征舒、阳文、段干、吴娃、闾娵、傅予那样的俊男美女，穿着各种色彩的衣裙，梳成燕尾形的发髻，彼此眼神挑逗、以心相许。这些俊男美女引流水洗身，衣内挟着杜若这样的香草，身上如披上一层薄雾，脸上再擦上兰膏，穿着便服来侍奉。这也是天底下最奢侈华丽、豪华、盛大的宴乐了。太子能勉强起来游乐吗？”太子说：“我有病，不能啊。”

【原文】

客曰：“将为太子驯骐骥之马①，驾飞轮之舆②，乘牡骏之乘③。右夏服之劲箭④，左乌号之彫弓⑤。游涉乎云林⑥，周驰乎兰泽⑦，弭节乎江浔⑧，掩青苹，游清风⑨。陶阳气，荡

春心⑩。逐狡兽，集轻禽⑪。于是极犬马之才，困野兽之足，穷相御之智巧⑫。恐虎豹，慴鸷鸟⑬。逐马鸣镳，鱼跨麋角⑭。履游麕兔，蹈践麋鹿⑮。汗流沫坠，冤伏陵窘⑯。无创而死者，固足充后乘矣⑰。此校猎之至壮也⑱。太子能强起游乎？"太子曰："仆病，未能也。"然阳气见于眉宇之间，侵淫而上，几满大宅⑲。

【注释】

①骐骥：骏马。驯：训练。

②飞轮(líng 铃)之舆：轻便的猎车。车上有窗，车前有铃。李善注引郑玄曰："如今窗车也。"

③乘牡骏之乘：北大中文系《两汉文学史参考资料》："据王念孙、胡绍瑛考证，'牡'是'壮'字之误。"壮：《广雅》："壮，健也。"即矫健。 骏：骏马。此句中前一个"乘"，动词，乘坐。后一个"乘"，名词，车。

④夏：夏后氏。 服："箙"之假借字，箭囊。

⑤乌号之彫弓：相传为黄帝使用的良弓。彫弓：弓之两端有彩饰之弓。彫：同雕。

⑥游涉：漫步。 云林：云梦泽之林中。云梦泽是楚国一塊极大的沼泽地带，地在湖北安陆县南至湖南华容县北。

⑦周：匝：此处作围绕解。 兰泽：生有兰草之洼地。

⑧弭(mí 迷)节：缓步行走。 江浔：江边。

⑨掩：李善注引《方言》曰："奄，息也。""掩"同"奄"。 "青苹"应作"青蘋"，草名。 蘋：fán(烦)。游："五臣"作"遡"。上文已有"游乎云林"之句，此处不当作"游"，"五臣"说是。 遡：向，迎着。

⑩陶阳气二句："陶"作"畅"解；"荡"作"涤"解，犹言清洗。"阳气"：李善注："阳气，春也。"春心：春日的感伤心情。《楚辞·屈原·招魂》："目极千里兮伤春心。"此二句意谓：在春日出外射猎，春天的气息使人舒畅，荡涤尽心中的感伤情绪。

⑪逐狡兽：追逐狡黠的野兽。 集轻禽：李善注："言射而矢集于轻禽也。"

意谓许多枝箭都射中了轻捷的飞鸟。

⑫极犬马之才：让猎犬骏马竭尽追逐奔跑的能力。 困野兽之足：使野兽被追逐得足力困乏。 穷相御之智巧：犹言让向导与车夫都竭尽才智技巧。相：《尔雅·释诂》："相，道也。""道"同"导"，即射猎时的向导。

⑬慴(zhě 哲)：畏惧。 鸷鸟：凶悍的鸟。"恐"与"慴"皆用如使动。

⑭逐马：奔驰之马。镳(biāo 标)：马衔。鸣镳意即马衔上所系之铃发出鸣响。 鱼跨：李周翰曰："鱼跨谓入于水。"意谓游鱼受惊吓而潜入水中。 麋角：似言麋鹿受惊吓而跳越角相碰撞。

⑮履游：犹言脚踩。 麕(jūn 君)：即麈。 蹈践：践踏。麋(jīng 京)：大鹿。

⑯汗流沫坠：汗流于身而口沫下坠，盖言被逐之野兽奔驰劳苦之状。冤伏陵窘：禽兽四处躲藏而窘迫已极。

⑰无创：没有创伤。 后乘：随从的车辆。

⑱校猎：设栏围猎。校：用木栏遮拦禽兽叫"校"。至壮：最雄伟壮观的景象。

⑲阳气：喜色。眉宇：眉额。侵淫：逐渐。大宅：脸部。

【译文】

吴客说："准备为太子训练骐骥一样的良马，驾上轻便的猎车，你乘坐在矫健的骏马拉的车上。右边带着盛在夏后氏箭囊中的箭，左边带着黄帝使用的乌号弓。到云梦泽的丛林中漫步，围绕生有兰草的洼地驰骋，到江边然后缓步行进。来到青蘋草地休息，迎面吹来阵阵清风。春天的气息使人陶醉，荡涤尽心中的感伤情绪。然后追逐狡黠的野兽，射中轻捷的飞鸟。让猎犬骏马尽其追逐奔跑的能力，使野兽被追逐得足力困乏，向导与车夫都竭尽其才智技巧。虎豹惶恐，猛禽畏惧。奔驰的骏马，马衔上的铃铛发出阵阵鸣响，惊吓得游鱼潜入水中，惊吓得麋鹿跳越而角相碰撞。脚踩麕子兔子，践踏大鹿小鹿。这些野兽汗流于身而口沫下坠，四处躲藏而窘迫已极。没有创伤而吓死的，已足够装满随从的车辆了。这就是最雄伟壮观的田猎。太子能勉强起身去田猎吗？"太子说："我有病，不能

啊。”然而太子的喜色从眉额之间，渐渐溢出，几乎布满整个面部。

【原文】

客见太子有悦色，遂推而进之曰①：“冥火薄天②，兵车雷运③。旍旗偃蹇④，羽毛肃纷⑤。驰骋角逐，慕味争先⑥。徼墨广博⑦，观望之有圻⑧。纯粹全牺，献之公门⑨。”太子曰：“善，愿复闻之⑩。”

【注释】

①推而进之：推进一步。

②冥火：黑夜里烧的篝火。　冥：夜。　薄：近。

③雷运：像雷声一样滚动。

④旍(jīng 晶)旗：即旌旗。　偃蹇，(yǎn jiǎn 眼检)：高举。

⑤羽毛：指旌旗上装饰的鸟羽及牛尾。　肃纷：整齐而花色纷繁。

⑥驰骋句：指打猎的人飞奔追逐。　慕味句：人人贪得美味而奋勇争先。

⑦徼：同“邀”，拦捕。　墨：烧田。古人捕捉禽兽，往往纵火除地，叫烧田。此句意谓拦捕野兽而焚烧的野地很广阔。

⑧圻：(yín 银)，边界。此句意谓虽然野地广阔，而借着火光，可以望到边界。

⑨纯粹句：此句意为毛色纯粹肢体完整的猎物。　公门：诸侯之门。

⑩善：好。此指楚客之话说得好。

【译文】

吴客见太子面有喜色，就更进一步说：“夜里篝火照天，兵车运行，如雷声滚动。旌旗高举，装饰在旌旗上的鸟羽和牛尾，整齐而色彩纷繁。打猎的人飞奔追逐，个个因贪得美味而奋勇争先。为拦捕野兽而焚烧的野地很广阔，便借着火光，可以望到广野的边界。打猎归来，将那些毛色纯粹、肢体完整的猎物敬献给侯门。”太子说：“你说得好。我愿意听你再说下去。”

【原文】

客曰："未既①。于是榛林深泽②，烟云阗莫③，兕虎并作④。毅武孔猛⑤，袒裼身薄⑥。白刃磑磑⑦，矛戟交错⑧。收获掌功⑨，赏赐金帛。掩苹肆若⑩，为牧人席⑪。旨酒嘉肴，羞炰脍炙⑫，以御宾客⑬。涌触并起，动心惊耳⑭。诚必不悔，决绝以诺⑮。贞信之色，形于金石⑯。高歌陈唱，万岁无斁⑰。此真太子之所喜也，能强起而游乎？"太子曰："仆甚愿从，直恐为诸大夫累耳。"然而有起色矣。

【注释】

①既：尽，完。

②榛(zhēn 针)林：丛林。

③烟云：此指雾气。　阗莫：阗同暗。莫："五臣"作"漠"。暗漠：阴暗。

④兕(sì 似)：兽名，或谓独角野牛，或谓雌犀。　并作：一起出现。"作：起。引申有出现之意。

⑤毅武：刚毅的武士。　孔猛：非常勇猛。　孔：甚。　袒裼(tán xī 坦习)，赤身；袒：赤膊。裼：赤裸上身。《孟子·公孙丑》："袒裼裸裎于我侧。"　身薄：空手搏取野兽。薄，同搏。

⑦白刃：锋利的刀子。　磑磑：刀光闪耀。磑同皑。

⑧矛：有尖刃的长杆兵器。　戟：有钩的长杆兵器。

⑨掌功：记录功劳。

⑩掩：覆盖。　苹：此处仍应作"蘋"。　肆：铺陈。此句意谓在蘋草的草地上铺设席位，并把杜若香草陈设好。

⑪牧人：官名。《周礼》有牧人之职，专管在四野中放牧牲畜。此处指参加射猎的官吏。

⑫旨酒：美酒。　羞：有滋味的食物。　炰(páo 庖)：烹煮的食物。　脍炙：烧烤的肉。

⑬御：款待。

⑭涌触："触"，"五臣"作"觞"。涌觞：把酒斟满杯子。 并起：一同起立。 动心惊耳：形容欢呼声之响亮。

⑮诚：中诚。 必：果决，说一不二。 决绝：坚决。 以诺：同"已诺"，已经许诺的事。

⑯贞言之色：忠实可靠的表情。 形于金石：象镂刻在金石上一样。

⑰陈唱：公开地歌唱出来。 无斁（yì 意）：毫不厌倦。此二句意谓：左右宾客高歌万岁，久久不厌。

【译文】

吴客说："射猎之事还未完呢。此时，莽莽丛林，深深沼泽，雾气笼罩，昏暗如墨，兕虎一齐出没。刚毅的武士，甚是勇猛，赤身与猛兽搏斗。锋利的刀子寒光闪烁，长杆的矛戟挥舞交错。获取猎物，按数计功，赏赐金银与绢帛。在地上，铺上杜若香草，为庆贺射猎的官吏摆设宴席。美酒佳肴，举凡美味、烹煮、生冷、烘烤的食物应有尽有，这些全用来款待宾客。大家把酒斟满杯，一同起立欢呼，语言入耳动心。一个个忠诚果决，语出不悔。他们对太子忠实可靠的表情，仿佛深深镂刻在金石上。左右宾客高歌万岁，长久不倦。这才是太子真正喜欢的事啊，太子能勉强起身去参加游乐吗？"太子说："我很愿意跟从大家去，只恐牵累大家罢了。"然而太子的病看来已有好转。

【原文】

客曰："将以八月之望①，与诸侯远方交游兄弟，并往观涛乎广陵之曲江②。至则未见涛之形也③；徒观水力之所到，则邮然足以骇矣④。观其所驾轶者⑤，所擢拔者⑥，所扬汨者⑦，所温汾者⑧，所涤汔者⑨，虽有心略辞给⑩，固未能缕形其所由然也⑪。怳兮忽兮，聊兮慄兮⑫，混汨汨兮⑬。忽兮慌兮⑭，俶兮儻兮⑮，浩瀇涬兮⑯，慌旷旷兮⑰。秉意乎南

山，通望乎东海[18]。虹洞兮苍天[19]，极虑乎崖涘[20]。流揽无穷，归神日母[21]。汩乘流而下降兮，或不知其所止。或纷纭其流折兮，忽缪往而不来[22]。临朱汜而远逝兮，中虚烦而益怠[23]。莫离散而发曙兮，内存心而自持[24]。于是澡概胸中，洒练五藏，澹澉手足，颓濯发齿[25]。揄弃恬怠，输写淟浊[26]，分决狐疑，发皇耳目[27]。当是之时，虽有淹病滞疾，犹将伸伛起躄[28]，发瞽披聋而观望之也[29]，况直眇小烦懑[30]、酲酢病酒之徒哉！故曰：发蒙解惑，不足以言也[31]。”太子曰：“善！然则涛何气哉[32]？”

【注释】

①望：阴历每月的十五。

②交游：朋友。广陵：李善注：“《汉书》：‘广陵国，属吴也。’”然其地所在未详。清汪中《广陵曲江证》，以广陵为扬州。曲江：长江。

③涛之形：江涛的形状。

④邮（xù 序）然：惊恐状。

⑤其：此指水力。　驾轶（yì 意）者：后车超越前车。　超越。此处犹言所陵驾的。

⑥擢拔者；高耸拔起的。擢（zhuó 酌）拔起。

⑦扬汩（gǔ 古）者：激荡的。

⑧温汾者：结聚的。

⑨涤汔（qì 迄）者：冲刷的。

⑩心略：心智、智慧　辞给：辞辩，言辞有辩才。

⑪缕形：详尽细腻地描述。　所由然：犹言自始至终。　“心略”、“国未能”二句意谓：对于江涛的种种形状，虽然心中有智慧，言辞有辩才，也不能自始至终详尽细腻地形容出来。

⑫怳兮忽兮：即恍恍惚惚，怳同恍。此指江涛无际，望不真切。　聊兮慄兮：即聊慄，惊惧状。

⑬混汩汩兮：混：许多浪头合到一起。　汩汩：波浪声。

⑭忽兮慌兮：即惚慌，亦恍惚之义。

⑮俶兮傥兮：即俶傥(tì tǎng 涕倘)与倜傥同义，这里作突出解。

⑯浩：大。濊漾(wǎng yǎng 往养)：水势巨大。

⑰慌旷旷兮：慌，指江涛汪洋一片。旷旷，空阔无边。

⑱秉意：执意，犹言集中注意力。秉：执。 南山：指江涛之发源地。 通望：犹言一直望到。 东海：指江涛之所归处。

⑲虹洞兮苍天：此言江涛汹涌，与天相连。虹为洪(hòng 哄)的假借字。洪洞：混然一片，上下相连之貌。

⑳极虑：原指竭尽智虑。此处指观涛者极目远望。崖涘(sì 四)：边际。

㉑归神：集中注意力。日母：李善注："《春秋内事》云：'日者，阳徒之母。'"此指东方日出之处。

㉒或给纭句：李善注："言众浪纷纭，其流曲折。" 缪(móu 谋)：缠结。往：水向上游逆行。 来：顺流而下。"忽缪往"句意谓：潮水忽然纠缠错杂起来，向上逆流而不见其返回。

㉓朱汜：李善注："朱汜，盖地名。未详。"刘良曰："朱汜，南方水涯也。"两说皆通。此处依刘说。 中：心中。 虚烦：空虚烦躁。

㉔莫离散句：姚鼐《古文辞类纂》："'暮离散'者，晚潮去也；'发曙'者，早潮来也。"莫通暮。 "内存心"句，意谓：观涛者对江涛的印象极深，念念不忘。

㉕澡概胸中：胸中同经过浸洗一样。 澡，浸洗。概同溉，亦洗涤之意。洒练五藏：五脏都仿佛经过一番洗汰。洒：古洗字。练：汰。藏同脏。 澹澉手足：洗涤手足。澹澉(gǎn 敢)与下文之"颓(huì 惠)濯"皆为洗涤之义。

㉖揄：扬弃，驱除。 恬怠：犹言懒散。 输写：排除。写同泻。 渙浊：指身体中的污秽之物。渙：tiǎn(舔)。

㉗分决狐疑：此指观涛后，对心中所存困惑之事，就能分辨是非而决定取舍了。 发皇耳目：使耳目清新、开朗。 发皇：清明。

㉘淹病滞疾：缠绵日久的疾病。 伸伛：将驼背伸直。伛(yǔ 雨)：驼背。起躄(bí 毕)：抬起跛脚。

㉙发瞽披聋：张开盲眼，竖起聋耳。"发"、"披"皆作"开"解。

㉚直：只，仅仅。 眇小：小病。 烦懑：烦闷。

㉛发蒙：启发愚蒙。犹言使头脑清醒。 不足以言：用不着说了。

㉜何气：是一种什么样的气象。

【译文】

吴客说："将在八月十五，我们与诸侯及远方来的朋友、兄弟，一起到广陵观看长江的浪涛。刚到时还未见江涛的形状，但只见水力所到之处，就足以使人恐惧而吃惊。眼见水力所陵驾的，所拔起的，所激荡的，所结聚的，所冲刷的种种形状，虽然心有智慧，言有辩才，但仍不能自始至终详尽细腻地形容出来。江涛初起时的江面，浩荡无垠，望不真切，但已令人惊悸不已，既而随着汩汩的涛声，许多浪头滚滚而来，正在人们恍恍惚惚之时，忽然巨涛拔起，声势浩大，江涛翻涌，茫茫一片，空阔无边。此时，集中注意力看那江涛起源的南山，再一直望到江涛所归之东海，浩瀚江面，波涛汹涌，与天相连，纵然是极目远望，也难看到它的边际。再回望四周，观赏无穷的江涛之景，最终集中注意力于东方日出之处，江涛 迅疾地随着江流直向下游泻去，真不知止于何处。江涛忽而纠缠错杂起来，向上游逆行而不见其返回。江涛向着南岸冲去然后消失，使人心神紧张，并有些倦怠。气势宏大的晚潮刚去，同样气势宏大的早潮又来，让人对江涛的印象极深，念念不忘。这时，人们心中受到荡涤，五脏受到冲洗，再将手足、头发、牙齿清洗，扬弃懒散，排除身上的污秽，心中的困惑已然分明，耳目全然一新。这里纵然是久疾缠身之人，也要伸直驼背，抬起跛脚，张开盲眼，竖起聋耳来观看江涛了，何况是小病、烦闷、沉醉病酒之人呢？所以说，观涛可以使人头脑清醒，解除困惑，这本来就用不着再细说了。"太子说："你说得很好！但是，江涛是一种什么样的气象呢？"

【原文】

客曰："不记也。然闻于师曰，似神而非者三①；疾雷闻百里；江水逆流，海水上潮；山出内云，日夜不止②。衍溢漂疾③，波涌而涛起。其始起也，洪淋淋焉④，若白鹭之下翔。

其少进也，浩浩溰溰[5]，如素车白马帷盖之张[6]。其波涌而云乱，扰扰焉如三军之腾装[7]。其旁作而奔起也[8]，飘飘焉如轻车之勒兵[9]。六驾蛟龙，附从太白[10]。纯驰浩蜺，前后骆驿[11]。颙颙卬卬，椐椐强强，莘莘将将[12]。壁垒重坚，沓杂似军行[13]。訇隐匈礌，轧盘涌裔，原不可当[14]。观其两傍，则滂渤怫郁，阊漠感突，上击下律[15]。有似勇壮之卒，突怒而无畏，蹈壁冲津[16]，穷曲随隈，逾岸出追[17]。遇者死，当者坏[18]。初发乎或围之津涯，荄轸谷分[19]。回翔青篾，衔枚檀桓[20]，弭节伍子之山，通厉骨母之场[21]。凌赤岸，簪扶桑[22]。横奔似雷行，诚奋厥武，如振如怒[23]。沌沌浑浑，状如奔马。混混庉庉，声如雷鼓[24]。发怒庢沓，清升逾跇[25]，侯波奋振，合战于藉藉之口[26]。乌不及飞，鱼不及回，兽不及走。纷纷翼翼[27]，波涌云乱。荡取南山，背击北岸，复亏丘陵，平夷西畔[28]。险险戏戏，崩坏陂池，决胜乃罢[29]。沛汩潺湲，披扬流洒[30]，横暴之极。鱼鳖失势，颠倒偃侧，沈沈湲湲，蒲伏连延[31]。神物怪疑，不可胜言，直使人踣焉[32]，洄阊凄怆焉[33]。此天下怪异诡观也[34]，太子能强起观之乎？”太子曰：“仆病，未能也。”

【注释】

①不记：没有记载。 似神而非者三：江涛看去似有神助而其实并非神力所致的特点有三个。

②疾雷：言涛声如聚然而发之响雷。 上潮：指潮头逆行而上扬。 出内：即出纳，吞吐也。内通纳。

③衍溢：平满。 漂疾：急流状。

④洪淋淋焉：指初起的潮水，象山洪淋淋下泻。

⑤浩浩溰溰：浩浩荡荡，白茫茫一片。溰同皑。

⑥帷帐之张：撑开帷帐。

⑦云乱：言波涛翻涌，如云一样纷扰。 腾装：整束装急行。

⑧旁作：潮头从旁掀起。 奔起：指潮向上翻滚。

⑨轻车：轻便的战车。 勒兵：指挥军队。勒：部署，控制。

⑩六驾蛟龙：六条蛟龙驾的车。 附从：跟随。 太白：河神。李善注引许慎曰："冯迟、太白，河伯也。"

⑪纯驰句："纯"通"屯"。屯驰谓或屯或驰，犹下句"先后"之义。 蜺：高。浩蜺：高大貌。 络驿：连续不断绝貌。此二句意谓：江涛巨大，或屯驻不行，或急驰不止，而又连续不断，或前或后。

⑫颙颙（yóng 荣）卬卬（áng 昂）：形容波涛之高。 椐椐强强：形容波涛前后相继。 莘莘将将：形容波涛互相冲击。

⑬重坚：重迭而坚固。 沓杂：众多貌。 军行：军队的行列。

⑭訇（hōng 轰）隐匈磕（gài 盖）：波涛轰轰之声。 轧盘涌裔：形容波涛汹涌沸腾而无边无际。

⑮滂渤：指水势受阻而有郁结。怫郁：指人的内心有所郁结。此处连用，似言波涛激怒翻滚。 感突：犹言左冲右突。

⑯上击下律：上击言波涛上升，如被物所击。 下律："律"，"五臣本"作"硉"。硉：从高处推石而下。此句意指波涛势猛而声音巨大。

⑯突怒：奔闯发怒。 蹈壁冲津：冲击营垒抢占渡口。

⑰穷曲随猥：遍及江湾曲折之处。 逾岸出追：越过江岸，漫过沙堆。追：古"堆"字。

⑱当者坏：言阻挡江涛的都要崩溃。

⑲或囿：地名，今无所考。 津涯：水边。 荄轸谷分：言江涛遇到山陇或川谷而回转分流。"荄"与"陔"通，山陇也。轸（zhěn 诊）：转动。

⑳回翔：盘旋缓流。 青篾：地名。 衔枚：古代行军时，士兵与马口中皆衔一木筷，以免喧哗。此处喻江涛之突然无声。 檀桓：地名。

㉑弭节：停车。 伍子之山：山名，因纪念伍子胥而得名。 通厉：远行。骨母：即胥母。吴国地名，在江苏省。"骨"为"胥"之误字。

㉒凌：侵逼。 赤岸：地名。一说在广陵附近。而李善注："似在远方，非广陵也。""赤岸"与下文"扶桑"对举，应以李说为是。 篲（suì 岁）：竹扫。此处作扫荡解。

㉓奋：奋发。 厥：其。 武：威武。 振：同震。震怒：盛怒。

㉔沌沌浑浑：江涛相逐之貌。 混混庉庉：形容江涛之声音。庉：tún(屯)。

㉕座沓(zhì tà 至踏)：言江涛一遇阻碍，即从旁涌溢而出。 座：窒之正写字，阻碍。 沓：多、溢。 清升逾跇：清波升起，后浪超过前浪。

㉖侯波：阳侯之波，犹言大波。侯即阳侯，水神名。 藉藉之口：名叫藉藉的口岸。

㉗纷纷翼翼：张铣曰："交错貌"。

㉘复云句：言江涛可使丘陵倾复和亏损。 平夷：扫平。 西畔：西边的农田。畔：田界，此指农田。

㉙险险戏戏：倾倒危险之貌。 陂池：蓄水池。此指堤防。 罢：同疲。此处作衰歇解。

㉚沛(jié 节)汩：江涛相击之貌。 潺湲：水流貌。 披扬流洒：水花四溅之状。

㉛颠倒偃侧：形容鱼鳖在水中东倒西歪。 沈沈湲湲：李善注："鱼鳖颠倒之貌。沈 yóu(尤)。 蒲伏：即匍匐。原意是伏地不能行走，这里是形容于鱼在水中危急狼狈之状。

㉜神物怪疑：水中的神物亦觉怪异。 踣(bó 伯)：吃惊而跌倒。

㉝洄闇：惊骇失智。 凄怆：心境悲凉。

㉞诡观：奇怪的景象。

【译文】

吴客说："那是未见记载的。不过从师傅那里听说，江涛看去似有神助而其实并非神助的地方有三点：涛声如聚然雷动，响及百里；江水逆流，浪涛也逆行而上扬；山口吞吐云气，日夜不止。开初江水平满而疾流，然后波涛涌起。江涛初起之时，象山洪淋淋下泻，如许多白鹭往下飞翔。再进一步，江涛浩浩荡，白茫茫一片，象白车白马，撑开白色的帷帐。当江涛翻涌如云样的纷扰，此时就很象三军整装急行。当江涛从两旁掀起而向上翻滚，飘飘荡荡，则象将领乘着轻便的战车指挥军队；又象六条蛟龙驾车，跟随着海神。忽而但见江涛或停驻不行，或急驰不止，变得巨大磅礴，连续不断，或前或后，高大昂扬，纵横四涌，相互撞击，如军营之壁垒，重迭而坚固，

纷纷众众，仿佛军队的行列。此时江涛轰鸣，汹涌沸腾，无边无际，势不可当。再看两旁江岸，江涛激怒翻滚，左冲右突，上涌如被物所击，一击而腾空，下降如高处推石，一推而急坠，真似勇壮的士兵，奔闯发怒而无 所畏惧，冲击营垒，抢占渡口。遍及江湾小港，越过江岸，漫过沙堆。碰着者即死，阻挡者即崩。江涛始发于或围的水边，遇上山陇或川谷而回转分流，在青篾盘旋缓流，到檀桓无声急进，到伍子山仿佛停驻不行，而后又远奔到胥母的战场。侵逼赤峰，扫荡扶桑。横奔如雷滚，确实是奋发威武，如发暴怒。相互追逐，形如奔马，其声混混，犹似擂鼓。一遇阻碍，即从旁涌溢而出，有如发怒，清波升起，一浪涌过一浪，巨浪奋起，会战于籍籍的隘口。这时鸟来不及起飞，鱼来不及转身回游，野兽来不及逃跑。纷乱交错，如波涛翻涌乱云飞渡。此时江涛冲激奔腾，向前冲击南山，再回头冲击北岸，使丘陵冲刷倾覆，再又扫平了西岸的农田。此时浪涛高峻，冲毁堤防，获得胜利才渐次衰歇。待稍歇之后，江涛又相击涌起，肆意泛滥，水花四溅，横暴之极。鱼鳖不能自主，东倒西歪，颠颠倒倒，起伏不停，危急狼狈之极。水中的神物亦觉奇怪，这种种景象真难以尽述，真让人吓倒，惊骇失智，心境悲凉。这算得上天底下最奇怪的景象了，太子能勉强起身去看看吗？”太子说：“我有病，不能啊。”

【原文】

客曰：“将为太子奏方术之士有资略者①，若庄周、魏牟、杨朱、墨翟、便蜎、詹何之伦②，使之论天下之释微③，理万物之是非④。孔老览观⑤，孟子持筹而算之⑥，万不失一。此亦天下要言妙道也，太子岂欲闻之乎？”于是太子据几而起曰⑦：“涣乎若一听圣人辩士之言。”泌然汗出⑧，霍然病已⑨。

【注释】

①奏:进。犹言推荐。 方术:道术。 资略:极富才智。

②之伦:之类。庄周及以下五人,皆是春秋战国时之学者。

③释微:应作精微。李善注:"《家语》曰'卜商好论精微时人无以尚也。'"精微,指精深微妙的道理。《文选·胡氏考异》卷六:"茶陵本云。释,五臣作精。袁本云。善作释。案:善引'好论精微'为注,作精。各本所见,皆传写误。"

④理:此处作明辩解。

⑤孔老观览:意谓让孔子、老子陈其学说,供太子观览。

⑥持筹而算之:犹言筹划一切。"六臣本"此句为"孟子筹之",筹划之意更明。

⑦据几而起:用力撑在几上而起身。几:几案。

⑧涊(niǎn 拈)然:汗出透貌。

⑨霍然:忽然。病已:病止,犹言病癒。

【译文】

吴客说:"我要为太子推荐 极富才智的道术之士,如象庄周、魏牟、杨朱、墨翟、便蜎、詹何之类。让他们论述天下精深微妙的道理,明辩万物的是非。让孔子、老子陈述其学说,以供太子览观,让孟子筹划一切,这就万无一失。这是天底下最中肯而精妙的道理了,太子难道不想听听吗?"此时太子撑着几案而起身说:"我现在已恍然明白醒悟,好像听到了圣人辩士的言论。"这时太子出了一身透汗,忽然之间,病就全愈了。

(熊竹沅 译注)

七启八首 并序

曹子建

【作者】

见卷十九《洛神赋》作者介绍。

【题解】

曹植《七启》,仿拟枚乘《七发》,设镜机子以“肴馔”、“服饰”、“游猎”、“宫馆”、“声色”、“游侠”、“圣宰”七事启发岩穴之士元微子,使之“愿反初服,从子而归”,实则以“七”体写招隐事。其主旨,刘良曰:“欲开发天下,令归正道。故讬言贤人在山林,待明君而后出,冀明君崇贤也。”如果说,《七发》更多地是显出枚乘作为文学侍臣的能事,那么《七启》则更多地反映出曹植的政治思想,将这两篇文章的最后一段相较,这一区别是相当明显的。应当说,曹植《七启》的思想性要强些。至于《七启》铺采摛文、引物连类,亦为至极,然文章气势大不如《七发》,诚如于光华《重订文选集评》引孙月峰评语曰:“非不珠含锦烂,顾其奈笔力弱何。”

【原文】

昔枚乘作《七发》、傅毅作《七激》、张衡作《七辩》、崔骃作《七依》,辞各美丽①。余有慕之焉,遂作《七启》,并命王粲作焉②。

【注释】

①美丽：指文辞华美艳丽。

②慕：慕效，即羡慕仿效。七启：以七件事来开启。王粲之作为《七释》。

【译文】

过去枚乘写了《七发》、傅毅写了《七激》、张衡写了《七辩》、崔骃写了《七依》，各自的文辞都华美艳丽。我有慕效之心，于是就写了《七启》，并且命王粲也写一篇。

【原文】

玄微子隐居大荒之庭①，飞遯离俗，澄神定灵②；轻禄傲贵，与物无营③；耽虚好静，羡此永生④；独驰思于天云之际，无物象而能倾⑤。于是镜机子闻而将往说焉⑥。驾超野之驷，乘追风之舆⑦，经迥漠、出幽墟⑧，入乎泱莽之野⑨，遂届玄微子之所居。其居也，左激水，右高岑⑩，背洞溪，对芳林⑪。冠皮弁，被文裘⑫，出山岫之潜穴，倚峻崖之嬉游⑬。志飘飘焉，嶢嶢焉⑭，似若狭六合而隘九州⑮，若将飞而未逝，若举翼而中留⑯。于是镜机于攀葛藟而登，距岸而立⑰，顺风而称曰⑱："予闻君子不遯俗而遗名，智士不背世而灭勋⑲。今吾子弃道艺之华，遗仁义之英⑳；耗精神乎虚廓，废人事之纪经㉑。譬若画形于无象，造响于无声㉒。未之思乎：何所规之不通也㉓！"玄微子俯而应之曰㉔："嘻！有是言乎？夫太极之初，浑沌未分㉕，万物纷错，与道俱隆㉖。盖有形必朽，有迹必穷㉗；芒芒元气，谁知其终㉘；名秽我身，位累我躬㉙。窃慕古人之所志，仰老庄之遗风㉚；假灵龟以托喻，宁

掉尾于涂中[31]。”

【注释】

①玄微子：虚拟人物。玄微：幽玄精微。以“玄微”喻此人明了幽玄精微之理。 大荒：《山海经·大荒西经》：“大荒之中，有山名曰大荒之山，日月所入。”此指极边远之地。 庭：厅堂。此指居所。

②飞遯：同肥遯，离世隐退。遯：同遁。 离俗：超离尘俗。 澄神定灵：使心神安静。澄：安定。灵：心。

③轻禄傲贵：轻视爵禄傲视权贵。 与物无营：与物无争。营：经营、谋画。此处作争斗解。

④耽虚好静：特别爱好虚无、清静之道。耽：耽好，即特别爱好之意，与“好”义同。 羡此永生：思慕长生。

⑤驰思：放纵情思。 “无物象”句：李周翰曰：“万物之象不可倾动于心，言执情定矣。”

⑥镜机子：虚拟人物。李善注：“镜机，镜照机微也。”言此人辨理之明，如镜照细微。 说：游说。

⑦超野：李善注：“超野、追风，言疾也。” 驷：古代一车套四马，因以称车之四马。 舆：车。此指前文四马所拉之车。

⑧迥漠：张铣曰：“迥漠、幽墟，皆远方之地。”

⑨泱(yǎng 养)莽之野：辽阔广远的荒野。

⑩激水：急流之水。 高岑：此指高山。岑，原为小而高之山。

⑪洞溪：明澈之溪水。洞：明澈。《文选》：颜延年《五君·咏阮步兵》：“阮公虽沦遗迹，识密鉴亦洞。” 芳林：春意盎然之树林。 背：背依。

⑫皮弁：李善注：“《仪礼》曰：‘皮弁，白鹿皮为冠。’象上古也。”弁：(biàn 便)：帽子。 文裘：文狐之裘。文狐；身有花纹之狐。

⑬山岫：山谷。 潜穴：深穴。李周翰曰：“潜，深也。” 嬉游：游玩。

⑭飘飘焉、峣峣焉：“李周翰曰：“飘飘，远貌。峣峣，高貌。”

⑮六合：谓天地四方之总称。 “狭”、“隘”皆为狭窄之义。

⑯未逝：犹言未飞。逝：流去，过去。此处作飞解。举翼：犹言展翼而飞。举：《经籍纂诂》：“举，起也。” 中留：犹言停滞于半空。中：半。《春秋·庄》七年：

“夜中，星陨如雨。”

⑰葛：蔓草。 蠃：lěi(垒)，藤。 距：李善注：“距，至也。”

⑱顺风：顺着风向。 称：声言，说。《史记·淮阴侯列传》：“常称义兵不用诈谋奇计。”

⑲遯俗：即遁世。意为避世、隐居。遯为遁之本字。 遗名：忘却名利。背世：违反世俗。 灭勋：消除功业之念。

⑳道艺：学问与技能。《周礼·天官·宫正》：“会其什伍百教之道艺。”注引郑众：“道谓所以教道民者，艺谓礼乐射御书数。” “华”与“英”皆谓精粹。

㉑虚廓：空虚无为。廓：空也。 纪经：刘良曰：“纪经，常理也。”

㉒“譬若”两句：李善注：“言象因形生，响随声发，今欲无声而造响，图象而无形，岂有得哉！”意谓：在没有人、物的形状下来画像，在没有声音的情况下制造音响，这是办不到的。

㉓规：通窥，犹言窥测事理。 不通：见闻学识浅陋。

㉔俯：低头作礼。 应：回答。

㉕“太极”、“浑沌”两句：李周翰曰：“太极，天地之前也。浑沌，为一气也。”犹言天地未分之时，只是一片元气笼罩。

㉖纷错：李周翰曰：“纷错，言相并而生也。” 隆：成长。《汉书·王莽传》：“臣莽夙夜养隆就孺子。”注：“隆，长也。”

㉗形：形体。 迹：业迹，事迹。

㉘芒芒两句：吕延济曰：“芒芒，广大貌。元气则一气也。言若以一气独运，周而复始，谁知其终乎？”

㉙名：指名利。 秽：污浊，此处用如动词。 身：此指自身之品节。 位：此指位秩，即官位俸禄。 躬：即身。《尔雅·释诂》：“朕、余、躬，身也。”

㉚所志：所追求的志向。 遗风：遗留下来的风尚。

㉛假灵龟两句：李善注引《庄子》曰：“楚王使二大夫往聘庄子。庄子曰：‘吾闻楚有神龟，死已三千岁矣。王巾笥而藏之庙堂之上。此龟者，宁其死为留骨而贵乎？宁其生而曳尾涂中乎？’二大夫曰：‘宁生而曳尾涂中。’庄子曰：‘往矣，吾将曳尾于涂中也。’” 掉尾：摇尾。意谓：借灵龟之事来托喻，宁愿如灵龟般于泥涂中自由生活，不愿居庙堂华屋而形同身死。

【译文】

玄微子隐居在大荒的居所里，离世隐退，超脱尘俗，心神安静；

轻视爵禄，傲视权贵，与物无争；忒好虚无清静之道，思慕长生；放纵情思于云天之际，万物之象都不可倾动心思。镜机子听说玄微子的这种情况，就去游说他。镜机子套上四匹骏马，乘坐追风之车，经过极遥远的迥漠，驶出极遥远的幽墟，进入辽阔广远的荒野，于是就到了玄微子的居所。玄微子的居所，左边是湍急的流水，右边是高高的山峰，背靠明澈的溪流，面对春意盎然的树林。玄微子头戴白鹿皮的帽子，身穿花狐皮的皮衣，出入于山谷的深洞中，游玩于峻崖边。他志向高远，仿佛觉得天地四方、神州赤县都很狭窄，又象是鹏鸟将飞而未飞，展翅飞翔而又留于半空。镜机子攀援草藤而登越，到了悬崖上而站立，顺着风向说："我听说君子不避世，不忘却功名，聪明人不违反世俗，不摒弃功业之念。现在您却放弃学问技能与仁义的精华；在空虚无为中耗费精神，废弃人事的常理。这就好比在没有人、物形状的情况下画象，在没有声音的情况下制造音响。您没有考虑过这是办不到的事吗？您窥探事理真是见识浅陋啊！"玄微子低头作礼而回答说："嘻！有这种说法吗？天地未分之时，只是一片元气笼罩，万物相并而生，与道一同成长。大凡有形态的一定会朽烂，有业迹的一定有终绝；广大无边的元气独自运行，周而复始，谁又知道它的终极呢？名利、禄位只会玷污、连累我。我心里很倾慕古人所追求的志向，很敬羡老子、庄子遗留下来的风尚；且借神龟之事来寄托心志，我宁愿如神龟那样在泥泞中自由生活，也不愿居庙堂华屋而形同身死。"

【原文】

镜机子曰："夫辩言之艳①，能使穷泽生流，枯木发荣②，庶感灵而激神，况近在乎人情③？仆将为吾子说游观之至娱④，演声色之妖靡⑤，论变化之至妙⑥，敷道德之宏丽⑦，愿闻之乎？"元微子曰："吾子整身倦世⑧，探隐拯沉⑨，

不远遐路⑩，幸见光临，将敬涤耳以听玉音⑪。

【注释】

①辨言之艳：华美的辩辞。

②穷泽：枯竭的沼泽。　发荣：开花。荣：花。

③庶：大概、差不多，推测之语。　感灵而激神：感动而激发。此句意谓：大概是“穷泽”、“枯木”为华丽的辩辞所感动而激发的缘故。　人情：人之感情。《礼·礼运》：“何谓人情？喜、怒、哀、惧、爱、恶、欲。”此指有感情之人。

④说：解说。　游观：游览观赏。　至娱：极大的欢乐。

⑤演：讲说。　声色：音乐女色。　妖靡：艳丽轻柔。

⑥论：论说。　变化之至妙：事物变化的神妙。

⑦敷：铺陈。　宏丽：博大美妙。

⑧整身倦世：即整身于世之意。　倦世：李善注：“倦于人间之世也。”此句意谓对于厌倦世间尘务之人，使之整饬而振作。

⑨探隐：寻访隐居之士。　拯沉：拯救不改积习、溺于所好之人，亦指隐士。

⑩不远遐路：不以遥遥之途为远，即不远万里之意。

⑪涤耳：即洗耳，表示尊敬。　玉音：对别人言辞的敬称，谓其贵重。

【译文】

镜机子说：“华丽的辩辞，能使干涸的沼泽再涌出流水，枯朽的树木再度开花，这大概是“穷泽”和“枯木”都为华丽的辩辞所感动而激发的缘故吧，又何况是近在于有感情的人呢？我将为您解说游览观赏的极大欢乐，讲说音乐女色的艳丽轻柔，论说事物变化的神妙，铺陈道德的博大美妙，您愿意听听吗？”元微子说：“先生您对于厌倦世间尘务之人，使之整饬而振作，寻访隐士，拯救不改积习、溺于所好之人，不远万里，蒙幸光临，我将洗耳恭听你的高论。”

【原文】

镜机子曰：“芳菰精粺，霜蓄露葵①，玄熊素肤，肥豢脓

肌②，蝉翼之割，剖纤析微③，累如迭縠，离若散雪④，轻随风飞，刃不转切⑤。山鹬斥鷃，珠翠之珍⑥，寒芳苓之巢龟，脍西海之飞鳞⑦，臛江东之潜鼍，臇汉南之鸣鹑⑧。糅以芳酸，甘和既醇⑨；玄冥适咸，蓐收调辛⑩；紫兰丹椒，施和必节⑪；滋味既殊，遗芳射越⑫。乃有春清缥酒，康狄所营⑬，应化则变，感气而成⑭；弹徵则苦发，叩宫则甘生⑮。于是盛以翠樽，酌以彫觞⑯，浮蚁鼎沸，酷烈馨香⑰，可以和神，可以娱肠⑱。此肴馔之妙也，子能从我而食之乎⑲？"玄微子曰："予甘藜藿，未暇此食也⑳。"

【注释】

①菰：俗称茭白，其实如米，称雕胡米、菰米，可作饭，为六谷之一。 粺：精米。 霜蓄露葵：张铣曰："蓄，菜名。此物与葵宜于霜露之时。"

②玄熊素肤：黑熊刮毛后呈现的洁白皮肤。 肥豢腴肌：饲养的牲畜肥美的饥肉。豢：饲养的牲畜。腴：肥。

③蝉翼之割：此言将黑熊之皮、肥畜之肉割得如蝉翼般轻薄。 剖纤析微：切割得如细纹丝帛一样细薄。"蝉翼"句拟指切片，"剖纤"句拟指切条。纤：细纹丝帛。

④累如迭縠：堆积皱纱。縠：有皱纹的细纱。 离若散雪：分散如同飘散的白雪。

⑤刃不转切：刀用不着转动切割。刃：刀。

⑥山鹬(duò 堕)斥鷃：山鹬即鹬鸠，又名沙鸡。《尔雅·释鸟》："鹬鸠，寇雉。"注："鹬大如鸽，似雌雉，鼠脚无后指，岐尾。为鸟憨急群飞。出北方沙漠地。" 斥鷃，即鹌鹑。 珠翠之珍：张铣曰："谓蚌肉及翠鸟肉以为珍好也。珠生于蚌。"

⑦寒芳苓之巢龟："寒"，"五臣"作"搴"。吕向曰："搴，取也。李善注："寒，今胫肉也。"胫(zhēng 征)：煮鱼煎肉。何焯《义门读书记》："寒与韩同。按，此韩乃三韩之韩。亦有韩羊、韩兔。"韩：古韩国的烹调方法。《释名·释饮食》："韩羊、韩兔，韩鸡，本法出韩国所为也。犹酒言宜成醪、苍梧清之属。"此处之

"寒"与下文之"脍"、"臛"、"臑"对举，有煮、煎之意，李善说近似。 芳苓之巢龟：李善注："《史记》：'有神龟在江南嘉林中，常巢于芳莲之上。'苓与莲同。" 脍：细切为脍。 飞鳞：即文鳐，一种海鱼。《山海经·西山经》："泰器之山，濩水出焉，是多鳐鱼，状如鲤，鱼身而鸟翼，苍文而白首赤喙，常行西海而游于东海，夜飞而行。"

⑧臛(hù 户)：原义为肉羹，此处作做成肉羹解。鼉(tuó 驼)：一名鼉龙，或称扬子鳄，体长六尺至丈余，四足，背尾鳞甲。 臑：juǎn(卷)，今作腩，少汁的肉羹，动词用为烹煮肉羹。 鹑：鹌鹑。

⑨糅：杂。 芳酸：香料与酸醋。 甘和：味美适度。 醇：通纯，指美味纯正。

⑩"玄冥"两句："刘良曰："孟冬之神，其神玄冥，其味咸。孟秋之月，其神蓐收，其味辛。故使调适其味也。""适"与"调"皆为调味之意。 辛：辣味。

⑪紫兰：即木兰、香草名。 丹椒：花椒。"兰"与"椒"皆为香料。 施和必节：张铣曰："施张调和必使有节。"

⑫滋味：美味。 遗芳：飘香。 射越：远散。"五臣注"张铣曰："射越，言及远也。"

⑬缥酒：谓酒色绿而微白也。李善注："缥，绿色而微白也。" 春清：指春日之清酒，即春天酿造的清洁陈酒。《周礼·天官·酒正》："辨酒之物，一曰呈酒，二曰昔酒，三曰清酒。"注："清酒，今中山冬酿，接下而成。"后以清酒指清醇之酒。 康狄：杜康与仪狄，皆传说古代之酿酒名手。李善注："《博物志》曰：'杜康作酒。'。《战国策》曰：'梁王请为鲁君举觞。鲁君曰："昔帝女仪狄，作酒而美，进之于禹。禹饮而甘之，遂疏仪狄，乃绝旨酒。'"

⑭"应化则变"二句：李善注："《淮南子》曰：'物类之相应，故东风至而酒泛溢。'高诱曰：'东风，木风也。木味酸，入酒故酢而泛者沸。盖非类相感也。《春秋说题辞》曰：'黍为酒，阳援阴乃能动，故以麦黍为酒。'宋衷曰：'麦，阴也。先渍麴，黍后入，故曰阳援阴，相得而沸，是其动也。'"其意似谓：麦黍作糈，感受气节而变化成酒。

⑮"弹徵则苦发"二句：李善注："《月令》云：'孟夏之月，其音徵，其味苦。中央土，其音宫，其味甘。'"李周翰曰："弹此二音，而其味随之而生矣。""徵"与"宫"皆为五音之一。其意似谓弹奏徵与宫音，酒遂生出苦与甜之味来。

⑯翠樽：以翠玉装饰之酒杯。雕觞：有雕饰之酒器。"樽"与"觞"皆为盛酒

器，“觞”之容量比“樽”大。

⑰浮蚁鼎沸：吕延济曰：“开其浮蚁，如鼎之沸也。”意谓酒杯里浮于表面的泡沫如鼎里之水沸腾。 浮蚁：浮于酒面上的泡沫。 酷烈：吕延济曰：“酷烈，香气盛。”

⑱和神：李善注：“神，人之精爽也。”似谓使人之精神得以调和而清爽。娱肠：使肠胃舒适。

⑲肴馔之妙：最美的佳肴。馔(zhuàn 撰)：食物。

⑳甘藜藿：刘良曰：“甘，美也。藜藿，贱菜，布衣之所食。”犹言以粗茶淡饭为甘美。

【译文】

镜机子说：“用菰米与精米做成香喷喷的饭，用霜露时节的蓄菜与葵叶做菜，黑熊刮毛后的洁白皮肤，饲养的牲畜的肥美肌肉，该切片的切得如蝉翼般轻薄，该切丝的切得如丝帛般的细薄，堆放起来一叠如纱，分散开来犹如飘雪，细薄得如能随风飞转，再不用动刀割切。沙鸡鹌鹑，蚌肉与翠鸟肉做的珍馐，将棲宿在莲花上的乌龟煮煎好，将西海的文鳐鱼细细切好，将常潜于水中的扬子鳄熬成汤羹，将汉南的鹌鹑煨焖好。然后拌上香料与酸醋，味美适度而纯正；再让玄冥来调咸味，让蓐收来调辣味；添放木兰与花椒，一定适度而有节制；这样各种菜肴就具有了各不相同的美味，其香气飘溢远散。这时再呈上春天酿造的绿而泛白的清醇之酒，这是杜康与仪狄酿制的，用麦黍作糈，感受气节变化而成；弹“徵”则酒味苦，奏宫则酒味甜。于是用翠玉的酒盅盛酒，用有雕饰的酒杯斟满，杯里的酒泛起一层泡沫，仿佛开水沸腾，散发出浓烈的馨香，饮这种酒可以使精神调和、肠胃舒适。这就是最好的美味佳肴了，你能跟我一起吃喝吗？”玄微子说：“我以为粗茶淡饭就很好了，没有闲空去吃喝这样的佳肴。”

【原文】

镜机子曰：“步光之剑，华藻繁缛[1]，饰以文犀，彫以翠

绿②，缀以骊龙之珠，错以荆山之玉③。陆断犀象，未足称隽④；随波截鸿，水不渐刃⑤。九旒之冕，散耀垂文⑥，华组之缨，从风纷纭⑦；佩则结绿悬黎，宝之妙微⑧，符采照烂，流景扬烨⑨。黼黻之服，纱縠之裳⑩，金华之舄，动趾遗光⑪，繁饰参差，微鲜若霜⑫。绲佩绸缪，或彫或错⑬。薰以幽若，流芳肆布⑭，雍容闲步，周旋驰燿⑮，南威为之解颜，西施为之巧笑⑯，此容饰之妙也，子能从我而服之乎⑰。”玄微子曰：“予好毛褐，未暇此服也⑱。”

【注释】

①步光之剑：张铣曰：“步光，越王之剑也，其光可照数步。” 华藻繁缛：张铣曰：“华藻，剑上文也。繁缛，彩色也。”此谓剑上之文彩繁密而华茂。

②文犀：有文理的犀角。 彫以翠绿：吕向曰：“又彫饰翠绿二色于上。”彫同雕。翠：青绿色。

③缀：点缀，装饰。 骊龙之珠：宝珠。传说出自骊龙颔下，故名。《庄子·列御寇》：“夫千金之珠，必在九重之渊，而骊龙颔下。” 错：亦雕饰、镶嵌之义。 荆山之玉：即和氏璞玉。李善注：“韩子曰：‘楚人和氏得璞玉于荆山之中也。’”楚：荆。《国语·晋》：“鄢陵之役，晋伐郑，荆救之。”注：“荆，楚也。”楚原建国于荆山一带，故名。

④陆断犀象：能劈断陆地上的犀牛与大象。《淮南子·修务》：“虽水断龙舟，陆剸犀甲，莫之服带。”李周翰曰：“言剑之利也；犀象之兽，其皮坚。”隽：通俊。美、好。

⑤随波截鸿：随着波浪能截断洪水。鸿：通洪，洪水。《荀子·成相》：“禹有功，抑下鸿。”屈原《天问》：“不任汩鸿，师何以尚之。” 渐：李周翰曰：“渐，湿也。”

⑥九旒之冕：诸侯王公最尊贵的一种礼帽。帽面为黑色，里为朱红色，帽顶有版，称为延。延的前端垂有玉串，叫旒。天子之冠十二旒，诸侯九。《礼·礼器》：“天子之冕，朱绿藻，十有二旒。”《周礼·夏官·弁师》：“诸侯之缫斿九就。” 旒(liú 流)：同斿。古代天子、诸侯及大夫礼帽延之前端所垂的玉串。

散耀垂文：散发光彩。

⑦华组之缨：华丽的系帽的带子。组：华丽。《荀子·乐论》："乱世之徵，其服组，其容妇，其俗淫。" 纷纭：犹言错杂飘飞。

⑧结绿悬黎：两种美玉之名。《战国策·秦》载范雎献书："臣闻周有砥厄，宋有结绿，梁有悬黎，楚有和璞。此四宝者，工之所失也，而为天下名器。" 宝之妙徵：犹言结绿二玉为精美之宝器。

⑨符采：亦作符彩。玉的纹理光彩。王子灵《符应》曰："赤如鸡冠，黄如蒸栗，白如割肪，黑如醇漆，玉之符彩也。" 照烂：光辉灿烂。 流景扬烨：光彩闪动。烨：光辉、光彩。

⑩黼黻(fǔ fú 甫扶)之服：古代诸侯所穿绣有花纹的礼服。 纱縠之裳：犹言礼服外再套上皱纱的单衣。

⑪金华之舄：张铣曰："舄，履也。以金为华而饰之。"犹言用金作花的绣鞋。华：通花。舄(xì 昔)：鞋。 动趾遗光：举足则光彩照人。

⑫繁饰：众多的彩饰。 参差：相错杂。 微鲜若霜：张铣曰："微，妙；鲜、明。如霜之洁白也。"

⑬绲佩：饰有珠玉的织带。绲：gǔn(滚)，织带。佩：古代结于衣带上的饰物，如珠玉等。 绸缪：紧密缠绕。 彫：修饰。此疑指"金华之舄"而言。 错：吕向曰："服错谓为文章。"犹言服饰之色彩与花纹错杂。此疑指"黼黻之服而言"。

⑭幽若：即杜若。香草名，味辛香。 流芳肆布：香气扩展散布。

⑮雍容：容仪温文。 周旋驰燿：犹言往返而行光彩生辉。 周旋：即周行，原作绕行解，此处作往返而行解。 驰燿："李周翰曰："驰曜，生光也。"燿：通曜、耀。

⑯南威：古美女名。或作南之威。 解颜：开颜而笑。 巧笑：极美的笑貌。

⑰容饰：即服饰，指衣服及装饰。犹言穿着打扮。 服之：穿戴这些华丽的衣饰。

⑱毛褐：布衣。

【译文】

镜机子说："佩上名叫'步光'的宝剑，剑上的文彩繁密华茂，用

有纹理的犀角来装饰，雕有翠绿两色，还有宝珠点缀，镶嵌和氏璞玉。此剑之锋利，劈断陆地上的犀牛与大象，未足以说好；随波能截断洪水，而水不湿剑。再戴上王侯所戴的最尊贵的礼帽，散发光彩，华丽的帽带，随风错杂飘飞；佩带上“结绿”、“悬黎”这样的美玉，真可算是精美的宝器了。美玉的纹理灿烂，光彩闪动。身着诸侯们所穿的绣有花纹的礼服；外面再套上皱纱的单衣，脚穿金花作饰的绣鞋，举足移步光彩照人，这众多的彩饰相互错杂，鲜美如霜之洁白。腰间的饰有珠玉的织带，紧密缠绕，既装饰极美，色彩花纹又错杂鲜艳。穿扮好之后，再用杜若来熏，让香气扩展散布。然后容仪温文地散步，往返慢行而一路生辉，美女南威为此开颜而笑，美女西施为此而笑容妩媚。这就是最美的衣服与装饰了，您能跟我去穿戴这些华丽的衣饰吗？”玄微子说：“我喜好粗布衣裳，没有闲空去穿戴之些华丽的衣饰。”

【原文】

镜机子曰：“驰骋足用荡思，游猎可以娱情①。仆将为吾子驾云龙之飞驷，饰玉路之繁缨②，垂宛虹之长绥，抗招摇之华旍③，捷忘归之矢，秉繁弱之弓④，忽蹑景而轻骛，逸奔骥而超遗风⑤。于是磎填谷塞，榛薮平夷⑥，缘山置罝，弥野张罘⑦；下无满跡，上无逸飞⑧，鸟集兽屯，然后会围⑨。獠徒云布，武骑雾散⑩，丹旗耀野，戈殳晧旰⑪；曳文狐，掉狡兔⑫，梢鹈鹕，拂振鹭⑬，当轨见籍，值足遇践⑭。飞轩电逝，兽随轮转⑮。翼不暇张，足不及腾，动触飞锋，举挂轻罾⑯，搜林索险，探薄穷阻⑰，腾山赴壑，风厉焱举⑱，机不虚发，中必饮羽⑲。于是人稠网密，地逼势胁⑳，哮阚之兽，张牙奋鬣㉑，志在触突，猛气不慴㉒；乃使北宫东郭之畴，生抽豹尾，分裂狐肩㉓，形不抗手，骨不隐拳㉔，批熊碎掌，拉虎摧

斑[25]；野无毛类，林无羽群[26]，积兽如陵，飞翮成云[27]。于是骫钟鸣鼓，收旌弛旍[28]，顿纲纵网，罢獠回迈[29]，骏骍齐骧，扬銮飞沫[30]，俯倚金较，仰抚翠盖[31]，雍容暇豫，娱志方外[32]。此羽猎之妙也，子能从我而观之乎[33]？”玄微子曰：“予乐恬静，未暇此观也[34]。”

【注释】

①荡思：荡涤忧思。　娱情：使心情欢乐。

②云龙：李善注：“马有龙称，而云从龙，故曰云龙也。《周礼》曰：‘凡马有八尺已上为龙。’”此谓骏马也。　飞驷：四马所驾飞驰之车。　玉路：玉饰的皇帝专用车。《周礼·春官·巾车》：“王之五路，一曰玉路。”注：“玉路，以玉饰诸末。”此谓四马所驾之车。　繁（pán 盘）：通鞶，马腹带。　缨：套驾车之马的皮带。

③宛虹：弧形的彩虹。　绥（ruí 蕤）：古旌旗的一种。《礼·王制》：“天子杀，则下大绥；诸侯杀，则下小绥。”注：“绥当为绥。绥，有虞氏之旗也。”疏：“《天官》‘夏采’注：‘徐州贡夏翟之羽，有虞氏以为绥。’”　抗：张铣曰：“抗，举。”　招摇：星名。《礼·曲礼》上：“招摇在上，急缮其怒。”《释文》：“北斗第七星。”　华旍：有文彩之旗。旍：通旌。旗之总称。

④捷：于光华《重订文选集评》：“捷当作搢。”《礼记》：“可射，搢三挟一个。”郑玄注：“搢，插也。”　忘归：箭名。　繁弱：弓名。《左传·定》四年：“分鲁公以……夏后氏之璜，封父之繁弱。”注：“繁弱，大弓名。”也作良弓的通称。李善注：“《新序》曰‘楚王载繁弱之弓，忘归之矢，以射随兕于梦也。”

⑤蹑景：景同影。追赶日影。　轻骛：李周翰曰：“轻，疾。骛：驰。”　逸奔骥而超遗风：李周翰曰：“逸、奔皆过也。骥与遗风皆良马名。”

⑥磎：山谷。同溪。　榛薮平夷：吕延济曰：“大丛曰榛。泽无水曰薮。夷亦平也。”

⑦缘山：围绕丛山。罝（jū 拘）、罘（fú 浮）：皆为捕兽之网。　弥：遍。

⑧满迹：“满”，“五臣”作“漏”。漏跡指兽而言。　逸：遗。遗飞指鸟而言。

⑨屯：聚集。　会围：合围。

⑩獠徒：猎手。 獠(liǎo 僚)：夜猎。 武骑：此指参加打猎的骑手。武：勇猛。“云布”、“雾散”：吕良曰：“言多也。”

⑪燿：通耀。 殳(shū 书)：古兵器名，《诗·卫风·伯兮》：“伯也执殳，为王前驱。”传：“殳长丈二而无刃。”略同后代的槊。 皓旰(hàn 汗)：吕良曰：“皓旰，白色。”

⑫曳(yè 液)：拖。 文狐：身有花纹之狐。 揜(yǎn 演)：捕取。

⑬捎：芟、杀。 拂：击斫。 鹙鹈(sù shuāng 肃霜)：水鸟，雁的一种。振鹭：原指群飞的白鹭，此指白鹭一类的水鸟。

⑭轨：车辙。 见籍：被辗。吕良曰：“籍，辗也。”

⑮“飞轩”两句：李周翰曰，“飞轩，轻车也。 电逝：言疾也。 随轮：言驱迫之甚。”

⑯腾：奔跃。 飞锋：飞疾之箭。 罾(zēng 增)：网。

⑰薄：草木丛生处。 阻：险要之地。

⑱腾山：奔往山峦。腾：张铣曰：“腾，之也。” 赴壑：趋往山谷。 风厉：风之猛烈。 焰(yàn 焰)：火花。此处作火解。” “风厉”句：“张铣曰：“言如风火之速。”

⑲机：弩机，即弓上发箭的装置。此处指弓。 饮羽：箭中的，箭深入而尾部羽毛隐没不见。

⑳地逼势胁：犹言野兽受地形及打猎队伍的气势逼迫。

㉑哮阚之兽：发怒的猛兽。阚(hǎn 喊)：虎怒貌。 奋鬣：竖起颈领之毛。鬣(liè 劣)：兽类颈领之毛。

㉒触突：冲闯。慴(zhé 哲)：恐惧。

㉓北宫东郭之畴：李周翰曰：“北宫东郭，皆勇者。”李善以北宫为北宫黝。《孟子·公孙丑》上：“北宫黝之养勇也，不肤桡，不目逃，思以一豪挫于人，若挞之于市朝。” 东郭：李善注引《吕氏春秋》曰：“齐有好勇者，一人居东郭，一人居西郭。卒然相遇于涂，曰：‘姑相饮乎？’觞数行曰：‘姑求肉乎？’一人曰：‘子，肉也；我，肉也。’因抽刀而相噉也。” 畴：类。 貙：“六臣”本作“貙”。貙(chū 初)：兽名。《尔雅·释兽》：“貙似狸。”注：“今貙虎也，大如狗，文如狸。”

㉔形：指兽之身躯。 抗：抵御。 隐：服虔《汉书》注曰：“隐，筑也。”筑，击。

㉕批：手击。 碎掌：此言剁下熊掌。 拉：摧折。 摧斑：此言剥下有斑纹的虎皮。

㉖毛类：指兽类。 羽群：指鸟类。

㉗飞翮：指飞鸟之羽毛。翮(hé 河)：羽茎。 “积兽”、“飞翮”二句：李周翰曰：“兽迭如陵，翮落如云，言多也。”

㉘弮(xiè 泻)：擂、击。 弛：李善注引杜预《左氏传》注：“弛，解也。” 旆(pèi 佩)：旗帜的通称。

㉙“顿纲”句：吕延济曰：“顿，纵，徹去也。纲亦网。 罴獠：喻猛憨多力之猎手。 回迈：迂回而行。

㉚騄(lù 鹿)：即騄驥，良马名。 驤(xiāng 湘)：奔驰。 銮：吕延济曰：“銮，车上铃也。” 飞沫：此言马疾驰而口吐飞沫。

㉛较(jué 决)：车箱两旁横木。 翠盖：以翠羽装饰的车盖。

㉜暇豫：悠闲逸乐。 娱志：娱乐的志向。 方外：世俗之外。

㉝羽猎：帝王狩猎，士卒负羽箭随从，因名羽猎。此指游猎。

㉞此观：指观赏如此场面的游猎活动。

【译文】

镜机子说：“策马驰骋足以荡涤忧思，出游打猎可使心情欢畅。我将为您驾上四匹骏马拉的飞驰之车，并将骏马的腹带装饰好，车上悬挂画有彩虹的旌旗，再举起画有北斗星的彩旗，插上楚王用过的忘归之箭，拿着名叫繁弱的良弓，迅速地去追赶日影而疾驰，超过良驥，越过遗风这样的良马。此时打猎的兵卒填满山谷，踏平丛林、涸泽，围绕丛山，四面八方布下猎网；地上没有野兽插足之处，天上没有飞鸟掠空之迹，鸟兽因此只得聚集起来，然后就开始合围。猎手多如云布，骑手多如雾散，红旗映照郊野，戈槊闪耀白光；捉花狐，捕野兔，追杀鹅鹅，击斫白鹭，被围的猎物，碰上车辙就被辗死，遇上猎手的足就被践踏。轻车如电逝一般，野兽被追赶得随着车轮飞转。飞禽来不及张开羽翼，走兽来不及拔足逃遁，一动就碰上飞箭，一飞就挂上猎网；搜索丛林险隐之处，寻遍草丛险要之

地，猎手们奔往山岗，趋往山谷，如风火般迅速，野物触机而擒，被射中者一定饮羽而亡。此时人多网密，野兽被地形及打猎队伍的气势威逼，使得发怒的猛兽张牙舞爪，竖起鬣鬃，冲闯撕斗，气势威猛而无所畏惧。于是北宫、东郭等勇士，将豹子的尾巴活生生地拉出来，将貙虎的双肩活生生地撕开，野兽的身躯抵御不了勇士的双手，野兽的骨头经不起勇士的拳击，再剁下熊掌，剥下虎皮。旷野之中没有了走兽，丛林之中没有了飞禽，猎得的野兽堆积如小山丘，满天鸟羽飘散如象云片。于是敲钟鸣鼓，收起旌旗，撤去猎网，勇猛的猎手迂回而行，骏马齐奔，车铃鸣响，骏马奔驰而口吐飞沫，低头则偎依在金饰的车子横木上，仰头则抚摸翠羽装饰的车盖，仪容平和，悠闲逸乐，欢娱的心志似乎在世俗之外。这就是最美妙的游猎活动了，您能跟我去观赏吗？”玄微子说：“我以恬静为最大的快乐，没有闲空去观赏啊！”

【原文】

镜机子曰：“闲宫显敞，云屋晧旰①，崇景山之高基，迎清风而立观②。彤轩紫柱，文榱华梁③，绮井含葩，金墀玉箱④。温房则冬服絺纮，清室则中夏含霜⑤。华阁缘云，飞陛陵虚⑥，颓眺流星，仰观八隅⑦。升龙攀而不逮，眇天际而高居⑧，繁巧神怪，变名异形⑨，班输无所措其斧斤，离娄为之失睛⑩。丽草交植，殊品诡类⑪，绿叶朱荣，熙天曜日⑫；素水盈沼，丛木成林⑬，飞翮凌高，鳞甲隐深⑭。于是逍遥暇豫，忽若忘归⑮，乃使任子垂钓，魏氏发机⑯，芳饵沈水，轻缴弋飞⑰，落翳云之翔鸟，援九渊之灵龟⑱。然后采菱华，擢水苹，弄珠蜂，戏鲛人⑲；讽汉广之所咏，觌游女于水滨⑳。燿神景于中沚，被轻縠之纤罗㉑，遗芳烈而靖步，抗皓手而清歌㉒。歌曰：‘望云际兮有好仇，天长路兮往无由㉓；佩兰蕙

兮为谁修，宴婉绝兮我心愁㉔。’此宫馆之妙也，子能从我而居之乎？”玄微子曰：“予耽岩穴，未暇此居也㉕。”

【注释】

①闲宫：高大的宫殿。闲：大貌。《诗·商颂·殷武》：“松桷有梴，于楹有闲。”疏：“闲为楹之大貌。” 显敞：显赫宽敞。 云屋：李善注：“云屋，言高若云也。” 晧旰：明亮貌。

②崇：李善注：“毛苌《诗·传》曰：‘崇，立也。’” 景山：大山。 基：宫殿之屋基。李善注：“基若景山，言极高也。”

③彤轩紫柱：红色的栏杆，紫色的屋柱。 榱：屋之椽子。 “文”、“华”，谓花纹。

④绮井：屋之天花板装饰成凸出的井形。沈括《梦溪笔谈》：“屋上复橑，古人谓之绮井，亦曰藻井，又谓之复海。今令文中谓之斗入。吴人谓之罳顶，唯宫室祠观为之。” 金墀：以金涂饰的地面。墀：经过涂饰之地。《汉书·梅福传》：“故愿壹登文石之陛，涉赤墀之涂。”注：“以丹淹泥涂殿上也。”后泛称地为墀。 玉箱：用玉装饰的厢房。箱通厢。

⑤絺（chī 吃）：细葛布。纮：“五臣”作“绺”。绺（xì 隙）：粗葛布。《诗·周南·葛覃》：“为絺为绺，服之无斁。”传：“精曰絺，粗曰绺。” 中夏：仲夏。 含霜：“五臣注，”含霜言室凛也。

⑥缘云：攀援至云。 飞陛：高峻的台阶。 陵虚：即凌空。

⑦俯眺：低头远眺。俯（fǔ 府）：同“俯”。 八隅：八方。

⑧升龙：李周翰曰：“升龙，飞龙也。” 眇：高远。 高居：居于高空。

⑨繁巧：此谓殿阁构建装饰之繁杂巧妙。 神恠：“六臣本”作“神怪”。变名：“五臣”作“变容”。变容异形：此谓殿阁构建装饰改变成奇特的形状。

⑩班输：吕延济曰：“班输，鲁国公输班，巧者也。” 无所措其斧斤：没有办法用他的斧子。 离娄：相传为黄帝时人，目力极强，能于百步之外望见秋毫之末。《庄子》作“离朱”。 失睛：失去目力。《孟子·离娄》：“孟子曰：‘离娄之明，公输子之巧，不以规矩，不能成方圆。’”“班输”、“离娄”两句似谓殿阁构建装饰之奇异，非常式所规范，故公输班也无从下手，离娄的眼力也看不透。

⑪丽草：“刘良曰：“丽草，芳草也。” 交植：交错栽种。殊品诡类：此谓芳

草的品种奇特怪异。

⑫荣:花。“绿叶朱荣”谓树也。熙:照也。照曜天日,言树之光明。

⑬素水:洁净之水。

⑭飞翮:飞鸟。 凌高:凌空。 鳞甲:即鳞介,泛指有鳞和介甲的水生动物。 隐深:潜隐于深水之中。

⑮逍遥:安闲自得貌。 忽若:忽然。

⑯任子:任公子,即任父。古代传说中善钓之人。《庄子·外物》:任子为大钓巨缁,五十犗以为饵,蹲会稽,投竿东海,旦而钓,朞年不得鱼。已而大鱼食之,牵巨钓,陷没而下,鹜扬奋鬐,白波若山,海水震荡。 魏氏:古代之善射者。李善注:“《吴越春秋》曰:越王欲伐吴,范蠡进善射者陈音。越王问其射所起焉,者曰:黄帝作弓以备四方,后有楚狐父以其道传羿,羿传逢蒙,蒙传楚琴氏,琴氏传大魏,大魏传楚三侯:麋侯、翼侯、魏侯也。”

⑰缴(zhuó 卓):射鸟系在箭上的生丝绳。此处指箭。 弋(yì 意):以绳系箭而射。此处作射解。

⑱翳云:遮蔽天云。李周翰曰:“翳云,言高也。” 援:拉。此处犹言钓起。九渊:水之最深处。

⑲菱华:菱角之花。 擢(zhuó 卓):抽、拔。 水苹:水草。 珠蜂:蚌壳里的珍珠。蜂(bàng 蚌):同蚌。 鲛人:神话传说中居于海底的怪人。张华《博物志》:“南海水有鲛人,水居如鱼,不废织绩,其眼能泣珠。”

⑳讽:朗诵。 汉广:《诗·周南》篇名。所咏:此指《汉广》诗所咏之事。李善注:《韩诗·序》:‘《汉广》,悦人也。’诗曰:‘汉有游女,不可求思。’” 觌:相见。 游女:游春之美女。

㉑燿神景:犹言游女光彩照人。神景:“五臣注”神景则游女之光也。 沚:水中小沙洲。 轻縠之纤罗:用又轻又薄的绸子所织的衣服。

㉒遗芳烈:散发浓烈的香气。 靖步:细步,小步而行。靖:细小貌。 皓手:谓手之洁白。 清歌:不用乐器伴奏的歌唱。

㉓仇:伴侣。 无由:犹言无从起步。

㉔宴婉:即嫣婉。安顺貌,引申为美好貌。《后汉书·边浪传》:“设长夜之欢饮兮,展中情之嫣婉。”此即指前之“好仇”。

㉕耽岩穴:偏好隐居山间。 岩穴:山洞。

【译文】

镜机子说："高大的宫殿显豁宽敞，高入云霄的屋子多么明亮，在象大山矗立般高高的屋基上，迎着清风修建楼阁。红栏紫柱，画栋雕梁。天花板上装饰成凸出的彩色井形，内中绘制花朵，以金涂饰地面，用玉装饰厢房。一些屋子很温暖，入则需穿上细葛布的衣裳；一些屋子很清凉，虽是仲夏入内犹觉寒意袭人。华丽的楼阁攀援至云，高峻的台阶凌空腾飞，可低头远眺流星，可仰头观看八方，飞龙想攀附而够不着，宫殿高入天际而盘踞于云端，构建装饰得繁杂巧妙，奇形怪状，即令巧匠如公输班也无法修建，明眼若离娄也不可捉摸。芳草错杂栽种，品种奇特怪异，绿叶红花的树木，照耀天日；清水漫出水池，树木蔚然成林，飞鸟凌空，鱼龟潜隐于深水。此时心旷神怡，乐而忘归，于是让任父垂钓，魏氏发箭，芳香的食饵沉入水中，轻疾的箭缴射向飞鸟，高空的飞鸟被射落下来，深水的神龟竟衔钩而出。然后采摘菱花，拔起水草、把玩蚌壳里的珍珠，与鲛人嬉戏，高吟《汉广》诗所写的字句，在水滨与游女相会。那小沙洲上的游女光彩照人，穿着轻薄有皱纹的罗衫，散发浓烈的香气，小步而行，抬起白嫩的手而歌唱：'仰望云端有好侣伴，天长路远无从往还；佩饰兰蕙为谁打扮，侣伴隔绝我心愁烦。'这就是宫殿阁馆之妙啊，您能跟我去居住吗？玄微子说："我喜爱隐居于山间，没有闲空去居住啊。"

【原文】

镜机子曰："既游观中原，逍遥闲宫①，情放志荡，淫乐未终②。亦将有才人妙妓，遗世越俗③，扬《北里》之流声，绍《阳阿》之妙曲④。尔乃御文轩，临洞庭⑤，琴瑟交挥，左篪右笙⑥，钟鼓俱振，箫管齐鸣⑦。然后姣人乃被文縠之华袿，振

轻绮之飘飖[8]，戴金摇之熠燿，扬翠羽之双翘[9]。挥流芳，燿飞文[10]，历盘鼓，焕缤纷[11]，长裾随风，悲歌入云[12]，跅捷若飞凫没，蹈虚远瞻[13]，凌躍超骧，蜿蝉挥霍[14]，翔尔鸿翥，溅然[15]，纵轻体以迅赴，景迫形而不逮[16]。飞声激尘，依违厉响[17]，才捷若神，形难为象[18]。于是为欢未渫，白日西颓[19]，散乐变饰，微步中闺[20]，玄眉施兮铅华落，收乱发兮拂兰泽[21]，形婿服兮扬幽若；红颜宜笑，睇眄流光[22]。时与吾子携手同行，践飞除，即闲房[23]；华烛烂，幄幙张[24]，动朱唇，发清商[25]，扬罗袂，振华裳[26]，九秋之夕，为欢未央[27]。此声色之妙也，子能从我而游之乎？”玄微子曰：“予愿清虚，未暇此游也[28]。”

【注释】

①中原：内地，别于边境地区而言。

②情放志荡：即放荡情志，意谓恣意放任感情志趣。 淫乐：极度的娱乐。淫：过度。《书·大禹谟》：“罔淫于逸，罔淫于乐。”

③才人；擅长歌舞之人。 妙妓：艺高貌美的歌舞女艺人。妓通伎。

④扬：指声音升高。《礼·曲礼》：“将上堂，声必扬。”此处作高唱解。《北里》：古舞曲名。《史记·殷纪》：“于是使师涓作新淫声，《北里》之舞，靡靡之乐。” 流声：放荡的声乐。《礼·乐礼》：“故制《雅》、《颂》之声以道之，使其声足乐而不流。” 阳阿：乐曲名。《淮南子·说山》：“欲美和者，必先《阳阿》、《采菱》。”

⑤御：凭依。文轩：用彩画雕饰栏杆门窗的走廊，即画廊。洞庭：广庭。

⑥交挥：“五臣”作“交弹”，即交错弹奏。 篪(chí 持)：古管乐器。《尔雅·释乐》：“大篪谓之沂。”注：“篪，以竹为之，长尺四寸，围三寸，一孔上出一寸三分，名翘，横吹之。小者尺二寸。”

⑦俱振：一同奏响。

⑧姣人：美人。 文縠：有花纹的皱纱。 袿(guī 圭)：妇女上衣。 轻绮：

轻柔的素色丝罗。

⑨金摇：即金步摇，钗的一种。以金制成，饰于头，每行步则摇动，故名。李善注："宋玉《讽赋》：'主人之女，垂珠步摇，来排臣户。'" 熠(yì 意)燿：光彩鲜明。 翠羽：翠色的鸟羽。翘：举也。

⑩挥流芳：散布出香气。挥：李善注引韩康伯《周易》注："挥，散也。" 飞文：张铣曰："飞文谓光相照也。"

⑪历：分明。此指盘鼓之节拍分明。 盘鼓：一种调节舞曲的鼓。《古文苑》：张衡《观舞赋》："拊者啾其齐列，盘鼓焕以骈罗。"亦作般鼓。 焕：即焕别，清楚分明。 缤纷：多貌。此指舞女众多。此二句意谓踏着盘鼓分明的节拍，众多的舞女舞步分明不乱。

⑫裙：衣袖。 入云：张铣曰："入云，言清彻也。"

⑬跅捷：身手轻灵敏捷。 蹈虚远蹠：足顿地而远跳。蹈：顿足。虚：《经籍纂诂》："坤为虚"。坤：八卦之一，象地。 蹠(zhī 职)：跳也。

⑭凌跃超骧：腾跃高举。 蜿蝉：盘曲而行。 挥霍：轻捷迅速貌。

⑮翔尔：行走时两臂张开。《礼·曲礼》："室中不翔"。注："行而张拱曰翔。" 鸿翥：如大雁飞舞。 濈(jí 疾)然：迅速貌。 凫没：如野鸭沉入水中。

⑯迅赴：急趋。 景追形：身影追赶身体。此二句"吕延济曰："言回之疾也。"意谓转圈舞步之迅速。

⑰飞声：高声。 激尘：使梁尘飘起。吕良曰："激，飘也。言善歌飞声飘起梁尘。" 依违：形容声音的忽离忽合。 厉响：形容声音的高猛。

⑱才：通材，资质。 形难为象：身形、舞姿难以比况。象：刘良曰："象，比也。"

⑲渫(xiè 泻)：止歇。

⑳微步：缓步。 中闺：中庭。

㉑弛：废。此言所画之黑眉已坏。 铅华：搽脸之脂粉。 兰泽：兰草所做的香膏。 嫷(tuǒ 驼)：华美的衣服。吕向谓此二句意为："言美人歌既毕，粉黛微落，乃复整理鬓发，拂涂兰膏，衣以好服，扬其芳香。"

㉒宜笑：笑容恰到好处。 睇眄(dì miǎn 地免)：流转目光观看。犹流盼。

㉓飞除：高高的台阶。 闲房：宽大的屋子。

㉔华烛：彩烛。 幄幙：帐幕。幙同幕。

㉕清商：指秋风。发清商：吕延济曰："歌秋声也。"

㉖罗袂(mèi 妹):绫罗质地的衣袂。 华裳:有文彩的衣裳。

㉗九秋:秋季九十天,即秋天。 未央:未尽。

㉘清虚:清净虚无。

【译文】

镜机子说:"业已游览了中原内地,在高大的宫殿中自在逍遥,恣意放纵情志,极度的娱乐犹未终了。此时将有擅长歌舞的美貌女伎,仪态超脱世俗,先是引发《北里》这样放荡的歌声,继而又演唱《阳阿》这样美妙的乐曲。于是凭靠画廊,面对庭院,琴瑟交错弹奏,左篪右笙,演奏伴唱,钟鼓齐鸣,箫管齐响。然后美女们穿上华丽绸衣,抖动轻柔的素罗而飘扬,头上戴的金步摇光泽鲜明,头饰翠羽高翘宛欲飞起,香气袭人,光彩相照,踏着盘鼓分明的节拍,人数虽然众多但舞步不乱,长袖随风飘荡,悲壮的歌声清彻高吭。身手轻灵而敏捷,足顿地而远跳,腾跃高举,盘曲移步速如野鸭沈水,舒展轻盈的身体而急趋,形影相追而总是不及。高扬的歌声使梁尘飘起,歌声忽离忽合而高昂,这些舞女资质如神,舞姿真难比况。于是欢乐未尽,白日西沉,美女们改换服饰,缓步中庭,画眉凌乱,脂粉已脱,于是重整散发,涂上兰草香膏,穿上华美衣服,再飘溢出杜若的芳香;艳丽的容貌,加之恰到好处的笑容,目光流转生辉。此时和您携手同行,步上高高的台阶,到宽敞的屋里,彩烛灿烂,帷帐徐张,歌女朱唇再启,将秋声咏唱,挥舞绫罗的衣袖,抖动华美的衣裳,秋夜里,无穷无尽地寻乐欢畅。这就是最美的音乐女色了,您能跟我一起去游玩吗?"玄微子说:"我愿守清净虚无之道,没有闲空去作这样的游玩啊。"

【原文】

镜子曰:"予闻君子乐奋节以显义,烈士甘危躯以成仁①。是以雄俊之徒,交党结伦。重气轻命,感分遗身②。故

田光伏剑于北燕，公叔毕命于西秦③。果毅轻断，虎步谷风④；威慴万乘，华夏称雄⑤。”辞未及终，而玄微子曰：“善！”

【注释】

①奋节：奋发气节。 显义：表明忠义。 烈士：刚烈之士。 危躯：身处险境。 成仁：成就仁德。

②雄俊之徒：英雄豪杰。 交党结伦：结交志同道合之人。党：同伙。伦：同类。 重气轻命：以气节为重，以性命为轻。 感分遗身：为情谊所触动而忘身。 分 fèn（份），情谊。遗：忘。

③田光：李善注：“《史记》：燕太子丹谓田光曰：‘丹所言者，国大事也，愿先生勿泄也。’光曰：‘诺。’退见荆轲曰：‘吾闻长者为行，不使人疑己。今太子疑光，非节侠也。”欲自杀以激荆卿，遂自刎。” 伏剑：以剑自杀。公叔：未详。刘良曰：“公叔，书传所不载。或云荆轲字公叔，刺秦王不中而死，故云毕命。”存一说。 毕命：了结性命，即“死”之意。

④果毅：果断而坚忍。 轻断：决断无疑。 虎步谷风：形容举止威武，如虎行而山谷风起。

⑤威慴万乘：威猛使天子畏惧。 华夏：中国，或曰整个国家。《书·武成》：“华夏蛮貊，罔不率俾。”疏：“夏，大也。故大国为夏。华夏谓中国也。”

【译文】

镜机子说：“我听说君子乐于奋发气节以表明忠义，刚烈之士甘愿身处险境而成就仁德。因而英雄豪杰结交志同道合之人，看重节气而轻视性命，能为情谊触动而献身。所以田光在北方的燕国伏剑身亡，公叔在西面的秦国壮烈牺牲。这类人果敢而坚忍，决断而不疑，举止威武，如虎行而山谷生风，威猛可使天子畏惧，能在天下称雄。”镜机子的话还没有说完，而玄微子就说：“妙啊！”

【原文】

镜机子曰：“此乃游侠之徒耳，未足称妙也①。若夫田

文无忌之俦，乃上古之俊公子也②。皆飞仁扬义，腾躍道艺③，游心无方，抗志云际④，凌轹诸侯，驵驰当世⑤，挥袂则九野生风，慷慨则气成虹蜺⑥。吾子若当此之时，能从我而友之乎⑦？”玄微子曰：“予亮愿焉⑧，然方于大道，有累如何⑨？”

【注释】

①游侠：古代指好交游、勇于急人之难的人。

②田文：战国时齐公子孟尝君。　无忌：战国时魏公子信陵君。　俦：同辈，等类。　俊公子，才智出众而贤明的贵公子。

③飞仁扬义：宣扬仁义。　腾跃道艺：传播学问技艺。

④游心：注意，留心。《庄子·骈拇》：骈于辩者，累瓦结绳窳句，游心于坚白同异之间，而敝跬誉无用之言非乎，而杨墨是已。”　无方：没有固定的法度。《庄子·人间世》：“有人于此，其德天杀：与之为无方，则危吾国；与之为有方，则危吾身。”游心无方似谓思想无一定的常式。　抗志：坚持平素的志向。　云际：言志向之高远。李周翰曰：“云际言高也。”

⑤凌轹：欺压、干犯。《史记·魏其武安侯传》：“凌轹宗室，侵犯骨肉。”轹(lì 利)：车轮辗过。引申而为干犯。　驵：“六臣本”作“驱”。《康熙字典》：“玉篇》：‘驵同驱。’”当世：当代。此指田光、无忌所处之世。

⑥九野：九州。李善注引《淮南子》：“所谓一者，上通九天，下贯九野。”则九野即九州也。　虹蜺：《尔雅·释天》：“螮蝀，虹也。蜺为挈贰。”疏：“《音义》云：‘虹双出，色鲜盛者为雄，雄曰虹。阐者为雌，此曰蜺。’”蜺，亦作霓。

⑦友之：以之为友，犹言和他们交朋友。

⑧亮：李善注引《尔雅》曰：“亮，信也。”　信：确实，的确。　方：违背。《经籍纂诂》：“方，犹逆也。”　大道：常理正道。《史记·优旃传》：“善于笑言，然合于大道。”　有累：有所妨碍，有所顾虑。

【译文】

镜机子说：“这些还只是游侠之类的人而已，还不能够算最好

的。如象田文、无忌之辈，真算得上古代才智出众而贤明的公子。他们都宣扬仁义，传播学问与技艺，寄情四方，壮志凌云，干犯诸侯临驾其上，驱驰纵横，不可一世。挥袖则九州生风，激昂则气化为虹。您如处于这个时侯，能够随我去与他们交朋友吗？”玄微子说：“我确实愿与他们交朋友，然而又怕与常理正道相违背，我有所顾虑啊，怎么办呢？”

【原文】

镜机子曰：“世有圣宰，翼帝霸世①，同量乾坤，等曜日月②，玄化参神，与灵合契③。惠泽播于黎苗，威灵震乎无外④，超隆平于殷周，踵羲皇而齐泰⑤。显朝惟清，王道遐均⑥，民望如草，我泽如春⑦，河滨无洗耳之士，乔岳无巢居之民⑧。是以俊乂来仕，观国之光⑨，举不遗才，各进异方⑩；赞典礼于辟雍，讲文德于明堂⑪，正流俗之华说，综孔氏之旧章⑫，散乐移风，国富民康⑬，神应休臻，屡获嘉祥⑭。故甘灵纷而晨降，景星宵而舒光⑮，观游龙于神渊，聆鸣凤于高冈⑯。此霸道之至隆，而雍熙之盛际⑰。然主上犹以沈恩之未广，惧声教之未厉⑱，采英奇于仄陋，宣皇明于岩穴⑲。此宁子商歌之秋，而吕望所以投纶而逝也⑳，吾子为太和之民，不欲仕陶唐之世乎㉑？”于是玄微子攘袂而兴曰：“韪哉言乎㉒！近者吾子所述华淫，欲以厉我，祗搅予心㉓。至闻天下穆清，明君莅国㉔，览盈虚之正义，知顽素之迷惑㉕，今予廓尔，身轻若飞㉖，愿反初服，从子而归㉗。”

【注释】

①圣宰：刘良曰：“植谓其父魏太祖者也，为汉丞相，故云圣宰。宰，宰相。

翼：李善注引孔安国《尚书·传》："翼，辅也。" 霸世：称雄于世。

②同量乾坤：与天地同等分量。等曜日月：与日月一样明亮。

③玄化：至德的教化。 参神：与神灵相并为一。灵：神灵。合契：彼此相合。

④惠泽：恩泽。 黎：九黎，古代南方部落名。《国语·楚》："及少皞之衰也，九黎乱德……其后三苗复九黎之德。"注："九黎，黎氏九人。" 苗：三苗，古代部落名。《史记·五帝纪》："三苗在江淮、荆州。"《国语·楚》注："三苗，九黎之后也。" 威灵：声威。《汉书·叙传》："柔远能迩，焯燿威灵。" 无外：吕向曰："言尽天下无有外矣。"

⑤隆平：盛平，升平。 殷周："吕向曰："殷周，汤武之朝。" 羲皇：伏羲氏。 齐泰：统一安宁。泰：《易·泰》："天地交泰。"又《彖》："泰，小往大来吉亨，天地交而万物通也。"引申为通畅，安宁。

⑥显朝：显赫的朝廷、国家。 清：政治清明。 王道：三王之道也。 遐：远方。 均：均一，均平如一。

⑦"民望"两句："李周翰曰："下之望上如草之仰雨，上之惠下如春之降泽，言和之至也。"

⑧洗耳之士：李善注："洗耳，许由也。《琴操》曰：'尧大许由之志，禅为天子，由以其不善，乃临河而洗耳。'" 乔岳：高山。 巢居之民：李善注："巢居：巢父也。皇甫谧《逸士传》曰：'巢父者，尧时隐人。常山居，以树为巢，而寝其上，时人号曰巢父也。"吕延济曰："此等之士皆我君化尽已入仕矣，故河畔、高山皆无也。"

⑨俊乂(yì 义)：贤德之人。 观国之光：李善注引《周易》曰："观国之光，利用宾于王。"周振甫《周易译注》第77页谓：观国，承下文当指王国。宾于王，在周王处作客。译"观国之光"为"观周王国的光辉。"此处犹言观察上国之光辉。"

⑩举：选拔。 进：引荐 。《礼·儒行》：程功积事，推贤而进达之。" 异方：言非一方。犹言各地。

⑪赞：赞美、颂扬。 典礼：典法礼仪。 辟雍：原为周王朝为贵族子弟所设之太学。此处似指太学而言。 文德：礼乐教化。 明堂：古代帝王宣明政教的地方。

⑫流俗：流行的坏的习俗。。 华说："虚假不实之词。 综：整理。孔氏之

旧章：李周翰曰："孔子删定诗书礼乐，故云旧章。"

⑬散乐移风：传播礼乐而移风易俗。李善注引《礼记》曰："乐行移风易俗，天下皆宁。" 康：五臣注"吕延济曰："康，安也。"

⑭神应：天神感应。 休臻：即休征，犹谓吉祥的征兆。 臻：李善注引《尚书》曰："休征。" 嘉祥：祥瑞。

⑮甘露：甘美的雨露。此祥瑞之应也。 纷：盛貌。 景星：星名，亦称瑞星、德星。《史记·天官书》："天精而见景星。景星者，德星也。其状无常，常出于有道之国。" 舒光：发光。

⑯神渊：深渊。因龙为神，故其所居之渊亦以神称之。

⑰霸道：本与王道相对。王道以文德治国，霸道以武力、刑惩治国。此处似指国家的治理。 雍熙：和乐貌。张衡《东京赋》："百姓同于饶衍，上下共其雍熙。"

⑱沈恩：深恩。 声教：声威与教化。 厉：威严猛烈。

⑲英奇：刘良曰："英奇，皆贤才也。" 仄陋：出身卑微。同"侧陋"。刘向《说苑·臣术》："晏子曰：'婴，仄陋之人也。'" 皇明：刘良曰："皇明，天子之诏也。" 岩穴：岩穴之士，即隐士。

⑳宁子：宁戚，春秋齐桓公时人。曾击牛角而歌。遇桓公，举为大田之官。商歌：悲壮低音之歌。《淮南子·氾论》："夫百里奚之饭牛，伊尹之负鼎，太公之鼓刀，宁戚之商歌，其美有存焉者矣。"后以"商歌"喻自荐求官。 吕望：周初人。姜姓，吕氏，名尚。相传钓于渭滨，周文王出猎相遇，与语大悦，同载而归，说："吾太公望子久矣！"因号为太公望。 投纶而逝：意谓扔掉钓丝；不再隐居，随文王而去。

㉑太和：太平。陶唐：帝尧。尧初居于陶，后封于唐，为唐侯，故称陶唐。《史记·五帝纪》："帝尧为陶唐，帝舜为有虞。"

㉒攘(rǎng 嚷)袂：挽袖挥臂，奋起之状。 兴：起身。 韪(wěi 伟)：通作韡，犹"炜"，盛貌，光明貌，引申为清楚明白。

㉓华淫：华美而过甚。 厉：激励。 祗(zhī 之)：只。

㉔穆清：和睦安宁。穆通睦。清：清谧，安宁。 莅国：临国，犹言主政。

㉕盈虚：指事物满与空、损与益。 正义：正确的含义。 顽素：愚昧纯钝。

㉖廓尔：廓清事理而开悟。尔：助词。

㉗初服：张铣曰："未隐居时服。"

【译文】

镜机子说："今世有德智、才能出众的宰相，辅佐君主称雄于世，功德与天地齐等，与日月同光，至德的教化与神灵仿佛相并而彼此一致。恩泽撒播到九黎、三苗，声威隆盛而遍及天下，这真比商汤、周武王时还要盛平，而直接继承了伏羲时的统一安宁。国家声势显赫，政治清明，行三王仁义之道，连远方都均平如一，百姓景仰君主如小草仰慕雨水，君主施恩于百姓如春天普降雨露，河畔既没有了许由这样的隐士，高山也没有了巢父这样的逸人。所以贤德之士都出来做官，观察上国的光辉，选拔人才而没有遗漏，引荐人才而遍及四方；在太学里赞颂典法礼仪，在明堂讲述礼乐教化，校正流行习俗的各种虚词华说，整理孔子删定的《诗》、《书》、《礼》、《乐》等经书，传播礼乐而移风易俗，国家富强而百姓安宁，天神感应而显示吉祥的征兆，于是屡获祥瑞之物。因此甘美的雨露在清晨纷纷而降，显现祥瑞的星辰在夜里闪闪发光，观赏在深渊的神龙游水，聆听在山巅的凤凰鸣叫。这真是国家治理最兴隆之日，也是君臣、百姓最和乐之时。然而君主还以为深恩不够广远，唯恐声威与教化还不够威严猛烈，于是在出身卑微的人中收录贤才，向隐居之人宣谕君主之诏。这就是甯戚以悲壮低声之歌而自荐求官之时，太公望抛弃钓丝而跟随周文王的原因，您身为太平盛世的臣民，不想在这如唐尧圣世的时代出来做官吗？"于是玄微子挽袖挥臂，显出振奋的样子，起身说："真明晰了，您说的话！稍前您所叙述的话华美而过甚，虽想以此来激励我，但只是搅乱了我的心思；而当我听到了当今天下和睦安宁，贤明的君主主管朝政之时，您让我鉴别了事物损益的正确含义，并了解了我这愚顽本性的迷惑，现在我终于廓清事理而开悟，抛弃顾虑而身轻若飞，我愿重穿未隐时的衣服，跟您回去。"

（熊竹沅　译注）

文选全译卷第三十五

七下

七 命 八 首

张景阳

【作者】

见卷二十一《咏史》作者介绍。

【题解】

《尔雅·释诂》:“命,告也。”《七命》规抚《七启》,设殉华大夫以“音曲”、“宫馆”、“田猎”、“剑术”、“马驭”、“饮馔”、“晋治”劝告冲漠公子,使之“请寻后尘”而从仕,亦为招隐之意。只是用“命”,语气稍强直于“启”。何焯《义门读书记》以为“音曲”一段中“木既繁”两句,“便是一篇《梧桐赋》”,“追逸响”以下四句,“括尽律吕源流,后人那得有其根抵”。《重订文选集评》引孙月峰评“马驭”一段曰:“此亦详二家(按:指枚乘《七发》、曹植《七启》)所略,可当一篇《天马赋》。”句多雕绘而工,篇多用事且富,词工、渊博,此即《七命》的特点,或是《文选》辑录的原因,诚如何焯《义门读书记》所曰:“其渊博真不可及,宜乎枚、曹之外独存此篇。”然就其全篇而言,仿拟过重而创

意不足，或曰："秀不逮曹王"，或曰："气骨不如《七启》"，这些意见都是对的，抑为后之"七"体通病也。

【原文】

冲漠公子含华隐曜，嘉遁龙盘，玩世高蹈①；游心于浩然，玩志乎众妙②，绝景乎大荒之遐阻，吞响乎幽山之穷奥③。于是殉华大夫闻而造焉④，乃勑云辂、骖飞黄⑤、越奔沙、辗流霜⑥，凌扶摇之风，蹑坚冰之律⑦，旌拂霄堮，轨出苍垠⑧。天清冷而无霞，野旷朗而无尘⑨，临重岫而揽辔，顾石室而回轮⑩，遂适冲漠之所居。其居也，峥嵘幽蔼，萧瑟虚玄⑪；溟海浑濩涌其后，嶰谷嶘嶆张其前⑫，寻竹竦茎荫其壑，百籁群鸣聋其山⑬，冲飚发而迴日，飞砾起而洒天⑭。于是登绝巘，溯长风⑮，陈辩惑之辞，命公子于岩中⑯。曰："盖闻圣人不卷道而背时，智士不遗身而匿迹⑰；生必耀华名于玉牒，没则勒洪伐于金册⑱。今公子违世陆沉，避地独窜⑲，有生之欢灭，资父之义废⑳，愁洽百年，苦溢千岁㉑，何异促鳞之游汀泞，短羽之棲翳荟㉒？今将荣子以天人之大宝，悦子以纵性之至娱㉓，穷地而游，中天而居㉔，倾四海之欢，殚九州之腴㉕，钻屈穀之瓠，解疏属之拘㉖。子欲之乎？"公子曰："大夫不遗，来萃荒外，虽在不敏，敬听嘉话㉗。"

【注释】

①冲漠公子：虚拟人物。冲漠，谓"公子"秉性恬淡虚静，无所拘束。 含华隐曜：含有美德而不炫耀。曜：炫耀。 嘉遁龙盘：隐居如龙盘于山川之中。嘉遯：旧称合于正道的退隐。《易·遯》："嘉遁贞吉。" 玩世：以傲慢嬉戏的态度处世。高蹈：远避于世，亦谓隐居。

②游心：留意养习。 浩然：即浩然之气，即正大刚直之气。《孟子·公孙

丑》:“我善养吾浩然之气。” 玩志:养习志向。 众妙:万物之玄理。《老子》:“玄之又玄,众妙之门。”

③绝景:尽弃身影。景同影。犹言隐身。 大荒之遐阻:极边远之地的险峻之处。 吞响:绝息声音。犹言销声。 幽山之穷奥:深山中之最深处。

④殉华大夫:虚拟人物。 殉:李善注:“殉,营也。”殉华意谓营求华。造:往、去。

⑤勑:同敕。备也。 云辂:即云车。绘制云彩之车。辂:lù(录),原指大车。 骖飞黄:用三匹神马拉车。 骖:同驾一车的三匹马。飞黄:传说中的神马。

⑥奔沙:狂飞之沙砾。 流霜:飞霜,细而密之霜。

⑦扶摇之风:盘旋而上之暴风。 坚冰之津:极寒冷之渡口。

⑧旌拂霄堮二句:李周翰曰:“旌旗拂于云霄之厓,车跡出于苍天之畔。”堮(è恶):厓岸。垠:边际。

⑨清冷:寒冷。 旷朗:空旷明朗。

⑩重岫:重迭的山峰。岫:xiù(秀),峰峦。 揽辔:收住马辔,即勒马停步。石室:岩洞。 回轮:调转车头,亦即停车之意。

⑪峥嵘幽蔼:深邃昏暗。 萧瑟虚玄:静寂空远。

⑫溟海:李善注引《十洲记》曰:“东王所居处山,外有员海。员海水色正黑,谓之溟海。”犹言深海。 浑溲(huò货):吕向曰:“浑溲,水涌声。” 嶰谷:昆仑山之北谷。嶗嶆(láo cáo劳曹):山谷陡峭幽深貌。张:列。

⑬寻竹竦茎:修竹直茎。 寻:长。 竦:立。 百籁:诸物为风激动所发之声。 聋其山:使整座山皆聋,意谓山里的声响震耳欲聋。 群鸣:群鸟鸣叫。

⑭冲飓:急风。 迴日:“刘良曰:“迴日光使却行也。”

⑮高巘:高险之山。 溯:迎。

⑯辨惑之辞:辨析困惑的言辞。 命:劝告。

⑰卷道:隐藏常理。卷:即卷怀,收藏之意。《论语·卫灵公》:“邦有道则仕,邦无道则可卷而怀之。”刘宝楠《正义》:“卷,收,怀与裹同,藏也。” 背时:不合时宜。 遗身:遗弃自身。

⑱华名:美名。 玉牒:典册。勒:刻、记。 洪伐:大功。 金册:金书记录功绩的策文。李周翰曰:“玉牒、金册并国史也。……谓生死必须垂铭记功于

史册，以示天下，传于后代也。”

⑲违世：脱离尘世。 陆沉：无水而沉。喻隐居。《庄子·则扬》：“方且与世违，而心不屑与之俱，是陆沉者也。”注：“人中隐者，譬无水而沉也。” 避地：移居他处，此谓移居此极远之边地。 独窜：独隐。

⑳ 有生之欢：平生之欢娱。 资父之义废：刘良曰：“君臣之义废失。”资：赁借，依靠。李善注引《孝经》曰：“资于事父以事君而敬同。”

㉑“愁洽”两句：李周翰曰：“愁心多于百年，苦思盈溢于千岁。洽犹多也。”

㉒促鳞：小鱼。 汀泞：浅水。 短羽：小鸟。 翳荟：草木茂盛。此处依李周翰说，作“蒿草”解。

㉓天人：天上人间，犹言天地间。 大宝：最宝贵的事物。吕向曰：“天人之大宝谓富贵荣华也，纵情之至娱谓声色滋味也。”

㉔穷地而游：游遍各地。 中天：半空。

㉕殚(dān 单)：尽。 腴：肥美之食物。

㉖钻：穿孔。 屈穀(gū 姑)之瓠：喻无用之人。李善注：“韩子曰：齐有居士田仲者。宋人屈穀往见之，谓仲曰：‘穀有巨瓠，坚如石，厚而无窍，愿效之先生。’田仲曰：‘坚如石不可剖而斲，厚而无窍不可以受水浆，吾无用此瓠为也。’屈穀曰：‘然其弃物乎：’曰：‘然。’‘今先生虽不恃人之食，亦无益人之国矣，犹可弃之瓠也。’田仲若有所失，惭而不对。”瓠(hú 胡)：葫芦。斲(zhuó 茁)：砍，削。 疏属之拘：李善注引《山海经》曰：“二负杀猰㺄，帝乃梏之疏属之山，桎其右足，及缚两手。”吕向谓此二句意为：“而今大夫喻公子入仕，故如钻屈穀瓠，使其可用也。今公子自苦于穷险之地而大夫欲以荣贵及于公子，亦如解此疏属之拘桎梏也。”

㉗不遗：不遗弃我。 萃：聚集。 不敏：不才，自谦之词。 嘉话：即善言，指高妙之论。

【译文】

冲漠公子内具美德而不炫耀，遁世隐居如神龙盘于山川之中，以傲慢嬉戏的态度处世而绝俗高蹈；专心静养浩然之气，有志研习万物的玄理，隐身在极边远的险峻之处，默息无声于深山的幽静之地。殉华大夫听说后就前去拜访他，于是备好绘有云彩的车子，用

如飞黄这样的三匹神马来拉车，穿过狂飞的沙砾，辗过寒霜的大地，冒着盘旋而上的暴风，踏上坚冰覆盖的渡口，旌旗飘拂云端，车子驶出天边。天空寒冷而无彩霞，荒野空旷而无尘埃，殉华大夫登临重迭的山峰而勒马停步，看见石洞而调转车头，此时就到了冲漠公子所居住的地方。冲漠公子的居所，深邃昏暗，静寂空远；后面有深海涌动的浑濩之声，前面有陡峭的嶰谷横亘排列，修竹挺拔遮掩山谷，各种响声及鸟鸣声使整座山震耳欲聋，劲疾的山风仿佛使日光倒转，飞石卷起洒满天空。此时殉华大夫登上高峻之山，迎着长风，陈述辨析困惑的言辞，在山洞之中劝告冲漠公子说："我听说圣人不会隐蔽常理而不合时宜，聪明人不会遗弃自身而隐居；人活着时一定要使自己的美名在典册上显耀，死了一定要在史册上记上巨大的功绩。现在公子脱离尘世而隐居，移居在这荒远之地而独处，平生的欢乐都毁灭了，君臣之义也废弃了，忧愁多于百年，苦楚超过千载，这与小鱼游于浅水，小鸟棲于蒿丛有什么区别呢？现在我将用天地间的富贵荣华来使你感到荣耀，用音乐、女色、美味来使您感到高兴，让您游遍各地，居住在位于半空的殿阁之中，倾尽天下的欢乐之事，耗尽天下肥美之物，如给屈穀的葫芦穿孔，如解开二负在疏属山受到的拘禁一样，让您有用于世而解除隐居的拘绊，您不想听听吗？"冲漠公子说："大夫不遗弃我，来到这边远荒野之地，我虽不才，但很愿敬听您的高妙之论。"

【原文】

大夫曰："寒山之桐，出自太冥①，含黄钟以吐干，据苍岑而孤生②；既乃琼巘嶒崚，金岸崥崹③，左当风谷，右临云溪④，上无凌虚之巢，下无跖实之溪⑤，摇刖峻挺，茗邈苕嶢⑥；晞三春之溢露，溯九秋之鸣飈⑦；零雪写其根，霏霜封其条⑧，木既繁而后绿，草未素而先凋⑨。于是构云梯，陟峥

嵘[10]，剪蕤宾之阳柯，剖大吕之阴茎[11]。营匠斲其朴，伶伦均其声[12]，器举乐奏，促调高张[13]，音朗号钟，韵清绕梁[14]，追逸响于八风，采奇律于归昌[15]，启中黄之少宫，发蓐收之变商[16]。若乃龙火西颓，暄气初收[17]，飞霜迎节，高飞送秋[18]，羁旅怀土之徒，流宕百罹之畴[19]，抚促柱则酸鼻，挥危弦则涕流[20]；若乃追清哇，赴严节[21]，奏《绿水》，吐《白雪》[22]，《激楚》回，《流风》结[23]，悲莫荑之朝落，悼望舒之夕缺[24]，觉釐为之擗摽，孀老为之呜咽[25]，王子拂缨而倾耳，六马嘘天而仰秣[26]。此蓋音曲之至妙，子岂能从我而听之乎[27]？”公子曰：“余病未能也。”

【注释】

①寒山：山名。李善注：“《楚辞》曰：“北有寒山卓龙赩然。” 太冥：极寒冷之北方。李善注：“北方极阴，故曰太冥。”

②含黄钟：具有黄钟音律的本质。 黄钟：古乐十二律之一。《礼·月令》：“其日壬癸……其音羽，律中黄钟。”注：“黄钟者，律之始也。九寸，仲冬气至则黄钟之律应。” 干：树枝。 苍岑：青山。

③琼巘：李善注：“琼巘，玉山也。” 嶒崚：高耸不平貌。 金岸：吕向曰：“金岸，岸之生金者。” 崥崹(pí tí 皮蹄)：地势渐趋平缓。

④风谷：生风之谷。 云溪：生云之溪。刘良曰：“风所生之谷，云所生之溪。”

⑤凌虚：耸于空中。 跖实：踩地，犹言落脚。 跖：同蹠，践，踩。 实：李善注：“《淮南子》曰：‘鸟排虚而飞，兽蹠实而走。’高诱曰：‘实，地也。’” 蹊：小路。

⑥摇刖(yuè 月)：李善注：“摇刖，危貌。” 峻挺：矗立。 茗邈：高远貌。 苕嶢：高耸貌。

⑦晞：干，“湿”的反义词。 三春：春季。 溢露：浓露。 溯(sù 诉)：向、面临。 九秋：秋季。 鸣飓：鸣于风中。张铣谓此二句意为：“谓桐木之叶春

露既干，向秋鸣风。”

⑧零雪：落雪。吕向曰：“零、落也。” 写(xiè 泻)：注入。《礼·曲礼》上：“器之溉者不写，其余皆写。”注：“写者，传已器中乃食之也。” 霏霜：霜雪。李善注：“毛苌《诗·传》曰：‘霏，雪貌也。’霜亦雪类，故通言。” 封：吕向曰：“封，著也。”即覆盖。

⑨“木既繁”二句：吕向曰：“谓众木既繁而桐木犹未绿，秋草未衰而枝叶先凋。素谓衰也。”木：指其他树木。

⑩构：李周翰曰：“构，树也。”即竖起。 陟：登。 峥嵘：李善注引郭璞《方言》注：“峥嵘，高峻也。”此谓峻险之山。

⑪剪：砍伐。 蕤宾：古乐十二律之一。位于午，在五月，故有为农历仲夏五月的别称。《国语·周》下：“四曰蕤(ruí 委)宾，所以安靖神人，献酬交酢也。”注：“五月蕤宾。……蕤，委柔貌也。” 阳柯：向南的枝干。 大吕：农历十二月的别称。《国语·周》下：“元闲大吕，助宣物也。”注：“十二月曰大吕。” 阴茎：向北的树干。

⑫营匠：李善曰：“营匠，未详。”张铣曰：“营匠，匠人也。”备一说。 斲(zhuó 茁)：砍、削。 朴：树皮。 伶伦：传说中黄帝时的乐官。《吕氏春秋·古乐》：“昔黄帝令伶伦作为律。”注：“伶伦，黄帝臣。”

⑬器举：器，此指琴。举：指将琴音调好。李周翰曰：“器举，调琴成也。” 乐奏：演奏乐曲。

⑭音朗：乐音响亮。 韵清：乐曲和谐清扬。吕延济曰：“号钟、绕梁并琴名也。朗、清者谓胜于此二琴。”

⑮逸响：非同凡响的乐曲。 八风：八方之风。李善注引《风俗通》曰：“声所以五者，系五行也；音所以八者，系八风也。” 奇律：奇特的乐律。 归昌：凤鸣之声。李善注引《淮南子》曰：“律之初生也。写凤之音。”

⑯中黄：原指勇力之士。张衡《西京赋》：“乃使中黄之士，育獲之俦。”李周翰曰：“中黄，国名，其俗多勇力。”此指激烈有力。 少宫：乐调名。 蓐收：司秋之神。《国语·晋》：“虢公梦在庙，有神，人面白毛虎爪，执钺立于河西……觉，召史嚚占之，对曰：如君之言，则蓐收也，天之刑神也。”此处指肃杀凄厉。 变商：低沉的秋声。按阴阳五行之说，商、秋均属金。故亦称秋为商。变即变商音的变调，稍低于商音。

⑰龙火：刘良曰：“龙火，火星。秋则西南见也。” 暄气：阳气、暑气。

⑱飞霜：秋霜。 迎节：迎合节气。 高风：西风。

⑲羁旅：旅居于外。 怀土：思归。 流宕：远游。 百罹：多种不幸和忧患。

⑳促柱：急弦。 酸鼻：张铣曰："鼻中悲酸也。"犹言悲伤流泪。 危弦：忧伤的弦乐。

㉑清哇：清婉的乐声。 哇：李善注引《苍颉篇》："哇，讴也。" 严节：急促的节奏。严即严鼓。《汉书·史丹传》："天子自临轩槛上，隤铜丸以擿鼓，声中严鼓之节，后宫及左右习知音者莫能为。"注："晋灼曰：'疾击之鼓也。'"

㉒绿水、白雪：李周翰曰：'绿水、白雪，琴曲名。" 吐：亦"奏"之意。

㉓"激楚"、"流风"句：李周翰曰："激楚、流风，歌曲名。回，还也。结，谓声繁也。"

㉔蓂荚之朝落：蓂荚为古代传说的瑞草名。相传尧时有草夹阶而生，随月而死。每月朔日生一荚，至月半则生十五荚。至十六日后，日落一荚，至月晦而尽。若月小则余一荚。厌而不落，以是占日月之数。见《竹书纪年》，班固《白虎通》。 望舒之夕缺：李周翰曰："望舒，月也。十五日已后则缺。"并谓此二句"皆悲悼岁月之易往也。"

㉕"茕釐"、"孀老"句：吕向曰："茕釐，孤独之人也。此孤独寡老之人闻此琴则惊心悲咽也。擗摽：惊心也。呜咽，悲也。"茕釐（qiónglí 穷离）：釐通嫠，寡妇也。 擗摽（pì piāo 辟漂）：拊心而悲。

㉖王子：仙人。李善注引《列仙传》曰："王子乔者，周灵王太子晋也，吹笙则凤鸣。" 拂缨：甩开帽带。 倾耳：犹言专注地听。 六马：乏指马匹。《周礼·夏官·校人》："校人掌王马之政，辨六马之属。"注："玉路驾种马，戎路驾戎马，金路驾齐马，象路驾道马，田路驾田马，驽马给宫中之役。" 嘘天：向天叹息。 仰秣：形容马仰首而听之状。《荀子·劝学》："伯牙鼓琴，六马仰秣。"

㉗音曲：乐曲。

【译文】

殉华大夫说："寒山的桐树，出自极寒冷的北方，具有黄钟音律的本质而枝干横生，据青山孤独地生长；既临近高耸的玉山，又靠近平缓的含金的沙岸，左边正当生风之谷，右边面临生云之溪，上

边没有耸于空中的鸟巢，下边设有脚踩的小路，险危矗立，高远挺拔；桐树上春季的浓露被晒干后，又经历呼呼鸣叫和秋风吹拂，落雪注入它的根部，霜雪覆盖它的枝条，其他树木已生长繁茂而桐树枝还未绿，秋草未衰而桐树的枝叶却先凋谢。此时坚起云梯，登上这险峻的山，五月则砍伐向南的树枝，十二月则劈开向北的树干。匠人削去它的树皮而制成琴，伶伦调节琴的声律，琴音调好而演奏乐曲，曲调高昂急促，其乐音比号钟还要响亮，比绕梁还要和谐清扬，在八风中追寻非同凡响的的乐曲，从凤鸣中采录奇异的音律，从激烈有力的乐调中得到启迪，在凄厉而低沉的秋声中得到发挥。至于火星西落，暑气刚收，秋霜迎合季节，西风带来寒气，旅居于外而思归的人，遇到种种不幸和忧患的人，抚奏急弦而悲伤，弹奏忧伤的乐曲而流泪；及至随着清婉的乐声，跟着急促的节奏，演奏《绿水》和《白雪》，那《激楚》歌曲婉转，《流风》歌曲又很细碎，像蓂荚每月十五日后日落一叶，月亮十五日后每夜缺损一点一样，令人悲悼岁月易逝，孤独的人听此而会惊心悲恸，寡妇、老人听此都会呜咽悲泣，仙人会甩开帽带倾耳而听，马匹都会向天长叹而仰头静听。这大概就是最妙的乐曲了，您能跟我去听听吗？”冲漠公子说：“我有病，不能去啊。”

【原文】

大夫曰：“兰宫秘宇，雕堂绮栊①，云屏烂汗，琼壁青葱②，应门八袭，琁台九重③。表以百常之阙，圜以万雉之墉④。尔乃峣榭迎风，秀出中天⑤，翠观岑青，彤阁霞连⑥，长翼临云，飞陛凌山⑦，望玉绳而结极，承倒景而开轩⑧。赪素炳焕，枌栱嵯峨⑨，阴虬负檐，阳马承阿⑩。错以瑶英，镂以金华⑪，方疏含秀，圆井吐葩⑫。重殿迭起，交绮对幌⑬，幽堂昼密，明室夜朗⑭，焦螟飞而风生，尺蠖动而成响⑮。若乃目

厌常玩，体倦帷幄[16]，携公子而双游，时娱观于林麓，登翠阜，临丹谷[17]，华草锦繁，飞采星烛[18]，阳叶春青，阴条秋绿[19]，华实代新，承意恣欢[20]。仰折神蕾，俯采朝蘭[21]，溯惠风于衡薄，眷椒涂于瑶坛[22]。尔乃浮三翼，戏中沚[23]，潜鳃骇，惊翰起[24]，沈丝结，飞矰理[25]，挂归翮于赤霄之表，出华鳞于紫渊之里[26]。然后纵棹随风，弭楫乘波[27]，吹孤竹，拊云和[28]，渊客唱淮南之曲，榜人奏采菱之歌[29]，歌曰：'乘凫舟兮为水嬉，临芳洲兮拢灵芝[30]；乐以忘戚，游以卒时，穷夜为日，毕岁为期[31]。'此盖宴居之浩丽，子岂能从我而处之乎[32]？"公子曰："余病未能也。"

【注释】

①兰宫秘宇：芳香而隐蔽的屋室。宇：屋子。宋玉《招魂》："高堂邃宇，槛层轩些。"注："宇，屋也。" 雕堂绮栊：绘饰文采的厅堂和雕饰花纹的窗户。栊：窗上棂木，此指窗户。

②云屏：绘有云彩的屏风。 烂汗：光彩分布貌。 琼壁：玉砌的墙壁。青葱：翠绿色。

③应门：王宫的正门。《礼·明堂位》："九采之国，应门之外，北面东上。"疏："《尔雅·释宫》：'正门谓之应门。'李巡云：'宫中南向大门，应门也。'应是当也，以当朝正门，故谓之应门。" 琁台：以琁玉装饰的高台。琁玉：美玉。袭：李善注引郭璞《尔雅》注曰："袭犹重也。"即层，犹言屋子的进。

④表：立也。 百常：十六尺为常、百常言其高。 阙：城楼。 雉：计算城墙的面积单位。《左传·隐》元年："都城过百雉，国之害也。"注："方丈曰堵，三堵曰雉，一雉之墙长三丈，高一丈。"百雉言其既高且长。 墉：城墙。

⑤峣榭：高高的阁榭。 峣(yáo 尧)：高也。 榭：台上所筑之屋。 秀出：特出，突出。

⑥"翠观"、"彫阁"两句："李周翰曰："翠色楼观如山岑之青，彫画阁道如云霞相连。" 观(guàn 贯)：亦台榭也。 岑：小山。 阁：此指阁道，即楼阁之

间的通道。

⑦“长翼”、“飞陛”两句：刘良曰：“屋檐如鸟翼之临云也。 飞陛，阶道也，言高如鸟飞而陵上于山。”

⑧玉绳：李善注：“《春秋元命苞》曰：‘玉衡北两星为玉绳。’” 极：屋脊之栋，即房屋的正梁。 倒景：道家指天上最高的地方。《汉书·郊祀志》：“登遐倒景。”注：“如淳曰：在日月之上，反从下照，故其景倒。”景同影。 轩：长廊，此处依吕延济说：“轩，门也。”

⑨赬(chēng 称)，红色。 炳焕：光明显耀。 枌(fén 汾)，《说文》：“棼，复屋栋也。棼与枌古字通。”即楼房的梁。栱(gǒng 巩)：即斗栱。

⑩阴虬负檐：屋檐雕成龙形。 阳马承阿：宫殿屋宇的曲折之处都雕成马形来衔接。虬(qiú 求)：传说中的无角龙。

⑪错：《广雅》：“错，厕也。”即杂置。 瑶英：美玉之一种。 金华：有华彩之金。李周翰谓此二句：“镂金玉于室宇之中。”

⑫方疏：方形的窗户。吕向曰：“疏，窗也。” 秀：草木之花。 圆井吐葩：吕向曰：“谓屋内向下作井形，画以莲花若吐于中也。葩，花也。”

⑬重殿：层层相连的宫殿，即前后殿。《汉书·董贤传》：“诏将作大匠为董贤起大第北阙下，重殿洞门，木工之功，穷极技巧。” 交绮：交错斑烂的光色。绮：光色。幌：窗格。

⑭幽堂：深邃的堂屋。 密：静寂。《易·系辞》上：“圣人以此洗心，退藏于密。” 明室：明亮的房屋。 夜朗：刘良曰：“夜朗谓高敞也。”

⑮焦螟：传说中一种极小的虫。《列子·汤问》：“江浦之间生么虫，其名曰焦螟，群飞集于蚊睫，弗相触也。 尺蠖(huò 或)：尺蠖蛾的幼虫，先屈后伸地蠕动而行。李周翰谓此二句意为：“室之深者自生风易响应，故焦螟微虫飞亦成风，尺蠖小物动乃成响。”成响：发出响声。

⑯目厌常玩：眼睛看厌了平常的玩物。 身倦帷幄：在宫室内身体感到疲倦。 帷幄：宫室内的帷幕。此指宫室。

⑰翠阜：苍翠的小山。阜：小山。 丹谷：红色的山谷。

⑱华草：花草。 锦繁：如织锦的繁茂。 飞采：飞动的彩色，犹言飞花。星烛：如星星的明亮。

⑲阳叶：一般树木的叶子。青：草木初生，其色为青。此指叶子萌芽初生。阴条：吕向曰：“阴条谓竹松柏桂之流。”

⑳华实代新：花与果实相更代而终年呈现新景。 承意恣欢：任随心意纵情观赏欢娱。

㉑神蕭：香草名，即白芷。蕭（xiāo 萧）：《山海经·西山经》："（号山）其草多药蕭芎藭。"《传》："蕭，香花也。"

㉒惠风：即蕙风，香风也。 衡薄：蘅芜香草丛生处。衡同蘅。 眷：回视。 椒涂：充满椒香的路。 瑶坛：美玉装饰的庭院。坛：庭院。《淮南子·说林》："腐鼠在坛。"注："楚人谓中庭为坛。"

㉓三翼：李善注引《越绝书·伍子胥水战兵法内经》："大翼一艘长十丈，中翼一艘长九丈六尺，小翼一艘长九丈。"此谓大小船只。中芷：水中小沙洲。

㉔潜鳜：潜游于池中之鱼。鳜：李善注引苏林《汉书》注："今呼鱼谓之鳜。" 翰：李善注引郑玄《诗》笺曰："翰，鸟中豪俊者也。"此处指鸟。

㉕沈丝：钓丝。李善注："《毛诗》：'其钓维何，维丝伊緡。'毛苌曰：'緡，纶也。'郑玄曰：'以丝为之纶。'" 飞矰：飞箭。矰（zēng 增），古代系有生丝以射鸟雀的箭。

㉖挂：同掛。钩取，此处作射中解。 归翮：归鸟。李善注："归翮，鸿雁之属也。" 赤霄：有红色云的天空。 华鳞：吕向曰："华鳞，鱼也。" 紫渊，深渊。其色深，故称。

㉗"纵棹"、"弭楫"两句：李周翰曰："谓逆水上，故倾纵棹以接风势。顺流下，故正楫而从波行也。"意谓逆水行船，奋力划浆而顶着风势；顺水行船，停住船桨而随波前行。

㉘孤竹：管乐器。李周翰曰："孤竹，管也。" 云和：弦乐器。《周礼·春官·大司乐》："孤竹之管，云和之琴瑟。"云和，山名，以产琴瑟著称，因以为琴瑟琵琶等乐器的通称。拊（fǔ 抚）：拍，轻击，犹言弹奏。

㉙渊客：船夫。 淮南之曲：与下句之"采菱之歌"皆为乐曲名。 榜人（bàng 棒）人：船工。

㉚凫舟：凫形之舟。李善注："郭璞曰：舟为凫形制。今吴之青雀舫，此其遗象也。" 水嬉：水上游乐。 芳洲：长满芳草之沙洲。

㉛戚：忧。 卒时：终时。犹言整个时辰。 穷夜为日：意谓尽夜都如白昼一样游玩。 毕岁为期：意谓游玩以整年作为期限。

㉜宴居：闲居。 浩丽：极美妙。

【译文】

殉华大夫说："芳香而隐蔽的宫殿般的屋子，有彩绘的厅堂和雕花的窗户，画有云彩的屏风布满光彩，玉砌的墙壁一片翠绿；屋子的正门有八进，美玉装饰的高台有九层。旁边矗立着极高的城楼，再有又高又长的城墙环绕，而且高高的阁榭迎风而立，突出于半空之中，翠色的楼台如小山一样青翠，雕刻彩绘的楼阁通道如云霞相连，屋檐如鸟翼接近云端，高高的台阶如鸟飞凌于山上；屋子的正梁如象是仿效玉绳星的位置而设置的，开设的屋门如在天顶一样。红、白两色的屋栋与斗栱光彩明亮而高高重迭，屋檐雕成龙形，屋子的转角曲折之处都雕成马形来衔接。屋内杂置着美玉和有华彩的金器，方形的窗户上雕有草木花卉，如园井形的房间内画有怒放的荷花。屋子前前后后层层迭起，交错斑烂的光色照映着窗棂；深邃的厅堂极静寂，明亮的内室很宽敞，在这里连极细小的焦螟飞动都会生风，细小的尺蠖蠕动都会发出声响。如果看厌了平常的玩物，在宫室内身体感到疲倦，那么我将携同公子一块儿游玩，此刻就到山脚的林苑娱乐观赏，登上苍翠的小山，再到红色的山谷，那里花草繁茂如织锦，飞花如明亮的星星。春天，树木嫩叶初生；秋天，竹、松、柏、桂枝条碧绿，花与果实相更代而终年都呈现出新的景色。我们可以任随心意纵情观赏欢乐，抬头可摘白芷香草，低头可采含有朝露的兰花，在蘅芜香草丛中面迎扑来阵阵香风，在美玉装饰的庭院里回视充满椒香的小路。而后驾驶船只，在水中的小沙洲上嬉戏，潜于水中的鱼儿都被吓倒，受惊的鸟儿都展翅而飞，结好钓丝，整理好箭矢，一箭射中在红云中飞翔的归鸟，下钩即钓出深渊中的游鱼；这之后或逆水行船，顶着风势奋力划桨；或顺水行舟，停住船桨随波前进，吹响孤竹一类的管乐，弹奏琴瑟一类的弦乐，船夫唱起淮南之曲，船工奏起采菱之歌。歌声唱道：'乘坐凫形的船儿在水上游乐，靠近布满芳草的沙洲把灵芝采摘；尽情欢

乐而把忧愁忘却，一个时辰一个时辰就这样渡过，一整夜都如白天一样快乐，这游乐的期限要从年头直到年末。'这大概就是极美妙的闲居生活了，您能跟我去那里居住吗？"冲漠公子说："我有病，不能去啊。"

【原文】

大夫曰："若乃白商素节，月既授衣①，天凝地闭，风厉霜飞②，柔条夕劲，密叶晨稀③。将因气以效杀，临金郊而讲师④。尔乃列轻武，整戎刚⑤，建云髦，启雄芒⑥，驾红阳之飞燕，骖唐公之骕骦⑦，屯羽队于外林，纵轻翼于中荒⑧。尔乃布飞翌，张修罠⑨，陵黄岑，挂青峦⑩，画长豁以为限，带流溪以为关⑪，既乃内无疏蹊，外无漏迹⑫。叩钲数校，举麾旌获⑬。彀金机，驰鸣镝⑭，剪刚豪，落劲翮⑮；车骑竞骛，骈武齐辙⑯，翕忽挥霍，云回风烈，声动响飞，形移景发⑰；举戈林竦，挥锋电灭⑱，仰倾云巢、俯殚地穴⑲。乃有圆文之豜，班题之狜⑳，鼓鬣风生，怒目电瞛㉑，口齩霜刃，足拔飞锋㉒，甑林礪石，扣跋幽丛㉓。于是飞黄奋锐，贲石逞技㉔，蹙封豨，偾冯豕㉕；拉虺鱋，挫獬廌㉖，勾爪摧，锯牙捭㉗。澜漫狼藉，倾榛倒壑㉘，殒齣挂山，僵踣掩泽㉙；薮为毛林，隰为丹薄㉚。于是撤围顿罔，卷旆收鸢㉛，虞人数兽，林衡计鲜㉜，论最犒勤，息马韬弦㉝；肴驷连镳，酒驾方轩㉞，千钟电釂，万燧星繁㉟，陵阜沾流膏，溪谷厌芳烟㊱，欢极乐殚，迴节而旋。此亦田游之壮观，子岂能从我而为之乎㊲？"公子曰："余病未能也。"

【注释】

①白商：指秋天。　素节：亦指秋天。　授衣：指九月。《诗·豳风七月》：

“七月流火，九月授衣。”

②天凝地闭：犹言天寒地冻。 凝：凝寒，严寒。闭：冰封。

③“柔条”、“密叶”两句：张铣曰：“木之柔条至秋则成劲，叶遇于风霜，日见稀也。” 劲：坚实”

④因气以效杀：因袭秋季狩猎的贯例。李善注引《礼记》曰：“季冬之月，天子乃教于田猎。”气：时令。此指秋季。效：呈献。杀：猎获：《礼·王制》：“天子杀，则下大绥。”效杀犹言狩猎。 金郊：西郊。李善注引刘向《尚书·五行说》曰：“西方为金，故曰金郊。” 讲师：讲授武事。

⑤“轻武”、“戎刚”：吕向曰：“轻武，车名。戎刚，兵之刚猛者。”

⑥建：竖起。 云髦：旌旗。髦通旄，旗帜的一种。启：开。此处意为亮出。 雄芒：雄戟的锋芒。雄戟：古兵器名，有斜刺之戟。司马相如《子虚赋》：“曳明月之珠旗，建干将之雄戟。”

⑦“红阳”两句：张铣曰：“红阳、唐公，人也，并有良马，名飞燕、骈骊也。骖亦驾也。”

⑧羽队：李善注：“士负羽而为队也。” 轻翼：吕延济曰：“轻翼谓鹰鹯之类。”鹯(zhān 毡)：猛禽。中荒：荒野之中。

⑨飞罻(lúan 峦)：悬于空中的网。《尔雅·释器》：“彘罟谓之罻。”此处指网。罠(mín 民)：捕鸟兽的网。

⑩陵：升，登上。此处作布设解。 黄岑：黄土小山。 青峦：青翠的山峦。

⑪长豁：“六臣本”作“长壑”。依“六臣本”改。长壑：长长的山谷。带流溪：似带子样的溪流。此二句意谓：画定长长的山谷作为界限，把蜿蜒如带的溪流作为关口，以防猎物逋逃。

⑫内无疏蹊：猎场内没有通畅的小路。 外无漏迹：猎场外的空中没有漏飞的鸟禽。《广雅》：“疏，通也。”

⑬叩：敲击。钲(zhēng 征)：古乐器名。形似钟而狭长，有长柄，用时口朝上，以槌敲击。行军时以节止步伐。此处之“钲”为“钲鼓”，意为敲击钲以为鼓的节奏。 数校：吕向曰：“叩击钲鼓以数立功，校之法。”数：计算。校：考订。意为数说军士立功的条例，用奖励之法来考订。 举麾：举起旌旗。 旌获：“五臣”作“赞获”。依“五臣”改。赞获：意为宣布猎获的赏罚条令。

⑭彀(gòu 够)：张满弓弩。 金机：李善注：“机，弩牙也，以金为之。”弩牙：弓弩上发箭的装制。 鸣镝：响箭。

⑮“剪刚豪，落劲翮”句：张铣曰：“刚豪，兽也。劲翮，鸟也。剪、落，伤也。”

⑯车骑：成队的车马。竞骛（wù 务）：竞相奔驰。 骈武齐辙：犹言车马并驾齐驱。 武：足迹。辙：车迹。

⑰翕（xī 西）忽：迅疾貌。 挥霍：轻捷迅速貌。 云迴：谓云之翻涌。“声动”、“形移”二句：胡刻本原文无此二句。胡刻本《胡氏考异》卷六：“‘云迴风烈，袁本、茶陵本下有‘声动响飞、形移景发’二句，尤本脱去，当补。《晋书》亦有。”二句之意，“六臣本”引李善注：“孙卿子曰：下之和上，犹响之应声，影之随形。”犹言猎队上下配合默契，如发音有回应之声，影子追随身形一样。

⑱举戈林竦：举起戈矛，森林为之震惊。竦：通悚，惧怕，震惊。 挥锋电灭：挥动刀剑极快，如闪电倏然息灭。

⑲倾：倾覆。 殚（dān 丹）：尽。 云巢：谓筑于高处的鸟巢。 地穴：地下之兽穴。

⑳豜：（jiān 肩）：即豜。 纵狜（zōng 宗），亦作豜。《诗·豳风·七月》：“言私其豵，献豜于公。”《传》曰：“豕，一岁曰豵，三岁曰豜。”李善注：“然此豜、狜指诸兽，不专论豕也。” “圆文”谓兽之身有圆形花纹。 “班题”谓兽之额头有花纹者。题：额头。

㉑鼓鬣：竖起颈上的鬃毛。此为野兽发怒之状。电瞛：如闪电般明亮。瞛（cōng 冲）：目光明亮。

㉒齩：同咬。 霜刃：锋利的刀刃。 飞锋：此指飞箭。

㉓甗：胡刻本《胡氏考异》卷六：“甗，当作鼽，各本皆误。详善音‘五忽切’，此字从兀明甚。《集韵》十一‘没’曰：‘鼽，兽以鼻摇动。’最可证。《晋书》亦误‘甗’。《音义》云：‘音瓦’，即兀之误。”鼽（wù 误）林：野兽用鼻摇动树林。 蹶石：用足踢石。《史记·淮阴侯传》：“汉王急，马罢，虏在后，常蹶两儿欲弃之。” 和跋：碰撞，排击。 幽丛：深草丛。

㉔飞黄：飞廉、中黄伯。古代勇士。李善注：“《史记》曰：飞廉以材力事殷纣。《尸子》：中黄伯曰：‘余左执太行之獶，而右搏雕龙。’” 贲石：孟贲、石蕃，亦古代勇士。李善注：“《说苑》曰：‘勇士孟贲，水行不避蛟龙，陆行不避虎狼。’……张华《博物志》曰‘石蕃，卫士也。背负千二百斗沙。’” 奋锐：精神振奋，行动迅速。锐：迅猛，急速。 逞技：施展技能。

㉕蹙（cù 醋）：踢、踏。同“蹴”。 封豨（xí 习）：大猪。 偾（fèn 愤）：倒覆，僵仆。此处用作使动。冯豕：大猪。此处指大的野兽。封、冯：大也。

㉖赶(hán 寒):白虎。 虪(shù 树):黑虎。 獬廌(xiè zhì 泻治):兽名。李善注:"张揖《汉书》注曰:'獬廌,似鹿而一角也。'""廌"为"豸"之本字。 拉、挫:摧折,折断。

㉗句爪摧:野兽如勾的利爪被折断。 锯牙捭:野兽如锯的利齿被撕裂。捭(bǎi 摆):分开,撕裂。通擘。

㉘澜漫狼籍:言禽兽死亡之多,横七竖八,散乱遍地。 倾榛倒壑:死的禽兽倾倒在树林沟壑之中。榛(zhēn 真):丛林。

㉙殒胔:指猎物身上掉下的肉。胔(zì 字):腐肉。此处指猎物之肉。 僵踣:倒毙。 掩泽:遍及沼泽。

㉚薮为毛林:旱泽里禽兽之毛多如树林。 隰为丹薄:禽兽之血尽染低湿的洼地如红色的草丛。 薮:旱泽。隰(xí 习):低湿之地。 薄:草木丛生处。

㉛围:亦网也。 顿:止,收。 旆(pèi 沛):亦旗也。 鸢(yuān 渊):鸷鸟名,俗称鹞鹰,即猎鹰。

㉜虞人:古代掌管山泽苑囿、田猎的官。 林衡:古官名。《周礼》中"地官"之属,掌保护巡守林木。 数兽:计算猎获的死兽。 计鲜:计算生获的禽兽。

㉝论最犒勤:评论谁是第一功而犒赏他的劳苦。最:吕向曰:"最,功第一者。" 息马:让马歇息。 韬弦:收藏弓箭。韬:藏也。

㉞肴驷连镳:言犒劳军士的菜肴用双排的四马拉车来装。镳(biāo 标):马嚼子。为铁所做,衔于马口以约束马之行动。连镳即是将马嚼子相连,则马成并列之势。洒驾方轩:用并列的车来载酒。 方:一并。轩:车。

㉟电醮(jiào 嚼):如闪电般疾速地饮尽。饮酒尽也。 万燧星繁:举起万支火炬如繁星一样。

㊱陵阜:土山之间。 霑:润湿。 流膏:溶化的油脂。 溪谷:溪谷之间。厌:堵塞。《荀子·修身》:"厌其源,开其渎,江河可竭。"此处作充满解。 芳烟:芳香的烟雾。

㊲欢极乐殚:享受尽了极度的欢乐。 回节而旋:犹言交回令符而凯旋归去。节:符节,即以竹所做之信符。古时使臣执以示信之物。

【译文】

殉华大夫说:"若到秋季,九月已过,天寒地冻,西风劲吹、霜雪

飘飞，树林原本柔嫩的枝条一日日地坚硬，浓密的树叶一日日地稀疏，我们将因袭秋猎的贯例，到西郊讲授武事。在那里把‘轻’、‘武’一类的战车排列好，把刚猛的士兵整顿好，竖起旌旗，亮出雄戟的锋芒，驾上红阳的飞燕，用唐公的骝骊来拉车，将背箭的队伍屯于树林之外，让猎鹰恣意飞翔在荒野之中；然后布好悬于空中的网，再张开地上的网，将这些网布在黄土小山上，挂在青翠的山峦间，画定长长的山谷作为界限，把蜿蜒如带的溪流作为关口，猎场内野兽已无通行的小路，猎场外的空中已无漏飞的鸟禽。此时敲击钲鼓，数说军士立功的条例，和考核奖励的条款；举起旌旗，宣布猎获的赏罚条令。于是张满弓弩的机牙，射出疾速的响箭，射伤了猛兽，射落了飞禽；成队的车马竞相奔驰，而奔驰的车马并驾齐驱；行动迅速轻捷，浮云翻涌、风势猛烈，猎队上下默契配合，如发声即有响应，身动即有影随，举起戈矛，森林为之震惊；极快地挥动刀剑，如闪电倏然息灭，抬头倾覆高处的鸟巢，俯身剿尽地下的兽穴。此时则有身具园形花纹的野兽，额头有花斑的猛兽，竖起颈上的鬃毛如有风吹，发怒的目光如闪电般明亮，张口咬住寒光闪闪的利刃，用脚拨开射来的飞箭，用鼻拱动树林，用脚踢动石块，在深草丛中相互碰撞。于是飞廉，中黄伯这样的勇士振奋精神、行动迅速，孟贲、石蕃这样的勇士施展技能，用脚踏住巨大的野兽，使它们立即倒扑；白虎、黑虎被活活分尸，野兽如勾的利爪全被折断，如锯子般的利齿全被撕裂。禽兽死亡之多，横七竖八地散布在地上，或者倾倒在树林沟壑之中，野兽掉下的肉挂在山峦间，而倒毙的则遍及沼泽；旱泽里禽兽的毛多如树林，禽兽的血染尽低湿洼地使草丛成了红色。于是此时撤去围网，卷起旌旗，收回猎鹰，掌管田猎的官吏计算猎获的死兽，护守森林的官吏计算生获的禽兽，然后评定谁是头功而犒赏他的劳苦，再让战马歇息，收藏好弓箭；劳军的菜肴用双排的四马拉车来装，用并列的车来载酒，千盅美酒如闪电般疾速地一饮而尽，举起万支火炬如夜空的繁星，溶化的油脂使土山湿润，

溪谷之间充满了芳香的烟雾，享尽了欢乐，交回令符凯旋而归。这就是最壮观的游猎了，您难道不能跟我去作这样的游猎吗？”冲漠公子说：“我有病不能去啊。”

【原文】

大夫曰：“楚之阳剑，欧冶所营①，邪溪之铤，赤山之精②，销逾羊头，镤越锻成③；乃铄乃铄，万辟千灌④，丰隆奋椎，飞廉扇炭⑤。神器化成，阳文阴缦⑥，流绮星连，浮彩艳发⑦，光如散电，质如耀雪⑧，霜锷水凝，冰刃露洁⑨，形冠豪曹，名珍巨阙⑩。指郑则三军白首；麾晋则千里流血⑪，岂徒水截蛟鸿，陆洒奔驷⑫，断浮翮以为工，绝重甲而称利云尔而已哉⑬！若其灵宝，则舒辟无方，奇锋异模⑭形震薛蜀，光骇风胡⑮，价兼三乡，声贵二都⑯。或驰名倾秦；或夜飞去吴⑰，是以功冠万载，威曜无穷⑱，挥之者无前，拥之者身雄⑲，可以从服九国，横制八戎⑳，爪牙景附，函夏承风㉑。此盖希世之神兵，子岂能从我而服之乎：“公子曰：“余病未能也。”

【注释】

①阳剑：李周翰曰：“阳剑，剑名。”欧冶：即欧冶子，春秋时越国的著名冶工。李善注引《越绝书》曰：“楚王召风胡子而问之曰：‘寡人闻吴有干将、越有欧冶子。寡人愿齎邦之重宝，请此二人作为铁剑，可乎？’于是风胡子之吴，见欧冶、干将，使之作铁剑三枚，一曰龙渊，二曰太阿，三曰工市。”

②邪溪：即若邪溪，位于若邪山下，在浙江绍兴县东南。“邪”，一作“耶”。铤：铜铁矿。李善注：“铤，铜铁璞也。” 赤山：即赤堇山，又名鄞城山、铸浦山。在浙江奉化县东。 精：此指精铜精铁。李善注：“精，谓其中尤善者。”

③销：生铁。《淮南子·说林》：“屠者弃销而锻者指之，所缓急异也。” 羊

头：三棱形的箭簇。《淮南子·修务》："苗山之铤，羊头之销，虽水断龙舟，陆剸兕甲，莫之服带。"《方言》九："凡箭簇……三镰者谓之羊头。" 镤(pú 仆)：生铜生铁。 锻成：此指于济南锻造而成之剑，为东汉章帝赐予尚书陈宠之剑。李善注引《后汉书》曰："孝章皇帝赐诸尚书剑，手自署姓名，尚书陈宠：'济南锻成。'"

④乃铄乃铄：即铄铄。乃：助词，无义。《书·大禹漠》："乃圣乃神，乃武乃文。" 铄：冶炼。 (硕)，熔化金属。 万辟千灌：犹言千万次地铸造。辟、李善注："辟，谓迭之。"迭：重迭，层。此处为"次"解。灌：李善注："灌，谓铸之。"

⑤丰隆：李善注《思玄赋》注曰：'丰隆，雷公也。" 奋椎：奋力锤炼。椎：推锻，即锤炼之义。 飞廉：李善注引王逸《楚辞》注曰："飞廉，风伯也。" 扇炭：煽火。

⑥神器：神异的器物，此处指宝剑。吕向曰："神器，剑也。" 仕成：冶炼而成。 阳文阴缦：此言剑之两面，一面有花纹，一面则无花纹。 阳文：器物上凸出的文字、花纹。 缦：凡无文饰者皆曰缦。《周礼·春官·巾车》："卿乘夏缦。"疏："言缦者，亦如缦帛无文章。"

⑦"流绮"、"浮彩"二句：意谓宝剑闪灼的光色如群星相连而光彩焕发。绮、彩皆为光色之义。流、浮皆含闪灼之义。

⑧"光如"、"质如"两句：意谓宝剑之光如闪电，剑身如明亮的白雪。

⑨霜锷：剑之刃锋利而白。水凝：即冰。冰刃：锋刃的光芒。

⑩豪曹、巨阙：相传为越王勾践的宝剑。见《越绝书·记宝剑》。冠：胜过。

⑪"指郑"、"麾晋"二句；李善注引《越绝书》曰："楚王作铁剑三枚，晋、郑闻而求之。不得，兴师围楚之城，三年不解。于是楚王引太阿之剑，登城而麾之，三军破败，士卒迷惑，流血千里，晋、郑之军头皆白也。" 指郑：用此剑指向郑军。麾晋：用此剑挥向晋军。麾：通挥。

⑫岂徒：岂只。 水截蛟鸿：斩断水中的蛟龙鸿雁。 洒：吕向曰："洒犹击也。"

⑬浮翮：飞鸟。工：擅长，特长。重甲：两层铠甲。

⑭灵宝：吕延济曰："言此剑，神灵之宝。" 舒辟：舒卷。辟：卷。 无方：无常。吕延济曰："神剑者，皆柔可卷而怀之，复可舒而用之也。" 奇锋：锋刃奇特。 异模：形状与众不同。

⑮薛蜀、风胡：皆春秋时人，善鉴别宝剑。蜀：亦作烛。《越绝书·记宝剑》：

“昔者，越王勾践有宝剑五，闻于天下。客有能相剑者名薛烛，王召而问之曰：‘吾有宝剑五，请以示之。’”胡：亦作湖。风胡即风胡子。

⑯三乡：“三”应为“二”。二乡谓两个有集市的乡镇。二都：指住有千户人家的城镇两座。李善注引《越绝书》曰：“勾践示薛烛纯钧，曰：‘客有买之者，有市之乡二，骏马千匹，千户之都二，可乎？’……然实二乡，而云三者，避下文也。” 兼：加倍。

⑰驰名倾秦：言此剑名声远扬，使秦王倾倒。 夜飞去吴：言此剑能辨善恶，故夜里飞离吴国。李善注引《越绝书》：“阖庐无道，湛卢之剑去之入水，行凑楚，楚王卧而设湛卢之剑也。秦王闻而求之，不得，兴师击楚。”

⑱功冠万载：吕延济曰：“此剑之功为万载之首。” 威曜：威名显耀。

⑲挥之者无前：吕延济曰：“挥之则敌不敢前。” 雄：雄伯，称霸也。

⑳从服九国：言使从北至南的九国臣服。从通纵。 横制八戎：言制服横向相连的八个少数民族。戎：泛指西部的少数民族。

㉑爪牙景附：吕向曰：“爪牙，犹英雄人也。景，影也。言此剑之威，天下英雄来附者皆如影之附形也。” 函华：华即华夏，函即函盖。函华犹言全中国，举国。 承风：接受教化。

【译文】

殉华大夫说：“楚国的阳剑，是著名的冶工欧冶子所制作，采用的是若邪溪和赤堇山的精铜精铁，这种铜铁比制作三稜箭头和汉章帝赠给尚书陈宠的宝剑还要好；首先将这种铜铁熔化、冶炼，经过千万次的铸锻，雷神丰隆锤锻，风神飞廉煽火，最后宝剑铸成。剑的一面铸有凸出的花纹，而另一面则平滑无纹，闪灼的剑光如群星相连而光彩焕发，剑的光泽如闪电，剑身如明亮的白雪，剑刃锋利而白如坚冰，锋刃的光芒如洁净的露珠，剑形胜过越王勾践的豪曹，剑的名气比越王勾践的巨阙还要珍贵。将此剑指向郑国的军队，郑国全军都人老头白；将此剑挥向晋国的军队，晋军则溃败迷惑，流血千里；此剑又岂只是斩断水中蛟龙鸿雁，击杀地上奔驰的车马而已，而以截杀飞鸟为特长，劈开双层铠甲才算锋利啊！如此

神灵之宝，舒卷无常，锋刃奇特，形状与众不同，剑形使敌薛蜀震惊，剑光使风胡子惊骇，剑价两倍于三座有集市的乡镇，声价比两座有千户人家的城邑还要昂贵。此剑名声远扬，使秦王倾倒；此剑又能分辨善恶，夜里飞离吴国；所以此剑之功为万年之首，此剑威名显耀无穷。挥舞此剑的人则可使人不敢向前，拥有此剑的人则可称霸，可以用它使从北到南的众多敌国臣服，可以用它制服从西向东的众多民族，此剑之威使来归顺的天下英雄如影附形一样踊跃，举国因此而接受教化。这大概就是世间稀见的神奇兵器了，您难道不能跟我去佩带它吗？"冲漠公子说："我有病不能啊。"

【原文】

大夫曰："天骥之骏，逸态超越①，禀气灵渊，受精皎月②，眸瞳黑照，玄采绀发③，沫如挥红，汗如振血④，秦青不能识其众尺，方堙不能睹其若灭⑤。尔乃巾云轩，践朝雾⑥，赴春衢，整秋御⑦，虬蛹螭腾，麟超龙翥⑧。望山载奔，视林载赴⑨，气盛怒发，星飞电骇⑩，志凌九州，势越四海⑪，景不及形，尘不暇起⑫，浮箭末移，再践千里⑬。尔乃逾天垠，越地隔⑭，过汗漫之所不游，蹑章亥之所未迹⑮，阳乌为之顿羽，夸父为之投策⑯。斯盖天下之隽乘，子岂能从我而御之乎⑰？"公子曰："余病未能也。"

【注释】

①天骥：李善注："天骥，天马也。"为骏马之名。《史记·大宛传》："初……得乌孙马，好，名曰天马。" 逸态超越：飘逸之态超越群马。

②禀气灵渊：承受神渊的灵气。李善注："《遯甲开山图》曰：'陇西神马山有渊池，龙马所生。'" 受精皎月：接受明月的精血。李善注："《春秋考异》邮曰：'地生月精为马，月数十二，故马十二月而生。'"

③眸(móu 谋):眼珠。眴(jiàn 渐):目上视。李善注:"《说文》曰:'眴,戴目也。'" 黑照:"五臣"作"黑昭"。黑昭犹言眼睛黑白分明。昭:明亮。 玄采绀发:"李周翰曰:"玄采,黑色也。绀,青赤色。此马赤黑之色。"

④沫:唾沫。 挥红:抛洒一片红色。 振:李善注:"薛君《韩诗章句》曰:'振犹奋也。'"此二句意谓此马唾沫与汗皆为红色。

⑤秦青:即秦牙、管青,皆古善相马者。,《淮南子·齐俗》:"伯乐、韩风、秦牙、管青,所相各异,其知马一也。"注:"四子皆古善相马者。" 识其众尺:了解马的身长。李善注引《相马经》曰:"夫法千里马,有三十六尺四寸。" 方堙:即九方堙,春秋时善相马的人。见《吕氏春秋·观表》、《淮南子·道应》。《列子·说符》为九方皋。 睹其若灭:看清它奔跑的疾速。吕延济曰:"若灭者,言良马行疾若灭也。"

⑥巾云轩:意为用此良马驾上绘饰有云彩的车。 巾:李周翰曰:"巾,饰也。" 云轩:云车。轩:《尚书大传·帝告》:"未命为士者不得乘朱轩。"注:"轩,车通称也。"

⑦赴春衢:趋往通衢大道。此句之"春"为与下句之"秋"相对而设,实无"春"之义。 秋御:李善注:"秋御,秋驾也。"秋驾:驾马的技术。《吕氏春秋·博志》:"尹儒学御三年而不得焉,苦痛之,夜梦受秋驾于其师。"注:"秋驾,御法也。"

⑧虬:传说中之无角龙。 螭(chī 痴):亦为传说中的独角龙。 踊腾:踊跃奔腾。麟:即麒麟,传说中的神兽。 超、翥:张铣曰:"超、翥并疾飞也。"

⑨载:则。《诗·大雅·江汉》:"时靡有争,王心载宁。" 笺:"载之言则也。"

⑩气盛怒发:气势旺盛猛烈奋发。 星飞电骇:如流星飞逝,如闪电迅速。骇:"五臣注"吕延济曰:"骇,惊也。"惊:迅速。

⑪志:志趣。 凌:逾越。 势:态势,神情。

⑫景:同影。李周翰谓此二句意为:"行疾,影不及随其形;尘虽起已去尘远也。"

⑬浮箭:古代计时的漏壶上表示时间的标尺。

⑭天垠:天边,指极远的地方。 地隔:地之边界,犹言地角。"五臣注"吕向曰:"隔、界也。"

⑮汗漫:《淮南子·道应》:"吾与汗漫期于九垓之外,吾不可以久驻。"后

将汗漫作仙人的别名。 章亥:即太章、竖亥。相传为禹之臣,善于疾行。《淮南子·地形》:“禹乃使太章步自东极,至于西极……使竖亥自北极至于南极。”注:“太章、竖亥,善行人,皆禹臣也。”

⑯阳乌:神话中指太阳里的三足乌。李善注引《春秋元命苞》曰:“阳成于三,故日中有三足乌。乌者,阳精。” 顿羽:收束羽翼而不飞。 夸父:古代神话中追赶太阳之人。《山海经·海外北经》:“夸父与日逐走,入日;渴欲得饮,饮于河渭,河渭不足,北饮大泽。未至,道渴而死,弃其杖,化为邓林。” 策:杖。

【译文】

殉华大夫说:“天骥这样的良马,飘逸的神态超越了一般马,它是承受神渊的灵气,接受明月的精血而生的,如果它眼往上瞧,眼仁与眼白黑白分明,它周身是赤黑色,唾沫喷出如抛洒一片红色,汗水流出如浸出一片鲜血,善于相马的秦牙、管青看不出它的身长,九方堙也看不清它奔跑的速度。然后牵出此马驾上绘有云彩的车子,踏着晨雾,趋往通衢大道,再调理好驾驭的技术,让它象虬、螭一类的独角龙那样踊跃奔腾,象麒麟、神龙那样疾飞凌空,看见高山则奔腾而过,看见莽林则趋驰而过,气势旺盛,猛烈奋发,如流星飞逝,如闪电迅速。此马的志趣在于跨逾九州,它的气势仿佛要横越四海,其驰骋之快,连它的身影也跟不上它的身形,尘土还来不及扬起而它已疾驰而过。漏壶的刻度还未移动,此马已远行千里之遥。尔后此马跨越天涯地角,经过仙人所未游览过的地方,竖亥所未走过的道路,太阳里的神乌因此而束翼不飞,追赶太阳的夸父因此而弃杖不行。这大概就是天下最好的坐骑了。您难道不能跟我去乘坐吗?”冲漠公子说:“我有病不能去啊。”

【原文】

大夫曰:“大梁之黍,琼山之禾①,唐稷播其根,农帝嗟

其华②。尔乃六禽殊珍，四膳异肴③，穷海之错，极陆之毛④，伊公爨鼎，庖子挥刀⑤，味重九沸，和兼勺药⑥。晨凫露鹄，霜鹅黄雀⑦，圜案星乱，方丈华错⑧。封熊之蹯、翰音之跖⑨、燕髀猩唇、髦残象白⑩、灵渊之龟、莱黄之鲐⑪、丹穴之鹦、玄豹之胎⑫，煇以秋橙，酤以春梅⑬，接以商王之箸，承以帝辛之杯⑭。范公之鳞，出自九溪⑮，赬尾丹鳃，紫翼青鬐⑯。尔乃命支离，飞霜锷⑰，红肌绮散，素肤雪落⑱，娄子之豪，不能厕其细；秋蝉之翼，不足拟其薄⑲。繁肴既阕，亦有寒羞⑳：商山之果、汉皋之楱㉑、折龙眼之房，剖椰子之壳㉒，芳旨万选，承意代奏㉓。乃有荆南乌程、豫北竹叶㉔，浮蚁星沸，飞华萍接㉕，玄石哙其味，仪氏进其法㉖，倾罍一朝，可以流湎千日；单醪投川，可使三军告捷㉗。斯人神之所歆羡，观听这所炜晔也㉘，子岂能强起而御之乎？”公子曰：“耽口爽之馔，甘腊毒之味㉙，服腐肠之药，御亡国之器㉚，虽子大夫之所荣，故亦吾人之所畏㉛，余病未能也。”

【注释】

①“大粱”、“琼山”句：刘良曰：“大粱，郡名，出黍。琼山出禾。”黍：五谷之一，俗称黄米子。禾：此处似应指粟，即小米。秦汉以前，禾皆指粟。《诗·豳风·七月》：“黍稷重穋，禾麻菽麦。”

②唐稷：唐尧时的农官。吕向曰：“尧有后稷主播种百谷也。” 农帝：指神农氏。李善注：“贾谊曰‘神农哙百草之实，教人食谷者也。’ ”根：此指黍、禾之种。华：“五臣注”吕向曰：“华，苗也。”

③六禽：《周礼·天官·庖人》：“庖人掌共六禽。”郑玄注以雁、鹑、鷃、雉、鸠、鸽为六禽。 四膳：四季所食的不同肉类。李善注引《礼记》：“孟春食麦与羊，孟夏食菽与鸡，孟秋食麻与犬，孟冬食黍与彘。” 肴：“五臣注”刘良曰：“肴，肉也。”

④穷海之错：穷尽各种各样的海味。 极陆之毛：极尽各种陆地的兽类。吕向曰："错，杂；言多也。陆毛，兽也。"

⑤伊公：指伊尹。爨鼎：给鼎添火，犹言用鼎烹煮。爨（cuàn 窜）：烧火烹煮。鼎：古代的一种烹饪器。 庖子：庖丁。 挥刀：李周翰曰："割肉也。"

⑥味重九沸：意谓反复多次烹煮，食物之味就出来了。九沸：多次烹煮和兼勺药：五味调料齐全而且调和。勺药：五味调料的总称。《史记·司马相如传》：《子虚赋》："勺药之和具，而后御之。"《集解》引郭璞："勺药，五味也。"

⑦晨凫：晨飞之野鸭。凫：fú（服），野鸭。 露鹄：露宿之天鹅。鹄：hú（胡）。 霜鹜：霜天的沙鸡。鹜（duò 舵）：即鹜鸠，又名沙鸡。形状象鸽，三趾，内质甚美。

⑧"圜案"、"方丈"句：意谓园形的盘碟如星星繁多，正方形的盆碗华美错杂。圜通园。吕延济曰："圆案、方丈，食器也。星乱、华错言多而美杂也。"

⑨封熊：体大之熊。 蹯（fán 番）：兽足。此指熊掌。 翰音：李善注引《礼记》曰："鸡曰翰音。" 跖：同蹠，脚掌。

⑩燕髀：燕雀的大腿。 髀（bì 币）：大腿。 髦残象白："煮熟的髦牛、大象之肉。髦：李善注引高诱曰："髦，髦牛也。" 残、白：李善注："残、白，蓋煮肉之异名也。"

⑪灵渊：李周翰曰："灵渊，深渊也。" 莱黄：地名。李善注引《汉书》："东莱郡有黄县。" 鲐（tái 台）：海鱼名。

⑫丹穴：山名。李善注引《山海经》："丹穴之山有鸟焉，其状如鹤，五采，名曰凤。" 鹠（liù 溜）：小鸡。《尔雅·释鸟》："鸡之暮子为鹠。" 玄豹之胎：幼小的黑豹。玄：黑色。胎：吕向曰："胎谓小者。"

⑬焞（chǎn 产）：吕向曰："焞，煮。" 酟：（tiān 添），调和，调味。"五臣注"吕向曰："梅、橙，果实也。其味酸，以煮和诸味。橙，秋熟；梅，春熟。"

⑭商王、帝辛：李善注："商王、帝辛，皆谓纣也。《史记》曰：'帝乙崩，子辛立，是为帝辛，天下谓之纣。'" 箸（zhù 助）：筷子。此指象牙筷。 杯：此指玉石杯。李善注："箕子曰：'象箸玉杯，不盛菽藿者也。'"

⑮范公之鳞：范蠡所养的鱼。九溪：此指范蠡的养鱼池。吕延济曰："范蠡养鱼之浦称九溪，谓池中有洲渚，数为九也。溪，池也。"

⑯赬（chēng 称）：红色。 翼：鱼翅。 鬐：（qí 七）：鱼脊鳍。

⑰支离：支离益，相传为古代屠龙者。李善注："《庄子》曰：'朱汗漫学屠龙

于支离益。'" 飞霜锷:挥动锋利的屠刀如飞。李周翰曰:"锷,刃也。霜者,利也。"

⑱红肌绮散:此言被割下的带血的肉如有纹理的丝绸一样飘散。 素肤:指不带血的肉。李周翰曰:"肌、肤皆肉。"

⑲娄子之豪:意谓离娄能明察秋毫的眼力。娄子:离娄。《孟子·离娄》上:"离娄之明,公输子之巧,不以规矩不能成方园。"赵岐注:"离娄者,古之明目者。" 豪:通毫。 厕:同测。 拟:比。

⑳繁肴:繁多的美味佳肴。 阕(què 却):终了。 寒羞:指可以冷食的食物。羞同馐。

㉑汉皋:汉水之滨。楱(còu 凑):果名,即柚子。

㉒折:拨开。 龙眼:水果名,似荔枝而小,味甘。 房:吕向曰:"房、壳皆皮也。"

㉓芳旨万选:香美之味经过万般选择。旨:美味。 承意代奏:顺从所欲所好更换着进献。奏:进献。

㉔荆南:地名。 乌程:酒名。李善注引盛弘之《荆州记》曰:"渌水出豫章康乐县,其间乌程乡有酒官,取水为酒,酒极甘美,与湘东酃湖酒年常献之,世称酃渌酒。" 豫北:地名。 竹叶:酒名,即竹叶青。

㉕浮蚁:浮于酒面上的泡沫。星沸:张铣曰:"星沸言多乱也。" 飞华萍接:如花之飞舞、浮萍泛起相连。

㉖玄石:人名。相传为古代善辨酒味之人。李善注引《博物志》:"玄石从中山酒家酤酒,酒家与之千日之酒。" 仪氏:即仪狄。相传为夏禹时发明酿酒之人。《战国策·魏》:"昔者帝女令仪狄作酒而美,进之禹。"

㉗倾罍:犹言畅饮。罍(léi 雷):酒樽。 流湎:刘良曰:"流湎,醉也。" 单醪:一杯酒。单通箪。醪(láo 劳):醇酒。李周翰曰:"楚与晋战,或人进王一箪酒,王欲与军士共之,则少而不遍,乃倾酒于水上源,令众七饮之,上、卒皆醉。乃感惠尽力而战,晋师大败之。 箪:谓一樽也。"

㉘人神:凡人与神仙。 歆羡:欣羡、爱慕。 炜晔:李善注引郭璞曰:"炜晔,盛貌也。"

㉙口爽:口舌失去辨味能力。《老子》:"五味令人口爽。"注:"爽,差失也。失口之用,故谓之爽。" 腊毒:指味极重。腊(xī 昔):《国语·周》下:"高位实疾颠,厚味实腊毒。"

㉚腐肠之药：指肥肉美酒。李善注引《吕氏春秋》曰："肥肉厚酒，以务相疆，命曰烂肠之食。" 亡国之器：李周翰曰："谓象箸玉杯，纣用而亡也。"

㉛子大夫：对殉华大夫的敬称。 吾人：冲莫公子之自称。

【译文】

殉华大夫说："大梁出产的黄米，琼山出产的小米，这曾是唐尧时的农官播过的种，神农曾尝过它们的苗；此外有六禽的珍味，一年四季所食的羊、鸡、犬、猪这些不同的肉类，再穷尽各种各样的海味，竭尽陆地的各种兽类，让伊尹用鼎烹煮，让庖丁挥刀切肉，经过反复多次烹煮，这些山珍海味的滋味就出来了，而所添加的五味调料不但齐全而且调和。晨飞的野鸭、露宿的天鹅、霜天的沙鸡以及黄雀，都摆在盘碟里，这些盘碟园形的如星星般繁多，方形的错杂而华丽。大的熊掌、家鸡的脚掌、燕雀的大腿和猩猩的嘴唇、煮熟的髦牛和大象的肉、深渊的乌龟、东莱郡黄县的鲐鱼、丹穴山的小鸡、黑豹的幼崽，都加上秋橙来烹煮，用春梅来调味，这些佳肴用商纣王的象牙筷来挟、用商纣王的玉杯来盛。范蠡所养的鱼，出自九溪，这些鱼有红色的尾和鳃，紫色的鱼翅和青色脊鳍；让支离益挥动如飞的锋利的屠刀来切割，被割下的带血的肉，如有纹理的丝绸一样飘散，不带血的肉如雪花一样飘落，就是离娄明察秋毫的眼力，也不能测度鱼片之细；即令是秋蝉的翅膀，也比不上这些鱼片之薄。繁多的美味佳肴吃尽了，接着又有许多冷食：商山的水果、汉水之滨的柚子，拨开龙眼的皮，剖开椰子的壳，香美之味经过万般选择，顺从您的所好更换着进献；还有荆南的乌程酒，豫北的竹叶青，这些美酒浮于表面的泡沫多而散乱，如繁花的飞舞，如浮萍泛起相连，让玄石品尝它们的味道，让仪狄陈述它们的酿造方法，只须畅饮一天，就可以沉醉千日；只要倒一杯到河中，三军分饮后就可以打胜仗。这些人、神都十分爱慕，是所见所闻中最丰盛的饮食了，您难道不能勉强起来与我一块儿去受用吗？"冲漠公子说："沉溺于让

口舌失去味觉的美食，认为味道极浓的食物最甘美，这不异于服用使肠子腐烂的毒药，使用会招致国家灭亡的器皿，这虽然是您认为很荣耀的事，但却使我感到害怕，我有病不能啊。”

【原文】

大夫曰：“盖有晋之融皇风也，金华启徵，大人有作①，继明代照，配天光宅②。其基德也，隆于姬公之处岐③；其垂仁也，富乎有殷之在亳④。南箕之风，不能畅其化；离毕之云，无以丰其泽⑤。皇道焕炳，帝载缉熙⑥，导气以乐，宣德以诗⑦，教清于云官之世，治穆乎鸟纪之时⑧。王猷四塞，函夏谧宁⑨，丹冥投烽，青徼释警⑩，却马于粪车之辕，铭德于昆吴之鼎⑪，群萌反素，时文载郁⑫，耕父推畔，鱼竖让陆⑬，樵夫耻危冠之饰，舆台笑短后之服⑭。六合时邕，巍巍荡荡⑮，玄韶苍歌，黄发击埌⑯，解羲皇之绳，错陶唐之象⑰。若乃华裔之夷，流荒之貊⑱，语不传于辎轩，地不被乎正朔⑲，莫不骏奔稽颡，委质重译⑳。于时昆揜感惠，无思不扰㉑；苑戏九尾之禽，囿栖三足之乌㉒，鸣凤在林，翳于黄帝之园㉓，有龙游渊，盈于孔甲之沼㉔。万物烟熅，天地交泰㉕，义怀靡内，化感无外㉖，林无被褐，山无韦带㉗，皆象刻于百工，兆发乎灵蔡㉘。搢绅济济，轩冕蔼蔼㉙，功与造化争流，德与二仪比大㉚。”言未终，公子蹶然而兴㉛，曰：“鄙夫固陋，守此狂狷㉜。盖理有毁之而争宝之讼解；言有怒之而齐王之疾痊㉝。向子诱我以聋耳之乐，栖我以蔀家之屋㉞，田游驰荡，利刃骏足㉟，既老氏之攸戒，非吾人之所欲，故靡得应子㊱。至闻皇风载韪，时圣道醇㊲，举实为秋，摘藻为春㊳，下有可封之民，上有大哉之君㊴，余虽不敏，请寻后尘㊵。

【注释】

①有晋：晋朝。 融：通。 皇风：刘良曰："上皇至理之风。"上皇：指上古之三皇：伏羲、神农、黄帝。 金华启徵：犹言晋朝以金德王，开启新的朝代而承应先朝之皇位。"五臣注"刘良曰："晋，金德王，故曰金华。"秦汉方士以金、木、水、火、土相生相剋的道理来附会王朝命运，称"五德"。晋是以"金德"而继魏立朝，故曰以金德王。 大人有作：大人：刘良曰："大人，天子也。" 作：兴起。此指在位。

②继明代照：刘良曰："晋德之明则继日照于天下。" 配天光宅：犹言晋朝德配于天而覆盖四宇。配天：德惠与天匹对。光宅：充满、复被。《书·君爽》："故殷礼陟配天，多历年所。"

③基德：以德为本。 姬公之处岐："五臣注"张铣曰："姬公，文王也。言以德为本，则盛于文王之处岐山之阳。

④垂仁：继承仁爱之政。富：此指宽厚。 有殷之在亳："五臣注"吕向曰："有殷，汤也。言汤所都地名也。" 亳(bó 博)：商汤之国都。《史记·殷纪》："汤始居亳。

⑤南箕之风：箕星所生之风。南箕：即箕星，二十八宿之一。李善注引《春秋纬》曰："月失其行，离于箕者，风。" 离：附着。故曰箕星主风。不能畅其化：意谓虽风可催化万物，但也不能比晋朝德政教化的通畅。 毕：星名，二十八宿之一。李善注引《春秋纬》曰："离于毕者雨。"故毕星主雨。"五臣注"李周翰曰："雨可以润物，云所以致雨。" 无以丰其泽：意谓惠泽于民，是无法比晋朝德政更丰厚。

⑥皇道：仁德大道。焕炳：明亮。 帝载：帝王之事业。 缉熙：《诗·周颂·敬之》："日就月将，学有缉熙于光明。"犹言积渐至于光明。后用以指光明。

⑦导气以乐：用乐、舞来疏导人们的郁结之气。 宣德以诗：用诗歌来宣扬德政。

⑧教：教化。 云官之世：指黄帝的时代。《左传·昭》十七年："昔者黄帝氏以云纪，故为云师而云名。"注："黄帝受命有云端，故以云纪事，百官师长皆以云为名号。" 穆：美好。 鸟纪之时：指少昊氏的时代。《左传·昭十七年》："我高祖少皞挚之立也，凤鸟适至，故纪于鸟。" 少昊：传说中古部落首领名，

也作少皞，名挚，字青阳，黄帝子。

⑨王猷：王道，即仁义之道。 猷：张铣曰："猷，道。" 四塞：充溢四方。函夏：指全中国。函：包含。夏：华夏。 谧宁：安静。

⑩"丹冥"、"青徼(jiào 轿)"句：张铣曰："丹冥，南方远处，谓蜀也。言蜀以破，投去烽火，不设兵守。 青徼，东方。谓吴已平，释舍戎候，不用卒也。"

⑪马："五臣"作"走马"，即善走之马，指战马。 粪车：农车。粪：施肥、肥田。《礼·月令》："可以粪田畴，可以美土疆。" 铭德：将功德刻于器物之上。昆吴：即昆吾。李周翰曰："昆吾，地名，作鼎之处。"

⑫群萌："五臣"作"群氓"，即民众。 反素：吕向曰："反于纯素之时。" 时文载郁：吕向曰："时文谓礼乐也。载，则也。郁，美也。"

⑬耕父：农夫。 推：亦让也。 畔：田界。 鱼竖：渔夫。 让陆：相互谦让宜于鱼钓之地。

⑭危冠：高冠。 舆台：古代分人为十等，舆为第六等，台为第十等。舆台指地位低下之人。 短后之服：谓衣之后幅较短，便于动作。李周翰曰："危冠、短后服，戎士衣也。耻危冠，愿事君也。笑短服，不用也。"

⑮六合：天地四方。 时邕：指时世安定、太平。 巍巍荡荡：刘良曰："巍巍，功高也。 荡荡：德广也。"

⑯玄龆(tiáo 条)：幼童。 黄发：老人。巷歌：李善注："《列子》曰：尧理天下，乃微服游康衢，闻儿童谣曰'立我蒸民，莫匪尔极，不识不知，顺帝之则。'" 击埌：相传尧舜在位，有老人击埌而歌曰："日出而作，日入而息，凿井而饮，耕田而食，帝何力于我哉？"后以"巷歌"、"击埌"为歌颂帝德及盛世太平的典故。

⑰羲皇：伏羲氏。张铣谓此句意为："古者文字未生而伏羲氏画八卦以代之。言晋之和平，法令宽理，道出百王，亦犹伏羲解去结绳之政也。" 陶唐：尧也。 象：象刑。传说上古尧舜时无肉刑，以特异的服饰象征五刑，以示耻辱，谓之象刑。故尧之象刑，犹言刑法宽慈。此句犹言晋之仁德杂糅于如尧时的刑法当中。

⑱华裔之夷：距中国极远的少数民族。裔：边远之地。 流荒：边远的地方。 貊(mò 莫)：古代居于东北方的民族。

⑲辎(yóu 游)轩：轻车。使臣所乘之车。应劭《风俗通·序》："周秦以岁八月遣辎轩之使求异代方言。 被：及也。 正朔：月正朔望，即指中国之历法。

⑳稽(qǐ 启)颡(sáng 嗓):叩头至地的跪拜礼。 委质重译:李周翰曰:"委质谓屈身也。重译谓易夷狄之言以宣于帝听也。"

㉑昆蚊(qí 齐):昆虫。 感惠:感激晋皇之恩德。 无思不扰:《诗·大雅·文王有声》:"自西自东,自南自北,无思不服。"意谓没有不思慕不驯服的。扰:驯服。

㉒苑、囿:喂养禽兽的园林。 九尾之禽:九尾狐。禽:李善注引《白马通》曰:"禽者何?鸟兽之总名,明为人所禽制也。" 捷:养。《吕氏春秋·论威》:"其藏于民心,捷于肌肤也,深痛执固。"注:"捷,养也。" 三足乌:吕向曰:"三足鸟,乌也。皆天子有至德,此物乃见。"

㉓鸣凤:凤鸣。夥(huǒ 伙):多。

㉔盈:充满。孔甲:夏帝名。禹后十四世。沼:池也。

㉕烟熅(yūn 晕):阴阳二气和顺貌。 交泰:指天地之气融合贯通,生养万物,物得畅通。

㉖义:指晋帝仁义之心。 怀:包容。 靡内:不止于国内。靡:通无。化感:指晋帝之教化感召。 无外:指极远之地方,亦即异域也。

㉗被褐:李周翰曰:"被褐,逸人服也。" 韦带:古代贫贱之人所系的无饰皮带。此指贫贱之人。此二句为互文。

㉘"象发"、"兆发"句:吕延济:"曰'象发百工',傅说(yuè 悦);曰'兆发灵蔡',太公也。高宗梦得说,使百工刻其形象而求之。文王十出田于渭阳得太公以归。蔡谓龟出蔡地。" 高宗:殷高宗武丁,曾于傅岩之野访得傅说,以为相。文王:周文王。太公:姜尚。灵龟:用以占卜的龟。因春秋蔡地出龟,故称。此二句意谓:逸隐、贫贱之人皆能如傅说遇武丁,姜尚遇文王得以才伸志酬。

㉙搢绅:搢,插笏于带间。绅,大带。古时仕宦者垂绅搢笏,因称士大夫为搢绅。 济济:仪表美盛。《诗·大雅·公刘》:"跄跄济济,俾筵俾几。" 轩冕:士大夫的轩车和冕服。蔼蔼:盛多貌。

㉚造化:指自然的创造化育。 争流:竞相传布。 二仪:天地。

㉛蹶然而兴:急遽地起身。蹶然:急遽貌。

㉜鄙夫:鄙陋浅薄之人。 狂狷:偏激保守。

㉝"理有"句:犹言以舍玉来评断争辩。李善注引《淮南子·庄子后解》曰:"庚市子,圣人无欲者也。人有争财相斗者,庚市子毁玉于其间,而斗者止。""言有"句:犹言以舍身来治癒沉疴。李善注引《吕氏春秋》曰:"齐闵王病瘠,往

宋迎文挚。文挚视王疾，谓太子曰：‘王病得怒当愈，愈则杀挚，如何？’太子曰：‘臣当与母共请于王，必不杀子矣。’挚往，不解屦，登床履衣，问王之疾。王怒，叱而起，病即瘳。将生烹文挚。太子与后请不得，遂烹文挚。

㉞聋耳之乐：动听的音乐。李善注引《老子》曰：“五音，令人耳聋。” 蔀(pǒu 掊)家 之屋：豪华的屋子。

㉟利刃：宝剑。骏足：骏马。

㊱老氏：即老子。 攸：所。 应子：听从您。

㊲皇风：君主之教化。 载：语助词。 韪：善。 时圣道醇：时世圣洁，政事纯清。

㊳“举实”、“摛(chī 痴)藻”句：张铣曰：“举用贤能，亦如秋时万物成实也。发礼乐文章，如春之万物荣美也。” 摛：发，铺饰。藻，文也。”

㊴可封之民：百姓皆可比屋而封。《尚书·大传》：“周人可比屋而封。”犹言家家都有德行，人人可以旌表。 大哉之君：指帝尧。李善注引《论语》：“大哉！尧之为君。”

㊵清寻后尘：吕向曰：“请从大夫后尘以从仕也。”

【译文】

殉华大夫说：“晋朝上通远古三皇的政风，以金德王，开启新王朝而承应前朝的皇位，圣天子在位，君德之明继日照于天下，君德之惠可与天匹对而覆盖四宇。晋主以仁德为本，比周文王在岐山之阳时还要兴盛；晋主继承仁爱之政，比商汤在亳时还要宽厚。箕星所生之风，虽可催化万物，但也不能比晋朝德政教化更通畅；月附着于毕星，虽可生云成雨而惠泽于民，但也无法比晋朝德政更丰厚。仁德大道明明亮亮，帝业愈显光明，用乐、舞来疏导人们的郁结之气，用诗歌来宣扬德政，教化比黄帝的时代还要清明，治理比少昊的时代还要美好。仁义之道充溢四方，全国极宁静和平，南方的蜀国已破，所以抛弃烽火而不设兵守，东方的吴国已平，所以解除武备警戒而不用兵卒，释放战马，用来驾车务农，将晋朝的功德刻于昆吾所铸造的大鼎之上，百姓都仿佛返回到世风纯朴的时代。礼

乐制度极其美好，农夫们相互谦让耕种的田土，渔夫们也相互谦让宜于鱼钓的河岸，柴夫们都以高冠戎装为耻，地位低下的人也都耻笑戎装短服。晋王所辖的天地四方，四时极安定太平，晋主功高如巍巍高山，德广如荡荡江河，幼童于闾巷、老人于田间都歌颂晋主之德及盛世太平，法令宽缓如伏羲解去结绳，开启仁慈治世一样，晋主的仁德全杂糅在如尧帝时的刑法当中。至于那些距中国极远的部族，那些处于东方边陲的民族，语言连使臣都不能勾通的国度，连中国的历法都传播不到的地方，此时没有不疾奔而来叩头跪拜，卑躬曲膝地将效忠之意翻译给晋主听的。当此时，连昆虫都感激晋主的恩惠，没有不思慕而驯服的；皇家的园林中有瑞兽九尾狐在嬉戏，还饲养着瑞禽三足的乌鸦，凤凰的鸣叫比黄帝园林里的还要多，游于深渊的神龙，充满了夏帝孔甲的池塘，万物的阴阳二气协调和顺，天地之气融合贯通，生养万物而物得通畅。晋主的仁义之心包容不止于国内，晋主的教化感召已达异国他邦，山林中既无隐逸之士，又无贫贱之人，世人都能如傅说之遇殷王武丁、姜尚之遇周文王那样得以才伸志酬，士大夫们都仪表美盛，他们的轩车和冕服是如此之多，晋主的功勋与造化竞相传布，其仁德可与天地比量大小。”殉华大夫话还未说完，冲漠公子就急遽地起身，说：“我这个鄙陋浅薄的人，本来见识就很短浅，坚持着偏激保守的愚蒙之见。然而，大凡讲理，就应如庚市子舍玉那样评断争辩；治病，就应象文挚舍身那样治癒沉疴。再此前，您用动听的音乐来引诱我，用豪华的屋子让我居住，让我跟您去打猎驰骋，佩宝剑，骑骏马，这既触犯了老子的规戒，又不是我所追求的东西，所以不能听从您；至于听到君主教化的美善，政事的纯清，举用贤能，如秋天万物结果那样丰硕，铺饰礼乐的文彩，如春天万物那样华美。在下、百姓们家家都有德行，人人可以旌表；在上，君主有如尧帝一样圣明，我虽不才，请随您后尘而出仕吧 。”

（熊竹沅　译注）

诏

诏一首

汉武帝

【作者】

汉武帝刘彻(前156～前87),景帝中子。四岁立为胶东王,七岁为皇太子,十九岁即皇帝位。武帝承文景之业,对内实行政治经济改革,对外用兵,开拓疆土。尊儒术,倡仁义,而罢黜百家,建太学,置五经博士。在位五十四年,为前汉一代军事、政治、经济、文化的极盛时期。但迷信神仙,大兴土木,急征敛,重刑诛,连年用兵,使海内虚耗,人口减半。班固《汉书·武帝纪赞》曰:"孝武初立,卓然罢黜百家,表章《六经》。遂畴咨海内,举其俊茂,与之立功。兴太学,修郊祀,改正朔,定历数,协音律,作诗乐,建封禅,礼百神,绍周后,号令文章,焕然可述。"

【题解】

诏是皇帝向全国发布的一种文告。刘勰《文心雕龙·诏策》称:轩辕唐虞,同称为命;夏、商、周三代,则曰诰誓;降及七国,并称曰令;秦并天下,改命曰制;汉定仪则,命有四品:一曰策书,二曰制书,三曰诏书,四曰戒敕。诏者,告也。以昭告天下百姓也。

武帝元封五年(前106)冬,据《汉书·武帝纪》云:"初置刺史部十三州,名臣文武欲尽。"乃下诏云云。吕向曰:"诏,照也。天子出言如日之照于天下也。此谓下州郡求贤良。

【原文】

诏曰:盖有非常之功,必待非常之人①。故马或奔踶而致千里②,士或有负俗之累而立功名③。夫泛驾之马④,跅弛之士⑤,亦在御之而已⑥。其令州县⑦:察吏民有茂才异等⑧,可为将相及使绝国者⑨。

【注释】

①非常:异乎寻常。

②奔:走、跑也。踶(dì 地):踢也。《庄子·马蹄》:"夫马……喜则交颈相靡,怒则分背相踶。"奔踶,颜师古《汉书》注曰:"乘之即奔,立则踶人也。"

③负俗:有背于世俗之见。谓被世讥论也。累(lèi 泪):过失。

④泛:覆也。泛驾:颜师古曰:"言马有逸气而不循轨辙也。"夫,五臣本无夫字。

⑤跅(tuò 拓)弛:《汉书》颜师古注:"跅者,跅落无检局也。弛者,放废不遵礼度也。"言放荡不循规矩。

⑥御:控制、训练,善于驾驭。

⑦县:《汉书》作郡。

⑧茂才:俊秀之才。茂,本作秀,避汉光武帝刘秀讳,后改为秀。异等:超等出群,不与凡同者。

⑨绝国:绝远之国、边远之国。使:出使。

【译文】

诏书说:建立奇功殊勋,必须依靠非等闲之辈。所以,有的马尽管奔跑踢人却能日行千里;有的人尽管抗世违俗却能建功立业。对付越轨翻车之马、放荡不羁之人,关键在善于驾驭、善于使用吧了。

现命令各州、各县，凡发现仕民中有俊秀之才及远见卓识者，可以出将入相或出使外国的，均可举荐。

（徐 达 译注）

贤良诏一首

汉武帝

【题解】

《汉书·武帝纪》："元光元年（前134）五月，诏贤良。"其词云云。又《汉书·东方朔传》云："武帝初即位，征天下举方正贤良文学材力之士，待以不次之位，四方士多上书言得失，自炫鬻者以千数，其不足采者辄报闻罢。"按，此诏之下，董仲舒、公孙弘等皆出焉。

【原文】

朕闻昔在唐虞①，画象而民不犯②，日月所烛，罔不率俾③。周之成康，刑措不用④，德及鸟兽，教通四海⑤。海外肃慎，北发渠搜，氐羌来服⑥。星辰不孛⑦，日月不蚀⑧，山陵不崩⑨，川谷不塞⑩；鳞凤在郊薮，河洛出图书⑪。呜呼！何施而臻此乎⑫？今朕获奉宗庙⑬，夙兴以求，夜寐以思⑭，若涉渊水，未知所济⑮。猗欤伟欤⑯！何行而可以彰先帝之洪业休德⑰，上参尧舜，下配三王⑱！朕之不敏，不能远德⑲，此子大

夫之所睹闻也[20]。贤良明于古今王事之体，受策察问，咸以书对，著之于篇[21]，朕亲览焉！

【注释】

①唐虞：指尧、舜时代。

②画象而民不犯：李善注引应劭曰："二帝但画衣冠，异章服，而民不敢犯也。"二帝，指尧舜。颜师古注《汉书》曰："《白虎通》云：'画象者，其衣服象五刑也。犯墨者蒙巾，犯劓者以赭著其衣，犯髌者以墨蒙其髌，象而画之，犯宫者屦，犯大辟者布衣无领。'墨谓以墨黥其面也。劓，截其鼻也。髌，去膝盖骨也。宫，割其阴也。屦，草履也。"又《汉书·刑法志》："盖闻有虞氏之时，画衣冠，异章服，以为戮，而民弗犯，何治之至也。"按，传说上古有象刑之说，即以异常服饰象征五刑（墨、劓、屦、宫、大辟），以示惩诫。

③烛：照也。　率：循也。　俾：使也。二句谓尧舜帝德广运，日月所照之地，皆循顺帝道，而求使用也。

④成康：指周成王、周康王。　错：置也。《史记·周本纪》："故成康之际，天下安宁，刑错四十余年不用。"刑错不用，谓刑虽设而不用也。

⑤德及鸟兽：言成康之仁德遍及于鸟兽也。　教通四海：成康之教化及于四海。

⑥海外三句：此三句有二解。一解：海外之肃慎（shèn 甚），北方可征发渠搜，氐羌远来归服。另一解：肃慎、北发、渠搜、氐羌四国皆来服帝命。

⑦孛（bèi 背、bó 勃，两读）：慧星。古以天空出现慧星为不吉。

⑧蚀：侵食、侵害。古以出现日蚀、月蚀为不吉。

⑨崩：倒塌、败毁。古以出现山崩、地裂为不吉。

⑩塞：阻塞。李善谓以上四句曰："大戴《礼》曰：'圣人有国，日月不蚀，星辰不孛，川泽不竭，山不崩解，陵不绝矣。"

⑪薮：泽也。河洛出图书：《周易·系辞》："河出图，洛出书，圣人则之。"古以出现凤凰、麒麟为祥瑞之兆；河出图，洛出书为天下有道。

⑫臻：至也。　呼，《汉书》作虖。　乎，《汉书》作与。

⑬奉宗庙：犹言继皇位。

⑭夙兴：早起。　夜寐：夜久方寐。

⑮渊水：深水。　济：渡也。

⑯猗：美也。　伟：大也。　欤，《汉书》作与。

⑰彰：明也。《汉书》作章。休：美也。

⑱参、配：皆比也。　三王：夏、商、周之君主。

⑲敏：聪慧也。　远德：德不能远及王也。

⑳子大夫：《汉书》颜师古注曰："子者，人之嘉称。大夫，举官称也。志在优贤，故谓之子大夫也。"

㉑贤良句：谓所举贤良自当畅晓今古王事之体。受策察问：言受我策文，明我疑问。察，明也。　咸以书对：皆书之以对。

【译文】

我听说，从前尧舜时代，有画衣冠以代刑的作法，百姓无秋毫之犯。日月所照之处，人民无不循规蹈矩，各尽所能。周成王、周康王之时，刑罚虽设，而常备不用，天子的恩泽及于飞禽走兽，王化之教遍于海内。远服肃慎，北发渠搜，氐羌归顺。天上没有扫帚星，不见日蚀和月蚀，山不崩地不震，百川贯通，无所淤塞，郊外麒麟出现，凤凰来仪，河出图，洛出书。啊！究竟采取了什么措施而致于这样兴旺繁盛！

现在我继承皇位，朝思暮求，如涉深水，不知所度。多么美好！多么伟大！采取什么措施才能发扬先帝的大业大德，上攀尧舜，下比三王？我才德有限，难以远比三王，这是列位高照之士耳闻目睹的。贤良之士应当畅晓古今王事之体式，受我策文，明我疑问，笔之于书，由我亲自阅览。

（徐　达　译注）

册

魏公九锡文一首

潘元茂

【作者】

潘勖，字元茂，陈留中牟人。初名芝，改名勖，后避讳，改为勖。少有逸才，献帝时为尚书郎，迁右丞。诏以勖前在二千石曹，才敏兼通，明习旧事，敕并领本职，数加特赐。建安二十年，迁东海相。未发，留拜尚书左丞。其年，病卒，享年五十余。据《三国志·魏志》注引《文章志》云："魏公九锡策命，勖所作也。"

【题解】

刘勰《文心雕龙·诏策》："汉初定仪则，则命有四品：一曰策书，二曰制书，三曰诏书，四曰戒敕。敕戒州部，诏诰百官，制施赦命，策封王侯。策者，简也。"按，《说文》："册，符命也。诸侯进受于王也。象其札一长一短，中有二编之形。"范文澜《文心雕龙注》曰："经传多假策为册。"《释名·释书契》："策书，教令于上，所以驱策诸下也。汉制，约敕封侯曰册。册，赜也，敕使整赜，不犯之也。"故册者，古代帝王封立太子、皇后、王妃或诸侯的命令。

据《三国志·魏志·武帝纪》，建安十八年，"五月丙申，天子使御史大夫郗虑持节策命公为魏公。"其词云云。九锡者，诸侯有德，

天子赐之以九：一锡车马，再锡衣服，三锡虎贲，四锡乐器，五锡纳陛，六锡朱户，七锡弓矢，八锡铁钺，九锡秬鬯，谓之九锡。锡者，赐也。

【原文】

制诏[1]：使持节丞相领冀州牧武平侯[2]。朕以不德，少遭闵凶[3]，越在西土，迁于唐、卫[4]。当此之时，若缀旒然[5]。宗庙乏祀，社稷无位，群凶觊觎，分裂诸夏[6]。一人尺土，朕无获焉，即我高祖之命将坠于地[7]。朕用夙兴假寐，震悼于厥心[8]，曰："唯祖唯父，股肱先正，其孰恤朕躬[9]。"乃诱天衷，诞育丞相[10]，保乂我皇家[11]，弘济于艰难[12]，朕实赖之。今将授君典礼，其敬听朕命[13]。

【注释】

①制诏：制诏即诏，所以曰制者，王者之言，必为法制也。此汉献帝之诏也。

②持：执也。　节：符节也。古时使臣执以示信之物。持节丞相：据《三国志·魏志·武帝纪》建安十八年记载，当指御史大夫郗虑。　冀州牧：李善曰：《魏志》曰："建安九年，领冀州牧。"　武平侯：建安之年秋七月，"天子假太祖节钺，录尚书事。九月，车驾出辕轅而东，以太祖为大将军，封武平侯。"　冀：六臣本作翼。

③朕：献帝自称之词。　不德：无德。　少遭闵凶：吕延济曰："谓灵帝崩也。"闵，病也。

④越：远也。　西土：指长安。　唐、卫：《后汉书·献帝纪》云：初平元年，迁都长安。兴平二年，车驾东归，李催复追战王师，败，帝渡河幸安邑。建安元年六月，幸闻喜，七月车驾至洛阳。按，河东郡有安邑县、闻喜县，自闻喜入洛，必途经河内，河内本卫国领土，河东本唐尧所封，故曰唐卫。

⑤缀旒：言君主为臣下所挟持，大权旁落。《后汉书·张衡传》："夫战国交

争，戎车竞驱，君若缀旒，人无所丽。”注引《公羊传》：“君若赘旒然。”旒，旗旒也，言为下所执持西东也。

⑥宗庙乏祀：宗庙无人祭祀。 社稷无位：言国家失去地位。社稷、土、谷之神。《白虎通义》：“人非土不立，非谷不食，……故封土立社，示有土也；稷，五谷之长，故立稷而祭之也。”历代封建王朝必先立社稷坛墠；灭人之国，必变置灭国之社稷。因以社稷为国家政权的标志。 觊觎(jì yú 计余)：企图得到不该得到之物。非份之想。 诸夏：原指周代分封的诸侯国。后泛指为中国。分裂诸夏，六臣本作连带城邑。

⑦一人：一个人。 尺土：一尺土。二句谓天下叛逆，而我无一人之柄，获得尺土之分也。一人尺土，《汉书》作率土之民。 命：道也。五臣本无我字。

⑧假寐：不脱衣冠而寝曰假寐。 震：惊也。 悼：痛也。

⑨股肱(gōng 工)：原指大腿和胳膊。常以喻辅佐君主的大臣。 先正：先帝之政。言非曹操祖父为股肱之臣，以辅佐先帝之政，其谁忧我身者。言曹操忧我也。按，《三国志·貌志·武帝纪》：曹操之先祖为汉相国曹参，其祖为汉中常侍大长秋、费亭侯曹腾，其父曹嵩灵帝时擢拜大司农、大鸿胪。

⑩诱：进衷心也。 诞：生也。 丞相：指曹操。二句谓曹公祖、父，忧深于国，乃进至忠之心于上天，遂生丞相，终保汉室。

⑪保：安。 乂(yì 义)：治理。

⑫弘济：大济也。

⑬典礼：盛礼。 听：承也。二句谓将封为魏公，授其古先盛礼，使曹公敬承我命也。

【译文】

汉献帝发布诏书，派出执持符节凭信的丞相，请冀州牧、武平侯曹操前来受领。

我因德运不高，从小蒙受苦难。从老远的长安，来到这历史上的唐、卫之地。当时处境正是大权旁落。宗庙无人祭祀，社稷失去了庄严的地位，野心家谋夺江山，眼看中国有割据、分裂的危险。我手下无人，寸土不占，大汉高祖之业绩，将毁于一旦。我早起晚睡，乃至和衣而睡，令人痛心疾首！心里思忖着：“曹操的祖父和父亲，

曾经辅佐先帝为政，现在谁为我分担重任？”忠心感动了上帝，诞生了丞相曹操。他保护和治理汉家天下，大振我于危难之际，我确实依靠着他。今天将要授予隆重的大礼，请敬承我的命令。

【原文】

昔者董卓初兴国难，群后失位以谋王室①，君则摄进，首启戎行，此君之忠于本朝也②。后及黄巾，反易天常，侵我三州，延于平民，君又讨之，剪除其迹，以宁东夏，此又君之功也③。韩暹、杨奉专用威命，又赖君勋，克黜其难④；遂建许都，造我京畿，设官兆祀，不失旧物⑤，天地鬼神于是获乂⑥，此又君之功也。袁术僭逆，肆于淮南，慑惮君灵⑦，用丕显谋，蕲阳之役，桥蕤授首⑧，稜威南厉，术以殒溃⑨，此又君之功也。迴戈东指，吕布就戮⑩，乘轩将反，张扬沮毙，睦固伏罪，张绣稽服⑪。此又君之功也。袁绍逆常，谋危社稷，凭恃其众，称兵内侮⑫，当此之时，王师寡弱，天下寒心，莫有固志⑬，君执大节，精贯白日⑭，奋其武怒，运诸神策，致届官渡，大歼丑类⑮，俾我国家拯于危坠，此又君之功也⑯。济师洪河，拓定四州，袁谭、高干，咸枭其首⑰，海盗奔迸，黑山顺轨，此又君之功也⑱。乌丸三种，崇乱二世，袁尚因之，逼据塞北⑲，束马悬车，一征而灭，此又君之功也⑳。刘表背诞，不供贡职，王师首路，威风先逝，百城八郡，交臂屈膝，此又君之功也㉑。马超、成宜，同恶相济，滨据河、潼，求逞所欲，殄之渭南，献馘万计，遂定边城，抚和戎狄，此又君之功也㉒。鲜卑、丁令，重译而至；箪于、白屋，请吏帅职㉓，此又君之功也。君有定天下之功，重以明德，班叙海内，宣美风俗㉔，旁施勤教，恤慎刑狱㉕，吏无苛政，

民不回慝[26]，敦崇帝族，援继绝世，旧德前功，罔不咸秩[27]；虽伊尹格于皇天，周公光于四海，方之蔑如也[28]。

【注释】

①初：首也。 董卓初兴国难：《三国志·魏志·董卓传》：董卓"遂废(少)帝为弘农王。寻又杀王及何太后。立灵帝少子陈留王，是为献帝。" 群后：谓诸候也。 失位：言诸侯见王室遭难，皆去其位，为王室谋安定之策。 失，《汉书》、六臣本均作释。

②君：指曹操也。 摄进：开启也。 首启戎行：董卓废帝为弘农王，而立献帝。将军袁绍等同时俱起；卓兵强，莫敢先进，曹操遂引兵而西进。

③黄巾：东汉末太平道首领张角等，于灵帝中平元年发动农民起义，倡言"苍天已死，黄天当立，岁在甲子，天下大吉。"徒众达数十万人。皆以黄巾裹头，称为黄巾军，或黄巾。 反易：违反、变易。 天常：天之常道。 三州：青州、袞州、东平郡。 延：伸展、遍布。平民：老百姓。民，五臣作人。 剪除其迹：谓杀尽也。 东夏：指洛阳。后及七句，李善曰："青州黄巾，众有百余万。入袞州，遂转入东平。太祖遂进兵击黄巾于寿张东，破之，黄巾至济北乞降。"延于，《汉书》作延及。讨，《汉书》作翦。又，《汉书》无翦除其迹四字。

④韩暹、杨奉：二人为董卓之将也。 专用威命：专擅其凶威之命。 克：能也。黜：退也。 《汉书》于命下有君则致讨四字，而无又赖君勋四字。克，六臣本作剋。

⑤许都：以许为京都。建安之年，曹操迎献帝都许。三国魏黄初二年，改许为许昌。 京畿：国都所在地及其行政所管辖地区。我，六臣本作其。 兆：祭坛的界域。兆，五臣本作祧。旧物：前代的典章制度。

⑥获乂：得以治理。此数句谓，建安元年，洛阳宫室并为董卓焚毁，迁都于许，作我京兆邦畿，设置官班，始为坛茔祭祀，至此宗庙社稷制度始立，不失汉家用事礼乐之物。

⑦袁术：东汉汝阳人，字公路，袁绍从弟。僭(jiàn 贱)逆：越位、反叛。献帝初平四年，术据寿春，僭称帝号。 肆：恣肆、恣意。 淮南：寿春地处淮南。慑惮(shè dàn 摄旦)：畏难也。 君灵：曹操之威灵。君指曹操。三句谓袁术僭号，称帝于淮南，曹公征之，术畏公之威灵。

⑧丕:大也。 显谋:明谋。 蕲阳:蕲水之北。 桥蕤授首:李善引《魏志》曰:"袁术欲称帝于淮南,术侵陈,公(曹操)东征之。术闻公自来,弃君走,留其将桥蕤,公击破蕤等,斩之。授首,斩获其首。蕲县属沛,在陈之东。

⑨稜(léng 楞)威:威严。 南厉:言淮南之逆,惧公之严厉。南,指淮南袁术。 殒溃:指袁术于建安四年,粮尽众散,欲走青州依袁谭,又为刘备所截击,复还走寿春,愤恚呕血死。

⑩迴戈东指:曹操先败袁术于蕲县,迴戈东征,再破吕布于下邳而杀之。指,《汉书》作征。 吕布就戮:吕布(?～198),东汉九原人,字奉先。张邈迎为袞州牧。建安三年,曹操东征,大破之。曹操遂决泗沂二水以灌城,乃擒吕布,杀之。

⑪乘轩将返:谓曹操破吕布还也。轩,车也。五臣本、《汉书》均作辕。张杨沮毙二句:《三国志·魏志·张杨传》:"张杨,字稚叔,云中人也。卓以杨为建义将军、河内太守。太祖之围布,杨欲救之,不能。乃出兵东市。遥为之势。其将杨丑,杀杨以应太祖。杨将眭(suī 虽)固杀丑,将其众,欲北合袁绍。太祖遣史涣邀击,破之于犬城,斩固,尽收其众也。沮:败。 伏罪:谓诛杀也。张绣稽服:《三国志·魏志·张绣传》:"张绣,武威祖厉人,骠骑将军济族子也。绣随济,以军功稍迁至建忠将军,封宣威侯。太祖南征,军淯水,绣等众降。" 稽:拜也。 张扬:《三国志》作张杨。沮,《三国志》作殂。稽服,六臣本作稽伏。

⑫袁绍四句:袁绍,字本初,汝南人,四世三公,势倾天下。天子以绍为太尉,会曹操迎天子都许,绍领精兵十万,骑万匹,将攻许都。 逆常:逆乱常道。 谋危社稷:计谋推翻国家政权,取而代之。危,六臣本作为。凭恃:凭借、依仗。 称兵内侮:依仗其兵众,内怀轻侮天子之心。

⑬寡弱:谓王师少而弱。 寒心:战慄、恐惧。 莫有固志:谓战士无坚固之志。

⑭精贯白日:精诚之心,如白日之昭然。 大节:关系存亡安危的大事。

⑮武怒:指兵将之怒。致:及也。届:到也。官渡:地名。在今河南中牟县东北。建安五年曹操大破袁绍于官渡。 歼:杀也。 丑类:丑恶之属,指袁绍及其兵众。渡,六臣本作度。

⑯俾:使也。 拯:救也。 危坠:坠落之危。

⑰济:渡也。 洪河:大河、黄河。 拓:定也。 四州:青州、冀州、幽州、并州。 袁谭:袁绍长子,领青州。建安十年,曹操攻袁谭,破之,斩谭。 高干:

袁绍甥也，领并州牧。曹操征高干，干走荆州，上洛都尉王琰捕斩之。枭首：斩其首级，悬于木上。

⑱海盗奔迸(bèng 蚌)：曹操东征海盗管承，遣乐进击破之，管承败走海坞。 迸，流散。 黑山顺轨：黑山张燕，率众而降，封为列侯。 顺轨，犹言就范。

⑲乌丸三种：乌丸，又称乌桓，古民族名。三种，乌丸据辽东、辽西，右北平三郡，各有其主，习称三郡乌丸。 崇乱二世：大乱已历二主。崇，重也。 袁尚因之二句：《三国志·魏志·武帝纪》："三郡乌丸承天下乱，破幽州，略有汉民合十余万户。袁绍皆立其酋豪为单于，以家人子为己女，妻焉。辽西单于蹋顿尤强，为绍所厚，故尚兄弟归之，数入塞为害。"又《三国志·魏志·乌丸传》："会袁绍兼河北，乃抚有三郡乌丸，宠其名王而收其精骑。其后尚、熙又逃于蹋顿。"

⑳束马悬车：《管子·封禅》："(齐桓公)西伐大夏，涉流沙，束马悬车，上卑耳之山。"注："将上山，缠束其马，悬钩其车也。"按，此指行山路时，包裹马脚，挂牢车子，以防跌滑。 一征而灭：《三国志·魏志·武帝纪》：建安十二年曹操北征乌桓，"公登高，望虏陈不整，乃纵兵击之，使张辽为先锋，虏众大崩，斩蹋顿及名王已下，胡、汉降者二十余万口。辽东单于速仆丸及辽西、北平诸豪，弃其种人，与尚、熙奔辽东，众尚有数千骑。"辽东太守公孙康斩尚、熙及速仆丸之首，传之。悬，《三国志》作县。

㉑刘表(142～208)：山阳高平人。字景升，献帝初平元年任荆州刺史，据有今湖南湖北大部地区，是东汉末年较大的一股割据势力。背诞：违命放纵，不受节制而妄为。 不供贡职：不供贡赋之职。 首：向也。逝：往也。王师二句谓天子大军将行，向其衢路而威风之声已先往，所止而闻也。百城八郡：谓刘表所据地也。交臂屈膝：谓自缚以降也。按，《三国志·魏志·武帝纪》："建安十三年秋七月，公南征刘表。八月表卒，其子琮代，九月，公到新野，琮遂降。

㉒马超(176～222)三国时右扶风茂陵人，字孟起，随父马腾起兵，后领腾部曲，为曹操所败，终附刘备。 成宜：关中叛将之一，与马超、韩遂、杨秋、李堪等为伍。相济：相助也。 滨据：傍水而驻。河、潼：黄河、潼水。求逞所欲：言逞其所欲也。五臣本作逞所欲，六臣本作所逞欲。据《三国志·魏志·武帝纪》：建安十六年，关中诸将，马超、韩遂、成宜等反，超等屯潼关。曹操西征，与超等夹关而战，曹操分兵结营于渭南，马超成宜等夜攻营，被曹操伏兵击破

之，斩成宜。殄(tiǎn 舔)：杀尽。馘(guó 国)：割耳。战争中割取敌人左耳以计功曰馘。 抚和戎狄：西北地区平定之后，足以安抚西北部少数民族。 边城，《三国志》作边境。

㉓鲜卑、丁令、箪于、白屋：皆古时我国西北部之少数民族。箪，为单之误。 重译：翻译。 请吏：请汉为之置吏也。吏，六臣本作吏。 帅职：帅其职贡。帅，《三国志》作率。

㉔重以明德：加重其明德。 班叙：犹言颁述天下。 宣美风俗：宣而行之，以为风俗之美。《三国志》、五臣本重字下有之字。

㉕勤教：惠教也。 恤：忧也。 旁施：遍施。

㉖苛政：重赋重刑之政。回慝(tè 特)：奸邪、邪恶。民不回匿，《三国志》作民无怀慝。

㉗敦崇：尊重。 援：引也。 继绝世：《论语·尧曰》："兴灭国，继绝世，举逸民，天下之民归心焉。"重续断绝禄位之世家。罔：无。秩：序也。援，《三国志》作表。

㉘伊尹：商汤臣，名挚。佐汤伐夏桀，被尊为阿衡(宰相)。 周公：姬旦，周文王子。辅助武王灭纣，建周王朝，武王死，成王年幼，周公摄政。 格：至也。 蔑如：轻视，不足道。三句谓：伊尹之高德上至皇天，周公之明德远照四海。比之曹操，则微不足道也。

【译文】

以前，董卓首先把国家推向危难之际，列位诸侯纷纷离位，去谋求拯救王室的良策，是你曹公前来首开兵戎之行伍，这是你对本朝的忠诚。后来黄巾造反，违背天之常道，占据了青州、袞州和东平郡，祸及平民百姓。你曹公领兵讨伐，消灭了余党，使洛阳平安无事，这是你曹公的功劳！韩暹和杨奉，逞凶霸道，仍依赖你的大功，得免其难。接着，就建都于许，设立了京城，组织官班，恢复宗庙祭坛，一仍前代的典章制度，天地祖宗各归其位，这又是你曹公的功劳！叛贼袁术，妄自称帝于淮南，但威慑你曹公的堂堂正气！你以高明的谋略，蕲阳一战，斩了他部将桥蕤的头。你的威严凛厉使袁术胆战心惊。袁术终于败死，这又是你曹公的功劳！接着，又回戈

东征，杀死吕布。正要班师回朝，又击溃张杨，诛杀睦固，张绣降服，这又是你曹公的功劳！袁绍逆乱天常，觊觎汉家天下，依仗他兵多将广，内怀轻侮之心。在这关键时刻，王师人少兵弱，普天之下大为忧惧，战士缺乏必胜的信心。是你以大局为重，忠诚之心如白日在天，激发兵将之士气，运用神机妙算，待到官渡一仗，全歼顽敌，使国家转危为安，这又是你曹公的功劳！大军渡过黄河，平定青、冀、幽、并四州，袁谭、高干，斩首示众。海盗管承溃退，黑山张燕归顺，这又是你曹公的功劳！三郡乌丸，使两代君主不得安宁；袁尚又依附着他们，在塞北相与为邻。曹公你作好了充分准备，一举将他们消灭干净。这又是你曹公的功劳！刘表违命妄为，不安于诸侯之位，是你率领王师，威风所到，无不披靡；百城八郡，不战而降，这又是你曹公的功劳！马超、成宜之徒，臭味相投，沆瀣一气，占据了潼河、黄河两岸，为所欲为，你将他们消灭在渭南，杀敌以万计。于是平定边境之地，安抚了相邻的少数民族。这又是你曹公的功劳！鲜卑、丁令，通过翻译，前来投顺，单于、白屋，请我们设置官员，承担赋贡，这又是你曹公的功劳！总之，曹公有安定天下的大功，增加了你的大德大勋，使普天之下风俗淳美；遍施惠政教化，慎用刑罚典狱，官吏从无苛政，人民善良厚道；尊敬皇族，继绝世家，凡耆旧美德、前代有功之人，皆有恩赐。纵然伊尹德高，上至皇天；周公光辉，照耀四海，也无法同你曹公相提并论。

【原文】

朕闻先王并建明德，胙之以土，分之以民①，崇其宠章，备其礼物，所以蕃卫王室，左右厥世也②。其在周成，管、蔡不靖③，惩难念功，乃使邵康公锡齐太公履④，东至于海，西至于河，南至于穆陵，北至于无棣⑤。五侯九伯，实得征之⑥，世胙太师，以表东海⑦。爰及襄王，亦有楚人不供王

职[8]，又命晋文登为侯伯[9]，锡以二辂、虎贲、铁钺、秬鬯、弓矢[10]，大启南阳，世作盟主[11]。故周室之不坏，繄二国是赖[12]。今君称丕显德，明保朕躬，奉答天命，导扬弘烈[13]，绥爰九域，罔不率俾[14]。功高乎伊、周，而赏卑乎齐晋，朕甚恧焉[15]！朕以眇身，托于兆民之上[16]。永思厥艰，若涉渊水，非君攸济，朕无任焉[17]。今以冀州之河东、河内、魏郡、赵国、中山、钜鹿、常山、安平、甘陵、平原凡十郡，封君为魏公[18]。使使持节御史大夫虑授君印绶、册书，金虎符第一至第五，竹使符节第一至第十[19]。锡君玄土，苴以白茅，爰契尔龟，用建冢社[20]，昔在周室，毕公、毛公，入为卿佐[21]，周、劭师保，出为二伯[22]，外内之任，君实宜之。其以丞相领冀州牧如故。今更下传玺，肃将朕命，以允华夏，其上故传武平侯印绶[23]。今又加君九锡，其敬听后命[24]。以君经纬礼律，为民轨仪[25]，使安职业，无或迁志[26]，是用锡君大辂、戎辂各一，玄牡二驷[27]。君劝分务本，啬民昏作[28]。粟帛滞积，大业唯兴，是用锡君衮冕之服，赤舄副焉[29]。君敦尚谦让，俾民兴行[30]，少长有礼，上下咸和[31]；是用锡君轩悬之乐，六佾之舞[32]。尹翼宣风化，爰发四方，远人回面，华夏充实，是用锡君朱户以居[33]。君研其明哲，思帝所难，官才任贤，群善必举，是用锡君纳陛以登[34]。君秉国之均，正色处中，纤毫之恶，靡不抑退，是用锡君虎贲之士三百人[35]。君纠虔天刑，章厥有罪，犯关干纪，莫不诛殛，是用锡君铁钺各一[36]。君龙骧虎视，旁眺八维，揜讨逆节，折冲四海，是用锡君彤弓一、彤矢百、玈弓十、玈矢千[37]。君以温恭为基，孝友为德，明允笃诚，感乎朕思，是用锡君秬鬯一卣，珪瓒副焉[38]。魏国置丞

相以下群卿百僚，皆如汉初诸王之制[39]。君往钦哉，敬服朕命！简恤尔众，时亮庶功，用终尔显德，对扬我高祖之休命[40]！

【注释】

①先王：指周武王。明德：本指完美的德行。这里指周公旦、太公望（即姜尚）。因指二人，故曰并建。胙（zuò 作）土：帝王以土地赐封功臣，酬其勋绩，谓之胙土。胙，赐福也。六臣本作祚。

②崇：尊也。宠章：荣耀的标志。礼物：典礼文物。蕃卫：保卫也。 左右：辅佐也。厥世：其时。 蕃，《三国志》作藩。

③周成：周成王。管、蔡：管叔，名姬鲜，周武王弟，周公兄。周灭商，封于管。武王死，成王年少，周公摄政，管叔、蔡叔挟殷纣之子武庚作乱。周公东征，杀管叔，放蔡叔。蔡叔，姬度，周武王弟，封于蔡。不靖：不安。靖，《三国志》作静。六臣本作靖忠。

④惩难：息难也。念功：言息管蔡之难，顾念周公、太公之功也。邵康公：即召公奭。锡：赐也。《三国志》作赐。齐太公：即太公望吕尚也。履：践履。言使齐太公在其封地自由往来，专征伐之功也。

⑤东至四句：《史记·齐太公世家》："周成王少时，管蔡作乱，淮夷畔周，乃使召康公命太公曰：'东至海，西至河，南至穆陵，北至无棣，五侯九伯，实得征之。'"按，东南西北皆言太公始受封地之疆境也。

⑥五侯二句：《史记集解》引杜预曰："五等诸侯，九州之伯，皆得征讨其罪也。"按，五侯为公、侯、伯、子、男。

⑦世祚太师：世代降福于齐太公。 太师：吕尚为文王之师，故曰太师。表：显也。 东海：齐在东海。二句谓世保封地于我太师，以明表于东海。胙，《三国志》、六臣本均作祚。

⑧襄王：指楚襄王。楚人不供王职：楚襄王之时，楚叛王命，晋侯与之战，楚人败绩。

⑨命晋文登为侯伯：晋人与楚人战于城濮，楚人败绩，王策命晋文侯为侯伯。登：升也。

⑩赐以句：晋文侯既为侯伯，王赐以二辂车、虎贲、铁钺、秬鬯、弓矢等物。

辂(lù 路):大车。王者之车。虎贲(bēn 奔):勇士。铁钺:兵器。秬鬯(jù chàng 具唱):祭祀时灌地所用的以郁金草合黍酿造的酒,色黄而芬香。为祭宗庙时所用。

⑪大启二句:谓大开南阳之地,以属于晋,于是晋为诸侯盟主。

⑫不坏:不败。繄(yī 衣):发语词。 二国:指齐、晋二国。以上为将封曹公,故引此古典。六臣本国下有之字。

⑬君:指曹操。答:当。

⑭绥:安也。 九域:九州。 率俾:率,循也。俾,使也。循度而可使曰率俾。 罔,《三国志》作莫。

⑮伊、周:伊尹、周公。 恧(nǚ 女去声):惭愧。两乎字《三国志》作两于字。

⑯眇:小也。献帝自谦之词也。眇,《三国志》作眇眇。民,五臣本作人。

⑰厥艰:为帝之艰难。 渊水:深水也。 攸:所也。 无任:无法胜任。四句谓思已为帝之难,若涉深水之危惧也;非曹公济我,无委任之所焉。水,《三国志》作冰。

⑱今以二句:《三国志·魏志·武帝纪》:"建安十八年五月丙申,天子使御史大夫郗虑持节策命为魏公。" 钜鹿、常山,《三国志》作常山、钜鹿。

⑲使使:前使字为动词,意为派出。后使字为名词,意为使者。 虑:郗虑。 印绶:印,官印。绶,系印的丝带。印绶为官宦的标志。册书:即诏书。金虎符:古代发兵所用的符信,虎形金符。 竹使符:汉代分与郡国守相的信符。右留京师,左与郡国。《汉书》注引应劭曰:"竹使符,皆以竹箭五枚,长五寸,镌刻篆书,第一至第五。"五臣注吕向曰:"第五、第十,符之数。"《三国志》无此三句。金,六臣本作今,非也。

⑳玄土:李善注引《尚书》:"天子社,东方青,南方赤,西方白,北方黑。。"魏在北方,故曰玄土。玄,黑也。苴以白茅:亦称苴茅,以白茅包土。古代帝王分封诸侯的仪式。契(qì 气,qiè 切,两读):古代在龟甲、兽骨上灼刻文字曰契。 用建冢社:用以建立祭祀之宗社。四句谓,赐曹公以黑土,包以白茅;再灼龟以卜,用立冢社。尔,六臣本作籴。

㉑毕公、毛公:毕公高,毛公叔郑,均为周文王庶子,一封于毕,一封于毛,故谓之。毕公、毛公虽分封在外,同时亦为周室之卿佐。《史记·周本纪》:"成王将崩,惧太子钊之不任,乃命召公、毕公率诸侯以相太子而立之。成王既崩,

二公率诸侯，以太子钊见于先王庙，申告以文王、武王之所以为王业之不易，务在节俭，毋多欲，以笃信临之，作《顾命》。”

㉒周、邵二句：周公旦为太师，邵公奭为太保。然二人各有封地，出归于国，则为二伯。伯，长也。谓其国之长也。

㉓今更下传玺：因曹操先封武平侯，今再下魏国之玺。 肃：敬也。 允：信也。其上句：谓前授之武平侯印绶宜上还于我。 上，上交，作动词用。 故，以往。《三国志》无此四句。

㉔九锡：古代帝王加礼于有功大臣所赐的九种器物。《礼记》、《公羊传》、《韩诗外传》和《汉书》所指九物不尽相同。 后命：谓命如后文所述。 后，《三国志》作朕。又，《三国志》无今字。

㉕经纬：组织。 礼律：国家的典章制度。 轨仪：法则、仪制。

㉖安职业：谓乐于所业。 迁志：变易其志。

㉗大辂：金辂。 戎辂：戎车。 玄牡：马也。二驷：八匹。大辂，六臣本作大启。

㉘劝分：有无相济曰劝分。 务本：务农。啬：爱也。 昏：强也。 民，五臣本、《三国志》均作人。

㉙滞积：积累。衮(gǔn 滚)：卷龙衣也。画龙于衣，其形卷曲。 冕：冠。赤舄(xì 系)：帝王及贵族所穿之礼鞋。

㉚敦：重也。 兴行：兴起而盛行。

㉛少长：犹言长幼也。 上下：指地位高低。

㉜轩悬：诸侯陈列乐器，如钟磬之类，三面悬挂。亦作轩县 六佾(yì 意)：古代舞蹈之队列，舞者分为六列，每列六人，计三十六人。诸侯所用之乐舞。悬，《三国志》作县。

㉝翼：佐助也。回面：臣服也。回面，《三国志》作革面。 朱户：以朱红漆大门。古代帝王赐功臣九锡之一。

㉞研其明哲：研精其明智。官才任贤：有才者任之以官职，贤达者委之以重位。 纳陛：凿殿基为登升之陛级，纳之于檐下，不使露而升，故名。九锡之一。

㉟秉：执也。国均：即国钧，《三国志》作国钧。国之重位也。 正色：无私也。 处中：处事得其正道。 纤毫之恶：恶之细小者也。 靡：无也。 抑退：挫而退之。

㊱纠：察也。 虔：敬也。 天刑：大法也。 章厥有罪：明其罪之有无也。章，明。厥，其。 犯关：犯国家关禁。 干纪：干乱国家纲纪。 殛(jí 极)：诛也。 铁钺：兵器。铁，斧也。钺，古代用于斫杀之兵器，形似大斧者。 干，六臣本作于，误。

㊲龙骧虎视：言曹公之高大威严。龙骧，言高。骧，举也。虎视，言威。旁眺八维：谓眼观八方。言其警惕也。 揜讨：揜袭征讨。揜，通掩。 折冲：击退敌军。 菉(lú 卢)：黑色。 节，《六臣本》作贼。

㊳卣(yǒu 有)：酒樽、礼器。 谿瓒：用玉制的酒器，形状为勺，以圭为柄。鬯爵也。

㊴魏国：所封曹操的魏公之国。 汉初诸王之制：指汉初分封诸侯之规定。《三国志》诸下有侯字。

㊵往：往昔。 敬服朕命：敬从我命。 君，《三国志》无君字。敬服，六臣本作钦服。

㊶简：简阅，考察。 恤：怜恤。 时：是。 亮：信。 庶：众。 显德：明德、大德。 对扬：明休美也。 从比较中更显其美。 尔，五臣本作余。

【译文】

我听说从前周武王的时侯，周公、太公协同武王共建德勋。武王分给他们土地，分给他们人民，赋予荣耀，赐予礼物，这样做是为了保卫王室，辅佐朝廷。周成王的时侯，管叔、蔡叔不安本份，太公平息危难，立了大功，就叫召公赐于齐太公领地，东起东海，西到黄河，南自穆陵，北至无棣。不管五侯，还是九伯，只要有罪，就派兵征伐。世世代代降福于齐太公，以显示他有功于朝廷。再说楚襄王，不守诸侯之职，周天子又命令晋文侯讨伐，晋国因此而上升为侯伯。天子赐于二辆大车、勇士、铁钺、祭祀用酒、弓箭等物；开发了南阳之地，世代为诸侯盟主。所以，周室能立于不败之地，也有赖于齐晋二国。现在你曹公具有大明之德，拥戴天子，这正符合天意，弘扬了祖宗宏业。现今天下平安，各方面无不井井有条，循序前进。你的功劳高过伊尹、周公，而所得报赏少于齐国、晋国，使我感到十分

内疚！

我以区区之身，接受万民委托而登于帝位，永远思念着国事的艰辛，如涉深水般惴惴不安；要不是你曹公的大力协助，我将难以胜任。现在我把冀州的河东、河内、魏郡、赵国、中山、钜鹿、常山、安平、甘陵、平原共计十郡之地，封你为魏公。派出使者持节御史大夫郗虑，授予你印绶和册书，金虎符第一至第五，竹使符第一至第十。赐你北方黑土，用白茅包裹，再灼龟以卜，用来建立魏国之宗社。

从前，周朝的毕公、毛公，虽有封地，而在朝廷仍为卿相；周公、召公，身居太师、太保之职，而作为诸侯，又是两个国家。这种内外兼任，对于你曹公最为相宜。原来以丞相之职所兼领冀州牧，一切如旧。现在我进一步授予魏国的大印，将我的命令传信天下，把原武平侯的印绶交还于朝廷。另外，再加曹公以“九锡”大礼，望能敬承以下的命令：

因为曹公制定了礼仪、法律，为百姓树立了行为准则，使大家安居乐业，而不再见异思迁。因此赐予大车、戎车各一辆，黑马八匹；

曹公鼓励百姓务农种植，劝民劳作，使粮食布帛多有积余，国家兴旺发达。因此赐予曹公卷龙衣冠，配以红色礼鞋；

曹公崇尚谦让，使百姓效法而行，长幼有礼，上下和谐。因此赐予曹公钟磬之乐、公佾之舞。

曹公推进王化之教，使国内正气风行；使夷狄臣服，神州富有。因此赐予曹公居处以朱漆之门；

曹公发挥聪明才智，体念国事艰难，使才能之士出仕为官，贤达之辈任用主事，天下贤才尽数为国效力。因此赐予曹公纳陛之礼；

曹公执掌国家重任，秉公无私，疾恶如仇决不姑息一丝一毫。因此赐予勇士三百名；

曹公明察秋毫，维护国家大法，量罪轻重，分寸有渡；违反国家

纲纪大法者，无不处以极刑。因此赐予曹公斧钺各一件；

曹公威严犹若龙虎，高瞻远瞩，征讨叛逆，荡平四海奸佞。因此赐予曹公红弓一柄，红箭百发；黑弓十柄，黑箭千发。

曹公以温良恭俭为本，以孝敬友爱为德，明于信用，厚于精诚，使我感动。因此赐予曹公祭奠用郁金草酒一樽，配以圭瓒一套。

魏国设置丞相以群臣百官，一律按照汉初封诸侯王的规定执行。曹公以往一向钦敬朝廷，现在请敬承我的命令！我自当检阅并怜恤你们，相信你们的所作所为，应当克尽你们的忠心和德行，发扬弘大高祖创业的大愿！

（徐 达 译注）